青森市埋蔵文化財調査報告書　第120集

川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡

発掘調査報告書

（第一分冊）

平成28年度

青森市教育委員会

青森市埋蔵文化財調査報告書　第120集

川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡

発掘調査報告書

（第一分冊）

平成28年度

青 森 市 教 育 委 員 会

川原館遺跡Ｇ区全景（N→）

DSI－01（N→）

SD－120（NW→）

SD－105（NW→）

DSE－05遺物出土状況

中道遺跡Ｂ区全景（N→）

SD－57断面（E→）

SD－64（E→）

ASE－05遺物出土状況（NE→）

CSE－03遺物出土状況（E→）

例　言

1．本書は、青森市教育委員会が発掘調査を実施した青森市浪岡大字浪岡字浅井ほかに所在する川原館遺跡、中道遺跡、東早稲田遺跡の発掘調査報告書である。
2．本書に記載される内容は、青森市浪岡事務所都市整備課より委託を受けて、平成25～27年度に青森市教育委員会が実施した佐野沖蒄線道路整備事業に係る発掘調査成果である。
3．川原館遺跡は青森県埋蔵文化財包蔵地台帳に遺跡番号201－377、中道遺跡は201－428、東早稲田遺跡は201－429として登録されている。
4．発掘調査成果について、川原館遺跡を第一分冊、中道遺跡・東早稲田遺跡及び各遺跡のまとめを第二分冊に所収した。
5．自然科学分析、引用・参考文献及び写真図版は第二分冊にまとめた。
6．第二分冊所収の第Ⅵ章第１節の漆膜構造分析及び第２節の樹種同定は、株式会社吉田生物研究所が実施し、第３節の年輪年代測定は、国立歴史民俗博物館研究部箱崎真隆氏より執筆を賜った。
7．本書の編集は、青森市教育委員会が行った。
8．出土遺物及び記録図面、写真関係資料は、青森市教育委員会が保管している。
9．発掘調査及び報告書作成にあたって、次の各機関・各位からご指導・ご協力を賜った。記して謝意を表する次第である。(敬称略)

青森県埋蔵文化財調査センター、工藤　清泰、齋藤　淳、箱崎　真隆、成田　誠治、山本　崇、渡辺　晃宏

凡　例

1．図版番号及び表番号、写真図版番号は本書を通じて連続するものとし、それぞれ「第○図」、「第○表」、「写真図版○」と表記した。なお、第Ⅵ章については「図○」、「表○」、「写真○」とした。
2．遺構の略称は、下記のとおりである。

SI：竪穴遺構　　SB：掘立柱建物跡　　SK：土坑　　SD：溝跡　　SE：井戸跡
SN：焼土遺構・カマド状遺構　　SP：ピット　SX：その他の遺構

川原館遺跡及び中道遺跡においては調査した区毎に略称の先頭にアルファベットを付した（例：A区SB－01→ASB－01、B区SK－01→BSK－01）。なお、SD番号については遺跡毎に連続する番号とし、複数の区に跨る溝跡が多いため区のアルファベットを付さず呼称した。なお、複数の区に跨る溝跡については、最初に登場する区で遺構・遺物についてまとめて記述している。
3．図表の遺物番号は、番号のみのものは土器を示し、木製品は「木○」、石器・石製品は「石○」、土製品は「土○」、鉄製品は「鉄○」、古銭は「銭○」とした。
4．挿図の縮尺は、図毎に示した。
5．各種平面図の方位は、磁北を示した。
6．土層の注記については、『新版標準土色帳』(小山正忠、竹原秀雄　1993）に準拠した。
7．鉄関連遺物観察表中のメタル度は特殊金属探知機によって判定された金属鉄の残存度を示すもの

で、基準感度は次のとおりである。

な　し：磁着反応がなく、金属鉄が全く含まれていないことを示す。

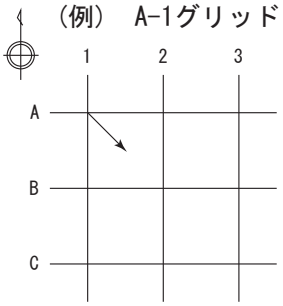
錆化（△）：磁着反応があるが、Hでも反応しない酸化物で、金属が残留しないことを示す。

H（○）：Hは最高感度で、ごく小さな金属鉄（1～2.5㎜）が残留することを示す。

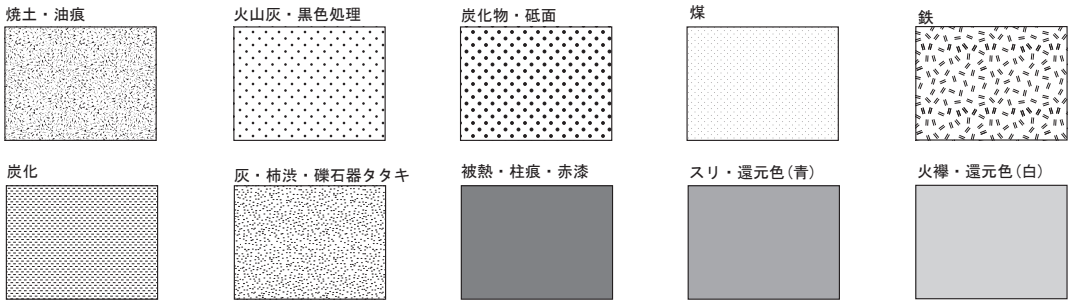
M（◎）：Mは中間感度で、Hの倍以上の大きさの金属鉄（4～5㎜）が残留することを示す。

L（●）：Lは低感度で、Mの倍以上の大きさの金属鉄（10～12㎜）が残留することを示す。

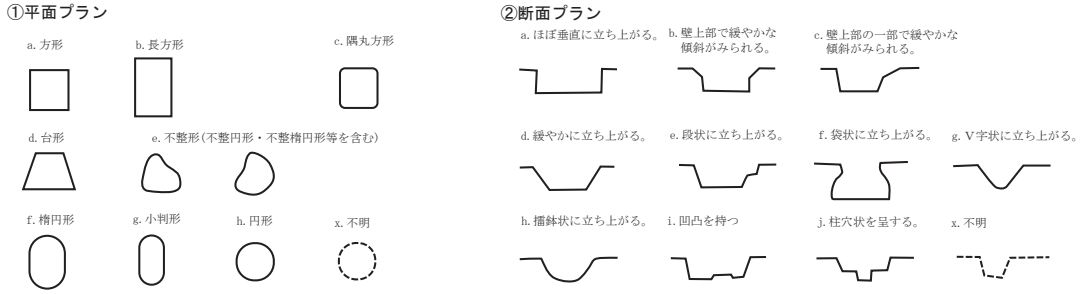
8．グリッドの呼称は次のとおりである。



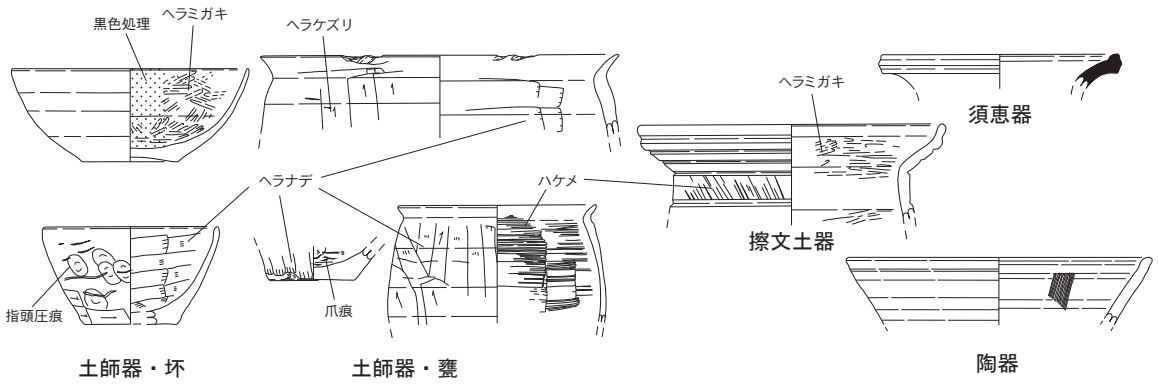
9．図中で使用したスクリーントーンは以下のとおりである。



10．SP観察表中で使用した平面プラン、断面プランの略号は下記とおりである。分類方法は青森市埋蔵文化財調査報告書第94集『石江遺跡群発掘調査報告書』を参考とした。



11．遺物実測図の表現は以下のとおりである。



目　次

（第１分冊）

例言・凡例
目次
図表目次
第１章　調査の概要
　第１節　調査に至る経緯…… 1
　第２節　調査要項…… 1
　第３節　調査方法…… 2
　第４節　調査経過…… 2
第Ⅱ章　遺跡の環境
　第１節　遺跡の位置…… 14
　第２節　遺跡の歴史的環境…… 14
　第３節　基本層序…… 17
第Ⅲ章　川原館遺跡
　第１節　概要…… 19
　第２節　Ａ区…… 19
　第３節　Ｂ区…… 90
　第４節　Ｃ区…… 198
　第５節　Ｄ区…… 226
　第６節　Ｆ区…… 320
　第７節　Ｇ区…… 361
報告書抄録

（第２分冊）

目次
図表・写真目次
第Ⅳ章　中道遺跡
　第１節　概要
　第２節　Ａ区
　第３節　Ｂ区
　第４節　Ｃ区
　第５節　Ｄ区
　第６節　Ｅ・Ｆ区
第Ⅴ章　東早稲田遺跡
　第１節　概要
　第２節　検出遺構
　第３節　遺構外出土遺物
第Ⅵ章　自然科学分析
　第１節　漆膜構造分析
　第２節　樹種同定
　第３節　中道遺跡・川原館遺跡出土木材の
　　酸素同位体比年輪年代測定
第Ⅶ章　まとめ
引用参考文献
写真図版
報告書抄録

図表目次

図版目次

第１図　遺跡位置図…… 4
第２図　調査区位置図（川原館遺跡・中道遺跡）
…… 5・6
第３図　グリッド配置図（川原館遺跡・中道遺跡）
…… 7・8
第４図　遺構配置図（川原館遺跡）…… 9･10
第５図　遺構配置図（中道遺跡）……11･12
第６図　グリッド・調査区・遺構配置図
（東早稲田遺跡）…… 13
第７図　周辺の遺跡位置図…… 16
第８図　川原御所縄張図…… 17
第９図　基本層序…… 18
第10図　川原館遺跡Ａ区遺構配置図 …… 20
第11図　川原館遺跡Ａ区SB …… 21
第12図　川原館遺跡Ａ区出土遺物SB …… 22
第13図　川原館遺跡Ａ区SK (1) …… 26
第14図　川原館遺跡Ａ区SK (2) …… 27
第15図　川原館遺跡Ａ区出土土器SK …… 28
第16図　川原館遺跡Ａ区出土木製品SK …… 28
第17図　川原館遺跡Ａ区SD (1) …… 33
第18図　川原館遺跡Ａ区SD (2) …… 34
第19図　川原館遺跡Ａ区SD (3) …… 35
第20図　川原館遺跡Ａ区SD (4) …… 36
第21図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (1) …… 37
第22図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (2) …… 38
第23図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (3) …… 39
第24図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (4) …… 40
第25図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (5) …… 41
第26図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (6) …… 42
第27図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (7) …… 43
第28図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (8) …… 44
第29図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (9) …… 45
第30図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD (10) …… 46
第31図　川原館遺跡Ａ区出土木製品SD …… 47
第32図　川原館遺跡Ａ区出土石製品SD …… 47
第33図　川原館遺跡Ａ区出土土製品・
古銭・鉄関連遺物SD …… 47
第34図　川原館遺跡Ａ区SE (1) …… 49
第35図　川原館遺跡Ａ区SE (2) …… 50
第36図　川原館遺跡Ａ区SN …… 50
第37図　川原館遺跡Ａ区出土土器SE …… 51
第38図　川原館遺跡Ａ区出土木製品SE (1) … 52
第39図　川原館遺跡Ａ区出土遺物SE …… 53
第40図　川原館遺跡Ａ区SP分割図 …… 58
第41図　川原館遺跡Ａ区SP区分図あ …… 59
第42図　川原館遺跡Ａ区SPあ (1) …… 60
第43図　川原館遺跡Ａ区SPあ (2) …… 61
第44図　川原館遺跡Ａ区SPあ (3) …… 62
第45図　川原館遺跡Ａ区SPあ (4) …… 63
第46図　川原館遺跡Ａ区SPあ (5) …… 64
第47図　川原館遺跡Ａ区SP区分図い …… 65
第48図　川原館遺跡Ａ区SPい (1) …… 66
第49図　川原館遺跡Ａ区SPい (2) …… 67
第50図　川原館遺跡Ａ区SPい (3) …… 68
第51図　川原館遺跡Ａ区SPい (4) …… 69
第52図　川原館遺跡Ａ区SPい (5) …… 70
第53図　川原館遺跡Ａ区SPい (6) …… 71
第54図　川原館遺跡Ａ区SP区分図う …… 72
第55図　川原館遺跡Ａ区SPう (1) …… 73
第56図　川原館遺跡Ａ区SPう (2) …… 74
第57図　川原館遺跡Ａ区SPう (3) …… 75
第58図　川原館遺跡Ａ区SPう (4) …… 76
第59図　川原館遺跡Ａ区出土遺物SP …… 77
第60図　川原館遺跡Ａ区遺構外出土土器 …… 79
第61図　川原館遺跡Ａ区遺構外出土遺物 …… 80
第62図　川原館遺跡Ｂ区遺構配置図 …… 91・92
第63図　川原館遺跡Ｂ区SI …… 93
第64図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SI …… 94
第65図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SI …… 95
第66図　川原館遺跡Ｂ区SK (1) ……102
第67図　川原館遺跡Ｂ区SK (2) ……103

第68図　川原館遺跡Ｂ区SK (3) …… 104
第69図　川原館遺跡Ｂ区SK (4) …… 105
第70図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SK …… 106
第71図　川原館遺跡Ｂ区SD (1) …… 118
第72図　川原館遺跡Ｂ区SD (2) …… 119・120
第73図　川原館遺跡Ｂ区SD (3) …… 121
第74図　川原館遺跡Ｂ区SD (4) …… 122
第75図　川原館遺跡Ｂ区SD (5) …… 123
第76図　川原館遺跡Ｂ区SD (6) …… 124
第77図　川原館遺跡Ｂ区SD (7) …… 125
第78図　川原館遺跡Ｂ区SD (8) …… 127・128
第79図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (1) …… 129
第80図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (2) …… 130
第81図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (3) …… 131
第82図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (4) …… 132
第83図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (5) …… 133
第84図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (6) …… 134
第85図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (7) …… 135
第86図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (8) …… 136
第87図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (9) …… 137
第88図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (10) …… 138
第89図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD (11) …… 139
第90図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SD (1) …… 140
第91図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SD (2) …… 141
第92図　川原館遺跡Ｂ区SE …… 144
第93図　川原館遺跡Ｂ区SN …… 145
第94図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SE・SN …… 146
第95図　川原館遺跡Ｂ区SX …… 147
第96図　川原館遺跡Ｂ区SP分割図 …… 150
第97図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図あ …… 151
第98図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図い …… 152
第99図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図う・う (1) … 153
第100図　川原館遺跡Ｂ区SPう (2)・
　　SP区分図え …… 154
第101図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図お…… 155
第102図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図か…… 156
第103図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図き…… 157
第104図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図く・け…… 158
第105図　川原館遺跡Ｂ区SPけ…… 159
第106図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図こ…… 160
第107図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図さ…… 161
第108図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図し・す…… 162
第109図　川原館遺跡Ｂ区SPす・SP区分図せ … 163
第110図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SP…… 164
第111図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(1) … 166
第112図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(2) … 167
第113図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(3) … 168
第114図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(4) … 169
第115図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(5) … 170
第116図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(6) … 171
第117図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(7) … 172
第118図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(8) … 173
第119図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(9) … 174
第120図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(10)… 175
第121図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(11)… 176
第122図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(12)… 177
第123図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(13)… 178
第124図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器(14)… 179
第125図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土遺物 …… 180
第126図　川原館遺跡Ｃ区遺構配置図 …… 199
第127図　川原館遺跡Ｃ区SK …… 200
第128図　川原館遺跡Ｃ区SD …… 203
第129図　川原館遺跡Ｃ区SE・SN …… 204
第130図　川原館遺跡Ｃ区SX …… 205
第131図　川原館遺跡Ｃ区SP分割図…… 208
第132図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図あ・あ (1) … 209
第133図　川原館遺跡Ｃ区SPあ (2) …… 210
第134図　川原館遺跡Ｃ区SPあ (3) …… 211
第135図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図い…… 212
第136図　川原館遺跡Ｃ区SPい…… 213
第137図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図う…… 214
第138図　川原館遺跡Ｃ区SPう (1) …… 215
第139図　川原館遺跡Ｃ区SPう (2) …… 216
第140図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図え…… 217
第141図　川原館遺跡Ｃ区SPえ…… 218
第142図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図お…… 219

第143図　川原館遺跡Ｃ区SPお…… 220
第144図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図か…… 221
第145図　川原館遺跡Ｃ区出土土器
SK・SD・SE・SX・SP　…… 222
第146図　川原館遺跡Ｃ区遺構外出土遺物 …… 224
第147図　川原館遺跡Ｄ区遺構配置図 …… 227
第148図　川原館遺跡Ｄ区SI …… 228
第149図　川原館遺跡Ｄ区出土土器SI …… 228
第150図　川原館遺跡Ｄ区SK (1) …… 237
第151図　川原館遺跡Ｄ区SK (2) …… 238
第152図　川原館遺跡Ｄ区SK (3) …… 239
第153図　川原館遺跡Ｄ区SK (4) …… 240
第154図　川原館遺跡Ｄ区SK (5) …… 241
第155図　川原館遺跡Ｄ区出土土器SK　…… 242
第156図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SK　…… 243
第157図　川原館遺跡Ｄ区SD (1) …… 249
第158図　川原館遺跡Ｄ区SD (2) …… 250
第159図　川原館遺跡Ｄ区SD (3) …… 251
第160図　川原館遺跡Ｄ区SD (4) …… 252
第161図　川原館遺跡Ｄ区SD (5) …… 253
第162図　川原館遺跡Ｄ区出土土器SD　…… 254
第163図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SD　…… 255
第164図　川原館遺跡Ｄ区SE…… 256
第165図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SE…… 257
第166図　川原館遺跡Ｄ区SN　…… 259
第167図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SN　…… 260
第168図　川原館遺跡Ｄ区SP分割図…… 270
第169図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図あ…… 271
第170図　川原館遺跡Ｄ区SPあ (1) …… 272
第171図　川原館遺跡Ｄ区SPあ (2) …… 273
第172図　川原館遺跡Ｄ区SPあ (3) …… 274
第173図　川原館遺跡Ｄ区SPあ (4) …… 275
第174図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図い…… 276
第175図　川原館遺跡Ｄ区SPい (1) …… 277
第176図　川原館遺跡Ｄ区SPい (2) …… 278
第177図　川原館遺跡Ｄ区SPい (3) …… 279
第178図　川原館遺跡Ｄ区SPい (4) …… 280
第179図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図う…… 281
第180図　川原館遺跡Ｄ区SPう (1) …… 282
第181図　川原館遺跡Ｄ区SPう (2) …… 283
第182図　川原館遺跡Ｄ区SPう (3) …… 284
第183図　川原館遺跡Ｄ区SPう (4) …… 285
第184図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図え…… 286
第185図　川原館遺跡Ｄ区SPえ (1) …… 287
第186図　川原館遺跡Ｄ区SPえ (2) …… 288
第187図　川原館遺跡Ｄ区SPえ (3) …… 289
第188図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図お・か…… 290
第189図　川原館遺跡Ｄ区SPか (1) …… 291
第190図　川原館遺跡Ｄ区SPか (2) …… 292
第191図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図き…… 293
第192図　川原館遺跡Ｄ区SPき (1) …… 294
第193図　川原館遺跡Ｄ区SPき (2) …… 295
第194図　川原館遺跡Ｄ区SPき (3) …… 296
第195図　川原館遺跡Ｄ区SPき (4) …… 297
第196図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図く…… 298
第197図　川原館遺跡Ｄ区SPく (1) …… 299
第198図　川原館遺跡Ｄ区SPく (2) …… 300
第199図　川原館遺跡Ｄ区SPく (3) …… 301
第200図　川原館遺跡Ｄ区SPく (4) …… 302
第201図　川原館遺跡Ｄ区SPく (5) …… 303
第202図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図け・け(1)… 304
第203図　川原館遺跡Ｄ区SPけ (2) …… 305
第204図　川原館遺跡Ｄ区SPけ (3) …… 306
第205図　川原館遺跡Ｄ区SPけ (4) …… 307
第206図　川原館遺跡Ｄ区SPけ (5) …… 308
第207図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図こ…… 309
第208図　川原館遺跡Ｄ区SPこ (1) …… 310
第209図　川原館遺跡Ｄ区SPこ (2) …… 311
第210図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SP…… 312
第211図　川原館遺跡Ｄ区遺構外出土土器 …… 313
第212図　川原館遺跡Ｄ区遺構外出土遺物 …… 314
第213図　川原館遺跡Ｆ区遺構配置図 …… 321
第214図　川原館遺跡Ｆ区SK (1) …… 324
第215図　川原館遺跡Ｆ区SK (2) …… 325
第216図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SK　…… 326
第217図　川原館遺跡Ｆ区SD (1) …… 332

第218図　川原館遺跡Ｆ区SD (2) …… 333
第219図　川原館遺跡Ｆ区SD (3) …… 334
第220図　川原館遺跡Ｆ区SD (4) …… 335
第221図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SD　…… 336
第222図　川原館遺跡Ｆ区出土遺物SD　…… 337
第223図　川原館遺跡Ｆ区SE…… 339
第224図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SE…… 340
第225図　川原館遺跡Ｆ区SP分割図…… 344
第226図　川原館遺跡Ｆ区SP区分図あ…… 345
第227図　川原館遺跡Ｆ区SPあ (1) …… 346
第228図　川原館遺跡Ｆ区SPあ (2) …… 347
第229図　川原館遺跡Ｆ区SPあ (3) …… 348
第230図　川原館遺跡Ｆ区SPあ (4) …… 349
第231図　川原館遺跡Ｆ区SPあ (5) …… 350
第232図　川原館遺跡Ｆ区SP区分図い…… 351
第233図　川原館遺跡Ｆ区SPい (1) …… 352
第234図　川原館遺跡Ｆ区SPい (2) …… 353
第235図　川原館遺跡Ｆ区SPい (3) …… 354
第236図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SP…… 355
第237図　川原館遺跡Ｆ区遺構外出土遺物(1)… 356
第238図　川原館遺跡Ｆ区遺構外出土遺物(2)… 357
第239図　川原館遺跡Ｇ区遺構配置図 …… 362
第240図　川原館遺跡Ｇ区SI …… 363
第241図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SI …… 363
第242図　川原館遺跡Ｇ区SK (1) …… 370
第243図　川原館遺跡Ｇ区SK (2) …… 371
第244図　川原館遺跡Ｇ区SK (3) …… 372
第245図　川原館遺跡Ｇ区SK (4) …… 373
第246図　川原館遺跡Ｇ区SK (5) …… 374
第247図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SK　…… 375
第248図　川原館遺跡Ｇ区SD (1) …… 379
第249図　川原館遺跡Ｇ区SD (2) …… 380
第250図　川原館遺跡Ｇ区SD (3) …… 381
第251図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SD　…… 382
第252図　川原館遺跡Ｇ区SE…… 383
第253図　川原館遺跡Ｇ区SP分割図…… 389
第254図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図あ・い …… 390
第255図　川原館遺跡Ｇ区SPい…… 391
第256図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図う…… 392
第257図　川原館遺跡Ｇ区SPう (1) …… 393
第258図　川原館遺跡Ｇ区SPう (2) …… 394
第259図　川原館遺跡Ｇ区SPう (3) …… 395
第260図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図え・え (1)… 396
第261図　川原館遺跡Ｇ区SPえ (2) …… 397
第262図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図お・か (1)… 398
第263図　川原館遺跡Ｇ区SPか (2) …… 399
第264図　川原館遺跡Ｇ区SPか (3) …… 400
第265図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図き…… 401
第266図　川原館遺跡Ｇ区SPき (1) …… 402
第267図　川原館遺跡Ｇ区SPき (2) …… 403
第268図　川原館遺跡Ｇ区SPき (3) …… 404
第269図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図く…… 405
第270図　川原館遺跡Ｇ区SPく (1) …… 406
第271図　川原館遺跡Ｇ区SPく (2) …… 407
第272図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図け…… 408
第273図　川原館遺跡Ｇ区SPけ (1) …… 409
第274図　川原館遺跡Ｇ区SPけ (2) …… 410
第275図　川原館遺跡Ｇ区SPけ (3) …… 411
第276図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図こ…… 412
第277図　川原館遺跡Ｇ区SPこ (1) …… 413
第278図　川原館遺跡Ｇ区SPこ (2) …… 414
第279図　川原館遺跡Ｇ区SPこ (3) …… 415
第280図　川原館遺跡Ｇ区SPこ (4) …… 416
第281図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SP…… 416
第282図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土土器(1)… 418
第283図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土土器(2)… 419
第284図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土土器(3)… 420
第285図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土遺物 …… 421

表目次

第１表　周辺の遺跡……　15
第２表　川原館遺跡Ａ区SP観察表　……　54
第３表　川原館遺跡Ａ区出土土器観察表……　81
第４表　川原館遺跡Ａ区出土木製品観察表……　87
第５表　川原館遺跡Ａ区出土石器・石製品観察表
……　88

第６表　川原館遺跡Ａ区出土土製品観察表……　89
第７表　川原館遺跡Ａ区出土鉄関連遺物観察表
……　89
第８表　川原館遺跡Ａ区出土古銭観察表……　89
第９表　川原館遺跡Ｂ区SP観察表　……147
第10表　川原館遺跡Ｂ区出土土器観察表　……181
第11表　川原館遺跡Ｂ区出土木製品観察表　…196
第12表　川原館遺跡Ｂ区出土石器・
石製品観察表　……196
第13表　川原館遺跡Ｂ区出土土製品観察表　…196
第14表　川原館遺跡Ｂ区出土鉄関連
遺物観察表　……197
第15表　川原館遺跡Ｂ区出土古銭観察表　……197
第16表　川原館遺跡Ｃ区SP観察表　……205
第17表　川原館遺跡Ｃ区出土土器観察表　……225
第18表　川原館遺跡Ｃ区出土鉄関連
遺物観察表　……225
第19表　川原館遺跡Ｄ区SP観察表　……261
第20表　川原館遺跡Ｄ区出土土器観察表　……315
第21表　川原館遺跡Ｄ区出土木製品観察表　…318
第22表　川原館遺跡Ｄ区出土石器・
石製品観察表　……319
第23表　川原館遺跡Ｄ区出土土製品観察表　…319
第24表　川原館遺跡Ｄ区出土鉄関連
遺物観察表　……319
第25表　川原館遺跡Ｄ区出土古銭観察表　……319
第26表　川原館遺跡Ｆ区SP観察表　……341
第27表　川原館遺跡Ｆ区出土土器観察表　……358
第28表　川原館遺跡Ｆ区出土木製品観察表　…359
第29表　川原館遺跡Ｆ区出土石器・
石製品観察表　……359
第30表　川原館遺跡Ｆ区出土鉄関連
遺物観察表　……360
第31表　川原館遺跡Ｆ区出土古銭観察表　……360
第32表　川原館遺跡Ｇ区SP観察表　……383
第33表　川原館遺跡Ｇ区出土土器観察表　……422
第34表　川原館遺跡Ｇ区出土土製品観察表　…425
第35表　川原館遺跡Ｇ区出土鉄関連
遺物観察表……425

第Ⅰ章　調査の概要

第１節　調査に至る経緯

青森市浪岡事務所都市整備課（以下、都市整備課）は、青森市浪岡大字浪岡字岡田から女鹿沢字東早稲田付近までの延長約2,500m、幅員約６mに及ぶ佐野沖蕄線道路整備事業を計画した。計画地内には川原館遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号201－377）が該当していたが、計画地の大部分については隣接地や未登録地であったことから、平成24年５月１日・７日に当委員会が分布調査を実施した。その結果、計画地付近の地表面に縄文土器片、土師器片などが認められたことから、都市整備課と当課が協議し、発掘調査の要否等を判断するため、付近一帯の試掘・確認調査を実施することとした。試掘・確認調査は、平成24年10月22日～平成24年12月５日まで実施し、その結果、土坑、溝跡、ピットを確認したほか、縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器などが出土した。以上の調査結果を踏まえ、北中野字中道付近を中道遺跡（201－428）、女鹿沢字東早稲田付近を東早稲田遺跡（201－429）として新規登録し、浪岡字浅井付近について川原館遺跡の東側を範囲拡張の手続きを行うとともに都市整備課と協議を行い、平成25年度より発掘調査を実施することとした。

第２節　調査要項

１．調 査 の 目 的

佐野沖蕄線道路整備事業に先立ち、予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図るとともに、地域社会の文化財活用に資する。

２．遺跡名及び所在地

川原館遺跡　（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号 201－377）青森市浪岡大字浪岡字浅井地内
中道遺跡　　（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号 201－428）青森市浪岡大字北中野字中道地内
東早稲田遺跡（青森県埋蔵文化財包蔵地台帳番号 201－429）青森市浪岡大字女鹿沢字東早稲田地内

３．発 掘 調 査 期 間

１年次　平成25年８月28日～平成25年11月15日
２年次　平成26年５月22日～平成26年11月21日
３年次　平成27年４月13日～平成27年９月30日

４．調 査 面 積　１年次　490㎡
２年次　3,548㎡
３年次　2,730㎡

５．調 査 委 託 者　青森市浪岡事務所都市整備課

６．調 査 受 託 者　青森市教育委員会

７．調 査 担 当 機 関　青森市教育委員会事務局文化財課

８．調 査 体 制　調査事務局　青森市教育委員会事務局

平成25年度

教 育 長　月永　良彦　　文化財主査　木村　淳一

教育部長	福井　正樹	文化財主査	小野　貴之
理　　事	工藤　壽彦	〃	児玉　大成（調整担当）
教育次長	成田　清明	〃	設楽　政健（調査担当）
文化財課長	吉田　　亘	主　　事	中村　健祐
副参事	木村　浩一	〃	笹田　貴子

平成26年度

教　育　長	月永　良彦	文化財主査	木村　淳一
教育部長	福井　正樹	〃	小野　貴之
理　　事	成田　清明	〃	児玉　大成（調整担当）
課　　長	白取　慎也	〃	設楽　政健（調査担当）
副参事	木村　浩一	主　　事	雪田　幸成

平成27年度

教　育　長	月永　良彦	文化財主査	木村　淳一
教育部長	成田　聖明	〃	小野　貴之
理　　事	横山　克広	〃	設楽　政健（調査担当）
課　　長	白取　慎也	主　　事	雪田　幸成
主　　幹	児玉　大成（調整担当）		

第３節　調査方法

グリッドについては公共座標を基準とし、調査区全体が網羅されるように４×４ｍのメッシュを設定した（第３図）。グリッドの呼称については東側に向かって１、２、３……の順に算用数字、南に向かってＡ、Ｂ、Ｃ……の順にアルファベットを付し、両者の組み合わせで呼称した（例　Ａ－１、Ａ－２、Ａ－３）。測量原点は、道路整備工事のために設置された杭（T13－8：H＝29.433m）を基準とし、調査区の各所へ移動・設置した。発掘調査区については便宜的に発掘調査順に川原館遺跡をＡ～Ｇ区、中道遺跡をＡ～Ｆ区に区分けした（第２図）。遺構精査は原則として、竪穴遺構については４分法、土坑・ピットについては２分法を採用し、その他については必要に応じてセクションベルトを設定し、断面図を作成した。平面図作成にあたっては簡易遣り方測量とトータルステーションを併用して作成し、図面の縮尺は基本的に20分の１を採用し、必要に応じて40分の１や60分の１を採用した。遺物は遺構内、遺構外出土遺物ともに各層毎に一括し、必要に応じて番号を付して取り上げた。写真は土層断面、完掘状況、遺物出土状況を中心にデジタルカメラで撮影した。調査区内では、地下水の湧出が認められ、雨が降っていなくてもすぐに水がたまってしまうため、水中ポンプを稼働しながら調査を行ったほか、調査区内に排水用の溝を作り対応した。

第４節　調査経過

発掘調査にあたっては、調査順に川原館遺跡をＡ～Ｇ区、中道遺跡をＡ～Ｆ区に区分けして実施した。１年次は平成25年８月28日～平成25年11月15日の日程で川原館遺跡Ａ区と中道遺跡Ａ区を対象に

実施し、掘立柱建物跡、土坑、溝跡、井戸跡、カマド状遺構などを検出したほか、土師器、須恵器、陶磁器、木製品が出土した。２年次は平成26年５月22日～11月21日の日程で川原館遺跡Ｂ～Ｅ区と中道遺跡Ｂ～Ｆ区を対象に実施し、竪穴遺構、土坑、溝跡、堀跡、井戸跡などを検出したほか、土師器、須恵器、陶磁器、木製品が出土した。なお、Ｅ区は調査の結果、削平されている状況を確認したため、本書では除外した。３年次は平成27年４月13日～９月30日の日程で川原館遺跡Ｆ・Ｇ区と東早稲田遺跡を対象に実施し、土坑、溝跡、堀跡、井戸跡などを検出したほか、土師器、須恵器、陶磁器、木製品が出土した。

平成25年度

平成25年８月28日に川原館遺跡Ａ区の発掘調査開始。プレハブ設置後、機材搬入やプレハブ周辺の環境整備を行った。遺構確認の結果、土坑、溝跡、井戸跡、カマド状遺構、ピットを確認した。北側と南側に溝跡が東西に広がり、その間にピットや土坑が集中する状況であり、９月初旬より調査区の北側から南側へと遺構精査を進め、10月２日に川原館遺跡Ａ区の発掘調査を終了した。10月３日からは中道遺跡Ａ区の発掘調査開始。遺構確認の結果、土坑、溝跡、井戸跡、カマド状遺構、ピットを確認した。10月中旬からは調査区北側から精査を進めた。発掘調査は当初10月30日までの予定であったが、遺構密度が高かったことや地下水の湧出が多く、常に水汲みをしないと水没してしまうため、期間内に終了することができないと考えられたことから、発掘調査期間を11月15日まで延長した。最終日である11月15日に機材撤収、プレハブ等を撤去し、すべての作業を終了した。

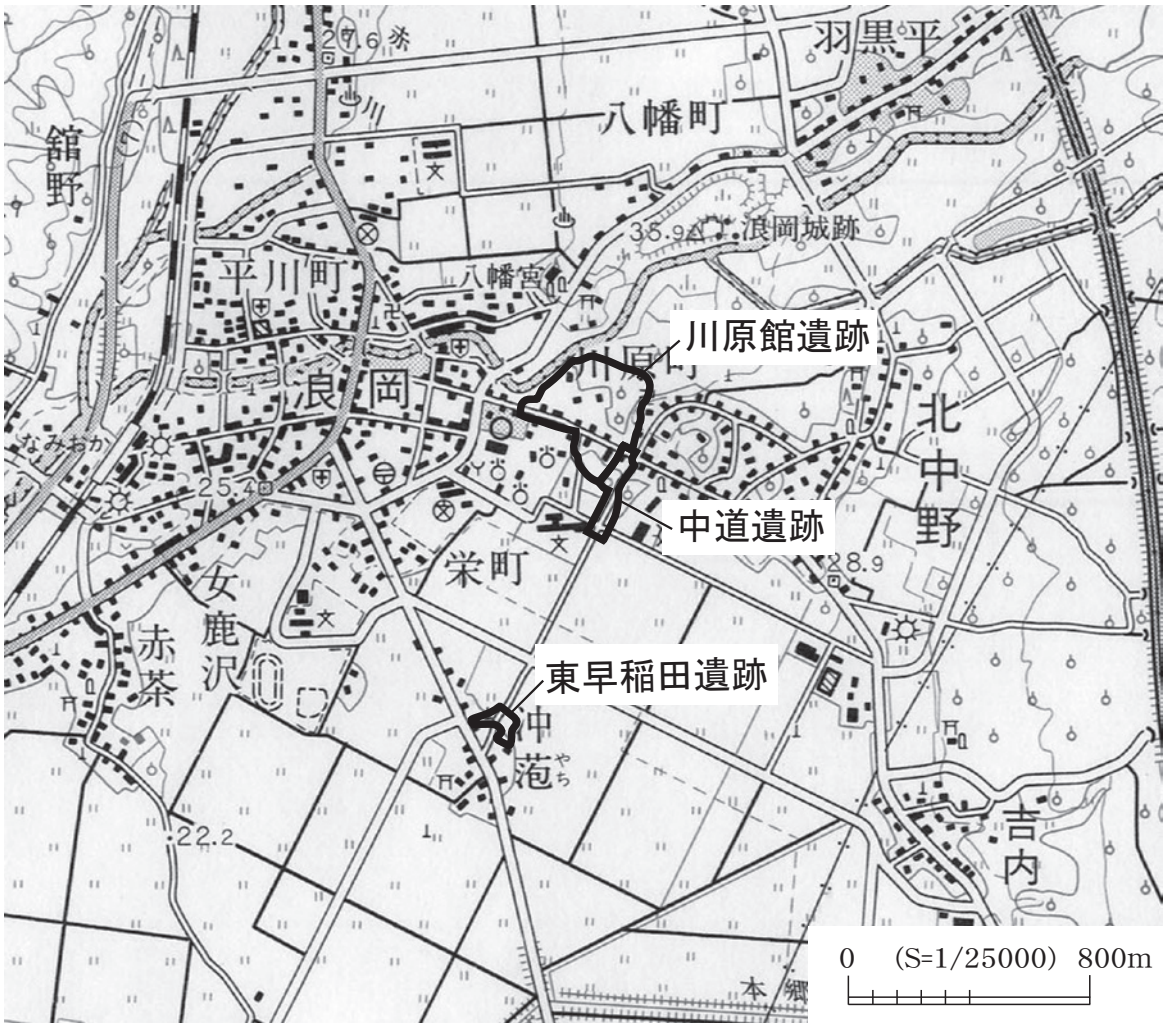
平成26年度

平成26年５月22日に中道遺跡Ｂ区から発掘調査開始。遺構確認を行った結果、土坑、溝跡、堀跡、井戸跡、ピットを確認した。５月末から側溝北側のピット群、溝跡や堀跡が集中する中央部～南部へと進み、６月上旬からは隣接する道路部分の調査に着手した。側溝部分と同様に北側から中央部・南部へと精査を進め、６月24日午前に中道遺跡Ｂ区の調査を終了した。同日午後からは中道遺跡Ｃ区の発掘調査開始。遺構確認の結果、掘立柱建物跡、土坑、溝跡、井戸跡、焼土遺構、ピット等を確認し、７月上旬から遺構精査を行い、７月28日に中道遺跡Ｃ区の調査を終了した。７月10日からは中道遺跡Ｃ区の調査と並行して川原館遺跡Ｂ区西側の調査を行った。遺構確認の結果、竪穴遺構、土坑、溝跡、井戸跡、ピットを確認した。７月中旬より北側から南側へと精査を進めた。８月上旬からはＢ区東側へ移動し、遺構確認を行った結果、竪穴遺構、土坑、溝跡、井戸跡、焼土遺構、ピットを確認した。調査区南側から精査を行い、９月３日に川原館遺跡Ｂ区の調査を終了した。８月26日からは川原館遺跡Ｂ区の調査と並行して中道遺跡Ｄ区の調査開始。遺構確認の結果、土坑、溝跡、井戸跡、ピット等を確認した。８月末から遺構精査を行い、９月18日に中道遺跡Ｄ区の調査を終了した。９月17日からは中道遺跡Ｄ区と並行して中道遺跡Ｅ区の調査を開始したが、溝跡１条と土師器１点のみ検出し、９月26日に終了した。９月24日からは中道遺跡Ｅ区と並行して川原館遺跡Ｃ区の調査開始。遺構確認の結果、土坑、溝跡、井戸跡、ピットを確認した。９月末から遺構精査を進め、10月17日に川原館遺跡Ｃ区の調査を終了した。川原館遺跡Ｃ区と並行して10月２日より川原館遺跡Ｄ区の調査開始。遺構確認の結果、竪穴遺構、土坑、溝跡、井戸跡、ピットを確認した。10月中旬より遺構精査に着手し、調査区北側から南側へと遺構精査を進めた。10月下旬からは調査区南側の大溝を重機で掘り下げ、排土から遺物を回収する作業を行った。当初発掘調査期間は５月22日～10月30日までの予定であったが、地下からの湧

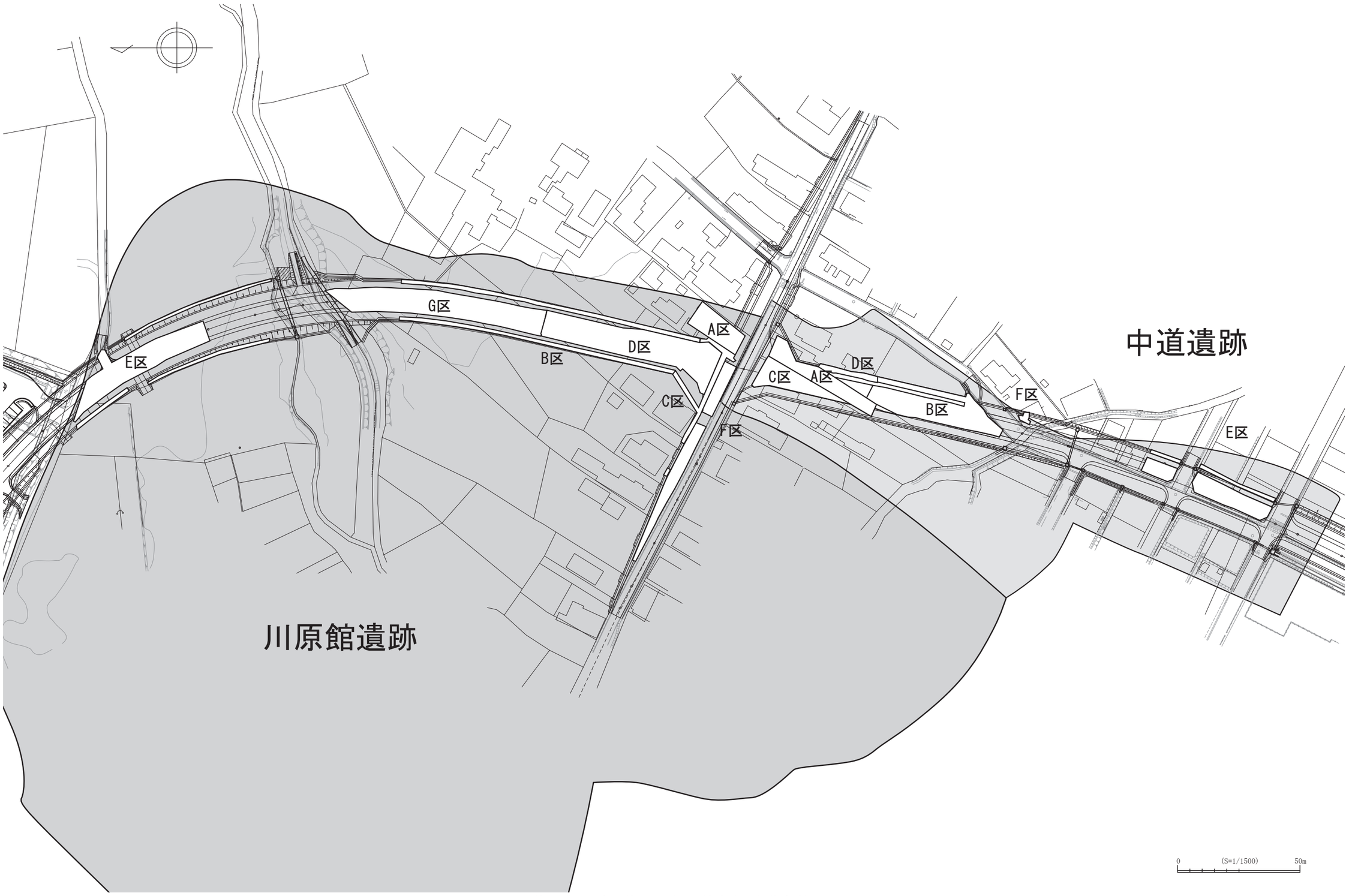
水や遺構密度が高かったことから、11月21日まで調査期間を延長した。10月24日からは川原館遺跡D区と並行して中道遺跡F区の調査開始。圃場整備済地が大部分であったが、溝跡１条を検出し、11月11日に終了した。また、11月12日から川原館E区の調査開始。転地返しを受けており、遺構・遺物は確認できなかった。11月21日に川原館遺跡D区の調査を終了し、平成26年度の発掘調査を終了した。

平成27年度

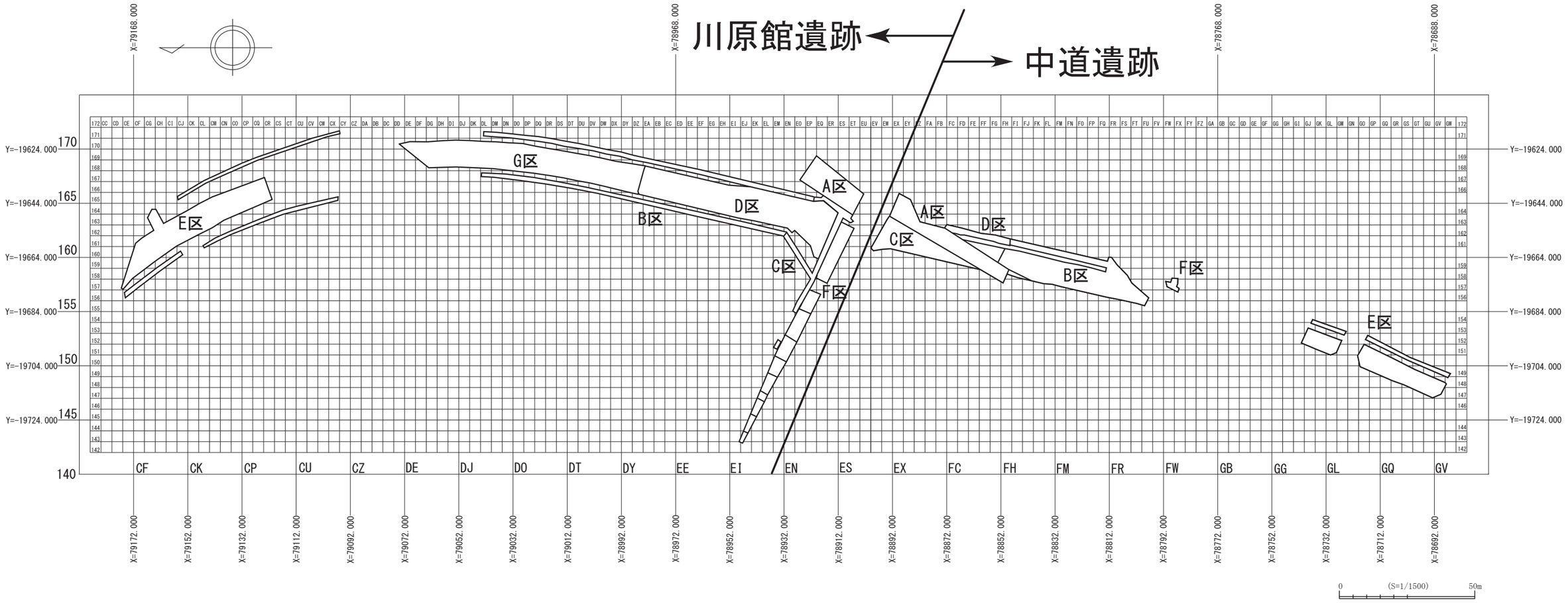
平成27年４月13日に川原館遺跡F区の発掘調査開始。表土処理の終わった地点より遺構確認を行った結果、土坑、溝跡、堀跡、井戸跡、ピットを確認した。４月下旬から調査区北側より遺構精査を進め、５月14日に終了した。５月15日から川原館遺跡G区の発掘調査開始。調査開始前に表土処理が終了していたため、遺構確認を行った結果、土坑、溝跡、堀跡、井戸跡、ピットを確認した。遺構精査は、時間のかかりそうな大溝から着手し、その後、調査区南側から順次精査を進め、６月30日に川原館遺跡G区の調査を終了した。７月１日からは東早稲田遺跡の調査開始。大部分が圃場整備によって削平されており、遺構確認の結果、溝跡、ピットを確認した。調査区北側から精査を進め、９月30日に調査を終了した。



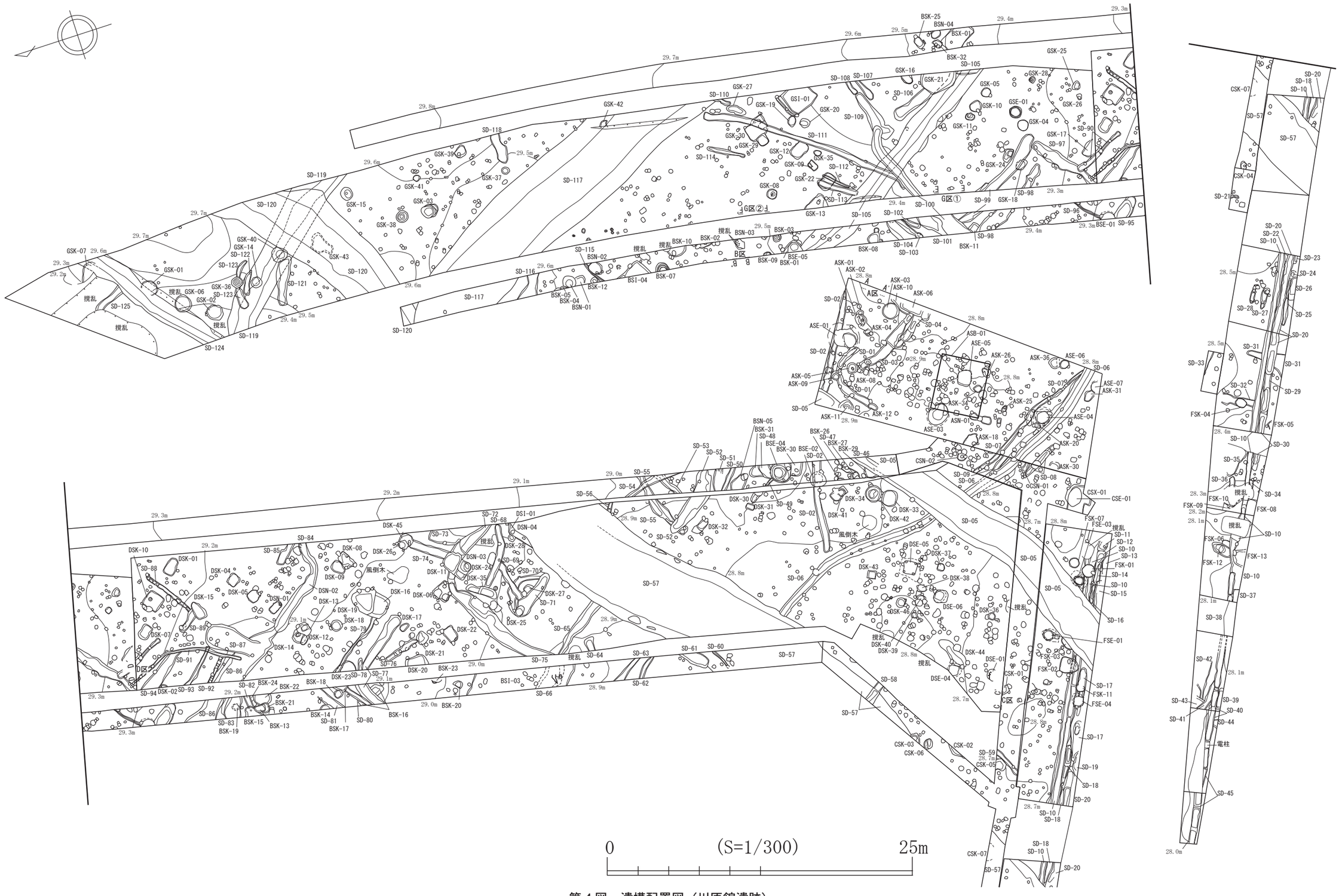
第１図　遺跡位置図



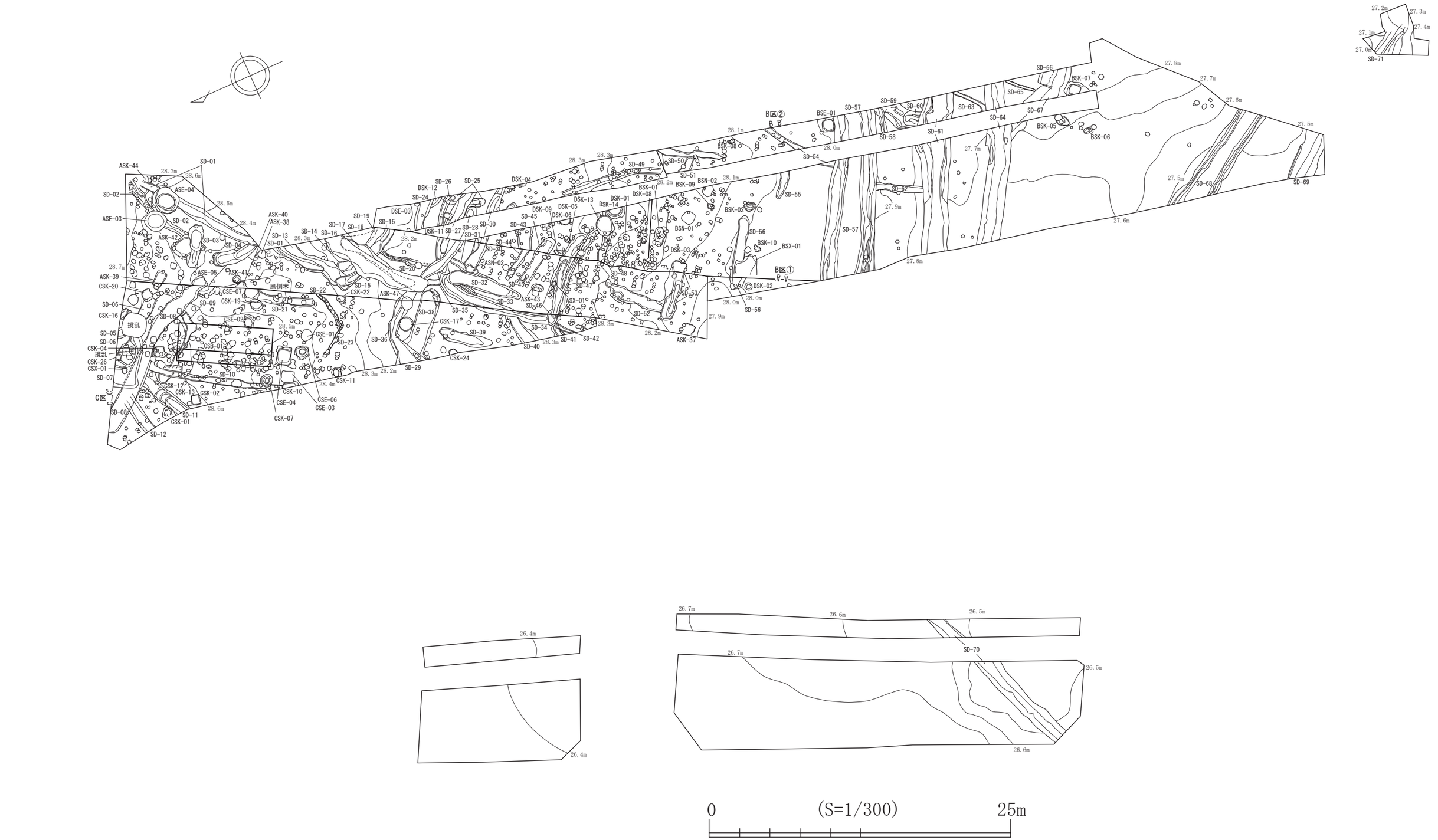
第２図　調査区位置図（川原館遺跡・中道遺跡）



第３図　グリッド配置図（川原館遺跡・中道遺跡）

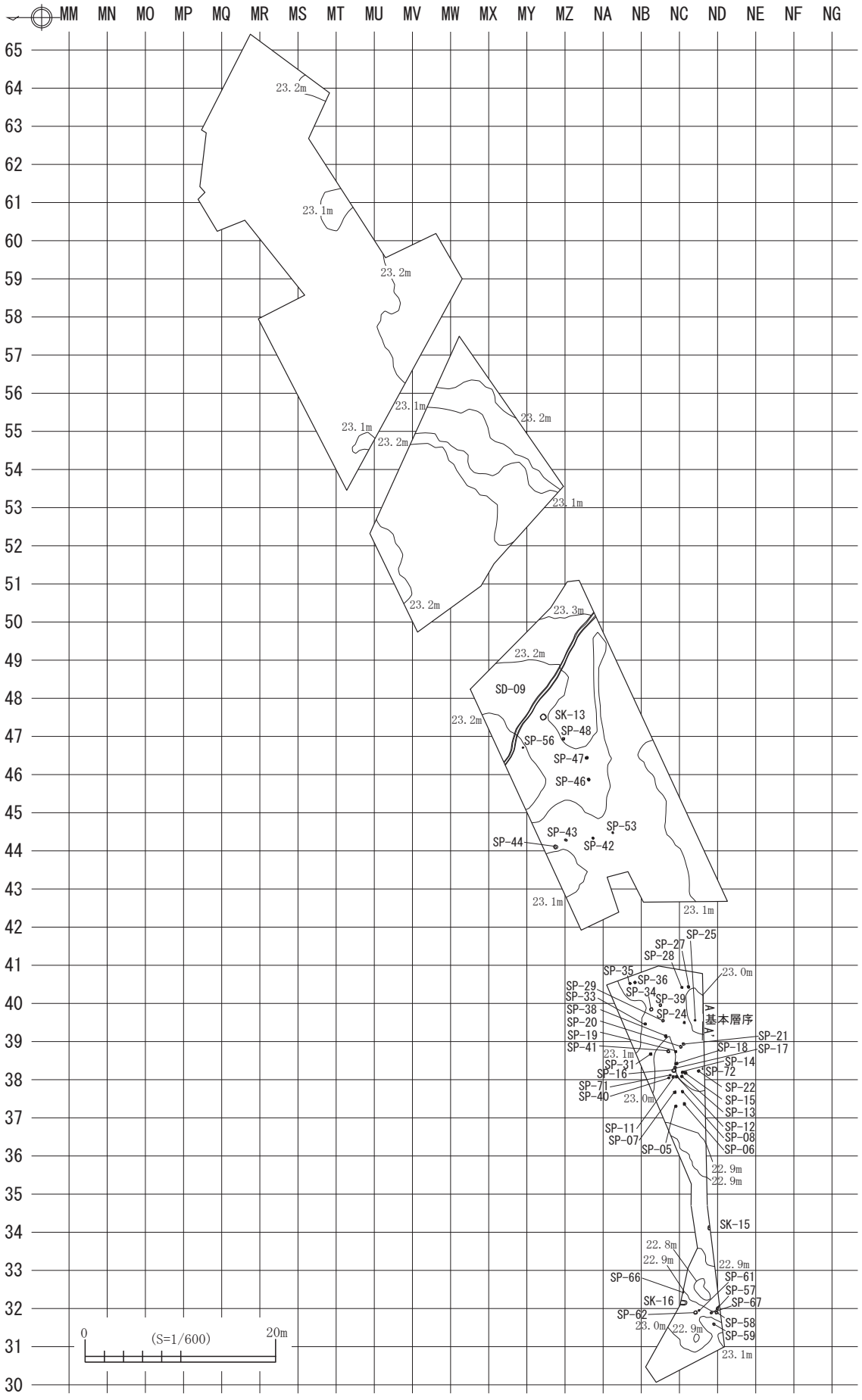


第４図　遺構配置図（川原館遺跡）



0 (S=1/300) 25m

第５図　遺構配置図（中道遺跡）



第６図　グリッド・調査区・遺構配置図（東早稲田遺跡）

第Ⅱ章　遺跡の環境

第１節　遺跡の位置

川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡は青森市市街地から約17㎞離れた、青森市浪岡大字浪岡字浅井・北中野字中道・女鹿沢字東早稲田に所在している。第１図のとおり、川原館遺跡と中道遺跡は一部範囲を接しており、東早稲田遺跡は中道遺跡から直線距離で約700ｍ離れた地点に位置している。

青森市浪岡地区は、東側に標高60ｍ前後の大釈迦丘陵、北～西側に標高200～300ｍの梵珠山地から延びる前田野目台地、南側に津軽平野が広がる地形となっている。東西を山地や丘陵に囲まれた間には梵珠山地を源とする大釈迦川が流れており、大釈迦丘陵を源に流れる浪岡川と杉沢字山元付近で合流して十川となる。本遺跡は浪岡川によって形成された標高30ｍ前後の扇状地の先端部にあり、現状は住宅地のほか、リンゴ畑や水田などとして利用されている。遺跡西側には青森市役所浪岡庁舎、南側には青森市立浪岡南小学校が位置している。遺跡が立地する扇状地のほか、大釈迦丘陵や津軽平野では帯水層が発達し、地下水が豊富に存在することが知られている（青森県　1982）。地下水は本遺跡でも多量に湧出しており、地下水の影響により通常の遺跡では腐って残らない木製品が多量に出土している。

第２節　遺跡の歴史的環境

川原館遺跡外が位置する前述の扇状地付近には、縄文時代～近世に属する遺跡が分布しており、本遺跡をはじめとして、浪岡城跡、浪岡城遺跡などの中世城館も多く分布している。

縄文時代の遺跡は、羽黒平（3）遺跡、平野遺跡、源常平遺跡、杉ノ沢遺跡がある。羽黒平（3）遺跡は、平成６年に浪岡町教育委員会が試掘調査を実施しており、縄文時代晩期の土坑、埋設土器、溝跡、集石遺構を確認したほか、縄文時代前期～弥生時代の土器、石器が出土した（浪岡町教育委員会1995）。平野遺跡は、平成12年度に浪岡町教育委員会が試掘調査、13年度に浪岡町教育委員会が発掘調査を実施しており、縄文時代後期の土坑墓、集石遺構、石棺墓、埋設土器が検出されており、玉類が出土したほか、青森県では初めて後期の土坑墓から籃胎漆器が出土した（浪岡町教育委員会　2001・2002）。源常平遺跡は、昭和51年に東北縦貫自動車道建設に伴い青森県教育委員会によって発掘調査が実施されており、平安時代の集落跡のほか、縄文時代中期後半の竪穴住居跡、縄文時代晩期の竪穴住居跡、土坑、溝状土坑、埋設土器遺構、晩期を主体とする土坑墓が検出されており、土坑墓からは土器、玉類、耳飾などの副葬品が多量に出土した（青森県教育委員会　1978）。

弥生時代の遺跡は平野遺跡があり、平成13年に浪岡町教育委員会によって発掘調査が実施されており、縄文時代の土坑墓のほか、弥生時代後期の土坑墓が検出され、天王山式土器や玉類、石鏃、赤色紐状製品などの副葬品が出土した（浪岡町教育委員会　2002）。

平安時代の遺跡は、羽黒平（1）遺跡、松山遺跡、源常平遺跡、杉ノ沢遺跡があげられる。羽黒平（1）遺跡は平成５・６年に主要地方道青森浪岡線建設に伴い青森県教育委員会によって発掘調査が実施されており、平安時代の竪穴住居跡（外周溝）、溝跡、土坑、井戸跡、掘立柱建物跡、製鉄炉が検出されたほか、土師器、須恵器、羽口、鉄滓が出土した（青森県教育委員会　1996）。松山遺跡は、平成５年に青森県教育委員会によって発掘調査が実施されており、平安時代の竪穴住居跡、土坑、溝跡が検

出されてほか、土師器・須恵器が出土している（青森県教育委員会　1995）。源常平遺跡は、昭和51年に東北縦貫自動車道建設に伴い青森県教育委員会によって発掘調査が実施されており、平安時代の竪穴住居跡、掘立柱建物跡、溝跡などを検出したほか、土師器、須恵器、擦文土器、鉄製品、陶磁器が出土した。調査では、12世紀後半から13世紀前半の陶磁器を伴う空堀２条が確認されており、北畠氏家臣の居館である源常館に推定されている（青森県教育委員会　1978）。杉ノ沢遺跡は、昭和52年に東北縦貫自動車道建設に伴い青森県教育委員会によって発掘調査が実施されており、平安時代の竪穴住居跡、円形周溝、掘立柱建物跡のほか、土師器、須恵器、鉄製品、木製品、陶磁器、古銭などが出土した（青森県教育委員会　1979）。

中世の遺跡は、浪岡城跡、浪岡城遺跡がある。浪岡城跡は、15世紀後半～16世紀末の浪岡北畠氏の居城とされる中世城館で、８つの郭から構成されている。昭和52～62年に旧浪岡町教育委員会によって北館と内館を中心に発掘調査が実施されており、掘立柱建物跡、竪穴建物跡、井戸跡のほか、12世紀後半～16世紀末までの陶磁器、金属製品、木製品、石製品、古銭などが出土した（浪岡町教育委員会　1978、1980、1981、1982、1983、1984、1985、1986、1988、1989）。浪岡城遺跡は、浪岡城を構成する８つの郭のうち、無名の館とされる部分で、昭和60年に浪岡町教育委員会によって発掘調査が実施されており、浪岡城跡と同時期の15世紀～16世紀と考えられる堀跡２条、シガラミ状遺構、不明遺構のほか、陶磁器、木製品、銭貨などが出土している（浪岡町教育委員会　1986）。

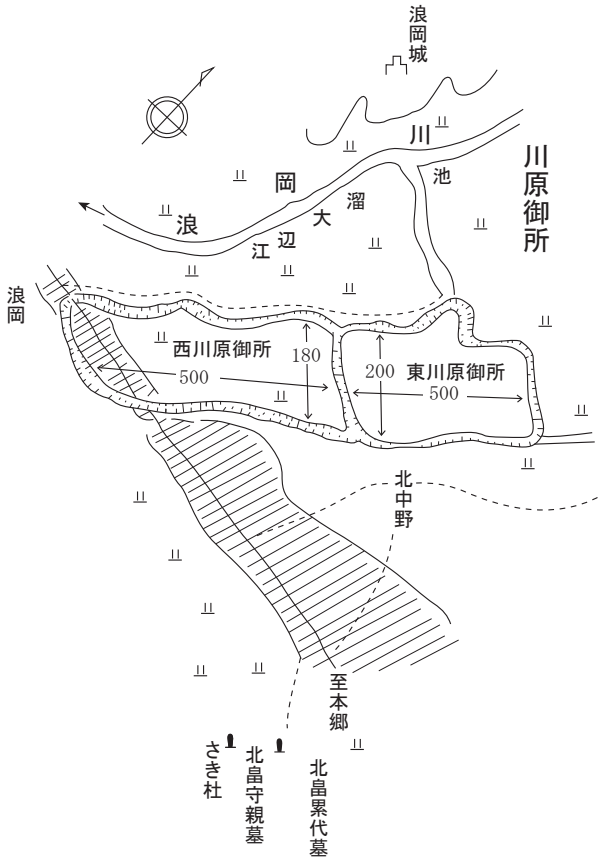
川原館遺跡は北畠氏の後裔が拠った中世城館とされており、浪岡城跡（浪岡御所）に対して川原御所と呼ばれた（青森県教育委員会　1983）。この川原御所の縄張りについては不明な点が多いが、津軽諸城の研究によれば、現在の県道浪岡北中野黒石線付近から東側を東川原御所、西側を西川原御所の２郭に分けており（第６図）、東川原御所は東西約500m、南北約200mの不整方形、西川原御所は東西約500m、南北約180mの不整三角形を呈し、それぞれ水濠で囲まれていたとしている（沼館　1981）。

第１表　周辺の遺跡

番号	遺跡名	種別	所在地	時代	文献
1	川原館遺跡	城館跡	浪岡大字浪岡字浅井	平安・中世	浪岡町教育委員会 2002、青森市教育委員会 2013
2	中道遺跡	集落跡	浪岡大字北中野字中道	平安	青森市教育委員会 2013
3	東早稲田遺跡	散布地	浪岡大字女鹿沢字東早稲田	平安	青森市教育委員会 2013
4	浪岡城跡	城館跡	浪岡大字浪岡字五所	平安・中世・近世	浪岡町教育委員会 1978・1980・1981・1982・1983・1984・1985・1986・1988・1989
5	浪岡城遺跡	城館跡	浪岡大字浪岡字前田	平安・中世・近世	浪岡町教育委員会 1986
6	加茂神社遺跡	集落跡	浪岡大字五本松字松本	縄文（後）・平安	青森市教育委員会 2009
7	岡本遺跡	集落跡	浪岡大字五本松字岡本	平安・中世・近世	青森市教育委員会 2009
8	羽黒平（1）遺跡	集落跡	浪岡大字五本松字羽黒平	縄文・弥生・平安	浪岡町教育委員会 1981、青森県教育委員会 1995・1996
9	羽黒平（2）遺跡	散布地	浪岡大字五本松字羽黒平	縄文（晩）・平安・中世	
10	羽黒平（3）遺跡	集落跡	浪岡大字五本松字羽黒平	縄文（晩）・平安・中世	浪岡町教育委員会 1995
11	平野遺跡	集落跡	浪岡大字五本松字平野	縄文（後・晩）・弥生・平安	浪岡町教育委員会 2001・2002
12	松山寺遺跡	集落跡	浪岡大字五本松字羽黒平、字野脇	縄文（中・後）・平安・中世	
13	松山遺跡	集落跡	浪岡大字五本松字野脇	縄文（中・後・晩）・平安・中世	青森県教育委員会 1995
14	天狗平遺跡	城館跡	浪岡大字北中野字上沢田	縄文（中・後）・中世	
15	春日社遺跡	散布地	浪岡大字北中野字沢田	縄文（後）	
16	源常平遺跡	城館跡	浪岡大字北中野字上沢田	縄文（中・後・晩）・平安・中世・近世	青森県教育委員会 1978
17	浪岡崎（1）遺跡	散布地	浪岡大字北中野字中坪	縄文	
18	浪岡崎（2）遺跡	散布地	浪岡大字北中野字中坪	縄文（晩）	
19	天王遺跡	散布地	浪岡大字北中野字天王	平安	
20	桃里（2）遺跡	散布地	浪岡大字北中野字桃里	縄文（後）・平安	
21	王田館遺跡	城館跡	浪岡大字北中野字桃里	平安	
22	北畠館	城館跡	浪岡大字吉内字山下	中世	
23	桃里（1）遺跡	散布地	浪岡大字吉内字山下	平安	
24	杉ノ沢遺跡	集落跡	浪岡大字吉内字杉ノ沢	縄文（後）・平安	青森県教育委員会 1979
25	博奕打ヶ沢遺跡	散布地	浪岡大字吉内字博奕打ヶ沢	縄文・平安	
26	吉内遺跡	集落跡	浪岡大字吉内字山下	縄文・弥生・平安	
27	杉ノ沢（2）遺跡	散布地	浪岡大字吉内字杉ノ沢	縄文（後）	
28	杉ノ沢（3）遺跡	散布地	浪岡大字吉内字杉ノ沢	縄文	
29	篠原遺跡	散布地	浪岡大字本郷字篠原	縄文（後）・弥生	青森市教育委員会 2006
30	沖林遺跡	散布地	浪岡大字北中野	平安	
31	女鹿沢遺跡	散布地	浪岡大字女鹿沢字東早稲田、字稲本	平安	

0　(S=1/25000)　800m

第７図　周辺の遺跡位置図



第８図　川原御所縄張図（沼館　1981に加筆・修正）

第３節　基本層序

基本層序は以下のとおり、川原館遺跡及び中道遺跡は７層、東早稲田遺跡は４層に分層した。

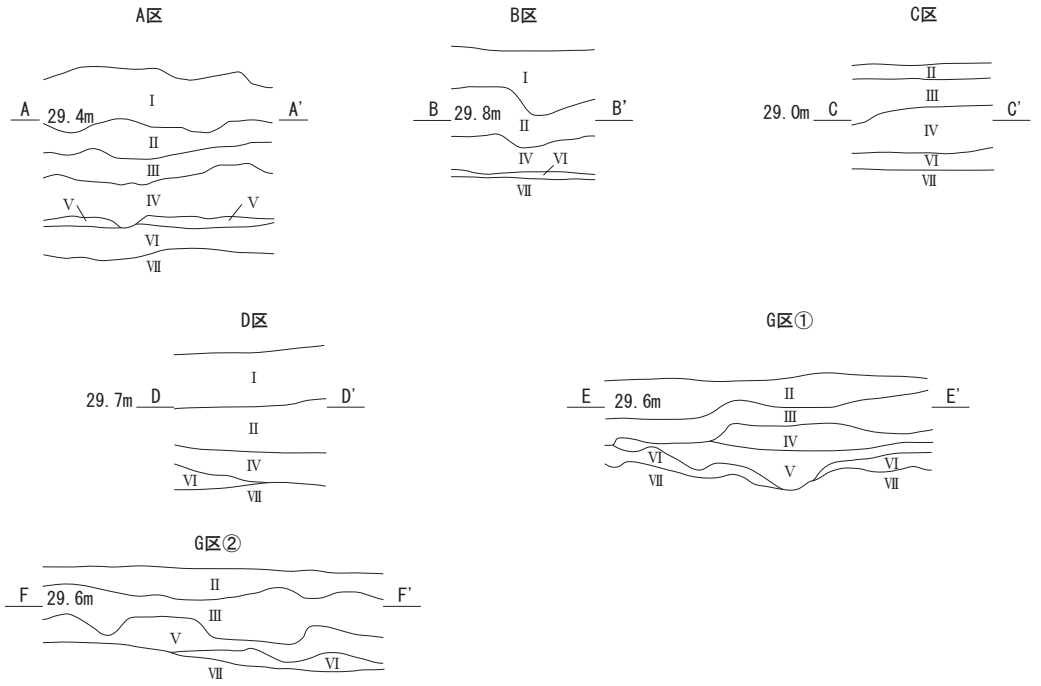
川原館遺跡・中道遺跡

第Ⅰ層	10YR3／3	暗褐色土	ロームブロック少量、炭化物微量、表土。
第Ⅱ層	10YR2／3	黒褐色土	ローム粒少量、酸化鉄微量
第Ⅲ層	10YR3／1	黒褐色土	ロームブロック中量
第Ⅳ層	10YR2／1	黒色土	ローム粒中量、ロームブロック微量
第Ⅴ層	10YR1．7／1	黒色土	ローム粒中量
第Ⅵ層	10YR3／3	暗褐色土	10YR4／4褐色土との混合層。漸移層
第Ⅶ層	10YR4／4	褐色土	地山ローム層

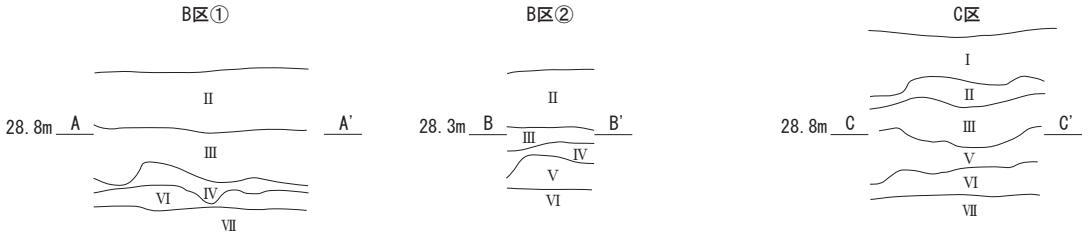
東早稲田遺跡

第Ⅰ層	10YR2／3	黒褐色土	ローム粒少量、炭化粒微量、焼土粒微量
第Ⅱ層	10YR3／2	黒褐色土	ローム粒中量、焼土粒微量
第Ⅲ層	10YR3／1	黒褐色土	ローム粒多量、ロームブロック少量
第Ⅳ層	10YR5／4	にぶい黄褐色	地山ローム層

川原館遺跡



中道遺跡



東早稲田遺跡

第 9 図　基本層序

第Ⅲ章　川原館遺跡

第１節　概要

川原館遺跡からは竪穴遺構４棟、掘立柱建物跡１棟、土坑152基、溝跡124条、井戸跡19基、カマド状遺構８基、焼土遺構４基、その他の遺構２基、ピット1715基を検出したほか、土師器、須恵器、擦文土器、製塩土器や珠洲、越前、常滑などの陶磁器、木製品、土製品、石器・石製品、鉄関連遺物、古銭が出土した。

第２節　Ａ区

１．掘立柱建物跡

ASB－01（第11図）

EQ－166、ER－165～167、ES－166グリッドで検出した。平面形は方形で、桁行２間、梁行２間の建物である。規模は長軸504㎝×短軸430㎝を測る。Pit1～8まで検出し、各ピットの規模は、Pit1（ASP－112）＝長軸62×短軸60×深さ38㎝、Pit2（ASP－249）＝長軸60×短軸54×深さ28㎝、Pit3（ASP－250）＝長軸50×短軸50×深さ24㎝、Pit4（ASP－275）＝長軸73×短軸64×深さ60㎝、Pit5（ASP－195）＝長軸42×短軸40×深さ60㎝、Pit6（ASP－126）＝長軸38×短軸38×深さ54㎝、Pit7（ASP－276）＝長軸64×短軸54×深さ54㎝、Pit8（ASP－277）＝長軸60×短軸54×深さ28㎝を測る。主軸方位はN－62°－Wである。遺物はPit1から鉄関連遺物１点（第12図鉄１）、Pit8から礫石器２点（第12図石１・２）を図示した。石１・２は台石と考えられる。鉄１は流動滓と考えられる。

２．土坑

ASK－01（第13図）

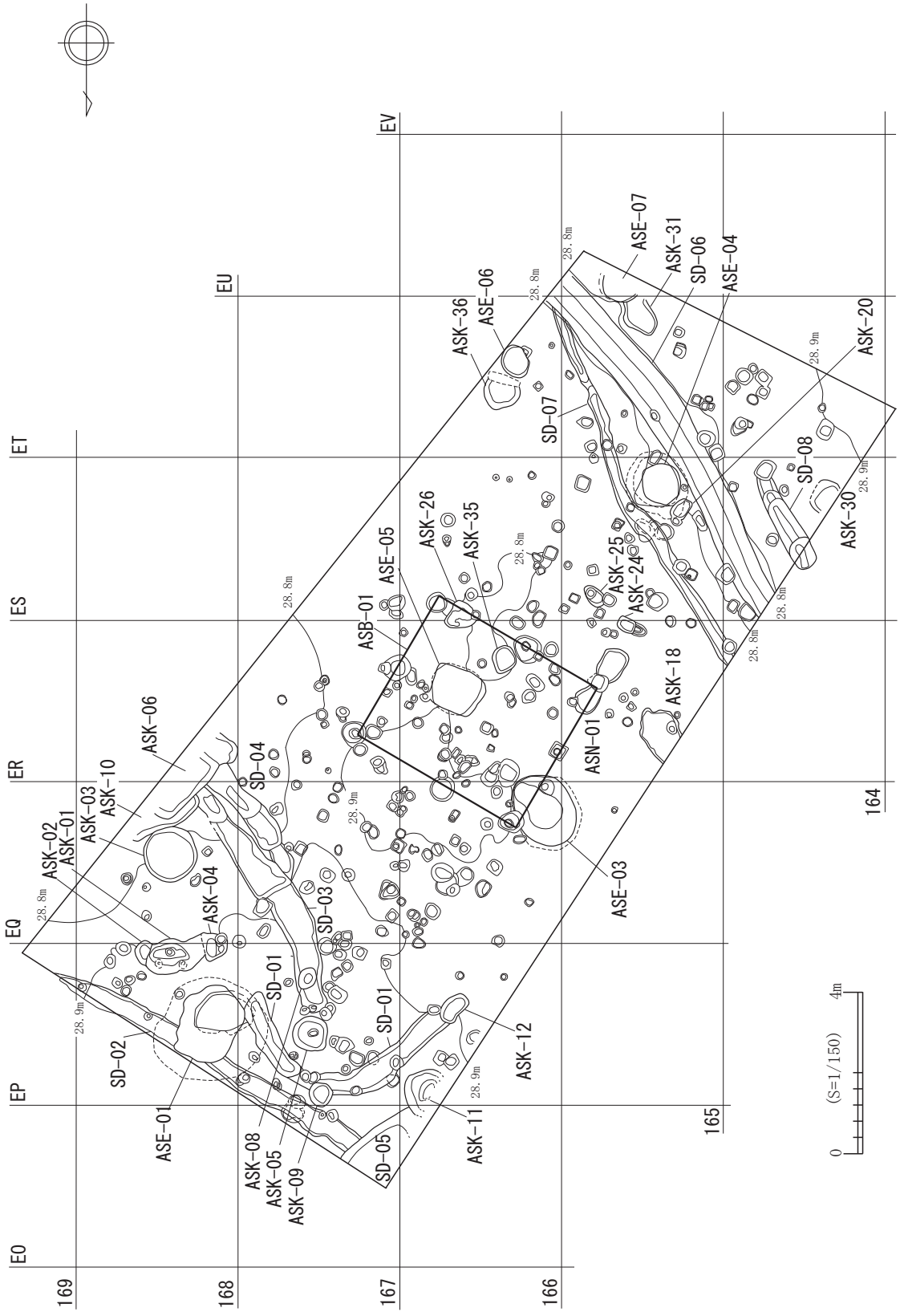
EP・EQ－168グリッドで検出した。ASK－02、04、ASP－20・21と重複している。本遺構がASK－02を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASP－20・21が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ASK－04との新旧関係は不明である。平面形は不整形で、規模は長軸150×短軸86×深さ50㎝を測る。底面はやや凹凸が見られ、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は10層に分層した。黒褐色土主体で堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物が出土していないため、帰属時期は不明である。

ASK－02（第13図）

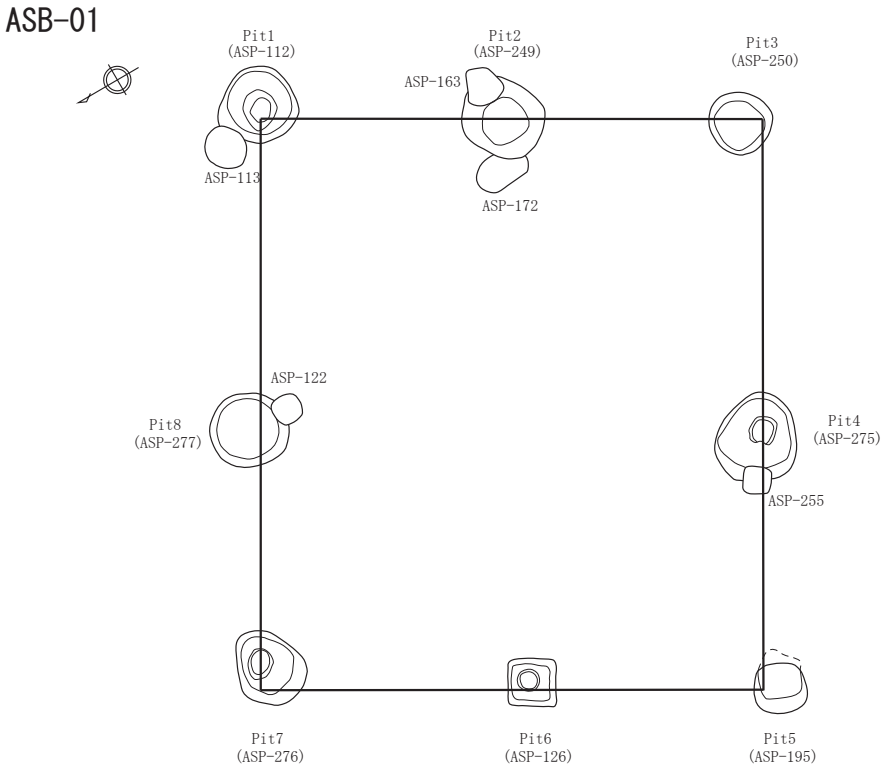
EP・EQ－168グリッドで検出した。ASK－01と重複している。ASK―01が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整円形で、規模は長軸60×短軸38×深さ22㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁はやや急角度に立ち上がる。堆積土は２層に分層した。暗褐色土とにぶい黄褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物が出土していないため、帰属時期は不明である。

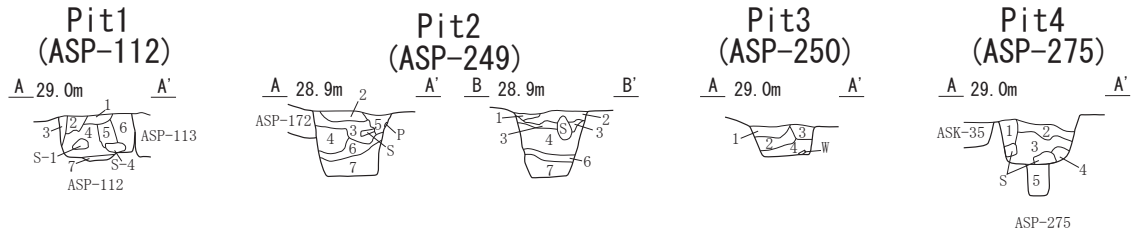
ASK－03（第13図）

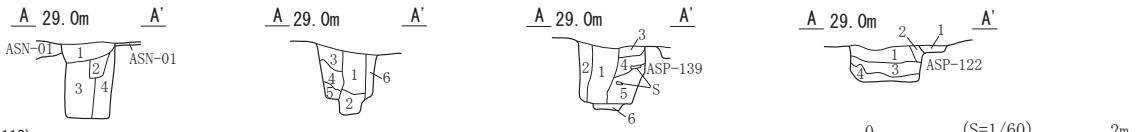
EQ－168グリッドで検出した。ASK－10と重複しており、本遺構が新しい。平面形は円形で長軸138

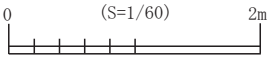


第10図　川原館遺跡Ａ区遺構配置図









Pit1(ASP-112)
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)微量
第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、木片少量
第6層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、木片中量
第7層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量

Pit2(ASP-249)
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)少量、
炭化粒(φ1mm)極微量、焼土粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、
炭化粒(φ1mm)極微量、焼土粒(φ1mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、
ロームブロック(φ10～50mm)少量
第4層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 砂質、ロームブロック(φ10～50mm)少量
第5層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量
第6層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～4mm)中量
第7層 10YR4/2 灰黄褐色土 砂粒中量

Pit3(ASP-250)
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～7mm)微量、
粘土ブロック(φ10～20mm)微量
第2層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、
ロームブロック(φ50mm)少量
第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、
粘土ブロック(φ10～50mm)少量

Pit4(ASP-275)
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～7mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～10mm)少量、
炭化物ブロック(φ10mm)少量
第4層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)中量
第5層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ2～3mm)少量

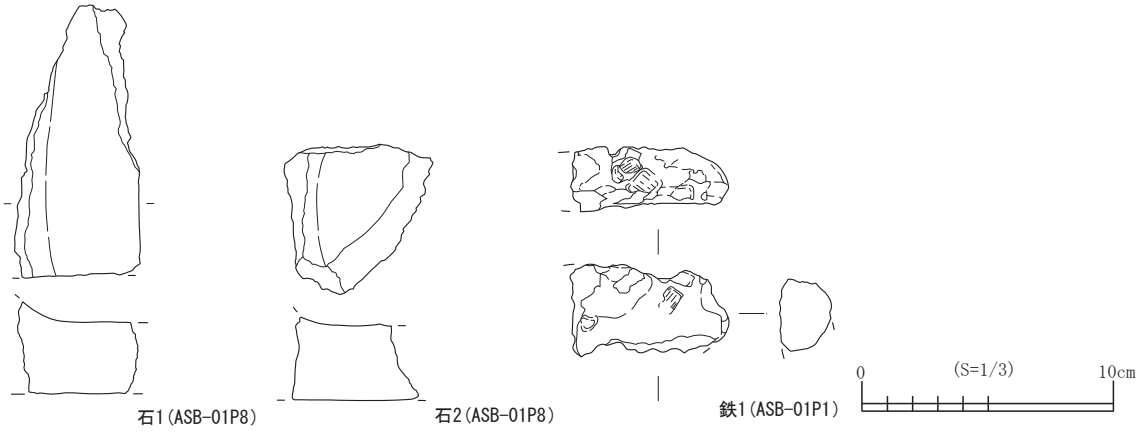
Pit5(ASP-195)
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～10mm)中量、焼土粒(φ3～4mm)微量
第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2～4mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～5mm)少量

Pit6(ASP-126)
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、10YR5/4にぶい黄褐色少量混入
第4層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)中量
第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第6層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 砂質10YR2/1黒色土少量混入

Pit7(ASP-276)
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量、
腐った木、層状に少量混入
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～3mm)微量、
ロームブロック(φ10～30mm)中量
第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ3～5mm)少量、
ロームブロック(φ20～40mm)中量
第5層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ3～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量
第6層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量

Pit8(ASP-277)
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)中量、
ロームブロック(φ10～20mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量
第4層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、
褐色土ブロック(φ20～30mm)中量

第11図　川原館遺跡Ａ区SB



第12図　川原館遺跡Ａ区出土遺物SB

×短軸132×深さ38㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は５層に分層した。黒褐色を主体とする土層が堆積しており、底面直上の５層は炭化物を多く含んでいる。人為堆積と考えられる。遺物は木製品７点を図示した（第16図木１～７）。用途不明の板材４点、桶側板１点、漆塗椀１点、下駄１点である。木１は両端が折損しており、表裏面ともに加工痕が認められる。木２は下端が斜めに削られて片刃状を呈する。木３は桶の側板で、表裏面ともに柿渋が塗布されている。木４は用途不明の薄い板材で表面には赤漆が塗布されている。木５は椀で外面には黒漆、内面には赤漆が塗られている。木６は用途不明の棒状に近い板材で、断面形が長方形に整形されている。木７は連歯下駄である。

ASK－04（第13図）

EP・EQ－168グリッドで検出した。ASK－01、ASP－10と重複している。ASK－01、ASP－10が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整方形で、規模は長軸70×短軸60×深さ18㎝を測る。底面はやや凹凸が見られ、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は３層に分層し、黒褐色土を主体とした土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物が出土していないため、帰属時期は不明である。

ASK－05（第13図）

EP－167グリッドで検出した。平面形は不整円形で、規模は長軸92×短軸88×深さ28㎝を測る。壁はやや急角度に立ち上がり、底面は中心部がやや凹んでいる。堆積土は５層に分層し、黒褐色・暗褐色土を主体とした土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

ASK－06（第13図）

EQ・ER－168グリッドで検出した。ASK－10、SD－03と重複している。本遺構がASK－10、SD－03を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は長方形で、規模は長軸246×短軸65×深さ56㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は６層に分層し、黒色・黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕２点を図示した（第15図１・２）。１は口縁部～体部で、体部は微妙に丸みを帯びるように立ち上がり、口縁部はくの字状に外反する。２は体部で、外面ヘラナデ、内面ハケメ調整が施されている。

ASK－08（第13図）

EP－167グリッドで検出した。SD－03と重複している。本遺構がSD－03を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は隅丸方形で、規模は長軸58×短軸43×深さ30㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層し、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、人為堆積と考えられる。

ASK－09（第14図）

EO・EP－167グリッドで検出した。SD－03と重複している。本遺構がSD－03を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整円形で、規模は長軸58×短軸58×深さ25㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁はやや急角度に立ち上がる。エレベーションのみの確認である。遺物は土師器坏１点を図示した（第15図３）。３はロクロ調整が施されており、底部は回転糸切が認められる。

ASK－10（第13図）

EQ－168グリッドで検出した。ASK－03、06、SD－03と重複している。本遺構がSD－03を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASK－03、06が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形で、残存部分の規模は長軸192×短軸38×深さ28㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁は丸みを帯びて立ち上がる。堆積土は３層に分層し、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、珠洲壺１点を図示した（第15図４・５）。４は非ロクロ坏の口縁部～底部で、外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整され、底部には柾目痕が認められる。５は珠洲壺の体部～底部で内外面ともにロクロ調整の後、ヘラケズリが施されている。

ASK－11（第14図）

EO・EP－166グリッドで検出した。SD－05と重複している。本遺構がSD－05を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整円形で、規模は長軸122×短軸62×深さ24㎝を測る。底面はやや凹凸が認められ、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は７層に分層し、３～５層が柱痕、そのほかの土層は埋土と考えられる。人為堆積と考えられる。

ASK－12（第14図）

EP－166グリッドで検出した。ASP－262と接しているが、新旧関係は不明である。平面形は不整楕円形で、規模は長軸82×短軸47×深さ10㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は２層に分層し、黒色土が堆積している。人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕を１点図示した（第15図６）。６は小甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線的で口縁部が緩やかに外反する。

ASK－18（第14図）

ER－165グリッドで検出した。ASP－66と重複している。ASP－66が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形で、規模は長軸110×短軸98×深さ12㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は２層に分層し、黒色・黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、小甕１点、須恵器甕１点を図示した（第15図７～９）。７は坏の体部～底部

で、内外面ともにロクロ調整が施され、底部は静止糸切である。８は小甕の口縁部～体部で内外面ともにナデによって調整され、外面には輪積痕が認められる。９は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデによって調整されている。

ASK－20（第14図）

ES－165グリッドで検出した。ASP－229と重複しているが、新旧関係は不明である。平面形は不整楕円形で、規模は長軸50×短軸40×深さ26㎝を測る。底面はやや凹凸が認められ、壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は３層に分層し、黒褐色とにぶい黄褐色を主体とする土層が堆積しており、人為堆積と考えられる。

ASK－24（第14図）

ER・ES－165グリッドで検出した。ASP－213と重複している。本遺構がASP－213を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は隅丸方形で、規模は長軸50×短軸35×深さ30㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は４層に分層し、黒褐色を主体とする土層が堆積しており、全体にロームブロックを混入しており、人為堆積と考えられる。

ASK－25（第14図）

ES－165グリッドで検出した。ASP－200と重複している。ASP－200が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形で、規模は長軸62×短軸39×深さ22㎝を測る。底面はやや段をもち、壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は４層に分層し、黒色を主体とする土層が堆積しており、粘土ブロック、ロームが混入していることから人為堆積と考えられる。

ASK－26（第14図）

ER・ES－166グリッドで検出した。ASP－166と重複している。ASP－166が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形で、規模は長軸76×短軸70×深さ22㎝を測る。底面はやや凹凸が見られ、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は４層に分層し、黒色を主体とする土層が堆積しており、人為堆積と考えられる。

ASK－30（第14図）

ES－164グリッドで検出した。平面形は不整円形で、規模は長軸84×短軸48×深さ30㎝を測る。底面は鍋底状で、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は４層に分層し、にぶい黄褐色・黄褐色を主体とする土層が堆積しており、人為堆積と考えられる。

ASK－31（第14図）

ET－165グリッドで検出した。ASE－07と重複しており、本遺構が古い。平面形は不整形で、規模は長軸96×短軸73×深さ10㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は２層に分層し、黒色・黒褐色土が堆積しており、人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点を図示した（第15図10）。10は体部～底部の資料で、内外面ともにロクロ調整が施され、底部は回転糸切である。

ASK－35（第14図）

ER－166グリッドで検出した。平面形は不整円形で、規模は長軸73×短軸64×深さ20㎝を測る。底面はほぼ平坦で、長軸22×短軸20×深さ24㎝のピットを確認した。壁はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は２層に分層し、黒色、暗褐色土が堆積している。多量の礫が混入しており、人為堆積と考えられる。

ASK－36（第14図）

ET－166グリッドで検出した。平面形は不整円形で、規模は長軸90×短軸80×深さ18㎝を測る。底面はやや凹凸が見られ、壁は緩やかに立ち上がる。堆積土は５層に分層し、黒色・暗褐色を主体とする土層が堆積しており、人為堆積と考えられる。

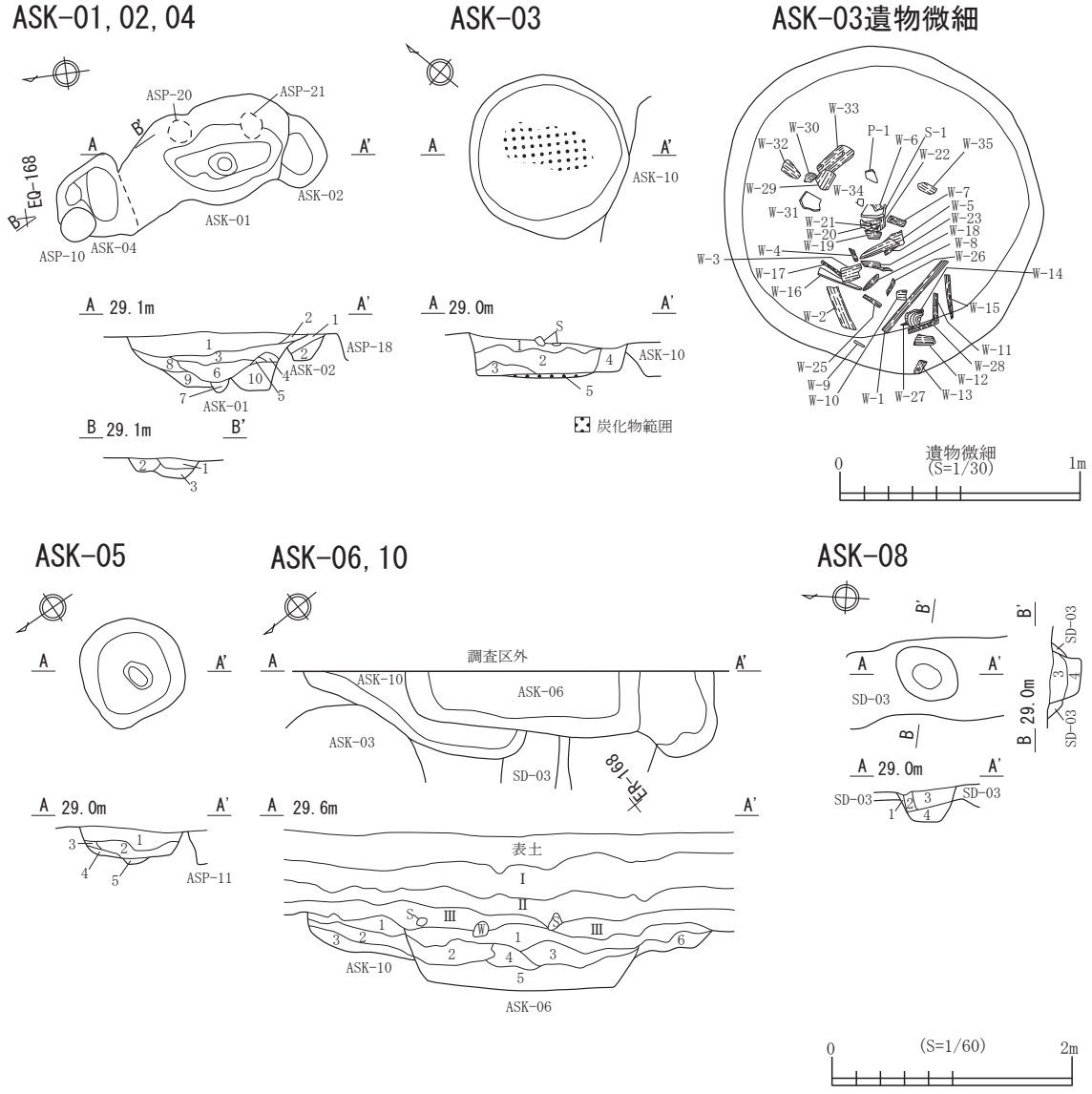
３．溝跡

SD－01（第17図）

EP－166・167グリッドで検出した。ASK－09、12、ASE－01、ASP－39・40、45・46、260・261・262と重複しており、ASK－09、12、ASE－01、ASP－45・46、261、262が本遺構より新しく、ASP－39・40、260が本遺構より古い。弧状を呈し、規模は延長588㎝、幅76㎝、深さ22㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁は急角度に立ち上がる。堆積土は２層に分層し、黒褐色を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、甕１点、小甕１点、ミニチュア土器２点、須恵器壺１点（第21図11～16）、鉄関連遺物１点（第33図鉄２）を図示した。11は内外面ともにロクロ調整が施されており、口縁部がやや端反る形状を呈する。12は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁がやや外反する。13は小甕の底部付近の資料で、内面には爪痕が認められる。14はミニチュア土器の底部で、外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整されている。15はミニチュア土器の口縁部～体部の資料で、外面はヘラナデ、内面はナデによって調整されており、内外面ともに指頭圧痕が認められる。16は須恵器長頸壺の口縁部で、内外面ともにロクロナデによって調整されている。鉄２は粘土質溶解物である。羽口の先端または炉壁が溶解したもので表面は流動状を呈する。

SD－02（第17図）

EN－164・165、EO－165・167、EP－167～169グリッドで検出した。Ａ区でASE－01、SD－05、ASP－01・02、23・24、26、263・264・265・266、Ｂ区でBSE－02、BSP－165、170、Ｄ区でDSP－293・294と重複しており、ASE－01、SD－05、ASP－23・24、263・264・265・266、BSP－165、170、DSP－293が本遺構より新しく、ASP－01・02、26、BSE－02、DSP－294が古い。Ａ区、Ｂ区、Ｄ区に跨っており、Ａ区内は直線的で、Ｃ・Ｄ区では微妙に蛇行しており、規模は延長21.18m、幅64㎝、深さ12㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁はやや急角度に立ち上がる。南西壁寄りからピット１基を検出した。平面形は円形を呈し、規模はPit1＝長軸30×短軸25×深さ48㎝を測る。堆積土は４層に分層し、黒褐色を主体とする。４層上面よりＢ－Tm火山灰を確認したが、部分的な確認であり、流れ込みによるものと考えられる。遺物はＡ区から土師器坏２点（第21図17・18）、土製品４点（第33図土１～３、５）、Ｂ区から陶磁器１点（第21図19）、土製品１点（第33図土４）を図示した。17は坏の口縁部～体部の資料で、内外面ロクロ調整が施され、外面は更にヘラケズリによって調整されている。18は坏の底部の資料で、ロクロナデによって調整されており、底部は貼付高



ASK-01
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ2～4mm)少量、焼土粒(φ3～4mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)少量
第4層　10YR4/4　褐色土　黒褐色土少量
第5層　10YR5/6　黄褐色土
第6層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)少量、炭化粒(φ3～4mm)少量
第7層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～4mm)少量
第8層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)中量
第9層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第10層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ3～5mm)少量

ASK-02
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR4/3　にぶい黄褐色土

ASK-03
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ3～4mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ2～8mm)少量
第4層　10YR5/6　黄褐色土　パミス粒(φ2～3mm)少量
第5層　10YR4/2　灰黄褐色土　炭化粒(φ1～3mm)中量、ローム粒(φ1～4mm)少量

ASK-04
第1層　10YR1.7/1黒色土　炭化粒(φ1～3mm)少量、ローム粒(φ2～3mm)微量、
第2層　10YR2/2　黒褐色土　炭化粒(φ1～2mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ4～10mm)微量

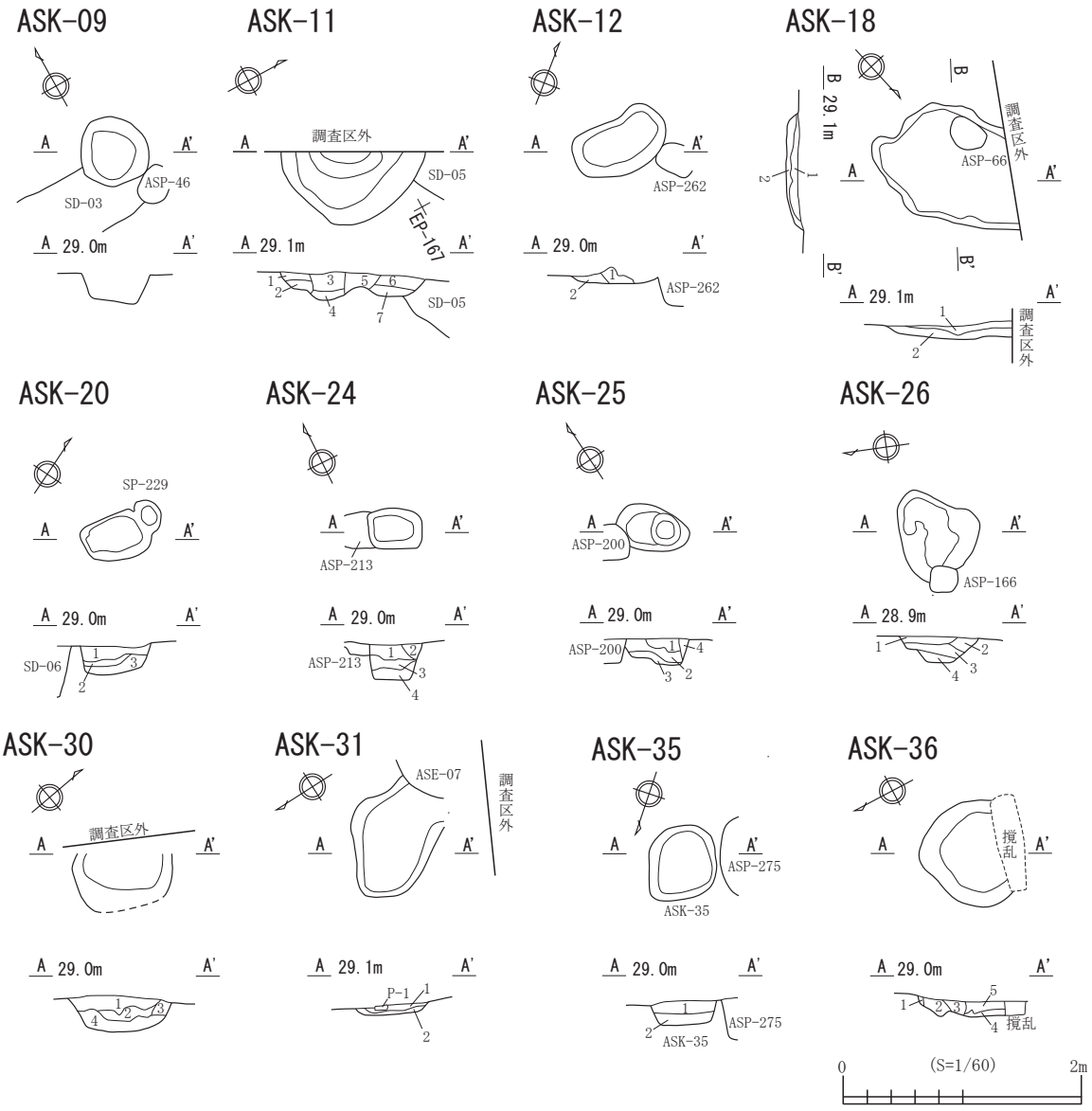
ASK-05
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ2～9mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　炭化粒(φ2～4mm)少量
第3層　10YR3/4　暗褐色土
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第5層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ3～5mm)少量

ASK-06
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～10mm)中量、砂粒多量　炭化粒(φ3～4mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ2～4mm)少量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)微量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第5層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ2～10mm)少量、炭化粒(φ2～4mm)少量
第6層　10YR5/4　にぶい黄褐色土　パミス粒(φ3～6mm)中量

ASK-08
第1層　10YR6/4　にぶい黄橙色土
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ3～5mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ4～6mm)微量

ASK-10
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層　10YR2/2　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、砂粒多量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量

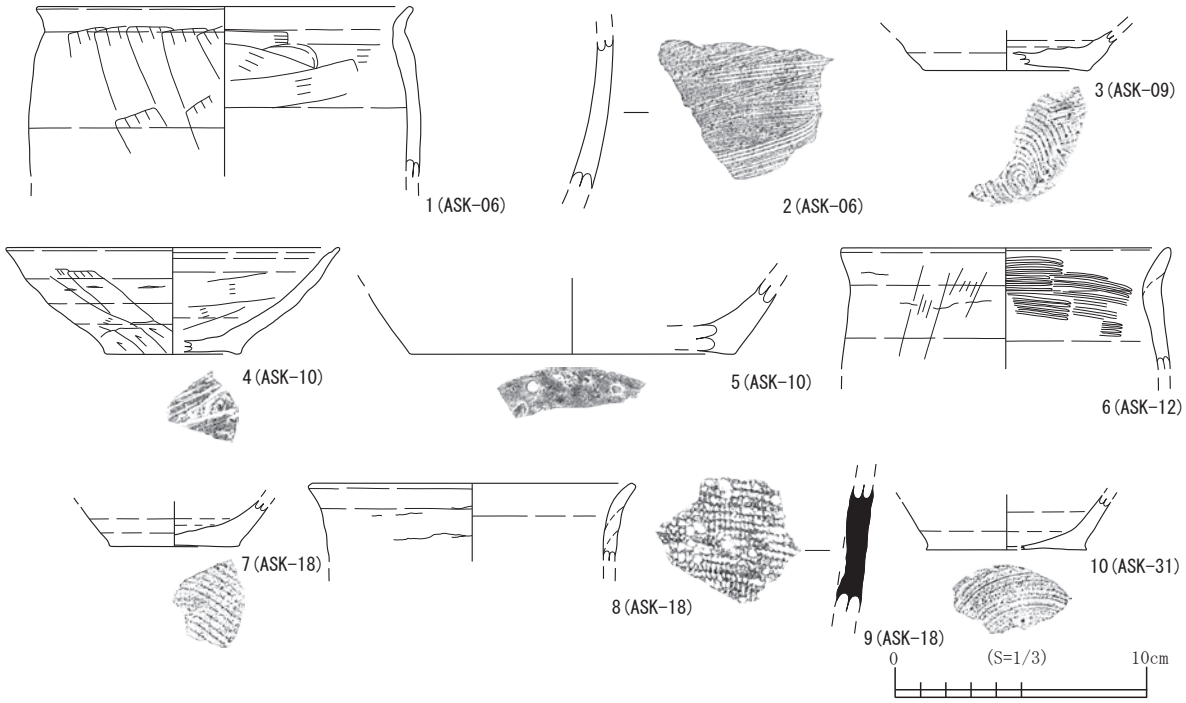
第13図　川原館遺跡Ａ区SK（１）



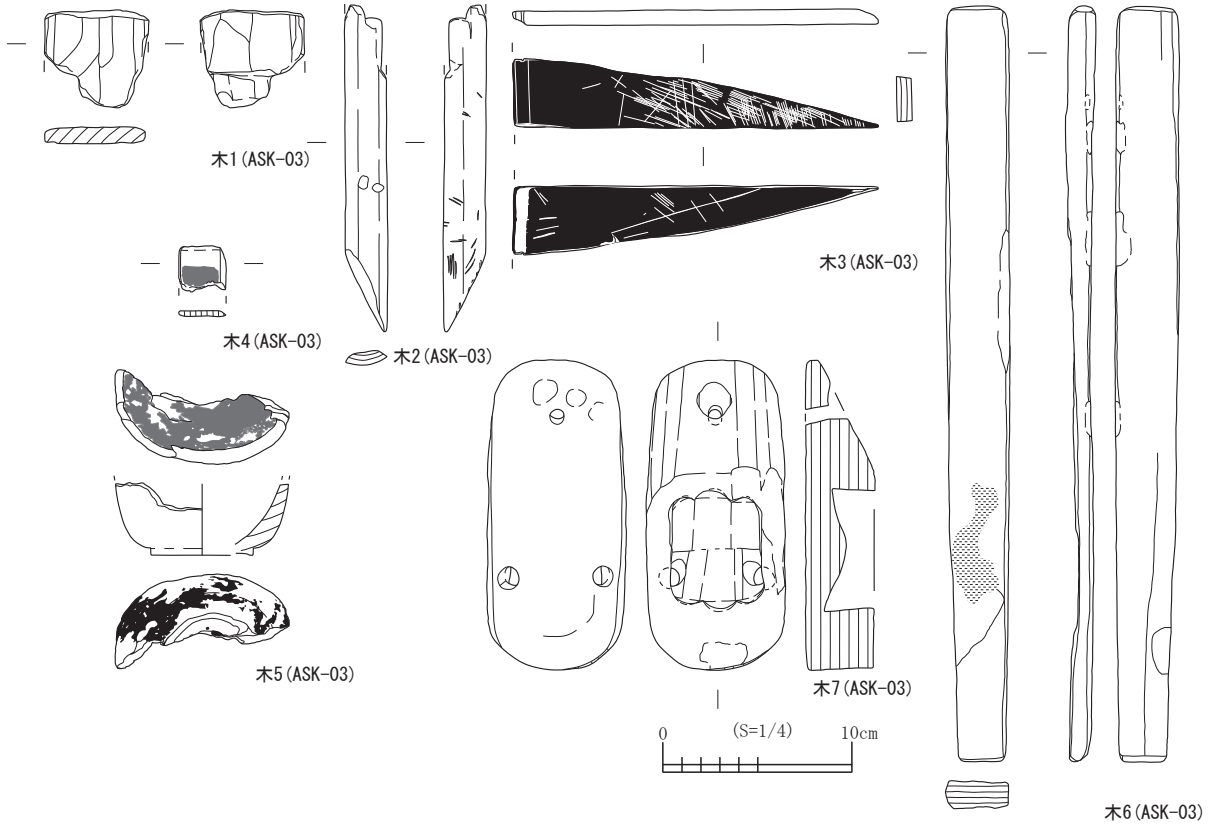
ASK-11
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ2～9mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～4mm)多量、ロームブロック(φ30～50mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、砂粒(φ1～2mm)中量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)中量
第5層　10YR2/3　黒褐色土　ロームブロック(φ10～40mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量
第7層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ5～7mm)多量、焼土粒(φ2～3mm)微量
ASK-12
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ2～5mm)中量、焼土粒(φ2～3mm)極微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)中量
ASK-18
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
ASK-20
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR5/3　にぶい黄褐色土　ローム粒(φ1～4mm)中量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
ASK-24
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量

ASK-25
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)微量、粘土ブロック(φ30～40mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、粘土ブロック(φ10mm)微量
第4層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、ロームブロック(φ50mm)中量
ASK-26
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)極微量
第4層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1mm)微量、炭化粒(φ1mm)極微量
ASK-30
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR6/4　にぶい黄橙色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土と10YR4/6褐色土の混合層
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ロームブロック(φ10～50mm)多量
ASK-31
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ロームブロック(φ10～20mm)中量、粘土ブロック(φ10～20mm)中量
ASK-35
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　砂質、ローム粒(φ1～7mm)中量
ASK-36
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR3/3暗褐色土の混合層、ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～7mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)中量
第4層　10YR2/1　黒色土と10YR6/4にぶい黄橙色土の混合層、ローム粒(φ1～3mm)多量
第5層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)多量

第14図　川原館遺跡Ａ区SK（２）



第15図　川原館遺跡A区出土土器SK



第16図　川原館遺跡Ａ区出土木製品SK

台である。19は陶磁器壺の底部で、底部は高台状を呈し、体部下半及び内面には自然釉が認められる。土製品は５点ともに焼成粘土塊で不整形を呈する。いずれも表面に混和された稲わらの痕跡が認められる。土５は表面に指ナデが認められる。

SD－03（第18図）

EP・EQ－167、EQ－168グリッドで検出した。ASK－06、08、10、SD－04、ASP－11・12、32・33・34、41と重複している。SD－04を除いて本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。端部がやや蛇行するが、ほぼ直線的に延びており、確認できた規模は延長680㎝、幅52㎝、深さ49㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁はやや急角度に立ち上がる。堆積土は３層に分層し、黒褐色を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏４点、甕７点、小甕１点、須恵器壺１点、甕１点（第21図20～33）、土製品１点（第33図土６）を図示した。坏は４点すべてロクロ調整によるもので、20はロクロ調整後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。甕は25・26、28～30が口縁部～体部の資料、31が体部、27が体部下半～底部の資料である。口縁部～体部の資料では、体部が直線的で口縁部がゆるやかに外反するもの（28）、体部が丸みを帯び、口縁部と体部の間にくの字状のくびれを有し口縁部がやや外反するもの（25・26）、口縁部～体部までほぼ直線的なもの（29・30）が認められる。25・26は外面にヘラナデ、内面はハケメ調整が施されている。27は甕の体部～底部で、体部外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整され、底部は砂底である。24は小甕の口縁部～体部で内外面ともにヘラナデが施されている。32は須恵器長頸壺の口縁部資料で、内外面ともにロクロナデによって調整されており、口縁直下には２条の沈線が認められる。33は須恵器甕の体部で外面タタキ成形が認められる。土６は焼成粘土塊で、表面がナデによって整形され、少量であるがスサの混入が認められる。

SD－04（第18図）

EQ－167・168、ER－168グリッドで検出した。ASK－06、SD－03、ASP－70、72と重複している。SD－03、SK－06、ASP－70、72ともに本遺構より新しい。弧状を呈し、規模は延長440㎝、幅60㎝、深さ31㎝を測る。底面には段が認められ、壁はほぼ急角度に立ち上がる。堆積土は２層に分層し、黒褐色土を主体としており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点を図示した（第21図34）。34は非ロクロ坏の体部～底部で、内外面ともにヘラナデによって調整され、底部は網代痕である。

SD－05（第19図）

EO－165～167、EP－164・165、EQ－163～165、ER－160～164、ES－160～163グリッドで検出した。Ａ区でASK－11、SD－02、Ｂ区でBSK－29、SD－46、Ｃ区でCSP－42、Ｄ区でSD－06、DSP－398、488、Ｆ区でFSK－03、SD－10、15・16、FSE―03と重複している。ASK－11、SD－46、CSP－42、DSP－398、FSE－03が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。本遺構がそれ以外の遺構を掘り込んでいる。Ａ区から南側へＢ区、Ｃ区、Ｄ区、Ｆ区まで延びる大溝で、延長29.6m、上端幅はＦ区で370㎝、下端幅は292㎝、深さはＡ区で103㎝、Ｆ区で143㎝を測る。Ａ、Ｂ、Ｄ区では直線状を呈し、Ｃ・Ｆ区でやや南西に向きを変える。底面はほぼ平坦で、壁は急角度に立ち上がる箱堀

状を呈している。堆積土はＡ区で11層、Ｆ区で８層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、上層はロームブロックを多量に含んでおり、埋め戻し等による人為堆積と考えられるが、下層は自然堆積と考えられる。遺物はＡ区から土師器坏２点、Ｃ区から土師器坏７点、甕６点、小甕１点、壺１点、甑１点、須恵器甕７点、土製品１点（第33図土７）、Ｄ区から土師器皿４点、坏18点、甕10点、小甕３点、壺１点、須恵器坏１点、壺２点、甕10点、製塩土器２点、Ｆ区から土師器皿３点、坏17点、甕14点、小甕２点、壺２点、羽釜１点、ミニチュア土器３点、須恵器壺１点、須恵器甕４点（第22～28図35～156）、土製品２点（第33図土８・９）、礫石器１点、石製品１点（第32図石３・４）、木製品３点（第31図木８～11）、鉄製品１点（第33図鉄３）、古銭１点（第33図銭１）を図示した。土師器皿は７点のうち、非ロクロ２点（35・36）、ロクロ調整５点（37～41）である。40は外面底部付近に刻書が認められる。土師器坏は44点のうち、非ロクロ17点（42～58）、ロクロ調整27点（59～85）である。非ロクロ17点のうち、底部の残存する資料の底部調整は、46～48、51、54、58がヘラナデ、44、56・57が網代痕、42・43、49・50、52・53、55が砂底、45が無調整であった。58は坏の体部～底部で底部は柱状高台を呈する。ロクロ調整の27点のうち、69～71はロクロ調整の後、内外面ヘラナデが施されており、71・72は内面ヘラミガキによる黒色処理が施されている。77は外面にヘラによる沈線が認められる。70は内外面油痕、77は灯明痕が認められる。68、84は外面に墨書が認められる。甕は30点のうち、91、104のみ体部～底部で、他は口縁部～体部である。口縁部～体部の資料では、88、93、95、97、102が口縁部～体部上半にかけてほぼ直線的で、92、106・107、109、111は体部上半がほぼ直線状で口縁部がやや外反する形状を呈しており、多くは体部が丸みを帯び、口縁部がやや外反する形状を呈するものである。92、99はロクロ調整が施されている土器で、いずれも口縁部がやや強く外反する。99はロクロ調整後、外面及び内面にヘラナデが施されている。114は体部で、外面刻書が認められる。小甕は６点のうち、119は口縁部～底部、120～123は口縁部～体部、124が体部～底部である。119は体部がやや丸みを帯び、口縁部と体部の境に極浅いくびれを有する。120～123は体部が丸みを帯び、口縁部がやや外反する形状を呈し、120は体部が直線的で、口縁部がやや外反する形状を呈する。124は体部外面には刻書が認められる。壺は４点のうち、115～117が口縁部～体部で、118が体部～底部である。115・116は体部が丸みを帯び、口縁部と体部の間にくの字状のくびれを有するが、117はくびれが認められず、体部から直線的に口縁部へとすぼまる形状を呈する。118は体部～底部で、底部から丸みを帯びるように立ち上がる。底部は砂底である。125は羽釜の口縁部から体部で、体部は丸みを帯び、口縁部はやや強く外反する形状を呈する。外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。126は甑と考えられる。直線的に立ち上がる形状を呈し、底にあたる部分は平坦に整形され、砂粒が付着している。127～129はミニチュア土器である。127は口縁部～底部、128・129は口縁部～体部である。いずれも手づくねによる成形で、127は底部から開き気味に立ち上がり、口縁部はやや内湾する形状を呈する。128は体部が丸みを帯び、口縁部がやや外反する。129は体部が直線的で、口縁部がやや反る形状を呈する。127は貫通孔が認められる。130・131は製塩土器体部で外面には輪積痕が認められ、内外面ともにナデによって調整されている。132は須恵器坏の体部～底部で、底部から丸みを帯びるように立ち上がり、外面には火襷痕が認められ、底部は回転糸切である。須恵器壺は、133が短頸壺である。136・137は体部～底部で、136はやや丸みを帯びるように立ち上がり、137は直線的に立ち上がる。ロクロ調整後、ヘラナデによって調整されており、底部もヘラナデである。須恵器甕は21点のうち、134、138・139、156口縁部、135、

141、146頚部、140、142～145、147～155体部である。156は酸化焼成である。木製品は第31図木８が部材、木９が曲物の樺皮、木10が用途不明の棒状木製品、木11は下駄である。鉄３は刀子である。第32図石３は石臼で、石４は台石である。第33図土７は棒状支脚、土８・９は焼成粘土塊である。土７はヘラケズリによって調整され、土８・９は表面ヘラナデによって調整されている。銭１は寛永通宝で、右側半分が欠損している。

SD－06（第20図）

EM～EP－163、EN～ES－164、ES～EU－165、ET・EU－166グリッドで検出した。A区でSD－07、D区でSD－05、57のほか、A、C、D区で多くのピットと重複している。SD－05、57が本遺構より新しく、SD－07、SP－231が本遺構より古い。A・BとD区南西側では緩やかな弧状を呈し、D区西側で南西方向に向きを変える。規模は延長32.15m、幅90㎝、深さ48㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁は急角度に立ち上がる。底面からピットを13基検出した。Pit1＝長軸19×短軸13×深さ15㎝、Pit2＝長軸30×短軸18×深さ９㎝、Pit3＝長軸48×短軸30×深さ15㎝、Pit4＝長軸24×短軸18×深さ９㎝、Pit5＝長軸18×短軸12×深さ６㎝、Pit6＝長軸24×短軸18×深さ９㎝、Pit7＝長軸15×短軸13×深さ12㎝、Pit8＝長軸14×短軸12×深さ15㎝、Pit9＝長軸44×短軸35×深さ30㎝、Pit10＝長軸41×短軸29×深さ21㎝、Pit11＝長軸37×短軸19×深さ15㎝、Pit12＝長軸36×短軸27×深さ12㎝、Pit13＝長軸21×短軸11×深さ21㎝を測る。堆積土は８層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、３層はB－Tm火山灰層となっており、自然堆積と考えられる。遺物はA区から土師器坏９点、甕12点、壺１点（第29、30図157～178）、土製品２点（第33図土10・11）、古銭１点（第33図銭２）、C区から須恵器甕１点（第30図179）を図示した。165についてはASE－04、173についてはASE－06との接合資料である。坏は９点のうち、非ロクロ３点（157～159）、ロクロ調整６点（160～165）であった。非ロクロの坏の底部は157・158が網代痕、159がヘラナデである。159は高台付坏である。158は体部外面に墨書が認められる。160は体部～底部で、ロクロ調整後、内面ヘラナデが施されており、底部中央には穿孔が認められる。161はロクロ調整の後、内面ヘラミガキにより黒色処理されている。162は坏の体部～底部で、外面には刻書が認められる。164は坏の体部下半の資料で、内外面ともにナデが施されており、外面には指頭圧痕が認められる。外面には太めの刻書が認められ、内面には細めの工具で刻書が施されており、底部は柱状高台である。甕は12点のうち、口縁部～底部が１点（174）、口縁部～体部が８点（166～173）、体部～底部が３点（175～177）である。口縁部の資料では、口縁部～体部までほぼ直線的なもの（172）、体部がほぼ直線的で口縁部が浅くくぼむもの（171、173）、体部がほぼ直線的で口縁部が緩やかに外反するもの（166、170、174）、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反するもの（167～169）が認められる。169は体部が丸みを帯び、口縁部に向かってすぼまるように外反しており、短いものの頚部が認められる。底部の資料では、175、177砂底、176網代痕である。178は壺の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び口縁部が直立する形状を呈する。内外面ともにロクロ調整が施されている。179は須恵器甕の体部で外面タタキ、内面ナデによって調整されている。第33図土10・11は焼成粘土塊でスサの混入が少なく、ひび割れが認められる。第33図銭２は元豊通寶である。

SD－07（第20図）

ER－164・165、ES－165、ET－165・166グリッドで検出した。A区でSD－06、ASP－61～64、179・180、228、C区でCSP－98・99、169・170と重複している。本遺構がASP－62～64を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－06、SP－61、179・180、228、 CSP－98・99、169・170が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。A区からC区へと一部弧状を呈するものの、ほかは直線状を呈し、規模は延長12.2m、幅40㎝、深さ14㎝を測る。底面はほぼ平坦で壁はやや急角度に立ち上がる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物はA区から土師器甕１点（第30図180）、C区から土師器甕２点（第30図181・182）を図示した。180は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が強く外反する。181は甕の口縁部～体部で、体部は直線的で口縁部がやや外反する形状を呈し、内外面ともにヘラナデによって調整されている。182は甕の体部～底部でやや丸みを帯びるように立ち上がり、体部は内外面ともにヘラナデ、底部は網代痕である。

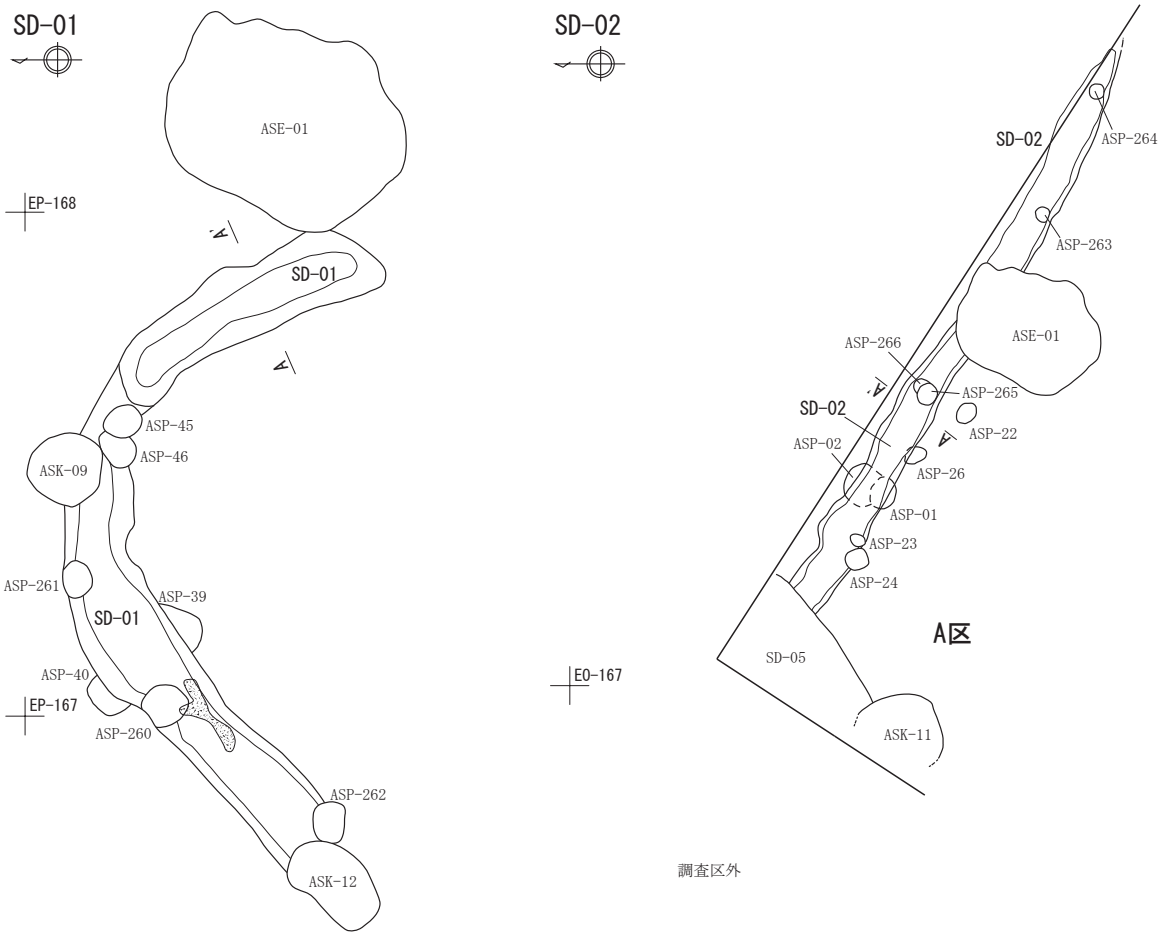
SD－08（第20図）

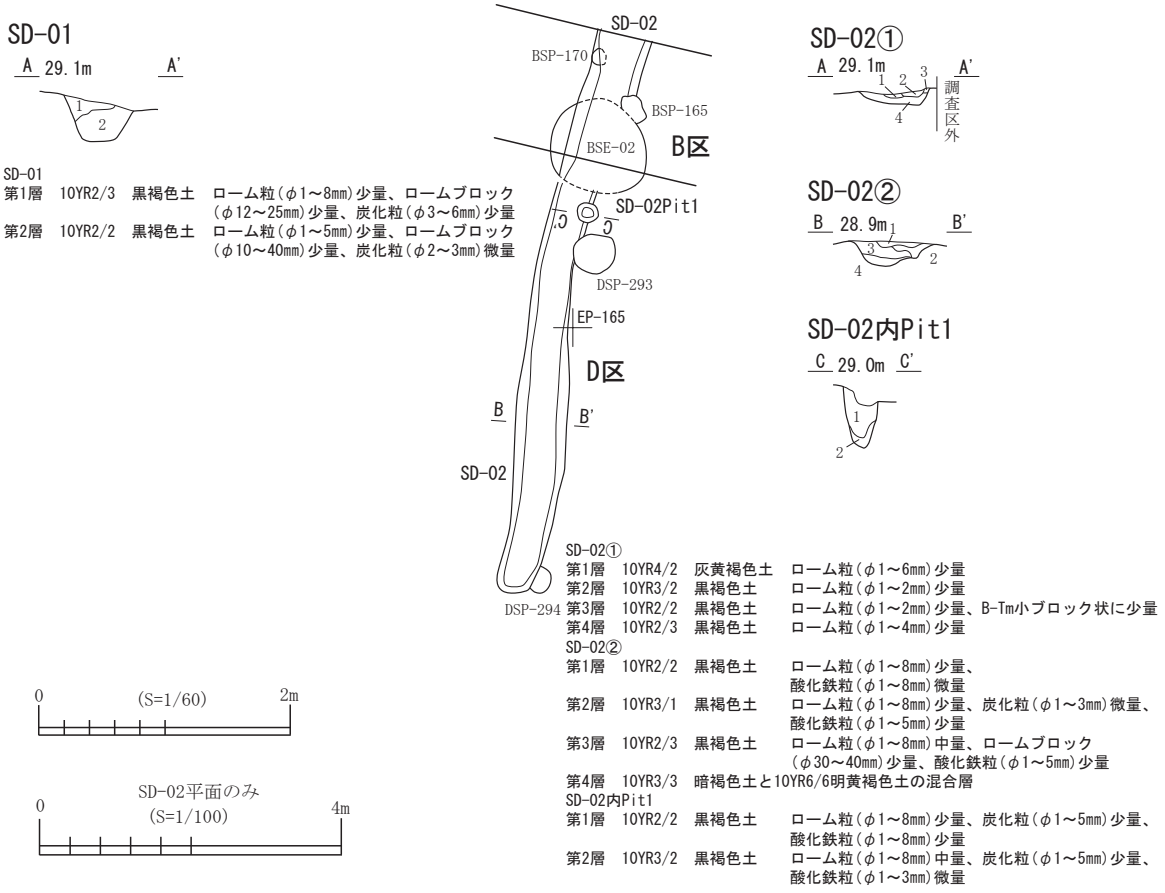
ES－164グリッドで検出した。ASP－198、269、CSN－01と重複している。本遺構がCSN－01を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ASP－198、269が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。A区からC区へと直線状を呈し、延長240㎝、幅64㎝、深さ12㎝を測る。底面はほぼ平坦で、壁は緩やかに立ち上がり、断面は浅い皿型を呈する。堆積土は２層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物はA区から須恵器壺１点（第30図184）、C区から土師器坏１点（第30図183）を図示した。183は土師器坏の口縁部～体部で、ロクロ調整が施されている。184は須恵器壺の体部で、内外面ロクロ調整が施され、外面は更にヘラナデによって調整されている。

４．井戸跡

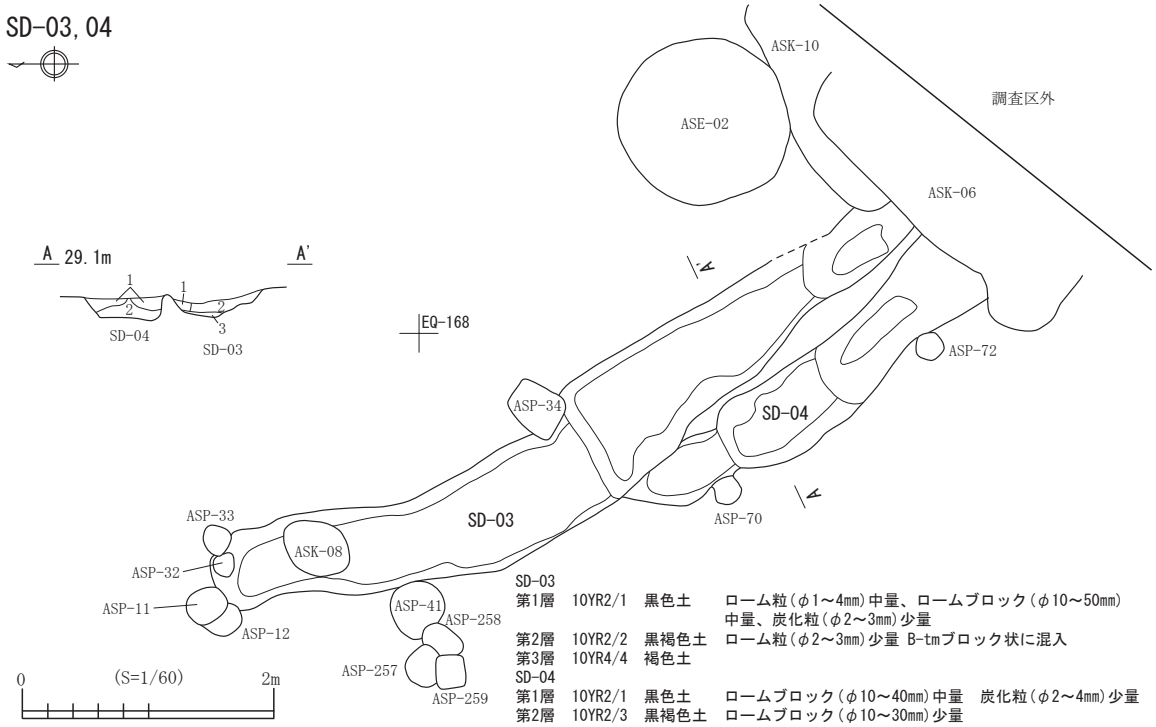
ASE－01（第34図）

EP－167・168グリッドで検出した。SD－01・02と重複している。本遺構がSD－01・02を掘り込んでおり本遺構が新しい。平面は円形を呈し、規模は長軸190×短軸156×深さ100㎝を測る。壁はオーバーハングして立ち上がり、底面はほぼ平坦で、西側に長軸150×短軸100×深さ48㎝の落ち込みが認められる。堆積土は10層に分層し、黒色、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、ブロック状の堆積が認められ、人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏４点、甕１点（第37図185～189）、木製品11点（第38図木12～22）、土製品１点（第39図土12）、礫石器１点（第39図石５）を図示した。坏は４点ともロクロ調整である。188は体部～底部の資料で、内外面ともにロクロナデによって調整され、底部は静止糸切である。底部中央に穿孔が認められる。189は土師器甕の体部で、外面ヘラナデ、内面ハケメが施されている。第38図木12～17、19、22は用途不明の板材である。木12は一端がやや先細り、断面形が楕円形を呈する板材である。木14は両端が斜めに切断された板材で、４箇所鉄釘が打たれている。木17は断面三角形を呈する柱状の木製品、木19、22は薄い板状の木製品である。木18は棒状を呈し、箸と考えられ、上端が折損している。木20は桶の側板で、断面形が弧状を呈する。第39図土12は焼成粘土塊で破面が３面認められ、表面には混入されたスサの痕跡が認められる。第39図石５は礫石器で被熱や煤の付着が認められる石である。

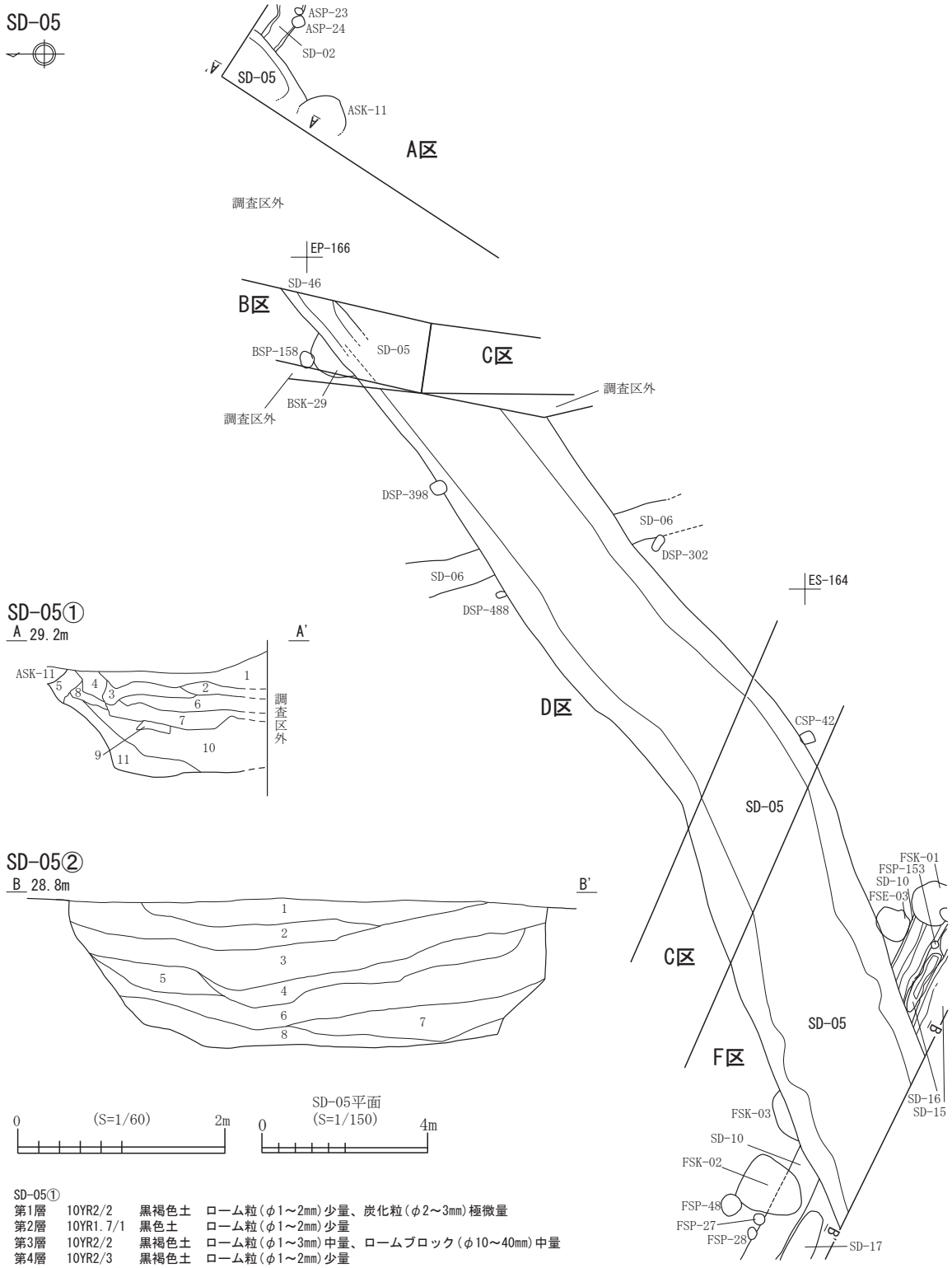




第17図　川原館遺跡Ａ区SD（１）



第18図　川原館遺跡Ａ区SD（２）



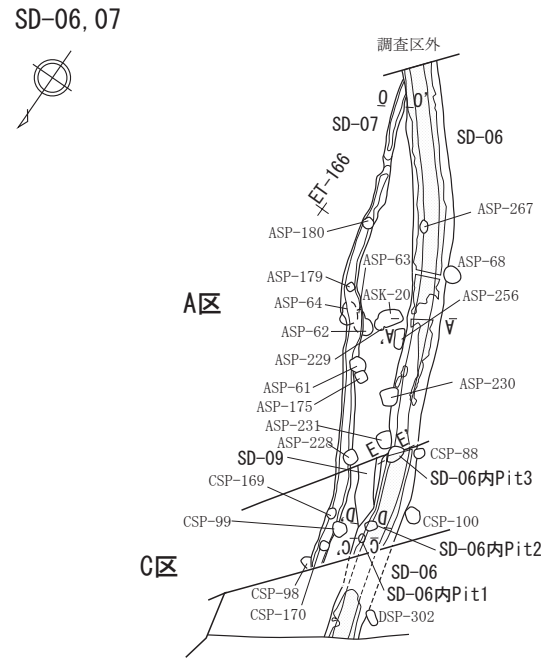
SD-05①

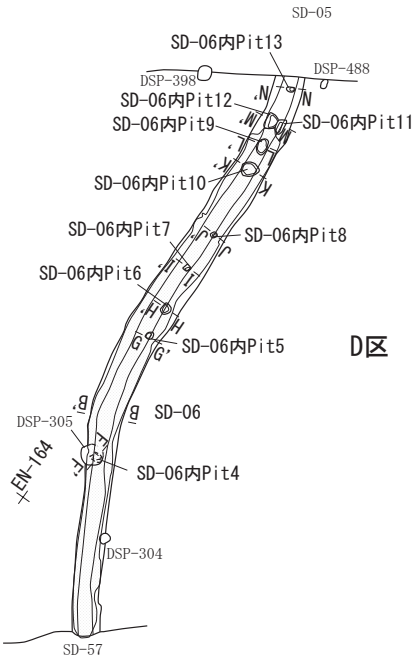
第1層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)極微量
第2層	10YR1.7/1	黒色土	ローム粒(φ1～2mm)少量
第3層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1～3mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)中量
第4層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1～2mm)少量
第5層	10YR1.7/1	黒色土	パミス粒(φ1～3mm)中量
第6層	10YR2/1	黒色土	ローム粒(φ2～6mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第7層	10YR2/3	黒褐色土	パミス粒(φ1～2mm)中量、暗褐色砂粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ15～40mm)少量
第8層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1～2mm)多量、暗褐色砂粒(φ1～5mm)多量、小礫中量
第9層	10YR1.7/1	黒色土	パミス粒(φ2～3mm)少量、炭化粒(φ3～4mm)微量
第10層	10YR3/2	黒褐色土	パミス粒(φ1～4mm)多量、暗褐色砂粒(φ1～5mm)多量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第11層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ2～3mm)多量、炭化粒(φ2～3mm)微量、暗褐色砂粒(φ3～5mm)中量

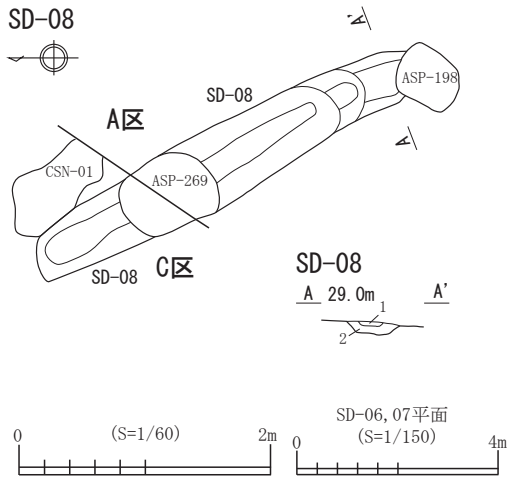
SD-05②

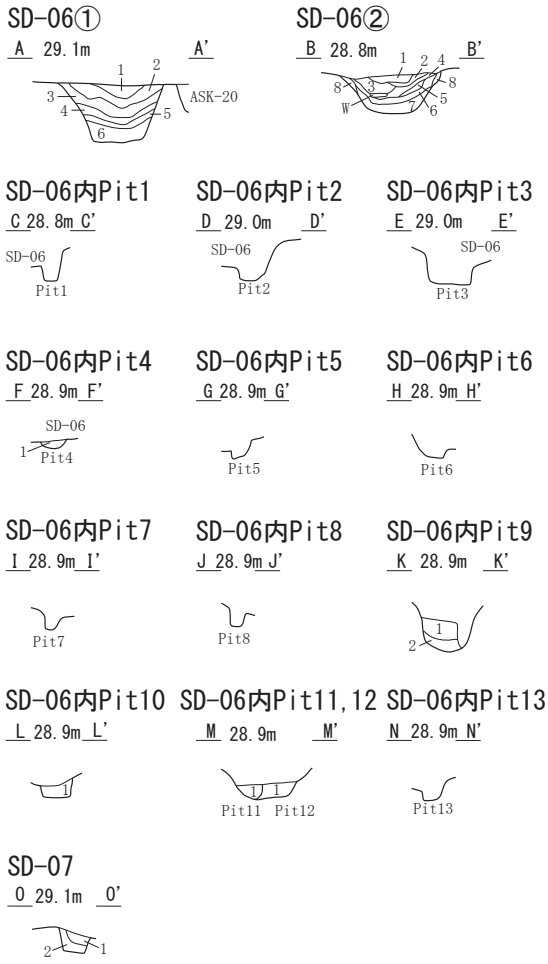
第1層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第2層	10YR3/1	黒褐色土	ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、酸化鉄(φ1～15mm)少量
第3層	10YR3/2	黒褐色土	ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～80mm)多量、酸化鉄(φ1～20mm)少量
第4層	10YR3/2	黒褐色土と10YR6/3にぶい黄橙色砂質土の混合層	ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第5層	10YR3/3	暗褐色土	砂質層　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、小礫中量
第6層	10YR2/1	黒色土と10YR6/2灰黄褐色土の混合層	ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)中量、酸化鉄(φ1～10mm)少量、小礫中量
第7層	10YR2/3	黒褐色土	ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、小礫少量
第8層	10YR2/2	黒褐色土	ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、小礫少量

第19図　川原館遺跡Ａ区SD（３）









SD-06①
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ2～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ3～7mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　B-Tm層状に混入
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第5層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)少量
第6層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量

SD-06②
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第5層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第6層　10YR6/2　灰黄褐色土　火山灰
第7層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第8層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

SD-06内Pit4
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～6mm)少量

SD-06内Pit9
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

SD-06内Pit10
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

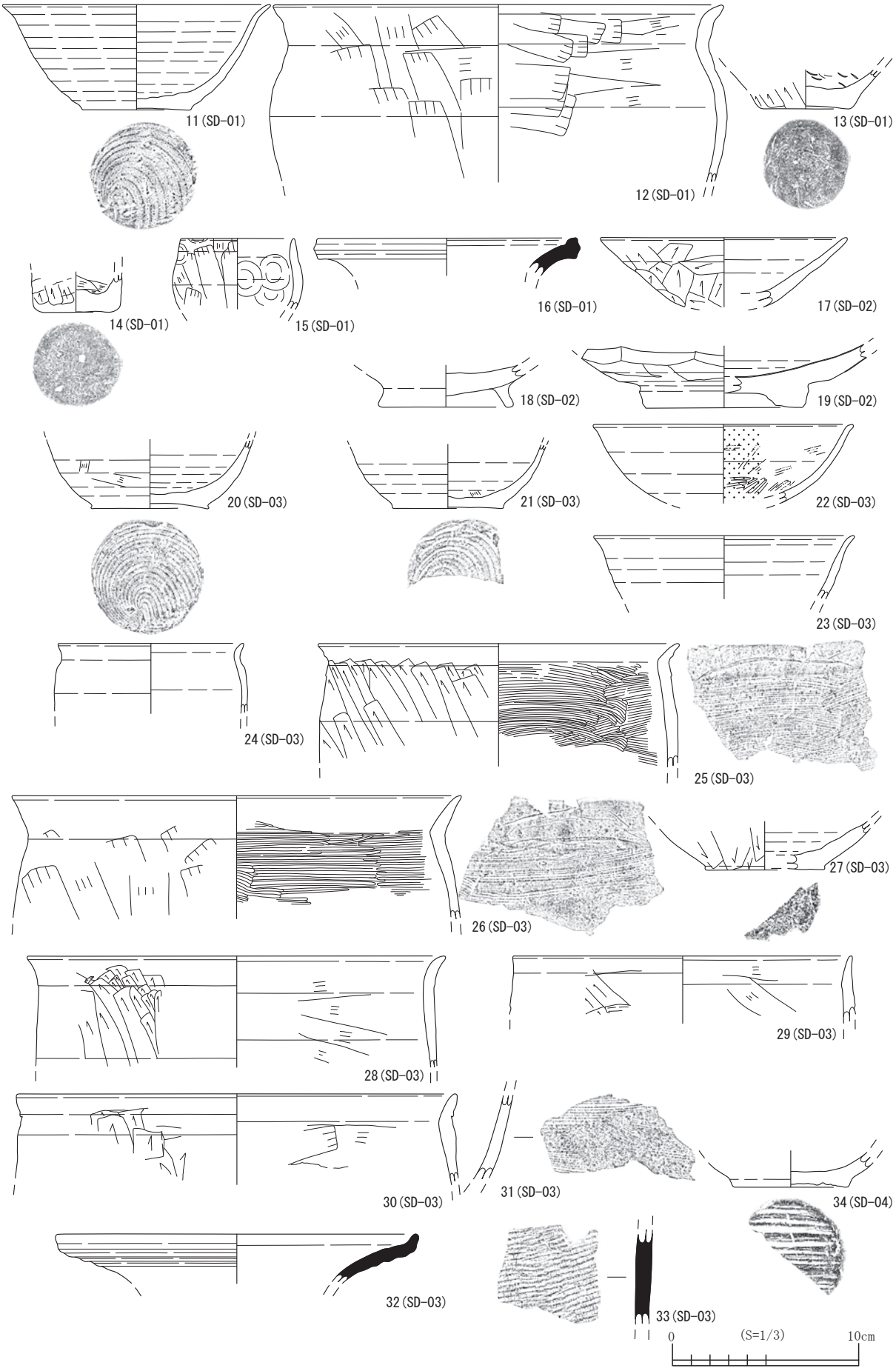
SD-06内Pit11
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

SD-06内Pit12
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量

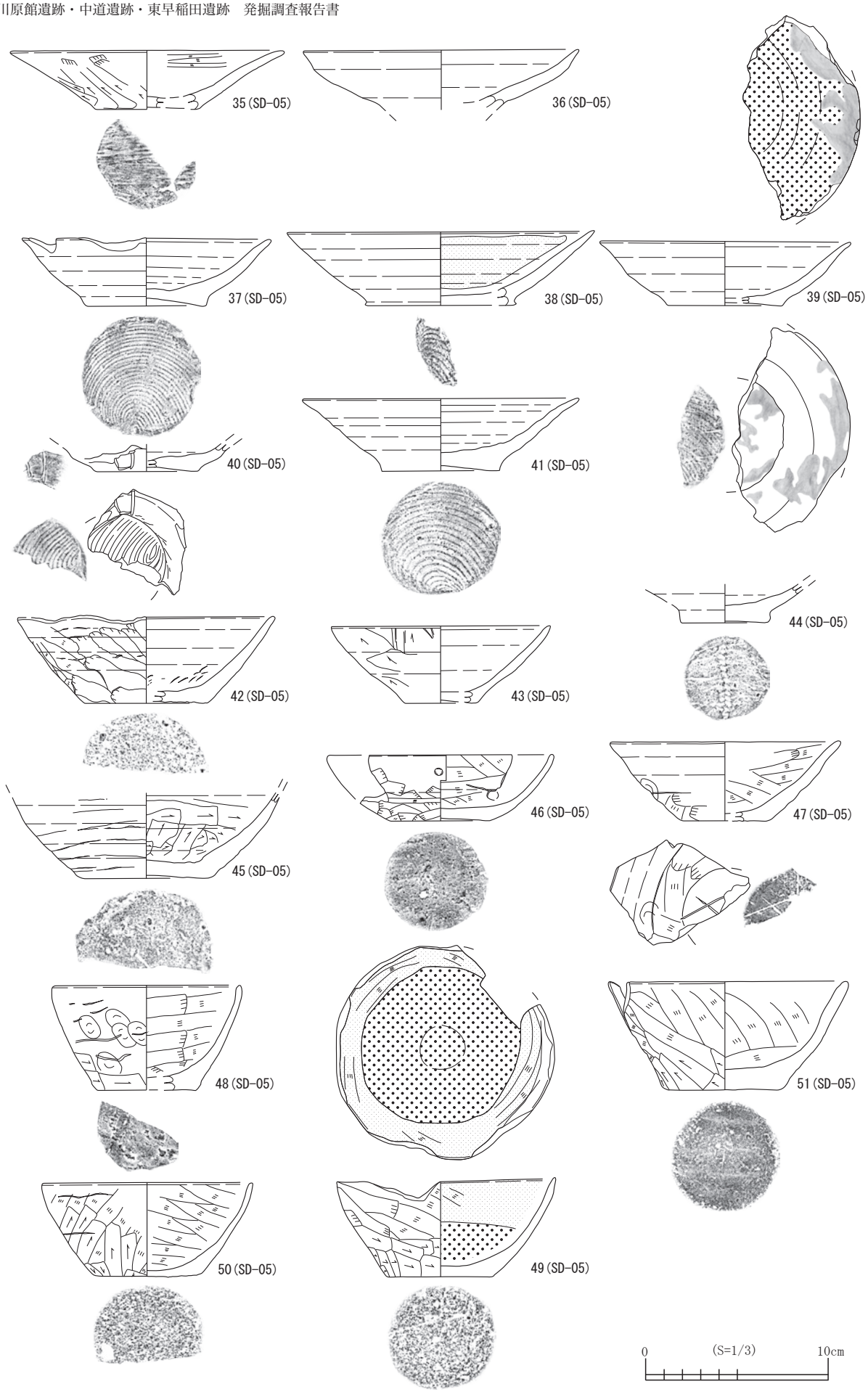
SD-07
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)中量

SD-08
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)多量

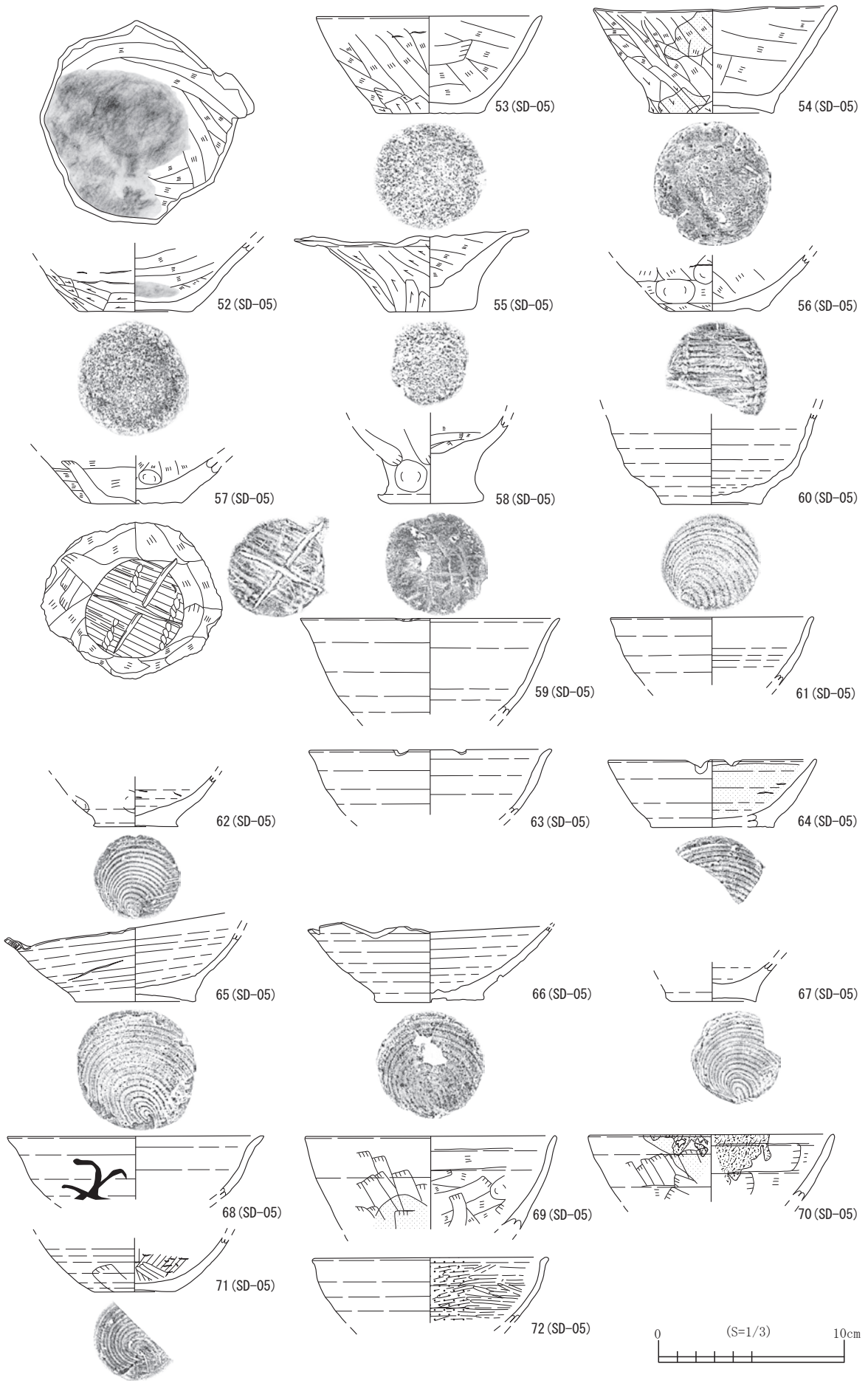
第20図　川原館遺跡Ａ区SD（４）



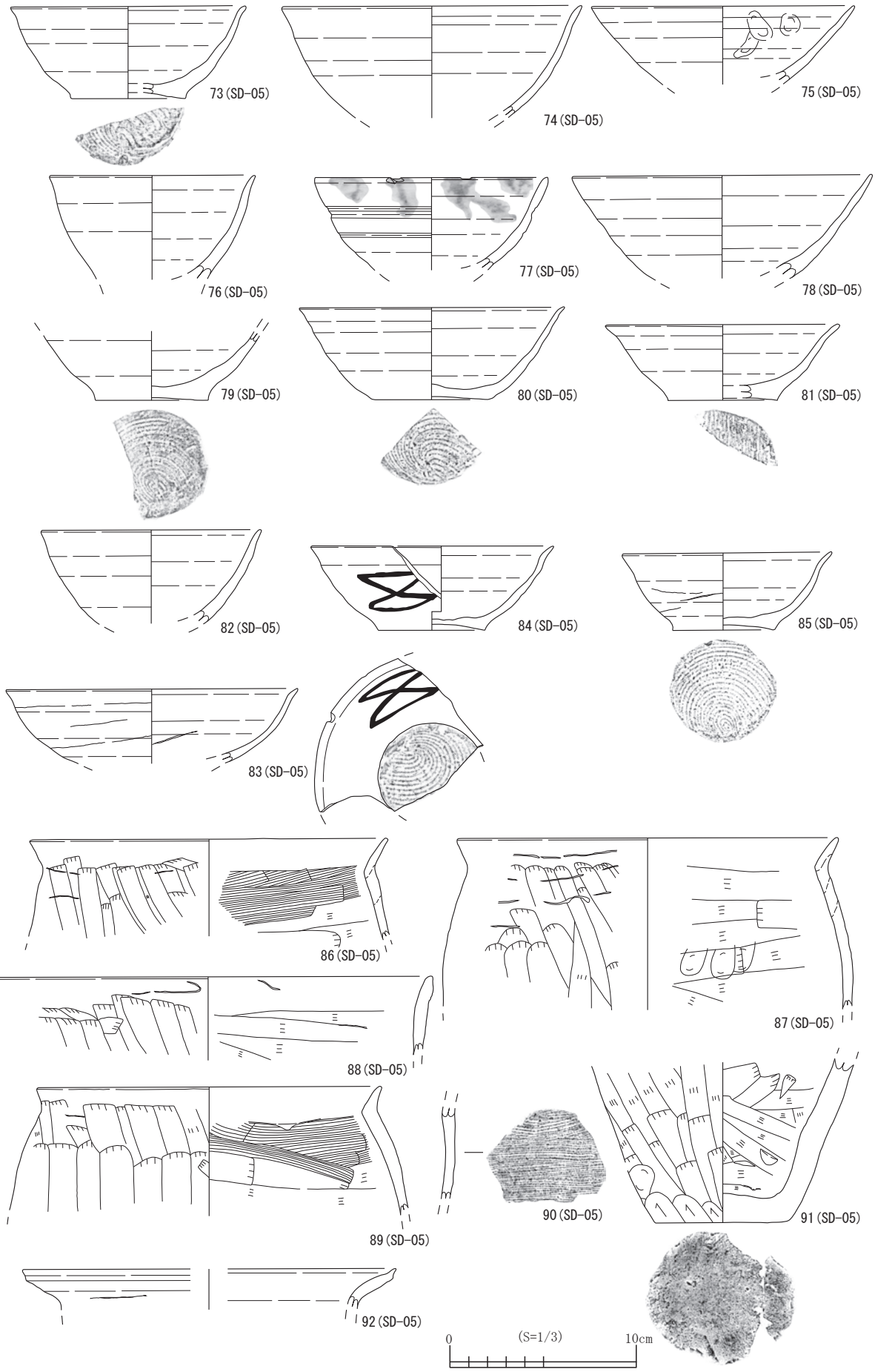
第21図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（１）



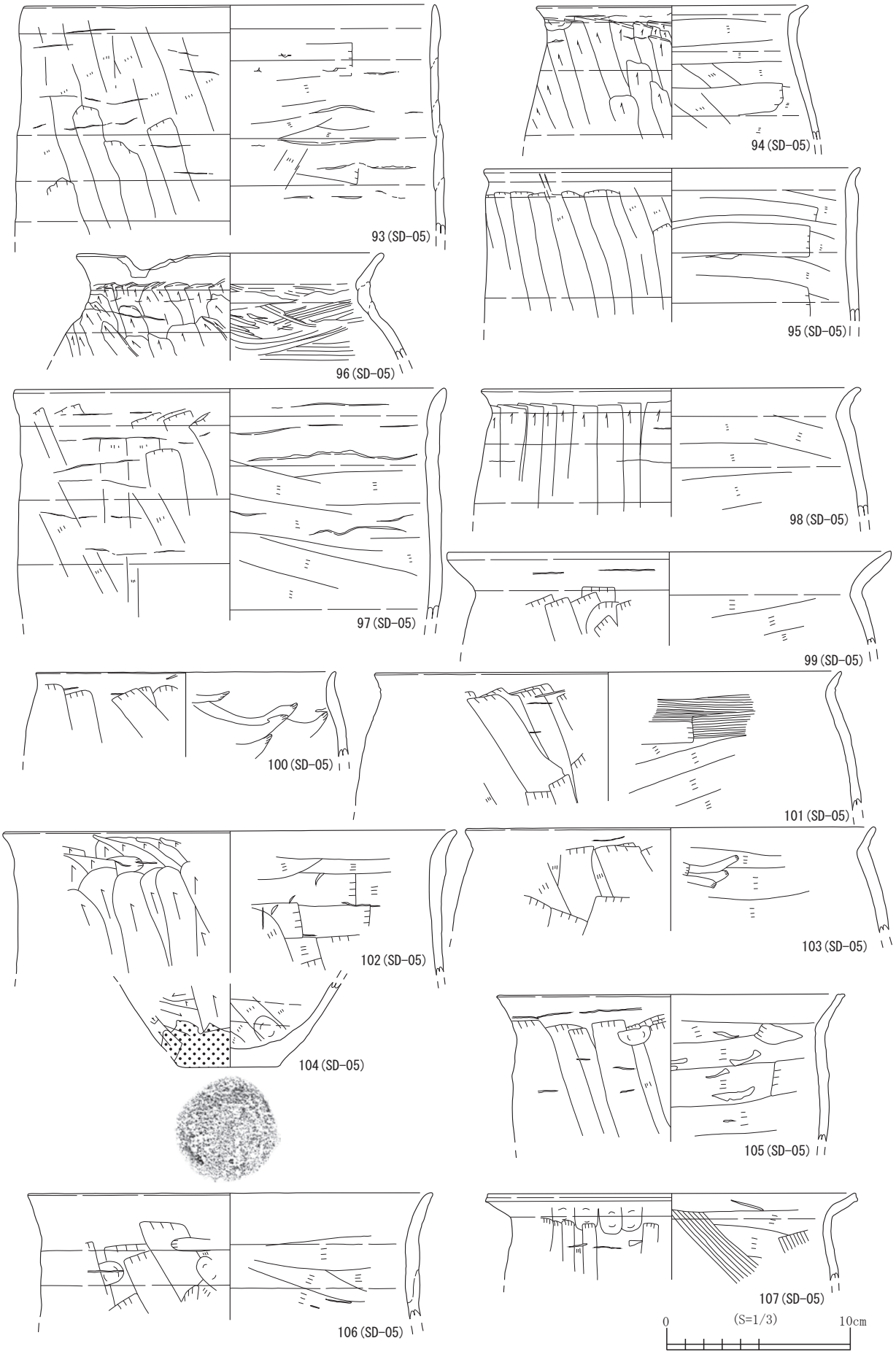
第22図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（２）



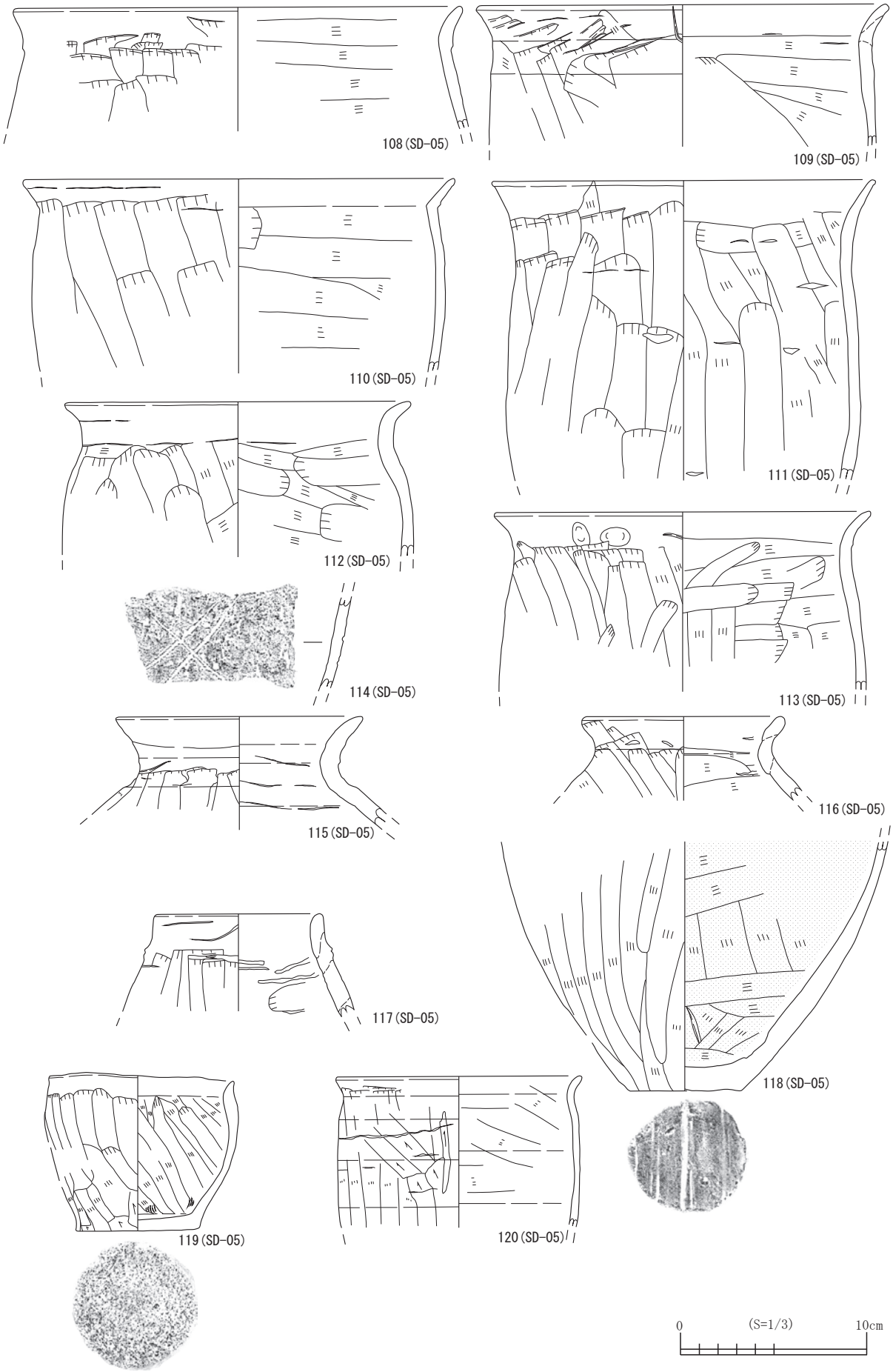
第23図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（３）



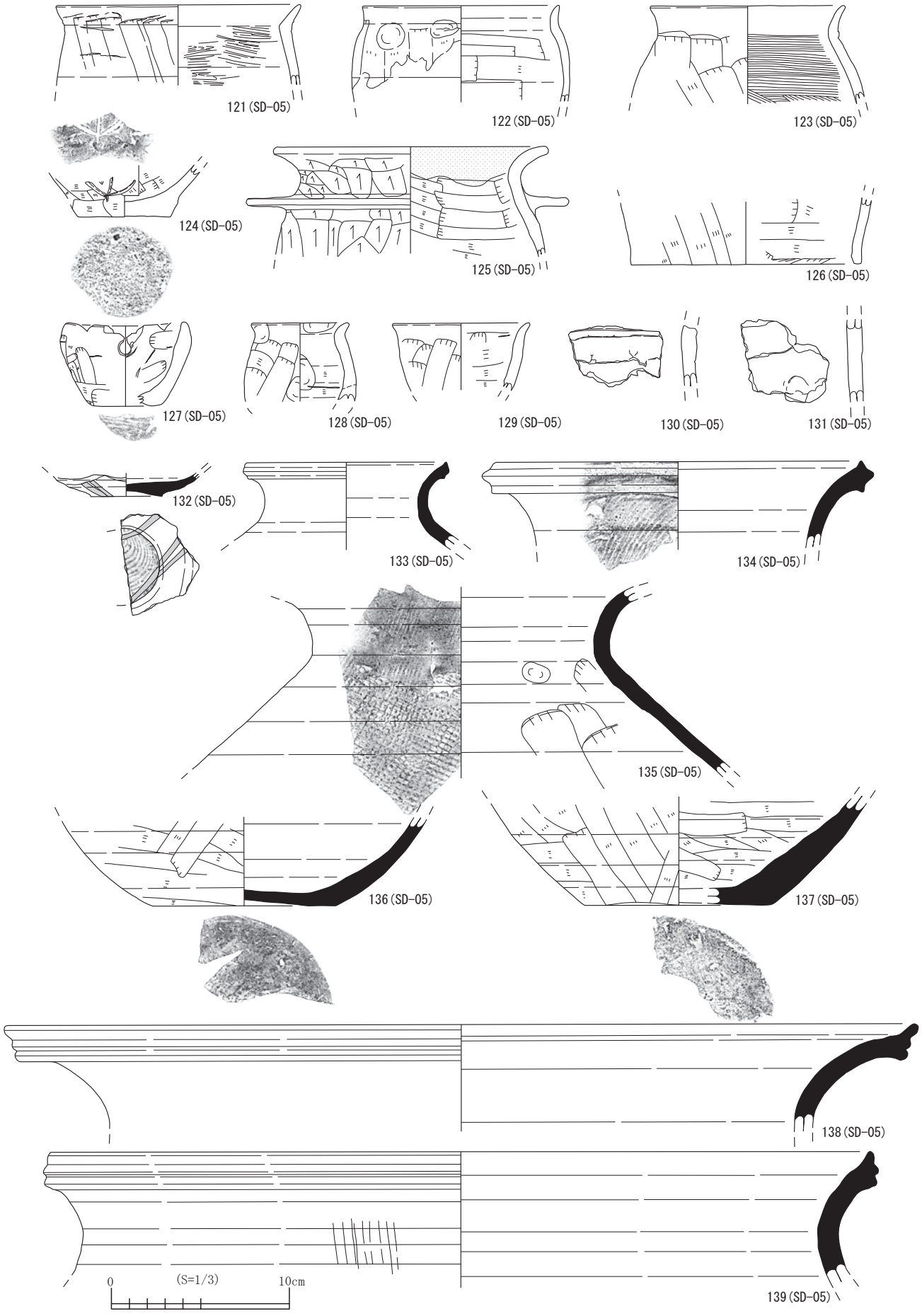
第24図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（４）



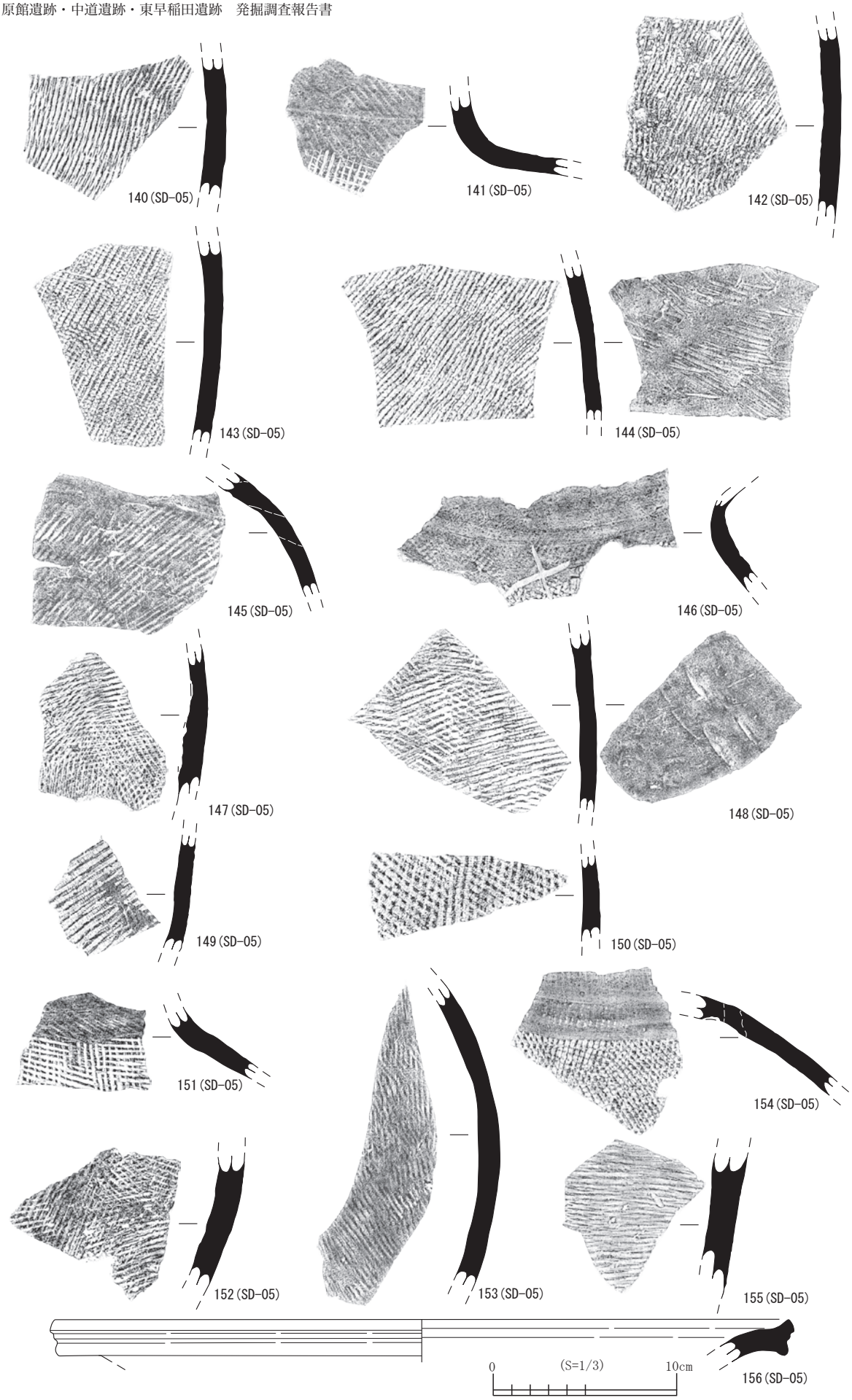
第25図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（５）



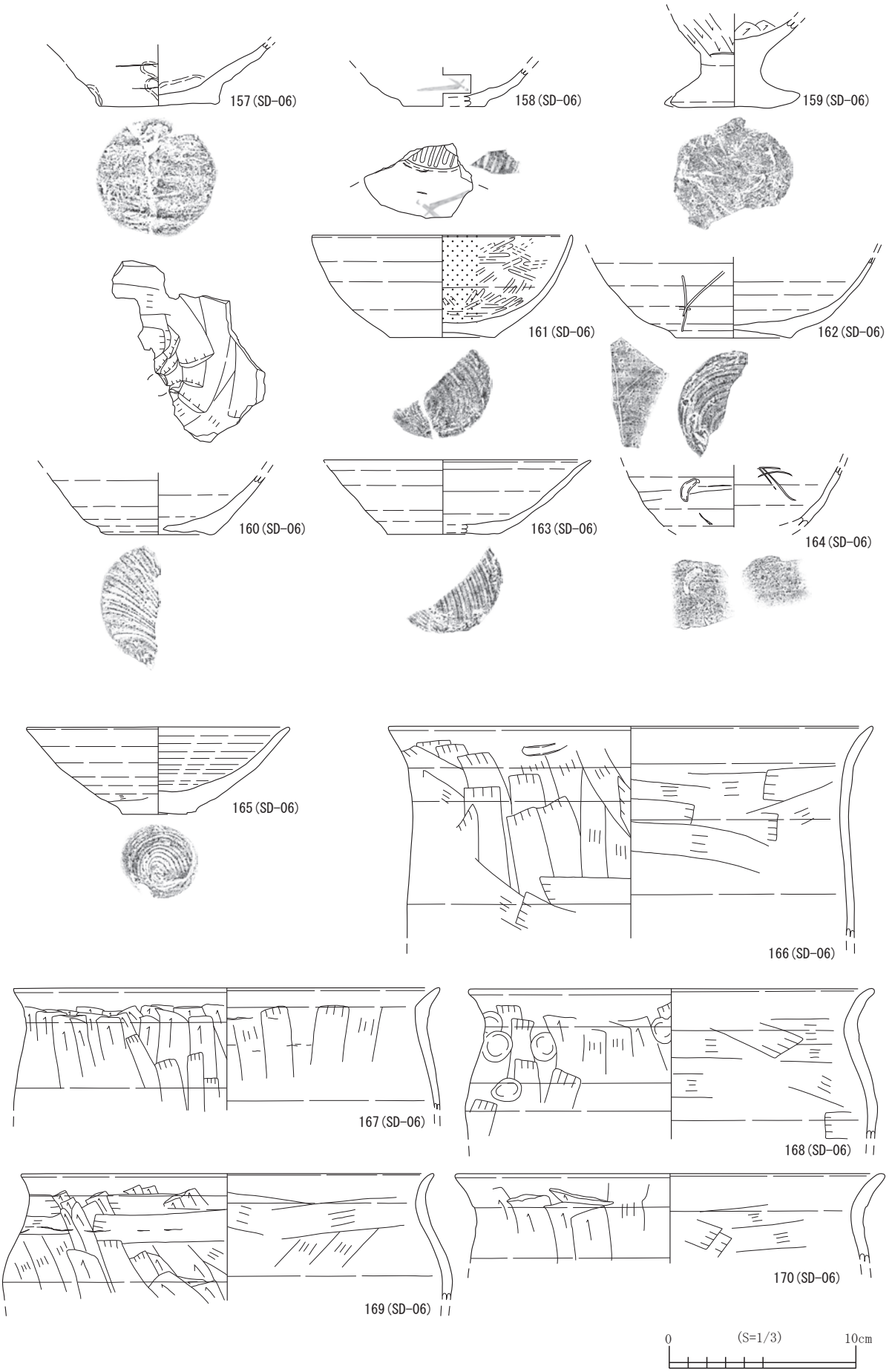
第26図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（６）



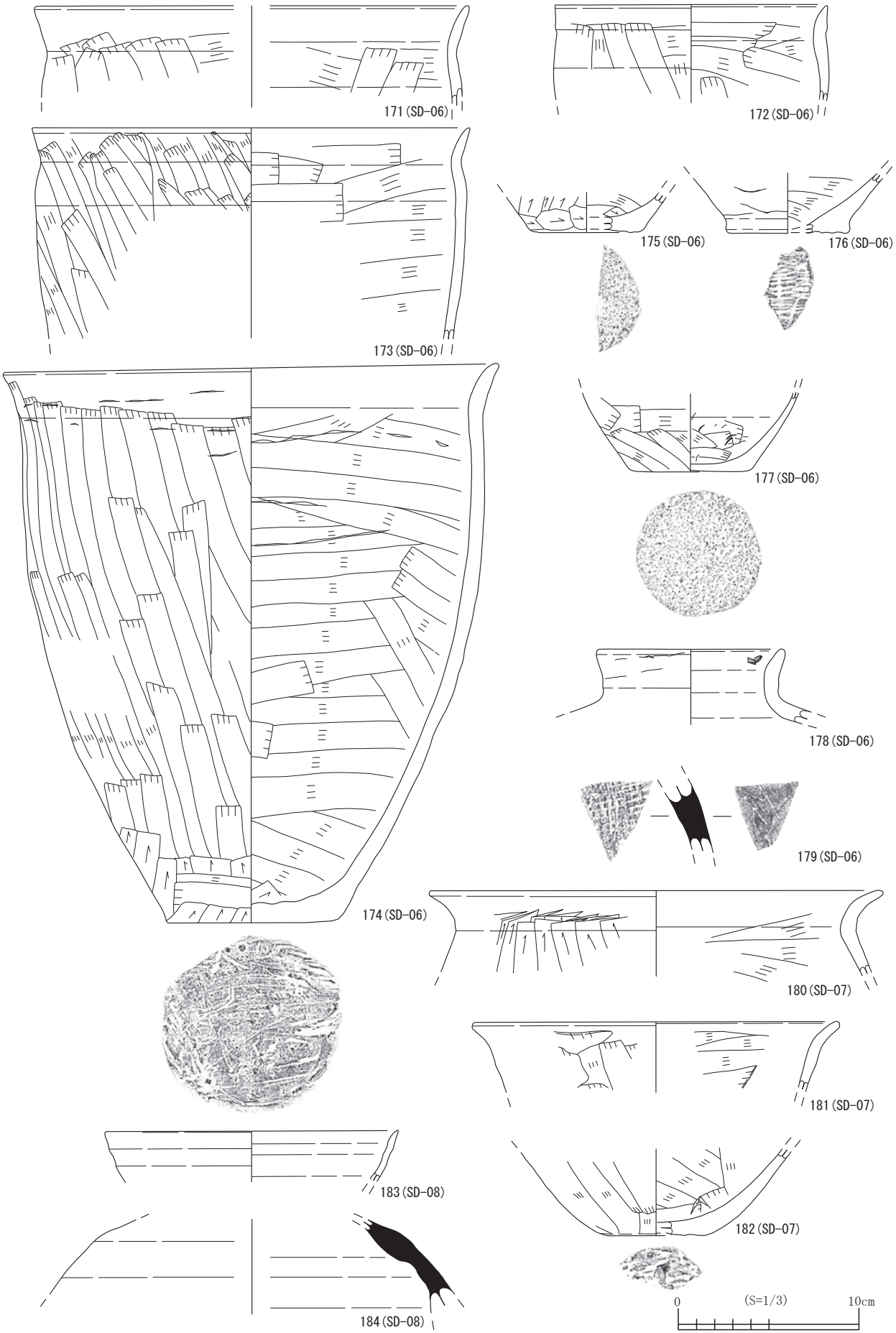
第27図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（７）



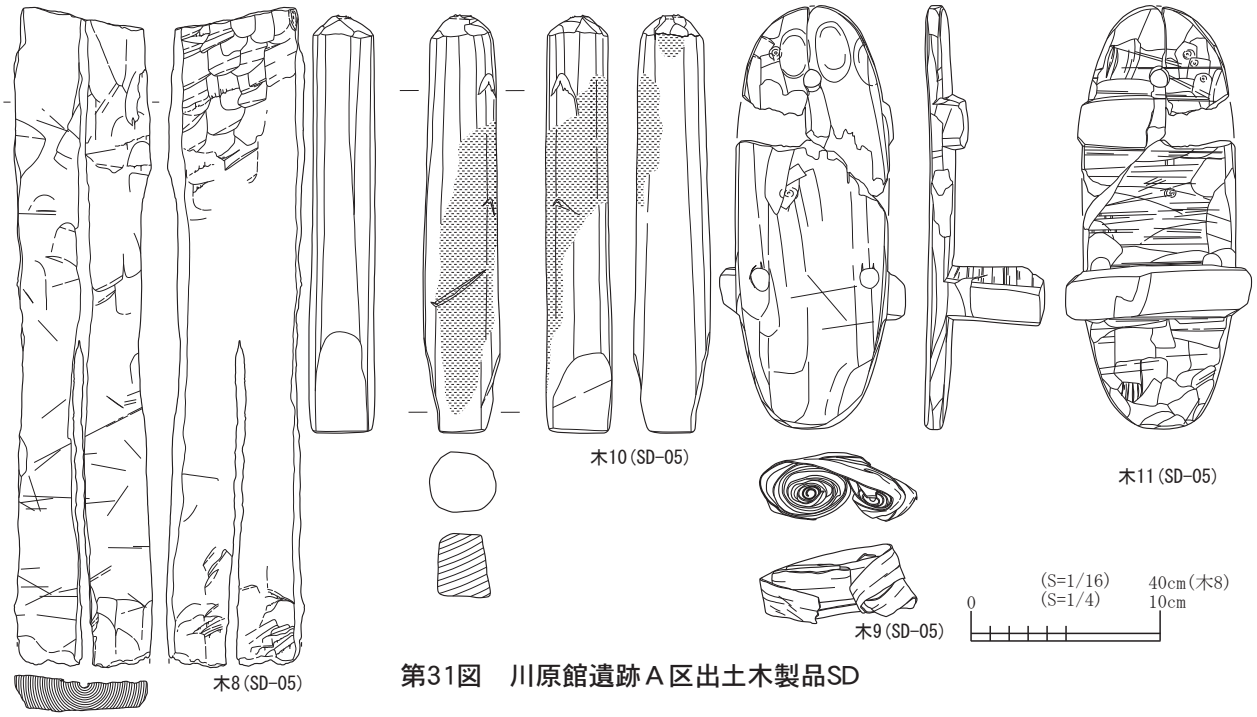
第28図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（８）



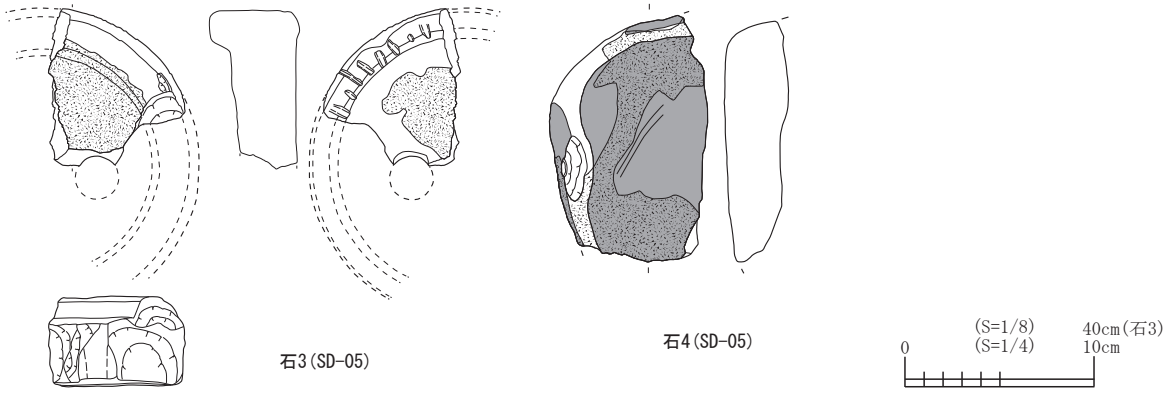
第29図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（９）



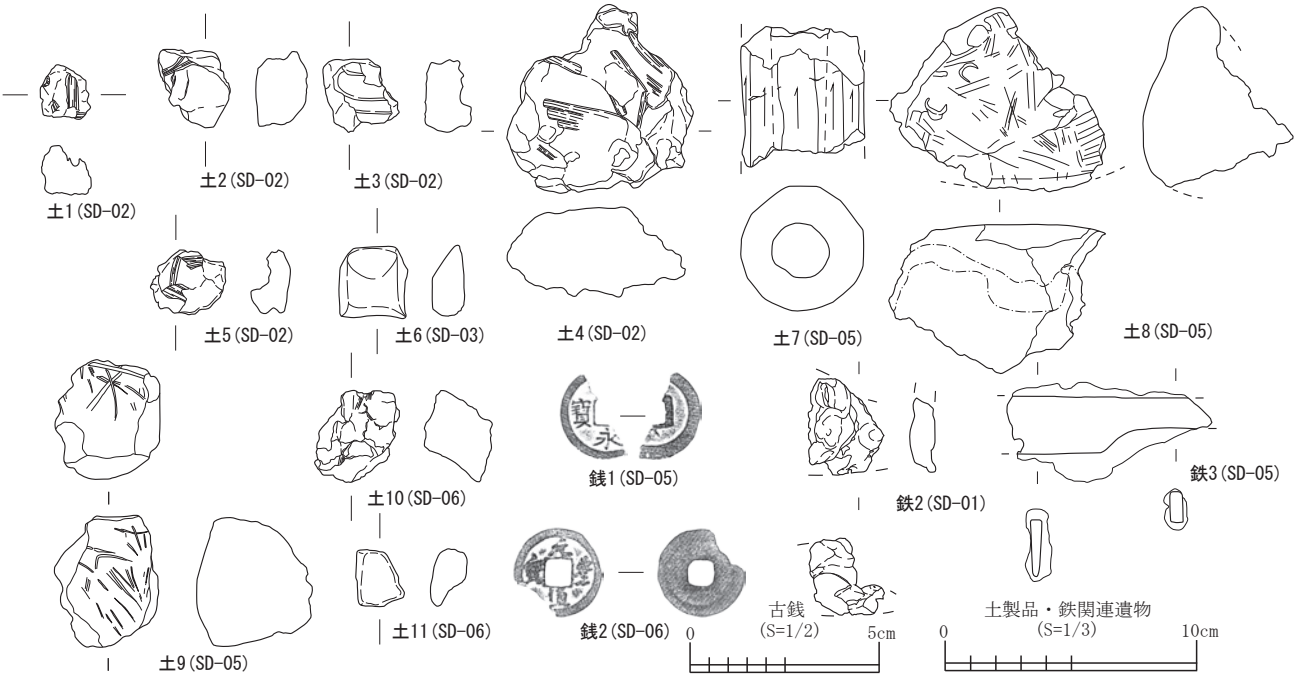
第30図　川原館遺跡Ａ区出土土器SD（10）



第31図　川原館遺跡Ａ区出土木製品SD



第32図　川原館遺跡Ａ区出土石製品SD



第33図　川原館遺跡Ａ区出土土製品・古銭・鉄関連遺物SD

ASE－03（第34図）

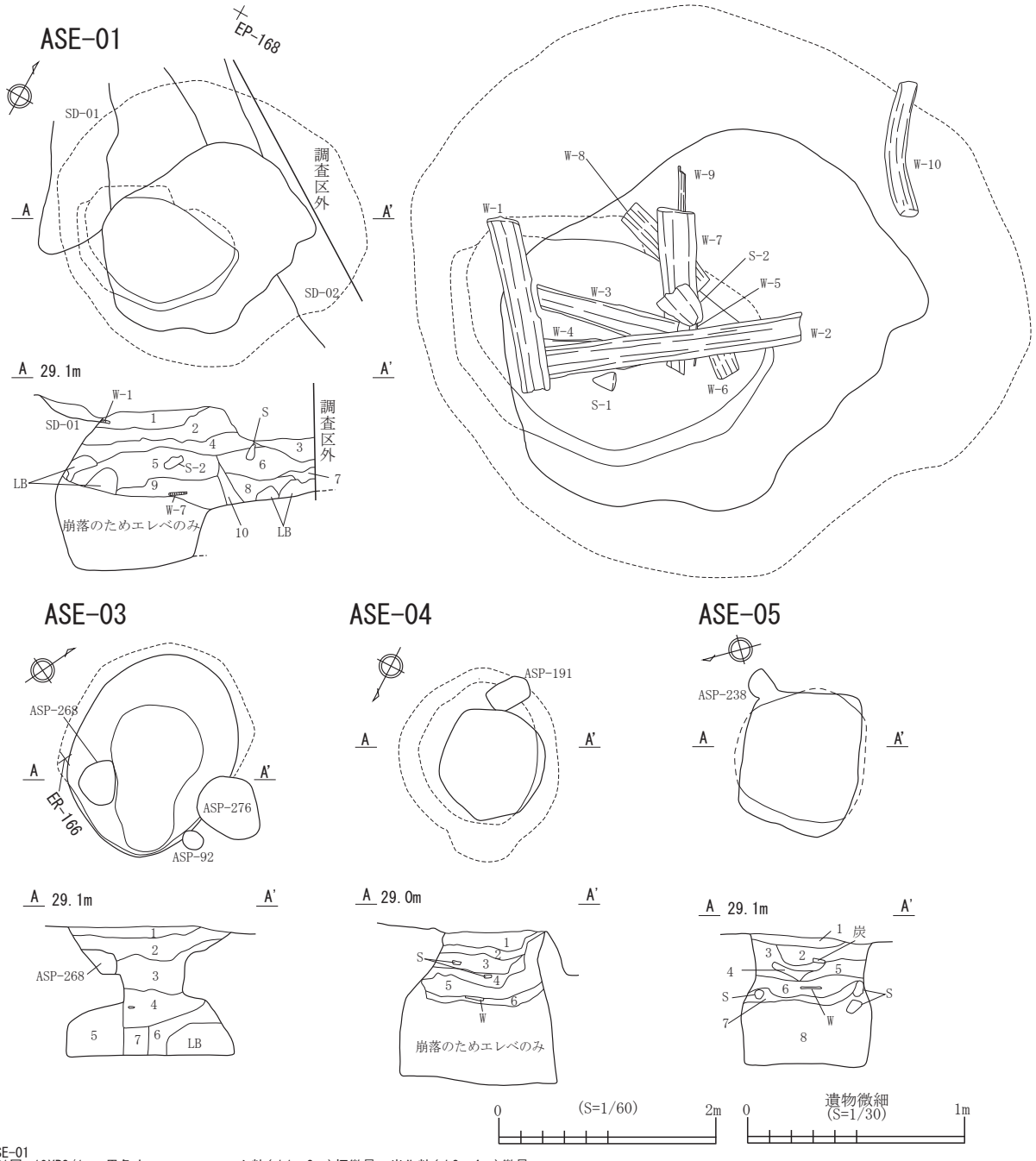
EQ・ER－165・166グリッドで検出した。ASP－92、268、276と重複している。ASP－92、268、276が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面は楕円形を呈し、規模は長軸200×短軸173×深さ118㎝を測る。壁はオーバーハングして立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は７層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積し、ロームブロックが多量に混入しており、人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏２点、越前擂鉢１点、珠洲擂鉢１点（第37図190～193）、木製品６点（第38図木23～28）、礫石器１点（第39図石６）を図示した。190は土師器坏底部の資料で、内外面ともにロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。191は甕の底部の資料で、内外面ともにヘラナデによって調整されており、底部は網代痕が認められる。192は越前擂鉢の口縁部資料、193は珠洲擂鉢の体部下半の資料である。第38図木23は杭で芯持材をそのまま利用している。木24は曲物で、柄杓のひさごの部分であり、樺皮によって柄を通す部分が認められる。木25は柄と考えられ、上端部には不整方形の穿孔が認められる。木26は芯持材をそのまま利用しており、両端を片刃状に加工している。木27は用途不明の木製品で、表面に加工痕が認められる。木28は用途不明の板材で、上端を弧状に加工しており、右側部には穴が穿たれている。第39図石６は台石の破片で、表面及び表面に磨りが認められる。

ASE－04（第34図）

ES－165グリッドで検出した。ASP－191と重複している。ASP－191が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面は不整円形を呈し、規模は長軸177×短軸145×深さ140㎝を測る。壁はオーバーハングして立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は６層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、ロームブロックの混入や堆積状況から人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏４点、甕１点、壺１点（第37図194～199）、木製品８点（第39図木29～36）、土製品１点（第39図土13）を図示した。坏は194・195、197がロクロ調整、196が非ロクロである。196は非ロクロの坏の体部～底部で、底部は静止糸切である。198は壺の口縁～体部で、体部がやや強く丸みを帯びる。199は甕の体部～底部で、底部には網代痕が認められる。第39図木29は皿の口縁部～底部の資料で、ロクロ挽きによって整形されている。木30は漆塗椀の底部資料で、ロクロ挽きによって整形されている。下地として柿渋が塗られており、内面に黒漆が塗られている。木31、34・35は用途不明の板材である。木32は刳物で手斧によって丁寧に加工されており、裏面は整形時の刃痕が認められる。木33は曲物の側板と考えられ、裏面には刻み目が認められる。木36は箸で、丁寧に整形され、断面形は円形を呈する。土13は焼成粘土塊でスサの混入が顕著である。

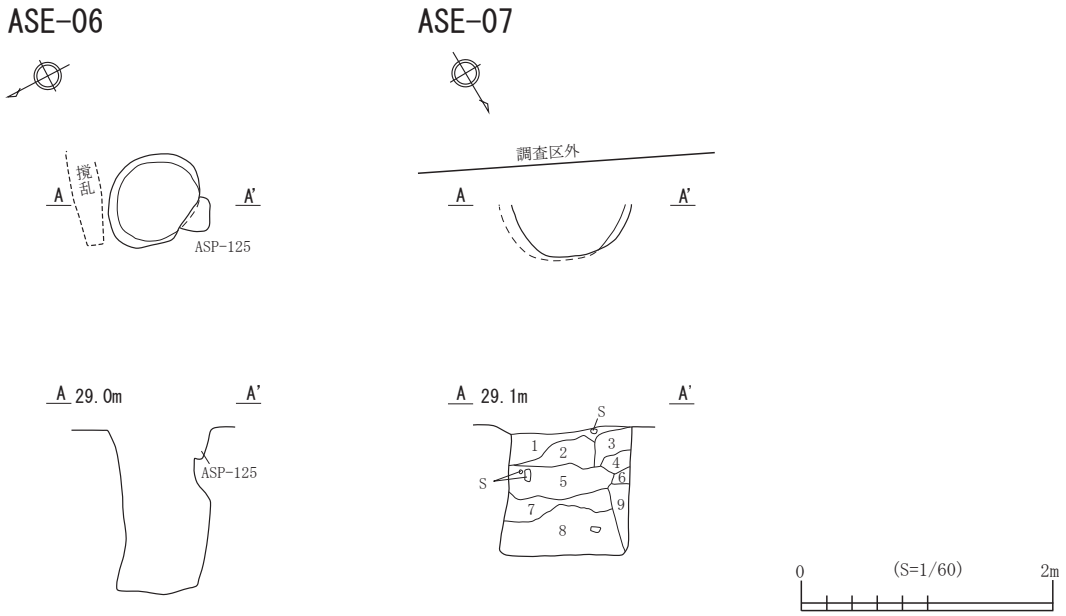
ASE－05（第34図）

ER－166グリッドで検出した。ASP－238と重複しているが、新旧不明である。平面は不整方形を呈し、規模は長軸136×短軸106×深さ115㎝を測る。壁は底面からオーバーハングして立ち上がり、袋状を呈する。底面はほぼ平坦である。堆積土は８層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、人為堆積と考えられる。遺物は木製品６点を図示した（第39図木37～42）。木37、40は用途不明の板材である。木38・39、41は箸である。38、41は上端が折損しており、下端は尖るように整形されている。断面形は木38が楕円形状で、木39、41が円形である。木42は楕円形を呈し、比較的大振りで歯が認められないことから田下駄と考えられる。



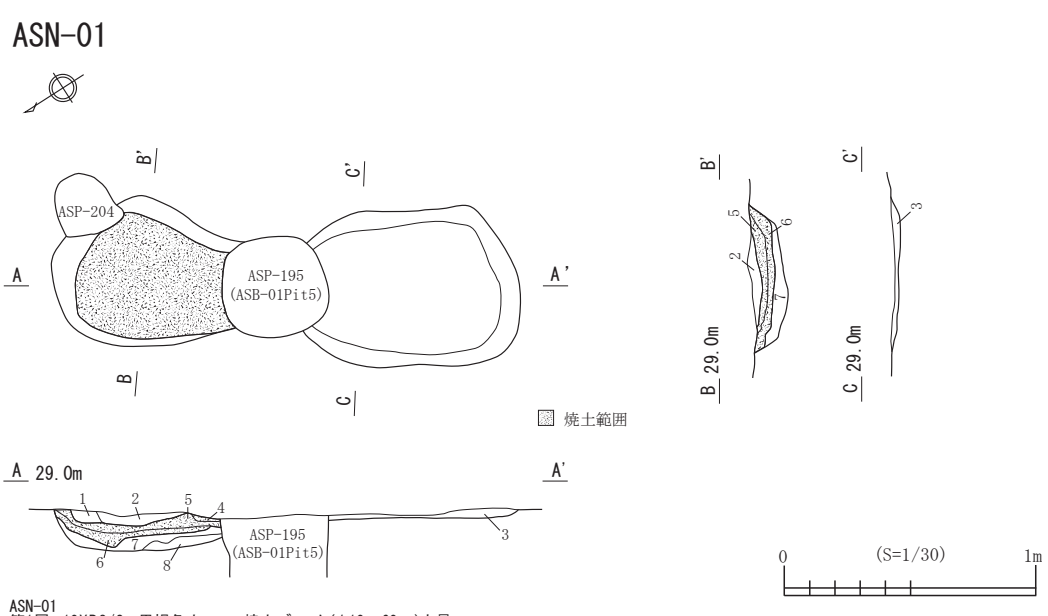
ASE-01
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)極微量、炭化粒(φ2～4mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 炭化粒(φ2～6mm)少量
第3層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 砂質
第4層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ2～3mm)極微量、炭化粒(φ3～4mm)少量
第5層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～5mm)微量、炭化粒(φ4～6mm)少量
第6層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第7層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ4～6mm)少量
第8層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ3～5mm)少量、炭化粒(φ3～4mm)少量
第9層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ3～5mm)少量
第10層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)少量
ASE-03
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ2～10mm)少量
第4層 10YR2/1 黒色土 炭化粒(φ2～3mm)少量
第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第6層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、ロームブロック(φ50mm)多量
第7層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASE-04
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1mm)微量、木皮まだらに混入
第2層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～7mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量
第6層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
ASE-05
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ5～10mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化物・焼土が層状に混入
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量
第4層 10YR3/1 黒褐色土と10YR1.7/1黒色土の混合層 ローム粒(φ1～7mm)中量
第5層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)微量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第6層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ5～10mm)中量、炭化粒(φ5～10mm)多量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第7層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ5～10mm)中量
第8層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ5～10mm)少量

第34図　川原館遺跡Ａ区SE（１）



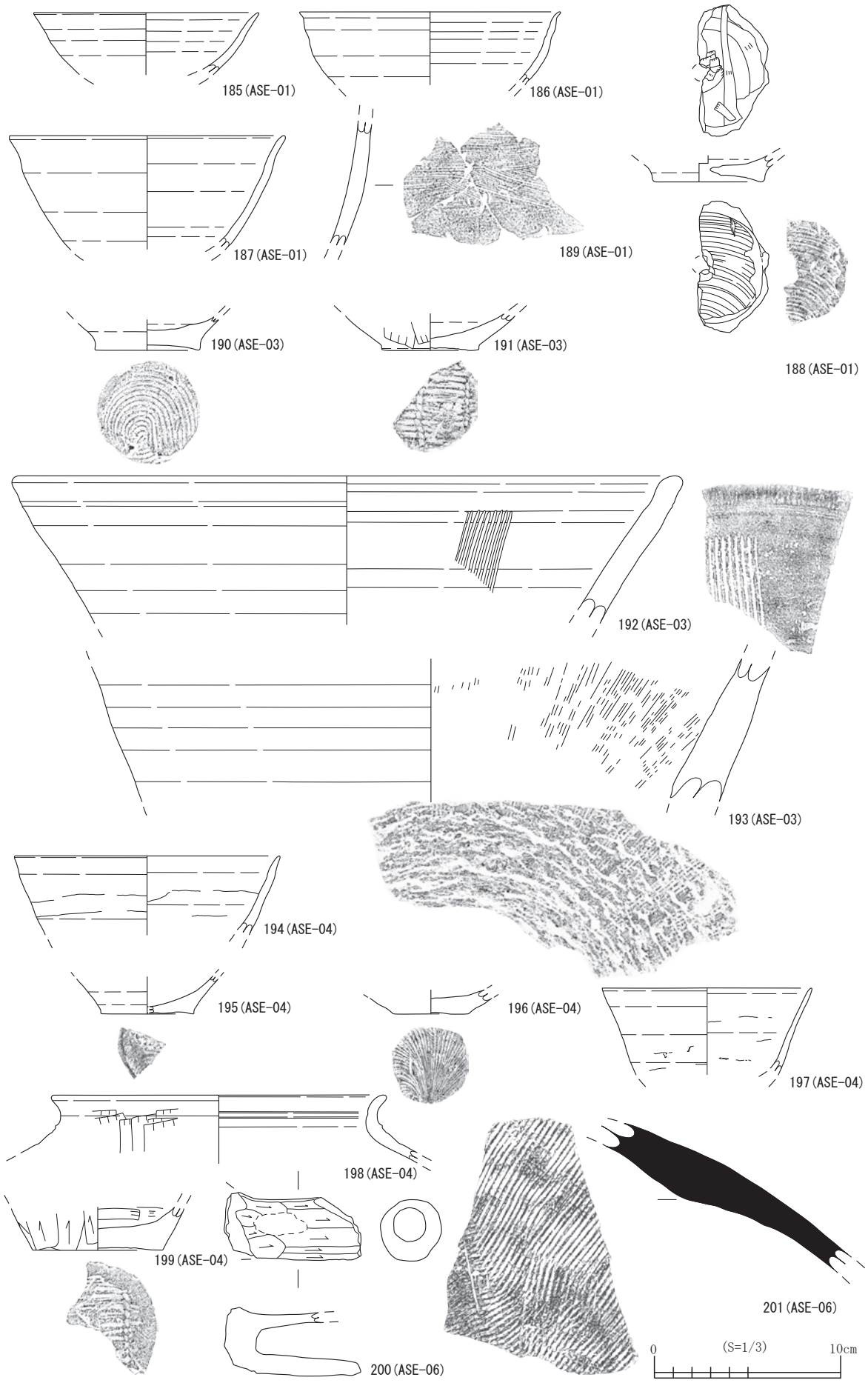
ASE-07
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1mm)微量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第5層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
第6層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第7層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
第8層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
第9層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量

第35図　川原館遺跡Ａ区SE（２）

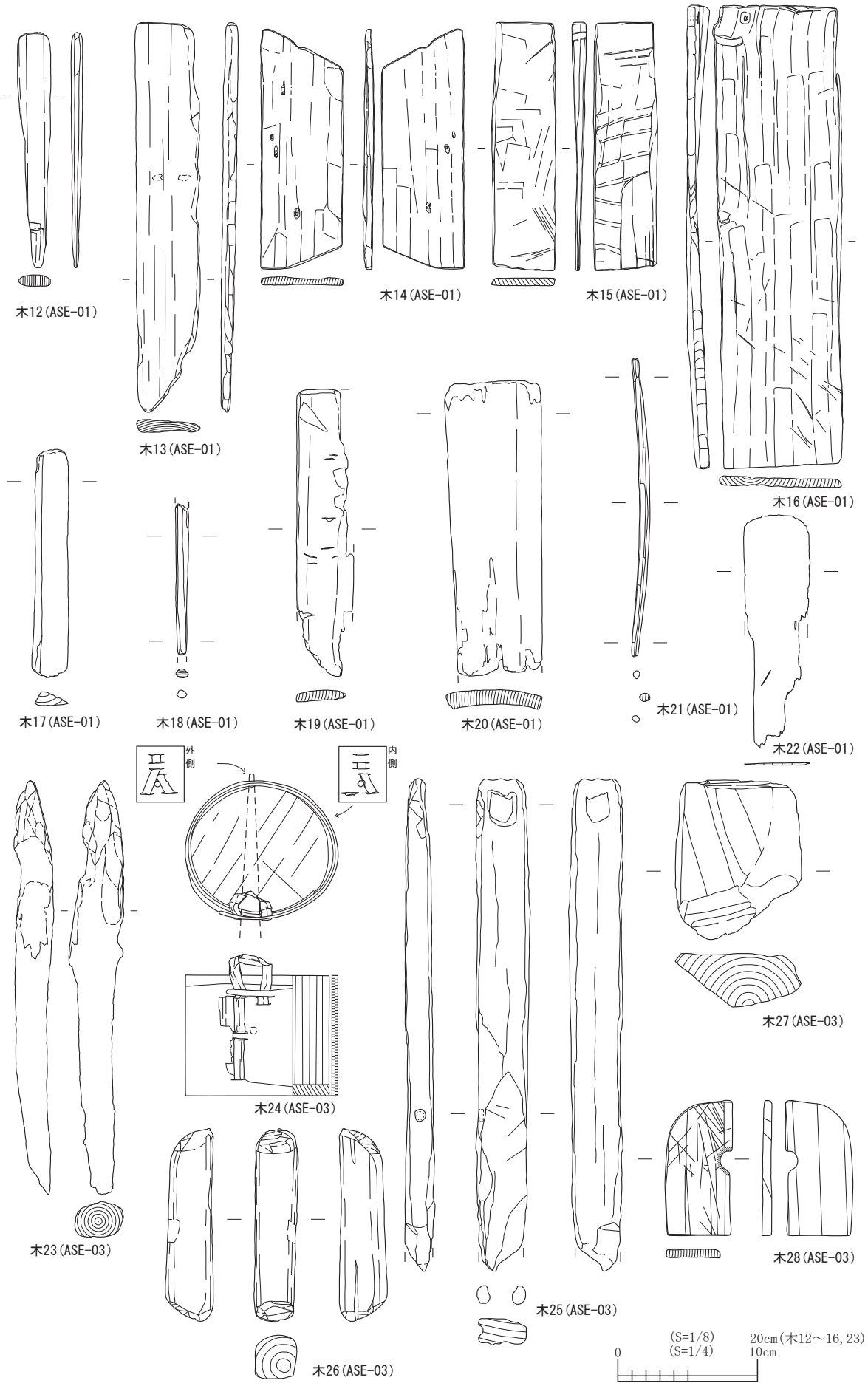


ASN-01
第1層　10YR3/2　黒褐色土　焼土ブロック(φ10～60mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　焼土粒(φ2～3mm)少量、炭化粒(φ2～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ2～6mm)少量
第4層　7.5YR6/4　にぶい橙色土　焼土粒(φ4～6mm)少量
第5層　7.5YR6/2　灰褐色土　炭化粒(φ1～2mm)少量、焼土粒(φ2～3mm)少量
第6層　10YR4/2　灰黄褐色土　炭化粒(φ3～7mm)少量
第7層　10YR3/2　黒褐色土　炭化粒(φ1～8mm)中量
第8層　10YR3/2　黒褐色土　炭化粒(φ1～2mm)微量

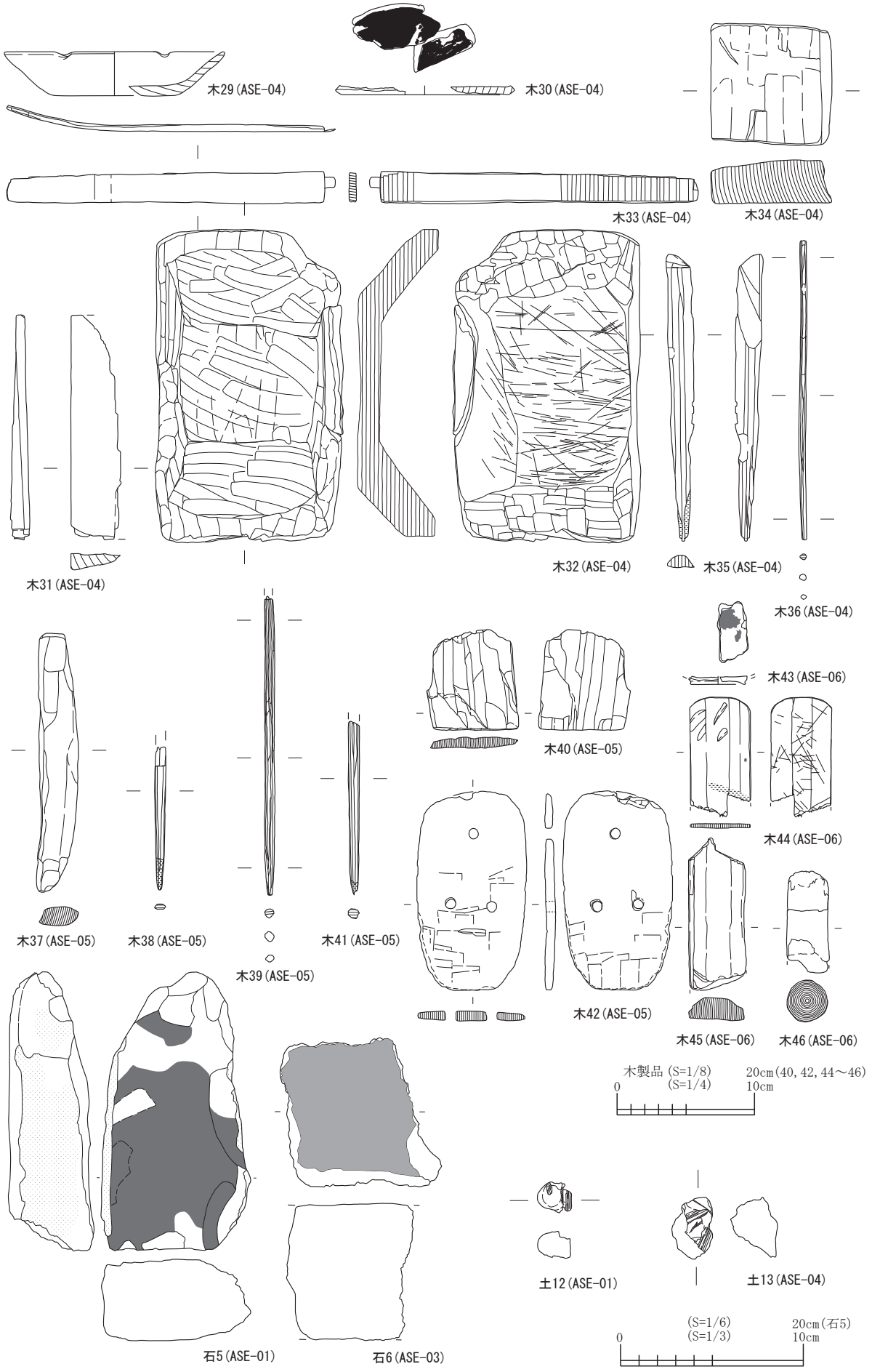
第36図　川原館遺跡Ａ区SN



第37図　川原館遺跡Ａ区出土土器SE



第38図　川原館遺跡Ａ区出土木製品SE（１）



第39図　川原館遺跡Ａ区出土遺物SE

ASE－06（第35図）

ET－166グリッドで検出した。ASP－125と重複しているが、新旧関係は不明である。平面は不整円形を呈し、規模は長軸83×短軸62×深さ127㎝を測る。壁は内側に湾曲しながら立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。調査途中の崩落のため、堆積状況は不明である。遺物は把手付土器１点、須恵器甕１点（第37図200・201）、木製品４点を図示した（第39図木43～46）。200は把手付土器の把手部分で、外面はヘラケズリによって整形されている。一部剥落が認められる。201は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデによって調整されている。木43は漆塗椀の底部資料で、ロクロ挽きによって整形され、内面には赤漆が塗られている。木44～46は用途不明の板材である。木44は薄い板材で上端が半円状に加工され、表裏面には刃痕が認められる。

ASE－07（第35図）

ET・EU－165グリッドで検出した。ASK－31と重複している。本遺構がASK－31を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面は円形を呈し、確認できた部分の規模は長軸97×短軸44×深さ103㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は９層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、堆積状況から埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

５．カマド状遺構

ASN－01（第36図）

ER－165グリッドで検出した。ASB－01Pit5（ASP－195）、ASP－204と重複している。ASP－195、204が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面は馬蹄形の燃焼部と楕円形の前庭部からなる鉄アレイ状を呈しており、カマド状遺構と考えられる。燃焼部の規模は長軸68×短軸60㎝、前庭部は長軸78×短軸62㎝を測る。壁はやや急角度に立ち上がり、火床面はほぼ平坦である。堆積土は８層に分層した。１・２層は黒褐色土主体で、４～６層は焼土層となっており、４・５層上面が火床面である。

６．ピット

Ａ区からは277基のピットを検出した。調査区北側のグリッドラインEPから中央部付近のグリッドラインESにかけて密度が高い状況であった。詳細は第40～59図及び第２表のとおりである。

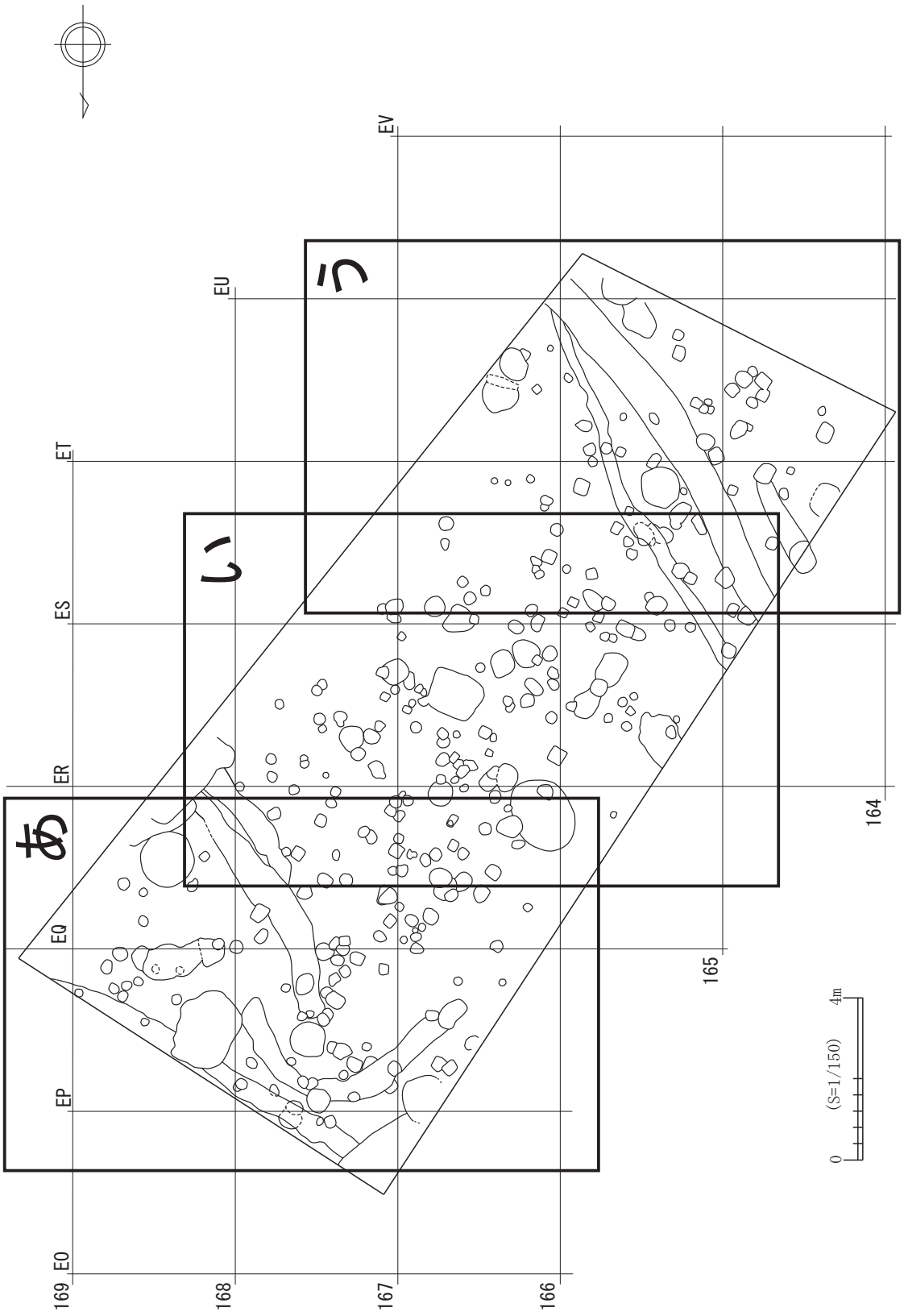
第２表　川原館遺跡Ａ区SP観察表

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（㎝）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第42図	ASP-01	EO・EP - 167	ASP-01>ASP-02 ASP-01<SD-02	36	32	28	h	a			
第42図	ASP-02	EO・EP - 167	ASP-01>ASP-02 ASP-02<SD-02	54	(38)	14	e	a			
第42図	ASP-03	EP-167	ASP-03>ASP-30	48	36	38	c	a	土製品2点（第59図土14、15）		
第42図	ASP-04	EP-167		36	31	42	c	a			
第42図	ASP-05	EQ-167		34	25	14	f	a			
第42図	ASP-06	EQ-167		37	31	14	f	d			
第42図	ASP-07	EQ-167		38	30	15	h	h			
第42図	ASP-08	EP･EQ-167･168		34	32	20	h	d	須恵器甕1点（第59図202）		
第42図	ASP-09	EQ-167		38	26	19	e	a			
第42図	ASP-10	EP・EQ-168	ASP-10>ASK-04	28	26	20	f	a			
第42図	ASP-11	EP-167	ASP-11>SD-03 ASP-11>ASP-12	30	26	26	h	a			
第42図	ASP-12	EP-167	ASP-12>SD-03 ASP-11>ASP-12	28	(16)	26	h	a			
第42図	ASP-13	EP-168		26	24	24	h	a			
第42図	ASP-14	EP-168		24	22	20	h	a			
第42図	ASP-15	EP-168		24	22	21	f	a			
第42図	ASP-16	EP-168		27	25	20	h	a			
第42図	ASP-17	EP-168		28	23	20	e	h			

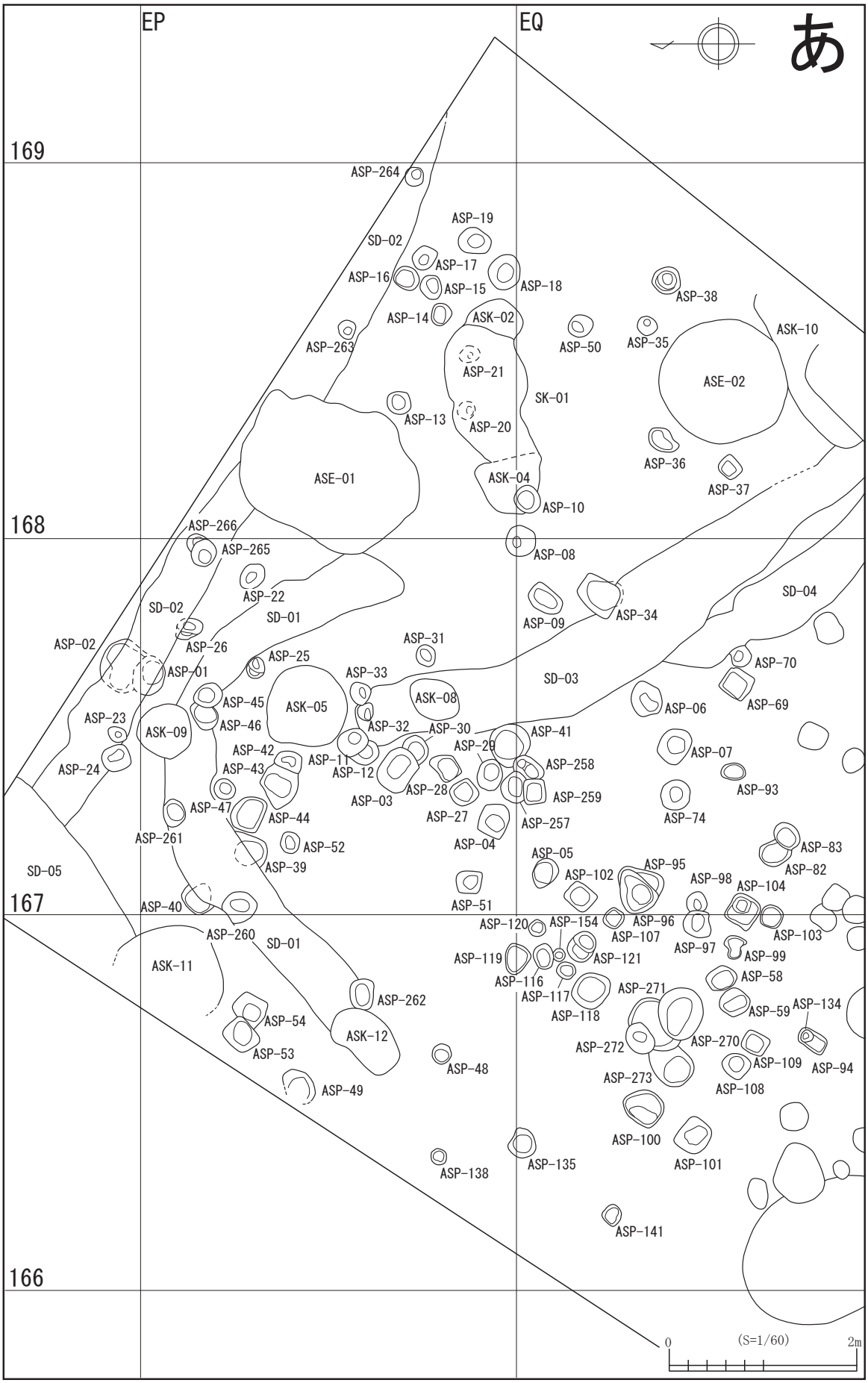
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第42図	ASP-18	EP・EQ - 168		37	34	19	h	d			
第42図	ASP-19	EP-168		35	26	18	e	d			
第43図	ASP-20	EP-168	ASP-20<ASK-01	20	18	16	c	a			
第43図	ASP-21	EP-168	ASP-21<ASK-01	23	18	12	c	d			
第43図	ASP-22	EP-167		30	22	32	f	a			
第43図	ASP-23	EQ-167	ASP-23>SD-02	21	16	11	e	g			
第43図	ASP-24	EQ-167	ASP-24>SD-02	30	27	27	f	a			
第43図	ASP-25	EP-167		26	21	16	e	e			
第43図	ASP-26	EP-167	ASP-26>SD-02	30	21	12	e	e			
第43図	ASP-27	EP-167		27	27	14	c	a			
第43図	ASP-28	EP-167		34	25	13	e	i			
第43図	ASP-29	EP-167		30	24	20	f	a			
第42図	ASP-30	EP-167	ASP-30<ASP-03	30	(18)	32	h	a			
第43図	ASP-31	EP-167		23	21	11	h	a			
第43図	ASP-32	EP-167	ASP-32>SD-03	19	18	9	e	h			
第43図	ASP-33	EP-167	ASP-33>SD-03	25	23	29	e	a			
第43図	ASP-34	EQ-167	ASP-34>SD-03	44	36	46	b	a	土師器坏1点（第59図203）、土製品1点（第59図土16）	平安時代	
第43図	ASP-35	EQ-168		22	20	13	h	i			
第43図	ASP-36	EQ-168		35	25	10	e	a			
第43図	ASP-37	EQ-168		24	21	13	c	a			
第43図	ASP-38	EQ-168		30	27	20	h	e			
第43図	ASP-39	EP-167	ASP-39<SD-01	48	(20)	16	h	a			
第43図	ASP-40	EP-167	ASP-40<SD-01	35	(15)	10	h	a			
第44図	ASP-41	EP・EQ-167	ASP-258>ASP-41>SD-03	48	44	16	h	a			
第44図	ASP-42	EP-167	ASP-42>ASP-43	27	19	9	c	a			
第44図	ASP-43	EP-167	ASP-43<ASP-42	(45)	40	16	e	a			
第44図	ASP-44	EP-167		38	34	35	e	a			
第44図	ASP-45	EP-167	ASP-45>ASP-46	34	24	35	h	d			
第44図	ASP-46	EP-167	ASP-45>ASP-46>SD-01	31	24	14	h	a			
第44図	ASP-47	EP-167		23	22	19	h	a			
第44図	ASP-48	EP-166		20	20	10	h	a			
第44図	ASP-49	EP-166		40	(23)	22	h	a			
第44図	ASP-50	EQ-168		24	24	22	c	a			
第44図	ASP-51	EP-167		28	24	29	c	a			
第44図	ASP-52	EP-167		23	21	10	h	h			
第44図	ASP-53	EP-166	ASP-53>ASP-54	36	29	30	c	a			
第44図	ASP-54	EP-166	ASP-54<ASP-53	35	(28)	18	c	a			
第48図	ASP-55	EQ・ER-166	ASP-56と新旧不明	68	(52)	46	c	a			
第48図	ASP-56	ER-166	ASP-56>ASP-65 ASP-55と新旧不明	34	(28)	18	c	a			
第48図	ASP-57	ER-166		18	18	20	c	a			
第44図	ASP-58	EQ-166		32	26	48	h	a			
第44図	ASP-59	EQ-166		32	30	20	h	a			
第48図	ASP-60	ER-165		16	15	10	h	a			
第55図	ASP-61	ES-165	SD-07<ASP-61<ASP-175	40	(35)	12	c	a			
第55図	ASP-62	ES-165	ASP-62<SD-07 ASP-63と新旧不明	42	(44)	20	h	a			
第55図	ASP-63	ET-165	ASP-63<SD-07 ASP-64、ASP-62と新旧不明	(32)	(20)	24	h	a			
第55図	ASP-64	ES-165	ASP-64<SD-07	56	36	46	h	a			
第48図	ASP-65	EQ・ER-166	ASP-65<ASP-56 ASP-55と新旧不明	40	(33)	40	c	a			
第48図	ASP-66	ER-165	ASP-66<ASK-18	30	27	50	c	a			
第48図	ASP-67	EQ-165		16	15	12	h	a			
第55図	ASP-68	ET-165	ASP-68>SD-06	44	43	40	c	a			
第44図	ASP-69	EQ-167		30	31	28	c	a			
第44図	ASP-70	EQ-167	ASP-70>SD-04	22	(20)	18	h	d			
第48図	ASP-71	EQ-167		34	26	22	e	d			
第48図	ASP-72	EQ・ER-167	ASP-72>SD-04	22	21	4	h	d			
第48図	ASP-73	EQ-166		32	29	15	f	d			
第44図	ASP-74	EQ-167		32	30	46	h	j			
第48図	ASP-75	ER-167		28	24	12	h	a			
第48図	ASP-76	EQ・ER-167		27	26	40	h	a			
第48図	ASP-77	ER-167		26	26	12	h	a			
第48図	ASP-78	ER-167	ASP-78<ASP-79	22	(20)	14	h	a			
第48図	ASP-79	ER-167	ASP-79>ASP-78	19	15	8	h	a			
第48図	ASP-80	EQ-167		24	23	10	g	a			
第48図	ASP-81	EQ-167		27	24	12	h	a			
第44図	ASP-82	EQ-167	ASP-82<ASP-83	34	(28)	15	f	a			
第44図	ASP-83	EQ-167	ASP-83>ASP-82	30	22	20	f	a			
第48図	ASP-84	ER-167		15	15	6	h	d			
第48図	ASP-85	EQ-167		30	27	10	c	a			
第49図	ASP-86	ER-167		24	21	12	h	a			
第49図	ASP-87	EQ-166	ASP-87>ASP-89	28	24	18	h	a			
第49図	ASP-88	EQ-166・167	ASP-88<ASP-91 ASP-136と新旧不明	20	(16)	24	f	a			
第49図	ASP-89	EQ-166	ASP-87>ASP-89 ASP-90>ASP-89	(19)	(14)	10	f	a			
第49図	ASP-90	EQ-166・167	ASP-90>ASP-89 ASP-90>ASP-91	30	29	14	h	a			
第49図	ASP-91	EQ-167	ASP-91<ASP-90 ASP-91>ASP-88、136	29	(23)	29	a	a			
第49図	ASP-92	EQ-166	ASP-92>ASE-03	20	17	26	h	a			
第45図	ASP-93	EQ-167		26	18	8	f	d			
第45図	ASP-94	EQ-166	ASP-134と新旧不明	(17)	19	10	c	a			
第45図	ASP-95	EQ-167	ASP-95>ASP-96	48	(13)	30	e	a			
第45図	ASP-96	EQ-167	ASP-96<ASP-95	48	34	22	e	a			
第45図	ASP-97	EQ-166・167	ASP-97>ASP-98	30	29	26	e	a			
第45図	ASP-98	EQ-167	ASP-98<ASP-97	22	(20)	30	h	a	須恵器壺1点（第59図204）	平安時代	
第45図	ASP-99	EQ-166		25	14	20	e	a			
第45図	ASP-100	EQ-166		44	38	22	h	a			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第45図	ASP-101	EQ-166		36	32	35	c	a			
第45図	ASP-102	EQ-167		30	26	46	c	a			
第45図	ASP-103	EQ-166・167		32	32	20	c	a			
第45図	ASP-104	EQ-166・167		24	24	18	h	a			
第49図	ASP-105	ER-166		28	27	22	h	a			
第49図	ASP-106	ER-167		48	33	19	e	i			
第45図	ASP-107	EQ-166・167		20	20	10	c	a			
第45図	ASP-108	EQ-166		30	26	20	h	a			
第45図	ASP-109	EQ-166		27	22	34	c	a			
第49図	ASP-110	ER-167	ASP-110>ASP-146	26	24	14	h	a			
第49図	ASP-111	ER-167		39	30	34	e	a			
第49図	ASP-112	ER-167	ASP-112<ASP-113	62	60	38	h	j	鉄関連遺物1点（第12図鉄1）		ASB-01Pit1
第49図	ASP-113	ER-167	ASP-113>ASP-112	36	32	38	h	a			
第49図	ASP-114	ER-167		42	35	24	f	i			
第49図	ASP-115	ER-167		26	22	21	e	a			
第45図	ASP-116	EQ-166	ASP-116>ASP-154	28	22	24	f	a			
第45図	ASP-117	EQ-166		20	18	14	h	a			
第45図	ASP-118	EQ-166		40	36	23	c	a			
第45図	ASP-119	EP・EQ-166		32	25	24	f	a			
第45図	ASP-120	EQ-166		19	18	14	h	a			
第45図	ASP-121	EQ-166		34	21	20	f	i			
第49図	ASP-122	ER-166	ASP-122>ASP-277	24	23	7	h	a			
第49図	ASP-123	EQ・ER-166		23	17	15	f	a			
第49図	ASP-124	ER-166	ASP-124<ASP-129	36	30	12	f	e			
第55図	ASP-125	ET-166	ASE-06と新旧不明	28	16	26	a	i			
第49図	ASP-126	ER-165・166		38	38	54	c	j			ASB-01Pit6
第49図	ASP-127	ER-166	ASP-127>ASP-128 ASP-127>ASP-130	37	25	15	f	a			
第49図	ASP-128	ER-166	ASP-128<ASP-127・129・130	26	(16)	25	f	a			
第49図	ASP-129	ER-166	ASP-129>ASP-124・128	26	18	22	c	a			
第49図	ASP-130	ER-166	ASP-130<ASP-127・128	(39)	(25)	15	e	a			
第50図	ASP-131	ER-166	ASP-131>ASP-132	29	25	50	c	a			
第50図	ASP-132	ER-166	ASP-132<ASP-131	32	(26)	48	h	a			
第50図	ASP-133	ER-166		20	15	15	f	a			
第45図	ASP-134	EQ-166	ASP-94と新旧不明	14	13	10	h	d			
第46図	ASP-135	EP・EQ-166		32	38	16	h	d			
第49図	ASP-136	EQ-166・167	ASP-88と新旧不明	20	(14)	26	f	a			
第55図	ASP-137	ET-165		38	(18)	−	a	d			
第46図	ASP-138	EP-166		18	18	20	h	a			
第50図	ASP-139	EQ-166		33	20	10	f	a			
第50図	ASP-140	EQ-166		32	32	46	h	a			
第46図	ASP-141	EQ-166		20	20	6	h	a			
第50図	ASP-142	ER-166		31	18	21	c	a			
第50図	ASP-143	ER-166		20	26	8	f	a			
第50図	ASP-144	ER-166	ASP-144<ASP-224	26	(19)	18	f	a			
第50図	ASP-145	ER-166		39	33	30	e	a			
第49図	ASP-146	ER-167	ASP-146<ASP-110	(22)	24	20	h	j			
第50図	ASP-147	ER-166		28	26	21	h	a			
第50図	ASP-148	ER-166		38	35	26	h	a	土師器甕1点（第59図205）、砥石1点（第59図石7）	平安時代	
第50図	ASP-149	ER-166		18	17	10	h	a			
第50図	ASP-150	ER-166		52	29	20	f	d			
第50図	ASP-151	ER-166		30	24	10	f	a			
第50図	ASP-152	ER-166		30	26	18	e	a			
第50図	ASP-153	ER-166	ASP-153>ASP-236	23	17	10	e	d			
第46図	ASP-154	EQ-166	ASP-154<ASP-116	14	14	14	h	a			
第50図	ASP-155	ER-167		20	17	25	a	a			
第50図	ASP-156	ER-167		27	27	20	h	a			
第51図	ASP-157	ER-165		23	22	16	h	a			
第51図	ASP-158	ER-165		18	18	30	h	a			
第51図	ASP-159	ER-165		22	21	26	h	a			
第51図	ASP-160	ER-165		24	22	12	h	a			
第55図	ASP-161	ES-166		28	19	20	f	e			
第55図	ASP-162	ES-166		36	32	46	h	a	土師器甕1点（第59図206）	平安時代	
第51図	ASP-163	ER-167	ASP-163>ASK-249	21	16	28	d	a			
第51図	ASP-164	ER-166・167		19	19	56	d	a			
第51図	ASP-165	ES-165		25	23	24	c	a			
第51図	ASP-166	ER・ES-166	ASP-166>ASK-26	24	22	40	a	a			
第51図	ASP-167	ER-166		19	16	20	h	a			
第51図	ASP-168	ER-166		22	18	37	c	a			
第51図	ASP-169	ER・ES-166		39	30	34	f	a			
第55図	ASP-170	ES-166		34	32	15	c	a			
第51図	ASP-171	ER-167		22	20	50	a	a			
第51図	ASP-172	ER-166	ASP-172<ASK-28	44	26	27	f	a			
第51図	ASP-173	ER-165		20	18	20	d	a			
第51図	ASP-174	ER・ES-165		26	24	10	c	a			
第55図	ASP-175	ES-165	ASP-175>ASP-61	30	28	26	c	a			
第55図	ASP-176	ES-165		26	26	12	h	d			
第55図	ASP-177	ES-165		25	26	10	h	d			
第55図	ASP-178	ES-165		30	23	26	c	a			
第55図	ASP-179	ES-165	ASP-179>SD-07	40	38	70	c	a			
第56図	ASP-180	ET-165	ASP-180>SD-07	27	28	20	h	a			
第56図	ASP-181	ET-165		23	23	34	a	a			
第56図	ASP-182	ET-165		30	29	22	h	a			
第56図	ASP-183	ES・ET-165		26	24	12	h	d			
第56図	ASP-184	ET-165		19	16	19	h	a			
第56図	ASP-185	ET-165		42	28	12	h	a			
第56図	ASP-186	ET-165		23	18	13	f	a			
第56図	ASP-187	ET-166		15	14	10	h	a			
第51図	ASP-188	ES-166		32	26	31	f	a			
第51図	ASP-189	ER・ES-166		40	30	11	f	a			

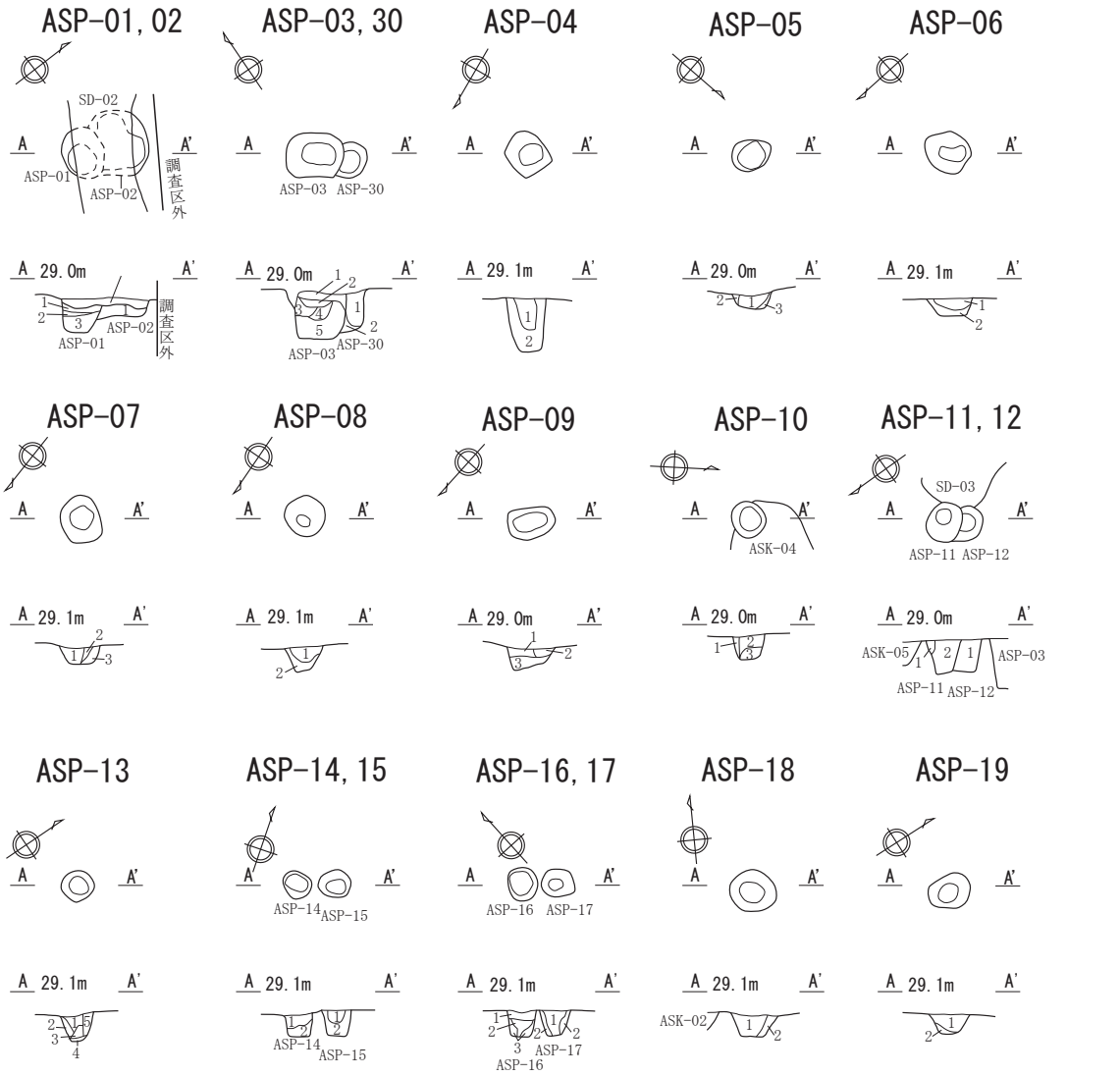
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第52図	ASP-190	ER-166・167		23	22	27	h	a			
第56図	ASP-191	ES・ET-165	ASP-191>ASE-04	40	22	25	f	i			
第56図	ASP-192	ES-165		17	17	12	h	d			
第51図	ASP-193	ES-166・167	ASP-193<ASP-274	39	(22)	16	f	a			
第51図	ASP-194	ES-167	ASP-194<ASP-274	24	(22)	40	h	d			
第52図	ASP-195	ER-165	ASP-195>ASN-01	42	40	60	h	a			ASB-01Pit5
第56図	ASP-196	ET-164	ASP-196<ASP-197	44	30	15	a	a			
第56図	ASP-197	ET-164	ASP-197>ASP-196	36	(30)	29	e	d			
第56図	ASP-198	ES-164	ASP-198>SD-08	52	42	20	a	a			
第56図	ASP-199	ES-164		24	24	16	c	a			
第52図	ASP-200	ES-165	ASP-200>ASK-25	34	30	15	a	a			
第56図	ASP-201	ES-165		28	26	19	c	a			
第52図	ASP-202	ES・ER-165		28	26	16	c	a			
第56図	ASP-203	ES-164		18	18	26	c	a			
第52図	ASP-204	ER-165	ASP-204>ASN-01	26	23	8	h	d			
第57図	ASP-205	ES-164		31	29	30	c	a			
第57図	ASP-206	ET-164･165		39	35	44	c	a			
第57図	ASP-207	ES-165		21	20	20	h	a			
第57図	ASP-208	ES-165・166		31	31	18	h	a			
第57図	ASP-209	ES-165		38	36	28	c	a			
第57図	ASP-210	ET-164		49	38	36	b	d			
第52図	ASP-211	ES-165	ASP-211>ASP-212	46	44	45	c	d			
第52図	ASP-212	ES-165	ASP-212<ASP-211	23	(18)	12	h	a			
第52図	ASP-213	ER-165	ASP-213<ASK-24	32	30	10	f	e			
第57図	ASP-214	ES-166	ASP-214<ASP-215	20	15	10	h	d			
第57図	ASP-215	ES-166	ASP-215>ASP-214	32	21	16	f	i			
第57図	ASP-216	ES-166	ASP-254<ASP-216<ASP-217	21	15	12	c	a			
第57図	ASP-217	ES-166	ASP-217>ASP-216	24	18	14	h	a			
第57図	ASP-218	ES-166		27	26	15	h	a			
第57図	ASP-219	ET-164		28	20	14	e	g			
第57図	ASP-220	ET-164	ASP-222と新旧不明	38	32	24	c	a			
第57図	ASP-221	ET-164		30	24	10	f	a			
第57図	ASP-222	ET-164	ASP-220と新旧不明	28	(26)	24	c	a			
第57図	ASP-223	ES-164		29	22	10	f	a			
第50図	ASP-224	ER-166	ASP-224>ASP-144	24	23	26	h	a			
第57図	ASP-225	ET-166		22	22	24	a	a			
第52図	ASP-226	ER・ES-165		24	20	30	c	a			
第57図	ASP-227	ES-166		20	18	12	c	a			
第52図	ASP-228	ER-164・165	ASP-228>SD-07	36	35	−	c	a			
第57図	ASP-229	ES-165	ASK-20と新旧不明	39	(20)	−	e	a			
第57図	ASP-230	ES-164・165	ASP-230>SD-06	43	41	30	c	a	鉄製品1点（第59図鉄4）	平安時代	
第52図	ASP-231	ER・ES-164	SD-06と新旧不明	42	(34)	−	c	a			
第52図	ASP-232	ES-164		32	25	−	c	a			
第52図	ASP-233	ER-165	ASP-223>ASP-234	23	21	10	h	a			
第52図	ASP-234	ER-165	ASP-234<ASP-223	(20)	19	10	h	a			
第57図	ASP-235	ES-166		26	26	24	h	a			
第50図	ASP-236	ER-166	ASP-236<ASP-153	(16)	16	23	e	a			
第58図	ASP-237	ES-166		32	30	37	e	d			
第52図	ASP-238	ER-166	ASE-05と新旧不明	23	(22)	18	c	a			
第52図	ASP-239	ER-166		24	24	28	h	a			
第58図	ASP-240	ES-166		15	14	18	h	a			
第58図	ASP-241	ES-166		16	16	20	h	a			
第52図	ASP-242	ES-165		24	23	16	c	a			
第58図	ASP-243	ET-164	ASP-243<ASP-244	27	(22)	10	c	a			
第58図	ASP-244	ET-164	ASP-244>ASP-243	38	22	34	c	a			
第58図	ASP-245	ET-164		31	30	9	e	d			
第58図	ASP-246	ET-165	ASP-246<ASP-247	30	14	10	h	a			
第58図	ASP-247	ET-165	ASP-246<ASP-247>ASP-248	22	22	28	h	a			
第58図	ASP-248	ET-165	ASP-248<ASP-247	28	25	20	f	e			
第53図	ASP-249	ER-166・167	ASP-163>ASP-249>ASP-163	66	58	52	c	d			ASB-01Pit2
第53図	ASP-250	ES-166		50	50	24	h	d			ASB-01Pit3
第58図	ASP-251	ET-165		26	26	40	c	a			
第58図	ASP-252	ET-165		24	21	32	a	e			
第53図	ASP-253	ES-165・166		22	22	46	c	a			
第58図	ASP-254	ES-166	ASP-254<ASP-216	32	21	46	f	c	須恵器長頸壺1点（第59図207）	平安時代	
第53図	ASP-255	ER-166	ASP-255>ASP-275	23	22	20	c	a			
第58図	ASP-256	ES-165		51	23	−	f	a			
第46図	ASP-257	EP・EQ-167	ASP-258<ASP-257<ASP-259	34	(22)	26	h	a			
第46図	ASP-258	EP・EQ-167	ASP-41<ASP-258<ASP-257<ASP-259	34	(20)	24	h	a			
第46図	ASP-259	EQ-167	ASP-258<ASP-257<ASP-259	26	24	7	f	d			
第46図	ASP-260	EP-166・167	SD-01と新旧不明	33	33	24	f	a			
第46図	ASP-261	EP-167	SD-01<ASP-261	30	23	13	h	a			
第46図	ASP-262	EP-166	SD-01<ASP-262	34	25	34	f	a			
第46図	ASP-263	EP-168	SD-02と新旧不明	20	18	6	h	d			
第46図	ASP-264	EP-168	SD-02と新旧不明	21	19	10	h	d			
第46図	ASP-265	EP-167	ASP-265>ASP-266 SD-02と新旧不明	28	24	22	h	d	須恵器甕1点（第59図208）、焼成粘土塊1点（第59図土17）	平安時代	
第46図	ASP-266	EP-167・168	ASP-265>ASP-266 SD-02と新旧不明	22	(10)	18	h	d			
第58図	ASP-267	ET-165	SD-06と新旧不明	34	20	74	h	a			
第53図	ASP-268	EQ・ER-168	ASP-268>ASE-03	41	34	22	h	d			
第58図	ASP-269	ES-164	ASP-269>SD-08	67	(25)	66	h	a	土師器坏1点（第59図209）	平安時代	
第46図	ASP-270	EQ-166	ASP-270>ASP-271	54	47	22	f	a	土師器甕1点（第59図210）	平安時代	
第46図	ASP-271	EQ-166	ASP-270>ASP-271<ASP-272 ASP-271>ASP-273	61	(40)	35	c	a			
第46図	ASP-272	EQ-166	ASP-271>ASP-273<ASP-272	33	26	34	f	a			
第46図	ASP-273	EQ-166	ASP-271>ASP-273<ASP-272	(50)	40	23	f	a			
第51図	ASP-274	ES-166・167	ASP-193<ASP-274>ASP-194	44	38	48	e	a			
第53図	ASP-275	ER-166	ASP-275＜ASP-255	73	64	60	e	j			ASB-01Pit4
第53図	ASP-276	EQ-166	ASP-276＜ASE-03	64	54	54	e	i			ASB-01Pit7
第53図	ASP-277	EQ・ER-166	ASP-277＜ASP-122	60	54	28	h	a	礫石器2点（第12図石1・2）		ASB-01Pit8



第40図　川原館遺跡Ａ区SP分割図



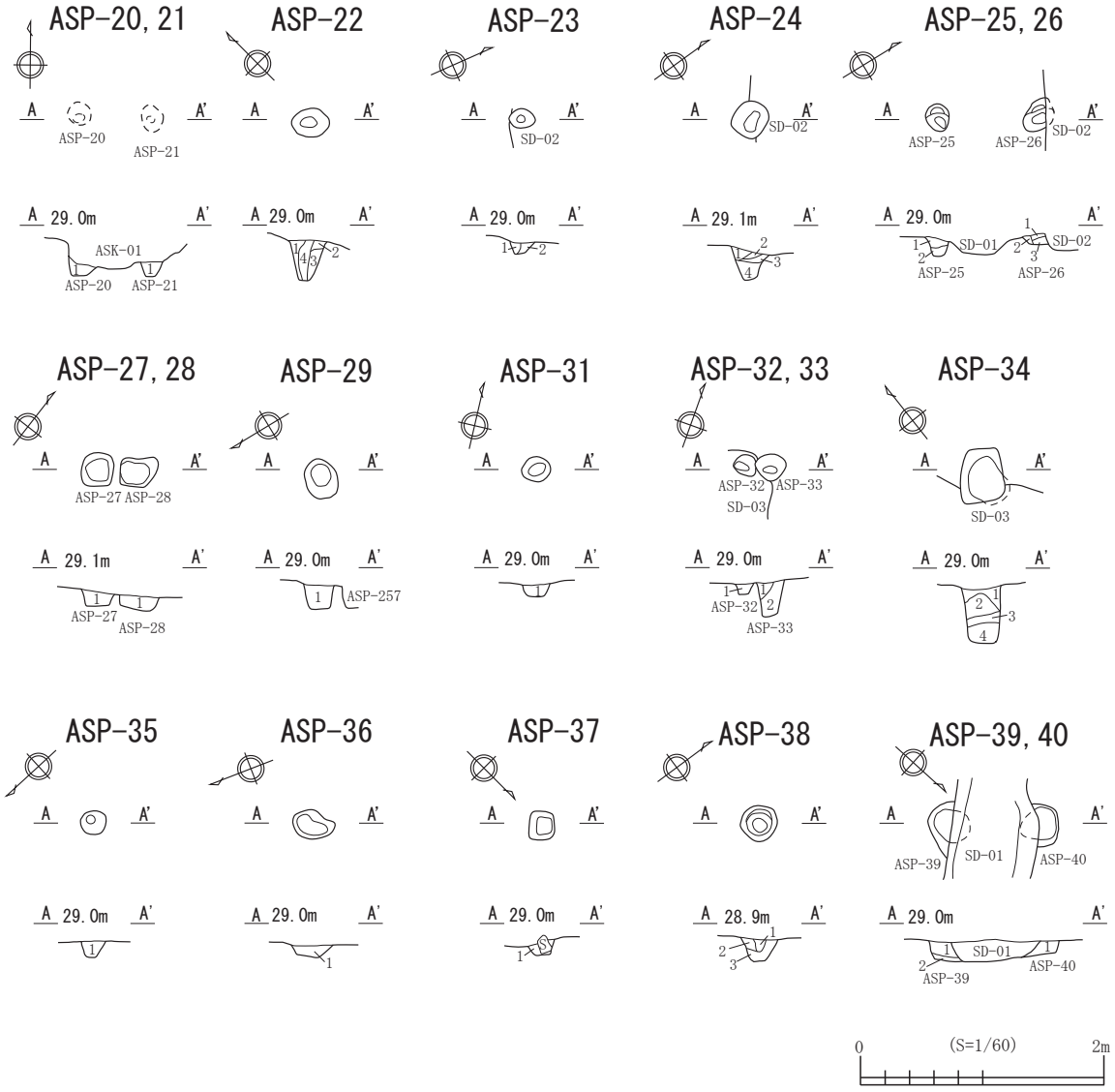
第41図　川原館遺跡Ａ区SP区分図あ



ASP-01
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ5～8mm)多量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ7～15mm)中量
第3層 10YR3/4 暗褐色土　ロームブロック(φ10～13mm)中量
ASP-02
第1層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ5～9mm)中量
ASP-03
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ3～10mm)少量、炭化物(φ10～15mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土　炭化粒(φ2～3mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ5～8mm)少量
第4層 10YR2/3 黒褐色土
第5層 10YR4/3 にぶい黄褐色土　ローム粒(φ2～4mm)中量
ASP-04
第1層 10YR3/2 黒褐色土　炭化粒(φ2～4mm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ4～8mm)中量
ASP-05
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)少量
第2層 10YR4/4 褐色土
第3層 10YR4/6 褐色土
ASP-06
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
ASP-07
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ2～4mm)少量
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
第3層 10YR4/6 褐色土
ASP-08
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ2～6mm))少量
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
ASP-09
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ3～8mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
ASP-10
第1層 10YR2/1 黒色土　炭化粒(φ5～6mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　炭化粒(φ1～2mm)少量
第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土

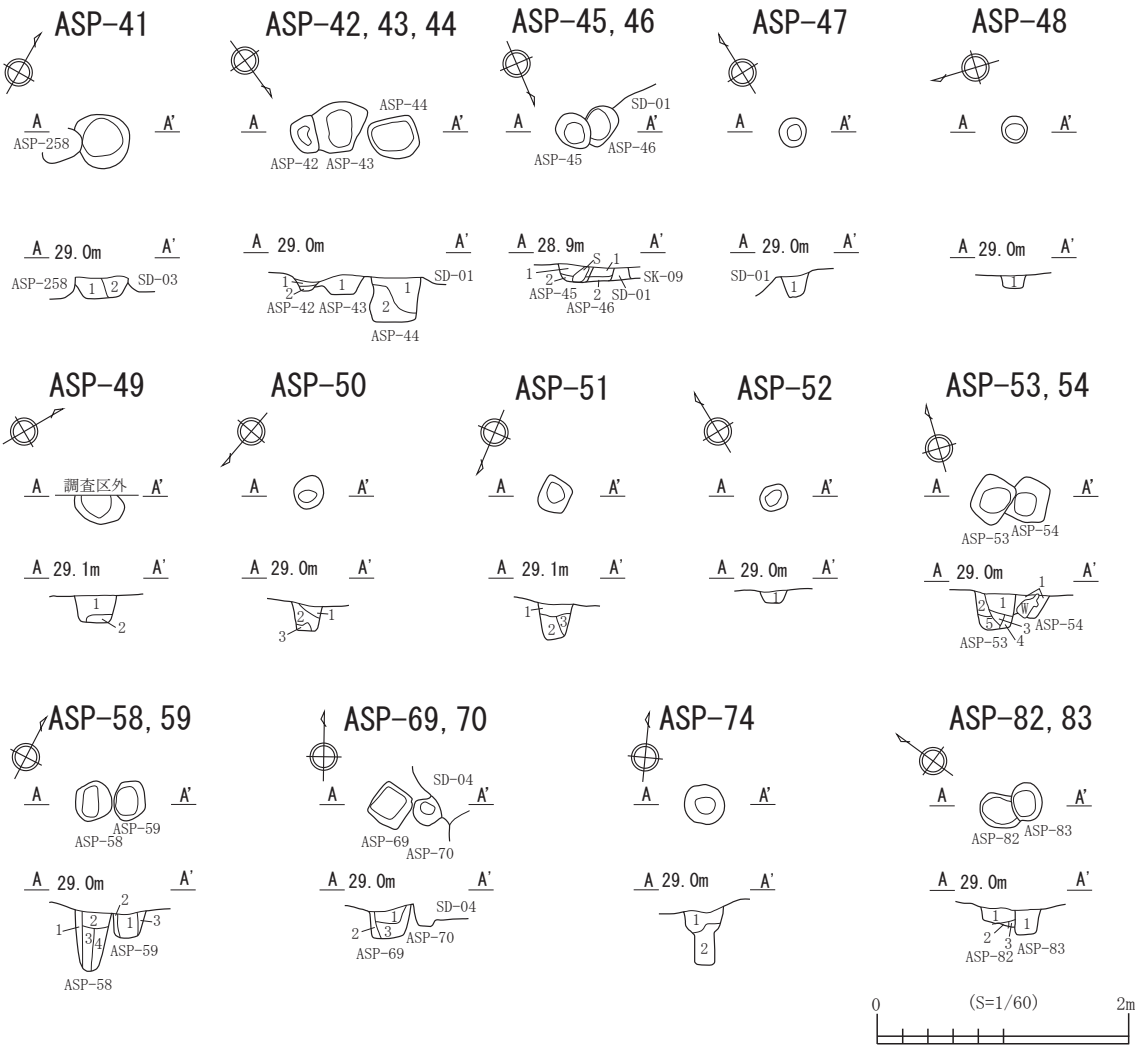
ASP-11
第1層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)中量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)少量
ASP-12
第1層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ3～4mm)少量
ASP-13
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ3～5mm)中量
第3層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ3～5mm)微量
第4層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第5層 10YR4/3 にぶい黄褐色土　黒色土少量
ASP-14
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)少量
第2層 10YR5/6 黄褐色土
ASP-15
第1層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR4/4 褐色土
ASP-16
第1層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)少量
第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
ASP-17
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-18
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
ASP-19
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ5～7mm)少量
第2層 10YR4/3 にぶい黄褐色土
ASP-30
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ5～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ5～8mm)少量

第42図　川原館遺跡Ａ区SPあ（１）



ASP-20
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-21
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～4mm)少量
ASP-22
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ2～10mm)少量、
炭化粒(φ2～3mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～6mm)少量、
炭化粒(φ2～4mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～4mm)中量、
炭化粒(φ3～4mm)微量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)多量、
ロームブロック(φ10～13mm)少量
ASP-23
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～2mm)少量、
第2層　10YR4/4　褐色土　　炭化粒(φ1～3mm)微量
ASP-24
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ロームブロック(φ10～20mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～2mm)中量
第3層　10YR4/3　にぶい黄褐色土
第4層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ2～3mm)少量
ASP-25
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ2～4mm)少量
第2層　10YR4/4　褐色土
ASP-26
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層　10YR1.7/1　黒色土　　ローム粒(φ2～4mm)少量
ASP-27
第1層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ2～4mm)少量
ASP-28
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ3～4mm)少量
ASP-29
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量、
炭化粒(φ2～4mm)微量
ASP-31
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-32
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-33
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ2～4mm)少量
ASP-34
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ2～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～4mm)少量、
炭化粒(φ3～5mm)少量
第4層　10YR4/3　にぶい黄褐色土
ASP-35
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ2～3mm)少量
ASP-36
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ2～3mm)少量、
炭化粒(φ2～3mm)微量
ASP-37
第1層　10YR3/2　黒褐色土　　炭化粒(φ2～3mm)少量
ASP-38
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～2mm)極微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ3～5mm)中量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ3～5mm)中量
ASP-39
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～2mm)少量
炭化粒(φ2～3mm)少量
第2層　10YR4/3　にぶい黄褐色土
ASP-40
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)中量、
ロームブロック(φ10～50mm)少量、
炭化粒(φ2～3mm)少量

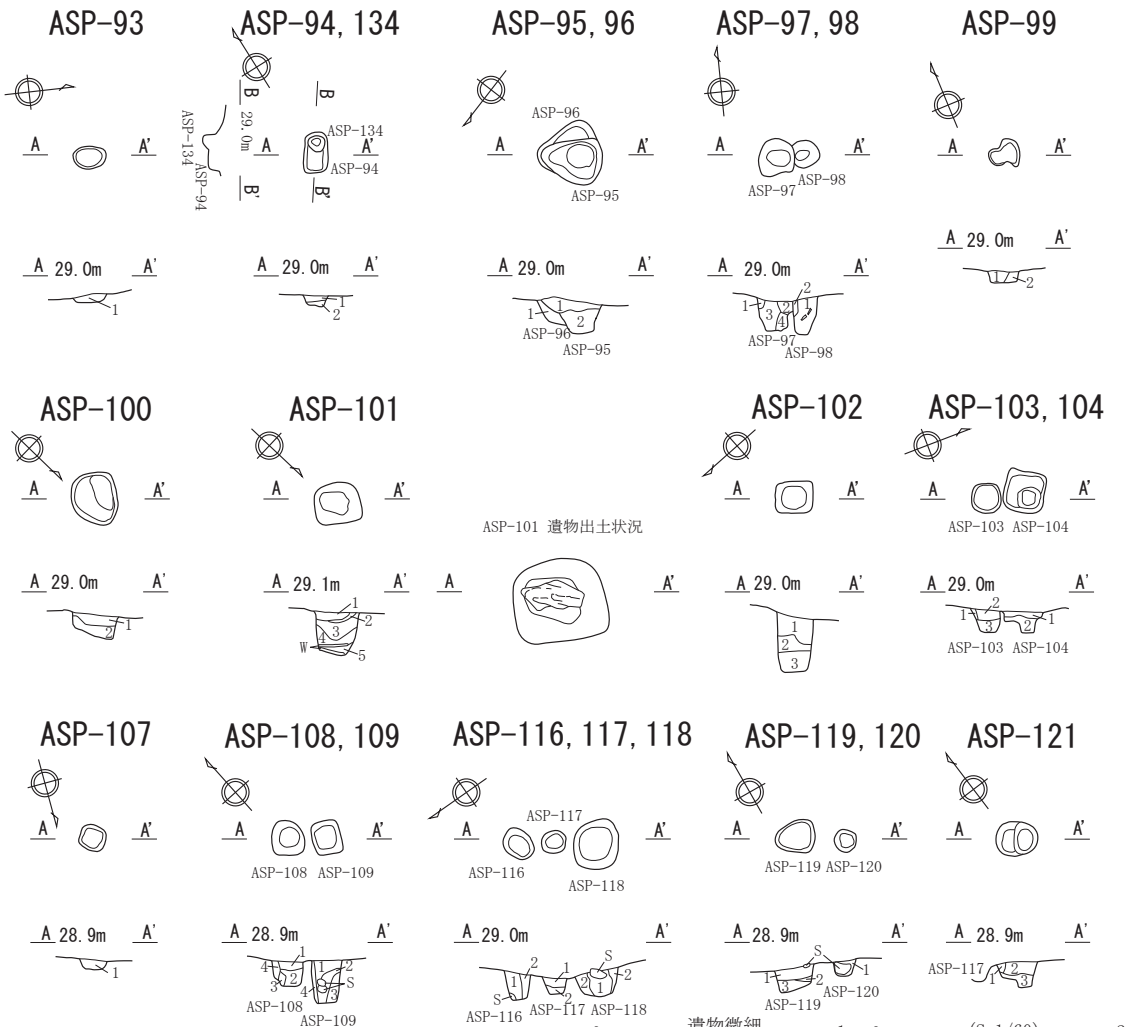
第43図　川原館遺跡Ａ区SPあ（２）



ASP-41
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
ASP-42
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　パミス粒(φ2～3mm)中量
ASP-43
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ4～10mm)少量、炭化粒(φ3～4mm)微量
ASP-44
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)極微量
ASP-45
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
ASP-46
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ3～7mm)少量
第2層 10YR4/6 褐色土　パミス粒(φ2～4mm)中量
ASP-47
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
ASP-48
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ3～9mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)微量
ASP-49
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ2～10mm)中量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ3～7mm)少量
ASP-50
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　炭化粒(φ3～4mm)少量
第3層 10YR5/3 にぶい黄褐色土
ASP-51
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)中量
第2層 10YR2/1 黒色土　炭化粒(φ2～4mm)少量
第3層 10YR5/4 にぶい黄褐色土
ASP-52
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ3～12mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
ASP-53
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ2mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第4層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)極微量
第5層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量、ロームブロック(φ15mm)極微量

ASP-54
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)少量
ASP-58
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　焼土粒(φ10mm)極微量、炭化粒(φ2～4mm)少量
第3層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第4層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
ASP-59
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第3層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量
ASP-69
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ2～10mm)中量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、焼土粒(φ2mm)微量
ASP-74
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、炭化粒(φ1mm)微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土　パミス粒(φ1～3mm)中量
ASP-82
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-83
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ2～10mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量

第44図　川原館遺跡Ａ区SPあ（３）



ASP-93
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量

ASP-94
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～10mm)中量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～6mm)少量

ASP-95
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～7mm)少量、炭化粒(φ1～4mm)多量、焼土粒(φ1～8mm)多量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量

ASP-96
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～4mm)少量

ASP-97
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層 10YR1.7/1 黒色土 炭化粒(φ2～4mm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 パミス粒(φ1～4mm)中量
第4層 10YR3/3 暗褐色土

ASP-98
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～4mm)少量、焼土粒(φ11mm)極微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～3mm)少量

ASP-99
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～8mm)少量、炭化粒(φ2～4mm)少量
第2層 10YR4/1 褐灰色土 ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-100
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-101
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2～10mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～8mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～10mm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量
第5層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量

ASP-102
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～6mm)少量、炭化粒(φ2～10mm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～5mm)、炭化粒(φ2～3mm)少量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-103
第1層 10YR5/3 にぶい黄褐色土
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ2～8mm)少量

ASP-104
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～6mm)中量、炭化粒(φ3～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量

ASP-107
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～10mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量

ASP-108
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ2～4mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)中量
第3層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第4層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量

ASP-109
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ2～6mm)多量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～4mm)中量
第4層 10YR5/4 にぶい黄褐色土

ASP-116
第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量

ASP-117
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR5/4 にぶい黄褐色土

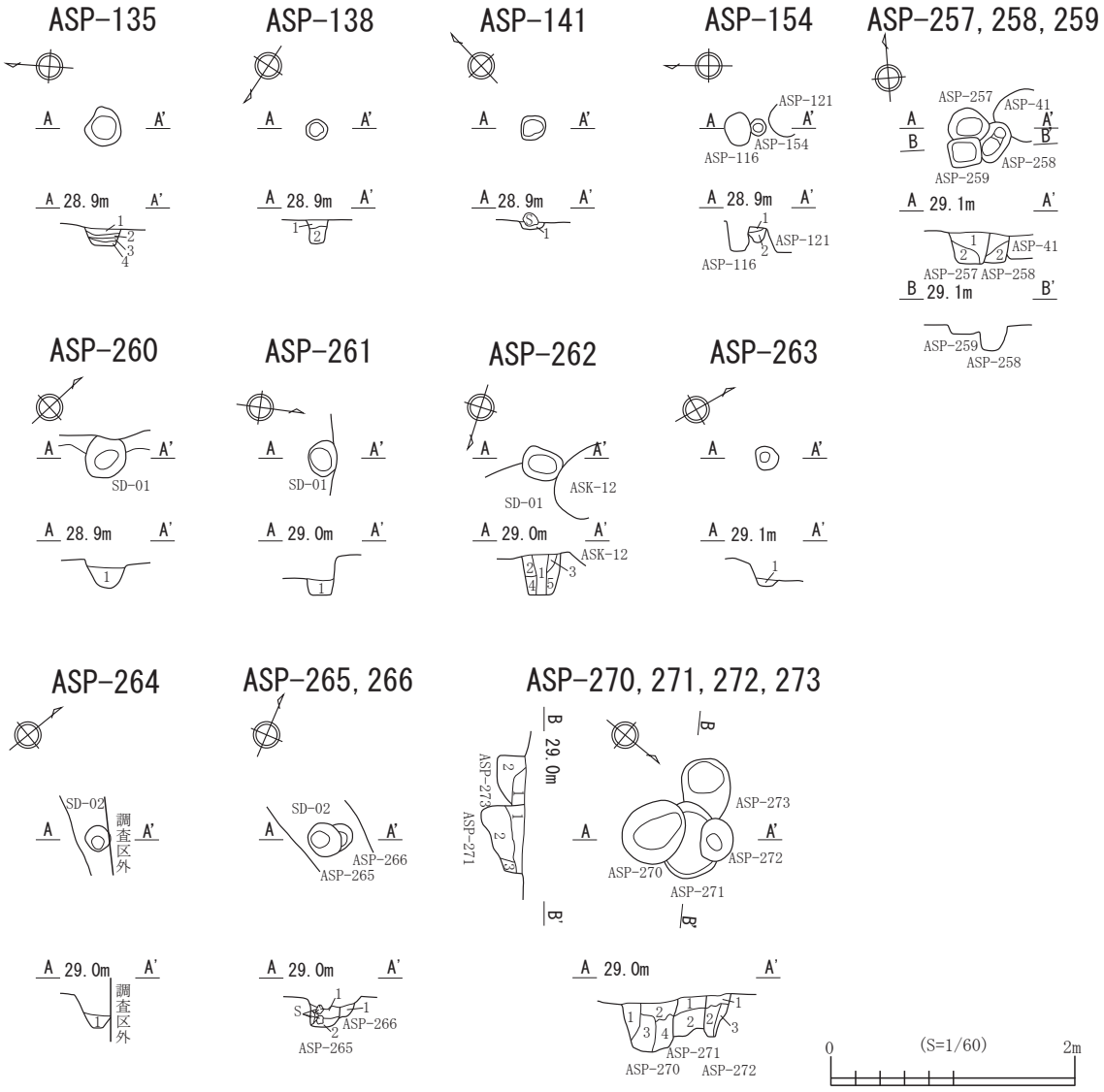
ASP-118
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～10mm)中量

ASP-119
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量

ASP-120
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量

ASP-121
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～7mm)微量

第45図　川原館遺跡Ａ区SPあ（４）



ASP-135
第1層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、粘土ブロック(φ15mm)微量
第2層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、焼土粒(φ1～7mm)微量
第3層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第4層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-138
第1層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)極微量

ASP-141
第1層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～7mm)中量

ASP-154
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量

ASP-257
第1層　10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ4～10mm)少量
第2層　10YR4/3 にぶい黄褐色土　ローム粒(φ10～15mm)中量

ASP-258
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層　10YR2/1 黒色土　ロームブロック(φ30mm)微量

ASP-260
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量

ASP-261
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)中量

ASP-262
第1層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ3～12mm)中量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第2層　10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第3層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～4mm)少量
第4層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)中量
第5層　10YR4/3 にぶい黄褐色土　ローム粒(φ2～5mm)中量

ASP-263
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)少量

ASP-264
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-265
第1層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ロームブロック(φ30mm)微量

ASP-266
第1層　10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ2～4mm)少量

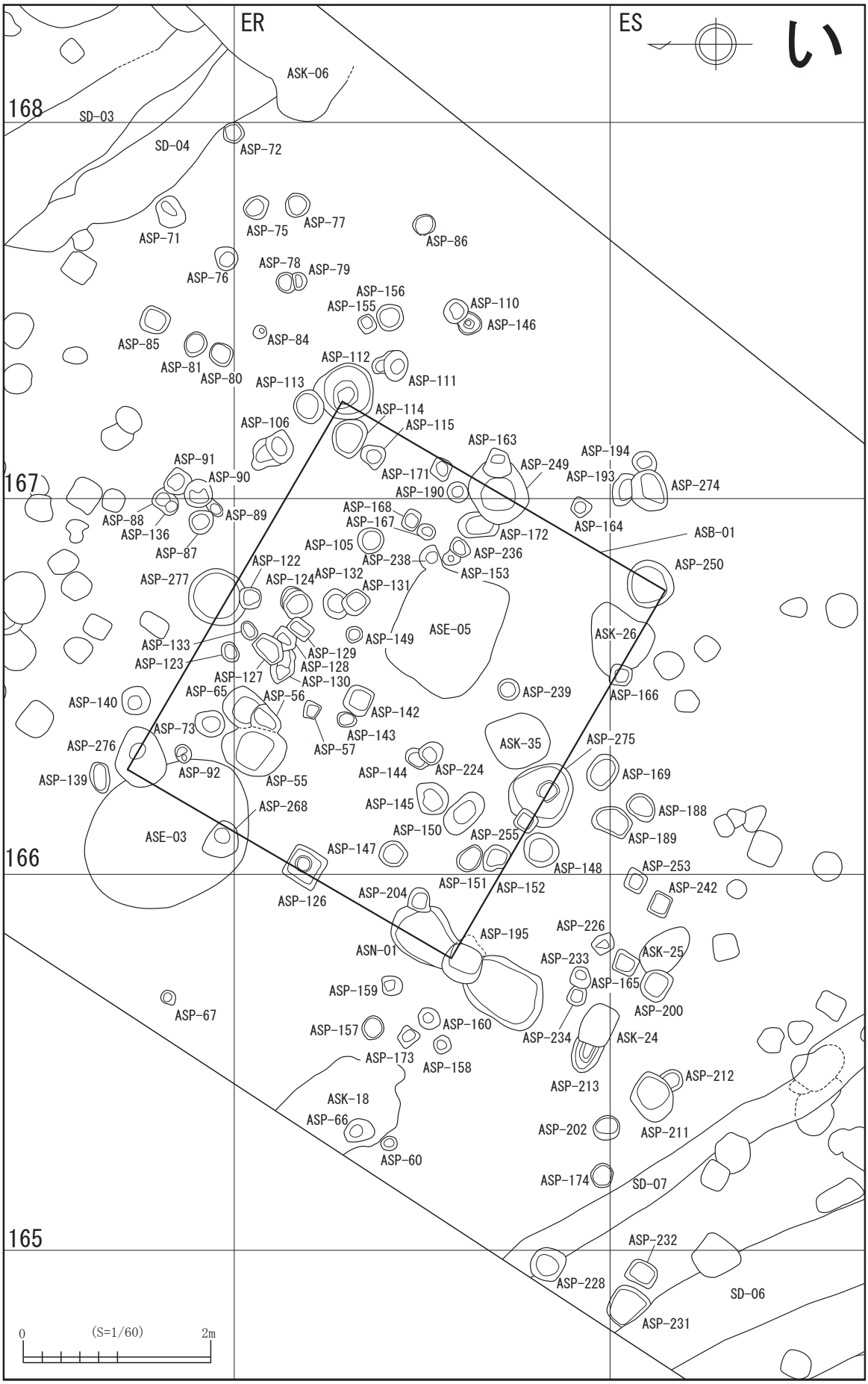
ASP-270
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)少量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第3層　10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)極微量
第4層　10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量

ASP-271
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第2層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ2～4mm)少量、ロームブロック(φ20mm)極微量
第3層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)中量、炭化粒(φ2～5mm)少量

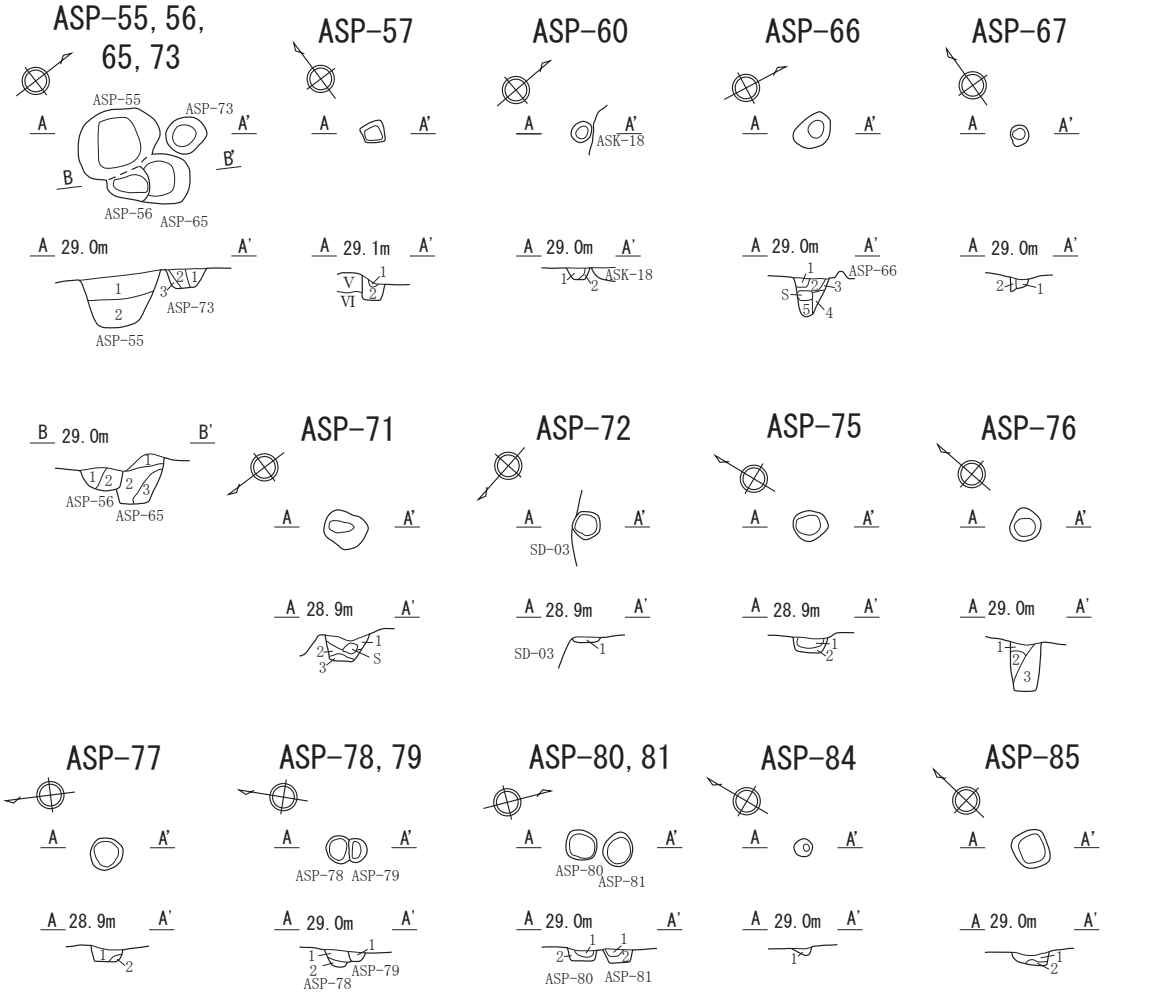
ASP-272
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)微量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ2～3mm)少量
第3層　10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量

ASP-273
第1層　10YR2/1 黒色土　炭化粒(φ2～4mm)少量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)少量

第46図　川原館遺跡Ａ区SPあ（５）



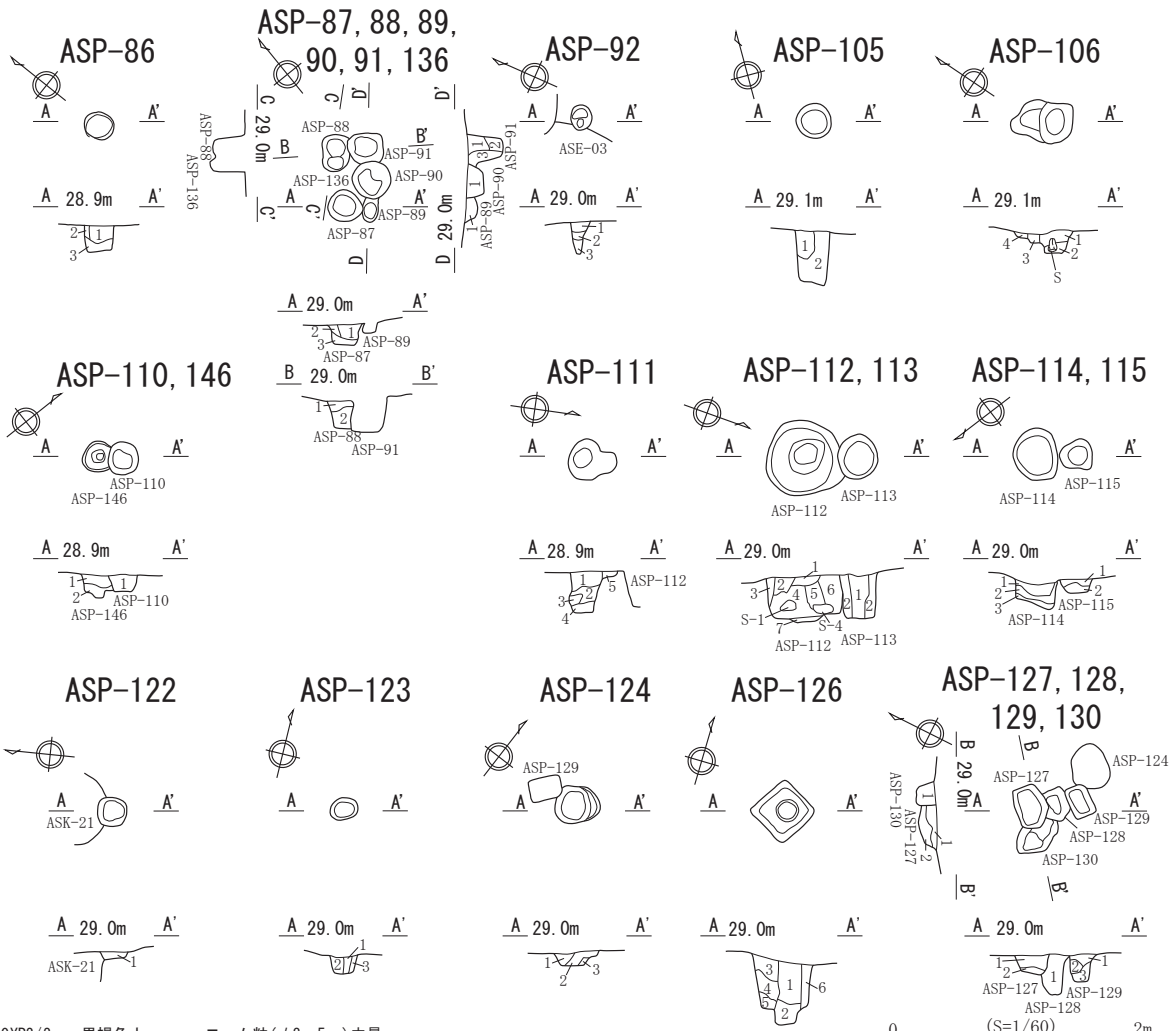
第47図　川原館遺跡Ａ区SP区分図い



ASP-55
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～5mm)少量、ロームブロック(φ10～25mm)中量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ13mm)微量
ASP-56
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～7mm)中量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～3mm)中量
ASP-57
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-60
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土
ASP-65
第1層 10YR1.7/1黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ2mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)中量
ASP-66
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～6mm)中量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第4層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～4mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量
第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～4mm)少量
ASP-67
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-71
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)中量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)中量
ASP-72
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-73
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ロームブロック(φ12～20mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～6mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量

ASP-75
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～4mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 炭化粒(φ1～2mm)少量
ASP-76
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～3mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-77
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～4mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-78
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)
第2層 10YR3/1 黒褐色土 炭化粒(φ1～2mm)微量
ASP-79
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-80
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、砂粒多量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～6mm)中量
ASP-81
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ2～9mm)中量
第2層 10YR2/1 黒色土 ロームブロック(φ10mm)微量
ASP-84
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～10mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)少量
ASP-85
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～6mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量

第48図　川原館遺跡Ａ区SPい（１）



ASP-86
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)中量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第3層　10YR4/4　褐色土

ASP-87
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量

ASP-88
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-89
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

ASP-90
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-91
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量
第3層　10YR5/3　にぶい黄褐色土　パミス粒(φ2～4mm)少量

ASP-92
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ2～4mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ロームブロック(φ10～12mm)少量
第3層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量

ASP-105
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量

ASP-106
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第4層　10YR2/1　黒色土と10YR4/6褐色土の混合層

ASP-110
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、炭化粒(φ5～10mm)少量

ASP-111
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)微量
第3層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量

ASP-112
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、木片少量
第6層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、木片中量
第7層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量

ASP-113
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、黄褐色土(10YR5/6)少量混入

ASP-114
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)中量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～2mm)中量

ASP-115
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)極微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、ローム少量混入

ASP-122
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～9mm)中量

ASP-123
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　10YR4/4褐色土少量混入　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量

ASP-124
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

ASP-126
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、10YR5/4にぶい黄褐色少量混入
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)中量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第6層　10YR5/4　にぶい黄褐色土　砂質　10YR2/1黒色土少量混入

ASP-127
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ5～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量

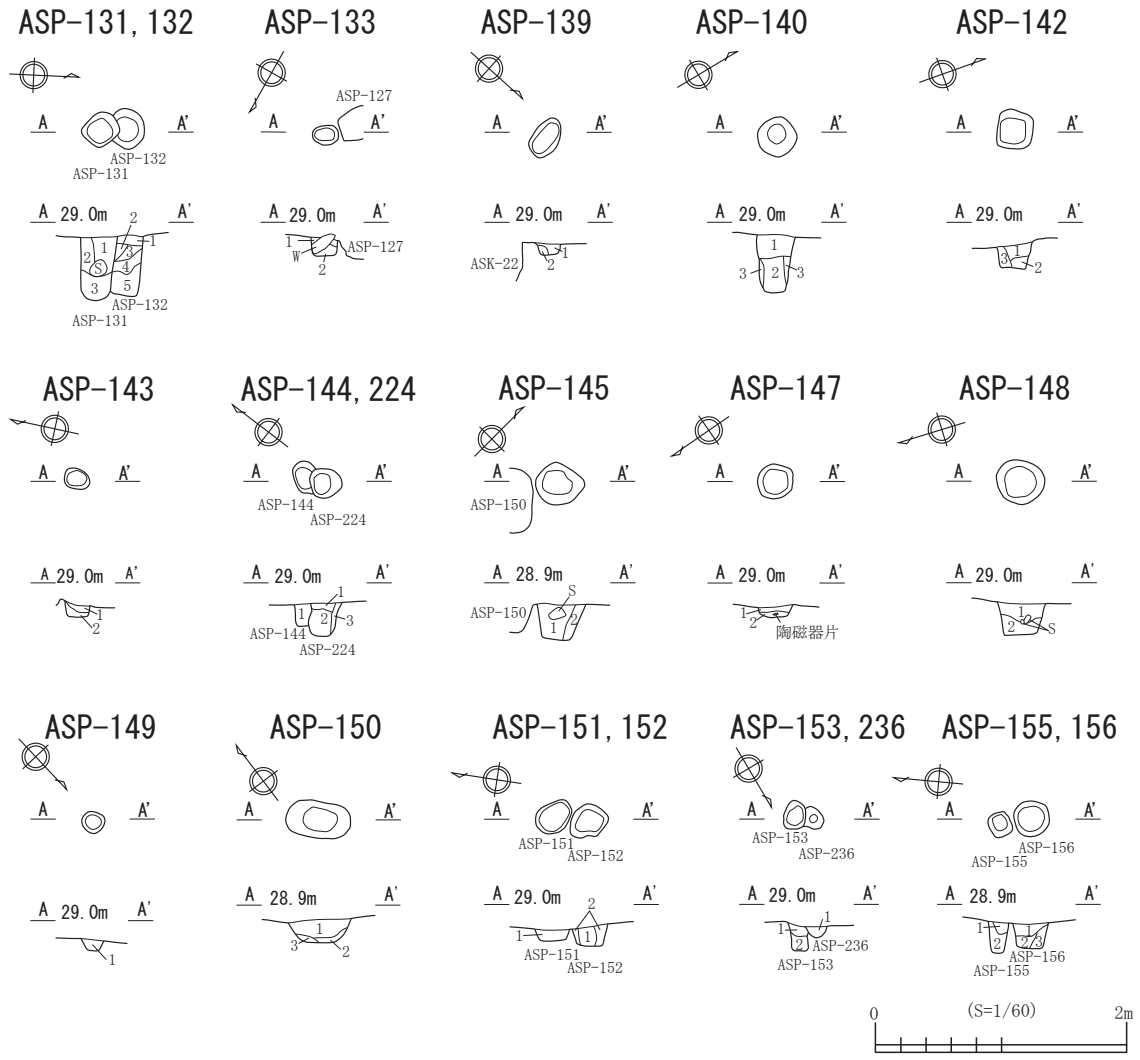
ASP-128
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量

ASP-129
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10～15mm)微量

ASP-130
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量

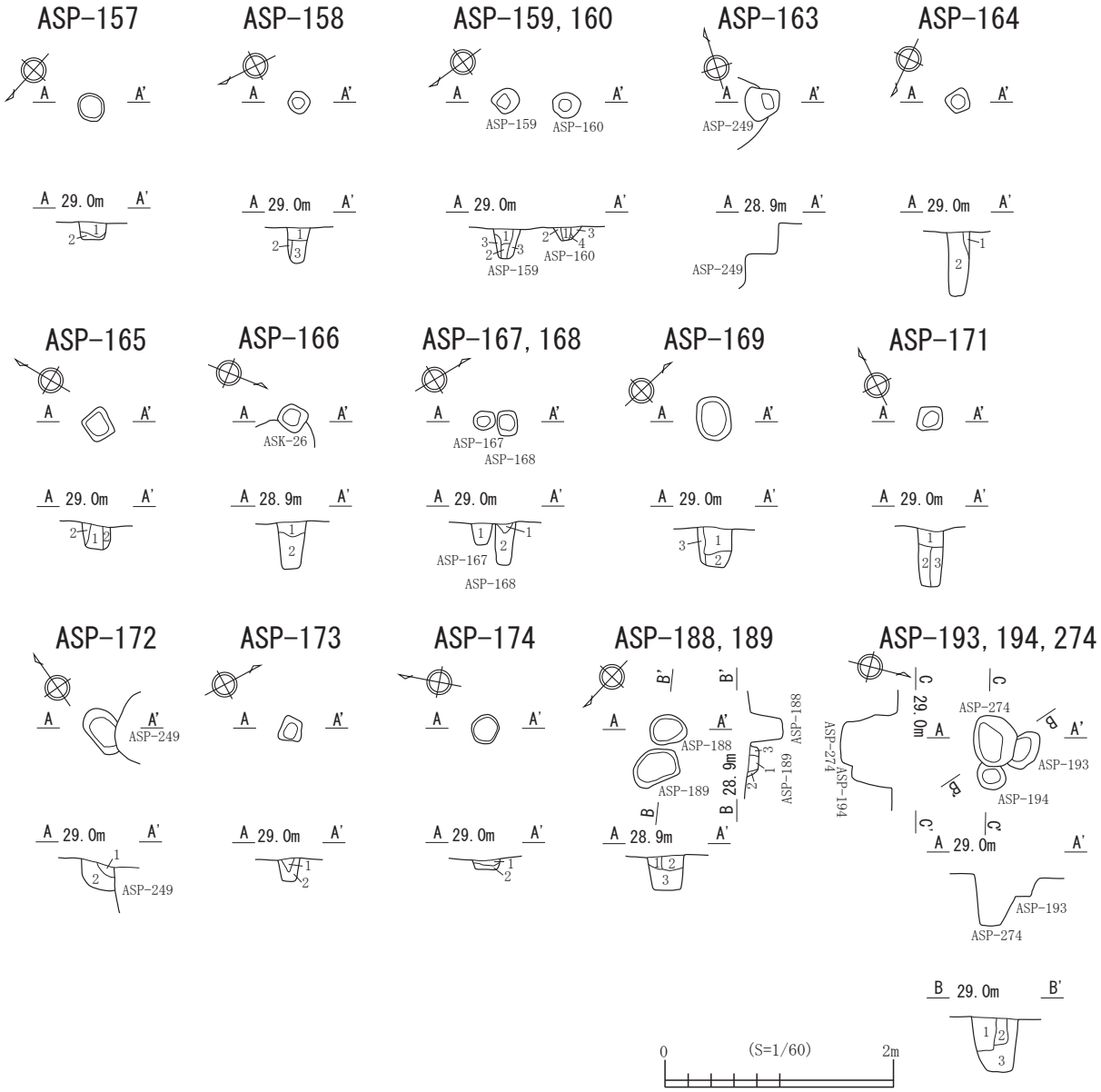
ASP-146
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量

第49図　川原館遺跡Ａ区SPい（２）



ASP-131
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、焼土粒(φ1～7mm)少量、黒色土(10YR2/1)少量混入
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-132
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)極微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第5層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-133
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-139
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ3～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
ASP-140
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-142
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
第3層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
ASP-143
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-144
第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量
ASP-145
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-147
第1層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ2～3mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-148
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-149
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-150
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR2/3 黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
ASP-151
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
ASP-152
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量
ASP-153
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-155
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)極微量
ASP-156
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)中量
第3層 10YR2/3 黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
ASP-224
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1mm)極微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
ASP-236
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量

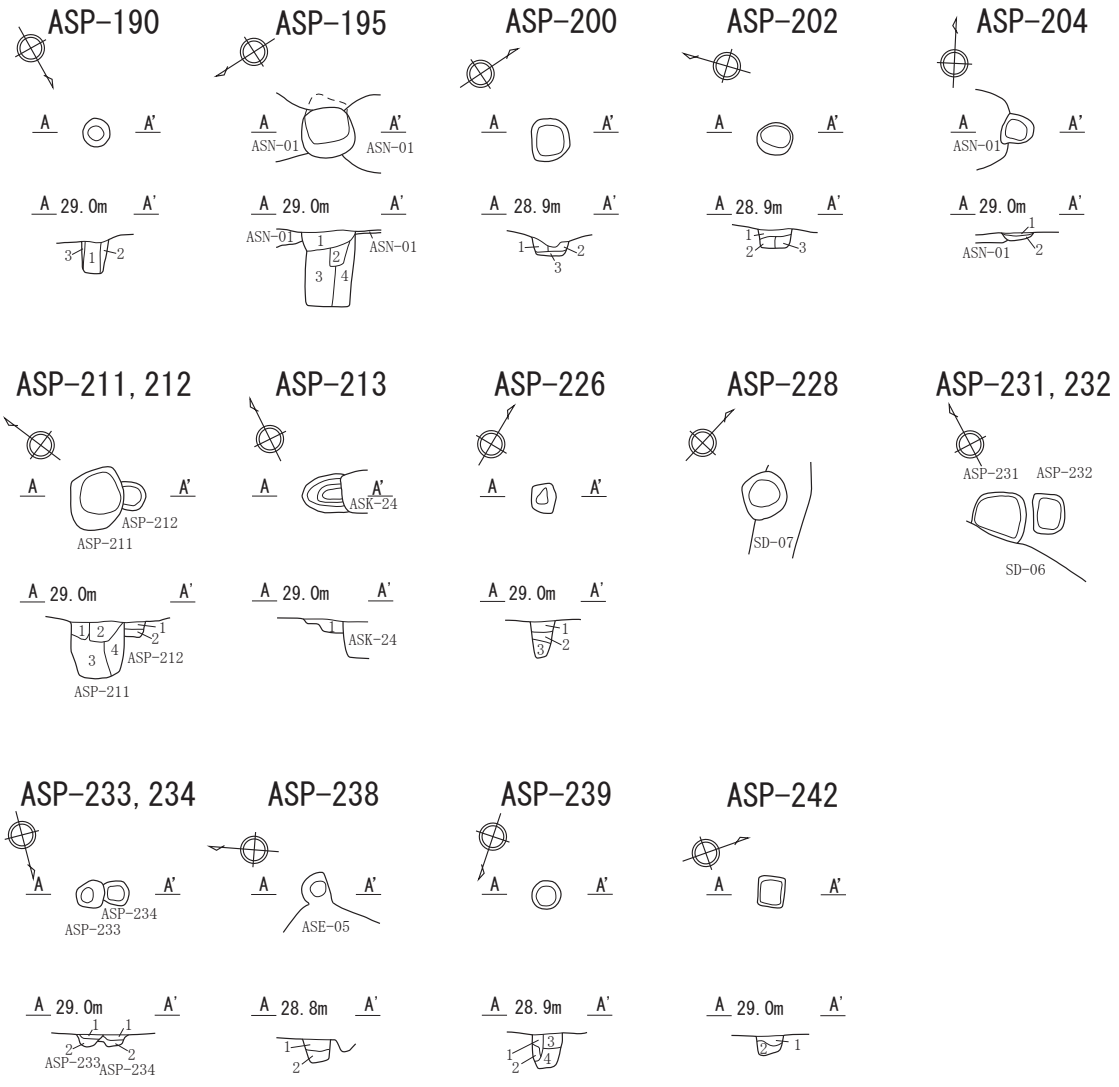
第50図　川原館遺跡Ａ区SPい（３）



ASP-157
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量
ASP-158
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)中量、
ロームブロック(φ10mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-159
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量
ASP-160
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量
第3層 10YR2/1 黒色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
ASP-164
第1層 10YR2/1 黒色土と10YR5/6黄褐色土の混合層 ローム粒(φ1～5mm)中量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
ASP-165
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)中量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土
ASP-166
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、
炭化粒(φ1～2mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1mm)微量、
ロームブロック(φ10～20mm)微量
ASP-167
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～7mm)微量
ASP-168
第1層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量

ASP-169
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層 ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-171
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 砂質、ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR3/4 暗褐色土 砂質、ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-172
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-173
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR3/4 暗褐色土 ローム粒(φ1～8mm)中量
ASP-174
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)極微量
第2層 10YR4/6 褐色土 砂質
ASP-188
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量
第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
ASP-189
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)極微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)極微量
ASP-274
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)極微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量

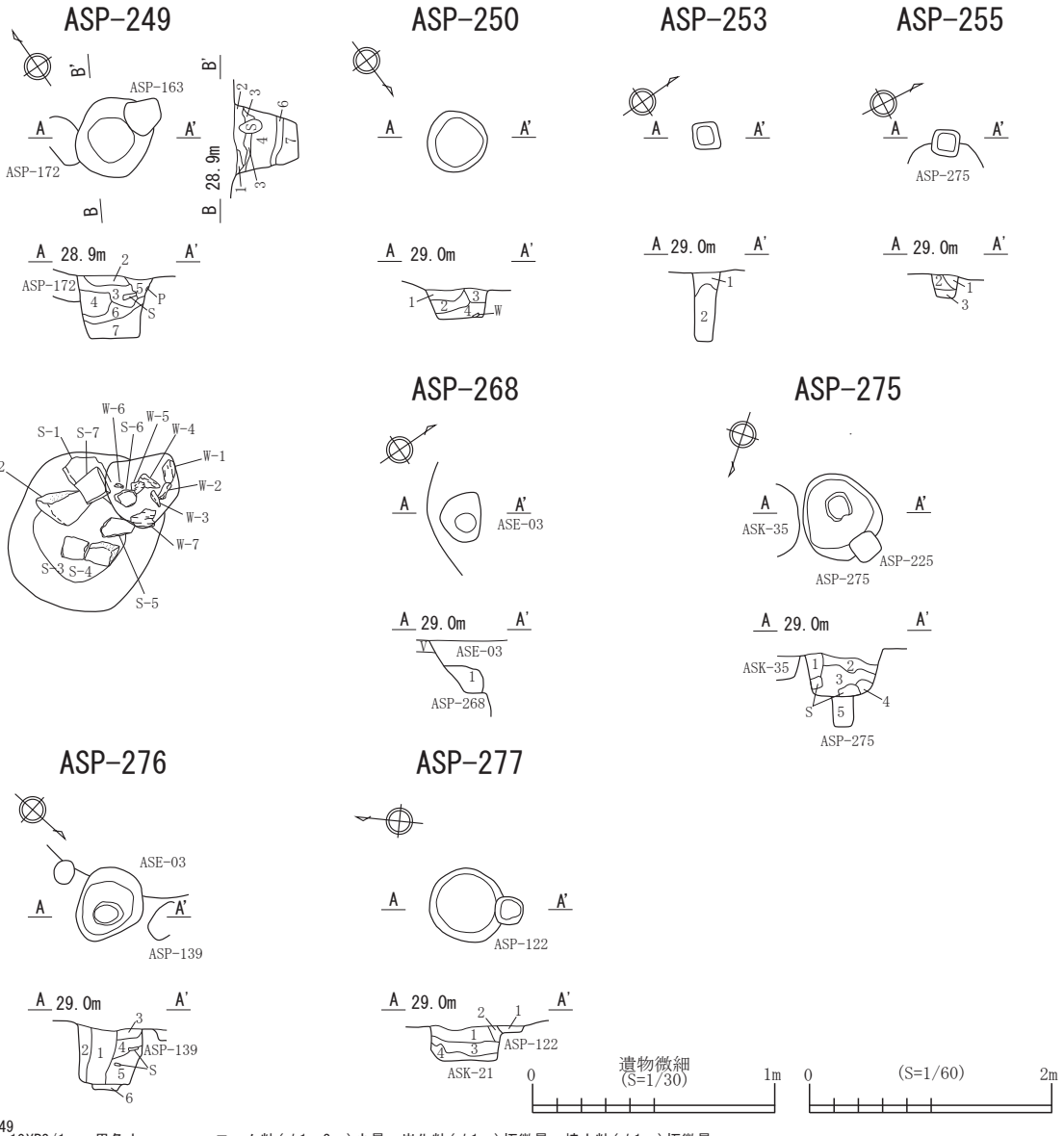
第51図　川原館遺跡Ａ区SPい（４）



ASP-190
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
ASP-195
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～10mm)中量、焼土粒(φ3～4mm)微量
第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ2～4mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ2～5mm)少量
ASP-200
第1層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量 砂質
第2層 10YR4/6 褐色土 ローム粒(φ1～7mm)中量 砂質
第3層 10YR5/4 にぶい黄褐色土 砂質
ASP-202
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～8mm)中量
第3層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～2mm)極微量
ASP-204
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～7mm)中量
第2層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ2～3mm)少量
ASP-211
第1層 10YR6/6 明黄褐色土 砂質、黒色土(10YR2/1)少量混入
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、粘土ブロック(φ10～20mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR2/2 黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層 ローム粒(φ1～3mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)極微量

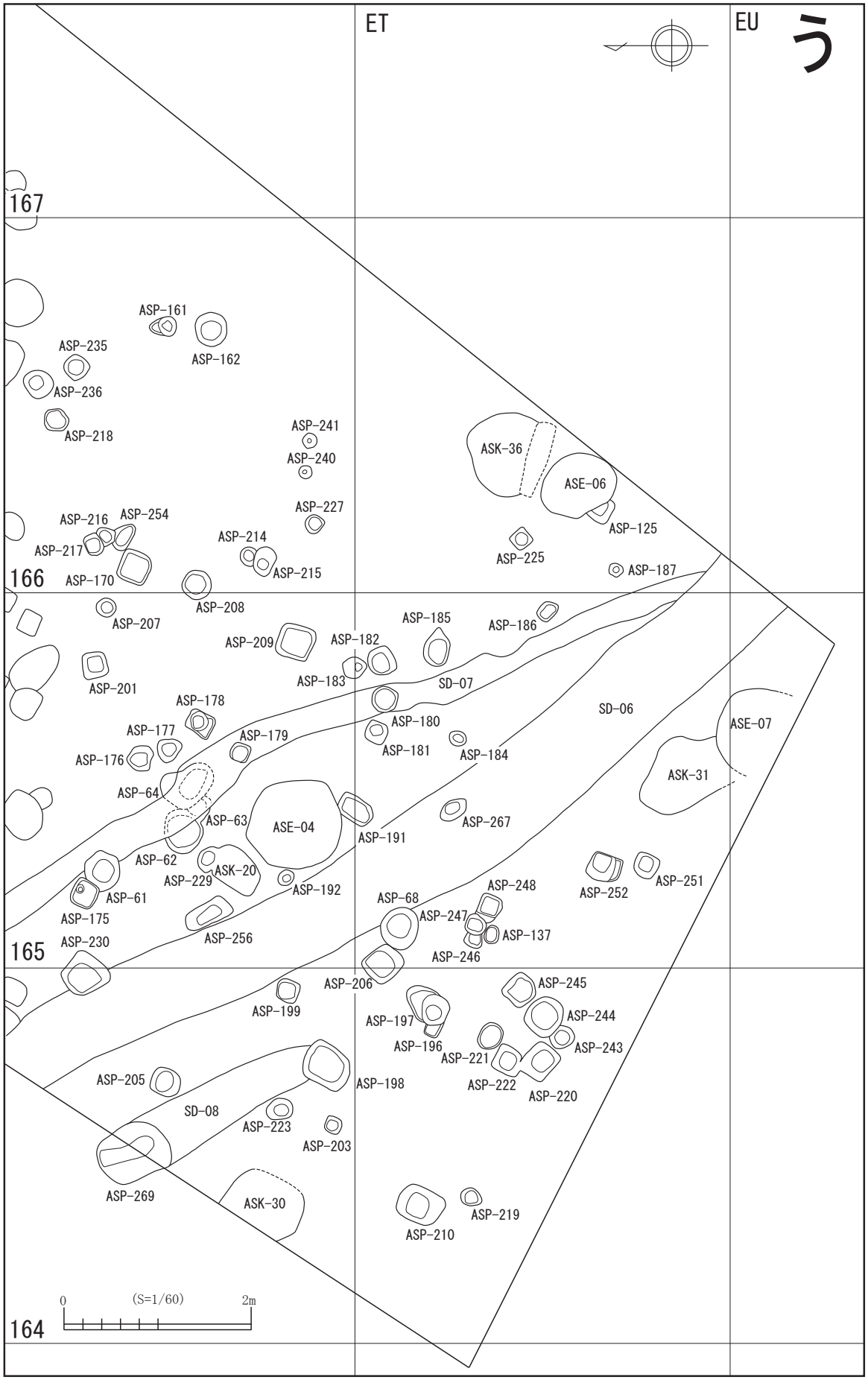
ASP-212
第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～9mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)極微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
ASP-213
第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)微量
ASP-226
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-233
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)微量
ASP-234
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)中量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-238
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～2mm)極微量、焼土粒(φ1～3mm)極微量
ASP-239
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～3mm)少量
第4層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-242
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～2mm)少量、粘土ブロック(φ10～20mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～2mm)微量

第52図　川原館遺跡Ａ区SPい（５）

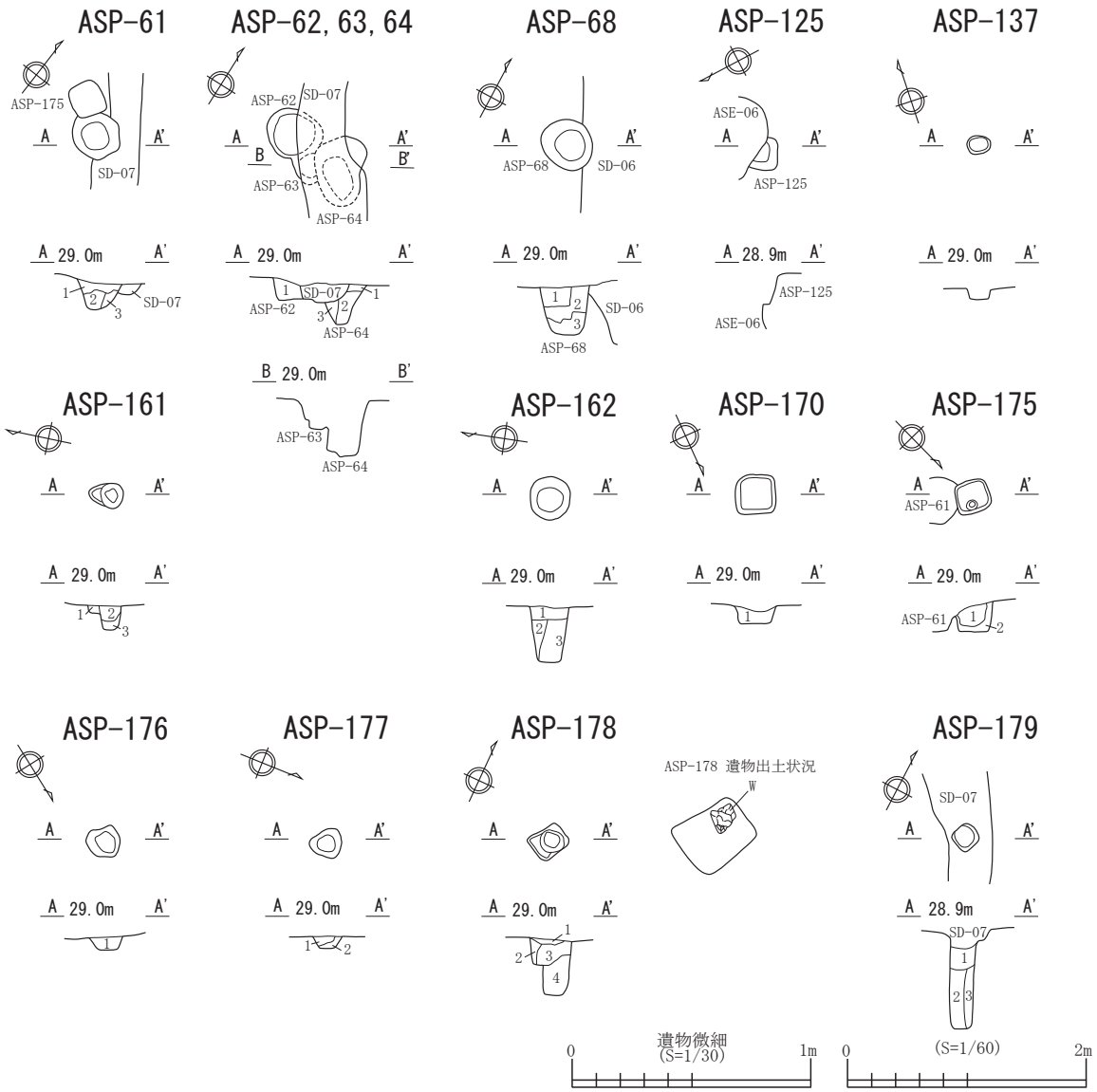


ASP-249
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1mm)極微量、焼土粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ1mm)極微量、焼土粒(φ1mm)微量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量
第4層 10YR5/4　にぶい黄褐色土　砂質、ロームブロック(φ10～50mm)少量
第5層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
第6層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～4mm)中量
第7層 10YR4/2　灰黄褐色土　砂粒中量
ASP-250
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～7mm)微量、粘土ブロック(φ10～20mm)微量
第2層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量
第4層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、粘土ブロック(φ10～50mm)少量
ASP-253
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量
ASP-255
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
第2層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
ASP-268
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ2～4mm)少量
ASP-275
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)極微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化物ブロック(φ10mm)少量
第4層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)中量
第5層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ2～3mm)少量
ASP-276
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量　腐った木、層状に少量混入
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～3mm)微量、ロームブロック(φ10～30mm)中量
第4層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ3～5mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量
第5層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ3～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
第6層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-277
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
第4層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、褐色土ブロック(φ20～30mm)中量

第53図　川原館遺跡Ａ区SPい（６）

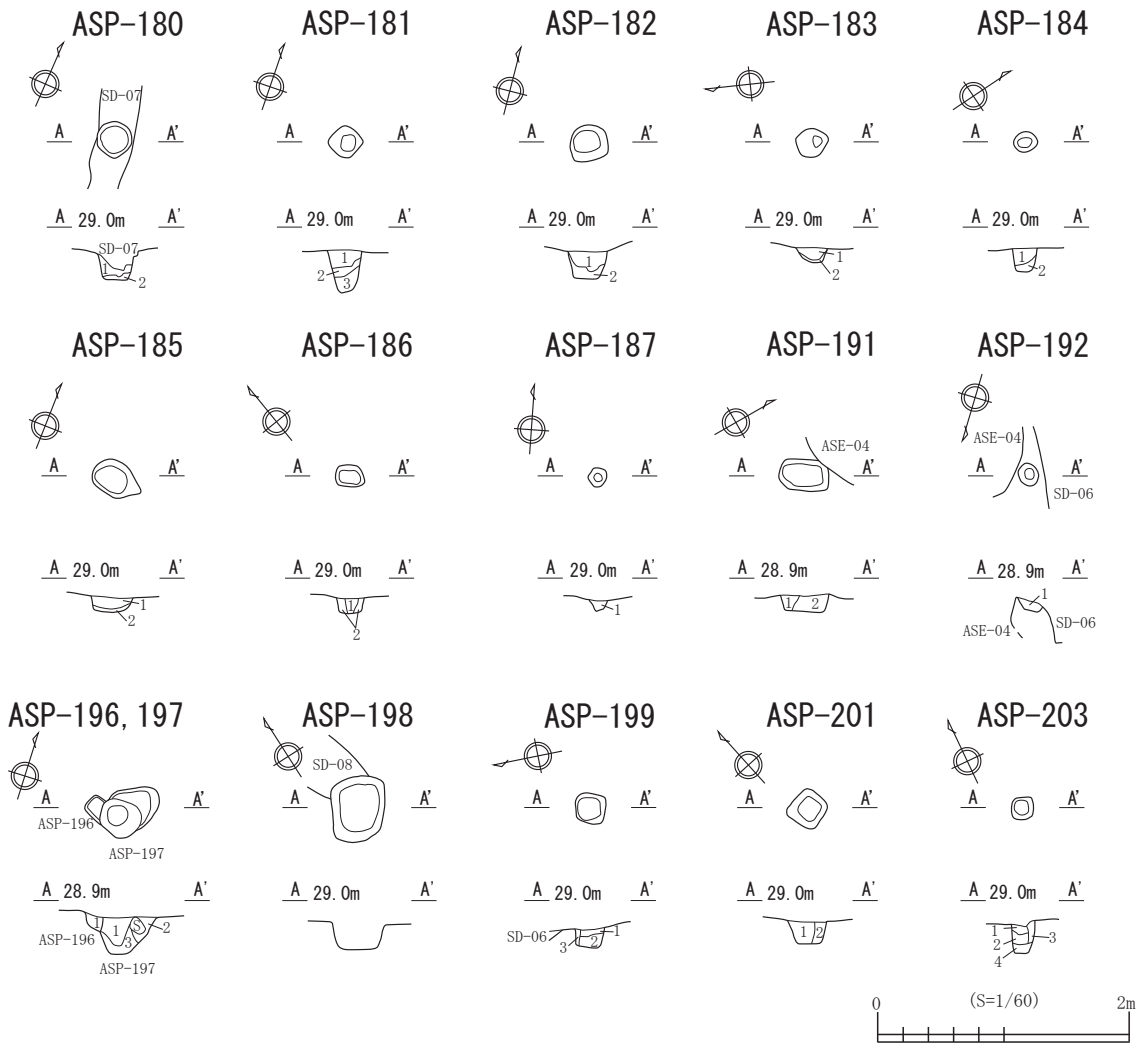


第54図　川原館遺跡Ａ区SP区分図う



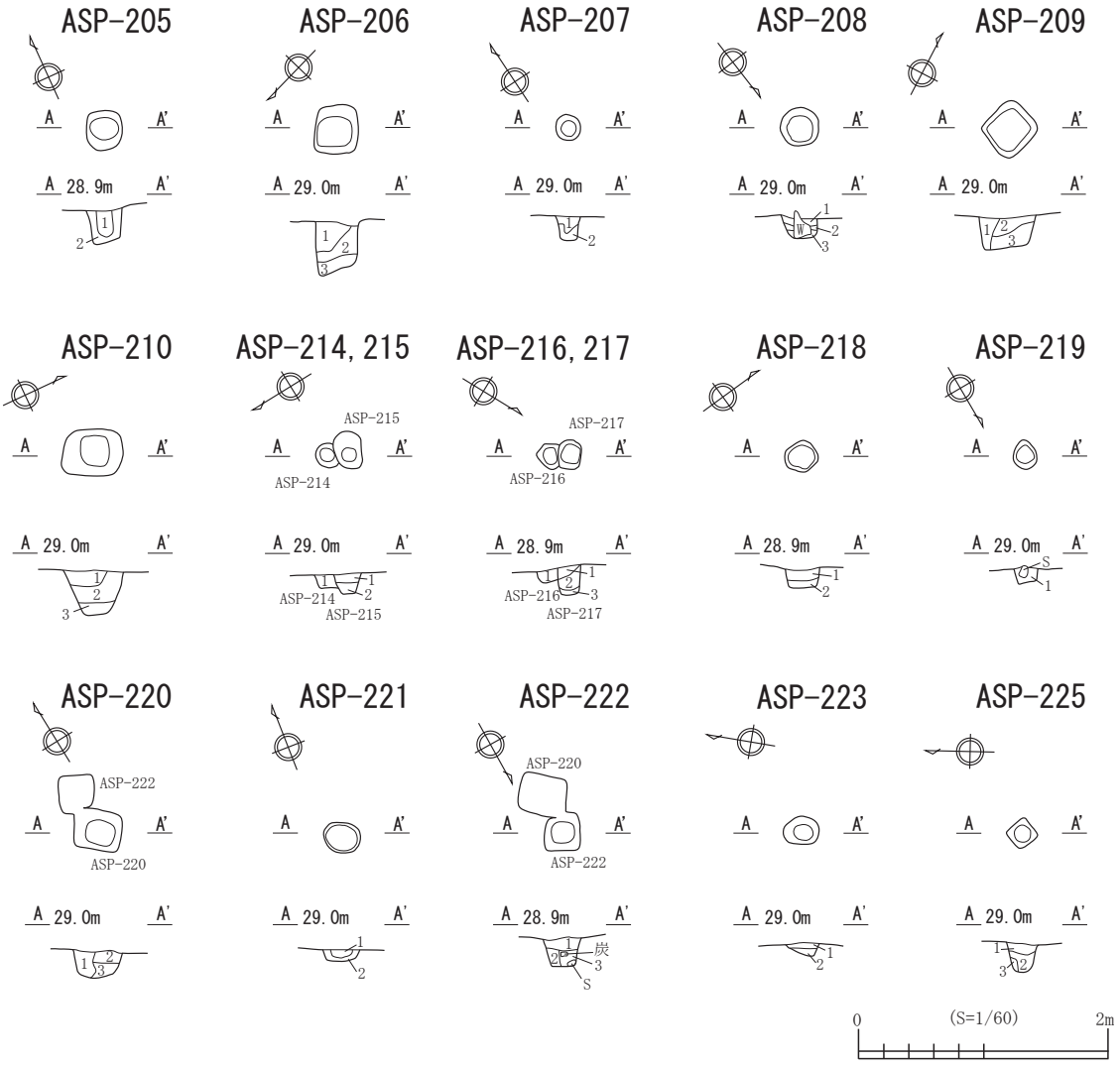
ASP-61
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、 B-tm(φ10mm)ブロック状に極微量混入、炭化粒(φ2～3mm)微量
第2層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)極微量
第3層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)多量、砂粒少量混入
ASP-62
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ2～4mm)少量
ASP-64
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ1～4mm)微量
第2層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)少量
ASP-68
第1層 10YR3/1　黒褐色土　砂粒(φ1mm)多量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)少量
第3層 10YR4/2　灰黄褐色土　砂粒(φ1～2mm)多量
ASP-161
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
ASP-162
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ1mm)少量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
ASP-170
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
ASP-175
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
　ローム粒(φ1～3mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量
ASP-176
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-177
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ5mm)少量
ASP-178
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
第4層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
ASP-179
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)中量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量

第55図　川原館遺跡Ａ区SPう（１）



ASP-180
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-181
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/4 暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量
第3層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
ASP-182
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)極微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
ASP-183
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
ASP-184
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-185
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)極微量、焼土粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR2/1 黒色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-186
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-187
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
ASP-191
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)極微量、木の皮少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)極微量、木の皮多量
ASP-192
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
ASP-196
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
ASP-197
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、炭化粒(φ20mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR4/4 褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-199
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ10mm)微量
ASP-201
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-203
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、ロームブロック(φ10mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第4層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1mm)微量

第56図　川原館遺跡Ａ区SPう（２）



ASP-205
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10mm)少量

ASP-206
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR4/3 にぶい黄褐色土　砂質

ASP-207
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、灰黄褐色土(10YR4/2)中量混入
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～7mm)微量

ASP-208
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量

ASP-209
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第3層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10mm)中量

ASP-210
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化物ブロック(φ10～20mm)中量、焼土粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、小礫中量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化ブロック(φ10～50mm)少量、小礫多量

ASP-214
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量

ASP-215
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～7mm)少量
第2層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量

ASP-216
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

ASP-217
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量

ASP-218
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量

ASP-219
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

ASP-220
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)極微量、小礫少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)極微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量

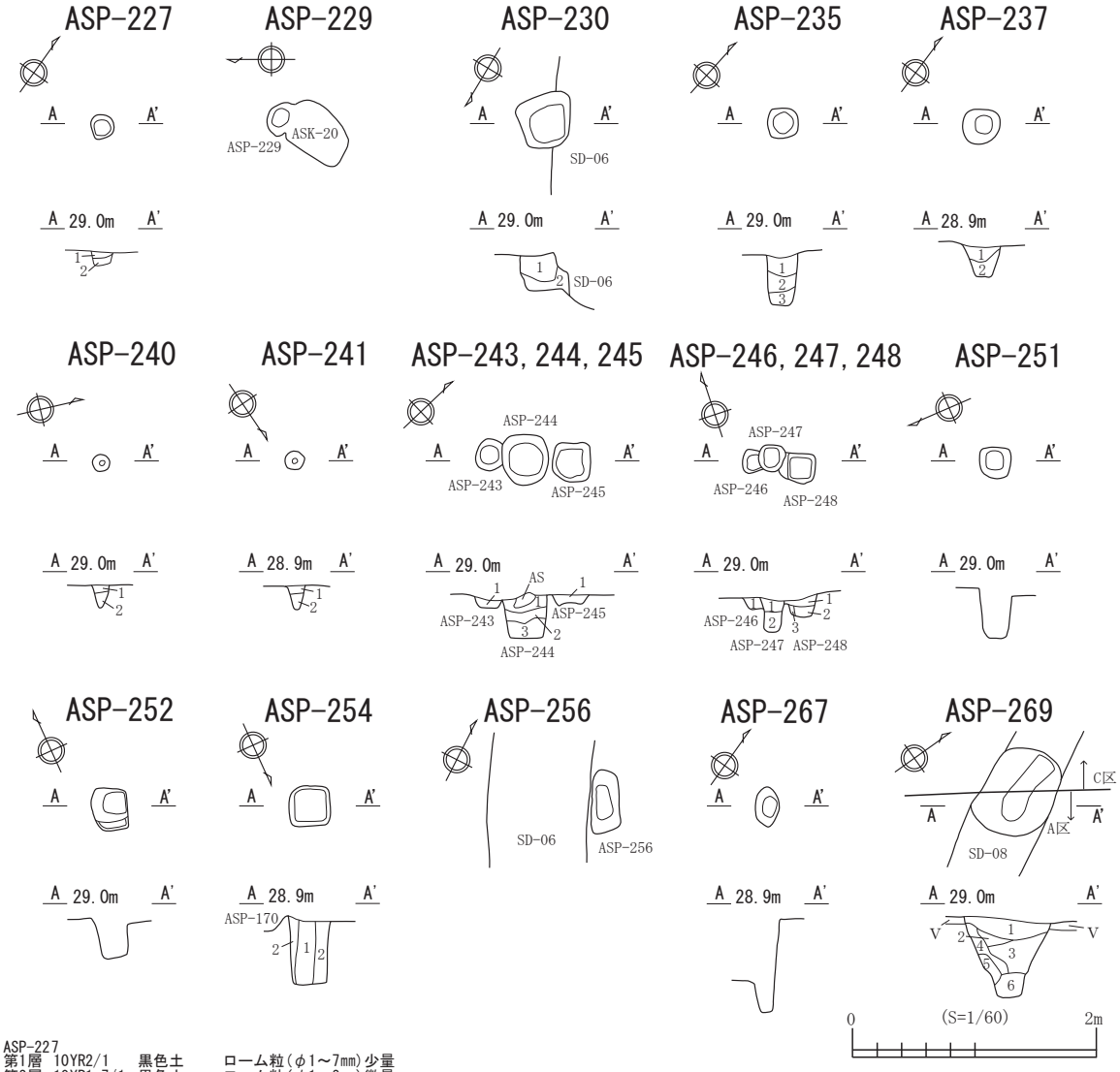
ASP-221
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量

ASP-222
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化物ブロック(φ10～20mm)中量、焼土ブロック(φ10～30mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　砂質、ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化物ブロック(φ10～50mm)多量

ASP-223
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1mm)極微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)多量、ロームブロック(φ10mm)中量

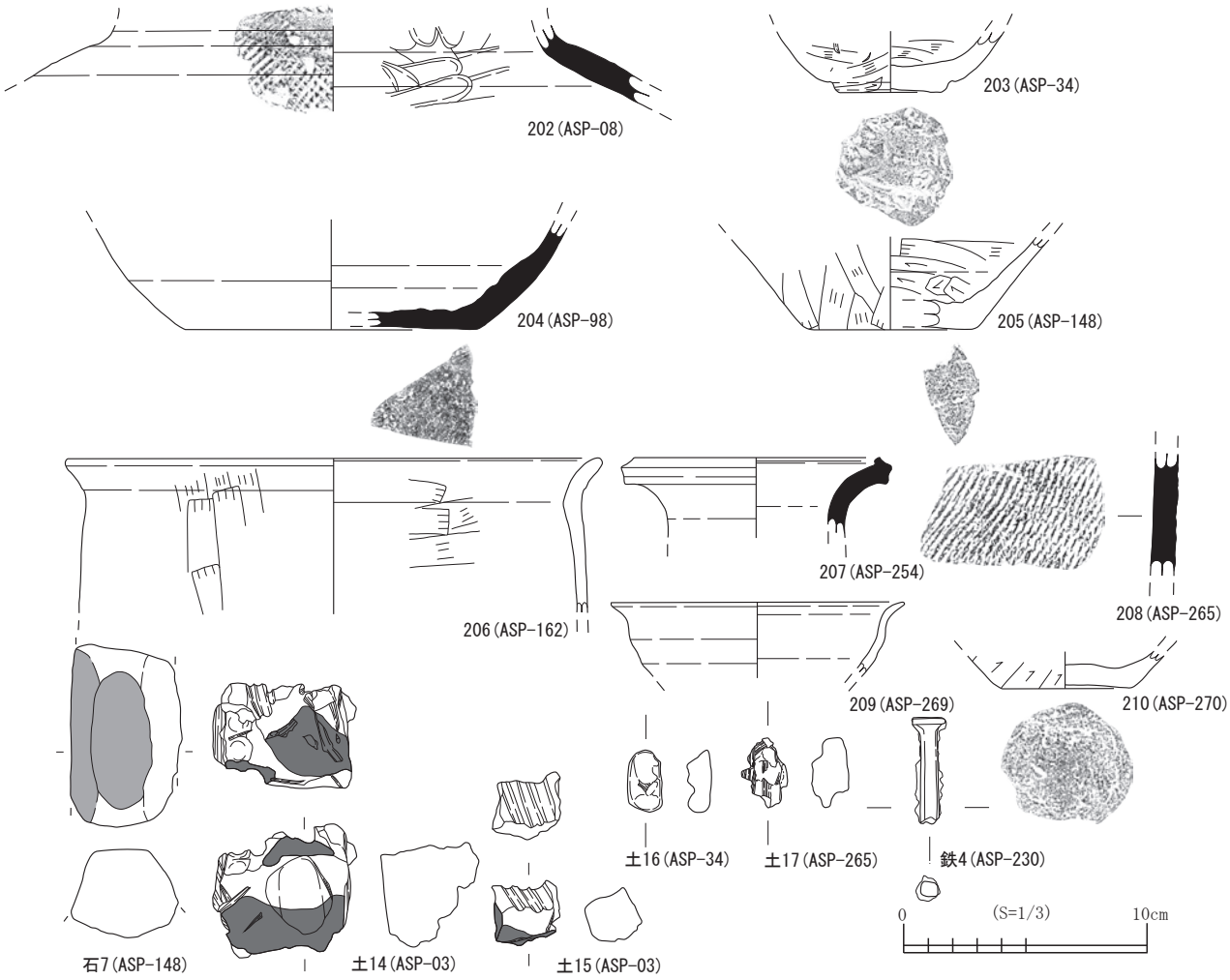
ASP-225
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、褐灰色土(10YR6/1)少量混入
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1mm)極微量

第57図　川原館遺跡Ａ区SPう（３）



ASP-227
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)少量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-230
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化物ブロック(φ10～30mm)中量、小礫中量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量
ASP-235
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層　10YR5/6　黄褐色土　砂質
ASP-237
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1mm)微量
ASP-240
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)極微量
ASP-241
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
ASP-243
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
ASP-244
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～2mm)中量、砂質
ASP-245
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1mm)極微量
ASP-246
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
ASP-247
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1mm)極微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量
ASP-248
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)極微量、焼土粒(φ1～2mm)極微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)多量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量
ASP-254
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
ASP-269
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量　炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、砂粒少量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
第5層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化物ブロック(φ20～30mm)微量
第6層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量

第58図　川原館遺跡Ａ区SPう（４）



第59図　川原館遺跡Ａ区出土遺物SP

7．遺構外出土遺物

（1）土器

土師器皿１点、坏８点、甕８点、須恵器壺２点、須恵器甕３点を図示した（第60図211～232）。211は皿の体部～底部で、ロクロ調整が施されており、底部は静止糸切である。外面にはヘラ状工具による圧痕が認められ、内面には刻書が認められる。坏は８点のうち、非ロクロ１点（212）、ロクロ調整７点（213～219）である。212は非ロクロ坏の体部～底部で内外面ヘラナデによって調整されており、底部もヘラナデによって調整されている。ロクロ調整７点のうち、218・219はロクロ調整の後、ヘラナデが施されている。216は坏の体部～底部の資料で、外面底部付近には刻書が認められる。判読不能であるが、「田」の可能性が考えられる。220は甕の口縁部で、体部からくの字状に開く口縁部で、外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整されている。221は甕の口縁部で、外面はヘラケズリやヘラナデ、内面はナデによって調整されている。222は甕の口縁部で内外面ともにヘラナデによって調整されており、外面には輪積痕と指頭圧痕が認められる。223は甕の口縁部～体部上半で、外面はヘラケズリ、内面はハケメ調整が施されている。224は甕の口縁部～体部上半で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。226は甕の底部で、内外面ともにヘラナデによって調整され、底部は柾目痕である。227は甕の底部で外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整され、底部は柾目痕が認められる。228は須恵器壺の体部上半～底部の資料で内外面ともにロクロナデによって調整されており、底部はヘラナデによって調整され、焼台痕が認められる。229は須恵器壺の口縁部で内外面ともにロクロナデによって調整されており、内面は一部灰かぶりが認められる。230～232は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデによって調整されている。

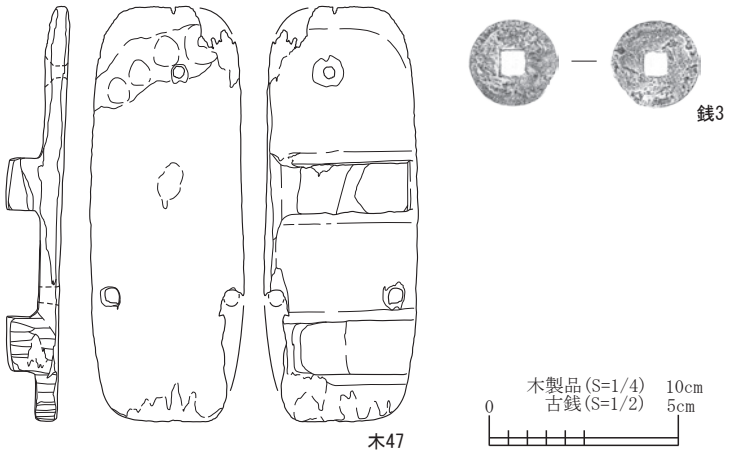
（2）木製品

下駄を１点図示した（第61図木47）。平面形が隅丸長方形を呈する連歯下駄で、前歯より５㎝ほど前に前壺があり、後壺は後歯の１㎝前に穿たれている。表面の前壺付近には左足の人差指から小指のくぼみが認められる。

（3）古銭

寛永通宝を１点図示した（第61図銭３）。表裏面ともに磨滅しており、背文字は不明である。新寛永と考えられる。

第60図　川原館遺跡A区遺構外出土土器



第61図　川原館遺跡A区遺構外出土遺物

第３表　川原館遺跡Ａ区出土土器観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第15図	1	ASK-06	1層	土師器	甕	口縁～体部	(14.8)	(6.8)	－	7.5YR 6/2	7.5YR 7/2	並	ヘラナデ	ナデ	－	多	多	少	微	破断面磨滅
第15図	2	ASK-06	6層	土師器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 7/4	5YR 6/8	並	ヘラナデ	ハケメ	－	多	少	少	中	
第15図	3	ASK-09	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(1.6)	(6.6)	5YR 5/3	7.5YR 4/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	中	少	少	中	
第15図	4	ASK-10	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(13.2)	4.2	(5.4)	2.5YR 7/6	5YR 7/4	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	板目痕	中	多	少	少	外面巻上痕有
第15図	5	ASK-10	覆土	珠洲	壺	体部～底部	－	(3.0)	(13.0)	N 3/0	N 4/0	良	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	ナデ	少	少	少	－	
第15図	6	ASK-12	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(13.0)	(4.8)	－	7.5YR 5/4	5YR 5/4	並	ヘラナデ	ハケメ	－	中	少	少	中	外面輪積痕有
第15図	7	ASK-18	覆土	土師器	坏	体部～底部	-	(1.7)	(5.2)	5YR 8/4	7.5YR 8/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	多	少	少	微	外面輪積痕有
第15図	8	ASK-18	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(12.6)	(3.1)	－	7.5YR 4/1	7.5YR 3/1	並	ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	少	外面輪積痕有
第15図	9	ASK-18	3層	須恵器	甕	体部	－	－	－	5PB 4/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	微	多	少	内外面共に火膨れか？はげしく剥落している
第15図	10	ASK-31	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.1)	(6.4)	2.5YR 5/8	5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋穿孔	中	少	少	少	底中央部穿孔有
第21図	11	SD-01	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.4)	5.7	5.8	10YR 4/1 10YR 2/1	10YR 4/2 10YR 3/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	中	中	内外面共に煤付着
第21図	12	SD-01	1層	土師器	甕	口縁～体部	(24.0)	(9.5)	－	2.5YR 5/8	2.5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	少	
第21図	13	SD-01	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.1)	5.0	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	ナデ	少	少	少	中	内面爪痕有
第21図	14	SD-01	覆土	土師器	ミニチュア土器	体部～底部	－	(2.1)	4.6	5YR 6/6	7.5YR 6/3	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	ナデ	中	少	少	少	外面輪積痕有
第21図	15	SD-01	覆土	土師器	ミニチュア土器	口縁～体部	(6.0)	(3.8)	－	5YR 5/6 5YR 5/1	5YR 5/6 5YR 5/1	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	微	内外面共に指頭圧痕有
第21図	16	SD-01	覆土	須恵器	壺	口縁	(14.0)	(2.0)	－	7.5YR 2/1	7.5YR 1.7/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	中	内外面煤付着
第21図	17	SD-02	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.2)	(3.7)	－	5YR 5/4	5YR 2/1	並	ロクロナデ＋ヘラケズリ	ロクロナデ	－	少	少	中	少	内外面共に煤付着、外面巻上痕有
第21図	18	SD-02	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.2)	7.0	5YR 7/6	5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	ナデ	中	少	少	中	台付、底部火膨れ箇所有
第21図	19	SD-02 遺構外	覆土 確認面	陶磁器	壺？	体部～底部	－	(3.4)	(8.4)	10YR 7/3	10YR 6/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切＋ケズリ	微	微	－	微	SD-02と同一溝
第21図	20	SD-03	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.5)	6.2	10YR 1.7/1	10YR 1.7/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	少	少	口縁部付近灰白色の釉付き
第21図	21	SD-03	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.3)	(6.0)	5YR 6/4	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	中	少	少	微	内外面煤付着、外面黒斑有
第21図	22	SD-03	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(4.2)	－	7.5YR 5/4	N 1.5/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ミガキ	－	少	少	中	少	内面黒色処理、磨滅有
第21図	23	SD-03	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(3.4)	－	5YR 6/6	10YR 5/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内面磨滅有
第21図	24	SD-03	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(10.0)	(3.8)	－	2.5YR 6/6	5YR 5/1	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	少	少	外面磨滅有
第21図	25	SD-03	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.4)	(6.4)	－	7.5YR 8/3	7.5YR 4/2	並	ヘラケズリ	ナデ＋ハケメ	－	多	少	少	多	内面に付着物有
第21図	26	SD-03	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.0)	(6.6)	－	5YR 5/6	5YR 5/4	並	ヘラナデ	ナデ＋ハケメ	－	多	少	少	中	内外面煤炭化物付着
第21図	27	SD-03	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(2.6)	(6.4)	5YR 4/6	5YR 2/2	並	ヘラケズリ	ヘラケズリ	砂底	多	少	少	少	内面に付着物有、破断面磨滅
第21図	28	SD-03	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.4)	(6.0)	－	7.5YR 7/6	2.5YR 7/6	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	－	多	少	少	中	
第21図	29	SD-03	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(3.6)	－	5YR 6/8	5YR 6/8	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	－	多	少	少	多	外面輪積痕有、炭化物付着
第21図	30	SD-03	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.2)	(4.9)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 5/6	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	－	中	少	少	多	外面輪積痕有
第21図	31	SD-03	覆土	土師器	甕	体部	－	－	－	5YR 8/3	5YR 7/6	並	ヘラナデ	ハケメ	－	中	少	少	中	外面輪積痕有
第21図	32	SD-03	覆土	須恵器	長頸壺	口縁	(19.4)	(2.6)	－	7.5YR 4/1	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ＋沈線	ロクロナデ	－	多	少	少	少	外面煤付着
第21図	33	SD-03	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5PB 4/1	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	微	微	多	少	
第21図	34	SD-04	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(1.9)	(6.2)	7.5YR 6/3	7.5YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	板目痕	少	中	少	中	外面磨滅
第22図	35	SD-05	中層	土師器	皿	口縁～底部	(15.0)	3.2	5.6	10YR 6/4	10YR 6/4	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	柾目痕	中	微	微	微	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第22図	36	SD-05	上層	土師器	皿	口縁～体部	(15.0)	(3.3)	－	5YR 5/6	5YR 5/4 5YR 1.7/1	並	ナデ	ナデ	－	中	少	少	少	内外面煤・炭化物付着
第22図	37	SD-05	上層	土師器	皿	口縁～底部	13.6	3.7	6.6	10YR 7/1	10YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	微	微	外面口唇部打欠痕有、内面煤付着
第22図	38	SD-05	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(16.8)	4.0	(8.0)	5YR 6/6	10YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	中	微	微	微	内面煤付着
第22図	39	SD-05	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(13.6)	3.5	(6.3)	7.5YR 4/2	7.5YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	中	少	中	少	灯明具、内外面灯明痕有、煤・炭化物付着
第22図	40	SD-05	覆土	土師器	皿	体部～底部	－	(1.5)	(5.6)	10YR 7/2	10YR 7/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	外面刻書有、絞込痕有
第22図	41	SD-05	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(15.0)	3.9	6.4	7.5YR 7/3	7.5YR 5/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	中	少	中	少	内面底部煤付着
第22図	42	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.0)	4.7	6.6	5YR 4/2	5YR 5/3	並	ナデ	ナデ	砂底	多	少	少	少	内面成形時の爪痕多
第22図	43	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.0)	4.2	(4.0)	7.5YR 7/6	7.5YR 7/3	良	ナデ+ ヘラケズリ	ナデ	砂底	中	少	多	少	内外面煤付着
第22図	44	SD-05	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.1)	4.2	10YR 5/2	10YR 7/3	並	ナデ	ナデ+ ヘラナデ	網代痕	少	少	少	少	外面底部煤付着、破断面磨滅
第22図	45	SD-05	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(4.7)	7.2	5YR 6/8	5YR 3/1	並	ナデ	ナデ+ ヘラケズリ	無調整	少	少	少	少	破断面磨滅
第22図	46	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.1)	3.6	5.4	5YR 5/3	7.5YR 6/3	良	ヘラナデ	ナデ	ヘラナデ	少	少	少	微	内外面ス状付着、貫通孔有、内面工具痕有
第22図	47	SD-05	－	土師器	坏	口縁～底部	(12.6)	4.3	(4.6)	7.5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ +ナデ	ヘラナデ	ヘラナデ	少	微	微	少	外面指頭圧痕有、巻上痕有、煤付着、底面刻書有
第22図	48	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～底部	(10.2)	5.7	(5.4)	5YR 6/4	7.5YR 5/3	並	ナデ+ ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラナデ	少	微	微	微	外面巻上痕有、指頭圧痕有、炭化物付着、内面煤付着、底面炭化物付着
第22図	49	SD-05	覆土 上層	土師器	坏	口縁～底部	12.0	5.4	5.8	7.5YR 6/2	10YR 1.7/1	並	ヘラナデ+ ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	少	微	微	微	内外面煤付着、口唇部打欠痕有、内面炭化物付着、底面ス状付着
第22図	50	SD-05	覆土 中層	土師器	坏	口縁～底部	(11.4)	5.1	(5.4)	5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ+ ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	中	微	微	微	外面巻上痕有、内面煤付着
第22図	51	SD-05	上層 －	土師器	坏	口縁～底部	13.1	5.9	6.0	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ヘラナデ+ ヘラケズリ	ヘラナデ	ナデ	中	微	微	微	
第23図	52	SD-05	中層	土師器	坏	体部～底部	－	(3.7)	6.0	10YR 6/3	7.5YR 7/4	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	多	微	微	微	外面輪積痕有、内面灯明痕有
第23図	53	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～底部	(12.2)	5.2	5.6	7.5YR 7/6	10YR 7/4	並	ヘラナデ+ ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	多	微	微	少	外面巻上痕有
第23図	54	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～底部	13.1	5.7	6.6	7.5YR 6/2	10YR 7/4	並	ヘラナデ+ ヘラケズリ	ヘラナデ	ナデ	少	微	微	少	内外面煤付着
第23図	55	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	12.6	4.4	4.6	10YR 6/3	10YR 6/2	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	中	微	微	微	内面煤付着
第23図	56	SD-05	上層	土師器	坏	体部～底部	－	(3.0)	5.0	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	良	ナデ	ナデ	網代痕	微	微	微	微	外面指頭圧痕有、輪積痕有
第23図	57	SD-05	上層	土師器	坏	体部～底部	－	(2.6)	5.2	5YR 5/6	7.5YR 6/1	並	ナデ	ナデ	網代痕	少	中	微	微	内外面煤付着、底面刻書有、内面指頭圧痕有
第23図	58	SD-05	上層	土師器	高台付坏	体部～底部	－	(4.7)	3.8	10YR 7/3	10YR 7/3	良	ナデ	ヘラナデ	ヘラナデ +ナデ	微	微	微	微	外面指頭圧痕有、内底面煤付着
第23図	59	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(5.2)	－	10YR 6/4	2.5YR 6/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	外面口唇部工具による加工痕有、内面に煤付着
第23図	60	SD-05	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(4.9)	5.4	10YR 7/2	10YR 5/1 N 2/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	内面煤付着
第23図	61	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(10.8)	(3.7)	－	10YR 5/3	10YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	
第23図	62	SD-05	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.7)	4.5	5YR 7/6	5YR 6/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	微	微	多	微	外面指頭圧痕有、内面輪積痕有、内外面煤付着
第23図	63	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(3.5)	－	10YR 1.7/1	10YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	中	内外面口唇部打欠痕有、剥落
第23図	64	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～底部	(11.2)	3.6	(6.6)	7.5YR 6/4	10YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切	少	微	微	微	内外面口唇部打欠痕有、巻上痕有、煤付着
第23図	65	SD-05	上層 覆土	土師器	坏	口縁～底部	(13.3)	(4.7)	6.4	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	中	中	外面工具痕有、口唇部打欠痕有、巻上痕有
第23図	66	SD-05	－	土師器	坏	口縁～底部	(13.1)	4.3	5.8	2.5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	微	少	外面口唇部打欠痕有
第23図	67	SD-05	上層	土師器	坏	体部～底部	-	(2.1)	4.8	5YR 6/6	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	微	微	微	少	
第23図	68	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～体部	(13.8)	(3.4)	－	5YR 6/6	7.5YR 4/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	外面墨書有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第23図	69	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.4)	(5.0)	－	10YR 7/3	10YR 8/3	良	ロクロナデ ＋ヘラナデ	ロクロナデ ＋ナデ	－	少	微	微	微	外面煤付着、内面指頭圧痕有
第23図	70	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(3.6)	－	10YR 6/3	10YR 6/3	良	ロクロナデ ＋ヘラナデ	ロクロナデ ＋ナデ	－	微	微	微	微	外面煤付着、内外面油痕有
第23図	71	SD-05	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.9)	4.4	5YR 6/4	2.5YR 6/6	良	ロクロナデ ＋ナデ	ロクロナデ ＋ヘラミガキ	左回転糸切	微	微	微	微	内面二次被熱、輪積痕有
第23図	72	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.4)	(3.5)	－	7.5YR 7/3	N 2/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ ＋ヘラミガキ	－	少	少	多	多	内面黒色処理
第24図	73	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～底部	(12.5)	4.9	(6.1)	7.5YR 8/2	7.5YR 8/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切 ＋ヘラオコシ	少	多	少	少	内外面煤付着
第24図	74	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(16.0)	(6.0)	－	10YR 8/4	10YR 8/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	中	
第24図	75	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(4.2)	－	7.5YR 8/3 7.5YR 6/1	7.5YR 8/2 7.5YR 7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内面煤、指頭圧痕有
第24図	76	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(11.0)	(5.5)	－	7.5YR 5/2	7.5YR 5/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	多	少	内面煤付着、口唇部磨滅
第24図	77	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.4)	(5.0)	－	7.5YR 6/3	7.5YR 7/3	並	ロクロナデ ＋沈線	ロクロナデ	－	少	少	多	少	灯明具、内外面灯明痕付着、口唇部打欠有、外面沈線有
第24図	78	SD-05	上層	土師器	坏	口縁～体部	(16.0)	(5.5)	－	10YR 7/3	N 2/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	中	内面煤付着
第24図	79	SD-05	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.6)	6.0	10YR 8/4	10YR 8/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	中	内外面破断面磨滅
第24図	80	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.2)	4.9	(6.0)	10YR 7/2	7.5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	少	中	
第24図	81	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.4)	4.0	(5.8)	10YR 7/2	2.5YR 2/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	柾目痕	少	多	中	少	内面煤付着
第24図	82	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(11.8)	(5.0)	－	5YR 5/4	10YR 7/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	最多	多	破断面磨滅
第24図	83	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(15.6)	(4.0)	－	5YR 7/8	5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	多	多	中	少	内外面巻上痕有
第24図	84	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(13.0)	4.5	5.7	10YR 6/3	10YR 7/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	少	中	外面墨書有
第24図	85	SD-05	覆土	土師器	坏	口縁～底部	11.2	4.2	5.4	5YR 7/6	5YR 7/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	多	少	少	中	内面巻上痕有
第24図	86	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.0)	(5.4)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ＋ ハケメ	－	少	微	微	微	外面輪積痕有
第24図	87	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(10.2)	－	5YR 5/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	微	微	微	外面輪積痕有、内面煤付着、指頭圧痕有
第24図	88	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.8)	(4.2)	－	7.5YR 5/2	5YR 6/4	良	ヘラナデ	ナデ	－	微	微	微	微	内外面輪積痕有、煤付着
第24図	89	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(18.2)	(6.9)	－	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ナデ＋ ハケメ	－	少	微	微	微	外面輪積痕有、煤付着
第24図	90	SD-05	覆土	土師器	甕	体部	－	－	－	10YR 6/4	7.5YR 5/6	並	ヘラナデ	ハケメ	－	少	少	少	少	内面付着物有、破断面磨滅
第24図	91	SD-05	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(8.8)	7.1	7.5YR 6/4	2.5YR 5/6	良	ヘラナデ ＋ケズリ	ヘラナデ ＋ナデ	ヘラナデ	少	微	微	微	外面指頭圧痕有、内面輪積痕有、内外底面煤付着
第24図	92	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁	(20.0)	(2.1)	－	2.5YR 6/6	5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	多	中	外面輪積痕有
第25図	93	SD-05 遺構外	覆土 表土	土師器	甕	口縁～体部	(22.4)	(12.5)	－	10YR 1.7/1	10YR 8/3	並	ナデ＋ ヘラナデ	ナデ	－	少	少	少	多	内外面輪積痕有、外面炭化物付着、内面破断面磨滅
第25図	94	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(14.6)	(7.3)	－	5YR 6/6	2.5YR 6/8	並	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ	－	中	少	少	多	外面輪積痕有
第25図	95	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(20.4)	(8.4)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 7/3	やや不良	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ＋ ヘラナデ	－	中	少	少	少	内外面破断面共に磨滅、内面輪積痕有
第25図	96	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(16.4)	(5.8)	－	2.5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ＋ ハケメ	－	少	少	少	中	内外面輪積痕有、口唇部打欠有
第25図	97	SD-05	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.4)	(12.5)	－	5YR 5/8	5YR 4/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	多	少	中	外面輪積痕有、煤付着
第25図	98	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(7.0)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 5/8	並	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ	－	中	少	少	多	
第25図	99	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(24.0)	(5.1)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 7/3	良	ロクロナデ ＋ヘラナデ	ロクロナデ ＋ナデ	－	微	微	微	微	外面輪積痕有
第25図	100	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(16.2)	(4.6)	－	5YR 6/4	5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	微	微	微	内外面輪積痕有、外面工具痕有、煤付着
第25図	101	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(25.2)	(7.2)	－	10YR 7/3	7.5YR 6/4	良	ヘラナデ	ミガキ ＋ナデ	－	少	微	微	微	外面工具痕有、輪積痕有、内外面煤付着
第25図	102	SD-05	中層	土師器	甕	口縁～体部	(24.4)	(7.9)	－	10YR 7/3	7.5YR 7/4	良	ケズリ ＋ナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	内外面輪積痕有、内面工具痕有、爪痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第25図	103	SD-05	中層	土師器	甕	口縁～体部	22.0	(5.8)	－	7.5YR 5/2	7.5YR 5/2	良	ヘラナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	微	微	微	微	外面輪積痕有
第25図	104	SD-05	上層	土師器	甕	体部～底部	－	(4.6)	5.1	7.5YR 5/3	10YR 4/2	並	ケズリ	ナデ	砂底	少	微	微	微	外面炭化物付着、内面煤付着、指頭圧痕有
第25図	105	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	18.8	(8.0)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 8/3	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	少	内外面輪積痕有、外面指頭圧痕有
第25図	106	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	21.8	(6.9)	－	2.5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	微	微	微	微	内外面輪積痕有、外面指頭圧痕有
第25図	107	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	20.0	(4.7)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 5/3	良	ヘラナデ	ナデ＋ミガキ	－	少	微	微	微	外面指頭圧痕有、輪積痕有、煤付着、内面工具痕有
第26図	108	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(23.6)	(6.6)	－	10YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	少	少	少	内面煤付着
第26図	109	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(21.6)	(7.6)	－	7.5YR 7/4	5YR 7/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	微	中	少	外面工具痕有、煤付着、内外面輪積痕有
第26図	110	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(22.8)	(10.4)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	微	内外面煤付着、外面輪積痕有
第26図	111	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(20.4)	(11.0)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	多	中	少	内外面煤付着、輪積痕有
第26図	112	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(18.2)	(8.3)	－	5YR 5/4	5YR 5/6	並	ナデ	ナデ	－	中	少	少	微	内外面煤付着、輪積痕有
第26図	113	SD-05	上層	土師器	甕	口縁～体部	(20.0)	(9.6)	－	7.5YR 7/6	7.5YR 7/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	少	微	外面工具痕有
第26図	114	SD-05	上層	土師器	甕	体部	－	－	－	5YR 6/6	2.5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	多	少	少	外面刻書有、内面煤付着
第26図	115	SD-05	上層	土師器	壺	口縁～体部	(8.8)	(5.5)	－	7.5YR 6/4	10YR 6/3	良	ヘラナデ	ナデ	－	微	微	微	微	内外面輪積痕有、外面工具痕有、煤付着
第26図	116	SD-05	上層	土師器	壺	体部～底部	－	(13.7)	6.0	5YR 5/4	5YR 1/2	並	ヘラナデ	ヘラナデ	柾目痕	少	中	少	微	外面工具痕有、内面煤付着
第26図	117	SD-05	覆土	土師器	壺	口縁～体部	13.0	(6.1)	－	5YR 6/4	5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	多	多	少	中	内外面輪積痕有、破断面磨滅
第26図	118	SD-05	覆土	土師器	壺	口縁～体部	(10.3)	(4.5)	－	2.5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	少	微	微	内外面輪積痕有
第26図	119	SD-05	上層／中層	土師器	小甕	口縁～底部	9.8	8.5	6.6	7.5YR 4/2	5YR 6/3	良	ケズリ＋ナデ	ナデ	砂底	少	中	微	少	内外面煤付着、内面爪痕有
第26図	120	SD-05	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(13.0)	(8.0)	－	7.5YR 4/2	7.5YR 4/1	並	ナデ＋ヘラケズリ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	多	少	口縁部煤付着
第27図	121	SD-05	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(13.6)	(4.5)	－	2.5YR 6/6	2.5YR 6/8	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ハケメ	－	中	少	少	少	
第27図	122	SD-05	上層	土師器	小甕	口縁～体部	(11.0)	(5.4)	－	7.5YR 4/2	7.5YR 4/1	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	多	少	少	内外面煤付着、輪積痕有、外面剥落有
第27図	123	SD-05	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(10.8)	(5.5)	－	7.5YR 6/3	5YR 6/4	並	ヘラナデ	ハケメ	－	微	微	微	微	内外面煤付着
第27図	124	SD-05	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.9)	5.2	10YR 6/3	10YR 5/1	良	ナデ	ナデ	砂底	微	微	微	微	外面刻書有
第27図	125	SD-05	上層	土師器	羽釜	口縁～体部	(15.0)	(6.2)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	良	ケズリ	ナデ	－	少	微	少	微	内面煤付着
第27図	126	SD-05	覆土	土師器	甑？	口縁～体部	(12.8)	(3.7)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	微	微	微	微	
第27図	127	SD-05	上層	土師器	ミニチュア土器	口縁～底部	(6.5)	4.7	(3.8)	7.5YR 7/4	7.5YR 6/4	並	ナデ	ナデ	柾目痕＋ナデ	少	微	微	微	内外面貫通孔有、輪積痕有、内面爪痕有
第27図	128	SD-05	上層	土師器	ミニチュア土器	口縁～体部	(5.3)	(4.4)	－	10YR 5/1	10YR 6/2	良	ナデ	ナデ	－	微	微	微	微	内外面指頭圧痕有、内面輪積痕有
第27図	129	SD-05	上層	土師器	ミニチュア土器	口縁～体部	(7.6)	(3.8)	－	10YR 6/2	10YR 5/2	良	ナデ	ナデ	－	微	微	微	微	内面輪積痕有
第27図	130	SD-05	覆土	製塩土器	－	体部	－	(3.4)	－	5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ナデ	ナデ	－	多	多	少	少	外面輪積痕有
第27図	131	SD-05	覆土	製塩土器	－	体部	－	(4.6)	－	2.5YR 2/6	2.5YR 6/8	並	ナデ	ナデ	－	多	多	少	少	内面剥落有
第27図	132	SD-05	覆土	須恵器	坏	体部～底部	－	(1.3)	4.0	7.5Y 5/1	10Y 5/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	中	微	外面火襷痕有
第27図	133	SD-05	覆土	須恵器	甕	口縁	(11.0)	(4.9)	－	N 4/0	N 4/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	中	少	内外面煤付着、口唇部磨滅
第27図	134	SD-05	上層	須恵器	甕	口縁	(20.6)	(4.5)	－	5PB 2/1	5PB 5/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	中	口縁内部灰かぶり、自然釉付着
第27図	135	SD-05	上層	須恵器	広口壺	頸部～体部	－	(10.7)	－	N 3/0	N 4/0	良	ロクロナデ＋タタキ	ロクロナデ＋ナデ	－	少	中	少	微	外面焼ハジケ有、内面指頭圧痕有、内外面自然釉付着
第27図	136	SD-05	上層	須恵器	壺	体部～底部	－	(5.0)	(10.4)	5PB 3/1	N 4/0	並	ヘラナデ	ナデ	ヘラナデ	少	少	多	少	
第27図	137	SD-05	覆土	須恵器	壺	体部～底部	－	(6.1)	(10.6)	N 3/0	N 4/0	並	ナデ	ナデ	ヘラナデ	多	中	多	少	内外面煤付着
第27図	138	SD-05	覆土	須恵器	甕	口縁	(51.0)	(6.1)	－	5R 2/1	5R 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	中	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第27図	139	SD-05	中層	須恵器	甕	口縁～頸部	(46.0)	(7.6)	－	N 4/0	N 4/0	良	ロクロナデ＋タタキ	ロクロナデ	－	微	少	－	－	
第28図	140	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 4/0	良	タタキ	ナデ	－	中	少	多	中	
第28図	141	SD-05	覆土	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	5Y 2/1	N 3/0	良	ナデ＋タタキ	ナデ	－	多	中	少	少	内面指頭圧痕有
第28図	142	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 2/2	10YR 1.7/1	やや不良	タタキ	ナデ	－	少	少	中	多	内外面剥落有
第28図	143	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5GY 3/1	5B 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	
第28図	144	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5B 2/1	5PB 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	中	
第28図	145	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 2/3	5YR 3/4	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	多	輪積痕有、内面煤付着
第28図	146	SD-05	中層	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	7.5YR 4/1	7.5YR 4/3	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	少	中	中	多	外面刻書有、内面輪積痕有、内外面剥落有
第28図	147	SD-05	上層	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面焼台痕有、内面剥落有
第28図	148	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ＋当て具痕	－	少	少	中	少	内面灰かぶり
第28図	149	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5R 3/1	10YR 5/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	中	外面煤付着
第28図	150	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	外面灰かぶり
第28図	151	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 4/1	5YR 3/1	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	少	少	多	少	
第28図	152	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 2/1	10Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	多	中	少	少	外面焼台痕有
第28図	153	SD-05	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 4/1	5Y 5/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	微	外面煤付着、破断面磨滅
第28図	154	SD-05	上層	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 3/0	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	外面灰かぶり
第28図	155	SD-05	上層	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	
第28図	156	SD-05	覆土	須恵器	甕	口縁	(40.0)	(2.3)	－	2.5YR 2/6	2.5YR 5/8	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	中	多	胎土内赤色粒大5㎜、小0.1多量
第29図	157	SD-06	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.3)	6.4	5YR 6/4	7.5YR 5/3	並	ナデ	ナデ	網代痕	中	少	少	中	外面巻上痕有
第29図	158	SD-06	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(1.8)	4.4	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	網代痕	少	少	少	少	外面墨書有
第29図	159	SD-06	覆土	土師器	台付坏	体部～底部	－	(5.0)	7.0	2.5YR 5/6 5YR 6/4	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	ヘラナデ	中	多	少	多	
第29図	160	SD-06	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.3)	6.0	5YR 5/3	7.5YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切＋穿孔＋ケズリ	中	少	少	少	底面煤・炭化物付着、底中央部工具による突孔有
第29図	161	SD-06	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.0)	5.5	5.6	7.5YR 7/4	N 1.5/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ミガキ	右回転糸切	少	多	少	多	内面黒色処理、口唇部磨滅
第29図	162	SD-06	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(4.3)	6.2	7.5YR 4/1 7.5YR 3/1	7.5YR 6/3 7.5YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	内外面共に煤付着、外面刻書有
第29図	163	SD-06	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.3)	4.0	6.0	10YR 5/2	10YR 5/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	内外面共に煤付着
第29図	164	SD-06	覆土	土師器	坏	体部	－	(3.3)	－	5YR 6/4	5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	内外面共に刻書有
第29図	165	ASE-04 SD-06	覆土 覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.2)	4.7	3.8	5YR 5/4	10YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	中	中	
第29図	166	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(25.8)	(11.4)	－	7.5YR 1.7/1	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	少	中	外面煤・炭化物付着
第29図	167	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.8)	(6.5)	－	5YR 5/4	5YR 6/4	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	－	多	少	少	中	外面煤・炭化物付着、口縁部煮炊痕有
第29図	168	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(21.4)	(8.0)	－	5YR 3/1	5YR 7/6	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	－	中	多	少	少	外面煤・炭化物付着、内面磨滅・指頭圧痕有、煮炊痕有
第29図	169	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(6.8)	－	5YR 3/1	5YR 5/3	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	－	少	少	少	中	外面煤・炭化物付着、外面輪積痕有
第29図	170	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.4)	(4.8)	－	5YR 5/6	5YR 6/8	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	－	中	多	少	多	内外面共に磨滅有
第30図	171	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.8)	(5.5)	－	5YR 6/6	5YR 6/8	やや不良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	少	多	焼きしまりが甘く内外面ヒビ割れ状に剥落が見られる
第30図	172	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(15.0)	(5.3)	－	7.5YR 5/4	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	中	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第30図	173	SD-06 ASE-06	覆土 覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.0)	(11.6)	－	7.5YR 2/1	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	少	外面煤・炭化物付着
第30図	174	SD-06	覆土	土師器	甕	口縁～底部	27.2	31.0	9.4	2.5YR 4/4	7.5YR 4/1 7.5YR 7/4	良	ヘラナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ	中	少	少	多	内外面煤付着、輪積痕有
第30図	175	SD-06	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(2.2)	(6.2)	7.5YR 8/2	7.5YR 8/4	並	ヘラケズリ	ヘラナデ ＋ヘラケズリ	砂底	多	少	少	多	
第30図	176	SD-06	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(3.3)	(6.6)	2.5YR 4/4	7.5YR 6/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	網状痕	中	少	少	少	外面輪積痕有
第30図	177	SD-06	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(4.4)	7.0	5YR 7/4	7.5YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	砂底	多	少	少	中	内面爪痕有、輪積痕有
第30図	178	SD-06	覆土	土師器	壺	口縁～体部	(10.0)	(4.2)	－	5YR 7/8	5YR 6/8	並	ロクロナデ ＋ヘラケズリ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内外面共に磨滅、胎土内にスサ・籾殻を含む
第30図	179	SD-06	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 3/0	良	タタキ	ナデ＋ 当て具痕	－	少	少	少	中	
第30図	180	SD-07	覆土	土師器	甕	口縁～体部	24.6	(4.7)	－	5YR 6/6	5YR 5/1	良	ヘラナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ	－	中	少	少	中	内面煤・炭化物付着
第30図	181	SD-07	覆土	土師器	甕	口縁～底部	(20.0)	(3.9)	－	7.5YR 7/4	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	中	微	少	
第30図	182	SD-07	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(4.8)	(5.4)	7.5YR 7/6	7.5YR 6/6	並	ナデ	ヘラナデ	網代痕	少	中	少	微	内外面煤付着、内面工具痕有、底面粘土付着
第30図	183	SD-08	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(16.0)	(2.8)	－	10YR 3/1	10YR 3/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	少	微	
第30図	184	SD-08	覆土	須恵器	壺	体部	－	(5.2)	－	N 4/0	N 5/0	やや不良	ロクロナデ	ロクロナデ＋ ヘラナデ	－	－	微	少	－	外面灰かぶり、焼成時の火膨れ箇所有
第37図	185	ASE-01	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(3.3)	－	5YR 7/6	7.5YR 5/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	微	内外面煤付着
第37図	186	ASE-01	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(3.9)	－	2.5YR 6/6	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	微	
第37図	187	ASE-01	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.8)	(6.1)	－	7.5YR 4/1	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	外面口縁部に煤付着、灯明痕か？
第37図	188	ASE-01	覆土	土師器	坏	底部	－	(1.4)	5.8	7.5YR 4/2	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切 ＋穿孔	中	少	少	中	内外面共に煤付着、底中央部穿孔有
第37図	189	ASE-01	覆土	土師器	甕	体部	－	－	－	5YR 5/2	10YR 7/4	並	ヘラナデ	ハケメ ＋ナデ	－	中	多	少	中	外面煤付着
第37図	190	ASE-03	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(1.8)	5.6	5YR 7/2	2.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	多	少	少	多	破断面磨滅
第37図	191	ASE-03	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(2.0)	5.2	7.5YR 7/3	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ	網代痕	中	少	少	中	破断面磨滅
第37図	192	ASE-03	覆土	越前	擂鉢	口縁～体部	(36.0)	(8.3)	－	5YR 6/4	2.5YR 6/2	良	ロクロナデ	ハケメ	－	少	－	－	－	
第37図	193	ASE-03	覆土	珠洲	擂鉢	体部	－	(7.7)	－	N 4/0	N 3/0	やや不良	ロクロナデ	ハケメ	－	中	少	多	微	破断面磨滅
第37図	194	ASE-04	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.2)	(4.2)	－	5YR 5/3	7.5YR 1.7/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	中	内外面共に巻上痕有
第37図	195	ASE-04	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(1.8)	(5.0)	5YR 6/4	10YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	少	少	少	中	
第37図	196	ASE-04	5層	土師器	坏	体部～底部	－	(1.2)	4.0	10YR 2/1	10YR 3/2	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	少	少	少	外面煤付着、破断面磨滅
第37図	197	ASE-04	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(11.2)	(4.7)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	多	内外面共に巻上痕有、煤付着
第37図	198	ASE-04	覆土	土師器	壺	口縁～体部	(17.8)	(3.7)	－	5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	中	少	中	内面口縁部沈線有
第37図	199	ASE-04	覆土	土師器	甕	底部	－	(2.3)	7.0	2.5YR 3/3	7.5YR 4/2	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	網代痕＋ ナデ	中	少	少	中	
第37図	200	ASE-06	覆土	土師器	把手付土器	把手	－	(7.3)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	多	
第37図	201	ASE-06	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 5/3 10YR 2/1	5YR 3/6	並	タタキ	ナデ	－	少	微	少	多	外面煤付着、破断面磨滅
第59図	202	ASP-08	覆土	須恵器	甕	体部	－	(3.5)	－	7.5YR3/3	7.5YR3/2	良	ロクロナデ ＋タタキ	指ナデ	－	少	少	少	－	
第59図	203	ASP-34	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.5)	4.5	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラケズリ	中	少	少	少	手づくね
第59図	204	ASP-98	覆土	須恵器	壺	体部～底部	－	(4.5)	(12.0)	N 3/0	N 4/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラナデ	少	少	中	－	底面焼台痕有、焼成時の火膨れ箇所有
第59図	205	ASP-148	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(3.7)	7.0	7.5YR 3/4	7.5YR 4/6	並	ヘラナデ	ナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ	少	少	少	少	外面煤・炭化物付着、内面付着物有
第59図	206	ASP-162	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(21.8)	(6.4)	－	5YR 6/3	5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	中	
第59図	207	ASP-254	覆土	須恵器	壺	口縁～体部	(10.0)	(3.3)	－	5PB 1.7/1	5PB 3/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	－	少	－	口縁部自然釉付着(2.5YR 4/1)
第59図	208	ASP-265	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5PB 2/1	N 3/0	良	タタキ	ナデ	－	微	－	中	－	外面灰かぶり

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第59図	209	ASP-269	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(3.1)	－	5YR 6/8	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	
第59図	210	ASP-270	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(1.5)	5.4	7.5YR 4/2	10YR 2/1	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラナデ	少	中	少	中	外面煤付着
第60図	211	遺構外	覆土	土師器	皿	体部～底部	－	(2.3)	5.0	7.5YR 3/1	7.5YR 1.7/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切＋ヘラオコシ	中	少	少	少	
第60図	212	遺構外	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.8)	5.4	7.5YR 7/4	7.5YR 6/3	並	ヘラナデ	ナデ	ヘラナデ	多	少	少	中	
第60図	213	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(4.2)	－	7.5YR 6/3	7.5YR 6/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	中	
第60図	214	遺構外	覆土	土師器	坏	体部	－	(4.4)	－	7.5YR 7/2	7.5YR 7/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	多	中	少	少	口縁部打欠痕有、破断面磨滅
第60図	215	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.4)	(3.4)	－	7.5YR 7/3	7.5YR 7/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	中	少	多	
第60図	216	遺構外	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.4)	5.0	7.5YR 6/2	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	微	内面煤・炭化物付着、外面刻書有
第60図	217	遺構外	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.7)	6.0	N 1.5/0 10YR 6/1	10YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	微	少	少	微	
第60図	218	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(4.6)	－	5YR 6/6	5YR 7/6	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	微	中	少	少	外面指頭圧痕有、内面黒斑有
第60図	219	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(4.9)	－	10YR 4/6	5YR 6/4	良	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	外面巻上痕有
第60図	220	遺構外	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.0)	(6.2)	－	7.5YR 7/4	2.5YR 6/8	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ＋ヘラケズリ	－	少	中	少	中	口縁部工具による圧痕有
第60図	221	遺構外	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.0)	(4.2)	－	2.5YR 6/8	10YR 6/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	中	少	少	少	内面磨滅有
第60図	222	遺構外	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(26.0)	(5.7)	－	5YR 5/4	2.5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	－	中	少	少	少	内外面共に輪積痕有、外面煤・炭化物付着、内面付着物有
第60図	223	遺構外	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.0)	(7.2)	－	10YR 6/3	7.5YR 4/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ハケメ	－	多	少	少	多	内面付着物有
第60図	224	遺構外	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(25.0)	(7.6)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 4/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	多	少	少	内面煤付着、外面磨滅有
第60図	225	遺構外	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.0)	(3.6)	－	5YR 6/8	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	－	中	多	少	少	内外面共に煤付着
第60図	226	遺構外	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(2.8)	5.0	5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	柾目痕	中	少	少	少	外面ヘラケズリ調整
第60図	227	遺構外	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(2.9)	4.6	7..5YR 4/2	7.5YR 5/3	並	ヘラケズリ	ヘラナデ	柾目痕	少	少	少	少	
第60図	228	遺構外	覆土	須恵器	壷	体部～底部	－	(12.3)	9.0	5PB 1.7/1	5PB 3/1	良	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	ヘラナデ	中	少	－	中	内外面共に胴部剥落有、底面焼台痕有
第60図	229	遺構外	覆土	須恵器	壷	口縁～体部	(17.0)	(7.6)	－	N 3/0	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	-	少	少	－	－	内面口縁部、外面胴部灰かぶり
第60図	230	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 4/0	良	タタキ	ナデ	-	少	－	中	－	
第60図	231	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	5B 4/1	5PB 3/1	良	タタキ	ナデ	-	－	微	少	－	外面剥落有
第60図	232	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 3/2	7.5YR 3/1	良	タタキ	ナデ	-	少	－	少	－	

第４表　川原館遺跡Ａ区出土木製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	計測値（cm）			製品群	製品名	木取	樹種	備考
				長さ	幅	厚さ					
第16図	木1	ASK-03	覆土	(5.2)	5.5	0.9	用途不明	板材	追柾目		
第16図	木2	ASK-03	覆土	(17.3)	2.3	0.7	用途不明	板材	追柾目		刃痕有
第16図	木3	ASK-03	覆土	(16.2)	(4.2)	0.8	容器	桶（側板）	柾目		塗り（黒）有。柿渋か？刃痕有
第16図	木4	ASK-03	1層	(2.5)	2.5	0.3	用途不明	板材？	柾目		漆塗り（表：赤,裏：緑）有
第16図	木5	ASK-03	2層	(5.0)	(9.1)	1.0	容器	椀（漆器）	追柾目	ブナ科ブナ属	漆塗り（内：赤,外：黒）有。器高3.8。樹種同定No.27
第16図	木6	ASK-03	覆土	40.0	3.4	1.4	建築材,部材,杭等	板材	板目		一部炭化
第16図	木7	ASK-03	2層	16.4	7.5	3.7	服飾品	下駄	板目		漆塗り（赤）有。漆膜分析No.2
第31図	木8	SD-05	覆土	(139.5)	29.3	7.7	建築材,部材,杭等	部材	芯持,柾目,板目	クリ	井戸枠材
第31図	木9	SD-05	覆土	3.6	8.3	4.2	容器	曲物,留紐	樹皮		
第31図	木10	SD-05	覆土	20.1	4.0	3.5	用途不明	棒状	芯無削出		炭化有

図版番号	No.	出土位置	層位	計測値（cm）			製品群	製品名	木取	樹種	備考
				長さ	幅	厚さ					
第31図	木11	SD-05	覆土	22.4	(9.8)	(6.2)	服飾具	下駄	芯持丸木, 板目削出し		
第38図	木12	ASE-01	覆土	33.6	4.7	1.7	用途不明	部材？	追柾目		
第38図	木13	ASE-01	覆土	55.8	9.4	1.8	建築材,部材,杭等	板材	板目		
第38図	木14	ASE-01	－	34.4	11.9	1.3	建築材,部材,杭等	板材	追柾目		
第38図	木15	ASE-01	10層	35.4	9.2	1.2	建築材,部材,杭等	板材	追柾目		
第38図	木16	ASE-01	－	66.4	17.6	1.3	建築材,部材,杭等	板材	板目		
第38図	木17	ASE-01	覆土	16.3	2.6	1.0	用途不明	板材	板目		炭化有
第38図	木18	ASE-01	覆土	(10.8)	1.0	0.6	食事具	箸	板目		
第38図	木19	ASE-01	覆土	(20.5)	4.1	0.8	用途不明	板材	追柾目		
第38図	木20	ASE-01	覆土	(16.0)	7.0	1.2	用途不明	板材	柾目		
第38図	木21	ASE-01	－	21.3	1.3	0.8	食事具	箸	割材面取		
第38図	木22	ASE-01	覆土	(16.7)	4.7	0.2	用途不明	板材	柾目		
第38図	木23	ASE-03	覆土	(59.3)	7.8	5.1	建築材,部材,杭等	杭	芯持丸木		
第38図	木24	ASE-03	覆土	10.9	8.6	0.8	容器	曲物	追柾目、柾目		柄なし。器高8.6。
第38図	木25	ASE-03	19層	(35.2)	3.9	2.2	用途不明	板材	板目		
第38図	木26	ASE-03	覆土	13.8	3.4	3.1	建築材,部材,杭等	把手	芯持丸木		
第38図	木27	ASE-03	覆土	11.4	9.0	3.8	用途不明	部材？	輪切り		
第38図	木28	ASE-03	覆土	9.7	4.9	0.7	用途不明	板材	柾目		一部炭化。刃痕有
第39図	木29	ASE-04	下層	16.0	9.0	3.2	容器	皿	板目	トチノキ科トチノキ属トチノキ	樹種同定No.20。漆膜分析No.5
第39図	木30	ASE-04	下層	(5.0)	(9.0)	0.6	容器	椀（漆器）	柾目		内面漆塗り（黒）有。器高0.7
第39図	木31	ASE-04	下層	(16.2)	(3.6)	1.4	用途不明	板材	みかん割		
第39図	木32	ASE-04	下層	22.8	13.6	5.7	用途不明	刳物	板目	トチノキ科トチノキ属トチノキ	樹種同定No.25
第39図	木33	ASE-04	覆土	2.3	23.9	0.5	容器	曲物	板目		
第39図	木34	ASE-04	覆土	8.9	8.8	3.2	用途不明	板材	追柾目		
第39図	木35	ASE-04	覆土	20.8	2.0	0.9	用途不明	板材	柾目		炭化有
第39図	木36	ASE-04	覆土	21.8	0.6	0.6	食事具	箸	板目		
第39図	木37	ASE-05	覆土	(18.8)	3.1	1.4	その他	刀形？	柾目		
第39図	木38	ASE-05	8層	(10.4)	0.8	0.4	食事具	箸	板目		一部炭化
第39図	木39	ASE-05	8層	(21.8)	0.8	0.7	食事具	箸	板目		
第39図	木40	ASE-05	8層	(14.7)	13.4	1.6	用途不明	板材	追柾目		
第39図	木41	ASE-05	8層	(12.6)	0.9	0.6	食事具	箸	板目		一部炭化
第39図	木42	ASE-05	8層	28.9	16.0	1.4	農耕具	田下駄	柾目	ブナ科ブナ属	樹種同定No.26
第39図	木43	ASE-06	覆土	(4.4)	(2.3)	0.4	容器	椀（漆器）	横木取,柾目		内面漆塗り（赤）有。器高0.6
第39図	木44	ASE-06	覆土	(17.4)	9.8	0.7	用途不明	板材	柾目		炭化有。刃痕有
第39図	木45	ASE-06	覆土	(22.1)	8.4	3.3	建築材,部材,杭等	部材	追柾目		
第39図	木46	ASE-06	覆土	(14.8)	5.9	6.1	用途不明	部材	芯持丸木		樹皮付き
第61図	木47	遺構外	－	21.9	8.0	3.0	服飾具	下駄	追柾目		表面漆塗り（赤）有。

第５表　川原館遺跡Ａ区出土石器・石製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量（g）	石質	備考
					長軸	短軸	厚さ			
第12図	石1	ASB-01P8 (ASP-277)	覆土	台石	(10.8)	(5.0)	3.7	160	泥岩	石2と同一個体
第12図	石2	ASB-01P8 (ASP-277)	覆土	台石	(6.0)	(5.9)	3.3	104	泥岩	石1と同一個体
第32図	石3	SD-05	上層	石臼	(33.0)	(33.0)	9.5	2760.0	石英安山岩	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量（g）	石質	備考
					長軸	短軸	厚さ			
第32図	石4	SD-05	覆土	台石	(13.0)	(8.5)	3.4	527.3	安山岩	
第39図	石5	ASE-01	覆土	礫	(30.5)	(16.3)	8.9	4220	石英安山岩	被熱痕有
第39図	石6	ASE-03	覆土	台石	(8.7)	(8.1)	7.5	758	泥岩	
第59図	石7	ASP-148	1層	砥石	(7.5)	(4.6)	3.6	160	石英安山岩	

第６表　川原館遺跡Ａ区出土土製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			調整		備考
					長軸	短軸	厚さ	表面	裏面	
第33図	土1	SD-02	覆土	焼成粘土塊	2.2	2.0	2.0	ナデ	ナデ	
第33図	土2	SD-02	覆土	焼成粘土塊	3.1	2.9	2.0	ナデ	ナデ	
第33図	土3	SD-02	覆土	焼成粘土塊	2.9	3.0	1.8	ナデ	ナデ	
第33図	土4	SD-02	覆土	焼成粘土塊	7.5	7.4	3.6	ナデ	ナデ	
第33図	土5	SD-02	覆土	焼成粘土塊	2.6	3.0	1.6	ナデ	ナデ	
第33図	土6	SD-03	覆土	焼成粘土塊	2.9	2.7	1.3	ナデ	ナデ	
第33図	土7	SD-05	覆土	支脚	(5.6)	4.9	1.5	ヘラケズリ	ー	
第33図	土8	SD-05	覆土	焼成粘土塊	(7.3)	(8.6)	(6.0)	ナデ	ナデ	
第33図	土9	SD-05	覆土	焼成粘土塊	5.2	4.2	4.6	ナデ	ナデ	
第33図	土10	SD-06	覆土	焼成粘土塊	3.7	3.4	2.7	ナデ	ナデ	
第33図	土11	SD-06	覆土	焼成粘土塊	2.3	2.0	1.5	ナデ	ナデ	
第39図	土12	ASE-01	覆土	焼成粘土塊	1.7	1.9	1.5	ナデ	ナデ	
第39図	土13	ASE-04	覆土	焼成粘土塊	3.4	2.1	2.7	ナデ	ナデ	
第59図	土14	ASP-03	覆土	焼成粘土塊	5.5	5.9	4.3	ナデ	なし	
第59図	土15	ASP-03	覆土	焼成粘土塊	2.7	2.8	2.8	ナデ	なし	
第59図	土16	ASP-34	覆土	焼成粘土塊	2.6	1.4	1.0	ナデ	ナデ	
第59図	土17	ASP-265	覆土	焼成粘土塊	2.9	1.9	1.5	ナデ	ナデ	

第７表　川原館遺跡Ａ区出土鉄関連遺物観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量（g）	メタル度	磁着度	備考
					長軸	短軸	厚さ				
第12図	鉄1	ASB-01P1 (ASP-112)	底面	流動滓	6.3	3.7	2.5	80.5	なし	2	
第33図	鉄2	SD-01	覆土	粘土質溶解物	3.0	3.8	3.1	10.0	なし	1	
第33図	鉄3	SD-05	上層	刀子	8.1	3.9	1.0	31.5	錆化（△）	1	
第59図	鉄4	ASP-230	覆土	鉄製品（釘）	1.4	4.4	0.6	7.2	H（○）	3	

第８表　川原館遺跡Ａ区出土古銭観察表

図版番号	No.	出土地点	層位	銭名	計測値（mm）				重量（g）	初鋳年	備考
					外径	孔径	外縁厚	文字面厚			
第33図	銭1	SD-05	上層	寛永通宝	24.09	5.32	1.12	1.13	1.14	1697～1747 1767～1781	右半分欠損、新寛永
第33図	銭2	SD-06	覆土	元豊通寶	23.74	6.60	1.06	1.06	1.8	1078	
第61図	銭3	遺構外	表採	寛永通宝	23.33	5.69	1.90	1.39	3.24	1697～1747 1767～1781	表裏面磨滅、新寛永

第３節　Ｂ区

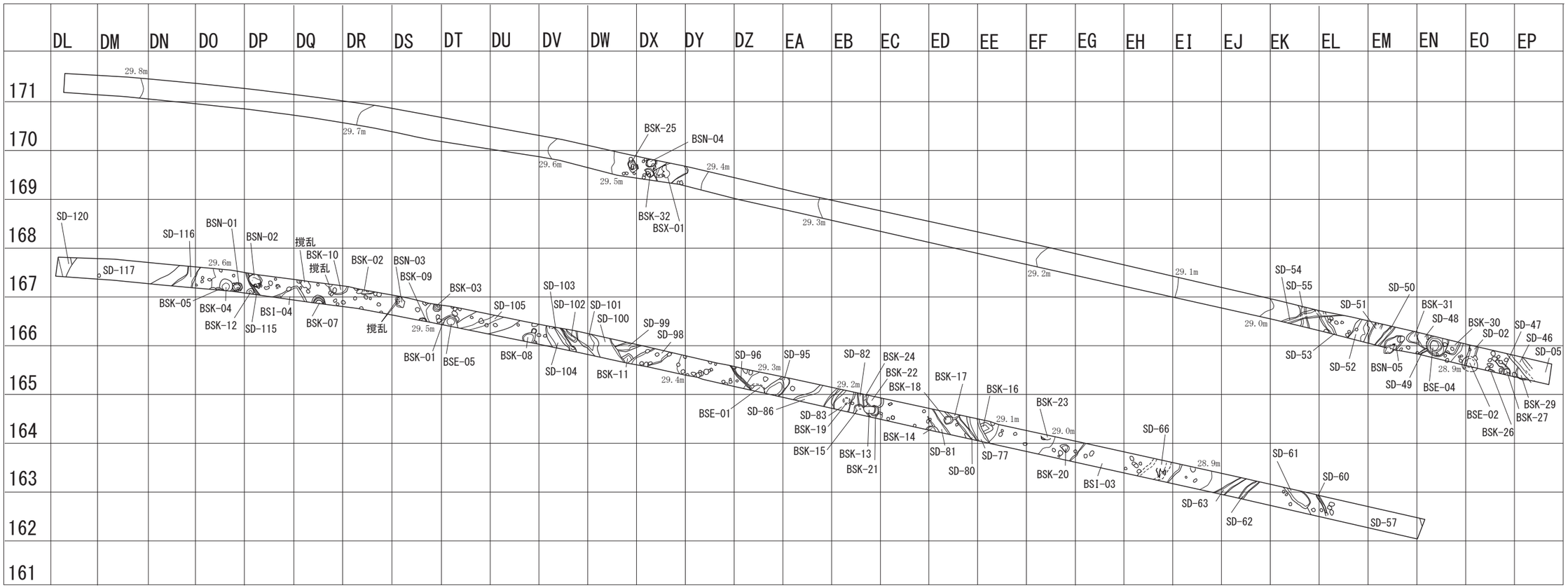
１．竪穴遺構

BSI－03（第63図）

EF－163、EG－163・164、EH・EI－163グリッドで検出した。SD－66、BSP－109と重複している。SD－66の堆積土の上に本遺構に伴う焼土が造られていることから、本遺構が新しい。BSP－109が本遺構を掘り込んでいることから、本遺構が古い。焼土範囲についてはカマド基部であった可能性もあるが、主軸方位や煙道、火床面範囲がはっきりしないため、竪穴遺構として取り扱った。全体形は不明であるが、平面形は方形を呈していると考えられ、確認できた部分の規模は長軸816×短軸168×深さ11㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、床面はやや凹凸が認められる。貼床となっており、第６層が該当する。ピットは８基検出した。Pit1＝長軸28×短軸26×深さ41㎝、Pit2＝長軸41×短軸26×深さ14㎝、Pit3＝長軸23×短軸22×深さ17㎝、Pit4＝長軸43×短軸27×深さ13㎝、Pit5＝長軸34×短軸29×深さ27㎝、Pit6＝長軸29×短軸24×深さ46㎝、Pit7＝長軸27×短軸23×深さ24㎝、Pit8＝長軸29×短軸26×深さ16㎝を測る。床面南壁寄りから焼土範囲を１箇所検出した。焼土範囲は不整形を呈し、規模は長軸77×短軸76㎝を測る。堆積土は貼床を含めて６層に分層した。黒色土、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、ローム粒やロームブロックの多量混入から埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏８点、甕４点、小甕１点、須恵器壺１点、甕３点、製塩土器１点、土製品１点を図示した（第64・65図233～250、土18）。233～235、238、243～245はSD－66との接合資料である。坏は８点のうち、非ロクロ４点（233～236）、ロクロ調整４点（237～240）である。非ロクロ坏の底部調整は、233砂底、234柾目痕、236網代痕である。233・234は灯明痕が認められる。237はロクロ調整の坏で底部には穿孔が認められる。238は内面刻書が認められる。241は甕の口縁部～体部で、体部はやや外傾し、口縁部が緩やかに外反する形状を呈しており、内外面ともにヘラナデによって調整されている。242は甕の口縁部～体部で、体部上半はほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。243は小甕の口縁部～体部で、体部上半から口縁部までほぼ直線的で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。244は甕の口縁部～体部で、体部から口縁部へとすぼまる形状で、口縁部には浅いくびれが認められる。内外面ともにヘラナデによって調整されている。245は甕の口縁部～体部で、外面は口縁部と体部の境ない直線的な作りで、内外面ともにヘラナデによって調整されている。246は須恵器壺の体部～底部で、酸化焼成である。内外面ともにロクロナデによって調整され、底部は回転糸切である。247～249は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデによって調整されている。250は製塩土器の体部で、輪積痕が認められ、内外面ともにナデによって調整されている。土18は円筒支脚である。

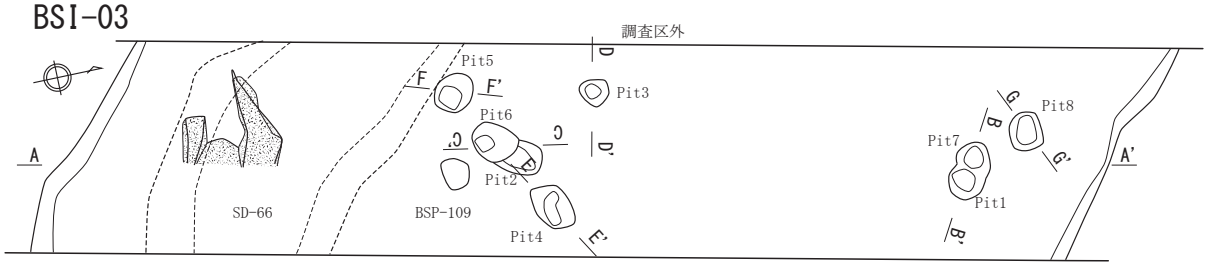
BSI－04（第63図）

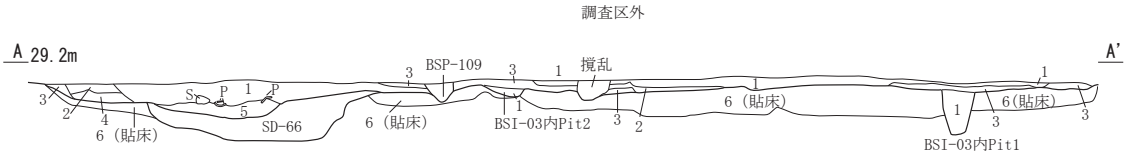
DP・DQ－166・167グリッドで検出した。BSP－70と重複しており、BSP－70が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明であるが、平面形は方形を呈していると考えられ、確認できた部分の規模は、長軸208×短軸147×深さ69㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、床面は段が認められる。堆積土は10層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、ロームブロック等の混入から人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第65図251）、鉄関連遺物１点（第65図鉄５）を図示した。251は体部下半～底部で、内外面ともにロクロ調整が施されており、底部は細めの糸による回



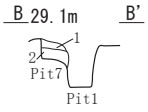
第62図　川原館遺跡Ｂ区遺構配置図

BSI-03

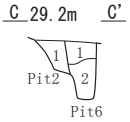




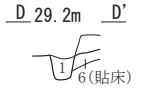
BSI-03内Pit1,7



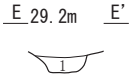
BSI-03内Pit2,6



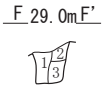
BSI-01内Pit3



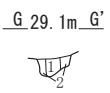
BSI-01内Pit4

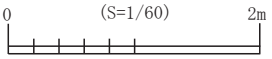


BSI-01内Pit5



BSI-01内Pit8





BSI-03
第1層　10YR1.7/1 黒色土と10YR3/1黒褐色土の混合層 ローム粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)微量
第4層　10YR1.7/1 黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層 ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、焼土ブロック(φ10～30mm)多量
第5層　10YR3/1　黒褐色土　焼土(7.5YR4/3褐色土)層状に混入 ローム粒(φ1～3mm)少量、ローム帯状に左側に混入酸化鉄(φ1～5mm)少量
第6層　10YR4/3　にぶい黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層　ローム粒（φ1～9mm）多量、ロームブロック（φ10～100mm）多量、炭化粒（φ5～10mm）少量、酸化鉄（φ5～10mm）微量

BSI-03内Pit1
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、炭化物(φ1～20mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSI-03内Pit2
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化物(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)微量

BSI-03内Pit3
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

BSI-03内Pit4
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量

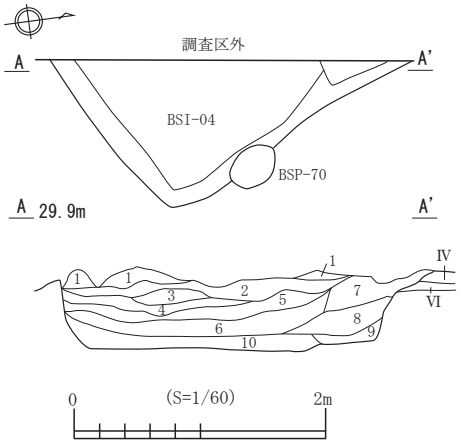
BSI-03内Pit5
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSI-03内Pit6
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量、礫(φ1～15mm)少量

BSI-03内Pit7
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

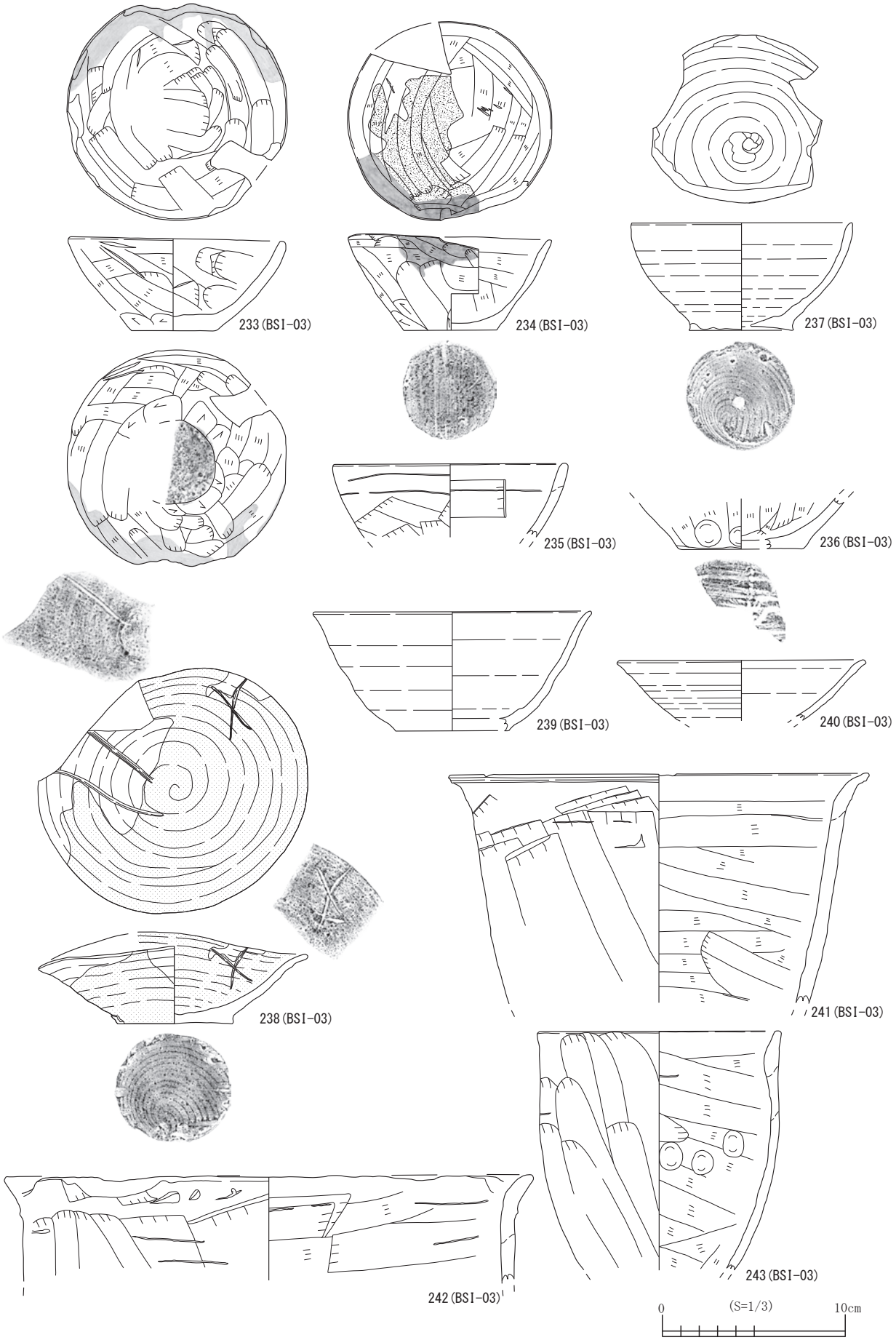
BSI-03内Pit8
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～３mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSI-04

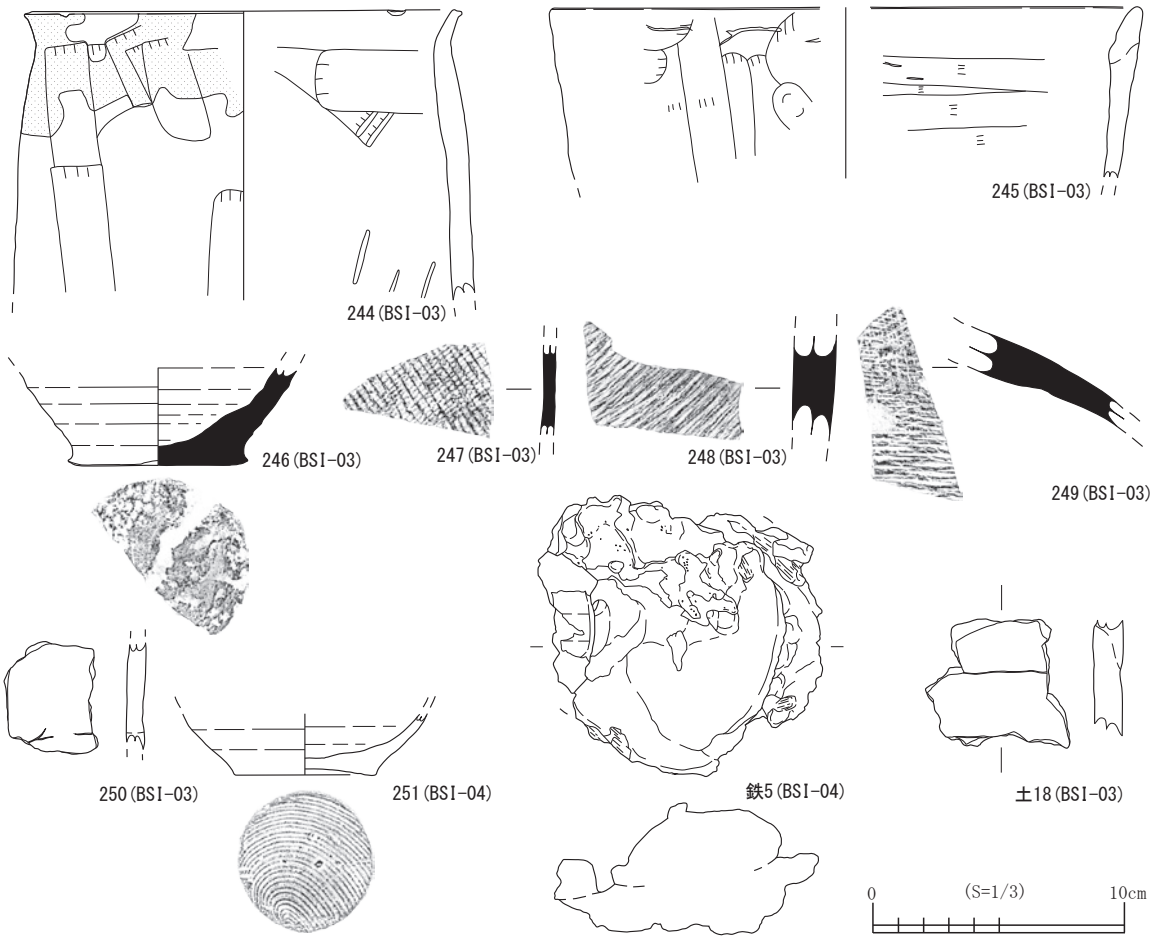


BSI-04
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～40mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～9mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～60mm)多量、炭化粒(φ1～9mm)中量、焼土粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～9mm)中量、焼土ブロック(φ10～20mm)中量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～9mm)中量、焼土ブロック(φ10～15mm)中量、酸化鉄粒(φ1～4mm)少量
第5層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～9mm)少量、焼土ブロック(φ10～50mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第6層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～40mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)中量、焼土粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第7層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)中量、焼土粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第8層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～15mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～9mm)少量、焼土ブロック(φ10～15mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第9層　10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)多量、炭化物ブロック(φ10～30mm)多量、焼土粒(φ1～9mm)中量、焼土ブロック(φ10～15mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第10層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～40mm)多量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～9mm)少量

第63図　川原館遺跡Ｂ区SI



第64図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SI



第65図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SI

転糸切である。鉄５は椀形鍛冶滓で、２段に重なっており、表面には羽口先端部が折損して付着している。

2. 土坑

BSK－01（第66図）

DS・DT－166グリッドで検出した。BSE－05、SD－105、BSP－26、31と重複している。本遺構がBSP－31を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－105、BSE－05、BSP－26が本遺構を掘り込んでいることから、本遺構が古い。全体形は不明であるが、平面形は隅丸方形を呈していると考えられ、規模は長軸146×短軸97×深さ61㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、下層の４・５層にローム粒・ロームブロックが中量に混入することから、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－02（第66図）

DR－167グリッドで検出した。BSP－15、46～48と重複している。BSP－46～48が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。BSP－15との新旧関係は不明である。全体形は不明であるが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸138×短軸38×深さ13㎝を測る。断面は鍋底状を呈し、壁は概ね緩やかに立ち上がっており、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器小甕１点を図示した（第70図252）。252は体部～底部で、底部から直線的に立ち上がる形状で、内外面、底部ともヘラナデによって調整されている。

BSK－03（第66図）

DS－166グリッドで検出した。全体形は不明だが、平面形は不整円形を呈していると考えられ、規模は長軸68×短軸54×深さ62㎝を測る。断面は逆三角形状を呈し、壁は急角度に立ち上がる。堆積土は３層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点を図示した（第70図253）。253は体部～底部で、ロクロ調整が施され、底部は回転糸切である。

BSK－04（第66図）

DO－167グリッドで検出した。BSK－05と重複している。BSK－05が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸106×短軸91×深さ91㎝を測る。断面は袋状を呈し、壁は段を持って立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は７層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSK－05（第66図）

DO－167グリッドで検出した。BSK－04、BSP－22と重複している。本遺構がBSK－04を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－22が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明であるが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸61×短軸20×深さ102㎝を測る。断面は袋状を呈し、壁は段を持って立ち上がり、底面はやや傾斜が認められる。堆積土は８層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－07（第66図）

DQ－166・167グリッドで検出した。全体形は不明であるが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸111×短軸54×深さ91㎝を測る。壁は底面から中位までほぼ垂直に立ち上がり、徐々に丸みを帯びるように立ち上がる。底面はほぼ平坦である。堆積土は７層に分層した。黒褐色土を主体する土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－08（第66図）

DU－166グリッドで検出した。BSP－37、88と重複している。本遺構がBSP－37の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－88が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整円形を呈していると考えられ、規模は長軸102×短軸83×深さ10㎝を測る。壁は緩やかな傾斜で立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－09（第67図）

DS－166グリッドで検出した。BSP－16と重複している。本遺構がBSP－16を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸67×短軸26×深さ13㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は１層で黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSK－10（第67図）

DQ・DR－167グリッドで検出した。BSP－63・64、79と重複している。BSP－63が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。BSP－64、79との新旧関係は不明である。全体形は不明だが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸157×短軸78×深さ44㎝を測る。断面形は鍋底状を呈し、壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏３点、甕１点、須恵器甕１点を図示した（第70図254～258）。坏はいずれも非ロクロで、底部調整は254がヘラナデ、256が砂底である。257は甕の口縁部～体部で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。258は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデによって調整されている。

BSK－11（第67図）

DW－165グリッドで検出した。SD－98、100と重複している。SD－98、100が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は方形を呈していると考えられ、規模は長軸89×短軸78×深さ25㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められる。底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、小甕２点、須恵器甕１点を図示した（第70図259～262）。259は坏の口縁部～体部で、内外面ともにロクロ調整が施されている。260は小甕の体部で、内面には把手が剥落した痕跡が認められる。内外面ともにヘラナデによって調整されている。261は小甕の口縁部～体部で、体部が若干丸みを帯び、口縁部がやや反る形状を呈している。内外面ともにヘラナデに

よって調整されている。262は須恵器甕の体部で外面タタキ成形、内面ナデによって調整されている。

BSK－12（第67図）

DP－167グリッドで検出した。BSP－77と重複している。本遺構がBSP－77を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は不整方形を呈していると考えられ、規模は長軸49×短軸41×深さ30㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－13（第67図）

EB－164グリッドで検出した。BSK－21、SD－82、BSP－89と重複している。本遺構がBSK－21、SD－82、BSP－89の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸90×短軸57×深さ36㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－14（第67図）

EC・ED－164グリッドで検出した。SD－81と重複している。本遺構がSD－81を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は不整円形を呈していると考えられ、規模は長軸45×短軸44×深さ58㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はやや傾斜をもつ。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－15（第67図）

EB－164グリッドで検出した。BSK－13、SD－82と重複している。本遺構がSD－82を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSK－13が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸155×短軸81×深さ44㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒色土、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－16（第68図）

EE－164グリッドで検出した。SD－77、80と重複している。SD－77、80が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、不整方形を呈していると考えられ、規模は長軸97×短軸84×深さ15㎝を測る。壁は緩やかな傾斜をもって立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－17（第68図）

ED－164グリッドで検出した。BSK－18、SD－80と重複している。BSK－18が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。本遺構がSD－80の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だ

が、平面形は長方形を呈していると考えられ、規模は長軸85×短軸59×深さ23㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－18（第68図）

ED－164グリッドで検出した。BSK－17と重複している。本遺構がBSK－17を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整円形を呈しており、規模は長軸68×短軸63×深さ27㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－19（第68図）

EB－164グリッドで検出した。SD－83と重複しているが、新旧関係は不明である。平面形は円形を呈しており、規模は長軸57×短軸56×深さ10㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－20（第68図）

EF－163グリッドで検出した。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸81×短軸53×深さ７㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－21（第68図）

EB－164グリッドで検出した。BSK－13、22、BSP－89と重複している。本遺構がBSK－22を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSK－13、BSP－89が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複により全体形は不明だが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸82×短軸58×深さ22㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSK－22（第68図）

EB－164グリッドで検出した。BSK－13、21、24、BSP－89と重複している。本遺構がBSK－24を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSK－13、21、BSP－89が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整円形を呈していると考えられ、規模は長軸93×短軸44×深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－23（第66図）

EF－164グリッドで検出した。BSP－108と重複している。本遺構がBSP－108を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸82×短軸21

×深さ40㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSK－24（第68図）

EB－164グリッドで検出した。全体形は不明であるが、平面形は円形で、規模は長軸64×短軸38×深さ27㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は８層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－25（第69図）

DW－169グリッドで検出した。BSP－137、168と重複している。本遺構がBSP－168を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－137が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整方形を呈しており、規模は長軸99×短軸61×深さ13㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積している。１層から焼土、２層から炭化物が層状に確認できた。埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点を図示した（第70図263）。263は体部～底部で、内外面ともにロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。底径がやや大きめの資料である。

BSK－26（第69図）

EO－165グリッドで検出した。BSP－153と重複している。本遺構がBSP－153を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、不整円形を呈していると考えられ、規模は長軸53×短軸15×深さ26㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－27（第69図）

EO－165グリッドで検出した。SD－47、BSP－157と重複している。本遺構がSD－47を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－157が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸55×短軸28×深さ８㎝を測る。壁は緩やかな傾斜で立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－29（第69図）

EP－165グリッドで検出した。SD－46と重複している。SD－46が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸121×短軸60×深さ13㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや傾斜が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土や黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSK－30（第69図）

EN－165・166グリッドで検出した。BSE－04と重複している。BSE－04が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は隅丸方形を呈していると考えられ、規模は長軸112×短軸89×深さ14㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は段を有する。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－31（第69図）

EM－166グリッドで検出した。SD－48と重複している。SD－48が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈しており、規模は長軸117×短軸91×深さ15㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は3層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

BSK－32（第69図）

DX－169グリッドで検出した。BSX－01と重複している。BSX－01が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸77×短軸60×深さ7㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面から２基のピットを検出した。Pit1は楕円形、Pit2は円形を呈し、規模はPit1＝長軸27×短軸21×深さ14㎝、Pit2＝長軸24×短軸19×深さ９㎝を測る。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

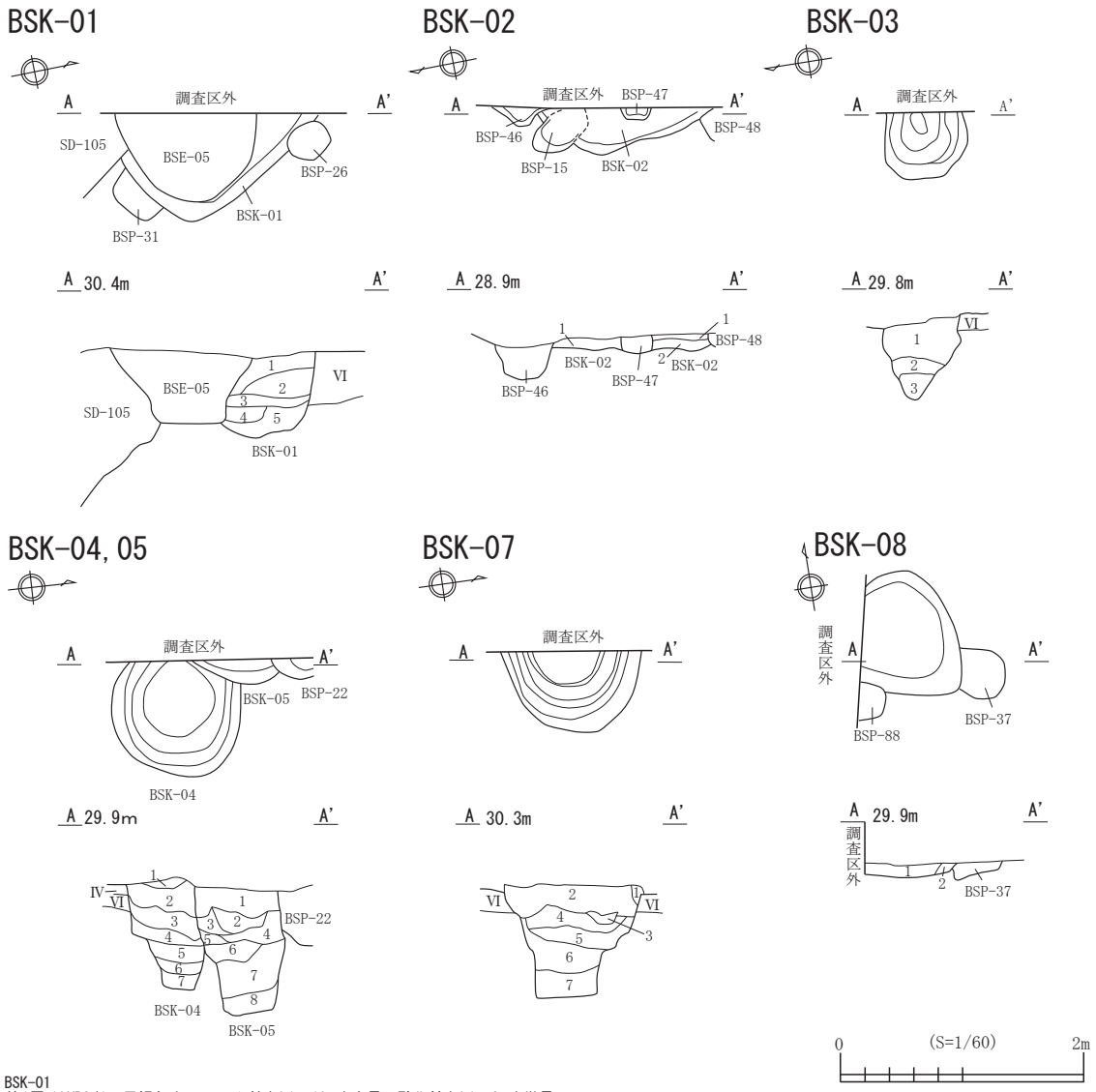
３．溝跡

SD－46（第71図）

EO・EP－165グリッドで検出した。BSK－29、SD－05と重複している。本遺構がBSK―29、SD－05を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、延長208㎝、幅81㎝、深さ37㎝を測る。壁は丸みを帯びるように立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒褐色を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、甕４点、須恵器甕１点（第79図264～269）、鉄関連遺物２点（第91図鉄６・７）を図示した。264は非ロクロ坏の体部～底部で、内外面ともにナデによって調整されており、底部は網代痕である。内面には油痕が認められる。265は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部はくの字状を呈する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。266は甕の口縁部～底部で体部上半は直線的で、口縁部が外反する形状を呈する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。267は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部はくの字状を呈する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。268は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が外反する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。269は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデによって調整されている。第91図鉄６は鉄鍋の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部がやや外反する形状である。鉄７は環状を呈する鉄製品で、締金具と考えられる。

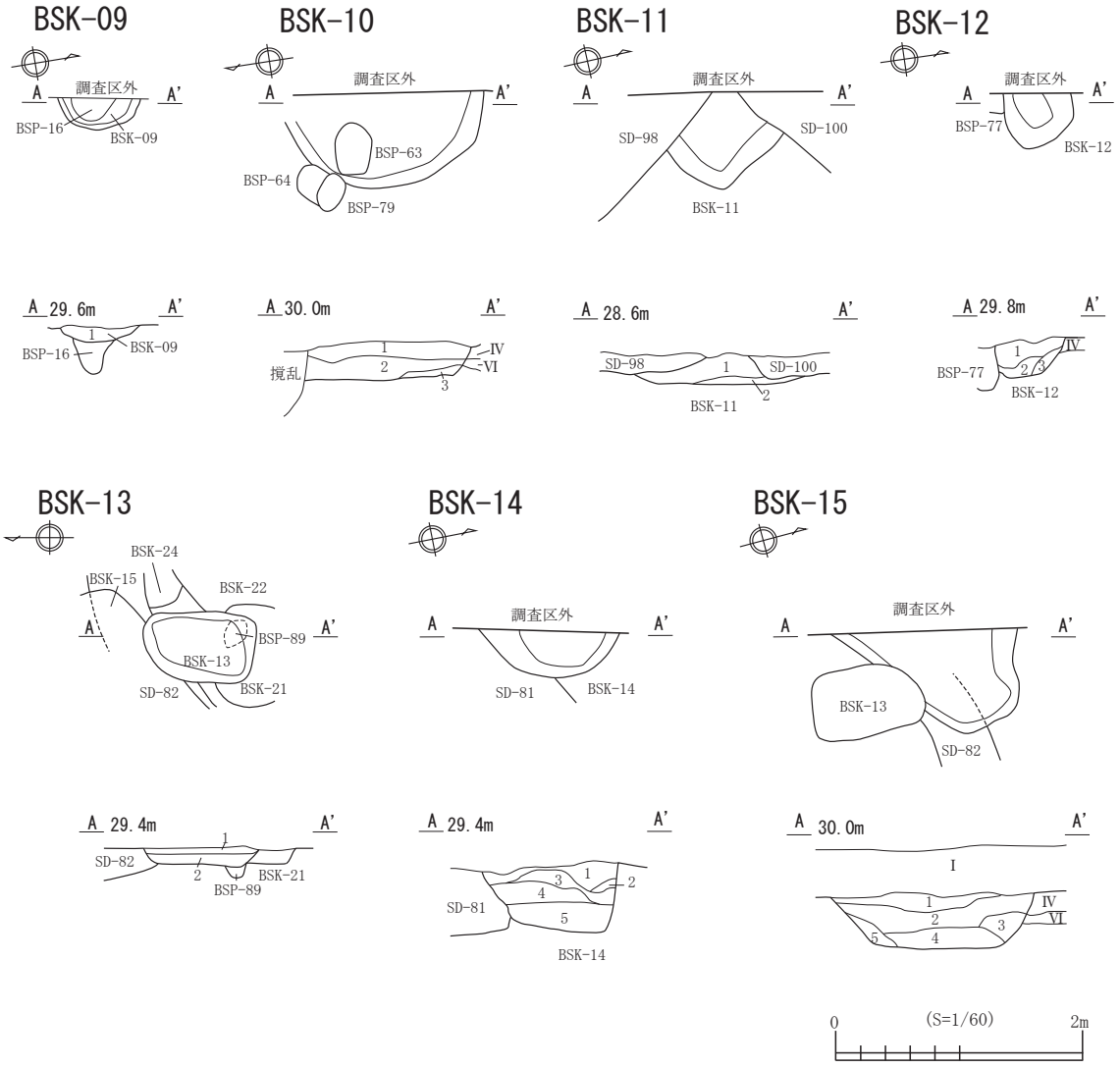
SD－47（第71図）

EO－165グリッドで検出した。BSK－27、BSP－155、166と重複している。BSK－27、BSP－155、166が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、延長116㎝、幅38㎝、深さ９㎝を



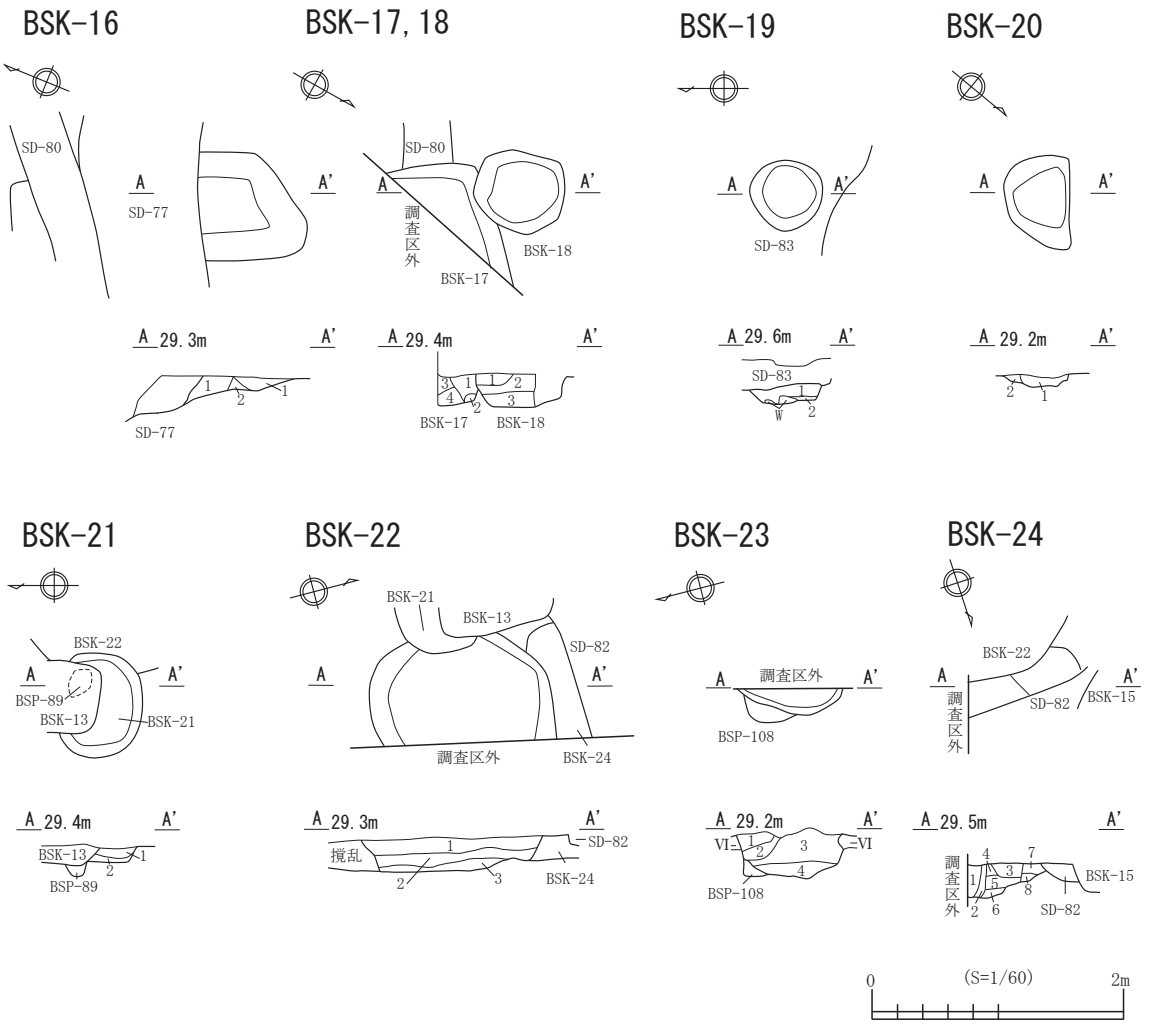
BSK-01
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ15～20mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第5層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
BSK-02
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、ロームブロック(φ10～80mm)多量、炭化物ブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
BSK-03
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層 10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
BSK-04
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第3層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量
第5層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第6層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～11mm)中量
第7層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
BSK-05
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)微量、焼土粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、炭化物ブロック(φ15mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第5層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第6層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、炭化物ブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第7層 10YR1.7/1黒色土と10YR5/3にぶい黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第8層 10YR3/3　暗褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
BSK-07
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第5層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第6層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第7層 10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)微量
BSK-08
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、炭化物ブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層 10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

第66図　川原館遺跡Ｂ区SK（１）



BSK-09
第1層 10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量
BSK-10
第1層 10YR1.7/1黒色土　　ローム粒(φ5～10mm)多量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量、酸化鉄粒(φ5～10mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ5～10mm)多量、酸化鉄粒(φ5～10mm)微量
第3層 10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
BSK-11
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、ロームブロック(φ12～15mm)中量
第2層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)多量
BSK-12
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)中量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)中量
第3層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
BSK-13
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
BSK-14
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、焼土粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第5層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、焼土粒(φ8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
BSK-15
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第5層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第67図　川原館遺跡Ｂ区SK（２）



BSK-16
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層

BSK-17
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第4層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSK-18
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ5～30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第3層 10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量

BSK-19
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～30mm)少量
第2層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～6mm)微量、焼土粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSK-20
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

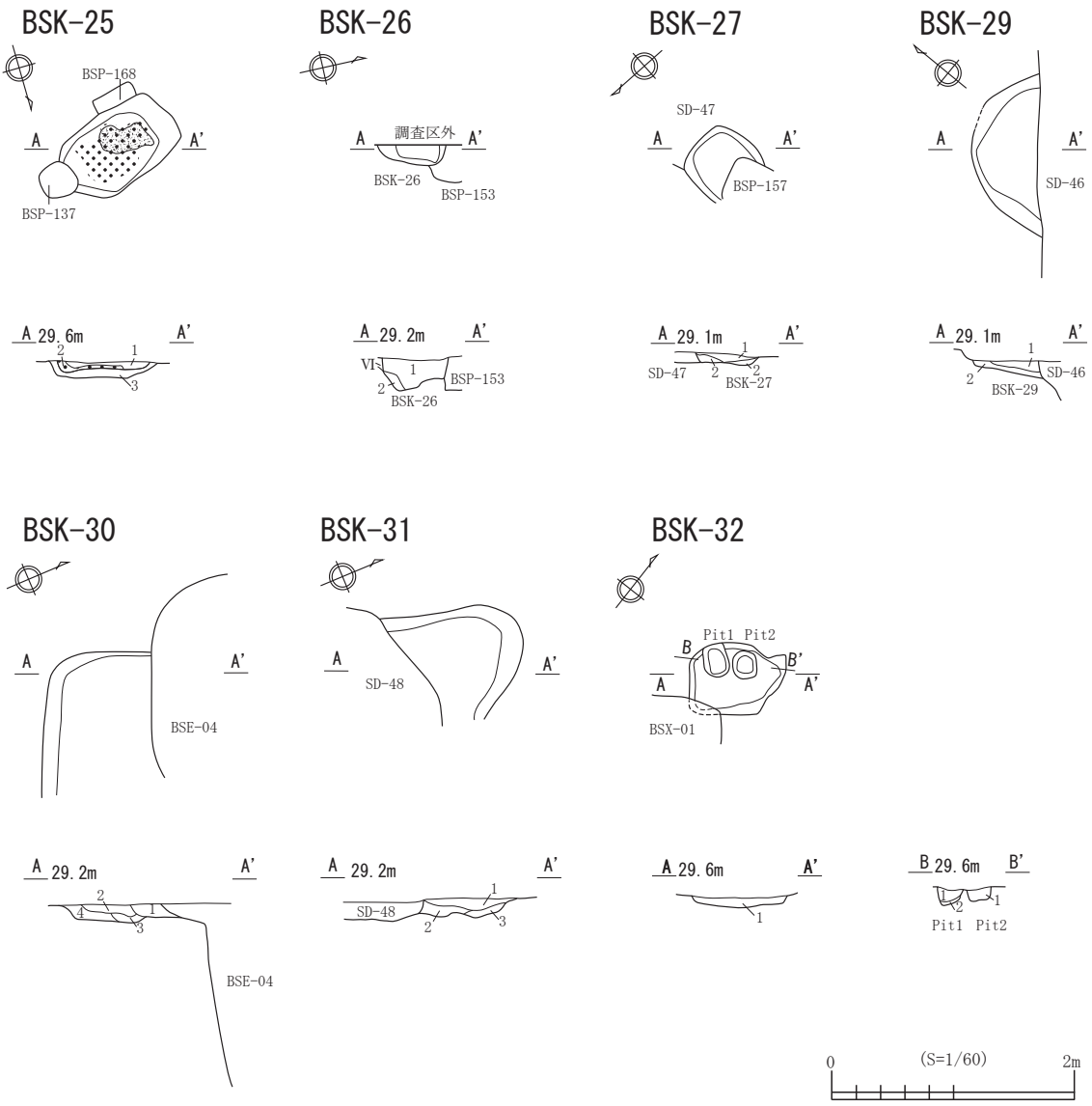
BSK-21
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層

BSK-22
第1層 10YR2/2　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(20～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(20～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量

BSK-23
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第4層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

BSK-24
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量
第3層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
第4層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)多量.
第5層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒ブロック(φ10～30mm)中量
第6層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第7層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第8層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

第68図　川原館遺跡Ｂ区SK（３）



BSK-25
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、焼土(7.5YR4/4褐色土)層状に中量混入
第2層 10YR1.7/1　黒色土　炭化物層
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量

BSK-26
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量、礫(φ1～8mm)少量

BSK-27
第1層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSK-29
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量

BSK-30
第1層 10YR2/3　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1　黒褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量
第4層 10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

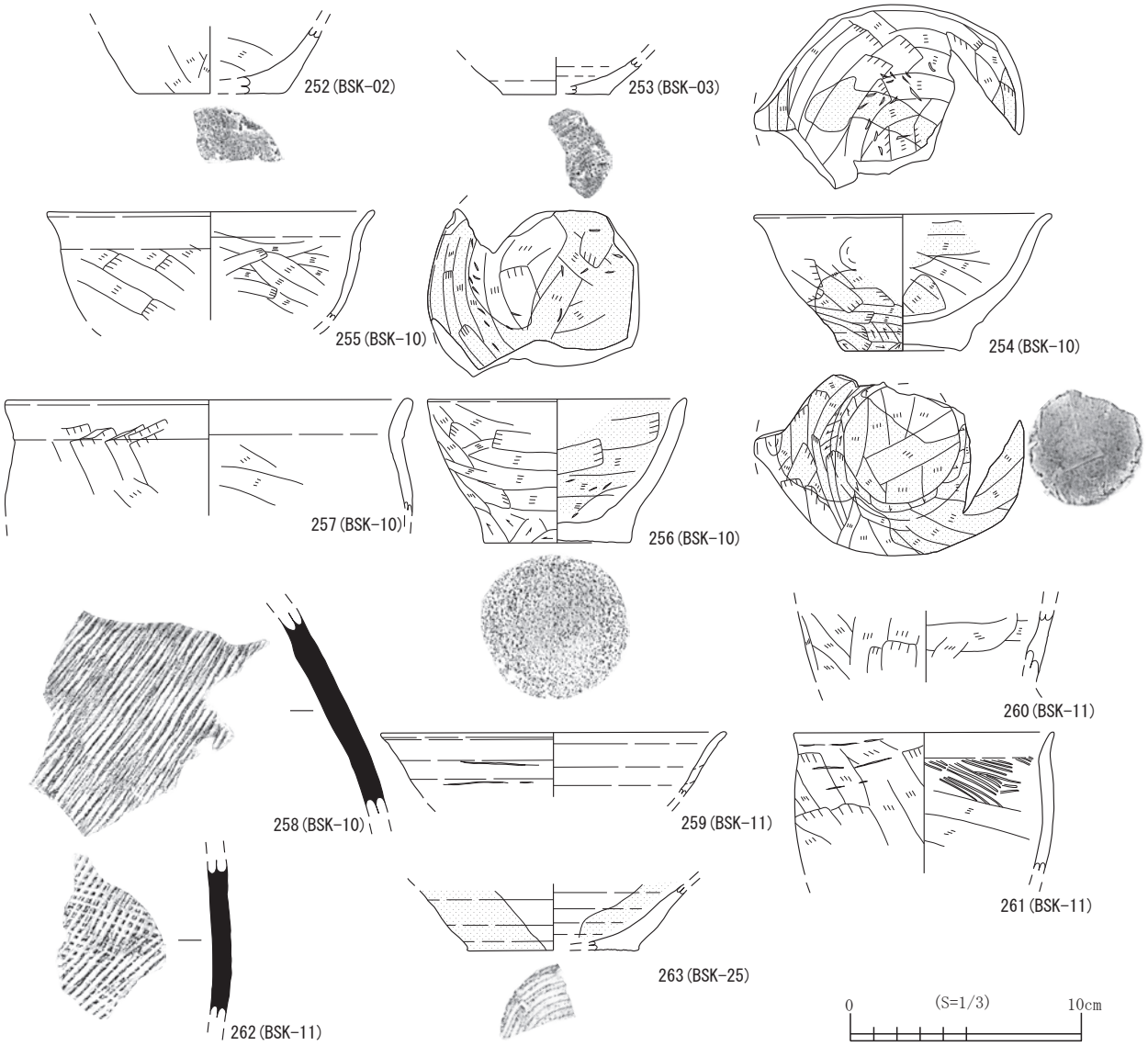
BSK-31
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR3/3　暗褐色土と10YR6/3にぶい黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/3　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量

BSK-32
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSK-32内Pit1
第1層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄粒(φ1～9mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)多量

BSK-32内Pit2
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

第69図　川原館遺跡Ｂ区SK（４）



第70図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SK

測る。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－48（第71図）

EM、EN－165・166グリッドで検出した。BSK－31、SD－49、BSE－04と重複している。本遺構がBSK－31を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－49、BSE－04が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈していると考えられ、延長117㎝、幅89㎝、深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒色、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－49（第71図）

EN－166グリッドで検出した。SD－48、BSE－04と重複している。本遺構がSD－48を掘り込んで

おり、本遺構が新しい。BSE－04が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、延長56㎝、幅26㎝、深さ13㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－50（第71図）

EM－166グリッドで検出した。直線状を呈し、延長190㎝、幅43㎝、深さ26㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と段をもって立ち上がる部分が認められ、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－51（第71図）

EM－166グリッドで検出した。BSP－161と重複している。本遺構がBSP－161を掘り込んでおり、本遺構が新しい。弧状を呈し、延長94㎝、幅78㎝、深さ48㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と段をもって立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は10層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第79図270）を図示した。270は口縁部～底部で、内外面ロクロ調整が施されており、底部は静止糸切である。

SD－52（第71図）

EL－166グリッドで検出した。Ｂ・Ｄ区へと跨っており、Ｂ区でBSP－162、Ｄ区でSD－55、DSP－352と重複している。本遺構がSD－55を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－352が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。BSP－162との新旧関係は不明である。北側へやや蛇行しており、延長163㎝、幅128㎝、深さ46㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面は中央付近がやや丸みを帯びる。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点（第79図271）を図示した。271は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデによって調整されている。

SD－53（第71図）

EK・EL－166グリッドで検出した。SD－54、BSP－130と重複している。SD－54、BSP－130が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。西側が蛇行しており、延長214㎝、幅68㎝、深さ22㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。堆積土は３層に分層した。黒褐色を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－54（第71図）

EK・EL－166グリッドで検出した。SD－53、55と重複している。本遺構がSD－53、55を掘り込んでおり、本遺構が新しい。南北方向へほぼ直線的に延びており、延長439㎝、幅75㎝、深さ６㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－55（第71図）

EK・EL－166グリッドで検出した。B区でSD－54、D区でSD－52、DSP－373と重複している。本遺構がDSP－373を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－52、54が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。Ｂ区・Ｄ区へとほぼ直線状に延びており、延長164㎝、幅67㎝、深さ36㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。底面からピット２基を確認した。Pit1、2は不整形を呈し、規模はPit1＝45×40×８㎝、Pit2＝18×12×15㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－57（第72図）

EH～EP－155～166グリッドで検出した。Ｂ区、Ｃ区、Ｄ区、Ｆ区に至る大溝で、Ｂ区でSD－60・61、BSP－116・117、BSP－120～123、Ｃ区でCSK－03、07、SD－58、Ｄ区でDSI－01、SD－06、56、65、DSN－04、DSP－291、359、Ｆ区でSD－10、18、20、FSP－87～90と重複している。SD－60・61、BSP－116・117、BSP－120～123、CSK－03、07、SD－58、DSN－04、DSP－291、359、FSP－87～90が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。その他の遺構の新旧関係については本遺構が新しい。Ｄ区西側、Ｃ区でやや蛇行しており、規模は延長49.1ｍ、上端の最大幅はＢ区で6.9ｍ、最小幅はＦ区で4.6ｍ、下端の最大幅はＤ区で4.9ｍ、最小幅はＦ区で3.6ｍ、深さはＤ区で158㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦な箱堀状を呈する。Ｄ区において南東壁でPit1・2、北西壁でPit3・4と概ね対になるように４基のピットを確認した。各ピットの規模はPit1＝60×30×42㎝、Pit2＝80×20×42㎝、Pit3＝80×20×24㎝、Pit4＝110×60×72㎝を測る。斜めに入り込むような形状であることから、橋脚の柱穴の可能性も考えられる。堆積土はＣ区で14層、Ｄ区で23層に分層した。Ｄ区の下層の14～23層は崩落による自然堆積と考えられ、上層はローム粒、ロームブロックを含んだ黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。土器はＢ区より土師器皿６点、坏６点、甕８点、壺１点、ミニチュア土器２点、須恵器壺１点、甕３点、陶磁器１点、Ｃ区より土師器皿１点、土師器坏７点、甕５点、壺１点、小甕１点、須恵器甕５点、Ｄ区より土師器坏５点、甕８点、壺３点、ミニチュア土器２点、製塩土器１点、須恵器鉢１点、壺３点、甕５点、Ｆ区より須恵器甕１点（第79～83図272～348）、その他Ｂ区より木製品３点（第90図木48～50）、Ｃ区より鉄関連遺物３点（第91図鉄8～10）、D区より木製品３点（第90図木51～53）、石器１点（第91図石８）を図示した。土師器皿は７点のうち、非ロクロ５点（272～276）、ロクロ調整２点（277・278）である。非ロクロ皿の底部調整は、272網代痕、273～275静止糸切、276砂底である。272は底部が柱状高台状を呈し、底部～体部下半にかけて刻書が認められる。277は内面に油痕が認められる。278は内面底部～体部下半にかけて墨痕が認められ、転用硯と考えられる。坏は18点のうち、非ロクロ６点（279～284）、ロクロ調整12点（285～296）である。280は大坏で、内外面ともにナデによって調整されており、外面輪積痕が認められる。282は非ロクロ坏の口縁部～体部で、口縁部には浅いくびれを有する。286は内外面灯明痕が認められる。294・295はロクロ調整の後、294はケズリ、295はヘラナデによって調整されている。非ロクロ坏の底部調整は、279網代痕、280静止糸切、281ヘラナデ、284柾目痕である。甕は21点のうち、口縁部～底部１点、口縁部～体部15点、体部２点、体部～底部２点である。口縁部～体部の資料では、体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反するものが多く、体部がほぼ直線的で口縁部がやや反るもの、体部～口縁部までほぼ直線状のものが認め

られる。317は小甕の体部～底部で、底部から直線状に立ち上がり、体部は内外面ヘラナデによって調整され、底部はヘラナデである。318～322は壺である。318は壺の口縁部～体部で、広口壺状を呈する。体部は丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈し、内外面はナデによって調整されている。319は壺の口縁部～体部で、広口壺状を呈する。体部が強く丸みを帯び、口縁部がやや直線状を呈し、外面ヘラナデ、ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。320は広口壺の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が直線状を呈する。外面ヘラナデ、内面ハケメ、ヘラナデによって調整されており、外面には工具痕が認められる。321は広口壺の口縁部～体部で、体部下半がやや張る形状を呈し、内外面はヘラナデによって調整されている。322は壺の口縁部～体部で、内外面ロクロ調整が施されている。ミニチュア土器は４点のうち非ロクロ２点（324・325）、ロクロ調整２点（326・327）である。324は非ロクロの口縁部～体部で、体部は直線状を呈し、口縁部が緩やかに外反する形状を呈している。内外面ともにナデによって調整されている。325は非ロクロの体部～底部で、底部から直線状に立ち上がり、外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。326はロクロ調整の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや強く外反する形状を呈する。327はロクロ調整の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや外反する形状を呈する。328は製塩土器の体部で、内外面ともにナデによって調整されている。329、332～337、339～343、346、349は須恵器甕、330、338、344、347は須恵器壺、345は鉢である。木製品は木48・49、52が用途不明の板材、木50は曲物底板、51は曲物側板、木53は下駄である。木48・49、52は貫通孔が認められる。木50は表面に特に刃痕が認められ、俎板として転用されたものと考えられる。木53は露卯下駄である。石８は砥石である。鉄８・９は小塊状の鍛冶滓、10は釘である。

SD－60（第73図）

EK・EL－162グリッドで検出した。SD－57、BSP－120と重複している。本遺構がSD－57を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP―120との新旧関係は不明である。緩やかに蛇行しており、延長158㎝、幅17㎝、深さ18㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－61（第73図）

EK－162・163グリッドで検出した。SD－57と重複している。本遺構がSD－57を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、延長220㎝、幅105㎝、深さ55㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は11層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点（第83図349）を図示した。349は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが施されている。

SD－62（第73図）

EJ－162・163グリッドで検出した。ほぼ直線状を呈し、延長152㎝、幅41㎝、深さ28㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点、須恵器甕１点（第84図350・351）を図示した。350は土師器甕の口縁部～体部で、体部上半はほぼ直線的で口縁部が緩

やかに外反する形状を呈する。口唇部にはヘラによる工具痕が認められる。351は須恵器甕の体部で外面タタキ成形、内面ナデにより調整されている。

SD－63（第73図）

EI・EJ－162・163グリッドで検出した。直線状を呈し、延長224㎝、幅53㎝、深さ26㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は礫石器１点（第91図石９）を図示した。石９は台石の破片で、上面及び側面が破面となっており、下面には煤が付着している。

SD－66（第73図）

EH・EI－163グリッドで検出した。BSI－03と重複している。BSI－03が本遺構の堆積土上にあることから、本遺構が古い。やや蛇行しており、規模は延長171㎝、幅182㎝、深さ29㎝を測る。壁はやや段を持ちながら立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は７層に分層した。黒褐色、黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点、坏６点、甕２点、小甕２点、須恵器壺２点、甕５点、珠洲壺２点を図示した（第84、85図352～371）。357は皿の口縁部～底部で、底部から直線的に開く形状を呈し、内外面ロクロ調整である。坏は６点のうち、非ロクロ３点（352～354）、ロクロ調整３点（355・356、358）である。352は非ロクロ坏の口縁部～体部で、内面には指ナデの際に付着したと考えられる爪痕が認められる。353は非ロクロ坏の口縁部～底部で、底部は砂底である。355は大坏で、ロクロ調整が施されており、内外面に煤が付着している。358は坏の口縁部で、ロクロ調整が施されており、外面には「十」と考えられる墨書が認められる。359は土師器甕の口縁部～体部で、体部上半ほぼ直線的で口縁部がやや外反する形状を呈する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。360は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯びて口縁部に向かってすぼまる形状を呈する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。361は小甕の口縁部～体部で、体部～口縁部までほぼ直線状を呈し、内外面ヘラナデによって調整されている。362は小甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや外反する形状を呈しており、内外面ともにヘラナデによって調整されている。363は須恵器長頸壺の口縁部で、ロクロ調整が施されている。364は須恵器短頸壺の口縁部～体部で、内外面ロクロ調整が施されている。外面口縁部付近には自然釉、肩部にかけて刻書が認められる。365は須恵器甕の口縁部～頸部で、内外面ロクロ調整が施されている。366～369は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面はナデによって調整されている。368は酸化焼成である。370は珠洲壺の体部～底部で、ロクロ調整が施されており、外面はさらにヘラナデ、底部もヘラナデが施されている。371は珠洲焼壺の口縁部～体部で、内外面ロクロナデが施されている。

SD－77（第74図）

ED・EE－164グリッドで検出した。Ｌ字状にＢ区・Ｄ区へと跨っており、Ｄ区では直線状を呈する。Ｂ区ではBSK－16、SD－80、D区ではSD－78、DSP－218と重複している。本遺構がBSK－16を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－78、SD－80、DSP－218が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。規模は延長208㎝、幅96㎝、深さ53㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は８層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為

堆積と考えられる。遺物はＢ区から土師器坏１点、甕２点、小甕２点、須恵器甕４点、Ｄ区より土師器小甕１点、堝１点、須恵器甕４点を図示した（第85図372～386）。372は土師器坏の口縁部～体部で、ロクロ調整が施されている。373は土師器甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈し、くの字状のくびれを有する。外面はヘラナデ、内面はハケメ調整が施されている。374は甕の口縁部～底部で、体部上半はほぼ直線状で、口縁部はやや外反する。内外面ともにヘラナデによって調整されている。375は小甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部には浅いくびれが認められる。外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。376は小甕の体部～底部で外面ヘラケズリ、内面ヘラナデ、底部ヘラナデによって調整されている。377は小甕の口縁部～底部で、底部～体部はやや丸みを帯び、口縁部には浅いくびれが認められる。外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されており、底部は砂底である。378は堝の口縁部～体部で、外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。379は須恵器甕の口縁部～頸部で、内外面ともにロクロ調整が施されている。380～386は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形で、内面はナデによって調整されている。

SD－80（第74図）

ED－164グリッドで検出した。BSK－16・17、SD－77と重複している。本遺構がBSK－16、SD－77を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSK－17が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。ほぼ直線状を呈し、規模は延長222㎝、幅42㎝、深さ49㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－81（第74図）

ED－164グリッドで検出した。BSK－14、BSP－104・105と重複している。BSK－14、BSP－104・105が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長224㎝、幅76㎝、深さ57㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は７層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点（第86図387）を図示した。387は土師器皿の口縁部～体部で、ロクロ調整が施されている。

SD－82（第75図）

EB－164グリッドで検出した。BSK－13、15、24と重複している。本遺構がBSK－24の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSK－13、15が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長120㎝、幅44㎝、深さ35㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。遺物は土師器甕１点（第86図388）を図示した。388は甕の口縁部～体部で、体部上半～口縁部まで直線的で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。

SD－83（第75図）

EB－164・165グリッドで検出した。BSK－19と重複している。本遺構がBSK－19を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、規模は延長161㎝、幅141㎝、深さ24㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆

積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－86（第75図）

EA－164・165、EB－164～166、EC－165・166グリッドで検出した。B・D区に跨っており、D区でSD－84、87、91、DSP－281・282と重複している。SD－87、91、DSP－281・282が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－84との新旧関係は不明である。直線状に延びており、規模は延長943㎝、幅238㎝、深さ41㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は一部窪む部分を除いてほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、土師器甕２点、小甕１点、須恵器甕２点を図示した（第86図389～394）。389は土師器坏の口縁部～体部で、内外面ロクロ調整が施されており、外面は更にヘラナデが認められる。390は甕の口縁部～体部で、体部上半はほぼ直線的で口縁部には浅いくびれが認められる。内外面はヘラナデによって調整されている。391は甕の体部～底部で、SD－84との接合資料である。外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整され、底部は柾目痕である。392は小甕の口縁部～底部で、底部～体部まではやや膨らむものの直線的で、口縁部は緩やかに外反する形状を呈する。外面はヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整されており、底部調整は剥落のため不明である。393は須恵器甕の口縁部～頸部で、内外面ロクロ調整が施されている。394は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが施されている。

SD－95（第75図）

DZ－164・165、EA－165グリッドで検出した。BSE－01と重複している。BSE－01が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、延長196㎝、幅116㎝、深さ66㎝を測る。壁は段を持ちながら立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－96（第757図）

DY・DZ－165グリッドで検出した。BSP－85、BSP－90と重複している。BSP－85、90が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。ほぼ直線状を呈し、延長207㎝、幅22㎝、深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－98（第76図）

DW・DX－165、DY－166グリッドで検出した。BSK－11、BSP－44・45、112、156、167、180と重複している。BSP－44・45、112、156、167、180が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。本遺構がBSK－11の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、延長612㎝、幅124㎝、深さ28㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。底面よりピット１基を確認した。平面形は楕円形で、規模はPit1＝13×９×19㎝を測る。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、擦文土器１点、須恵器壺１点、甕１点（第86図395～

398）を図示した。395は非ロクロの坏の口縁部～体部で、内外面ともにヘラナデによって調整されている。396は擦文土器甕の口縁部で、横走沈線文に斜位の沈線が施されており、口唇には刺突列が認められる。397は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが認められる。酸化焼成である。398は須恵器長頸壺の頸部～肩部で、内外面ロクロ調整が施されており、頸部と肩部の境にはリング状凸帯が認められる。

SD－99（第76図）

DW－165、DX－165・166、DY－166・167グリッドで検出した。B、G区へと跨っており、B区でSD－100、G区でGSK－18と重複している。SD－100が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。GSK－18との新旧関係は不明である。B区、G区へと直線状に延びており、延長913㎝、幅71㎝、深さ42㎝を測る。壁は段を持って立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、小甕１点、須恵器甕２点（第86図399～402）、礫石器１点（第91図石10）を図示した。399は土師器坏の口縁～体部で、内外面ロクロ調整が施されている。400は小甕の口縁部～体部で、内外面ヘラナデによって調整されている。401・402は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデが施されている。石10は凹石で、表面及び裏面の中心部がくぼんでおり、上端には敲打痕が認められる。

SD－100（第76図）

DW－165・166、DV－166～168グリッドで検出した。B、G区へと跨っており、B区でBSK－11、SD－99、101、G区でSD－105、109、111と重複している。SD－101が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。本遺構がBSK－11、SD－99、105、109、111の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。やや蛇行しながら延びており、延長634㎝、幅187㎝、深さ51㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面ほぼ平坦である。堆積土はB区で４層、G区で６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物はB区から土師器皿１点、坏２点、須恵器甕１点、G区から土師器坏２点、小甕１点、須恵器甕１点（第86図403～410）、土製品１点（第91図土19）を図示した。403は皿の口縁部～底部で、内外面ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。坏は４点のうち、非ロクロ３点（404～406）、ロクロ調整１点（407）である。406は非ロクロ坏の口縁部～底部で、外面ヘラナデ、ヘラケズリ、内面ナデによって調整されており、底部は柾目痕である。外面体部～底部にかけて刻書が認められる。407は坏の体部～底部で、ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。408は小甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部には浅いくの字状のくびれを有する。外面はヘラナデ、ヘラケズリ、内面はハケメが施されている。409は須恵器甕の頸部～肩部、410は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが施されている。土19は焼成粘土塊である。

SD－101（第76図）

DV・DW－165・166グリッドで検出した。SD－100と重複している。本遺構がSD－100を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、延長237㎝、幅124㎝、深さ54㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－102（第76図）

DV－166グリッドで検出した。蛇行しながら延びており、延長146㎝、幅38㎝、深さ13㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等の人為堆積と考えられる。

SD－103（第76図）

DV－165・166グリッドで検出した。SD－104、BSP－38と重複している。本遺構がSD－104を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－38が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、延長182㎝、幅46㎝、深さ13㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－104（第76図）

DV－165・166グリッドで検出した。SD－103、BSP－39と重複している。SD－103が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。本遺構がBSP－39を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、延長174㎝、幅94㎝、深さ13㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－105（第76・77図）

DT～DX－166～168グリッドで検出した。Ｂ・Ｇ区へと跨っており、Ｂ区でBSK－01、BSE－05、BSP－09～12、Ｇ区でGSK－21、SD－100、106、111、113、GSP－121・122、251、388と重複している。BSE－05、BSP－09、12、GSK－21、SD－100、111、113が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。BSK－01、SD－106、GSP－121・122、251、388を本遺構が掘り込んでおり、本遺構が新しい。比較的大きめな溝で直線状を呈し、延長18.87m、上端幅219㎝、下端幅44㎝、深さ134㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦で、断面形はＶ字形を呈する。堆積土はＢ区で17層、Ｇ区で６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物はＢ区から土師器皿２点、坏４点、甕２点、小甕３点、須恵器壺１点、甕２点、Ｇ区から土師器皿１点、甕１点、小甕１点、須恵器壺１点、甕２点（第87図411～430）、木製品１点（第90図木54）、鉄関連遺物１点（第91図鉄11）、礫石器１点（第91図石11）を図示した。皿は３点のうち、非ロクロ１点（411）、ロクロ調整２点（412・413）であった。411は外面ヘラケズリによって底部を台状にしている。412は口径に対して器高が小さく、施釉陶器の器形を模している。413は皿の口縁部～体部で、内外面ともにロクロ調整が施され、外面は更にヘラナデが施されている。坏は４点のうち、非ロクロ３点（414～416）、ロクロ調整１点（417）であった。415は非ロクロ坏の体部～底部で、体部上半はナデ、体部下半は縦方向のヘラケズリが施されており、底部は砂底である。416は非ロクロ坏の口縁部付近～体部で、口縁部付近は段が認められ、口唇部に向かって細くなる形状を呈する。417は坏の体部～底部で、底部から体部へと丸みを帯びるように立ち上がっており、小壺の可能性もある。418は甕の口縁部～体部で、体部は丸みを帯び、口縁部が強く外反する形状を呈する。外面はヘラケズリ、ヘラナデ、内面はヘラナデによって調整されている。419は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部はやや外反する形状を呈する。外面はヘラナデ、内面はハケメ、ヘラナ

デによって調整されている。421は小甕の口縁部～体部で、体部から口縁部までほぼ直線状を呈するが、口縁部内面はやや外傾する。422は小甕の口縁部～体部で、体部から口縁部までほぼ直線的で、外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。425は須恵器長頸壺の口縁部～体部で、内外面ロクロ調整が施され、外面口縁部には自然釉が認められる。426は須恵器長頸壺の口縁部で、内外面ロクロ調整が施されている。427は須恵器甕の口縁部で、内外面ロクロ調整が施されている。428～430は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデが施されている。木54は杭と考えられる木製品で、芯持材を使用している。鉄11は不明鉄製品である。右側は柄のようにやや薄く整形されており、左側は厚みがあり、小刀あるいは刀子の未製品と考えられる。石11は磨石で表面及び右側面に磨りが認められる。

SD－115（第77図）

DP－167グリッドで検出した。BSN－02、BSP－77と重複している。本遺構がBSP－77の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSN－02が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、延長183㎝、幅24㎝、深さ18㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はＶ字形を呈する。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－116（第77図）

DN・DO－167グリッドで検出した。ほぼ直線状を呈し、確認できた規模は延長178㎝、幅136㎝、深さ42㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は７層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－117（第78図）

DL～DS－167～170グリッドで検出した。Ｂ区・Ｇ区にわたる大溝で、Ｂ区でSD－120、Ｇ区でGSK－42、SD－110、GSP－254、407と重複している。本遺構がSD－120、SD－110、GSP－254、407を掘り込んでおり、本遺構が新しい。GSK－42が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。Ｇ区では直線状を呈し、Ｂ区でやや西側へ蛇行する。延長22.68m、上端の最大幅は6.1m、最小幅は5.8m、下端の最大幅は3.2m、最少幅は2.8m、深さ193㎝を測る。壁は段をもって立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦で箱堀状を呈する。堆積土は12層に分層した。10～12層は自然堆積、１～９層はローム粒やロームブロックが多量に混入する黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物はＧ区から土師器皿３点、坏４点、甕５点、かわらけ１点、須恵器甕３点（第88図431～446）、木製品１点（第90図木55）、鉄関連遺物１点（第91図鉄12）を図示した。皿は３点のうち、非ロクロ２点（431・432）、ロクロ調整１点（433）であった。431・432は皿の口縁部～底部で、巻上成形で、内外面ナデによって調整されており、底部は静止糸切である。433は土師器皿の口縁部～底部で、内外面ともにロクロ調整が施されており、内面には灯明痕が認められる。坏は４点のうち、非ロクロ２点（434・435）、ロクロ調整２点（436・437）であった。434は非ロクロの小坏で、内外面ナデによって調整されており、底部は静止糸切である。435は坏の口縁部付近～底部で、外面ナデ、ヘラケズリ、内面ナデによって調整されており、底部は木葉痕である。436は坏の体部～底部でロクロ調整の後、内面ヘラミガキによって黒色処理されており、

底部は回転糸切である。437は坏の口縁部で、「十」の刻書が認められる。438は甕の口縁部～体部で、体部～口縁部に緩やかに外傾し、口縁部がやや外反する形状を呈する。内外面ヘラナデによって調整されている。439は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部が外反する。内外面ヘラナデによって調整されている。440は甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線状を呈し、口縁部が外反する形状を呈する。外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。441は甕の口縁部で、ロクロ調整が施されている。442は甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線状を呈し、口縁部が外反する形状を呈している。内外面ヘラナデによって調整されている。443は手づくねかわらけの口縁部～底部で、内外面ナデによって調整されている。444～446は須恵器甕の体部で、外面タタキ、内面ナデが施されている。木55は紡錘車の紡輪と考えられ、中央部に軸を通したと見られる穿孔が認められる。側部には木釘孔があり、柄杓の底板を転用したものと考えられる。鉄12は羽口体部で、外面には沈線により文様が施されている。

SD－120（第78図）

DI－169・170、DJ・DK－168～170、DL－167～169グリッドで検出した。B区・G区にわたる大溝で、B区でSD－117、G区でGSK－43、SD－119、GSP－367、377、402と重複している。SD－117、GSP－377が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。本遺構がSD－119、GSP－367、402の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。GSK－43は本遺構に付属する土坑と考えられる。G区からB区に向かって先細る直線状を呈する。延長15.18m、上端の最大幅5.8m、最小幅4.4m、下端の最大幅2.7m、最小幅1.4m、深さ143㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦で箱堀状を呈する。堆積土は11層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物はB区から土師器坏１点、甕２点、小甕２点、壺１点、須恵器甕３点、G区から土師器小皿１点、皿１点、坏５点、甕４点、小甕１点、須恵器壺１点、甕３点（第89、90図447～471）、鉄関連遺物１点（第91図鉄13）を図示した。447は非ロクロの小皿の口縁部～底部で、内外面ナデにより調整されており、底部は静止糸切である。448は皿の口縁部～底部で、ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。坏は６点のうち、非ロクロ３点（449～451）、ロクロ調整３点（452～454）である。449は非ロクロ坏の口縁部～体部で、内外面ナデにより調整されており、底部は柱状高台である。底部は静止糸切の後、ヘラナデが施されている。450は非ロクロ坏の口縁部～底部で、内外面ナデにより調整されており、底部は柾目痕である。451は非ロクロ坏の口縁部～底部で、内外面ナデにより調整されており、外面は体部下半～底部にかけてヘラナデが施されている。底部は糸切の後、ヘラナデが施されている。452は坏の口縁～底部で、ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。糸切の際に底部に穴があいたためか、補修が認められる。453は坏の口縁～底部で、口径に対して器高があり、木器椀の器形を模していると考えられる。ロクロ調整が施されており、底部は柱状高台で、離し糸切が認められる。454は坏の体部～底部で、ロクロ調整が施されており、内面はヘラミガキによる黒色処理が施されている。455は甕の体部～底部で、外面ヘラケズリ、内面ナデによって調整されており、底部もヘラケズリである。456は甕の口縁部～体部で、体部～口縁部までほぼ直線状を呈し、口縁部内面がやや外傾する。内外面ヘラナデによって調整されている。457は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部がやや外反する。外面ヘラケズリ、ヘラナデ、内面ヘラナデによって調整されている。458は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや外反する。口縁部にはくの字状のくびれ

が認められ、外面ヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されている。459は甕の口縁部～体部で、体部～口縁部まで直線状を呈し、内外面ヘラナデによって調整されている。460は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部がやや外反する。内外面ヘラナデによって調整されている。461は小甕の体部～底部で、体部外面はヘラケズリ、内面ヘラナデによって調整されており、底部は砂底である。462は小甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線状を呈し、体部から口縁部に向かって緩やかに外反する形状を呈する。内外面ヘラナデによって調整されている。463は小甕の体部～底部で、底部からやや丸みを帯びて立ち上がる。体部外面はヘラナデ、ヘラケズリ、内面はヘラナデによって調整されており、底部はナデにより調整されている。464は壺の口縁部～体部で、内外面ヘラナデによって調整されている。465は須恵器長頸壺の口縁部で、内外面ロクロ調整が施されている。466は須恵器甕の口縁部で、ロクロ調整が施されており、頸部にはタタキが認められる。467～471は甕の体部で、外面タタキ、内面ナデが認められる。鉄13は鉄鍋の口縁部～体部で、口縁部が外反する形状を呈する。

４．井戸跡

BSE－01（第92図）

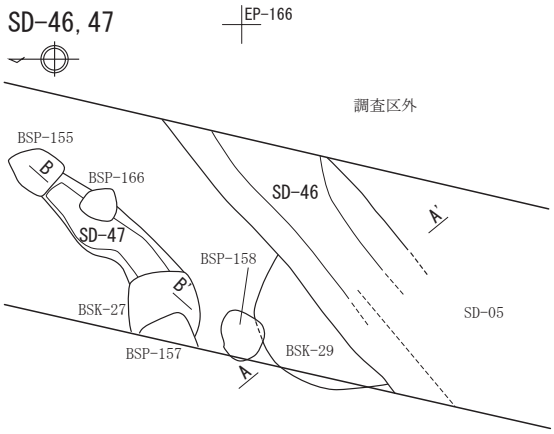
DZ－165グリッドで検出した。SD－95、BSP－90と重複している。本遺構がSD－95、BSP－90を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸118×短軸53×深さ142㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は12層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、下層はローム粒やロームブロックを多量に混入しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられ、上層は自然堆積と考えられる。

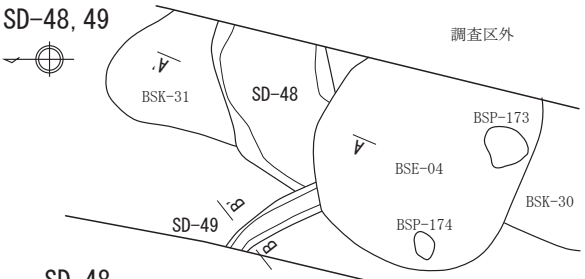
BSE－02（第92図）

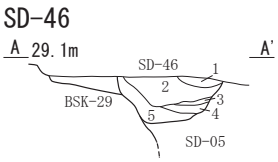
EN・EO－165グリッドで検出した。SD－02、BSP－165と重複している。本遺構がBSP－165を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－02が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は円形を呈しており、規模は長軸105×短軸96×深さ147㎝を測る。壁は底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部付近で外反する。底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落のため、上層の２層のみの確認である。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点（第94図472）、木製品１点（第94図木56）を図示した。472は須恵器甕の体部である。酸化焼成で、外面タタキ、内面ヘラナデが施されている。木56は柄杓のひさごの部分である。曲物で側板は樺皮によって固定されている。底板は手斧による加工痕が認められる。

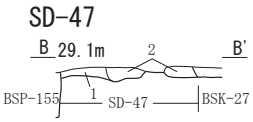
BSE－04（第92図）

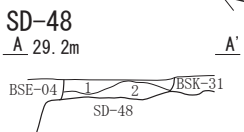
EN－165・166グリッドで検出した。BSK－30、SD－48、BSP－173・174と重複している。本遺構がBSK－30、SD－48の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－173・174は本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整円形を呈し、その周囲には深さ10～15㎝で隅丸方形の井戸に伴うと考えられる浅い落ち込みを確認した。落ち込みの規模は長軸156×短軸154㎝、井戸の規模は長軸101×短軸94×深さ91㎝を測る。壁は底面からほぼ垂直に立ち上がり、開口部付近で外反する。底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落のため確認できなかったが、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点（第94図473）、木製品

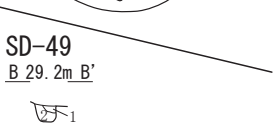










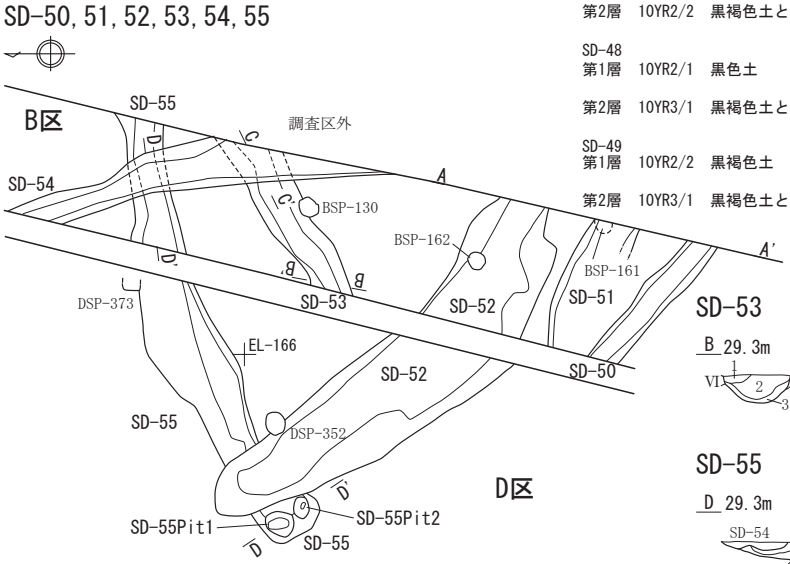


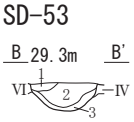
SD-46
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第5層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

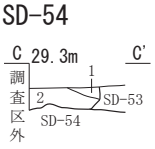
SD-47
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

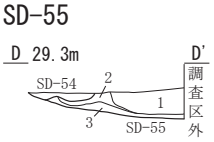
SD-48
第1層　10YR2/1　黒色土　ロームブロック(φ15～20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

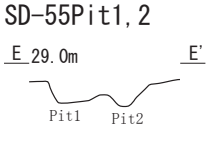
SD-49
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ20mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量

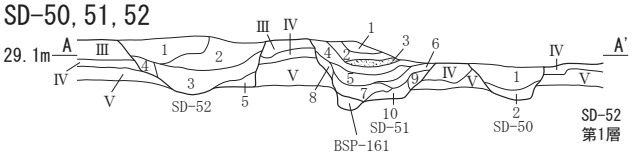


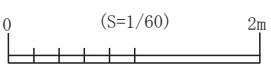


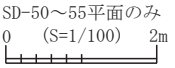












SD-50
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　焼土粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

SD-51
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量
第3層　5YR5/6　明赤褐色土と7.5YR3/1黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～10mm)少量
第4層　7.5YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)中量
第5層　7.5YR2/2　黒褐色土と7.5YR4/2灰褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第7層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第8層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第9層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ50mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第10層　10YR2/1　黒色土と10YR5/4にぶい黄褐色の混合層

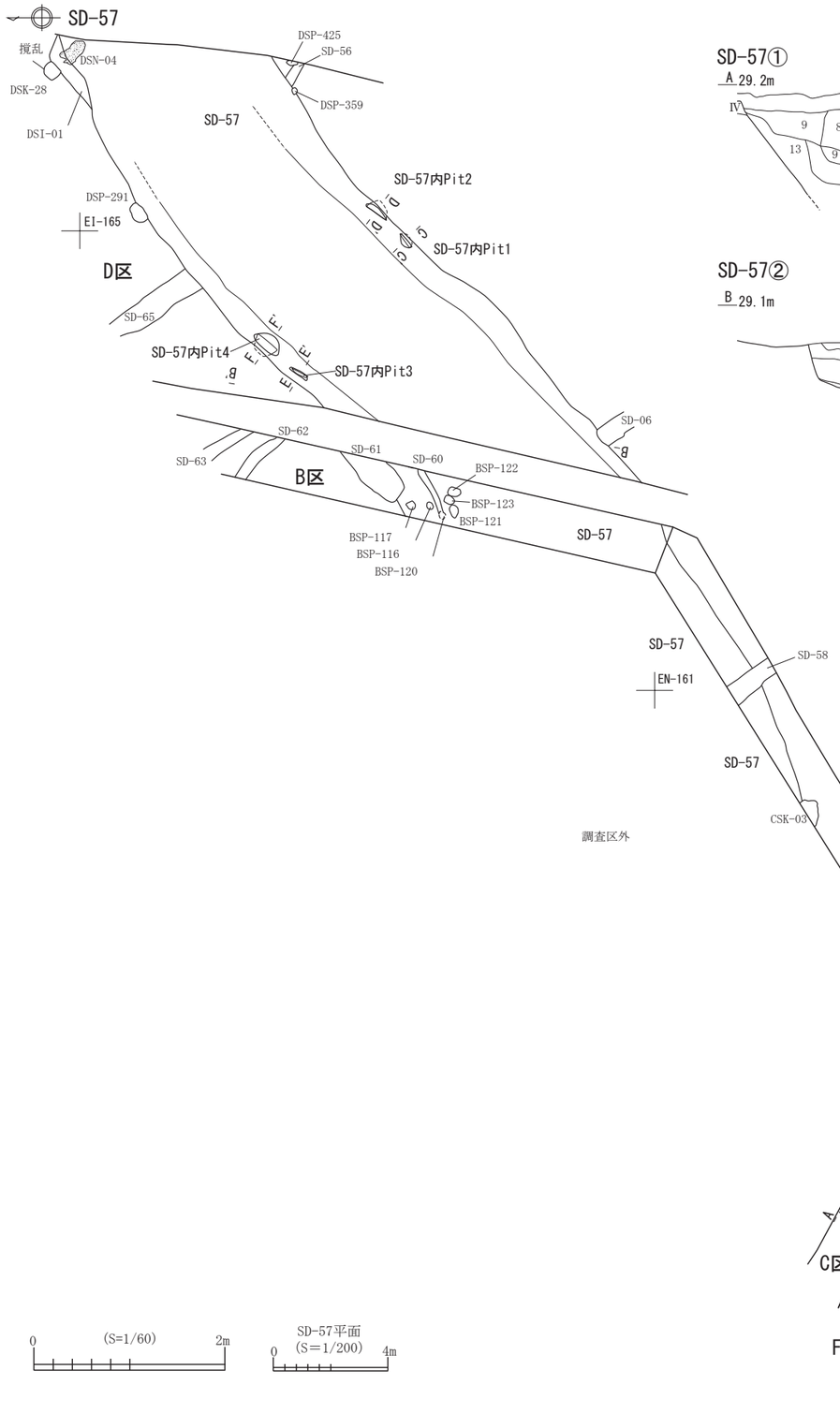
SD-52
第1層　7.5YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ15～35mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～15mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第5層　10YR3/2　黒褐色土

SD-53
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)微量

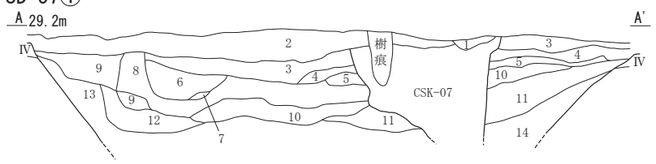
SD-54
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

SD-55
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～35mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

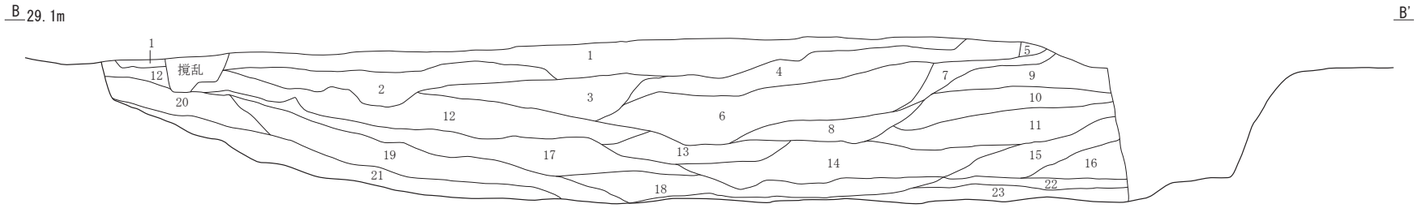
第71図　川原館遺跡Ｂ区SD（１）



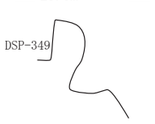
SD-57①



SD-57②

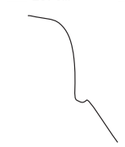


SD-57内Pit1

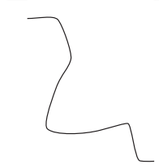


SD-57内Pit2

SD-57内Pit3



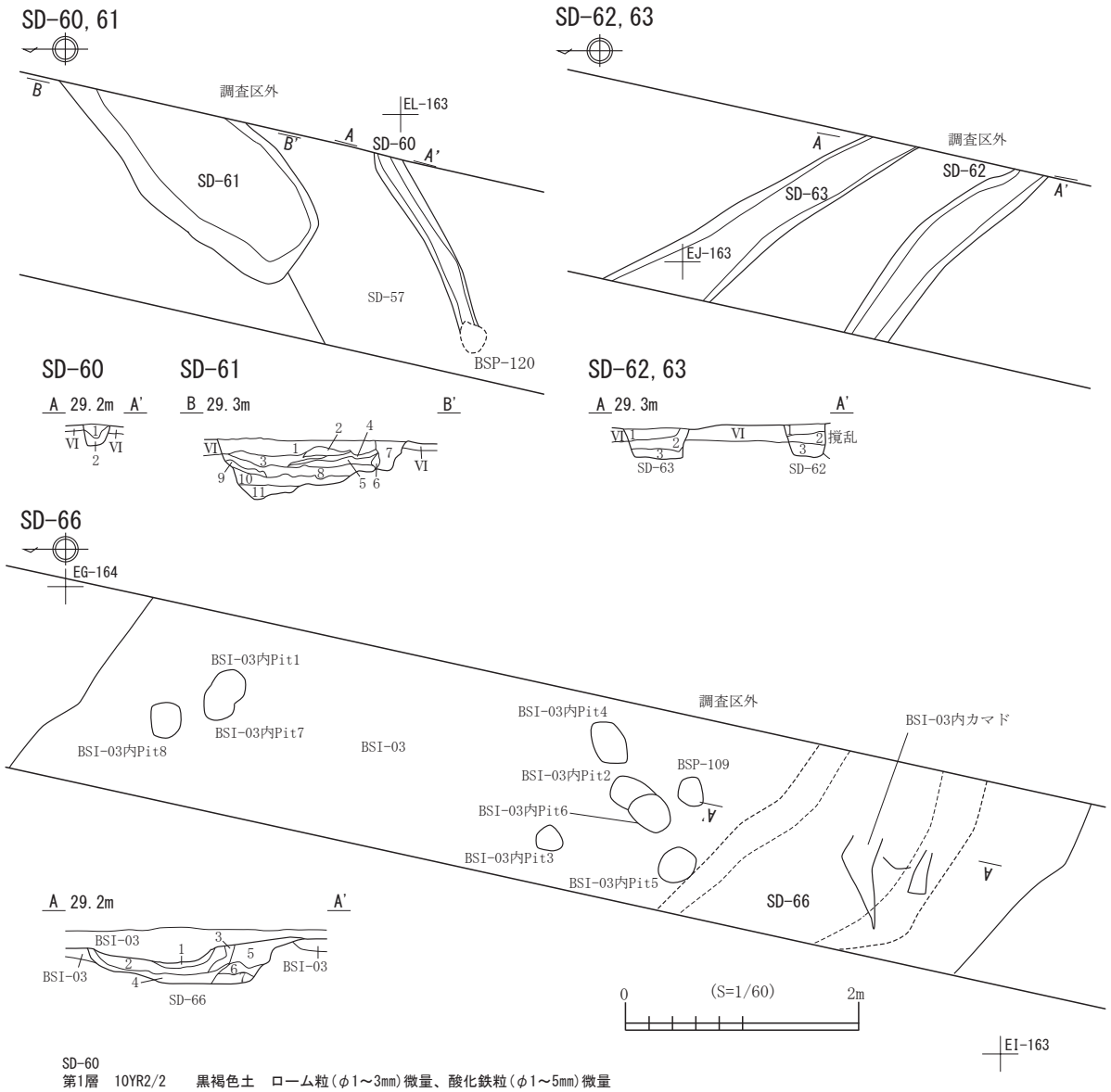
SD-57内Pit4



SD-57①
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ10～15mm)微量、炭化粒(φ1～9mm)微量、炭化物ブロック(φ10～12mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ10～11mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第5層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第6層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第7層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第8層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～40mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第9層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～4mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第10層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第11層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第12層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第13層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第14層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

SD-57②
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～9mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～20mm)中量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～9mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)中量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量、10YR2/1黒色土少量混入
第5層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第6層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～30mm)中量
第7層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第8層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第9層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第10層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第11層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第12層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第13層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第14層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第15層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第16層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第17層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第18層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第19層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第20層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/2灰黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第21層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ30mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第22層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～11mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第23層　10YR5/1　褐灰色土　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

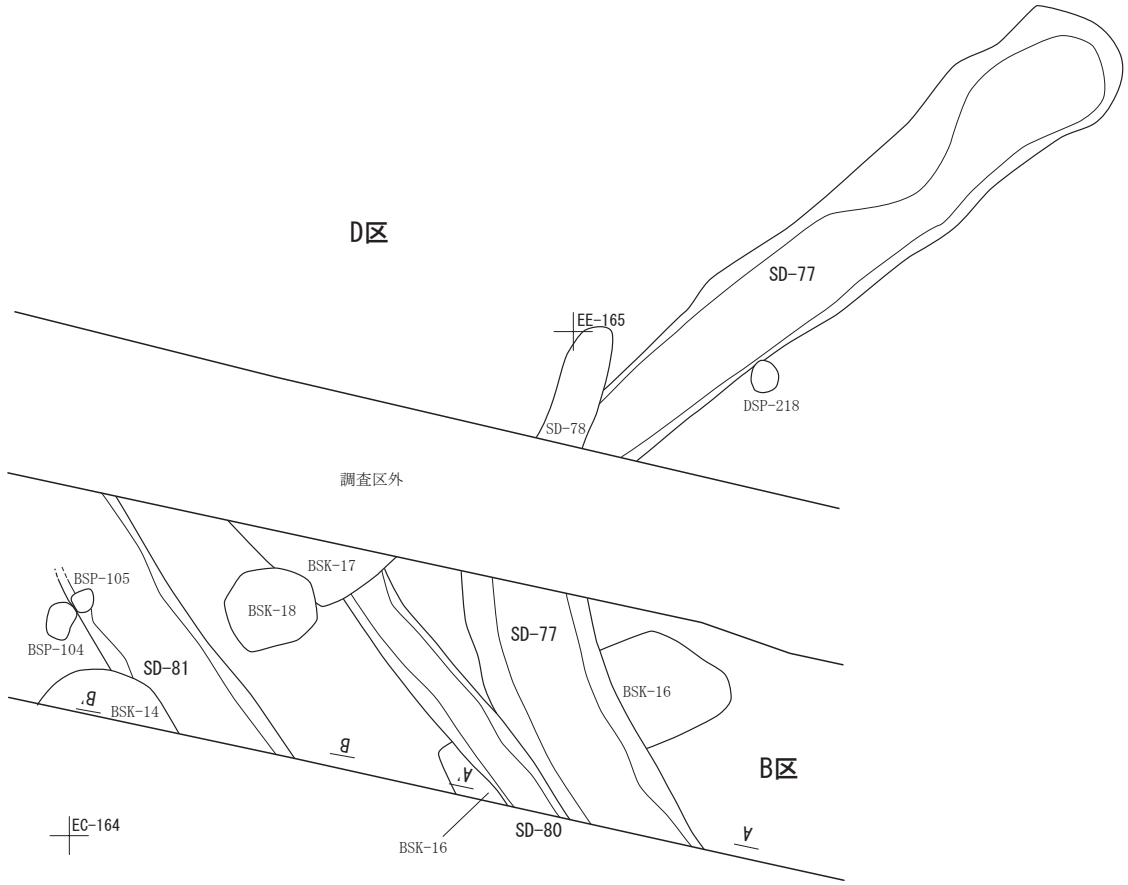
第72図　川原館遺跡Ｂ区SD（２）



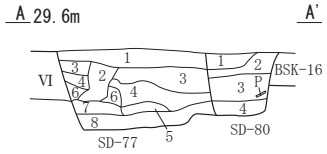
SD-60
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
SD-61
第1層　10YR1.7/1　黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR2/3黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～25mm)多量、焼土粒(φ1～10mm)多量
第5層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量
第6層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第7層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第8層　10YR1.7/1　黒色土と10YR3/1黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～70mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～9mm)中量、
焼土ブロック(φ10～80mm)中量、酸化鉄粒(φ1～30mm)微量
第9層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)微量
第10層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第11層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
SD-62
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
SD-63
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
SD-66
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR3/1黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～15mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量、砂少量混入
第3層　10YR3/1　黒褐色土　焼土(7.5YR4/3)褐色土層状に混入　ローム粒(φ1～3mm)少量、ローム帯状に左側に混入、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)小量、焼土粒(φ1～3mm)微量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)小量、焼土粒(φ1～9mm)微量
第6層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第7層　10YR2/1　黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1mm)微量

第73図　川原館遺跡Ｂ区SD（３）

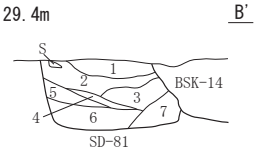
SD-77,80,81

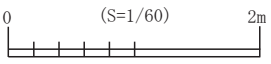


SD-77,80



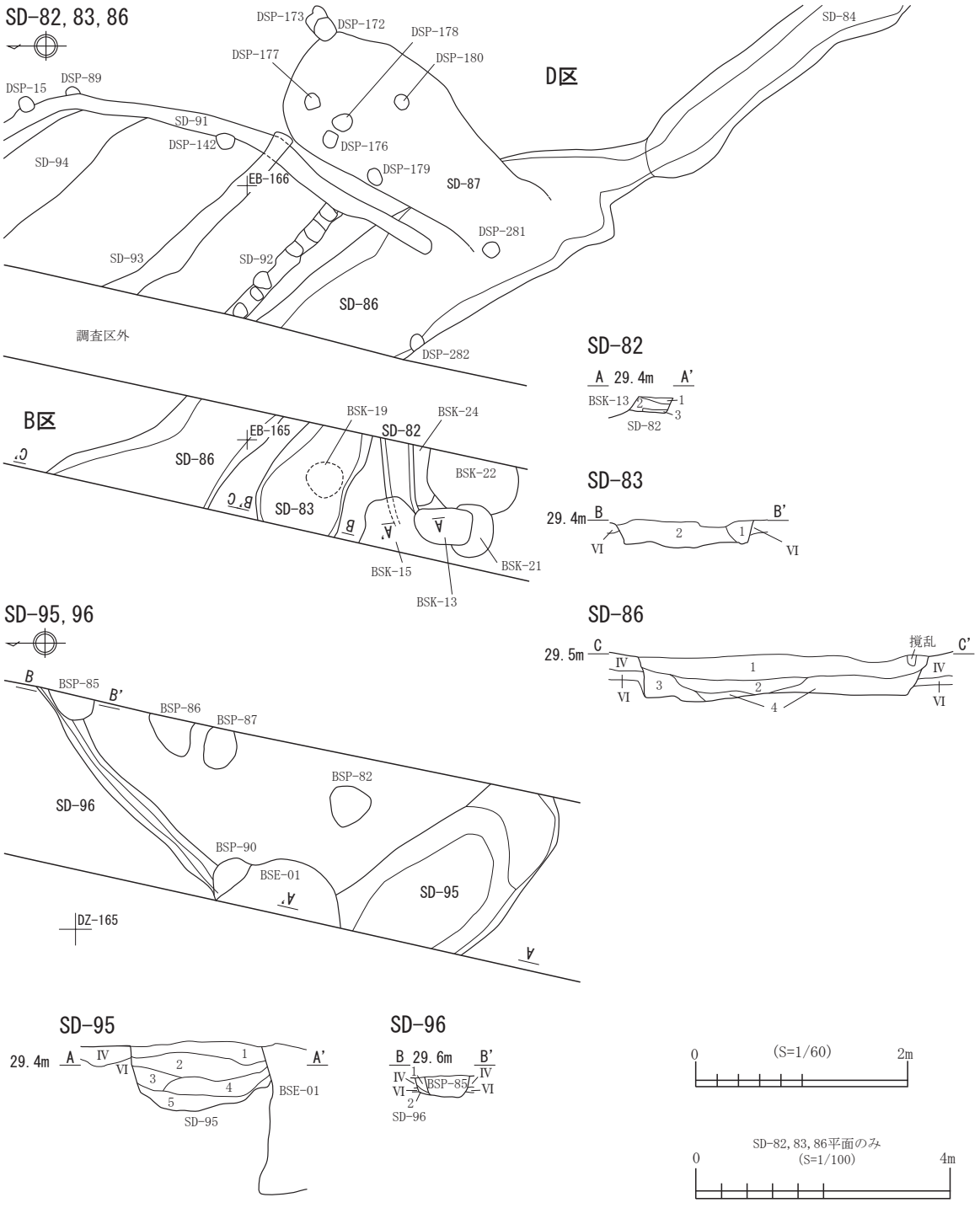
SD-81





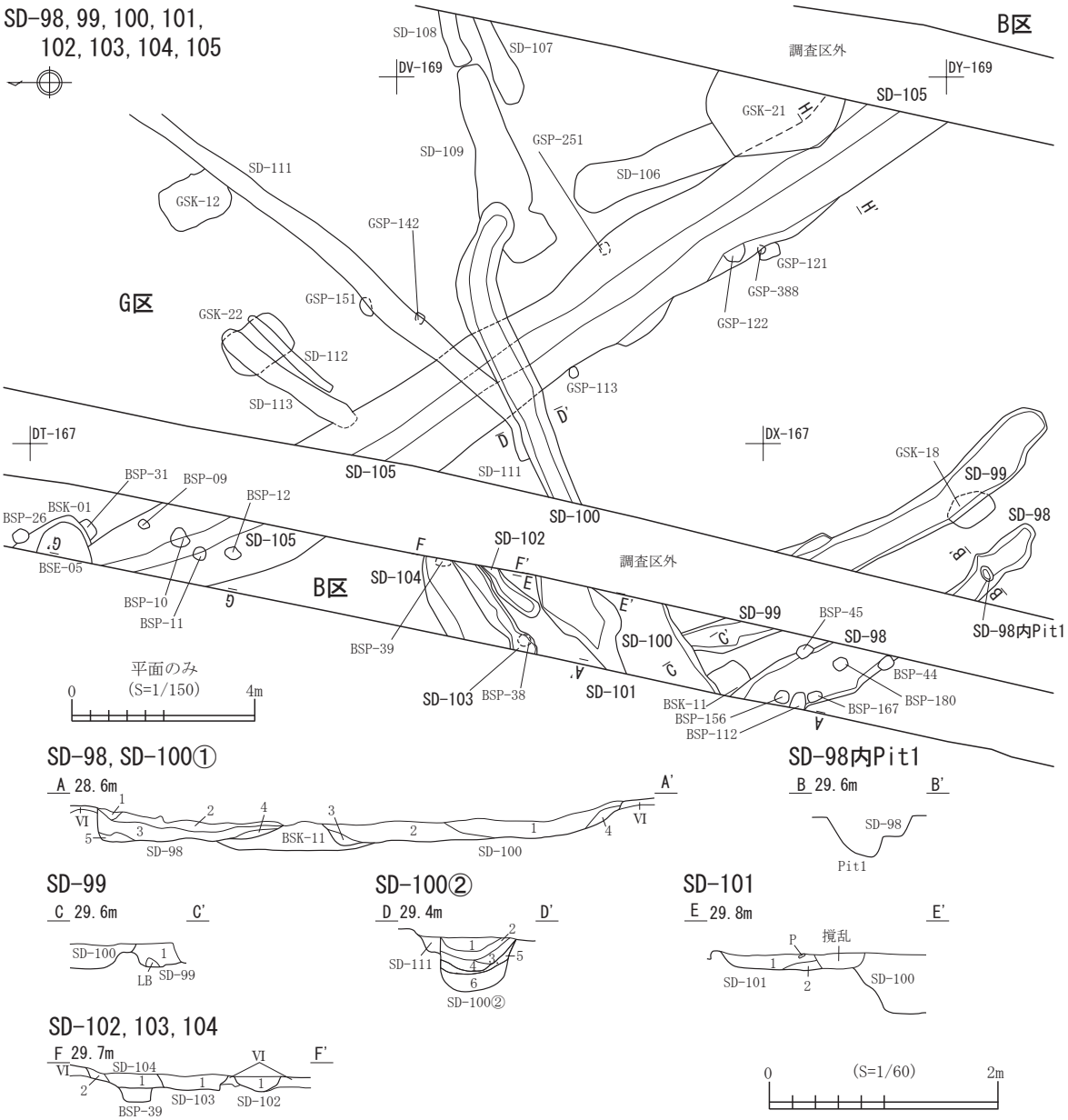
SD-77
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第6層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量
第7層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第8層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
SD-80
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
SD-81
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第5層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ60mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第7層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第74図　川原館遺跡Ｂ区SD（４）



SD-82
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
SD-83
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/8黄褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～30mm)中量
SD-86
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量
SD-95
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ15～30mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層　炭化物ブロック(φ20～25mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量、炭化物ブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第5層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
SD-96
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ2mm)微量

第75図　川原館遺跡Ｂ区SD（５）



SD-98
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ2～6mm)少量、炭化粒(φ2～4mm)少量
第2層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ4～7mm)少量、炭化粒(φ2～5mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)多量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ5～9mm)多量、炭化粒(φ2～4mm)少量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～10mm)多量

SD-99
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30～80mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土ブロック(φ10～30mm)微量、酸化鉄粒(φ2～5mm)微量

SD-100①
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　砂と黒色土と混合層、ローム粒(φ1～6mm)中量、炭化粒(φ2～6mm)中量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ2～4mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量

SD-100②
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～80mm)多量、酸化鉄(φ1～9mm)中量
第4層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～15mm)少量
第5層　10YR5/1　褐灰色土　灰層
第6層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10mm)中量

SD-101
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ロームブロック(φ15～30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

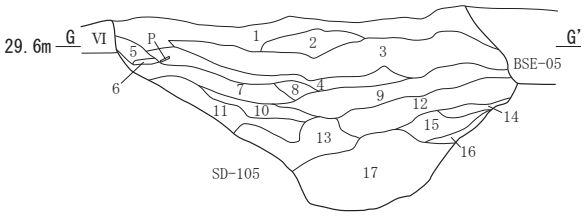
SD-102
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量

SD-103
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

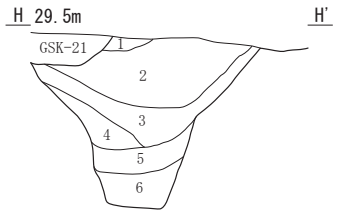
SD-104
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第76図　川原館遺跡Ｂ区SD（６）

SD-105①

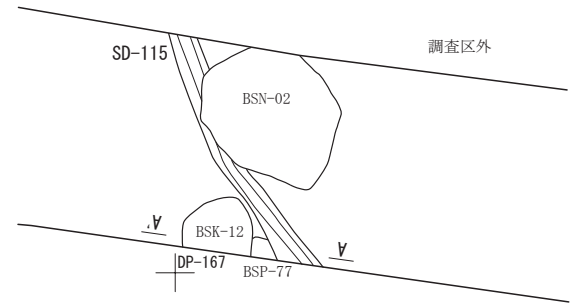


SD-105②

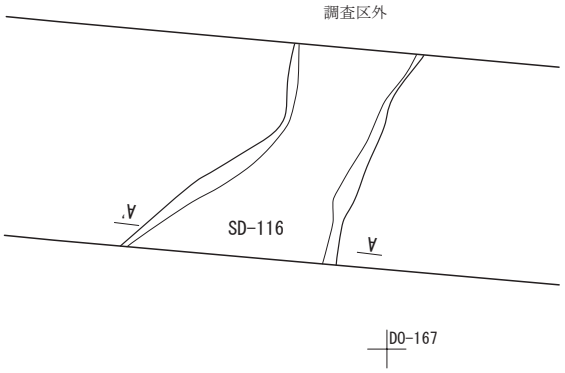


SD-105①
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～100mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第6層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第7層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ15～30mm)少量、炭化粒(φ1～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第8層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ15～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第9層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～40mm)少量
第10層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第11層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
第12層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第13層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～30mm)微量
第14層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ15～25mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第15層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第16層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第17層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～140mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-105②
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～80mm)多量、炭化粒(φ1～9mm)微量、炭化物ブロック(φ10～30mm)微量、
酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～30mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第5層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化物ブロック(φ10～30mm)少量

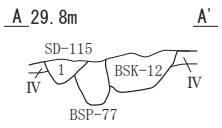
SD-115



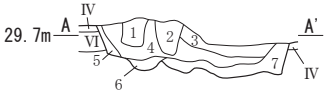
SD-116

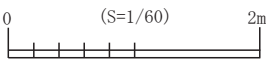


SD-115



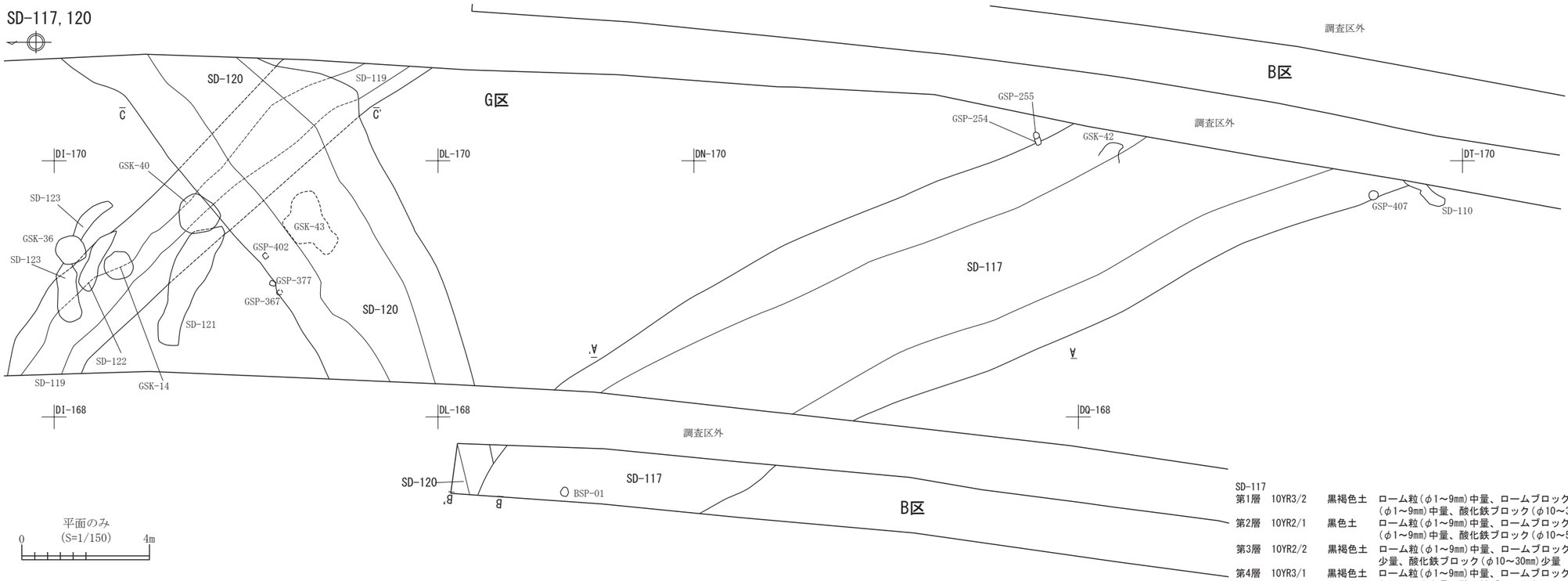
SD-116



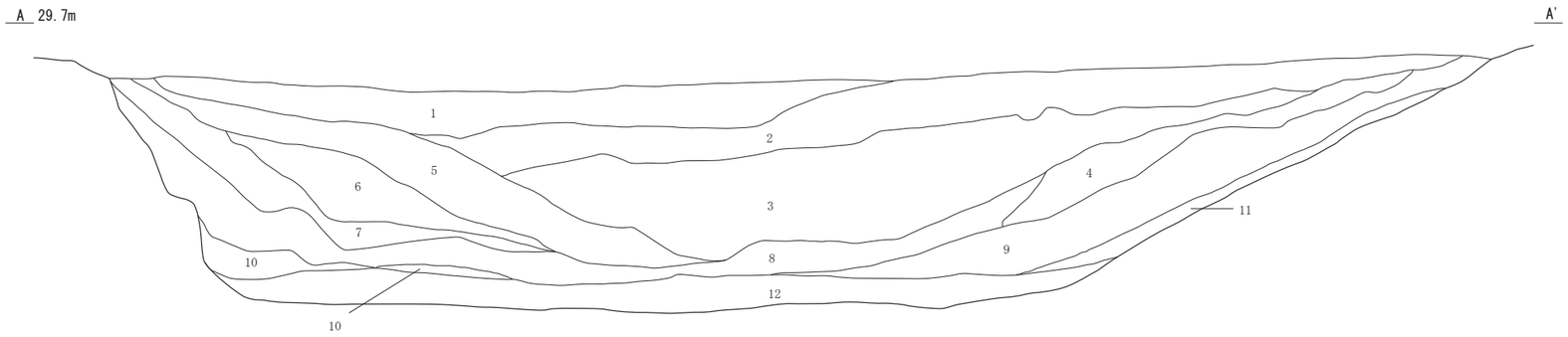


SD-115
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、焼土粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
SD-116
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量
第6層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/8黄褐色ロームの混合層
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第7層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/8明黄褐色ロームの混合層
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

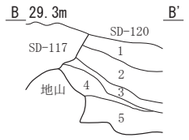
第77図　川原館遺跡Ｂ区SD（７）



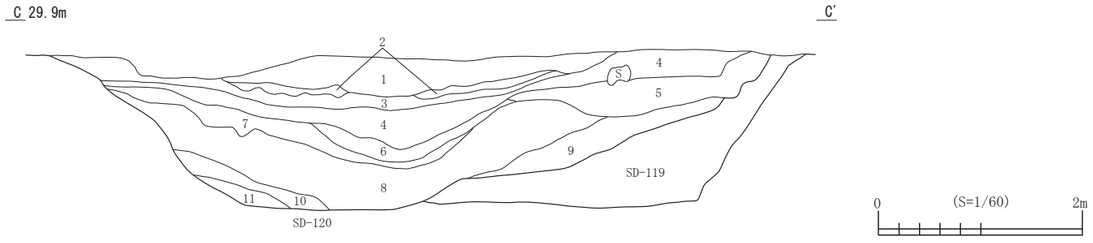
SD-117



SD-120①



SD-120②

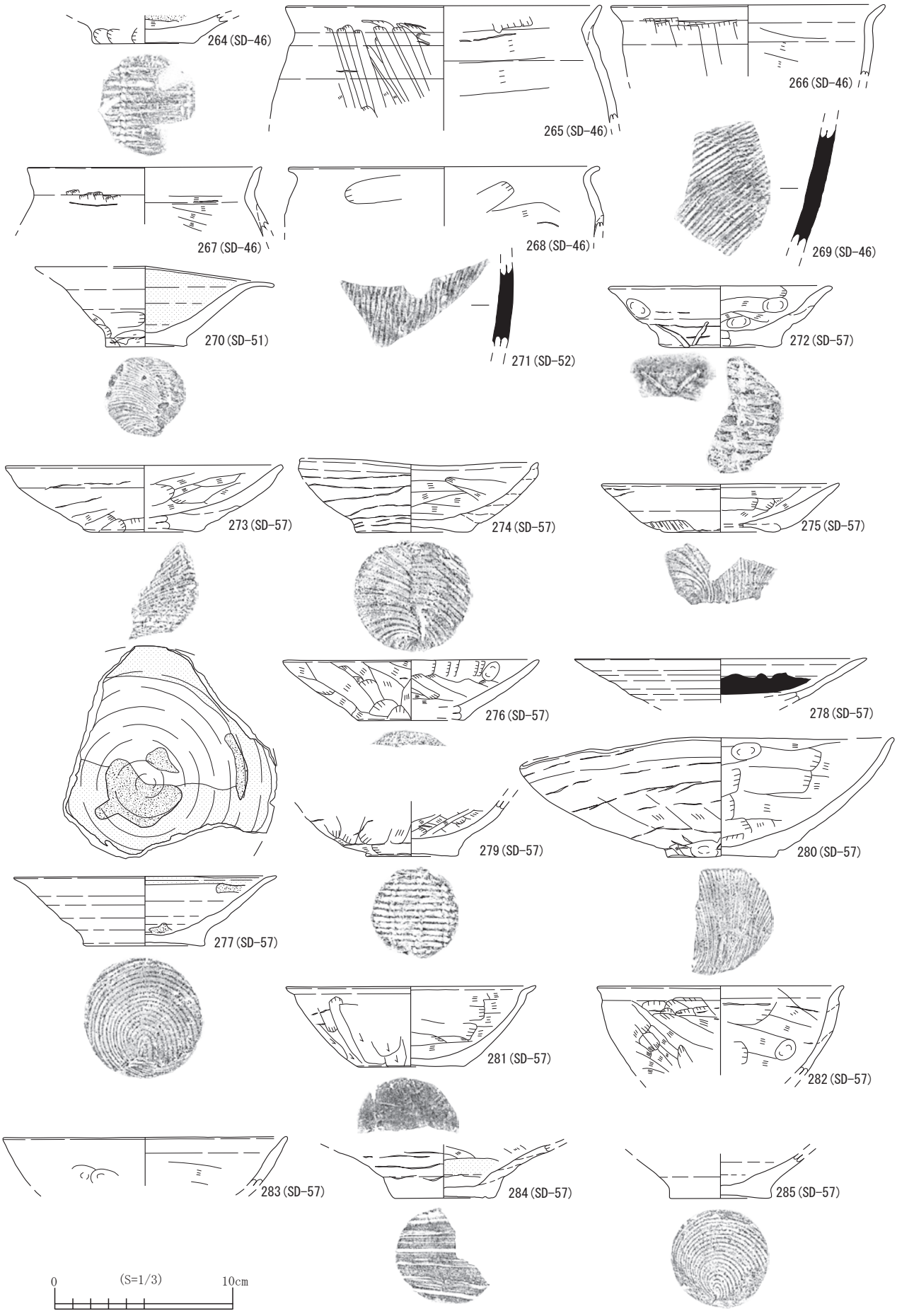


SD-117
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～150mm)中量、酸化鉄(φ1～9mm)中量、酸化鉄ブロック(φ10～30mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～150mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)中量、酸化鉄ブロック(φ10～50mm)中量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～30mm)少量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)中量、酸化鉄ブロック(φ10～30mm)少量
第5層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)中量、酸化鉄ブロック(φ10～20mm)中量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～100mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)中量、酸化鉄ブロック(φ10～30mm)中量、粘土ブロック(φ10～150mm)少量
第7層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄(φ1～9mm)中量、粘土ブロック(φ10～30mm)中量
第8層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～150mm)多量、酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～50mm)多量
第9層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～20mm)少量
第10層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化物ブロック(φ10mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10mm)少量
第11層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第12層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量

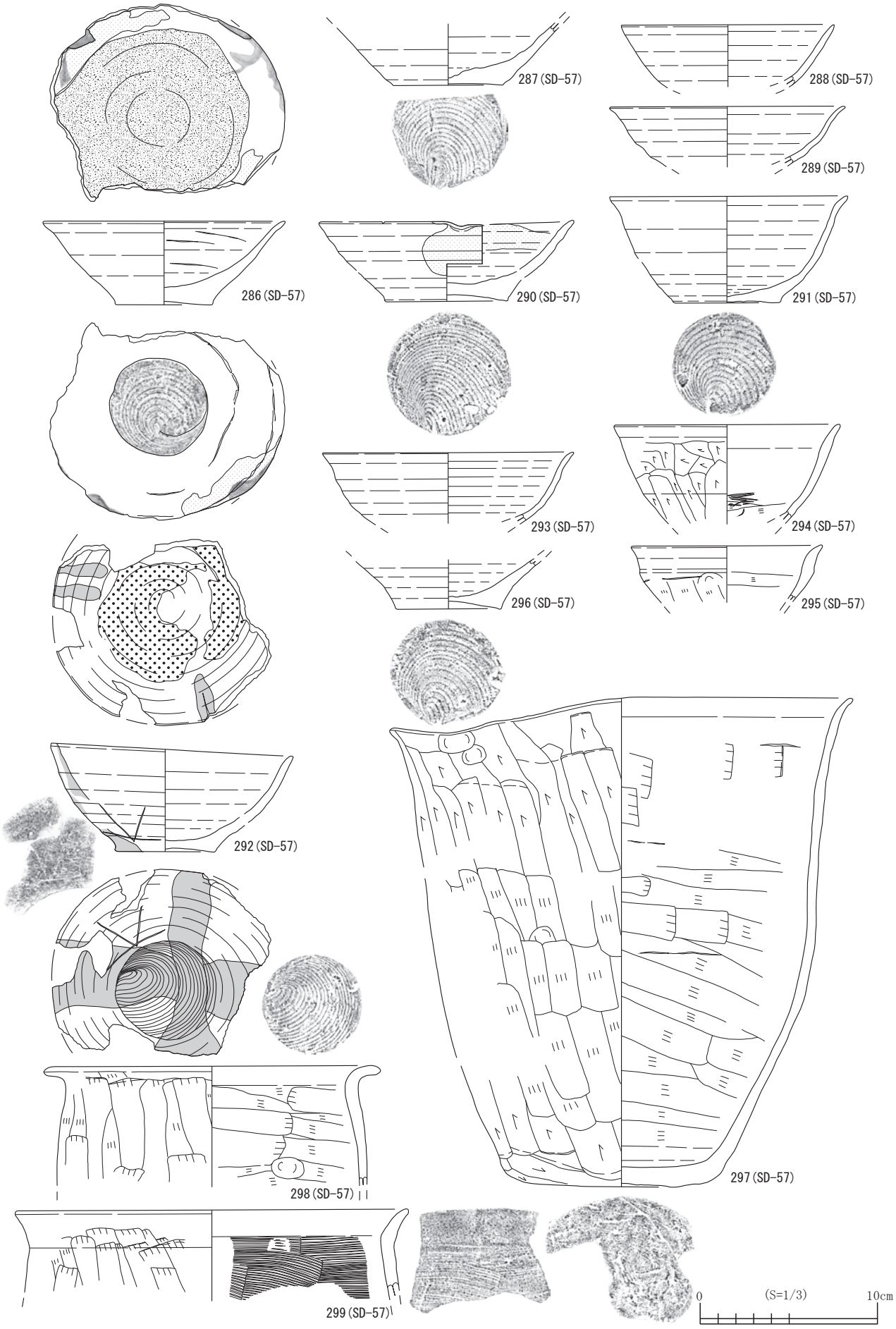
SD-120①
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(Φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～9mm)少量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～15mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第5層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

SD-120②
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、焼土粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)多量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄層状に少量混入
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)中量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～100mm)中量
第5層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)微量、酸化鉄ブロック(φ10～60mm)少量
第6層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第7層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ10～100mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第8層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)中量、酸化鉄ブロック(φ10～60mm)中量
第9層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)多量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～70mm)中量
第10層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10mm)微量
第11層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)微量、酸化鉄ブロック(φ10mm)微量

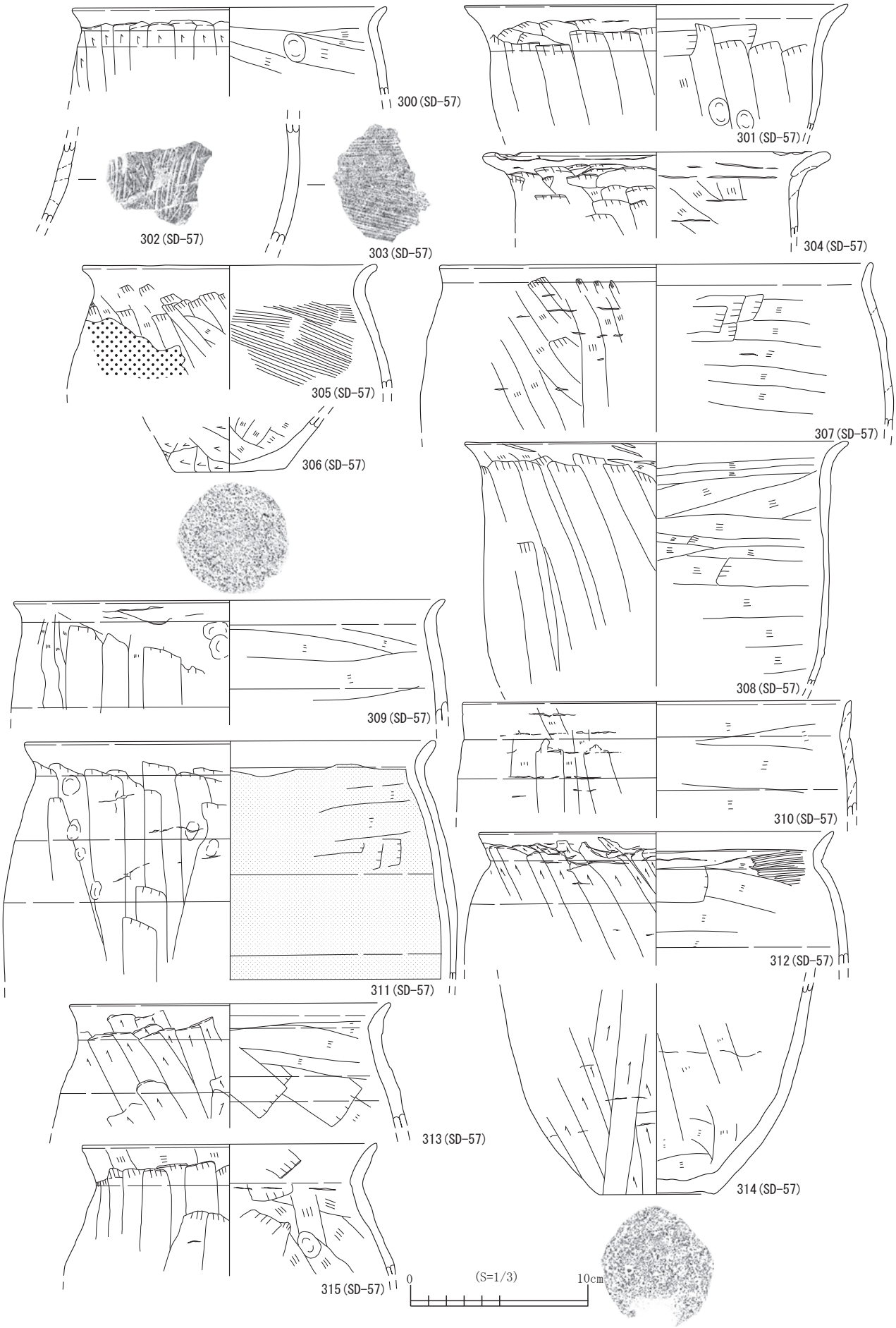
第78図　川原館遺跡Ｂ区SD（８）



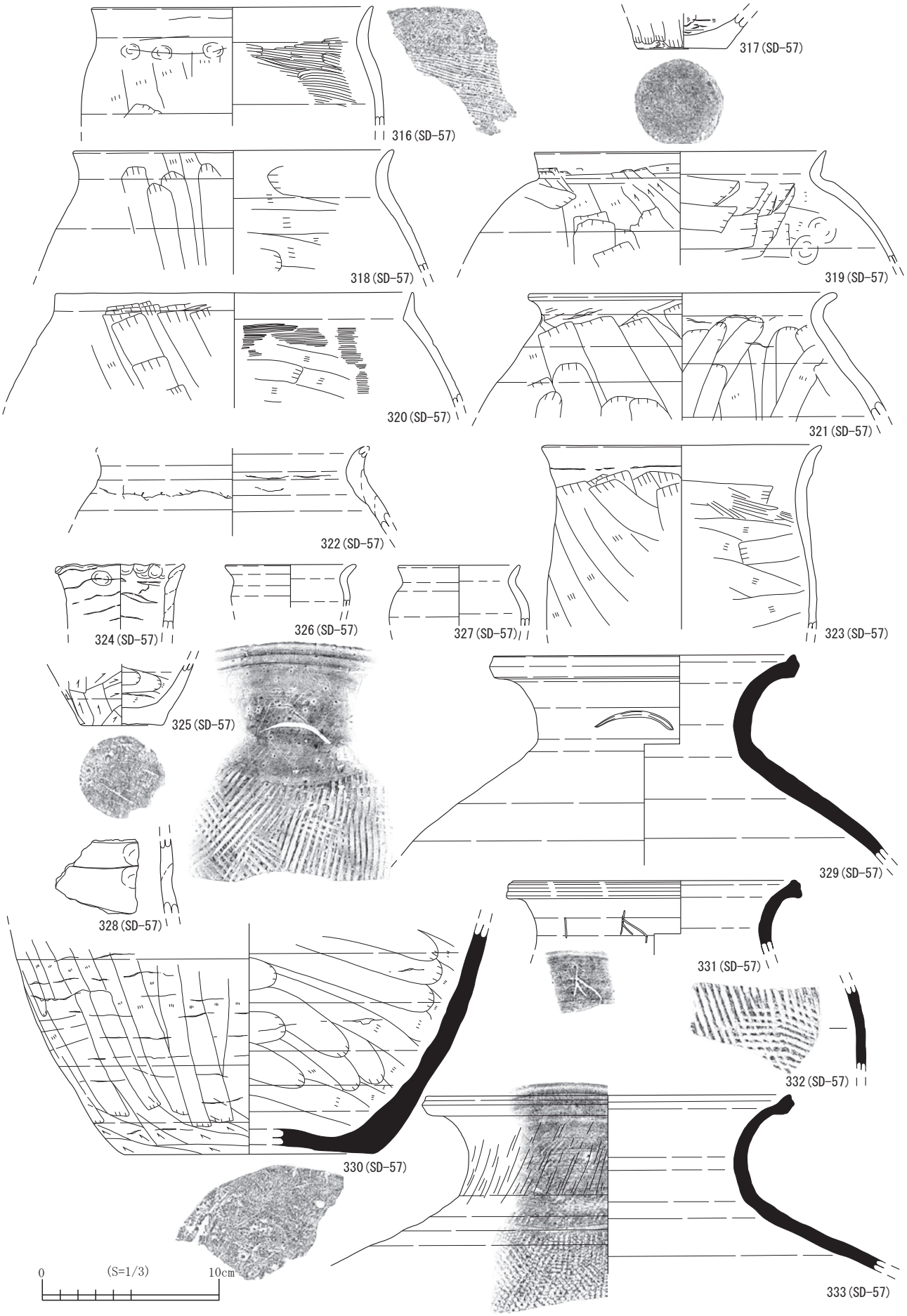
第79図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（１）



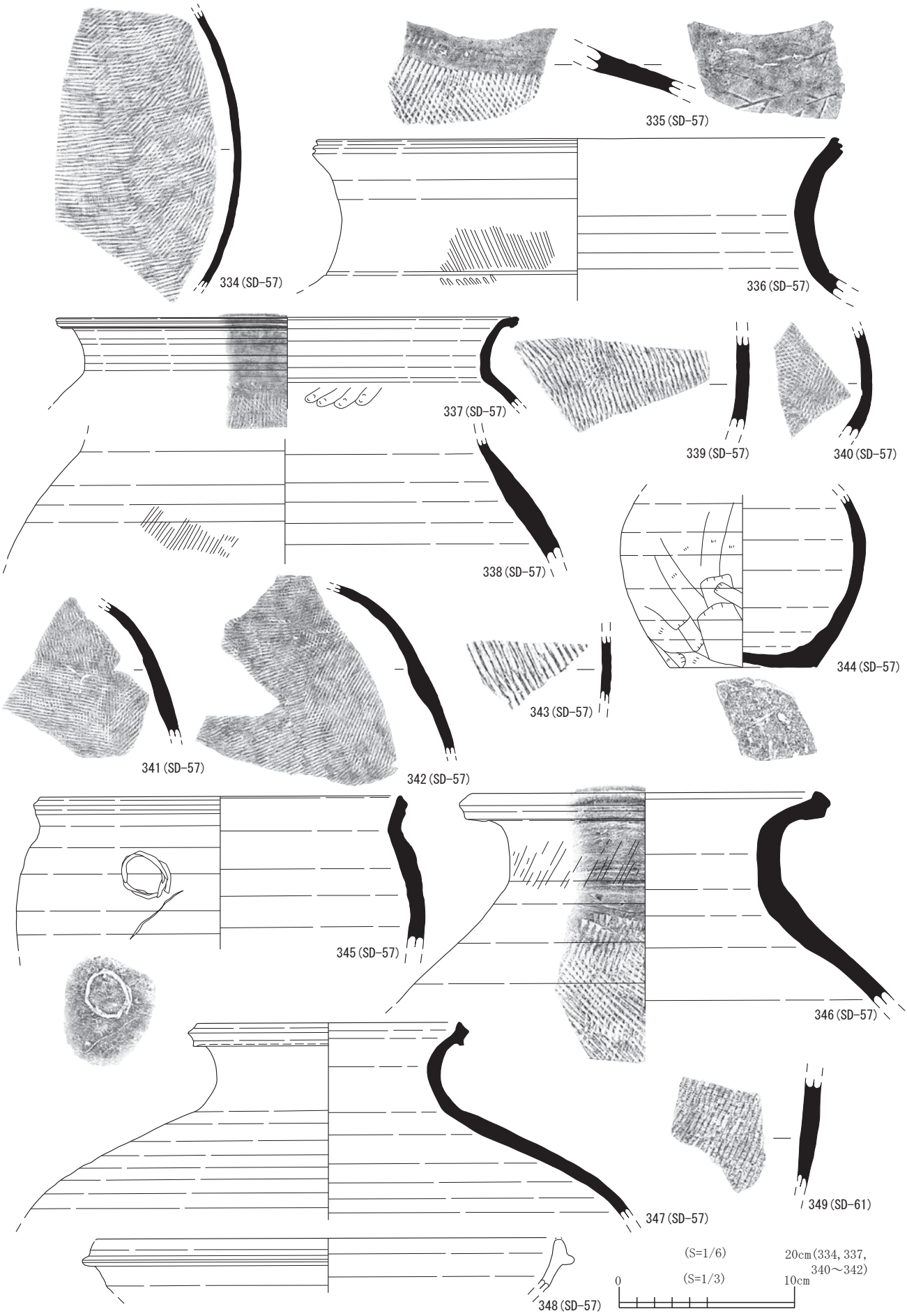
第80図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（２）



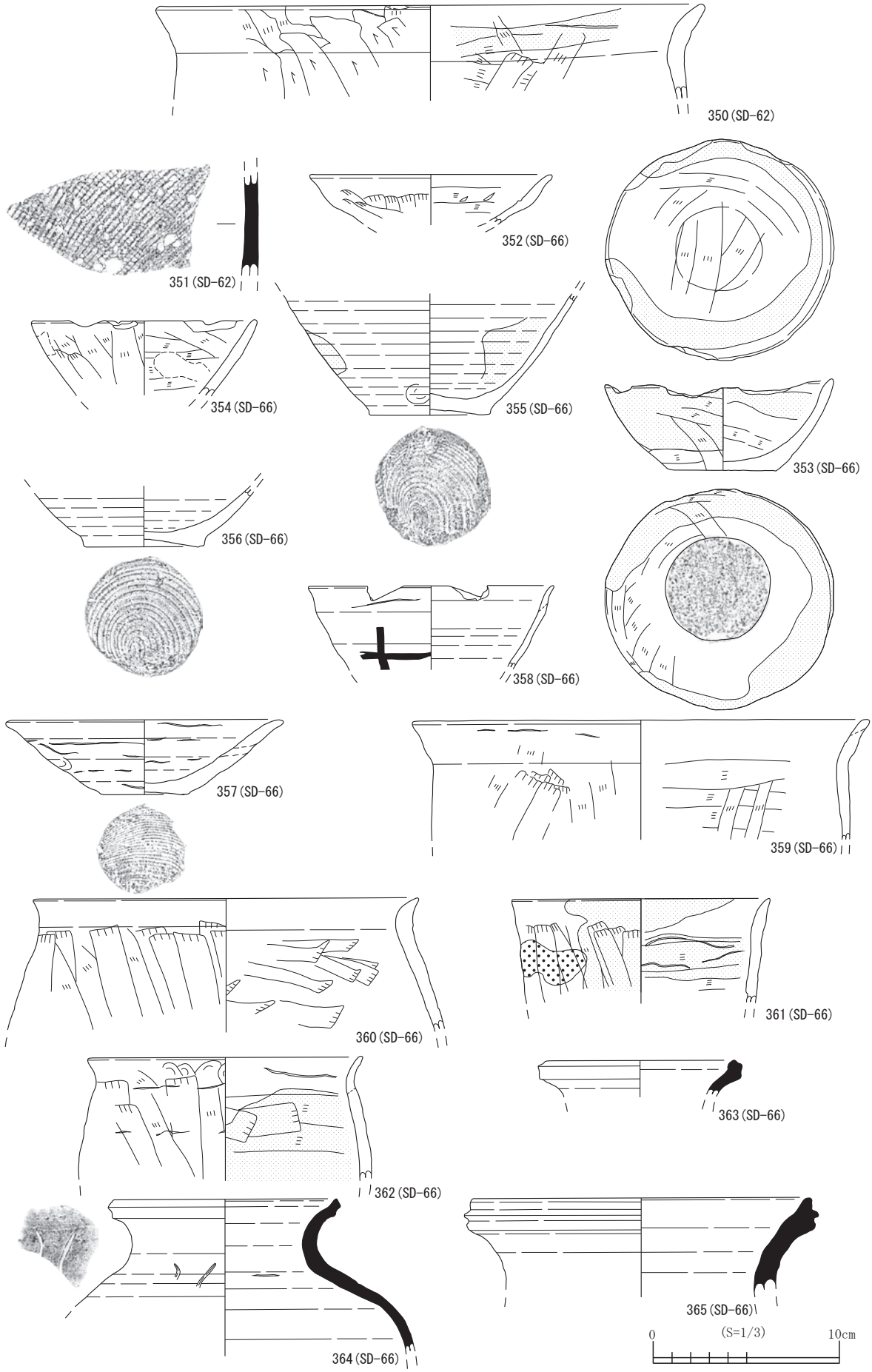
第81図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（３）



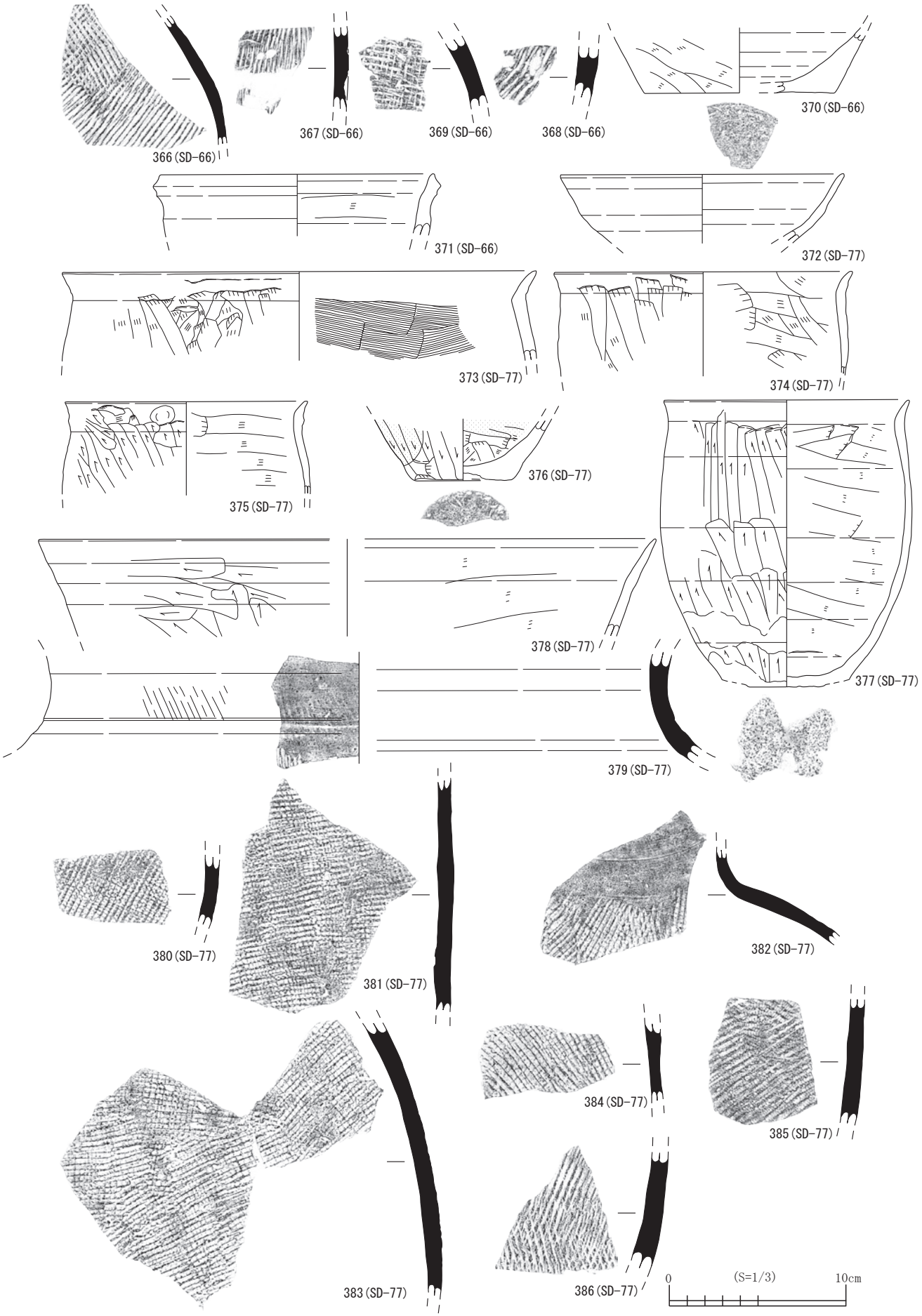
第82図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（４）



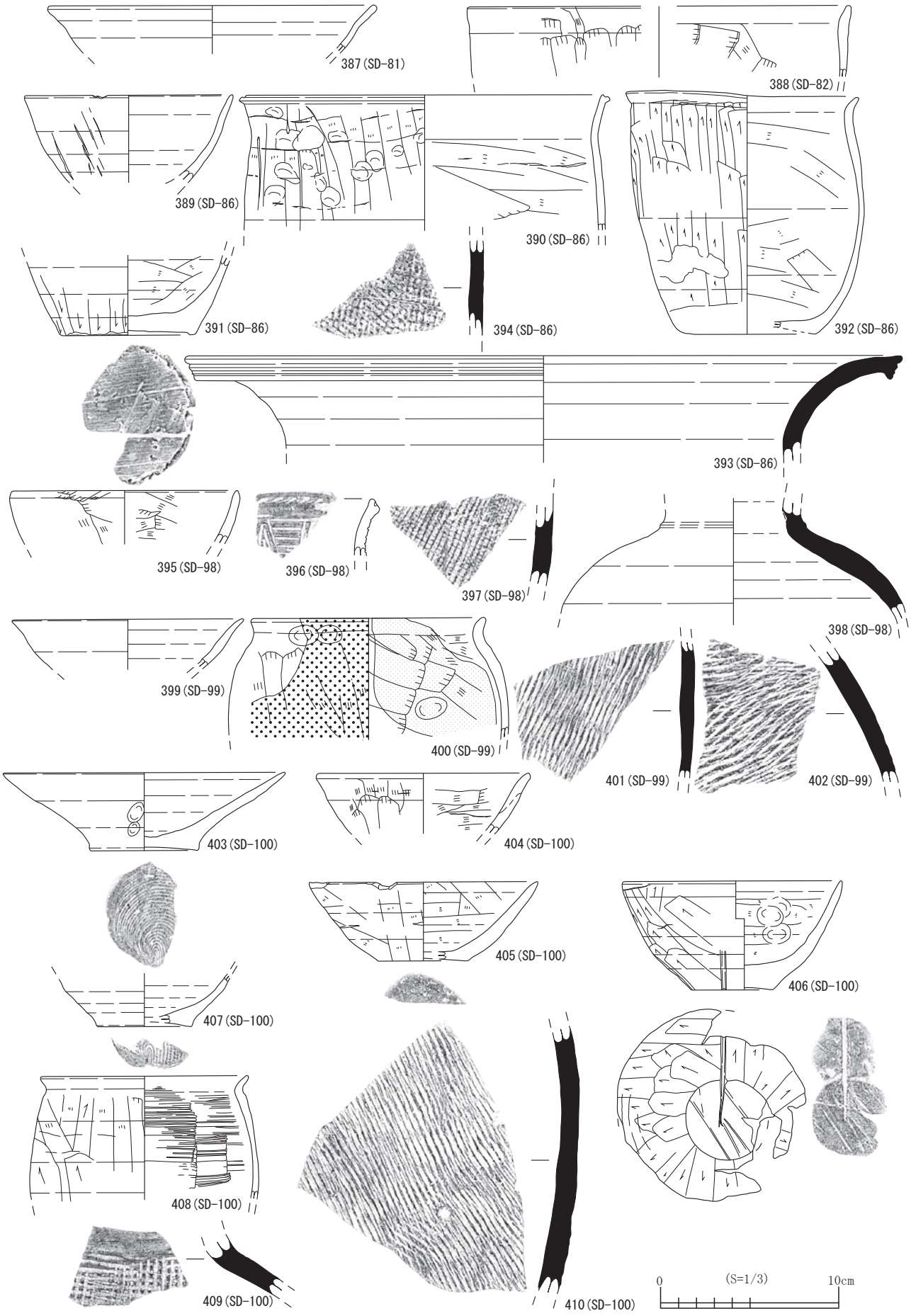
第83図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（５）



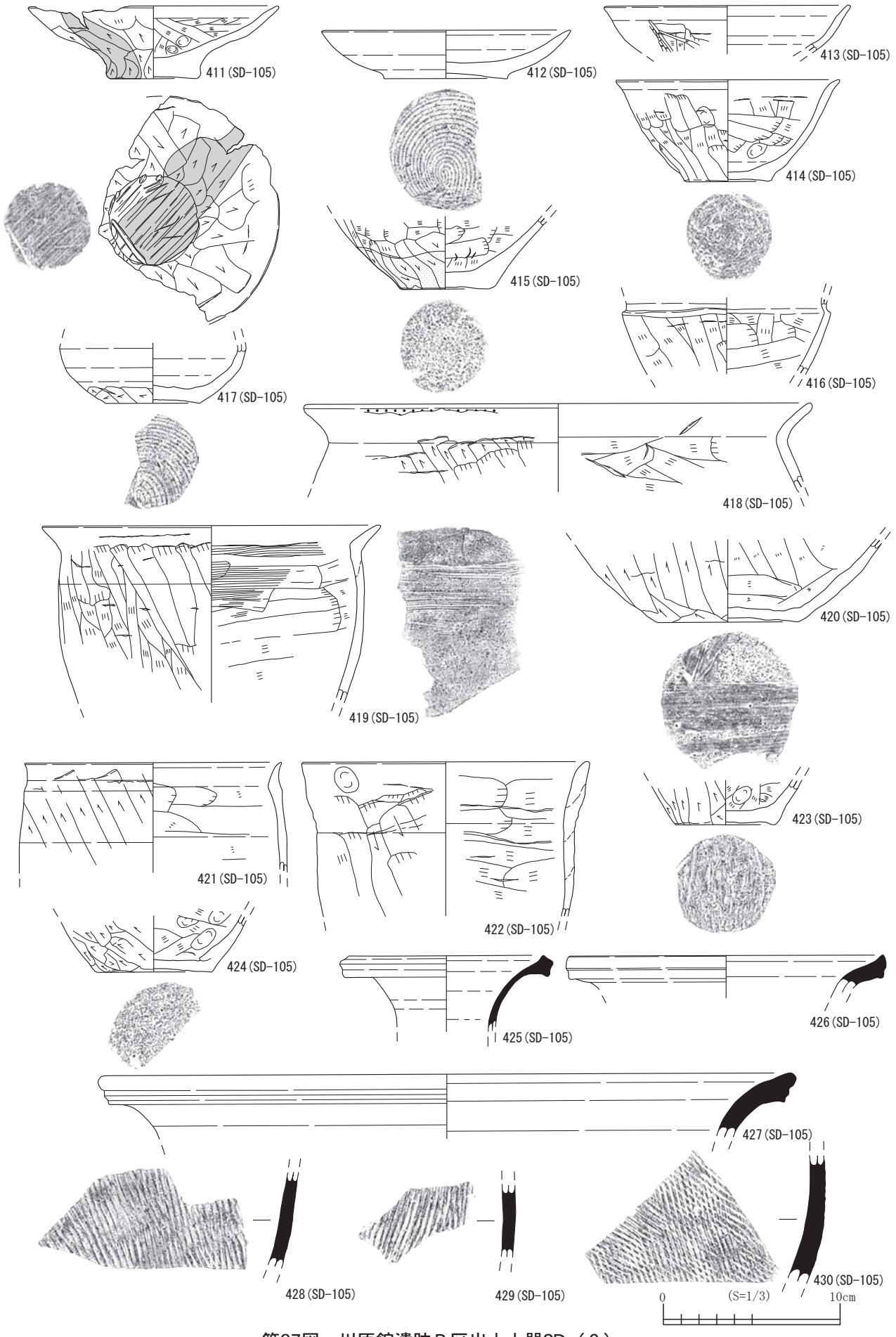
第84図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（６）



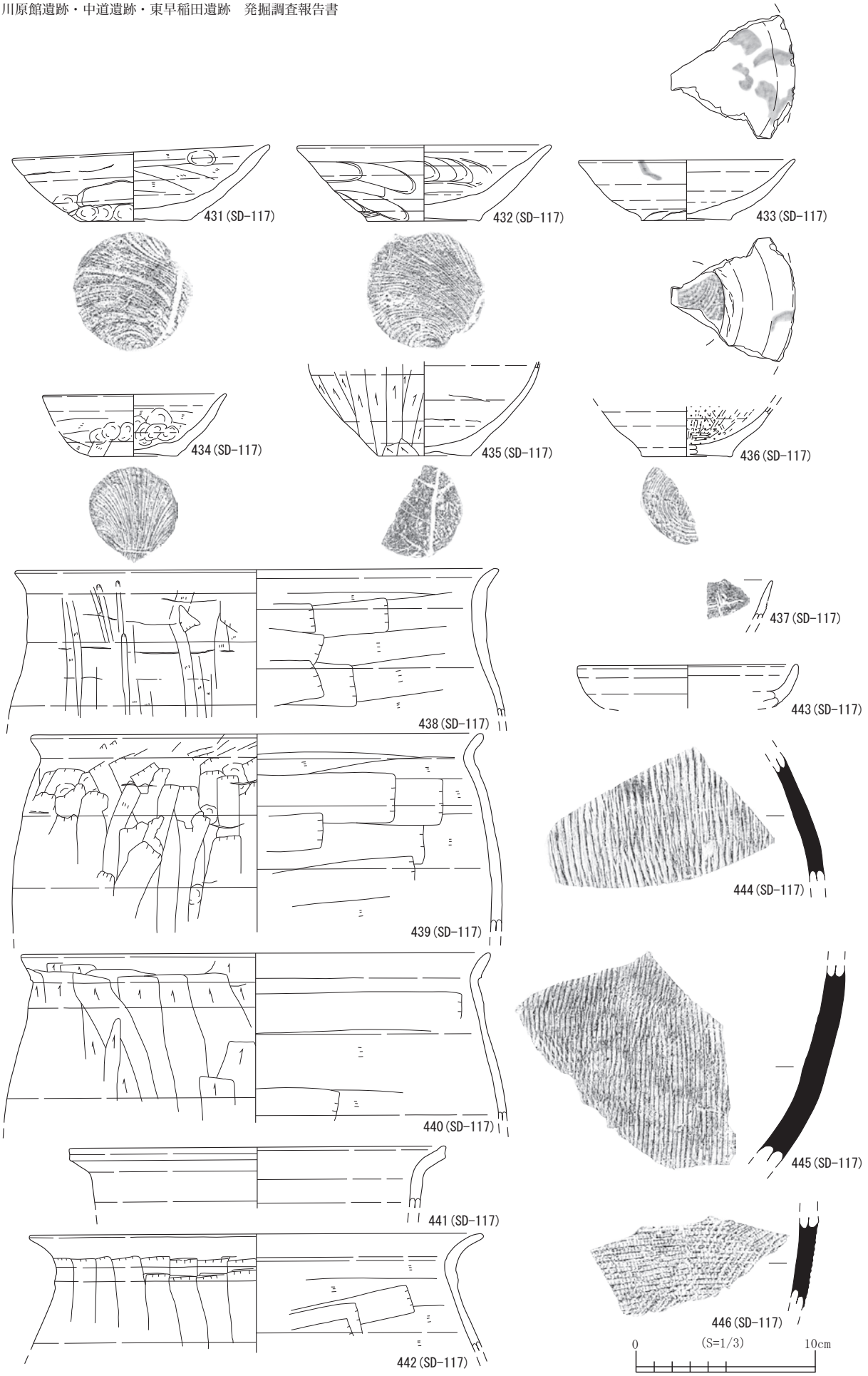
第85図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（７）



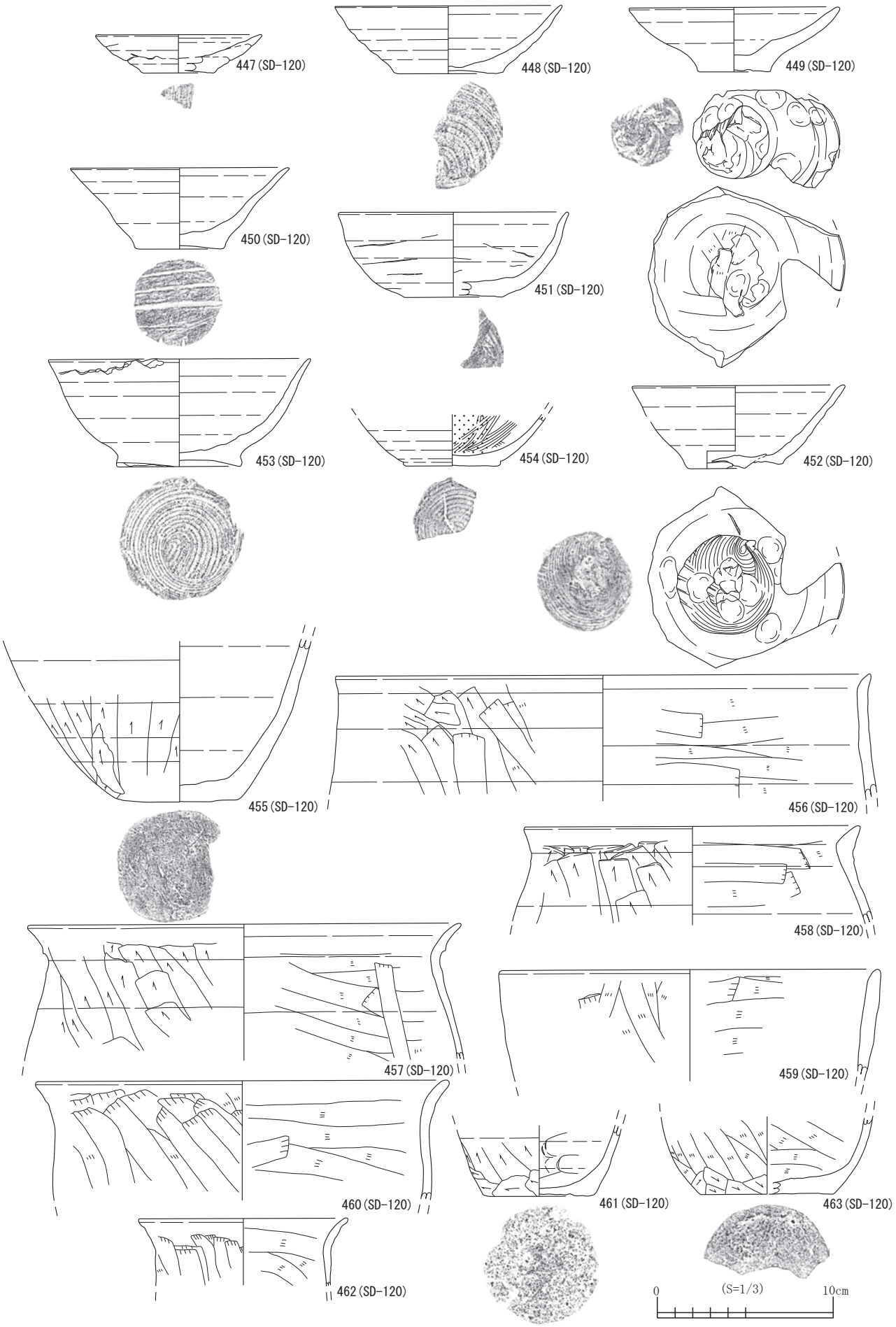
第86図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（８）



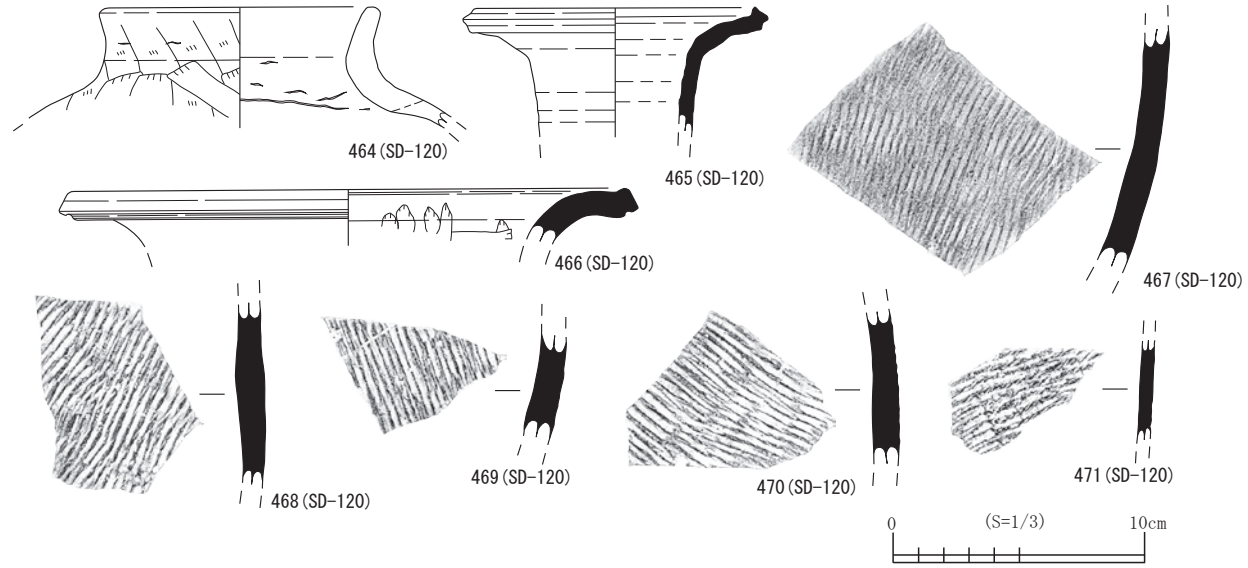
第87図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（９）

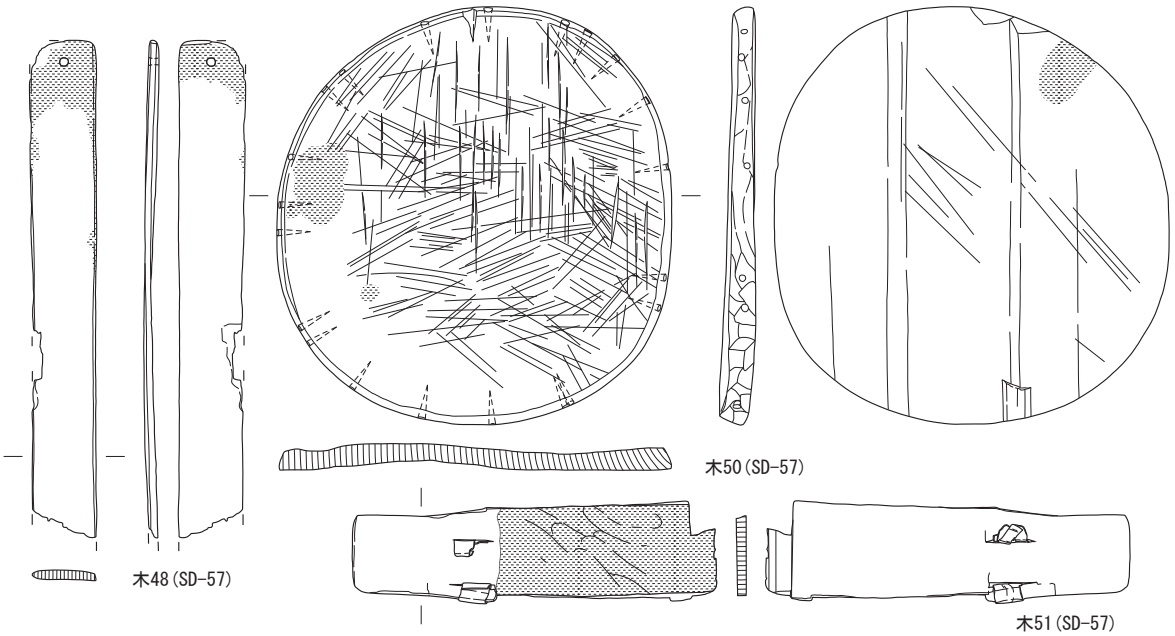


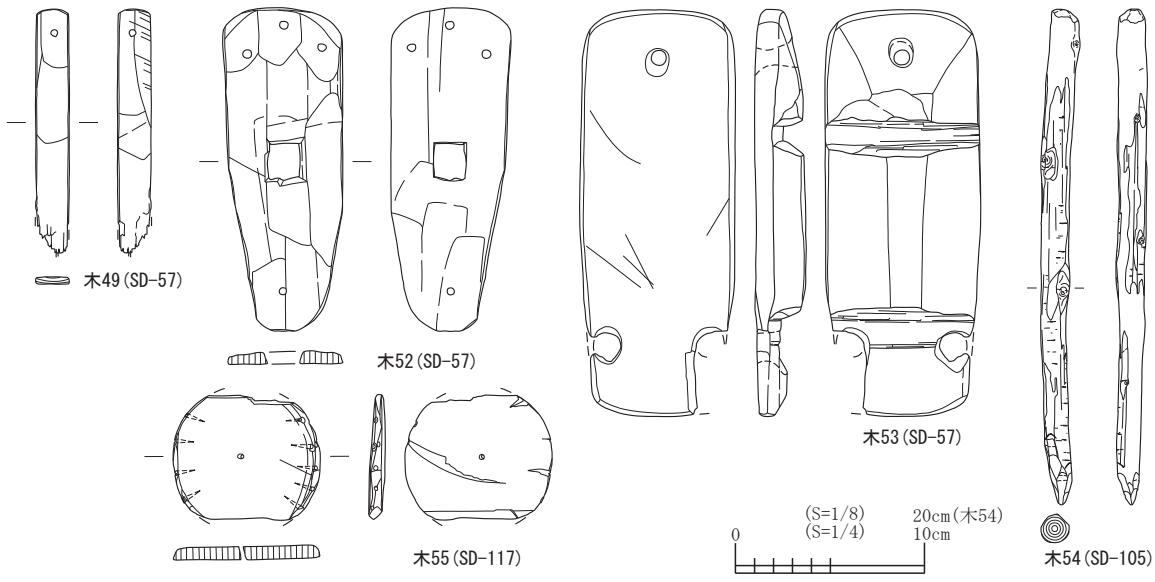
第88図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（10）



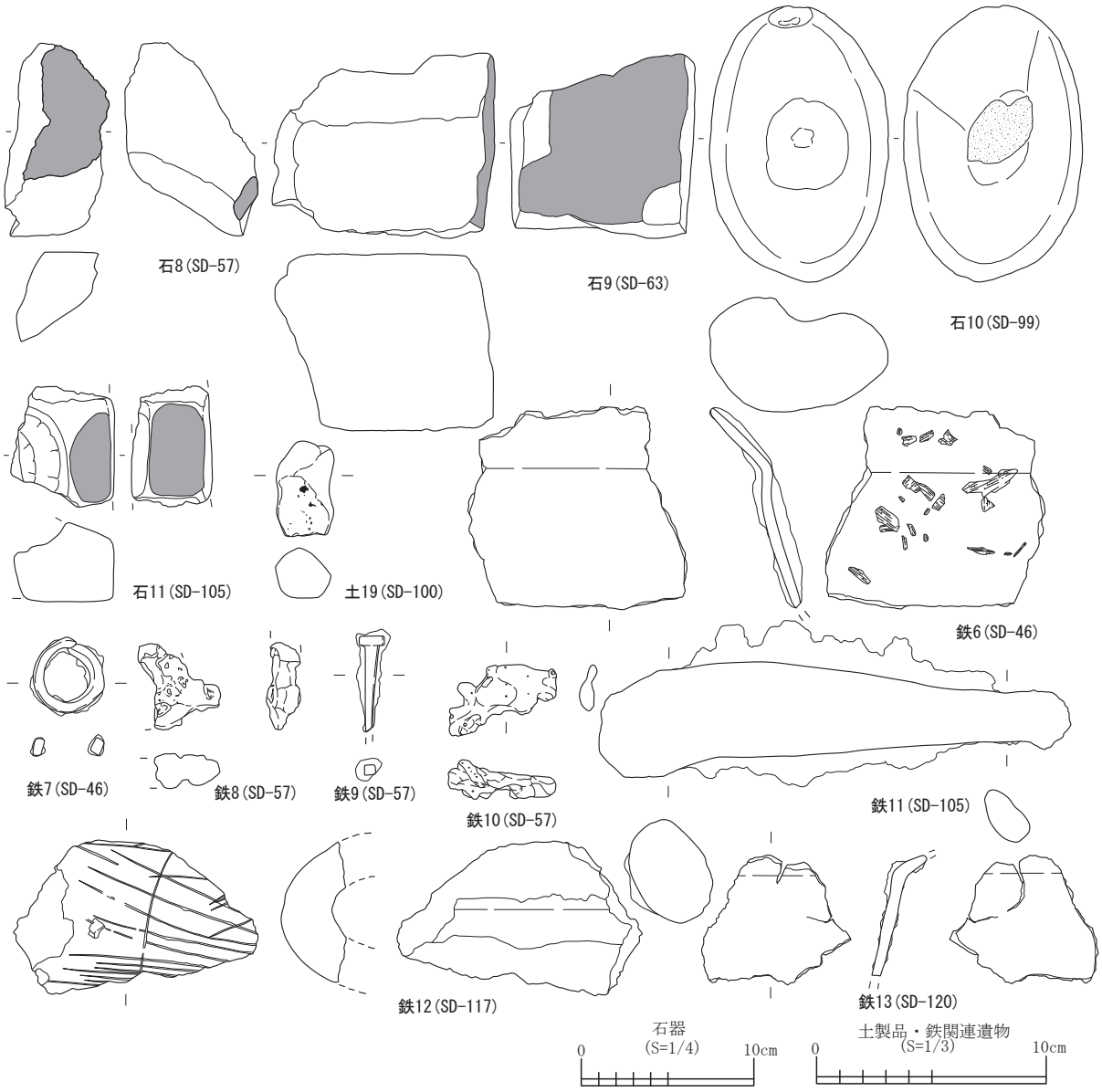
第89図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SD（11）







第90図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SD（１）



第91図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SD（２）

２点（第94図木57・58）を図示した。473は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈している。内外面ヘラナデによって調整されている。木57は用途不明の棒状を呈する木製品で断面形は長方形を呈する。木58は用途不明の板状を呈する木製品で、裏面には切り込みが認められる。

BSE－05（第92図）

DT－166グリッドで検出した。BSK－01、SD－105と重複している。本遺構がBSK－01とSD－105の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈しており、規模は長軸71×短軸66×深さ74㎝を測る。断面は筒形を呈し、壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は７層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、下層にローム粒やロームブロックが少量混入しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

５．焼土遺構・カマド状遺構

BSN－01（第93図）

DO－167グリッドで検出した。BSK－04と重複している。BSK－04が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。カマド状遺構と考えられ、不整円形を呈する燃焼部のみの検出で、規模は長軸84×短軸77㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、火床面は一部のみの検出でやや傾斜が認められる。堆積土は掘方を含めて９層に分層した。７～９層は掘方の埋土で、そのほかは黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSN－02（第93図）

DP－167グリッドで検出した。SD－115、BSP－52、73、74と重複している。本遺構がSD－115の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－52、73、74との新旧関係は不明である。カマド状遺構と考えられ、馬蹄形を呈する燃焼部と部分的に前庭部を検出しており、燃焼部の規模は長軸76×短軸64㎝、前庭部の規模は長軸43×短軸36㎝を測る。火床面は前庭部側がやや傾斜している。堆積土は掘方を含めて６層に分層した。５・６層は掘方の埋土で、そのほかは黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

BSN－03（第93図）

DS－166グリッドで検出した。不整形を呈する焼土遺構で、規模は長軸95×短軸73㎝を測る。被熱部分の厚さは最大で17㎝を測る。

BSN－04（第93図）

DX－169グリッドで検出した。確認面より円形を二つ重ねたような形で焼土が広がる状況を確認し、その下位から不整形の灰範囲とそれを囲むような焼土ブロックを確認した。カマド状遺構の燃焼部と考えられ、規模は長軸84×短軸68㎝を測る。火床面は南西側へ傾斜している。掘方の壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は６層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積している。１層は灰層で、２層は焼土層である。４層より下層は自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏２

点、甕２点、小甕２点（第94図474～479）、鉄関連遺物１点（第94図鉄14）を図示した。474は坏の体部～底部で、ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。475は坏の口縁部～体部である。ロクロ調整が施されており、外面体部には刻書が認められる。476は甕の口縁部～体部で、体部が張る形状を呈し、口縁部が緩やかに外反する。内外面ヘラナデによって調整されている。477は甕の口縁部～体部で、体部がやや張る形状で、口縁部が外反する。内外面ヘラナデによって調整されている。478は小甕の口縁部～底部で、直胴である。外面ヘラナデ、ヘラケズリ、内面ヘラナデ、底部ヘラナデによって調整されている。内面灯明痕が認められる。479は小甕の口縁部～体部で、体部から口縁部にかけて緩やかに外反する形状を呈し、内外面ヘラナデによって調整されている。鉄14は椀形鍛冶滓である。小型で全面茶褐色を呈し、表面及び裏面には木炭痕が認められる。

BSN－05（第93図）

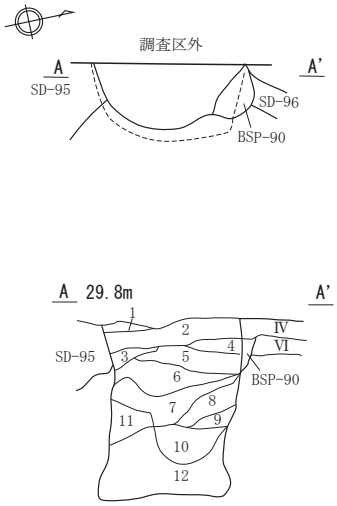
EM－165・166グリッドで検出した。BSP－142・143と重複しているが、新旧関係は不明である。カマド状遺構と考えられ、不整形を呈する燃焼部と楕円形を呈する前庭部を検出した。燃焼部の規模は長軸117×短軸64㎝、前庭部の規模は長軸172×短軸111㎝を測る。火床面はほぼ平坦である。掘方は楕円形を呈し、規模は長軸174×短軸133×深さ69㎝を測る。堆積土は７層に分層した。３～７層は掘方の埋土で、それ以外は黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

６．その他の遺構

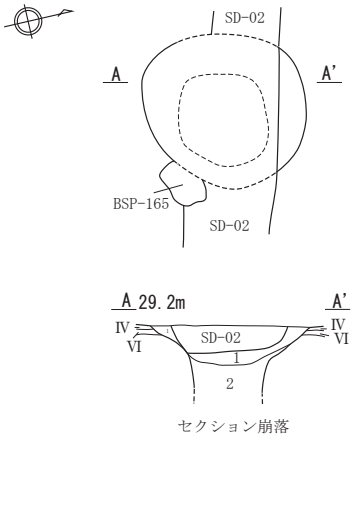
BSX－01（第95図）

DX・DY－169グリッドで検出した。BSK－32、BSP－177と重複している。本遺構がBSK－32を掘り込んでおり、本遺構が新しい。BSP－177が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は長方形を呈しており、規模は長軸266×短軸155×深さ41㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からは長軸121×短軸99㎝の溝状に広がる灰範囲を確認した。隣接するBSN－04廃絶時に灰が廃棄された可能性も考えられるが、詳細は不明である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

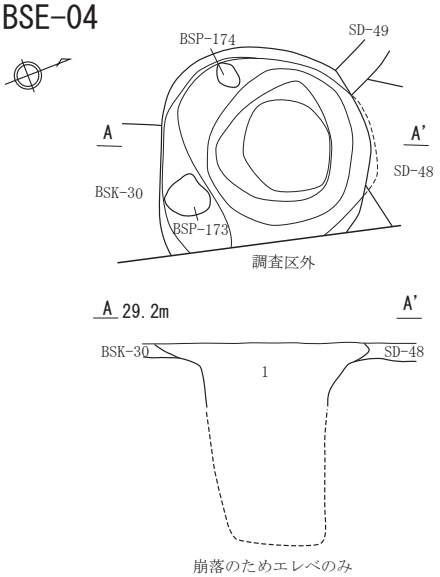
BSE-01



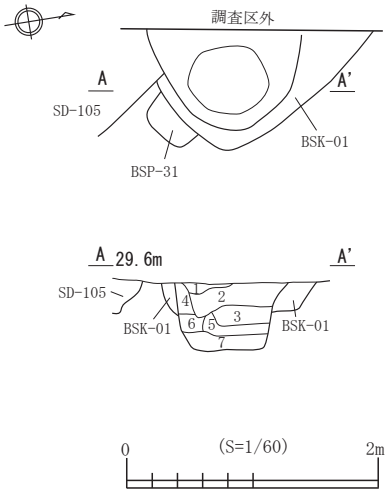
BSE-02



BSE-04



BSE-05



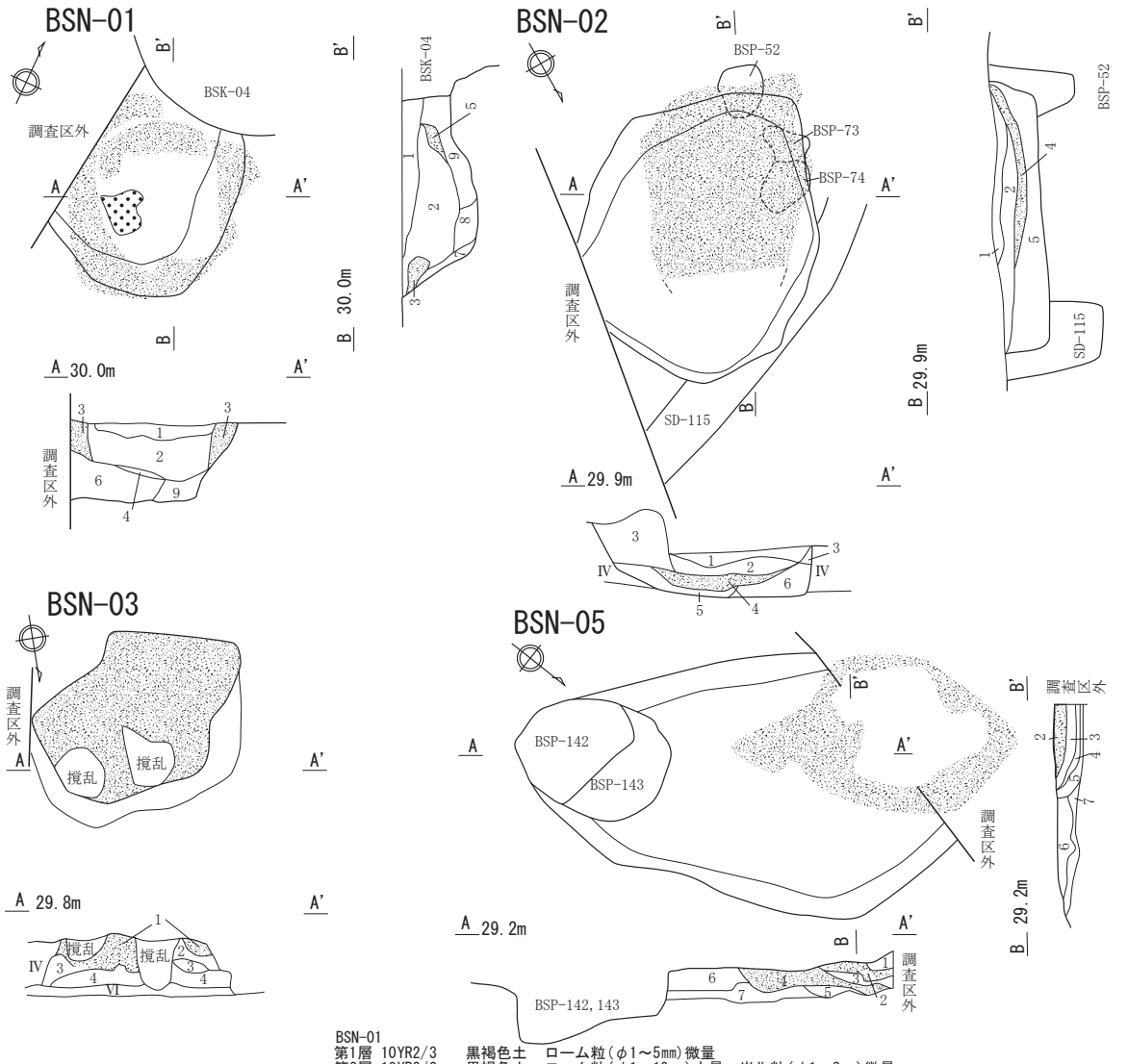
BSE-01
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)微量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量
第6層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第7層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第8層　7.5YR2/1 黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第9層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第10層　10YR1.7/1黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量
第11層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ15～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第12層　10YR1.7/1黒色土と10YR6/6明黄褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

BSE-02
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSE-04
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量

BSE-05
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR1.7/1黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、炭化物ブロック(φ15mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第4層　10YR1.7/1黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第6層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ20～30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第7層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

第92図　川原館遺跡Ｂ区SE



BSN-01
第1層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR1.7/1　黒色土　焼土ブロック(φ30～50mm)多量
第4層 10YR4/2　灰黄褐色土 10YR1.7/1黒色土混入
第5層 5YR4/8　赤褐色土　焼土層 焼土粒(φ1～2mm)少量
第6層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)多量
第7層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第8層 10YR3/4　暗褐色土
第9層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)多量

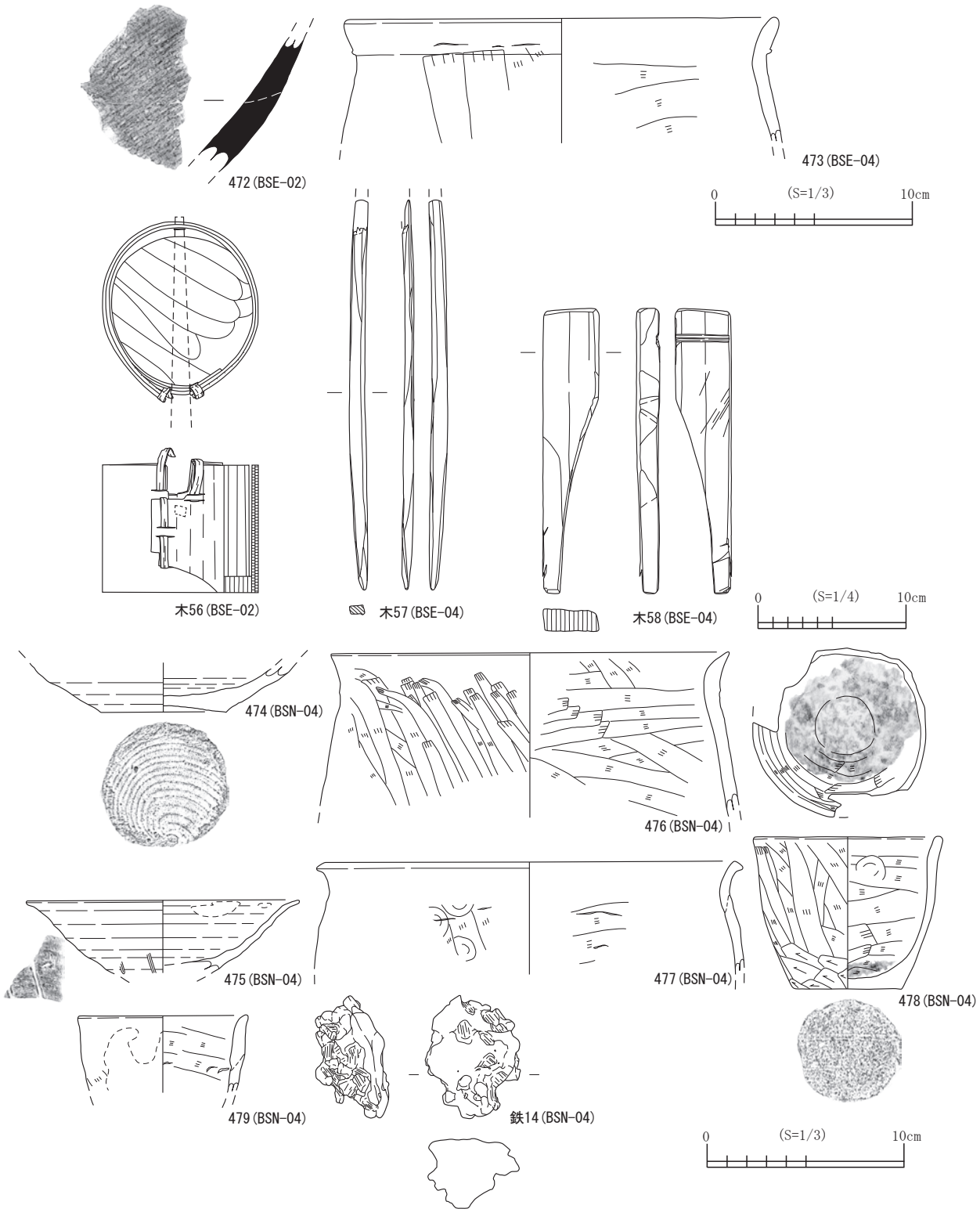
BSN-02
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)少量、焼土ブロック(φ10～20mm)少量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、焼土ブロック(φ10～100mm)中量
第4層 5YR4/6　赤褐色土　焼土層 炭化物ブロック(φ10～20mm)少量
第5層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)少量、褐色土(7.5YR4/6)少量混入
第6層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)少量

BSN-03
第1層 2.5YR6/8　橙色土　焼土層 炭化物ブロック(φ1～2mm)少量、
第2層 2.5YR5/8　明赤褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、炭化物ブロック(φ1～3mm)少量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第4層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

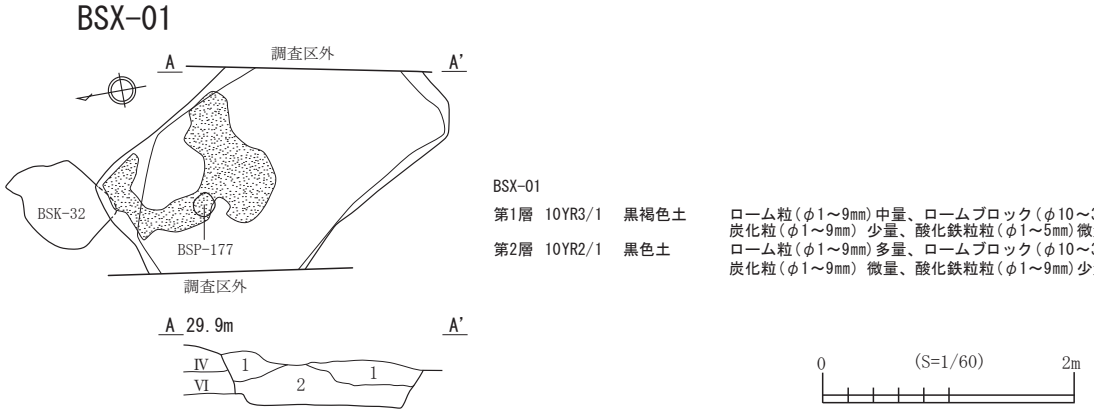
BSN-04
第1層 10YR6/2　灰黄褐色土 焼土粒(φ1～3mm)少量
第2層 5YR4/3　にぶい赤褐色土　焼土層 焼土粒(φ1～3mm)微量、焼土ブロック(φ10～20mm)少量
第3層 10YR2/1　黒色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層
第4層 10YR2/1　黒色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～9mm)少量
第5層 10YR2/1　黒色土
第6層 10YR3/3　暗褐色土

BSN-05
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化物(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)微量
第2層 7.5YR6/6　橙色土と7.5YR3/1黒褐色土の混合層 ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/1　黒色土と10YR4/1褐灰色土の混合層 焼土粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR1.7/1　黒色土と7.5YR5/8明褐色土の混合層 ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第5層 10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第6層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第7層 10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒 (φ1～9mm) 多量、ロームブロック (φ10～40mm) 多量、酸化鉄 (φ1～2mm) 微量

第93図　川原館遺跡Ｂ区SN



第94図　川原館遺跡Ｂ区出土遺物SE・SN



第95図　川原館遺跡Ｂ区SX

7．ピット

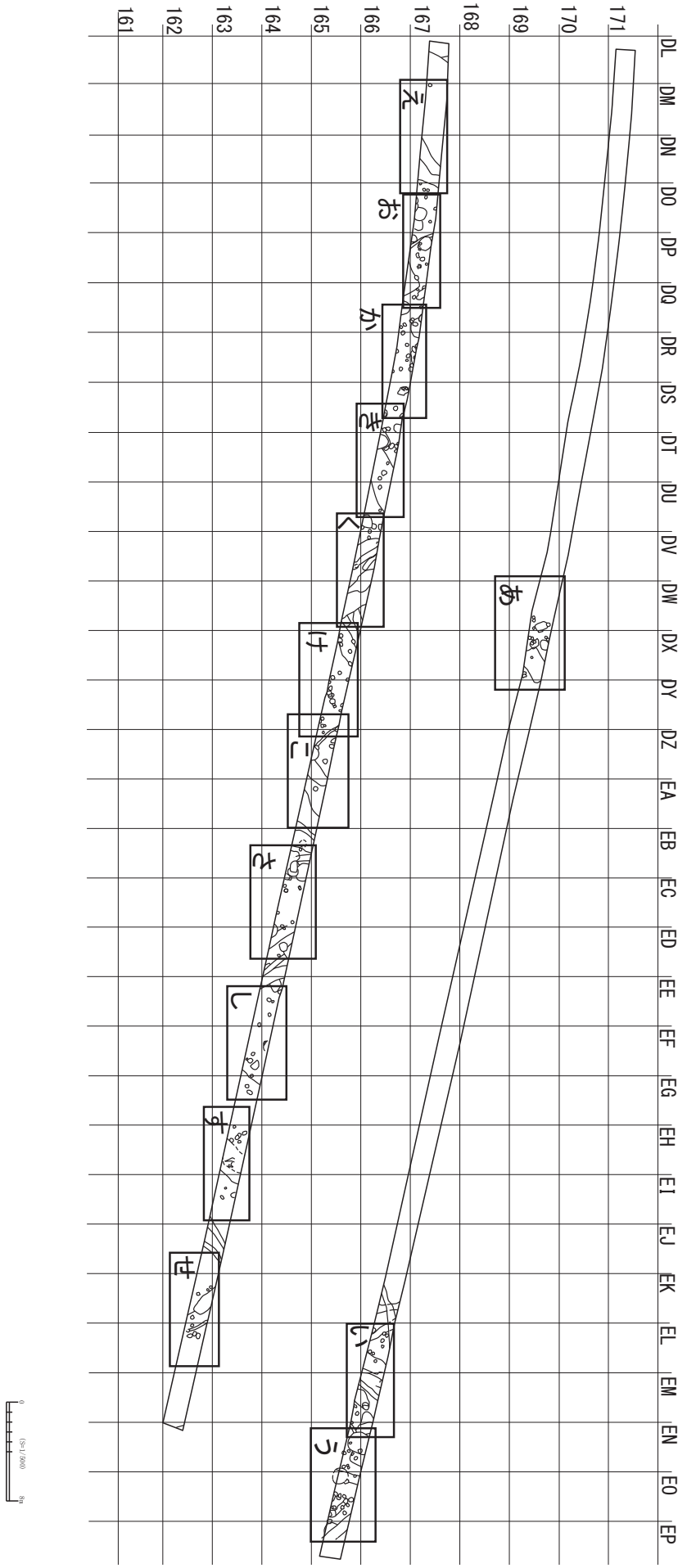
Ｂ区からは179基のピットを検出した。グリッドラインEJ～ENの分布密度がやや薄い以外は概ね万遍なく検出した。詳細及び出土遺物については第９表及び第96～109図のとおりである。

第９表　川原館遺跡Ｂ区SP観察表

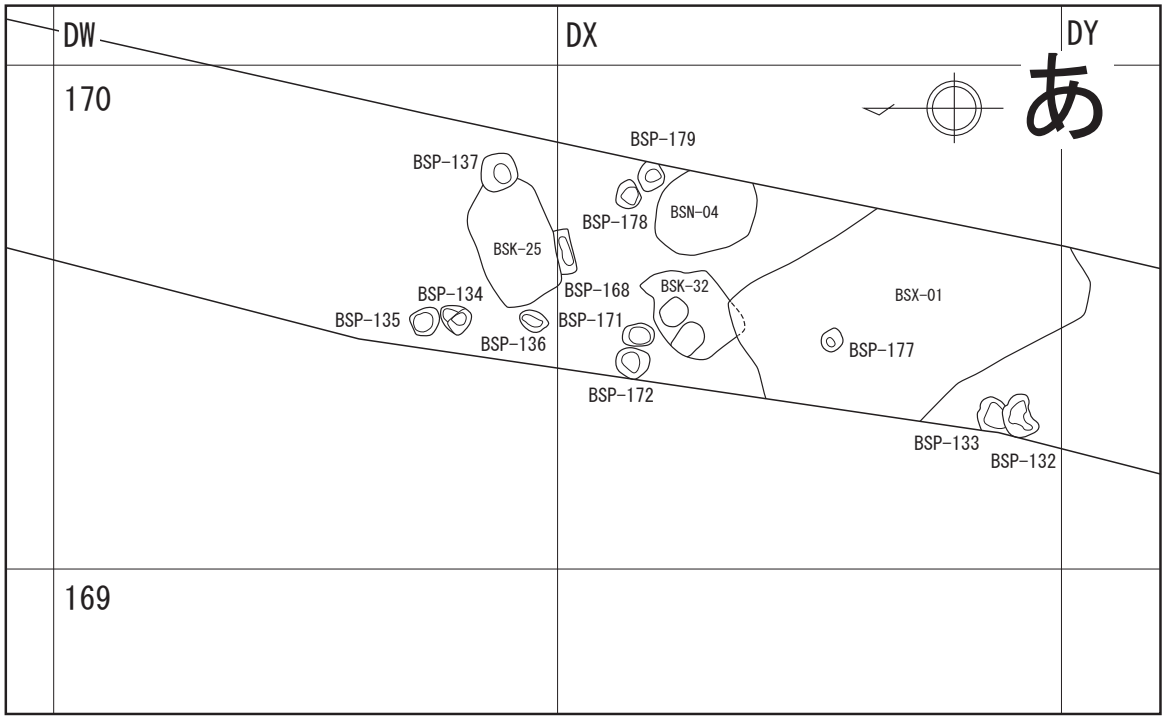
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第100図	BSP-01	DL・DM-167	BSP-01>SD-117	26	25	13	h	d			
第100図	BSP-02	DO-167		23	19	13	h	e			
第101図	BSP-03	DO-167		30	20	12	d	f			
第101図	BSP-04	DO-167		22	(22)	21	f	d			柱痕跡有
第107図	BSP-05	EC-164		26	(20)	30	f	g			
第101図	BSP-06	DP-167		36	34	22	h	d			
第101図	BSP-07	DP-167	BSP-07>BSP-51	27	23	12	h	a			
第101図	BSP-08	DP-167		19	18	17	h	d			
第103図	BSP-09	DT-166	BSP-09>SD-105	23	19	22	f	b	土師器小甕1点（第110図480）	平安時代	柱痕跡有
第103図	BSP-10	DT-166	BSP-10>SD-105	43	42	24	e	d			
第103図	BSP-11	DT-166	BSP-11>SD-105	28	27	12	h	d			
第103図	BSP-12	DU-166		32	24	20	h	d			
第103図	BSP-13	DU-166		21	20	13	h	a			
第102図	BSP-14	DR-166		28	26	20	h	b			柱痕跡有
第102図	BSP-15	DR-167	BSP-15>BSK-02	30	30	10	h	d			
第103図	BSP-16	DS-166	BSP-16<BSK-09	(32)	(16)	24	h	e			
第103図	BSP-17	DS-166		38	34	36	h	c			
第103図	BSP-18	DS-166	BSP-18<BSP-19	(30)	(25)	26	f	d			
第103図	BSP-19	DS-166	BSP-19>BSP-18	24	14	40	e	e			
第107図	BSP-20	EB・EC-164	BSP-20>BSP-102	(42)	(22)	28	h	h			
第104図	BSP-21	DU・DV-166		31	25	13	f	a			柱痕跡有
第101図	BSP-22	DO-167	BSP-22>BSK-05	(44)	(10)	50	h	e	土師器甕1点（第110図481）	平安時代	
第102図	BSP-23	DR-166		35	27	15	h	b			
第102図	BSP-24	DR-166		22	16	16	h	d			
第103図	BSP-25	DS-166		34	28	13	e	e			
第103図	BSP-26	DS-166		35	28	19	h	d			
第103図	BSP-27	DT-166		20	(12)	12	h	d			
第103図	BSP-28	DT-166		32	(30)	22	c	c			
第103図	BSP-29	DT-166		26	20	28	h	d			
第103図	BSP-30	DT-166		50	32	8	f	d			
第103図	BSP-31	DT-166	BSP-31<BSK-01<BSE-05	(45)	(24)	15	c	e			
第100図	BSP-32	DO-167		22	20	17	h	d			
第100図	BSP-33	DO-167		18	14	22	h	d			
第102図	BSP-34	DR-166		(32)	(14)	12	h	d			
第101図	BSP-35	DQ-167		(22)	20	60	h	h			
第102図	BSP-36	DR-166		30	26	8	h	d			
第104図	BSP-37	DU-166	BSP-37<BSK-08	40	(22)	23	h	d			
第104図	BSP-38	DV-165	BSP-38<SD-103	27	26	24	e	b			
第104図	BSP-39	DW-166	BSP-39<SD-104	32	(14)	12	d	d			
第105図	BSP-40	DX-165		32	28	18	a	d			
第105図	BSP-41	DX-165		28	28	26	h	a			柱痕跡有
第105図	BSP-42	DX・DY-165		28	(21)	13	e	d			

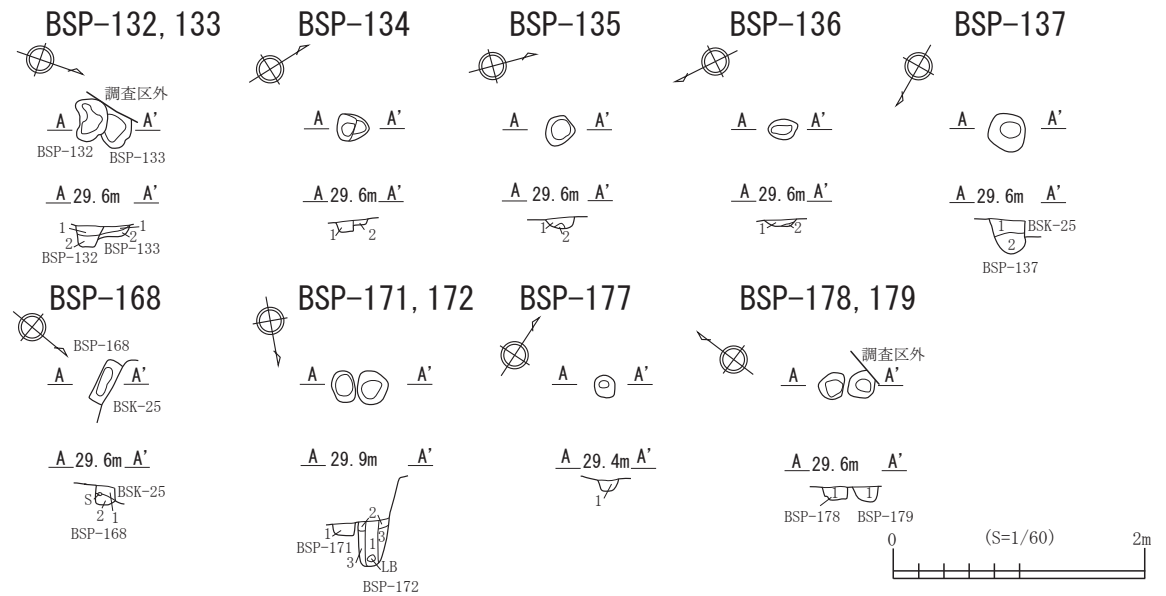
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第102図	BSP-43	DR-166		24	(12)	62	h	h			
第105図	BSP-44	DX-165	BSP-44>SD-98	36	26	19	f	d			
第105図	BSP-45	DX-165	BSP-45>SD-98	34	26	24	f	d			柱痕跡有
第102図	BSP-46	DR-167	BSP-46>BSK-02	(28)	(24)	27	x	d			柱痕跡有
第102図	BSP-47	DR-167	BSP-47>BSK-02	24	(8)	13	x	a			
第102図	BSP-48	DR-166・167	BSK-02<BSP-48<BSP-49	(28)	28	14	c	d			
第102図	BSP-49	DR-166・167	BSP-49>BSP-48	36	(28)	16	h	c			
第104図	BSP-50	DU-166		(40)	(28)	14	f	d			柱痕跡有
第101図	BSP-51	DP-167	BSP-51<BSP-07	36	26	24	f	d			
第101図	BSP-52	DP-167	BSP-52<BSN-02	22	19	9	h	d			
第105図	BSP-53	DY-165		36	26	13	f	e			
第105図	BSP-54	DY-165	BSP-55>BSP-54> BSP-84,BSP-94	32	(17)	28	h	d			
第105図	BSP-55	DY-165	BSP-55>BSP-54	38	28	36	f	d			
第105図	BSP-56	DY-165	BSP-56>BSP-93	42	40	8	h	d	土師器甕1点（第110図482）	平安時代	
第105図	BSP-57	DY-165		30	(15)	18	f	h			
第105図	BSP-58	DY-165		22	15	16	f	d			
第106図	BSP-59	DY-165		33	(13)	23	h	d			
第106図	BSP-60	DY-165		24	24	28	h	d			
第106図	BSP-61	DY-165	BSP-61<BSP-62	(18)	16	8	f	d			柱痕跡有
第106図	BSP-62	DY-165	BSP-62>BSP-61	22	16	21	e	d			
第102図	BSP-63	DQ-166	BSP-63>BSK-10	40	28	20	f	d			柱痕跡有
第102図	BSP-64	DQ-166・167	BSP-79>BSP-64>BSK-10	26	(20)	20	f	d			
第102図	BSP-65	DQ-166		29	22	16	f	c			
第102図	BSP-66	DQ-166		21	20	15	c	d			
第102図	BSP-67	DQ-167		23	22	25	h	d			
第101図	BSP-68	DQ-167		30	22	15	f	d			
第101図	BSP-69	DQ-167		24	15	14	f	d			
第101図	BSP-70	DP-167	BSP-70>BSI-04	40	30	20	f	d			
第102図	BSP-71	DQ・DR-166		33	30	12	h	d			
第101図	BSP-72	DP-167	BSP-78と新旧不明	20	(16)	14	x	d			
第101図	BSP-73	DP-167	BSP-74>BSP-73<BSN-02	20	(12)	6	f	d			
第101図	BSP-74	DP-167	BSP-73<BSP-74<BSN-02	20	20	10	f	d			
第104図	BSP-75	DV-166		27	22	16	f	d			
第101図	BSP-76	DO-167		24	20	24	f	a	土師器坏1点（第110図483）	平安時代	柱痕跡有
第101図	BSP-77	DP-167	BSP-77<SD-15<BSK-12	(14)	(8)	34	e	a			柱痕跡有
第101図	BSP-78	DP-167	BSP-72と新旧不明	(22)	18	16	f	e			
第102図	BSP-79	DQ-166・167	BSP-79>BSP-64>BSK-10	30	20	10	f	d			
第105図	BSP-80	DY-165		25	(12)	62	h	a			
第106図	BSP-81	EA-165		36	34	18	h	h			
第106図	BSP-82	DZ-165		36	36	14	h	d			
第106図	BSP-83	DZ-165		19	18	10	h	h			
第105図	BSP-84	DY-165	BSP-54>BSP-84>BSP-94	22	(16)	12	h	d			
第106図	BSP-85	DY・DZ-165	BSP-85>SD-96	(40)	(18)	20	f	d			
第106図	BSP-86	DZ-165		40	(33)	13	e	d			
第106図	BSP-87	DZ-165		35	(30)	14	f	c			柱痕跡有
第104図	BSP-88	DU-166	BSP-88>BSK-08	30	(20)	12	f	d			
第107図	BSP-89	EB-164	BSP-89<BSK-13	19	18	40	h	d			
第106図	BSP-90	DZ-165	BSE-01>BSP-90>SD-96	34	24	16	h	e			
第107図	BSP-91	EB-164		22	20	19	h	a			柱痕跡有
第105図	BSP-92	DY-165		22	16	16	f	d			柱痕跡有
第105図	BSP-93	DY-165	BSP-93<BSP-56	22	18	5	h	d			
第105図	BSP-94	DY-165	BSP-94<BSP-54	32	(14)	32	f	d			
第108図	BSP-95	EE-164		26	22	16	h	d			柱痕跡有
第108図	BSP-96	EE・EF-163		32	20	24	f	e			
第108図	BSP-97	EE-164		34	26	14	f	d			
第108図	BSP-98	EE-164		20	16	8	h	d			
第107図	BSP-99	EC-164		24	22	20	h	d			柱痕跡有
第107図	BSP-100	EC-164		28	26	6	h	d			
第107図	BSP-101	EC-164		24	20	12	h	d			
第107図	BSP-102	EB・EC-164	BSP-102<BSP-20	36	(36)	8	e	d			
第107図	BSP-103	EC-164		28	17	11	b	a			
第107図	BSP-104	EC・ED-164	BSP-104>SD-81	30	22	12	f	d			
第107図	BSP-105	ED-164	BSP-105>SD-81	16	16	6	h	d			
第108図	BSP-106	EF-163		28	24	26	h	d			柱痕跡有
第108図	BSP-107	EF・EG-163		24	22	22	h	d			
第108図	BSP-108	EF-164	BSP-108<BSK-23	(30)	(12)	12	x	d			
第109図	BSP-109	EH-163	BSP-109>BSI-03	26	20	15	h	g			
第108図	BSP-110	EF-163		18	12	4	f	d			
第108図	BSP-111	EF-163		38	34	8	h	d			
第105図	BSP-112	DX-165	BSP-112>SD-98	(32)	30	24	f	d			
第109図	BSP-113	EI-163		34	21	12	f	d			柱痕跡有
第109図	BSP-114	EI-163		43	(30)	18	f	d			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第107図	BSP-115	ED-164		28	20	26	h	d			
第109図	BSP-116	EL-162	BSP-116>SD-57	28	27	18	h	d			
第109図	BSP-117	EK-162	BSP-117>SD-57	28	27	18	h	d			柱痕跡有
第108図	BSP-118	EE-164		36	18	31	h	d			
第109図	BSP-119	EI-163		16	13	10	h	d			
第109図	BSP-120	EL-162	BSP-120<SD-60>SD-57	24	22	40	h	d			
第109図	BSP-121	EL-162	BSP-121>SD-57	46	30	40	f	j			
第109図	BSP-122	EL-162	BSP-122>SD-57	42	30	18	f	e			
第109図	BSP-123	EL-162	BSP-123>SD-57	36	28	14	f	e			
第109図	BSP-124	EK-162		24	20	23	h	d			
第109図	BSP-125	EK-162		20	16	18	h	d			柱痕跡有
第109図	BSP-126	EK-162		26	24	14	e	d	土師器小甕1点（第110図484）	平安時代	
第98図	BSP-127	EL-166		32	26	20	f	d			柱痕跡有
第98図	BSP-128	EL-166		22	21	7	h	d			
第98図	BSP-129	EL-166		21	20	26	h	d			
第98図	BSP-130	EL-166	BSP-130>SD-53	30	24	36	h	a			
第98図	BSP-131	EL-166		30	22	20	h	a			
第97図	BSP-132	DX-169	BSP-132>BSP-133	(24)	20	9	e	d			
第97図	BSP-133	DX-169	BSP-133<BSP-132	33	30	17	e	d			
第97図	BSP-134	DW-169		25	21	8	f	e			
第97図	BSP-135	DW-169		23	21	8	h	d			
第97図	BSP-136	DW-169		24	16	6	f	d			
第97図	BSP-137	DW-169	BSP-137>BSK-25	30	15	27	e	d			
第98図	BSP-139	EL-166	BSP-139>SD-53	38	(25)	51	h	b			
第98図	BSP-140	EM・EL-165		20	19	25	h	d			
第98図	BSP-141	EM-165		36	24	25	e	e			
第98図	BSP-142	EM-166	BSP-142>BSP-143, BSN-05	48	40	8	e	d			
第98図	BSP-143	EM-166	BSP-142>BSP-143>BSN-05	47	(23)	11	e	d			
第99図	BSP-144	EN-165		20	15	8	h	d			
第99図	BSP-145	EN-165		19	12	14	h	d			
第99図	BSP-146	EO-165		30	29	29	e	e			柱痕跡有
第99図	BSP-147	EO-165		26	22	22	a	h			
第99図	BSP-148	EO-165		30	24	42	f	a			柱痕跡有
第99図	BSP-149	EO-165	BSP-149<BSP-150	33	(18)	13	h	d			柱痕跡有
第99図	BSP-150	EO-165	BSP-150>BSP-149	38	(21)	10	f	d			
第99図	BSP-151	EO-165	BSP-151<BSP-152	38	(21)	10	f	d			
第99図	BSP-152	EO-165	BSP-152>BSP-151	20	15	12	h	a			
第99図	BSP-153	EO-165	BSP-153<BSK-26	34	(26)	28	e	b			
第99図	BSP-154	EO-165		40	37	42	f	d			柱痕跡有
第99図	BSP-155	EO-165	BSP-155>SD-47	38	34	36	e	e			柱根残存
第105図	BSP-156	DX-165	BSP-156>SD-98	30	26	8	e	a			
第99図	BSP-157	EO-165	BSP-157>BSK-27	(40)	(20)	40	e	h			柱痕跡有
第100図	BSP-158	EO・EP-165	BSP-158>BSK-29	40	31	26	e	d			
第100図	BSP-159	EN-165		26	23	10	h	d			
第100図	BSP-160	EN-165		24	20	10	h	d			
第98図	BSP-161	EM-166	BSP-161<SD-51	22	(19)	23	h	a			
第98図	BSP-162	EL-166	BSP-162<SD-52	24	23	18	h	a			
第98図	BSP-163	EL-166		28	28	14	h	d			柱痕跡有
第100図	BSP-164	EN-165		(30)	28	23	f	d			
第100図	BSP-165	EO-165	BSE-02<BSP-165>SD-02	42	(26)	52	e	e			
第100図	BSP-166	EO-165	BSP-166>SD-47	29	19	46	h	b			
第105図	BSP-167	DX-165		32	18	36	f	e			
第97図	BSP-168	DW・DX-169		34	(20)	16	c	i			
第98図	BSP-169	EM-165		(25)	18	23	g	c			柱痕跡有
第100図	BSP-170	EO-165	BSP-170<SD-02	21	18	42	h	a			
第97図	BSP-171	DX-169		24	18	10	d	h			
第97図	BSP-172	DX-169		24	16	36	d	f			柱痕跡有
第100図	BSP-173	EN-165・166	BSP-173>BSE-04	36	33	12	e	d			柱痕跡有
第100図	BSP-174	EN-165	BSP-174>BSE-04	18	17	8	h	d			
第100図	BSP-175	EN-165	BSP-175<BSK-30	31	24	42	h	d			
第100図	BSP-176	EN-165	BSP-176<BSK-30	26	15	12	g	h			
第97図	BSP-177	DX-169		18	16	10	h	d			
第97図	BSP-178	DX-169		20	(14)	13	h	d			
第97図	BSP-179	DX-169		24	22	12	h	d			
第105図	BSP-180	DX-165	BSP-180>SD-98	26	26	12	h	h			



第96図　川原館遺跡Ｂ区SP分割図





BSP-132
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、焼土粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～20mm)中量

BSP-133
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、焼土粒(φ1～2mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量、
焼土粒(φ1～3mm)微量

BSP-134
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)中量、焼土粒(φ1～3mm)微量

BSP-135
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量

BSP-136
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)多量

BSP-137
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)中量

BSP-168
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)微量、
焼土粒(φ1～20mm)少量
第2層　10YR1.7/1黒色土と10YR3/1黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～15mm)中量

BSP-171
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

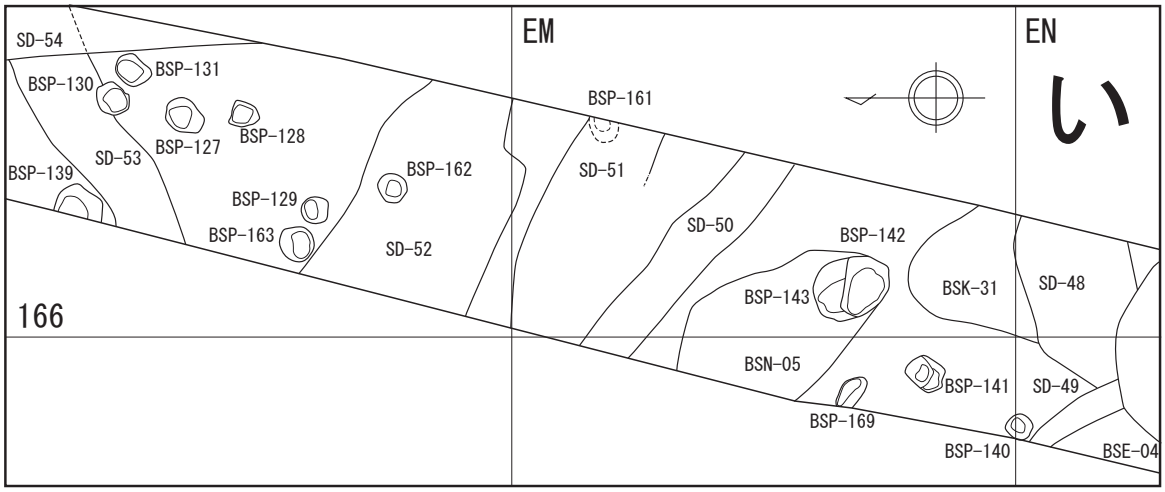
BSP-172
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10～50mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～20mm)中量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10mm)中量

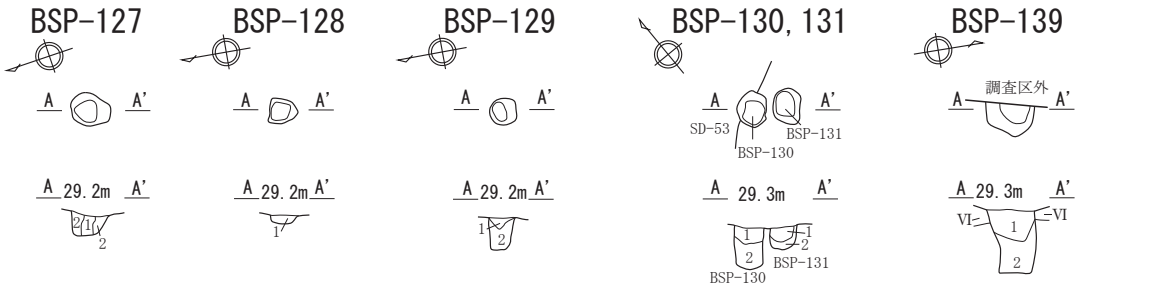
BSP-177
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ5～10mm)多量、
ロームブロック(φ20mm)微量、
焼土粒(φ5～10mm)微量

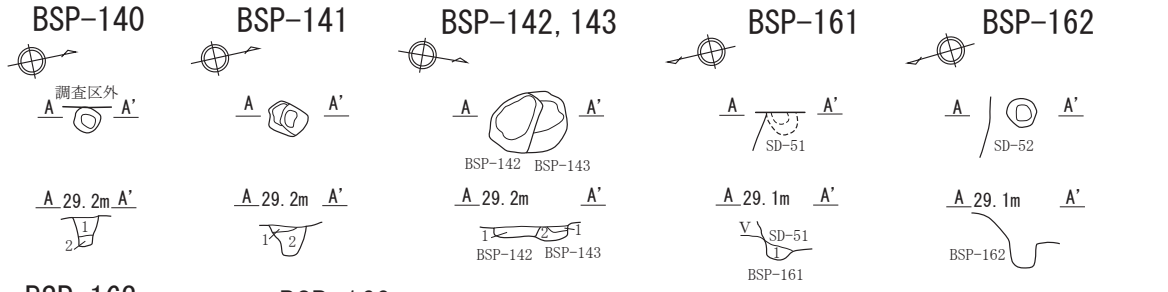
BSP-178
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、
焼土粒(φ1～2mm)微量

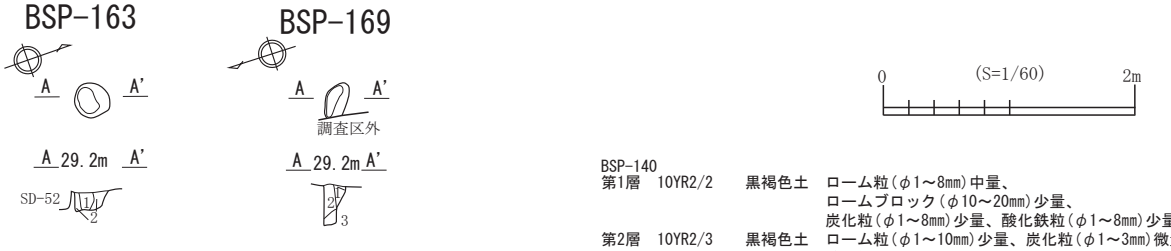
BSP-179
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、
焼土粒(φ1～2mm)微量

第97図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図あ









BSP-127
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-128
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量

BSP-129
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)中量、焼土粒(φ1～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-130
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-131
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量

BSP-139
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量、礫(φ1～5mm)中量

BSP-140
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量

BSP-141
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量、礫(φ1～8mm)中量

BSP-142
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量

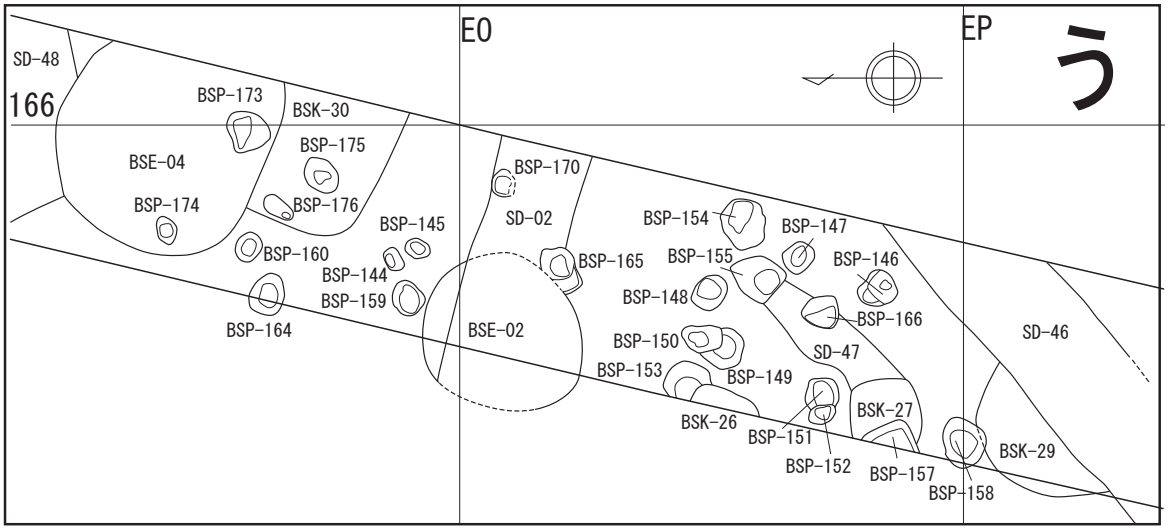
BSP-143
第1層　10YR1.7/1　黒色土　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層　ロームブロック(φ20～50mm)多量

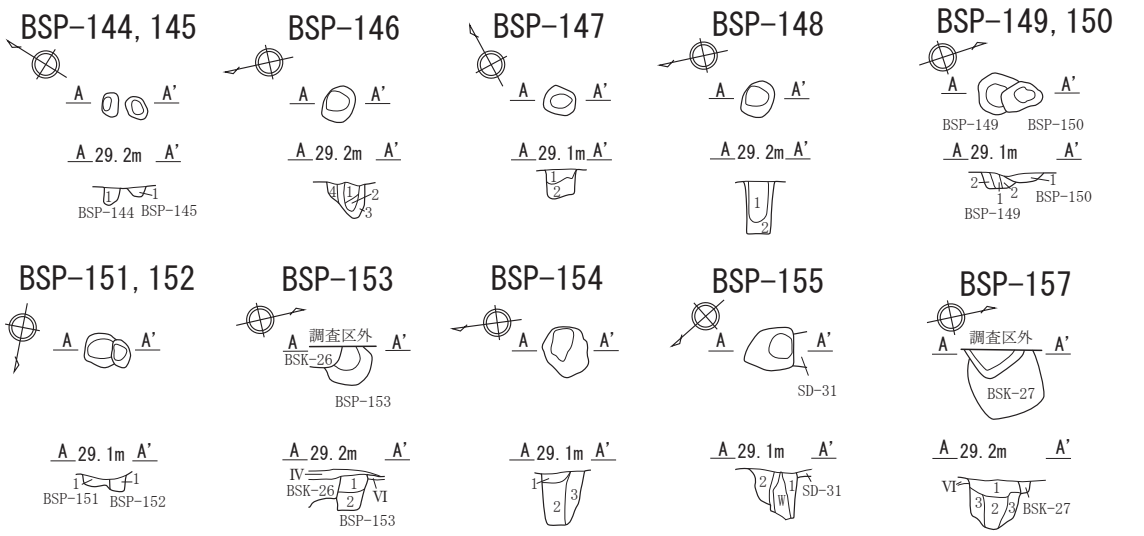
BSP-161
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-163
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

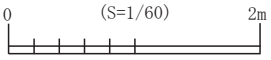
BSP-169
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

第98図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図い



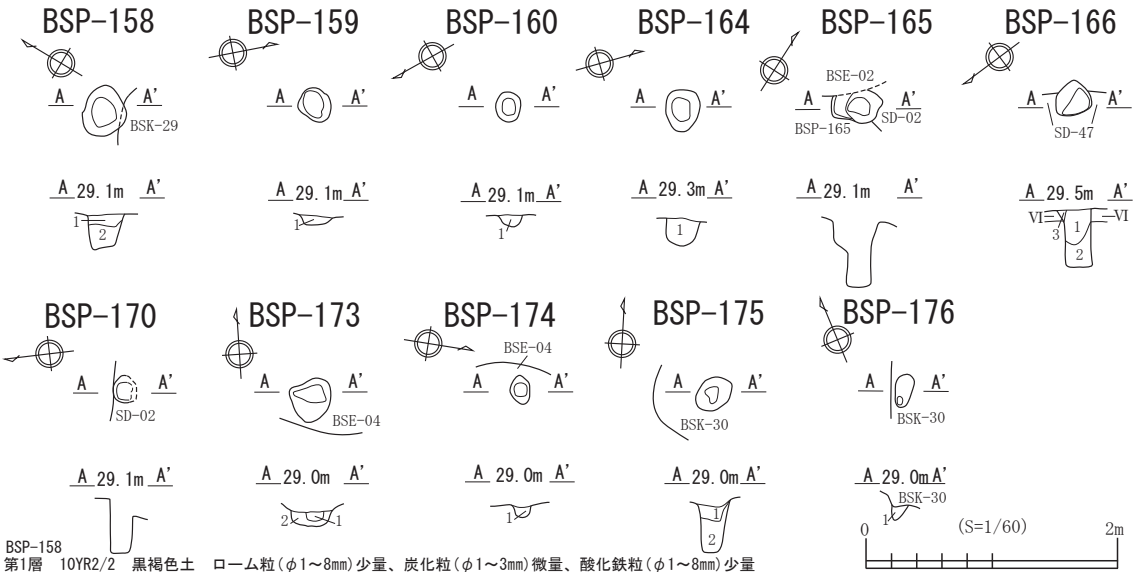


BSP-144
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
BSP-145
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量

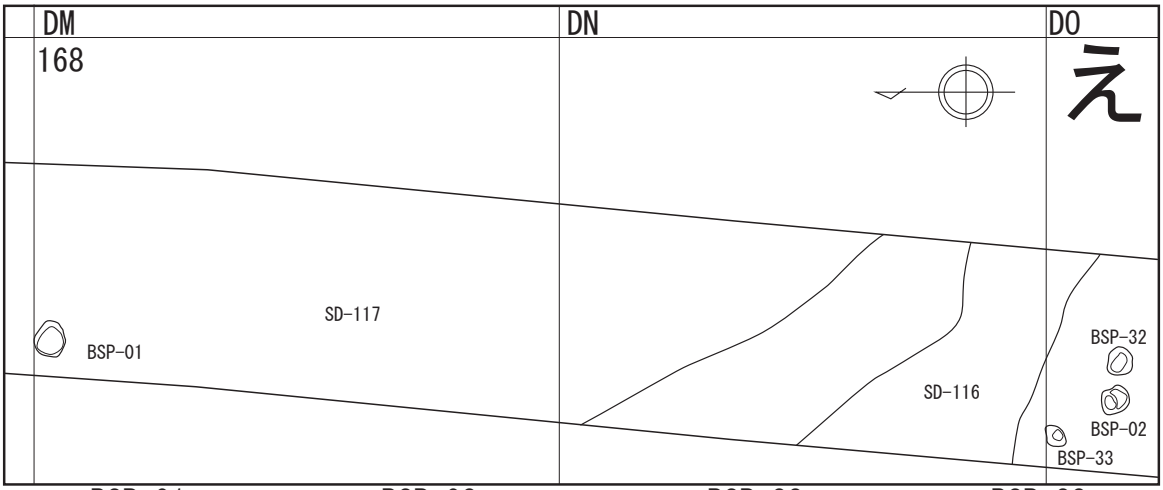


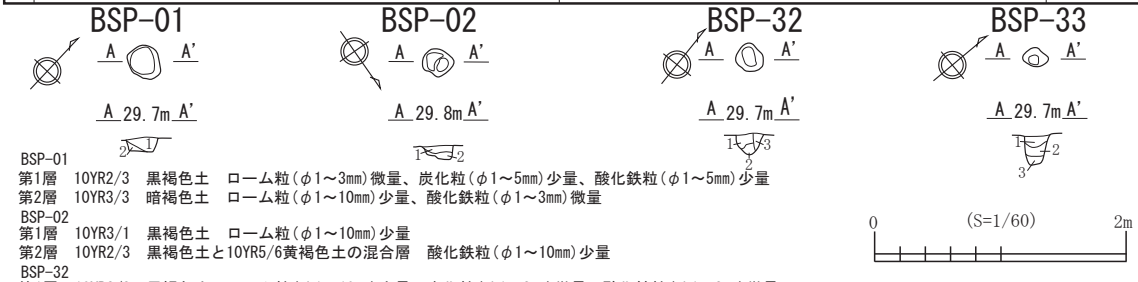
BSP-146
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)多量、焼土粒(φ1～5mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-147
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-148
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
BSP-149
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
BSP-150
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-151
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-152
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-153
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
BSP-154
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-155
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～25mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
BSP-157
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量、礫(φ1～5mm)少量

第99図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図う・う（1）



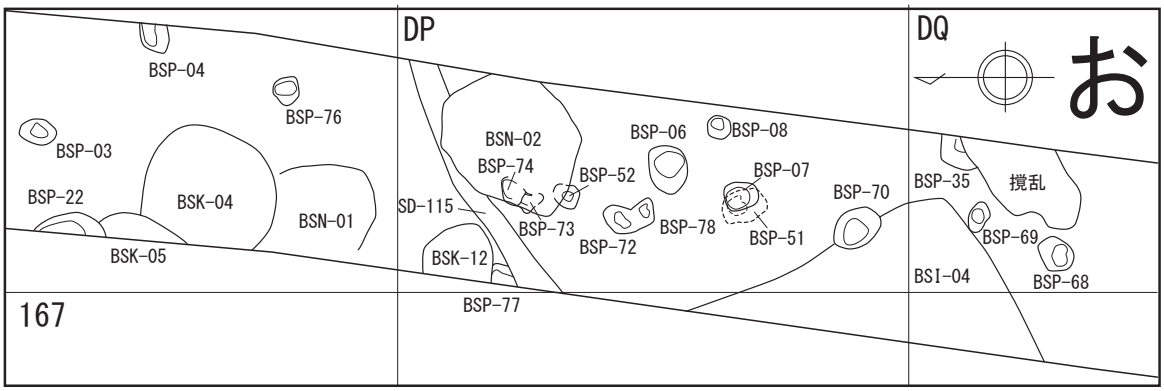
BSP-158
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
BSP-159
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
BSP-160
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-164
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-166
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-173
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
BSP-174
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-175
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
BSP-176　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

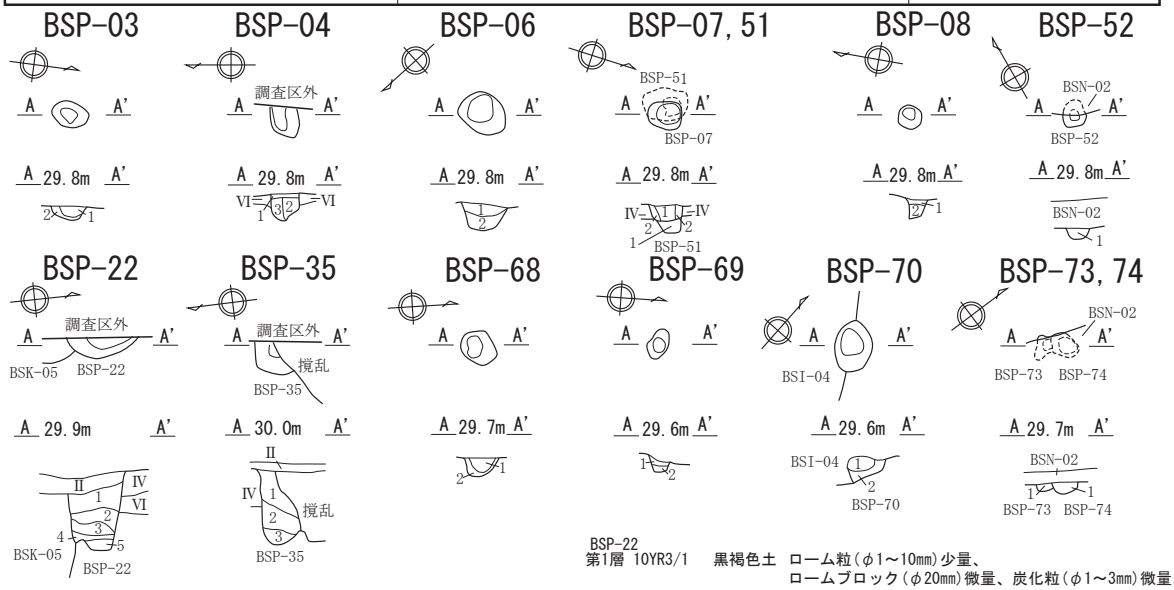


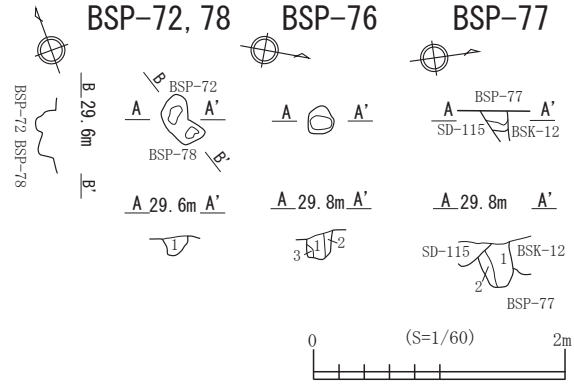


BSP-01
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-02
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
BSP-32
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
BSP-33
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

第100図　川原館遺跡Ｂ区SPう（２）・SP区分図え



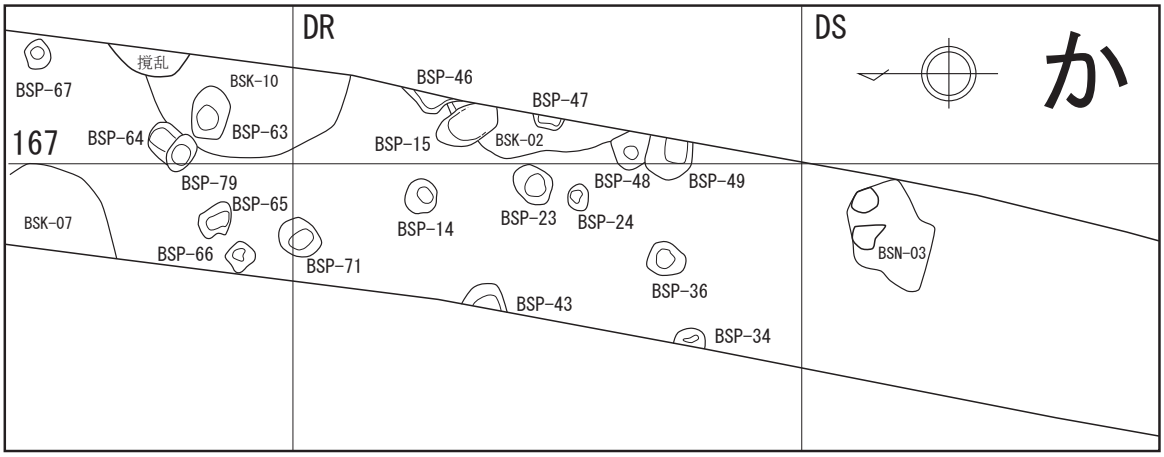


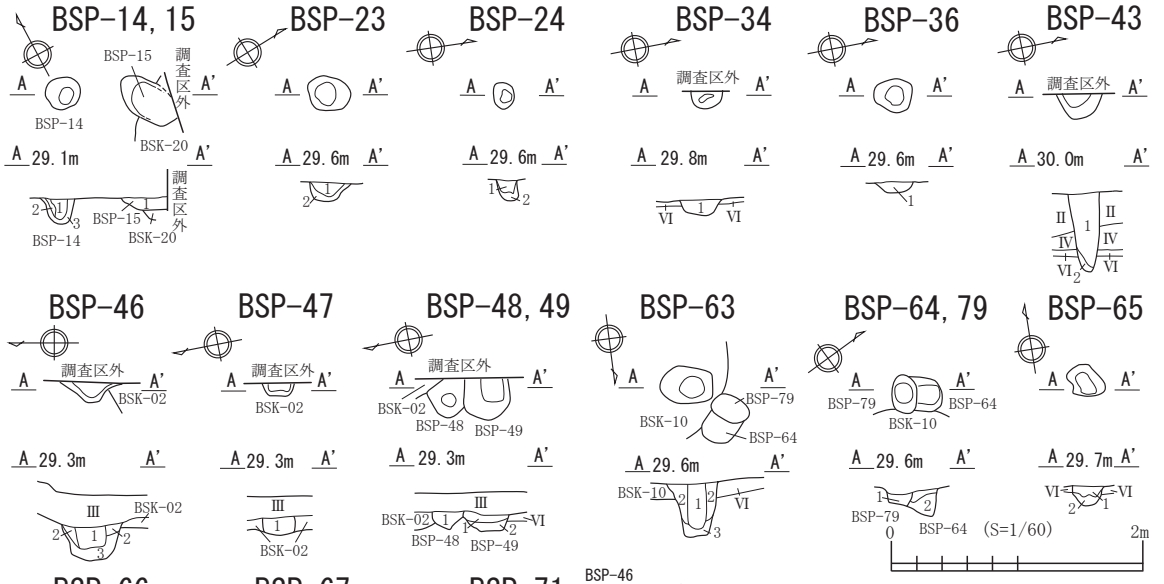


BSP-03
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、
ロームブロック(φ15～30mm)少量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層
BSP-04
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-06
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
焼土粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
焼土粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-07
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
BSP-08
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、
炭化粒(φ1～3mm)微量

BSP-22
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～3mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第5層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
BSP-35
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ20～50mm)中量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、
ロームブロック(φ20mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～30mm)微量
第3層 10YR2/1 黒色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
BSP-51
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、
ロームブロック(φ10～15mm)微量、
炭化粒(φ1～10mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)多量
BSP-52
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
BSP-68
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
BSP-69
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量
BSP-70
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
BSP-72
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)少量
BSP-73
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1mm)極微量
BSP-74
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)微量
BSP-76
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)極微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR5/4 にぶい黄褐色土と10YR2/1黒色土の混合層
BSP-77
第1層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～30mm)多量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

第101図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図お





BSP-14
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ20～50mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、
ロームブロック(φ10～15mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR1.7/1黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)多量

BSP-15
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSP-23
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-24
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層　焼土粒(φ1～5mm)微量

BSP-34
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSP-36
第1層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
ロームブロック(φ20～50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-43
第1層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR5/3　にぶい黄褐色土
ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～30mm)多量

BSP-46
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR3/1　黒褐色土と10YR3/2暗褐色土の混合層
ローム粒(φ1～5mm)中量、
ロームブロック(φ10～30mm)中量

BSP-47
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、炭化物(φ10mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSP-48
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～7mm)微量

BSP-49
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-63
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～25mm)多量、
炭化粒(φ1～9mm)、炭化物ブロック(φ10～15mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSP-64
第1層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～20mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)少量

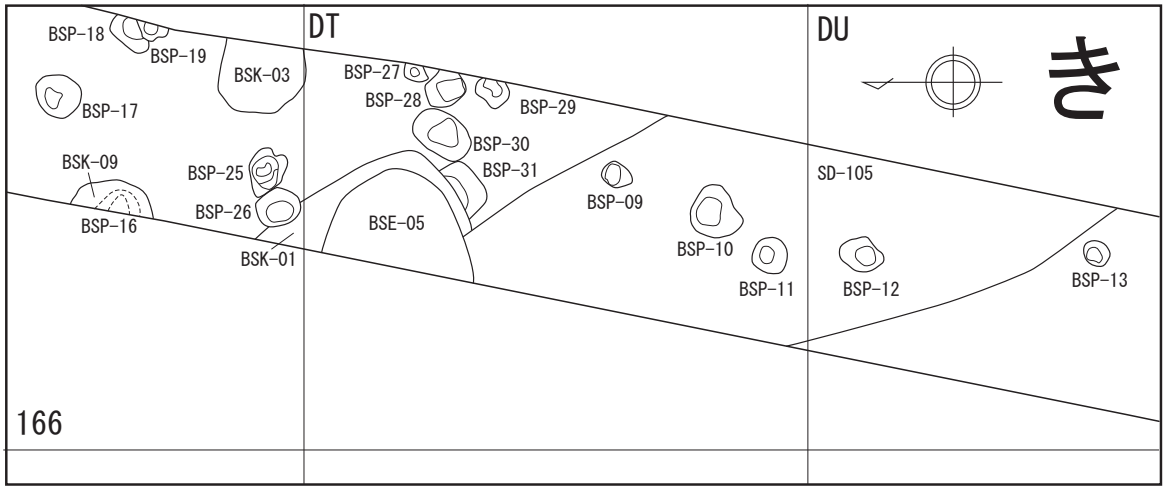
BSP-65
第1層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量

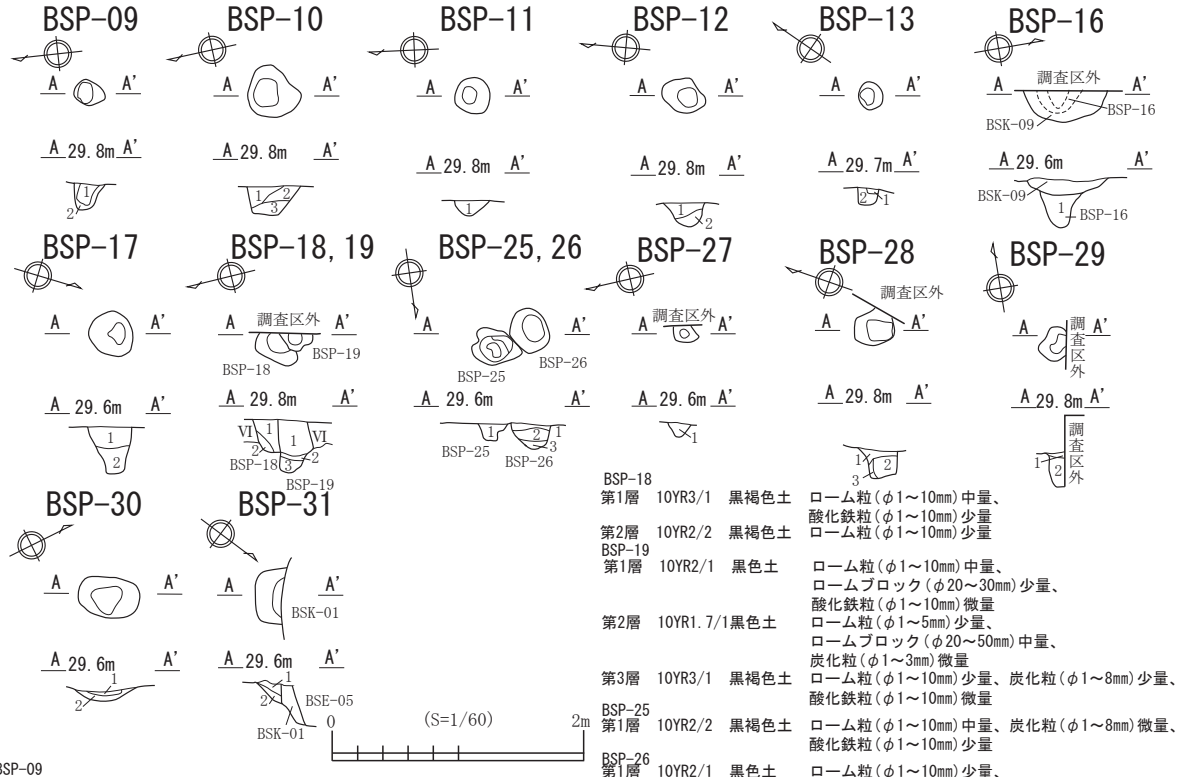
BSP-66
第1層 10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSP-67
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSP-71
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～15mm)微量、
炭化粒(φ1～10mm)微量

第102図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図か





BSP-09
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ20mm)微量

BSP-10
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～100mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、ロームブロック(φ20～100mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

BSP-11
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

BSP-12
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～4mm)微量

BSP-13
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量

BSP-16
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量

BSP-17
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

BSP-18
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量

BSP-19
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量

BSP-25
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

BSP-26
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-27
第1層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

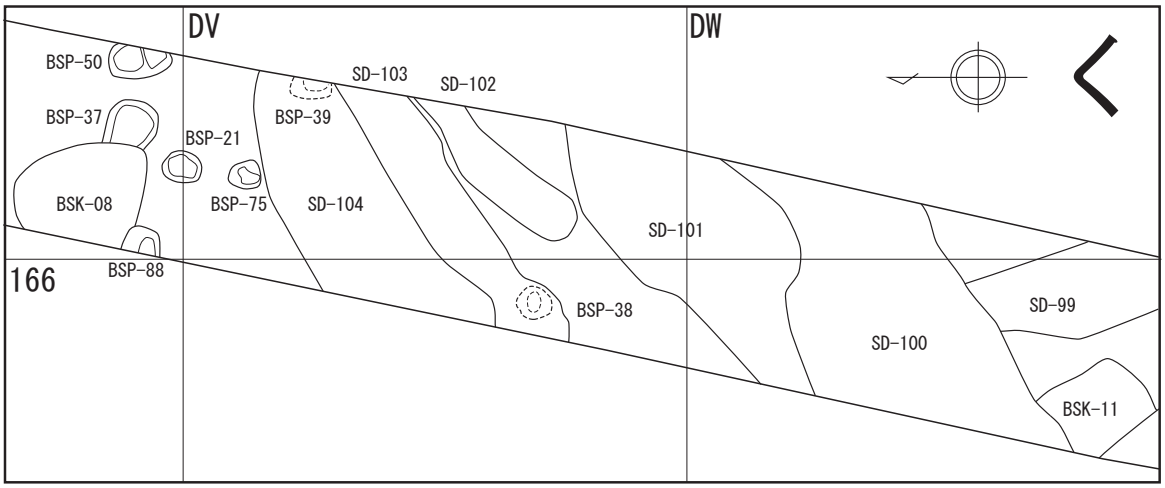
BSP-28
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量

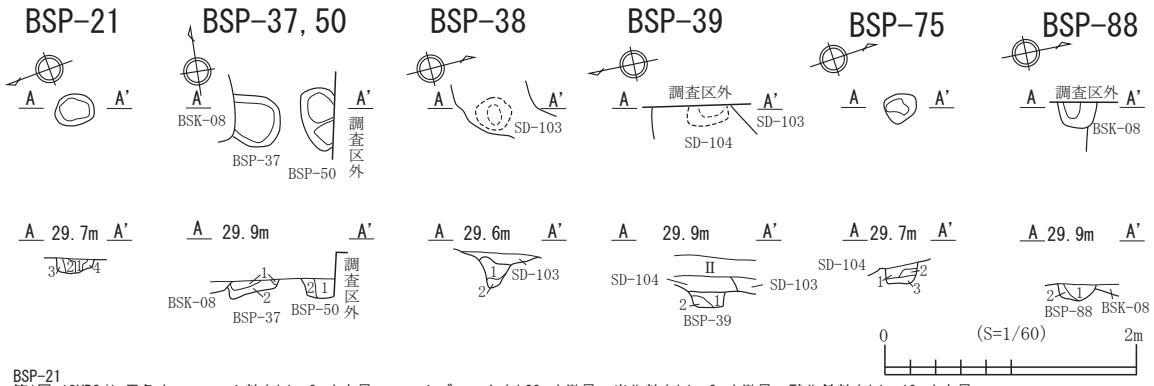
BSP-29
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量

BSP-30
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

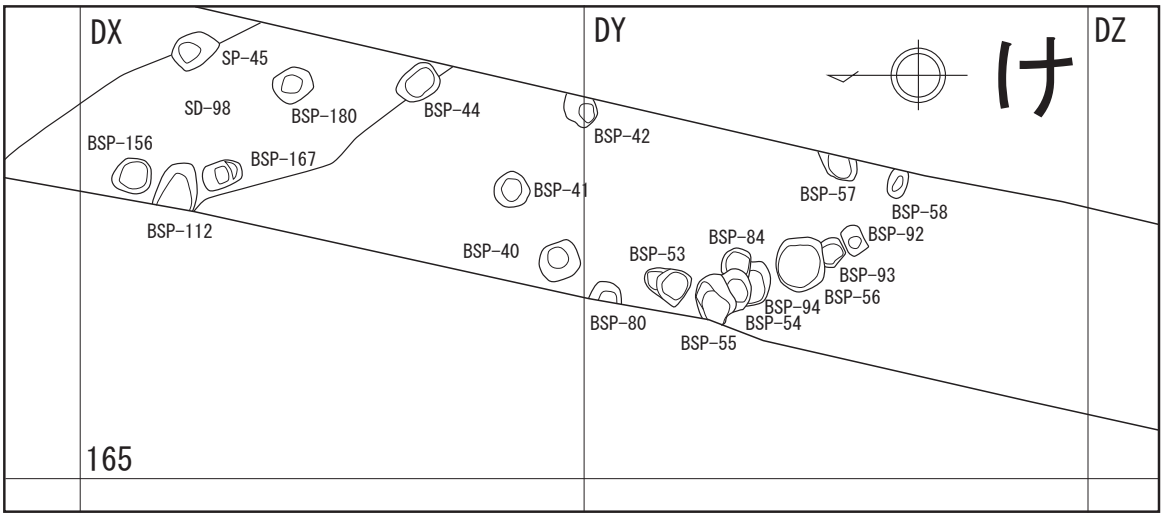
BSP-31
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量

第103図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図き

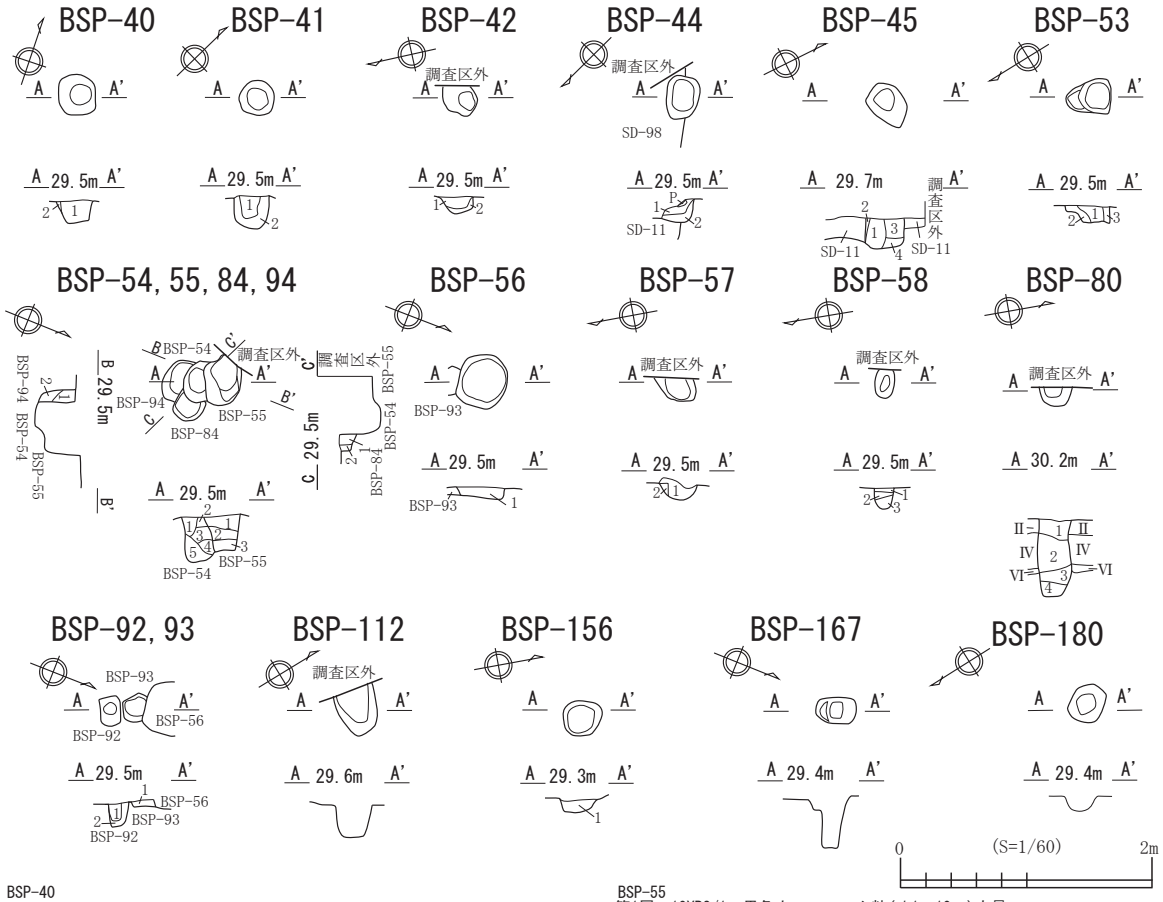




BSP-21
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第4層 10YR3/2 黒褐色土と10YR5/8黄褐色ロームの混合層
BSP-37
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR4/6 褐色土と10YR5/8黄褐色ロームの混合層
BSP-38
第1層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
BSP-39
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土と10YR5/8黄褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
BSP-50
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-75
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)多量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)中量
BSP-88
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR5/8黄褐色ロームの混合層



第104図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図く・け



BSP-40
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/8黄褐色土の混合層

BSP-41
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-42
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR4/6褐色ロームの混合層

BSP-44
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(1～10mm)中量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

BSP-45
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第4層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量

BSP-53
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

BSP-54
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR3/1　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第5層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

BSP-55
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ15～30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-56
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

BSP-57
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-58
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量

BSP-80
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第4層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)極微量

BSP-84
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量

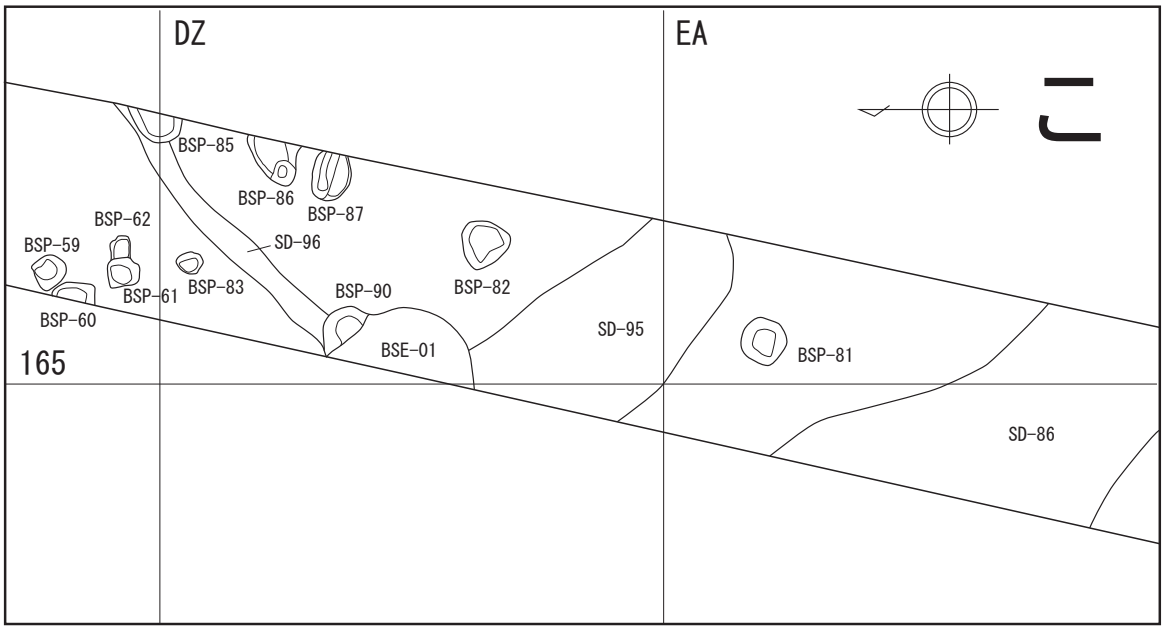
BSP-92
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

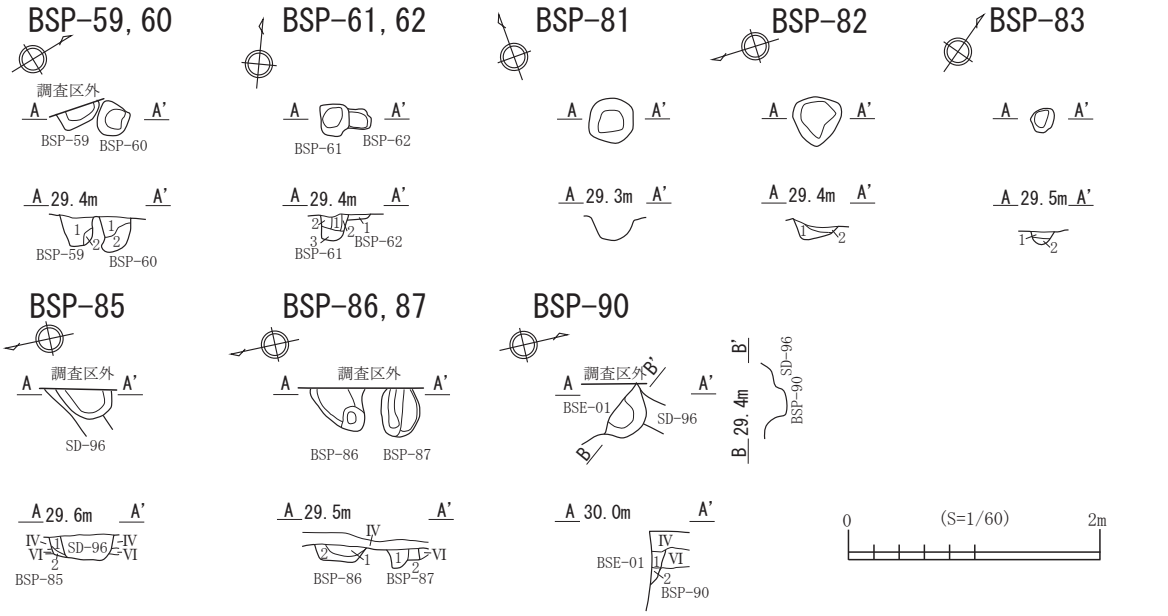
BSP-93
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-94
第1層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

BSP-156
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ15～20mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

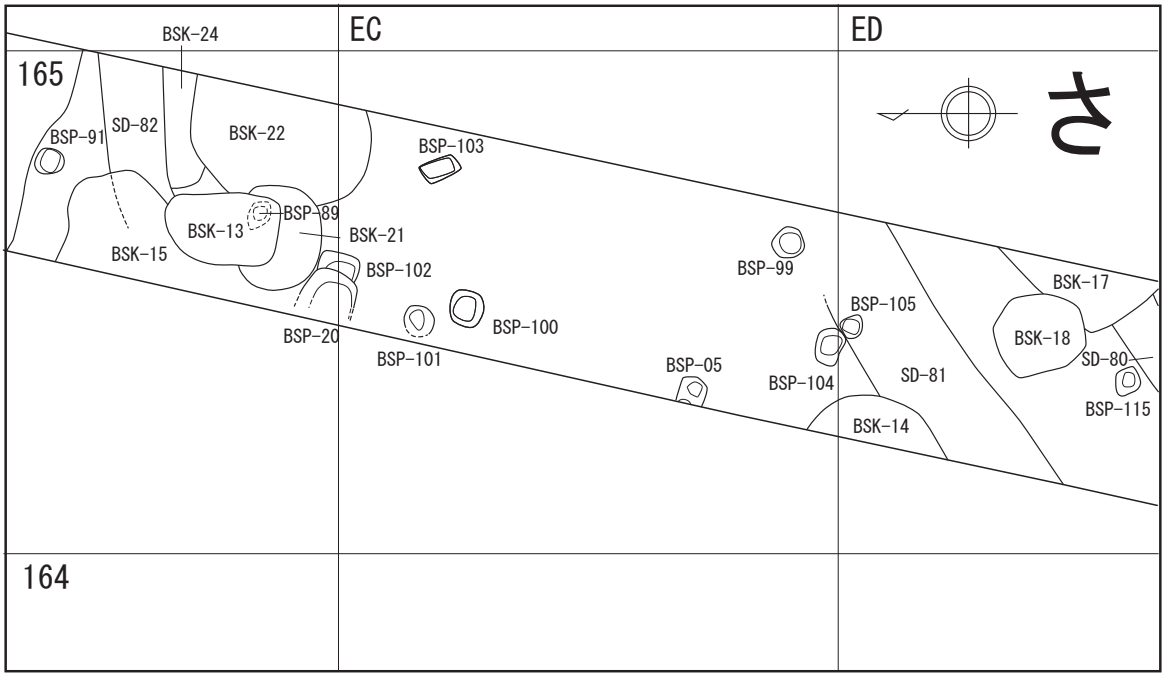
第105図　川原館遺跡Ｂ区SPけ

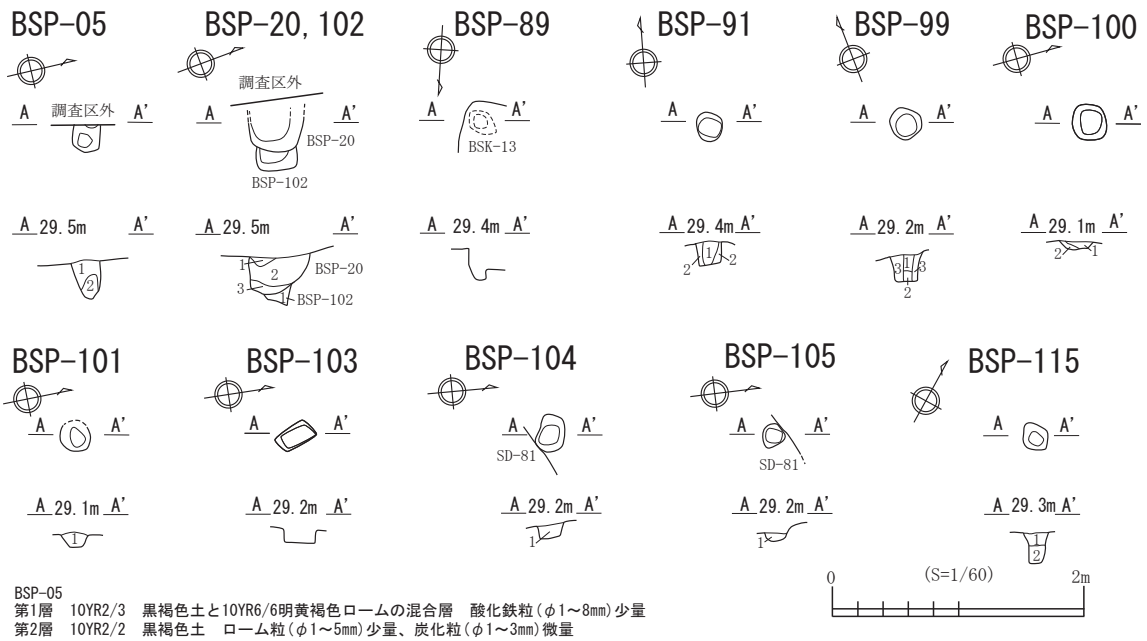




BSP-59
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
BSP-60
第1層　10YR3/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
BSP-61
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第3層　10YR1.7/1黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-62
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
BSP-82
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量
BSP-83
第1層　10YR1.7/1黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ2mm)微量
BSP-85
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-86
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
BSP-87
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
BSP-90
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ25mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量

第106図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図こ





BSP-05
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量

BSP-20
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-91
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-99
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～30mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-100
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

BSP-101
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量、礫(φ1～5mm)少量

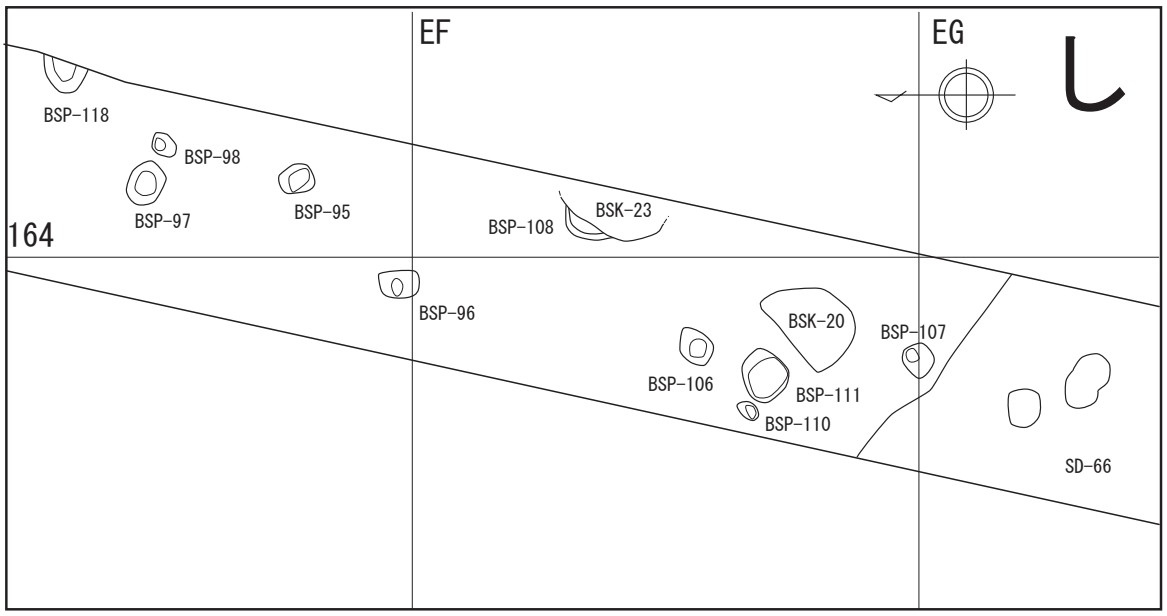
BSP-102
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量、小礫(φ5mm)少量

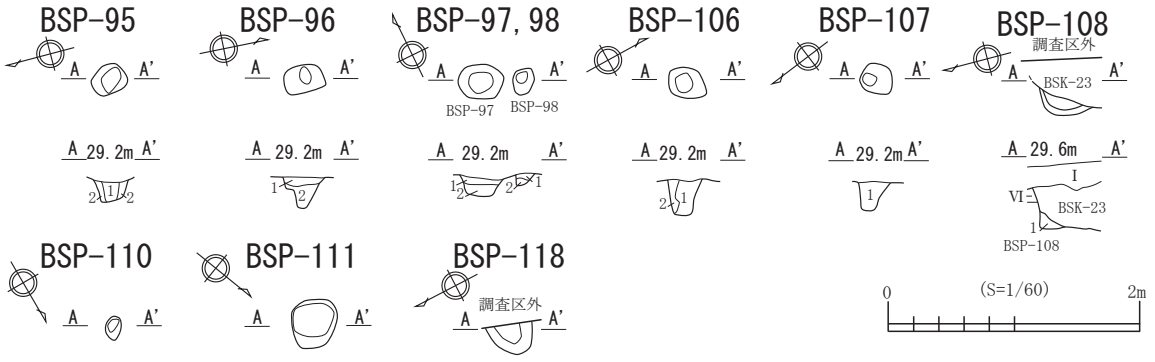
BSP-104
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-105
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

BSP-115
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量

第107図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図さ





BSP-95
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ15mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)中量、ロームブロック(φ40mm)多量

BSP-96
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量

BSP-97
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量

BSP-98
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)微量

BSP-106
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量、礫(φ1～15mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、礫(φ1～20mm)少量

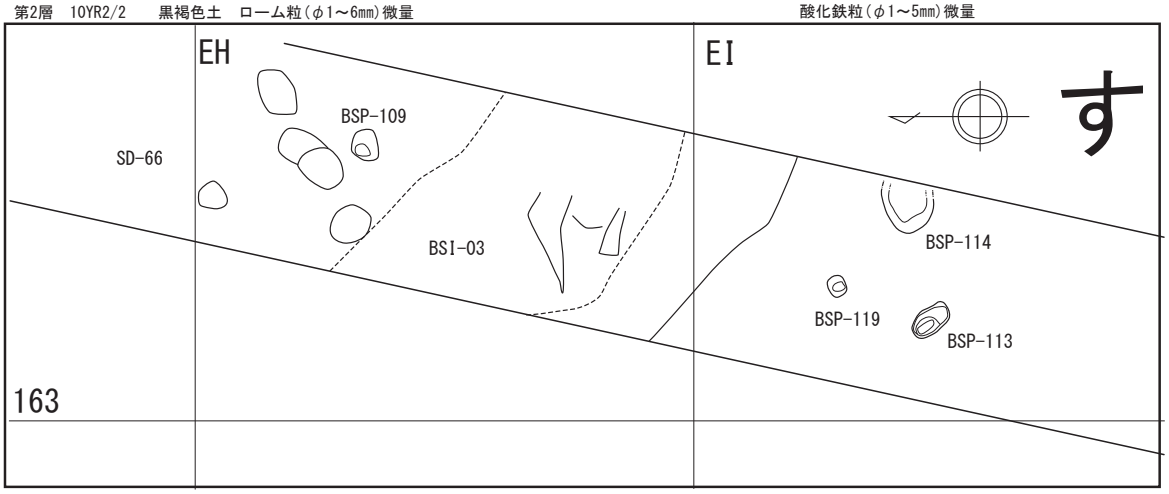
BSP-107
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量

BSP-108
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層

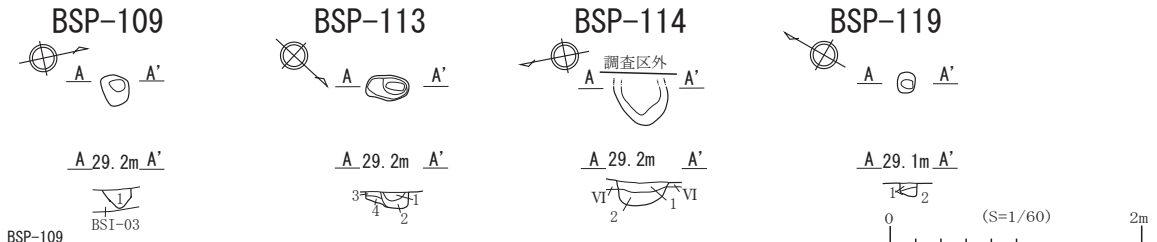
BSP-110
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量

BSP-111
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

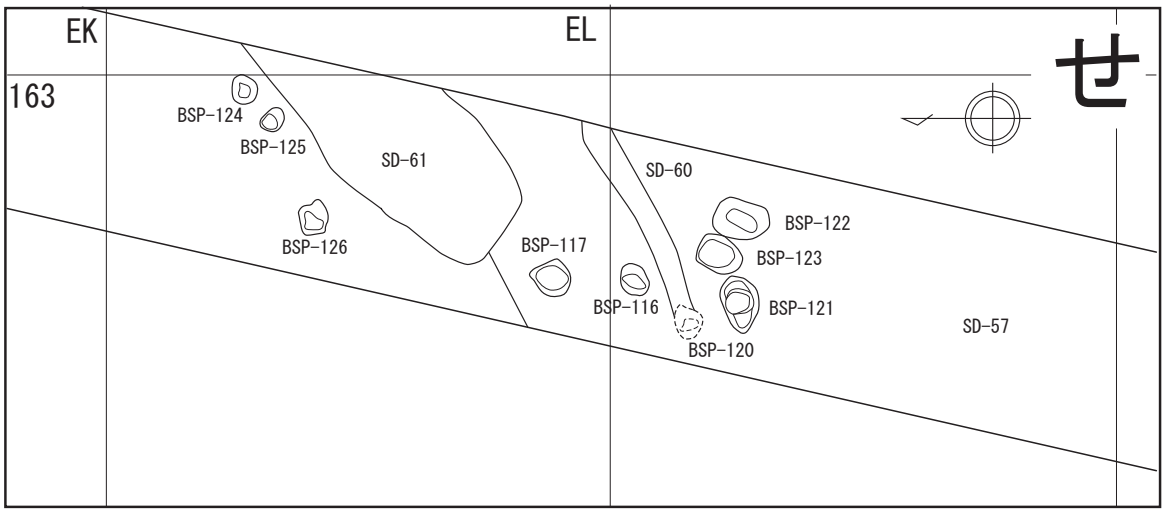
BSP-118
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

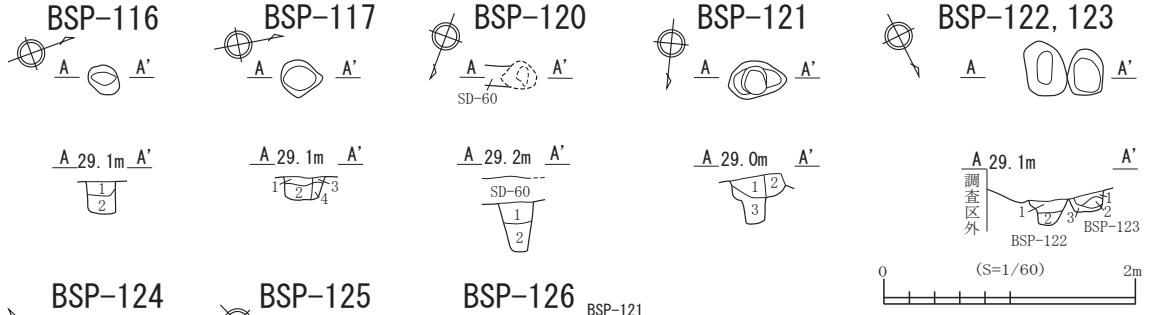


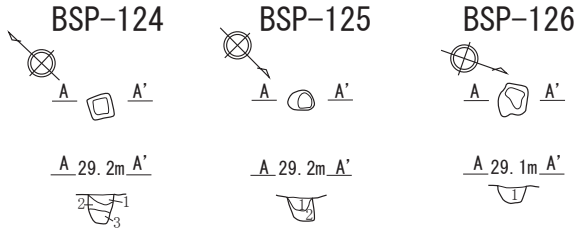
第108図　川原館遺跡Ｂ区SP区分図し・す



BSP-109
第1層　10YR1.7/1 黒色土と10YR3/1黒褐色土　ロームブロック(φ10～20mm)中量
BSP-113
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　7.5YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/4　暗褐色土と10YR2/1黒色土の混合層
BSP-114
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR5/3　にぶい黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
BSP-119
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

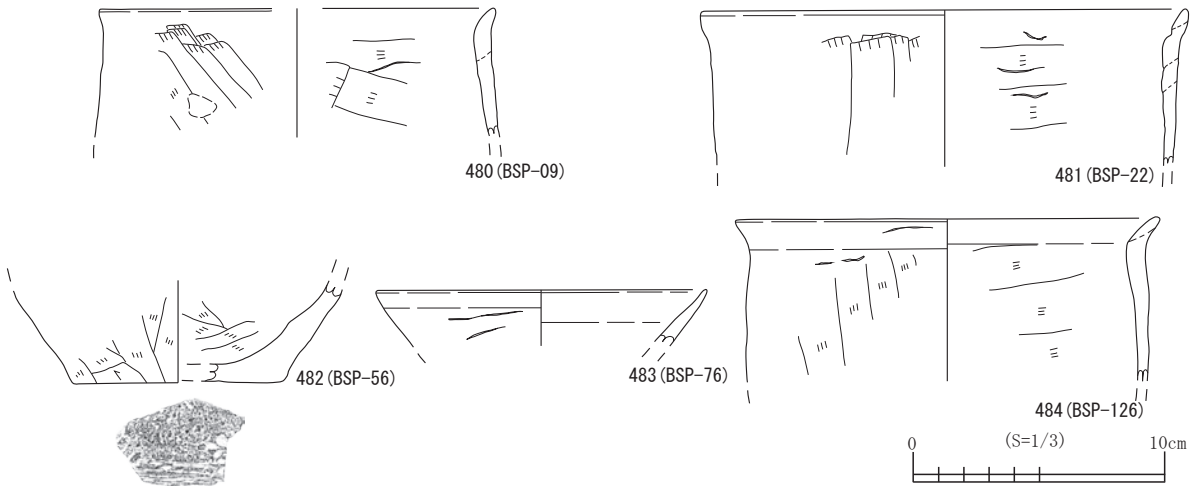






BSP-116
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化物ブロック(φ15mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ15～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-117
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～4mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第4層　7.5YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量
BSP-120
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)、炭化粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
BSP-121
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ5～10mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
BSP-122
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
BSP-123
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～9mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)微量
BSP-124
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
BSP-125
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
BSP-126
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第109図　川原館遺跡Ｂ区SPす・SP区分図せ



第110図　川原館遺跡Ｂ区出土土器SP

８．遺構外出土遺物

（1）土器

土師器小皿１点、皿17点、小坏１点、坏99点、甕88点、小甕22点、壺７点、堝２点、羽釜１点、ミニチュア土器３点、擦文土器２点、須恵器坏１点、鉢１点、壺11点、甕62点、製塩土器２点、かわらけ１点、珠洲壺３点、擂鉢２点、甕５点、常滑大甕２点、壺１点、陶磁器２点を図示した（第111～125図485～820）。485は非ロクロの小皿である。皿は17点のうち、非ロクロ５点（486～490）、ロクロ調整12点（491～502）である。非ロクロ皿のうち、底部の残存するものはいずれも静止糸切である。499はロクロ調整が施されており、内面はロクロ調整の後、ヘラナデが施されている。502は台付皿である。ロクロ調整であるが、底部切離しは認められず、高台は後付けである。503は小坏で丸みを帯びるような形状を呈する。坏は99点のうち、非ロクロ42点（504～545）、ロクロ調整57点（546～602）である。ロクロ調整の57点のうち、580～594はロクロ調整の後、内外面ヘラナデが施され、595～602はロクロ調整の後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。520、524、535、546、551、564は大坏である。540は籾圧痕が認められる。523、551、569は墨書、511、536、537、545、570、572、575・576、586は刻書が認められる。刻書については545が「井」、572が「大」、墨書については569が「十」または「井」と判読できる。甕は88点のうち、ロクロ調整のもの１点（609）で、他は非ロクロである。口縁部～体部の資料では、体部が丸みを帯び、口縁部がやや外反する形状を呈するものが多いが、口縁部～体部までほぼ直線的なものや、体部上半が直線的で、口縁部がやや反る形状のものも認められる。体部～底部では、底部から直線的に立ち上がるものと、底部からやや丸みを帯びて立ち上がるものが認められる。底部調整は682、687ヘラナデ、683～685、689・690網代痕、686柾目痕、688柾目痕+砂底である。682はヘラナデによって調整された後、刻書が施されている。小甕は22点のうち、ロクロ調整が２点（699、707）認められ、ほかは非ロクロである。694は内外面ともにヘラナデの際に付着したと考えられるヘラ状工具の痕跡が認められる。700は把手が剥落した部分が認められる。壺は７点のうち、非ロクロ５点（713～715、717、719）、ロクロ調整２点（716、718）である。口縁部～体部のものでは、716が

やや長めの頚部を持ち、713～715、717は短めの頚部を持つ。719は体部～底部であるが、底径に対して胴径が比較的大きいため、壺として取り扱った。720は堝の口縁部～体部で、直胴の器形で、内外面ロクロ調整が施されている。外面には籾圧痕が認められる。721は堝の口縁部～体部で、体部は丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する。内外面ヘラナデによって調整されている。722は羽釜の口縁部～体部で、体部は直胴で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。723～725はミニチュア土器で、723・724は非ロクロ、725がロクロ調整である。726・727は擦文土器で、いずれも口縁部付近の資料である。726は短刻線で区画された部分に横走沈線を施し、更に縦位・斜位の沈線が認められる。727は刺突列のある貼付帯の上位に斜位の沈線により文様が施され、貼付帯の下位にはハケメが認められる。728は須恵器坏の体部～底部である。酸化焼成で、内外面ロクロ調整が施されている。729は須恵器鉢の体部で、内外面ロクロ調整が施されている。730～739、744は須恵器壺である。730～734が口縁部～頸部、735・736が体部、737～739が体部～底部である。口縁部～頸部の資料では、731、733・734の頸部と体部の境にリング状凸帯が認められる。731は頸部、735は体部にヘラ記号が認められる。740～743、745～802、812・813、815は須恵器甕で、740～743、745が口縁部、746～802は体部である。803・804は製塩土器の体部で、内外面ナデによって調整されている。805は手づくねかわらけの口縁部～底部で、外面ヘラナデ、ヘラケズリ、内面・底部はヘラナデによって調整されている。806～808は珠洲焼壺である。806、808は同一個体で、ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。外面自然釉が認められる。809・810は珠洲焼擂鉢である。811、814は珠洲焼甕である。外面タタキ成形、内面ナデが施されている。816～818は常滑焼で、816・817は大甕、818は壺である。819・820は陶磁器で、近代以降の所産と考えられる。

（2）木製品

用途不明の板材１点を図示した（第125図木59）。表裏面に刃痕が認められる。

（3）土製品

焼成粘土塊１点を図示した（第125図土20）。表裏面ともにナデによって調整されている。

（4）石器・石製品

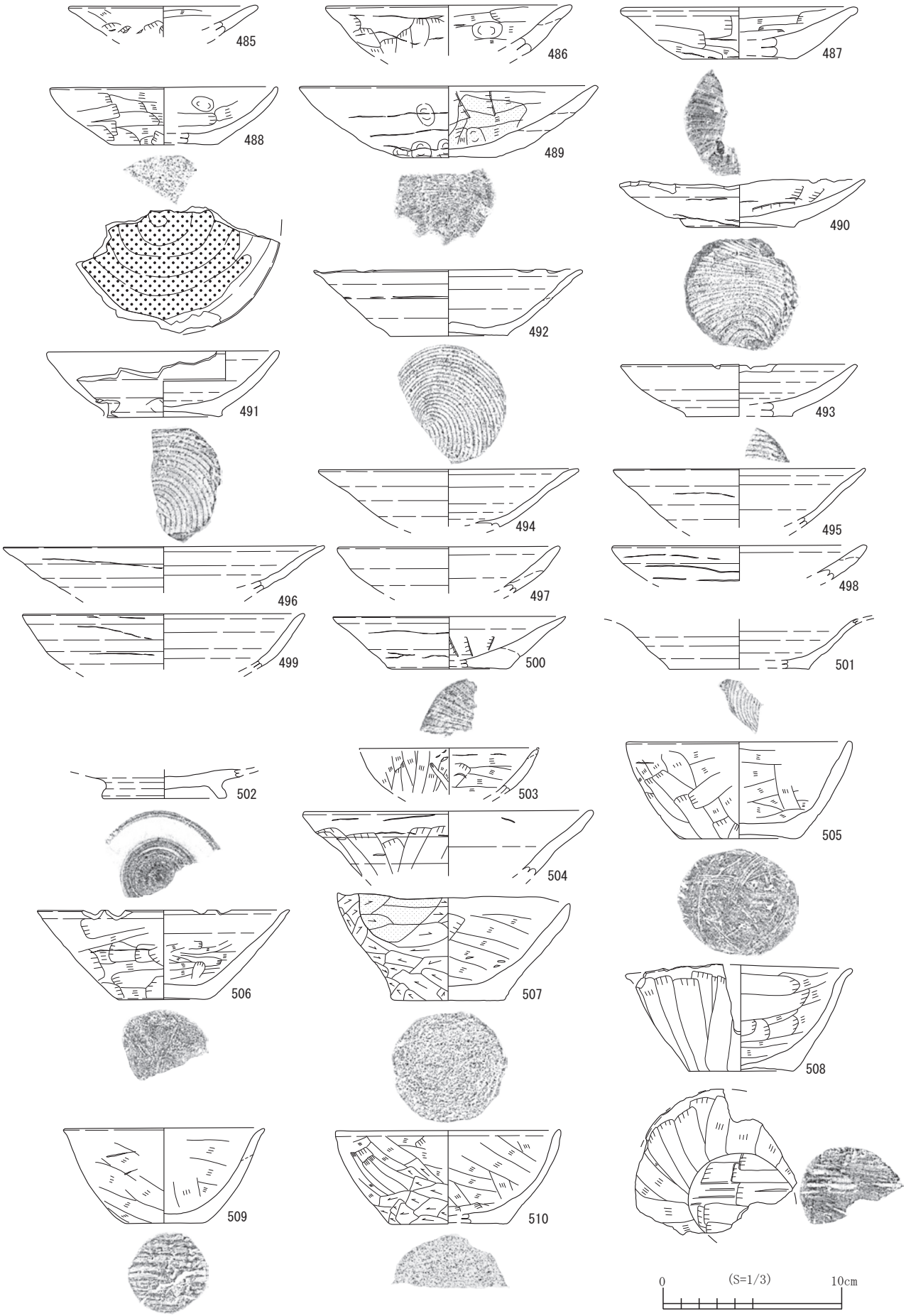
石鏃１点、砥石３点を図示した（第125図石12～15）。石12は尖基鏃と考えられる。石13～15は砥石である。石14は断面三角形を呈し、表裏面及び右側面が砥面で、左側面には磨りが認められる。石15は小型の砥石で、表面及び左右側面が砥面となっており、側面には擦切痕が認められる。

（5）鉄関連遺物

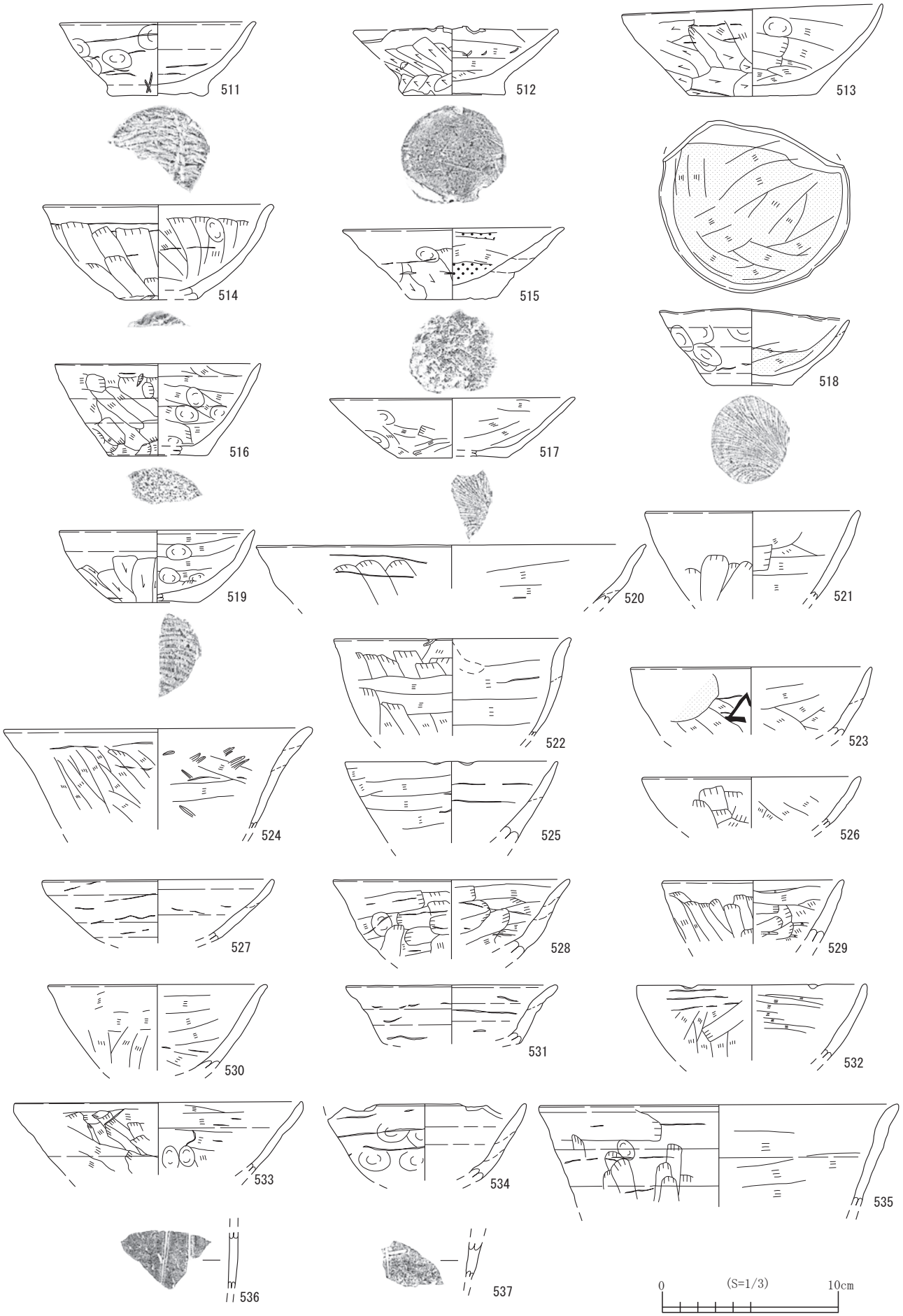
椀形鍛冶滓１点、羽口２点、鉄製品６点（第125図鉄15～23）を図示した。鉄15は椀形鍛冶滓（小）で表面には細かな木炭が付着している。鉄16、17は羽口で、16は末端に近い部分、17は先端部である。鉄18は板状を呈し、やや厚みがあることから、刀子等の未成品と考えられる。鉄19は釘である。鉄20は板状を呈する鉄製品で、刀子の一部と考えられる。鉄21は棒状を呈し、先端部の断面形状が方形で、末端部の断面形状が薄い長方形となっているが、用途不明である。鉄22は断面方形を呈する棒状の鉄製品である。鉄23は下端部が刃のように加工されている用途不明の鉄製品である。

（6）古銭

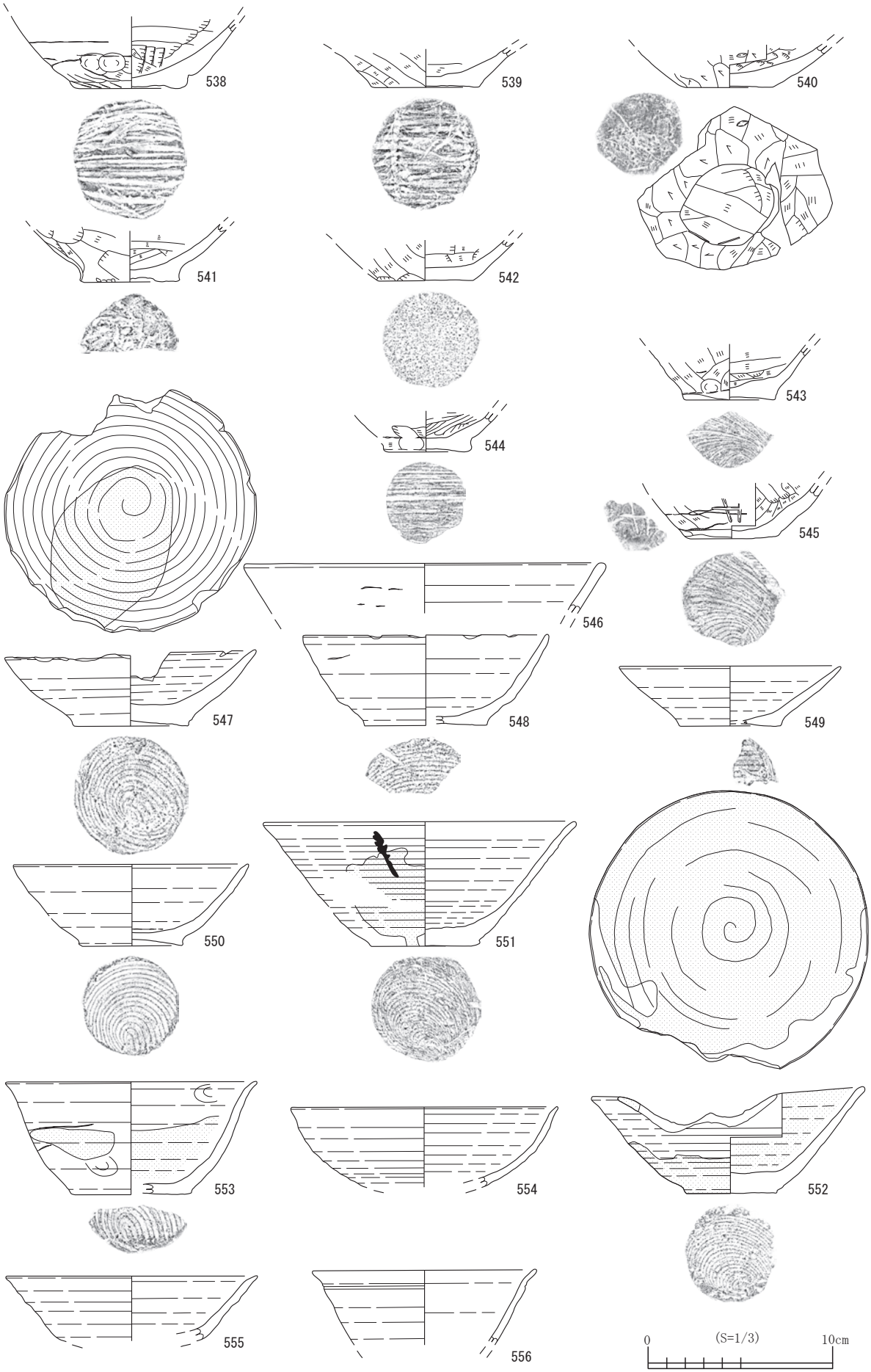
９点図示した（第125図銭4～12）。銭４は洪武通寶、銭５は桐一銭、銭６～12は寛永通寶である。



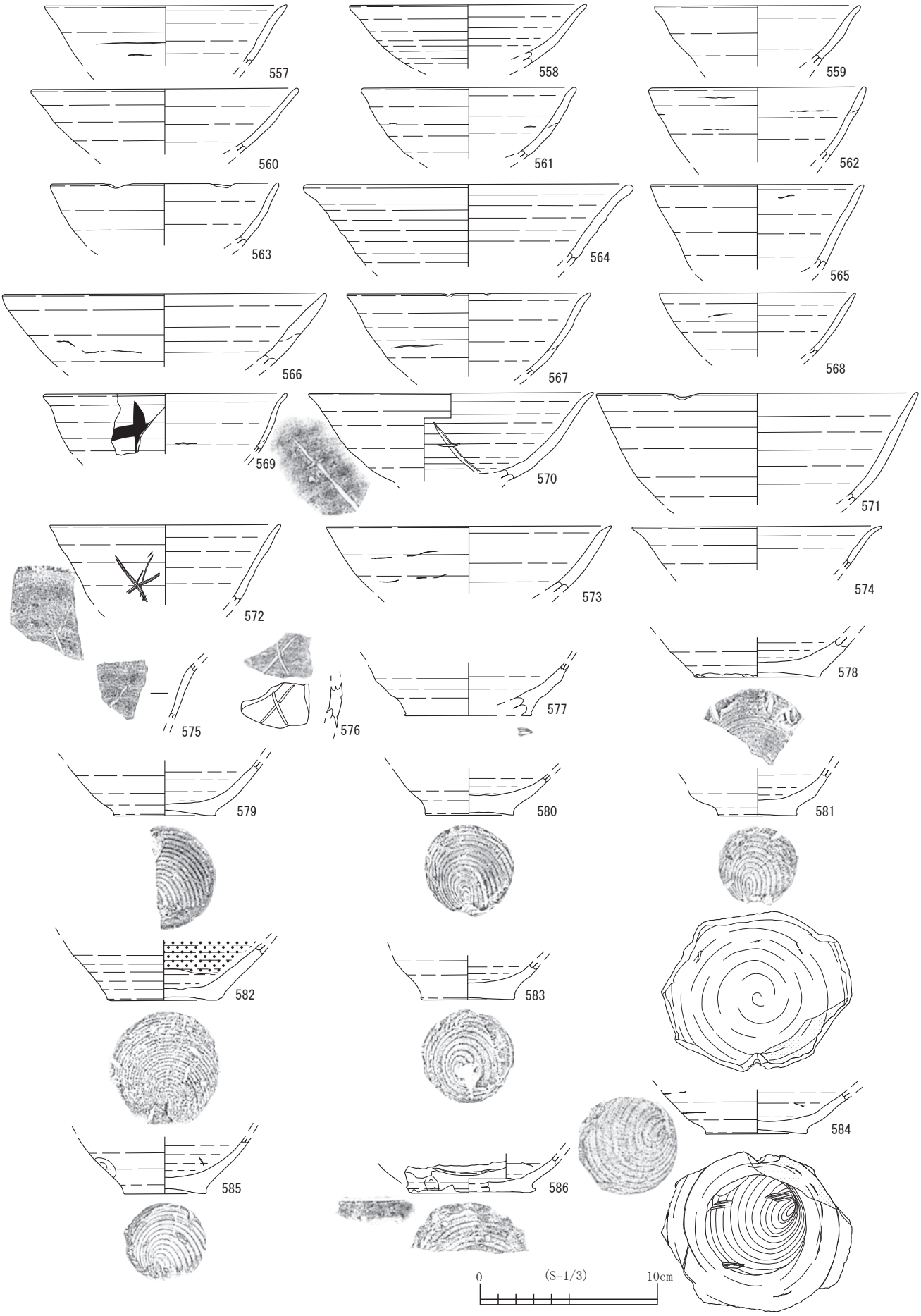
第111図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（１）



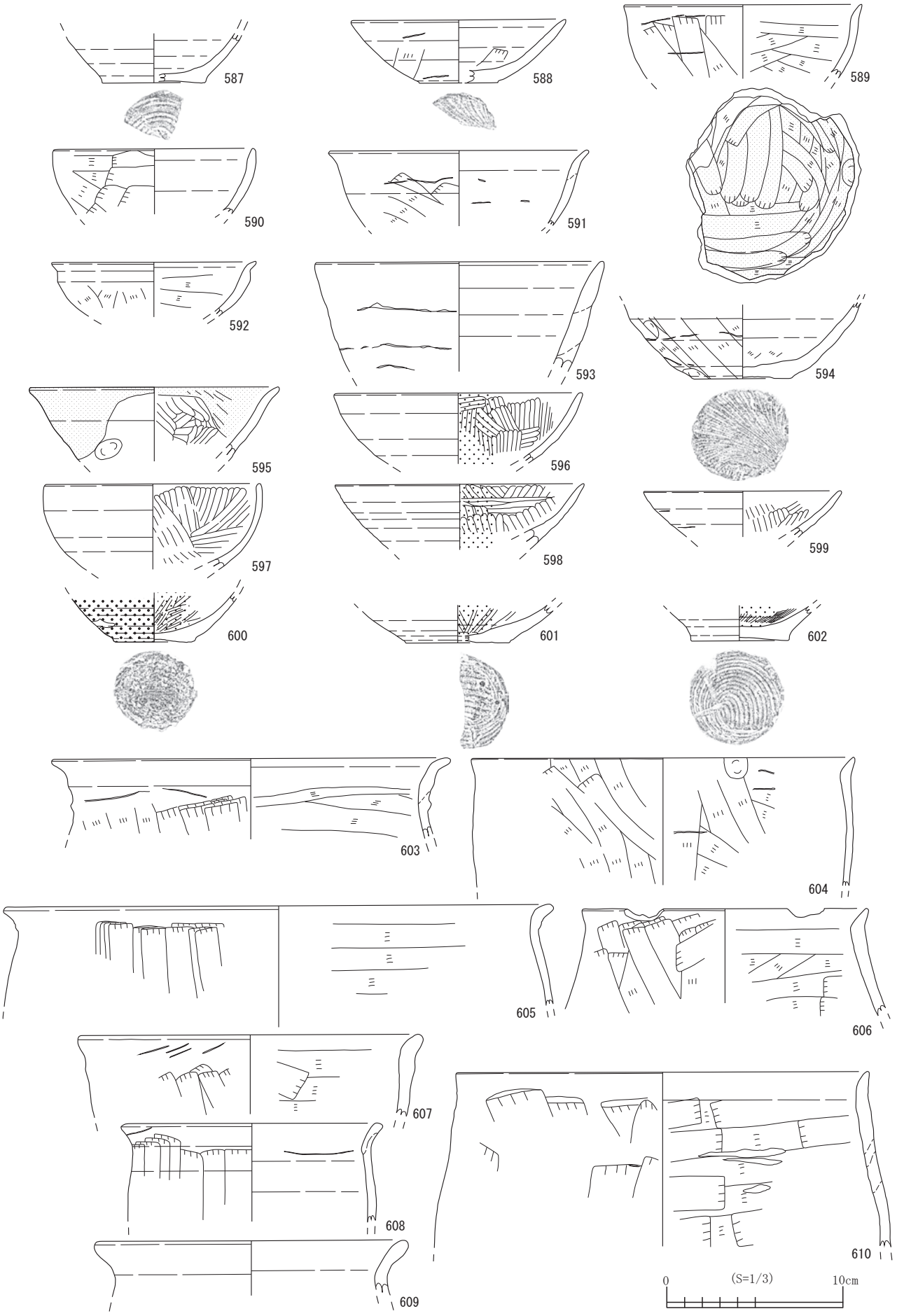
第112図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（２）



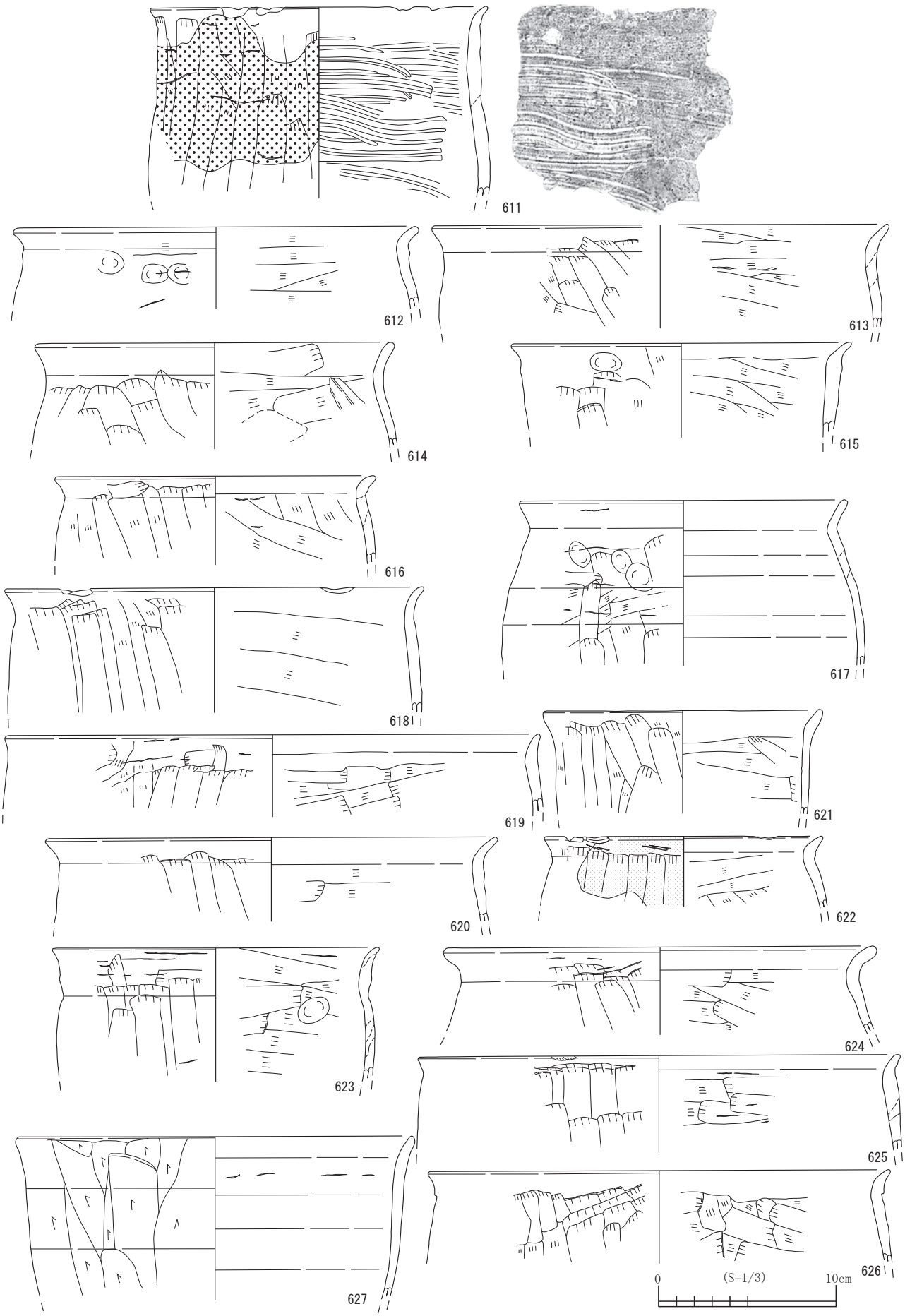
第113図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（３）



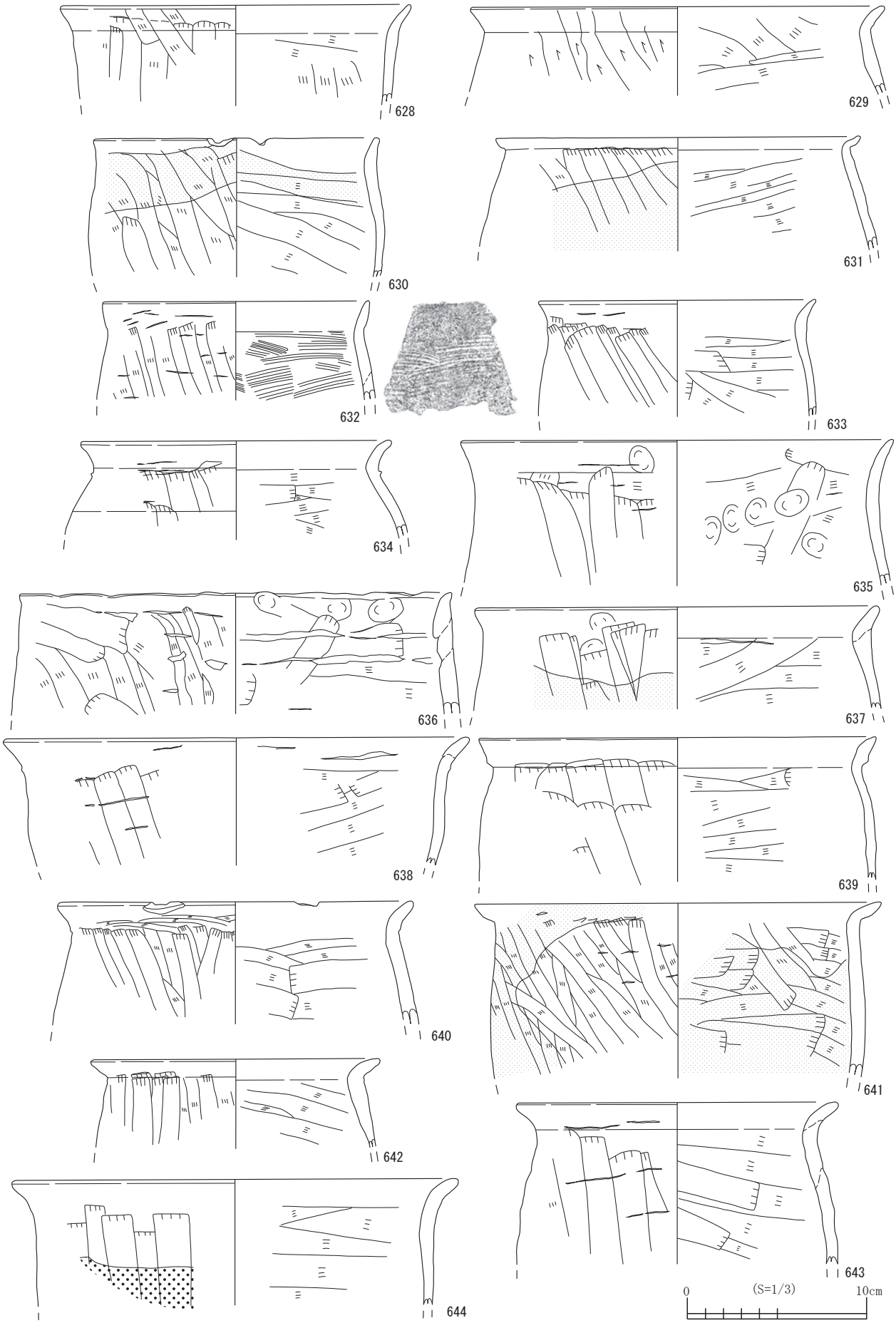
第114図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（４）



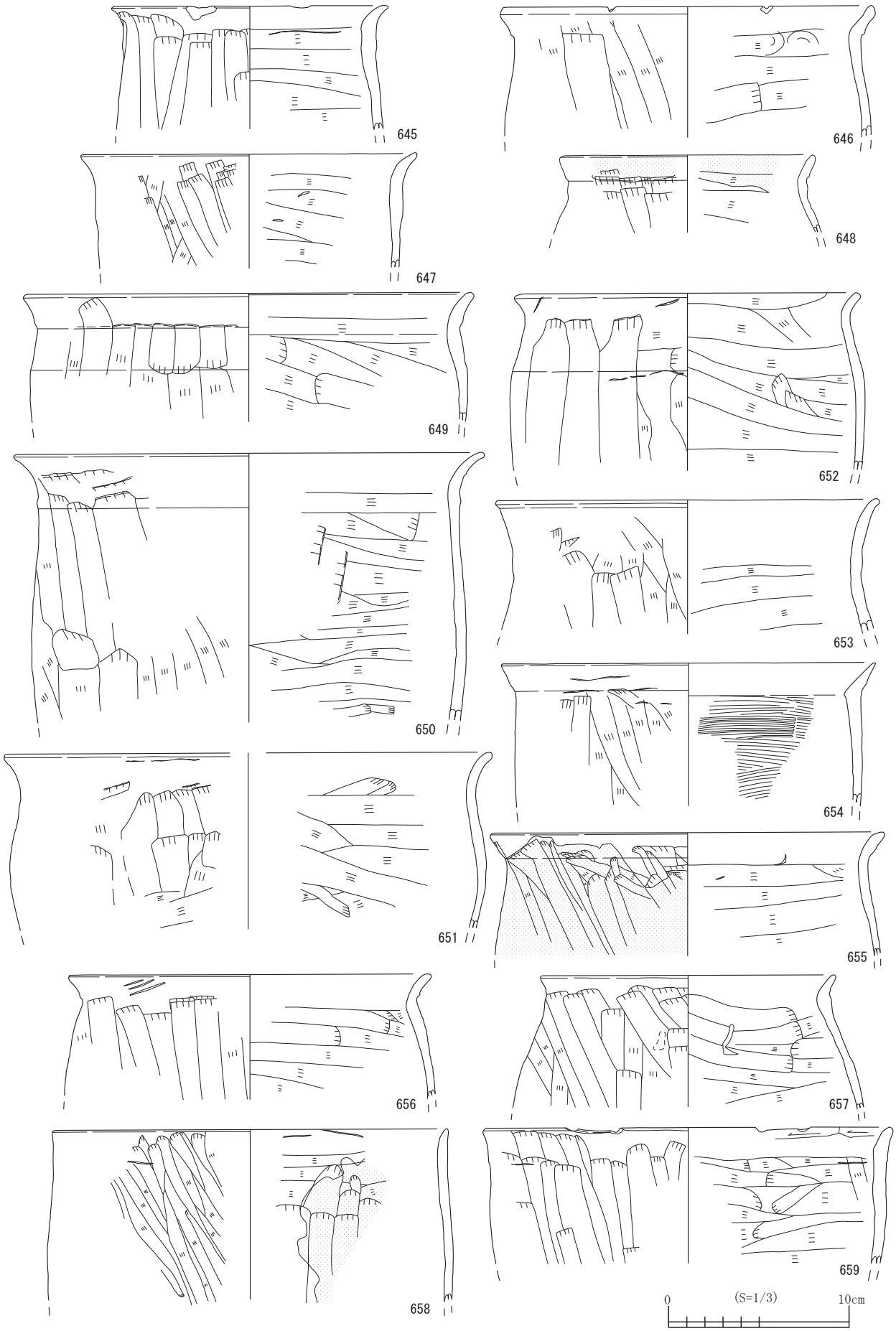
第115図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（５）



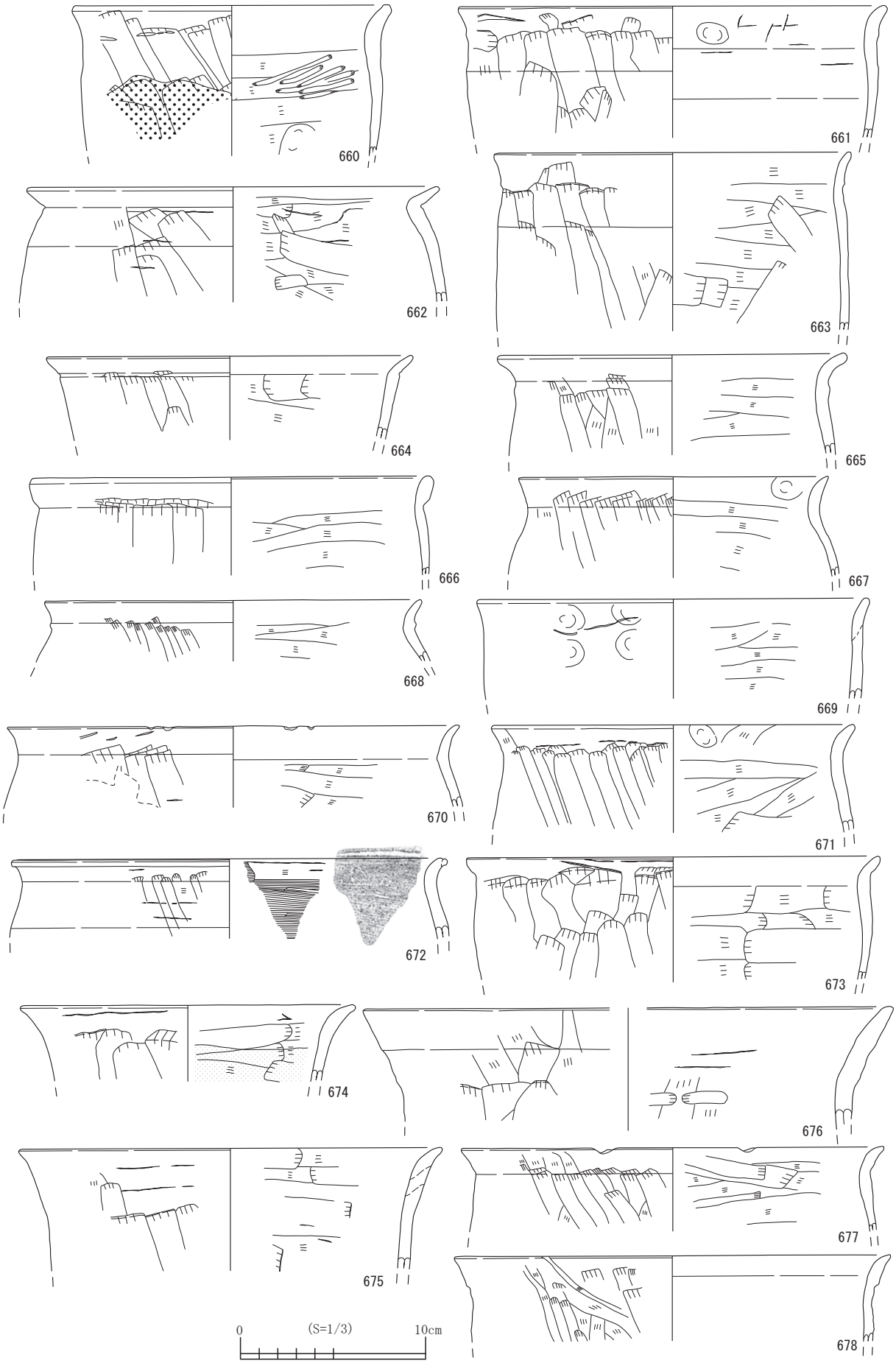
第116図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（６）



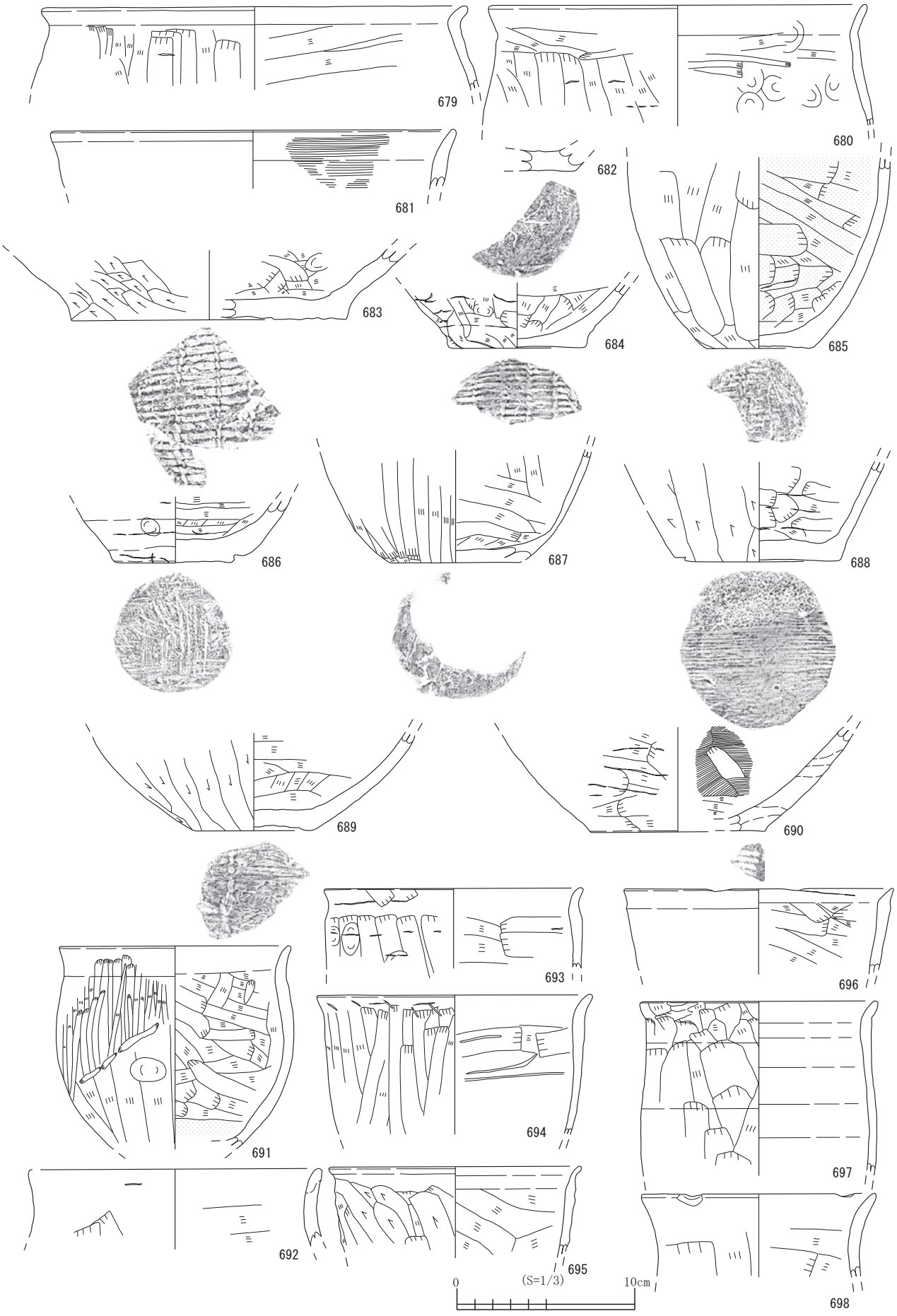
第117図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（７）



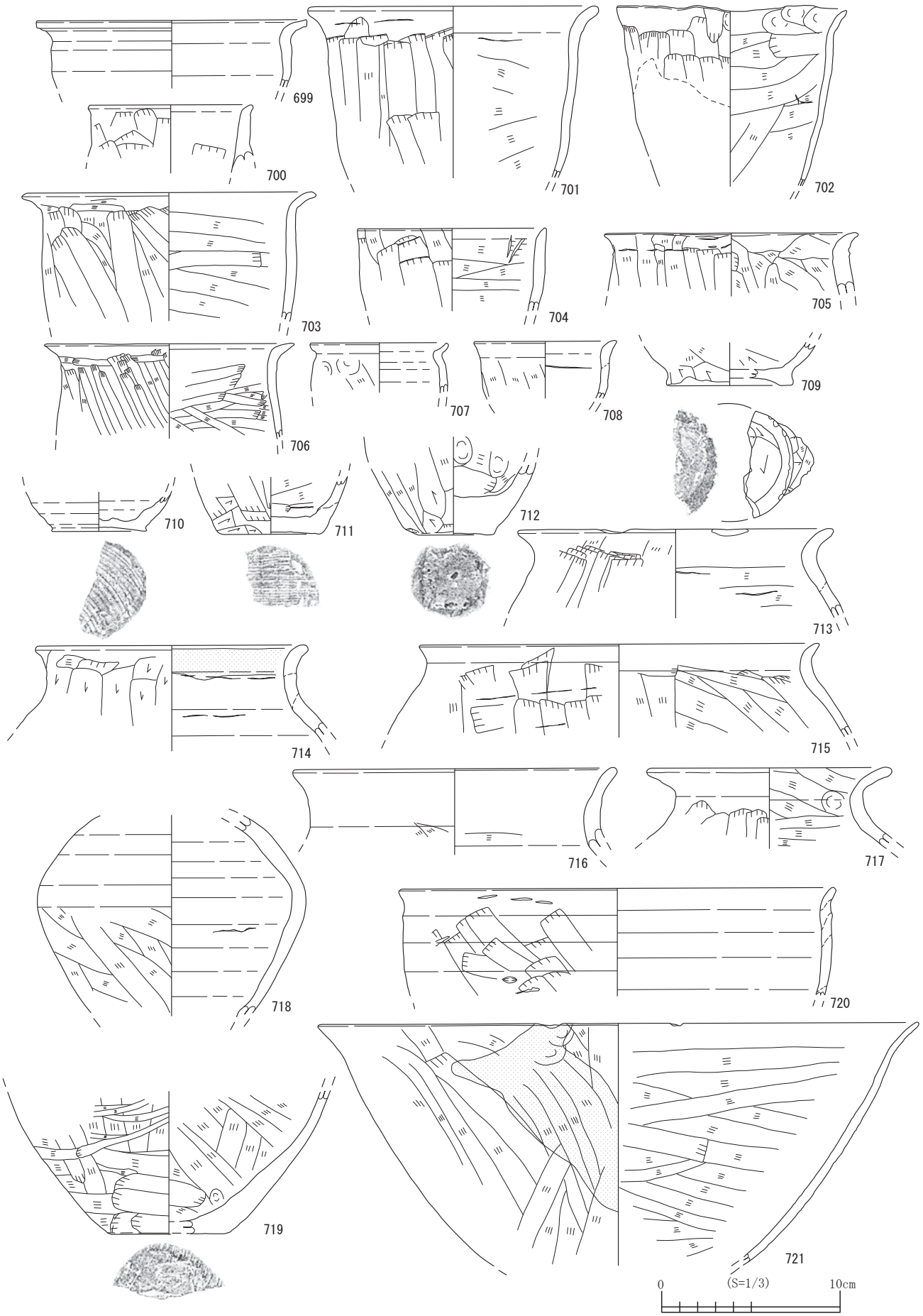
第118図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（８）



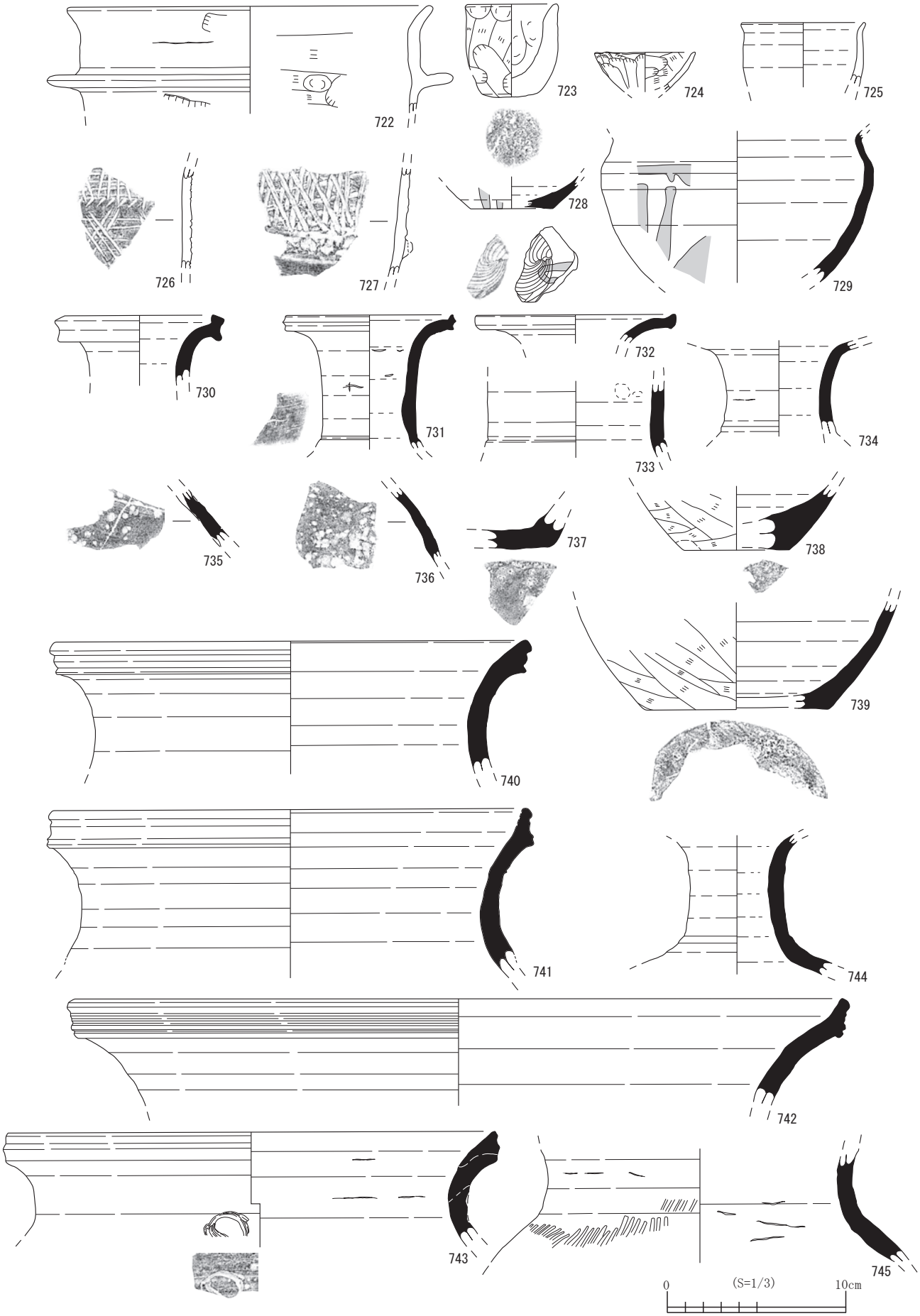
第119図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（９）



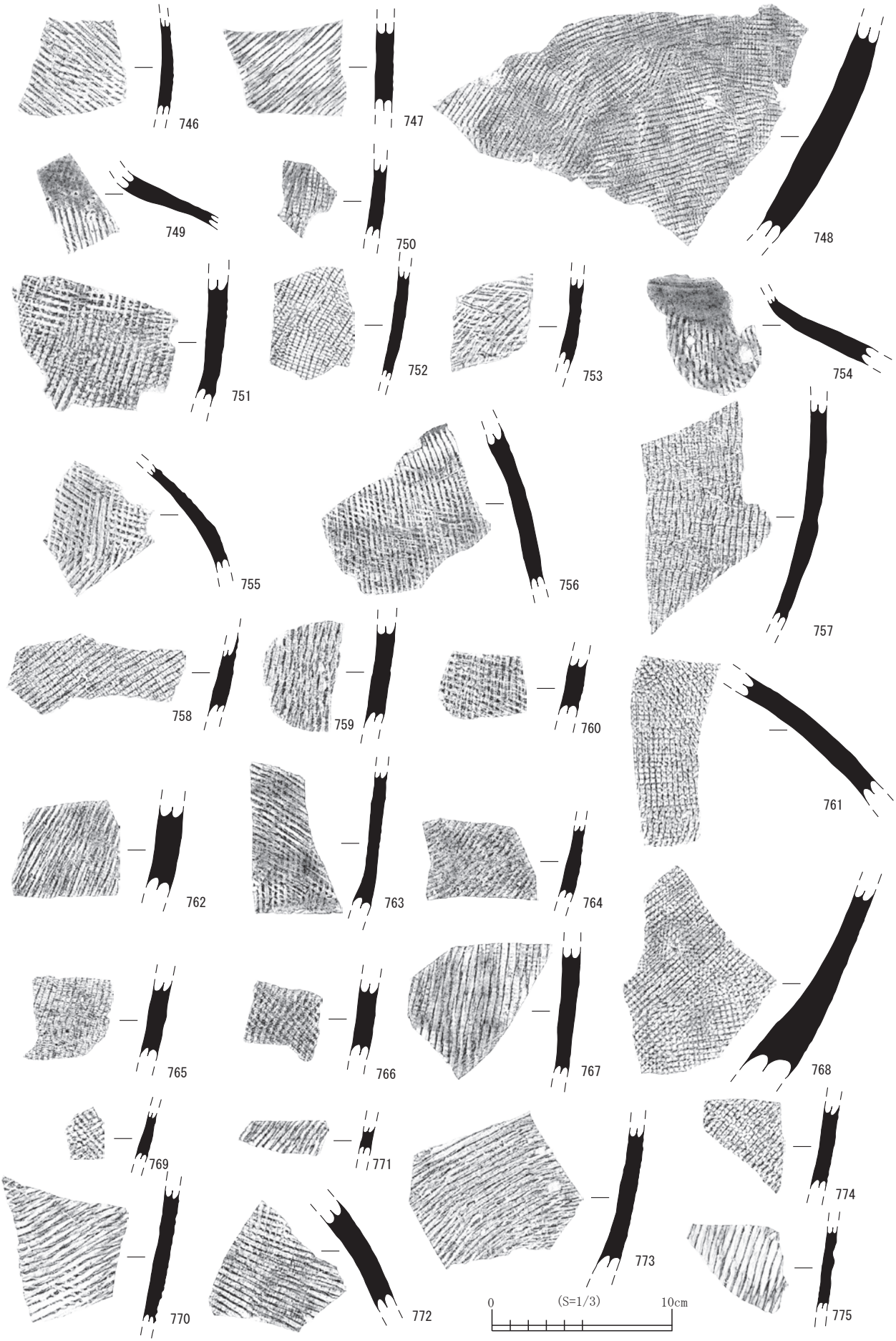
第120図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（10）



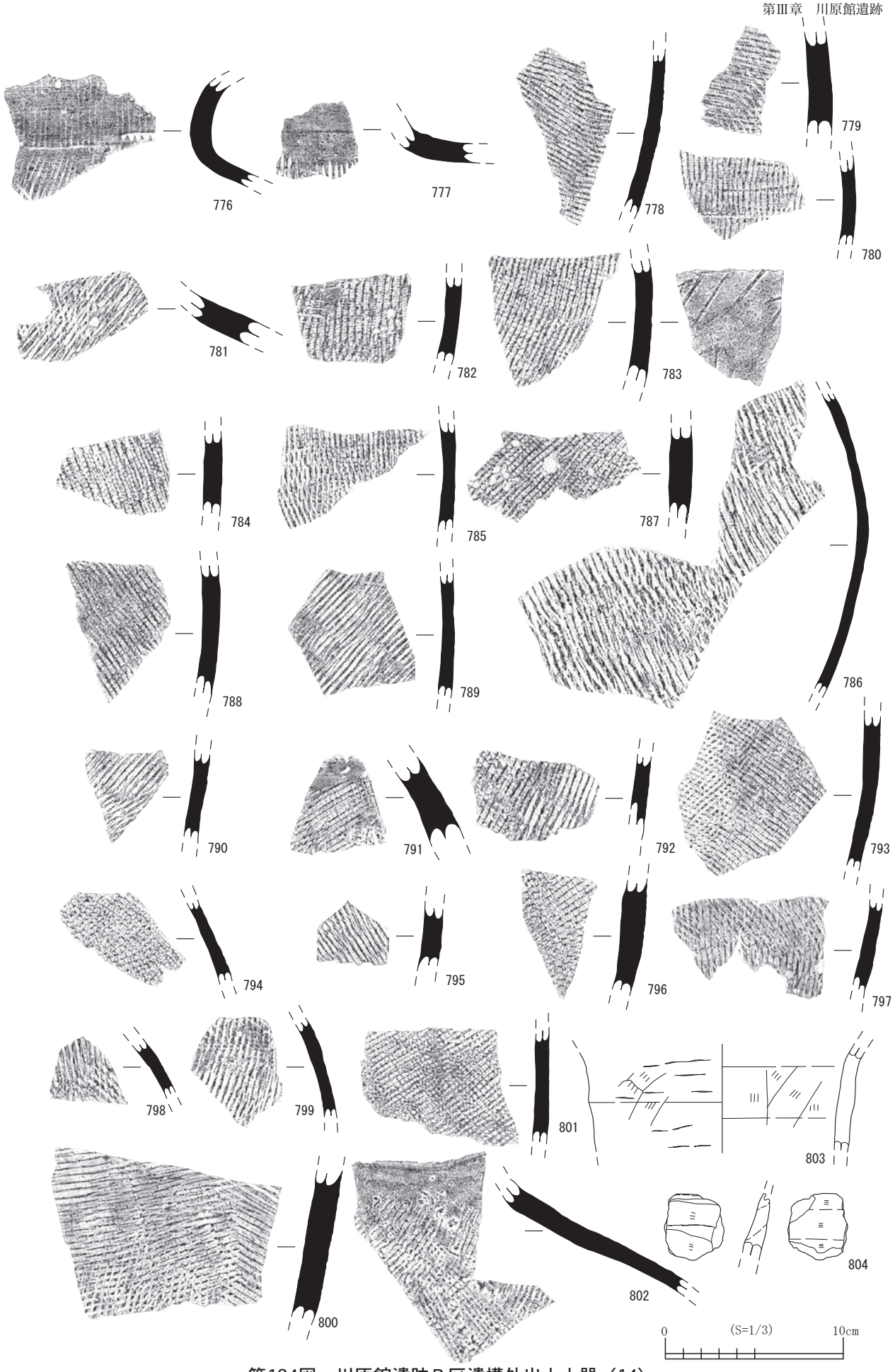
第121図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（11）



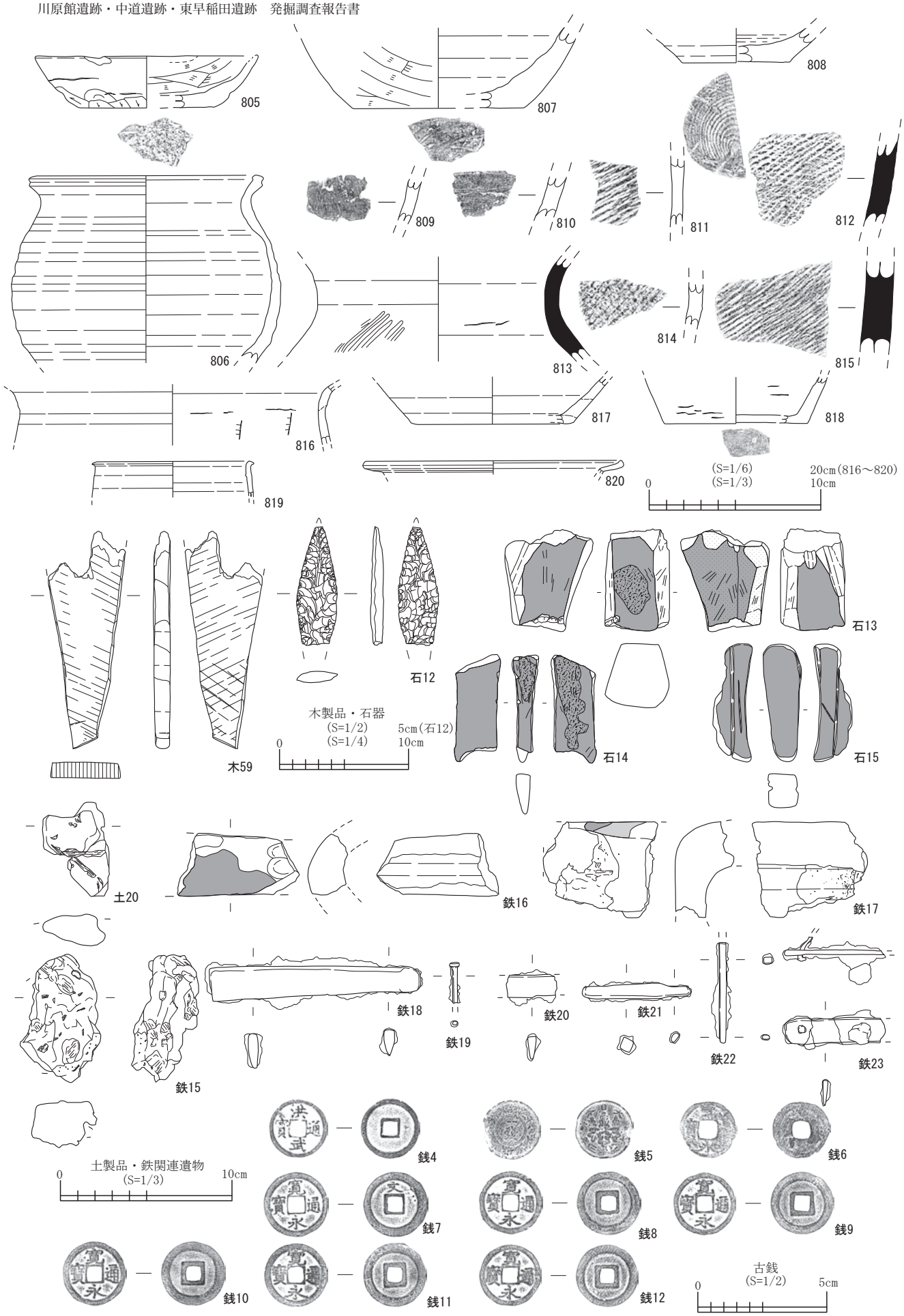
第122図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（12）



第123図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（13）



第124図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土土器（14）



第125図　川原館遺跡Ｂ区遺構外出土遺物

第10表　川原館遺跡Ｂ区出土土器観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第64図	233	BSI-03 SD-66 SD-66 遺構外	覆土 1層 覆土 確認面	土師器	坏	口縁～底部	11.6	5.1	(4.6)	7.5YR 6/4	7.5YR 6/3	良	ヘラナデ ＋ケズリ	ヘラナデ	砂底	中	少	極微	微	内外面口縁部打欠痕有、煤付着、内面灯明痕有
第64図	234	BSI-03 焼土範囲 BSI-03 SD-66	覆土 覆土 覆土	土師器	坏	口縁～底部	10.9	5.2	5.1	7.5YR 6/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ＋ ヘラケズリ	柾目痕	少	微	少	微	内外面灯明痕有、内外面煤付着、内面爪痕有
第64図	235	BSI-03 焼土範囲 SD-66	覆土 覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.6)	(4.0)	－	5YR 5/6	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	微	微	
第64図	236	BSI-03	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.8)	(6.8)	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	網代痕	少	少	微	微	外面指頭圧痕有
第64図	237	BSI-03	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.0)	5.8	5.6	5YR 6/4	5YR 5/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ ヘラオコシ	少	少	少	微	底部穿孔有、内外面煤付着
第64図	238	BSI-03 焼土範囲 SD-66	覆土 3層	土師器	坏	口縁～底部	14.5	5.0	6.2	5YR 6/6	7.5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	極微	微	内外面煤付着、内面刻書有
第64図	239	BSI-03 焼土範囲	11層	土師器	坏	口縁～底部	(15.1)	6.5	(6.2)	5YR 6/6	7.5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	微	外面煤付着
第64図	240	BSI-03	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.3)	(3.3)	－	5YR 6/6	7.5YR 8/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	少	少	
第64図	241	BSI-03 焼土範囲 BSI-03 SD-66 遺構外	覆土 覆土 1層 確認面	土師器	甕	口縁～体部	22.8	(12.5)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	良	ヘラナデ	ナデ	－	少	少	少	微	内外面煤付着
第64図	242	BSI-03 SD-66	覆土 覆土	土師器	甕	口縁～体部	(28.7)	(5.9)	－	7.5YR 7/4	2.5YR 6/6	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	少	内外面煤付着
第64図	243	BSI-03 SD-66	覆土 覆土	土師器	甕	口縁～体部	(13.1)	(13.0)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 7/4	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	微	微	内面指頭圧痕有
第65図	244	BSI-03 焼土範囲	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(16.8)	(11.5)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 7/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	微	外面煤付着
第65図	245	BSI-03	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.2)	(6.8)	－	10YR7/4	10YR7/4	並	ナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	少	内外面煤付着、外面指頭圧痕有
第65図	246	BSI-03	覆土	須恵器	壺	体部～底部	－	(3.8)	(7.2)	2.5YR 4/1	7.5YR 5/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	中	多	
第65図	247	BSI-03 焼土範囲	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 3/1	2.5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	多	
第65図	248	BSI-03 焼土範囲	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 4/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	多	少	少	微	外面煤付着
第65図	249	BSI-03	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 3/2	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面焼台痕有
第65図	250	BSI-03 焼土範囲	覆土	製塩土器	－	体部	－	(4.5)	－	5YR 6/6	5YR 7/6	不良	ナデ	ナデ	－	少	少	微	中	内外面輪積痕有
第65図	251	BSI-04	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.4)	5.6	7.5YR 6/6	7.5YR 6/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	少	多	
第70図	252	BSK-02	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.9)	(6.4)	10YR 6/4	10YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	ヘラナデ	少	少	微	微	外面煤付着
第70図	253	BSK-03	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(1.6)	(4.6)	7.5YR 7/6	10YR 6/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	微	少	
第70図	254	BSK-10	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.8)	5.9	(5.0)	5YR 6/6	10YR 5/2	良	ヘラナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラナデ	中	微	微	微	内外面煤付着、外面指頭圧痕有、内面爪痕有、底面煤付着
第70図	255	BSK-10	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.2)	(4.7)	－	7.5YR 7/6	7.5YR 7/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	少	外面煤付着
第70図	256	BSK-10	覆土 1層	土師器	坏	口縁～底部	(11.2)	6.2	6.4	10YR 7/4	10YR 7/4	並	ヘラナデ＋ ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	中	少	微	微	内外面煤付着、口唇部打欠痕有、内面爪痕有
第70図	257	BSK-10	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(17.6)	(5.0)	－	5YR 6/6	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	少	
第70図	258	BSK-10	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	少	中	少	少	内外面剥落有
第70図	259	BSK-11	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(15.0)	(2.8)	－	10YR 7/4	10YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	多	微	微	微	外面巻上痕有
第70図	260	BSK-11	覆土	土師器	小甕	体部	－	(3.1)	－	10YR 3/2	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	少	内外面煤付着、把手付土器
第70図	261	BSK-11	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(11.2)	(6.1)	－	7.5YR 4/2	7.5YR 5/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	中	微	微	外面煤付着、輪積痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第70図	262	BSK-11	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	7.5YR 3/1	7.5YR 3/1	並	タタキ	ナデ	−	少	少	中	少	
第70図	263	BSK-25	覆土	土師器	坏	体部～底部	−	(2.9)	(7.4)	10YR 7/4	10YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切	微	微	少	微	内外底面煤付着
第79図	264	SD-46	覆土	土師器	坏	体部～底部	−	(1.6)	5.5	7.5YR 6/3	7.5YR 6/3	並	ナデ	ナデ	網代痕	少	少	少	少	内面油痕有
第79図	265	SD-46	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(17.4)	(6.4)	−	10YR 7/3	10YR 7/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	少	微	微	微	内外面輪積痕有
第79図	266	SD-46	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(15.2)	(4.0)	−	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	少	少	微	微	
第79図	267	SD-46	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(13.0)	(3.9)	−	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	少	微	微	微	内外面輪積痕有、煤付着
第79図	268	SD-46	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(17.0)	(3.9)	−	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ナデ	ナデ	−	微	微	微	微	内面輪積痕有
第79図	269	SD-46	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	7.5YR 3/1	10YR 4/2	並	タタキ	ナデ	−	少	少	少	中	外面焼台痕有
第79図	270	SD-51	下層	土師器	坏	口縁～底部	(13.4)	4.5	4.3	5YR 7/6	5YR 7/6	並	ロクロナデ＋ナデ	ロクロナデ	静止糸切	微	微	微	微	外面巻上痕有、指頭圧痕有、内面煤・炭化物付着
第79図	271	SD-52	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5YR 3/1	7.5YR 3/1	並	タタキ	ナデ	−	少	少	中	少	外面一部剥落
第79図	272	SD-57	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(12.2)	3.5	(7.0)	5YR 7/6	5YR 7/6	並	ナデ	ナデ	網代痕	中	多	微	少	内外面指頭圧痕、巻上痕有、外面底部付近刻書有
第79図	273	SD-57	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(15.4)	3.8	(6.8)	7.5YR 6/3	7.5YR 6/3	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	中	少	中	外面巻上痕有
第79図	274	SD-57	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(13.4)	4.2	6.2	5YR 6/4	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	静止糸切	多	多	微	中	内外面巻上痕有
第79図	275	SD-57	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(13.2)	2.7	(6.6)	7.5YR 6/4	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	中	微	少	内外面煤付着
第79図	276	SD-57	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(14.2)	3.4	(6.0)	7.5YR 6/4	7.5YR 6/3	良	ナデ	ヘラナデ＋ナデ	砂底	少	中	微	少	外面巻上痕有、内面指頭圧痕有
第79図	277	SD-57	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(14.4)	3.9	6.6	7.5YR 6/4	7.5YR 4/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	多	中	微	内外面油痕有、煤付着
第79図	278	SD-57	覆土	土師器	皿	口縁～体部	(16.4)	(2.5)	−	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	中	微	中	内面底部付近墨痕有、転用硯
第79図	279	SD-57	覆土	土師器	坏	体部～底部	−	(3.1)	5.1	7.5YR 5/3	7.5YR 5/2	並	ナデ	ナデ	網代痕	少	中	微	微	内外面輪積痕有、煤付着
第79図	280	SD-57	覆土	土師器	大坏	口縁～底部	(20.8)	6.7	6.0	7.5YR 6/3	N 2/0	並	ナデ	ナデ	静止糸切	中	中	微	少	内外面煤付着、外面巻上痕有、内面指頭圧痕有、歪みが大きい
第79図	281	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.0)	4.5	(6.0)	7.5YR 7/4	7.5YR 6/3	良	ケズリ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ	少	中	多	中	外面巻上痕有
第79図	282	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(5.0)	−	5YR 5/6	5YR 5/2	並	ナデ	ナデ	−	中	少	少	微	内外面巻上痕有、内面指頭圧痕有
第79図	283	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(15.8)	(2.7)	−	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ナデ	ヘラナデ	−	微	微	微	微	外面指頭圧痕有
第79図	284	SD-57	覆土	土師器	坏	体部～底部	−	(3.0)	(5.6)	5YR 6/6	10YR 7/3	並	ナデ	ヘラナデ	柾目痕	多	少	微	微	外面輪積痕有、内面煤付着
第79図	285	SD-57	覆土	土師器	坏	体部～底部	−	(2.5)	5.6	5YR 5/4	5YR 6/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	底部切離の糸端が器外面にからんだ痕有
第80図	286	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(13.6)	4.6	5.5	10YR 5/2	7.5YR 2/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	多	中	少	中	内外面灯明痕有、内面油痕有、内面煤付着、巻上痕有
第80図	287	SD-57	覆土	土師器	坏	体部～底部	−	(3.5)	6.2	5YR 6/1	5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	最多	少	
第80図	288	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(3.5)	−	5YR 4/1	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	中	少	少	少	内外面煤付着
第80図	289	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.2)	(4.4)	−	5YR 7/6	5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	多	中	微	少	内外面煤付着
第80図	290	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.4)	4.5	6.9	7.5YR 7/3	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	微	少	内外面炭化物・煤付着
第80図	291	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(13.3)	6.0	6.0	7.5YR 6/4	5YR 6/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	中	多	外面煤付着、内外面胎土内赤色粒多量（3～4㎜）
第80図	292	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(13.4)	6.1	5.6	2.5YR 5/3	2.5YR 4/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	多	中	中	少	内外面火襷痕有、内面炭化物付着、外面刻書有
第80図	293	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(4.0)	−	5YR 6/6	2.5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	微	少	多	多	
第80図	294	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.6)	(5.6)	−	7.5YR 6/6	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ＋ヘラケズリ	ロクロナデ	−	多	多	中	微	内面爪痕有
第80図	295	SD-57	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(10.6)	(3.2)	−	10YR 6/3	10YR 7/3	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ヘラナデ	−	微	微	微	微	外面巻上痕有、指頭圧痕有、内外面煤付着
第80図	296	SD-57	覆土	土師器	坏	体部～底部	−	(2.8)	6.0	10YR 5/2	10YR 5/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	微	微	
第80図	297	SD-57 遺構外	覆土 確認面	土師器	甕	口縁～底部	(25.8)	27.6	(9.5)	5YR 6/8	7.5YR 7/6	並	ヘラケズリ＋ヘラナデ	ヘラケズリ＋ヘラナデ	ヘラナデ	多	多	少	少	外面指頭圧痕有、内面輪積痕有、内外面煤付着
第80図	298	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(6.8)	−	5YR 6/4	7.5YR 6/3	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	−	少	中	少	少	内面指頭圧痕有、内外面煤付着、口縁部やや強く外反
第80図	299	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(5.1)	−	7.5YR 6/4	7.5YR 7/3	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ＋ハケメ	−	少	中	少	微	内外面煤付着
第81図	300	SD-57 遺構外	覆土 確認面	土師器	甕	口縁～体部	(17.6)	(5.0)	− −	7.5YR 6/3	5YR 6/6	良	ヘラケズリ＋ナデ	ナデ	−	中	中	少	多	内面指頭圧痕有、内外面煤付着
第81図	301	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.2)	(7.1)	−	7.5YR 7/1	7.5YR 8/3	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ	−	多	多	少	少	内面指頭圧痕有、内外面煤付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第81図	302	SD-57	覆土	土師器	甕	体部	−	−	−	5YR 6/6	5YR 3/3	並	ヘラナデ	ハケメ	−	少	少	少	多	内外面輪積痕有
第81図	303	SD-57	覆土	土師器	甕	体部	−	−	−	10YR 6/4	2.5Y 2/1	並	ヘラナデ	ハケメ	−	多	多	少	少	内面煤付着
第81図	304	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(19.0)	(4.8)	−	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	−	中	中	多	少	内外面輪積痕有、口唇部工具痕有
第81図	305	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(16.4)	(7.0)	−	5YR 6/8	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ハケメ	−	中	微	微	少	外面炭化物付着
第81図	306	SD-57	覆土	土師器	甕	体部〜底部	−	(3.1)	6.0	5YR 6/6	7.5YR 7/3	並	ケズリ	ナデ	砂底	中	多	少	中	
第81図	307	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(24.4)	(9.4)	−	10YR 7/4	10YR 8/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	中	微	微	少	内外面輪積痕有、内外面煤付着
第81図	308	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(21.6)	(13.7)	−	5YR 5/4	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	中	少	微	中	口縁部外面工具痕有、内面煤付着
第81図	309	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(24.0)	(7.0)	−	7.5YR 5/2	2.5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	−	多	中	少	少	外面輪積痕有、指頭圧痕有、内外面煤付着
第81図	310	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(21.6)	(6.5)	−	7.5YR5/1	7.5YR 4/1	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	−	多	少	少	中	内外面煤付着、内外面輪積痕有
第81図	311	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(23.0)	(13.4)	−	2.5YR 6/6	7.5YR 1.7/1	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	−	多	中	少	少	内面煤、炭化物付着、外面指頭圧痕有
第81図	312	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(20.0)	(7.5)	−	7.5YR 7/4	7.5YR 3/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ハケメ	−	少	少	少	多	内外面煤付着
第81図	313	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(18.0)	(7.0)	−	7.5YR 7/4	7.5YR 8/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	−	中	少	少	中	外面煤付着、破断面磨滅
第81図	314	SD-57 遺構外	覆土 表土	土師器	甕	体部〜底部	−	(11.8)	6.4	7.5YR 4/2	7.5YR 8/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	砂底	少	少	少	中	外面煤付着、破断面磨滅
第81図	315	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(16.6)	(7.4)	−	5YR 7/4	7.5YR 7/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	−	多	多	中	少	内外面輪積痕有、煤付着、内面指頭圧痕有
第82図	316	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(15.8)	(6.7)	−	5YR 7/6	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ハケメ	−	中	少	少	少	外面煤付着
第82図	317	SD-57	覆土	土師器	小甕	体部〜底部	−	(2.0)	5.0	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	ナデ	少	微	多	微	内底面に爪痕有
第82図	318	SD-57	覆土	土師器	壺	口縁〜体部	(18.0)	(7.0)	−	5YR 6/3	2.5YR 6/4	良	ナデ	ナデ	−	中	多	少	少	内外面煤付着
第82図	319	SD-57	覆土	土師器	壺	口縁〜体部	(16.4)	(6.4)	−	7.5YR 5/3	5YR 5/2	並	ナデ＋ケズリ	ナデ＋ヘラナデ	−	中	少	少	少	外面煤付着、内面指頭圧痕有
第82図	320	SD-57	覆土	土師器	壺	口縁〜体部	(20.2)	(6.5)	−	5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ハケメ＋ヘラナデ	−	少	微	微	微	
第82図	321	SD-57	覆土	土師器	壺	口縁〜体部	(17.0)	(7.2)	−	5YR 7/6	2.5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	−	中	少	少	多	内面輪積痕有
第82図	322	SD-57	覆土	土師器	壺	口縁〜体部	−	(5.0)	−	5YR 2/2	5YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	多	中	少	少	内外面輪積痕有、破断面磨滅
第82図	323	SD-57	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(15.6)	(10.4)	−	7.5YR 7/4	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ハケメ＋ヘラナデ	−	中	微	微	少	外面輪積痕有、内外面煤付着
第82図	324	SD-57	覆土	土師器	ミニチュア土器	口縁〜体部	(7.0)	(3.7)	−	7.5YR 5/1	7.5YR 5/2	並	ナデ	ナデ	−	少	微	少	少	内外面巻上痕有、指頭圧痕有
第82図	325	SD-57	覆土	土師器	ミニチュア土器	体部〜底部	−	(3.4)	4.6	10YR 1.7/1	10YR 1.7/1	良	ヘラケズリ	ナデ	柾目痕	少	少	少	少	内外面煤付着、内面輪積痕有
第82図	326	SD-57	覆土	土師器	ミニチュア土器	口縁〜体部	(7.2)	(2.4)	−	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	中	微	少	
第82図	327	SD-57	覆土	土師器	ミニチュア土器	口縁〜体部	(6.8)	(3.4)	−	2.5YR 6/8	5YR 5/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	少	少	少	内外面煤付着
第82図	328	SD-57	覆土	製塩土器	−	体部	−	(3.8)	−	10YR 5/6	2.5YR 5/6	並	ナデ	ナデ	−	少	少	少	少	内外面輪積痕有、内面指頭圧痕有、破断面磨滅
第82図	329	SD-57	−	須恵器	甕	口縁〜体部	(17.0)	(11.8)	−	N 4/0	N 4/0	良	ロクロナデ＋タタキ	ロクロナデ	−	微	中	多	微	外面頸部刻書有、内外面自然釉付着
第82図	330	SD-57	覆土	須恵器	壺	体部〜底部	−	(13.0)	(14.0)	5G 4/1	10BG 4/1	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	ナデ	中	少	中	微	底部焼台痕有、外面輪積痕有
第82図	331	SD-57	覆土	須恵器	壺	口縁〜体部	(15.6)	(3.2)	−	N 3/0	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	中	多	−	−	外面頸部刻書有、内外面自然釉付着
第82図	332	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5Y 7/2	N 5/0	並	タタキ	ナデ	−	中	少	中	少	外面灰かぶり、器壁やや薄め
第82図	333	SD-57	覆土	須恵器	甕	口縁〜体部	(20.4)	(10.1)	−	5B 4/1	5B 4/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	少	多	少	
第83図	334	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	7.5Y 2/1	N 4/0	良	タタキ	ナデ	−	少	少	少	中	外面一部灰かぶり
第83図	335	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 4/0	N 4/0	並	ナデ＋タタキ	ナデ＋当て具痕	−	中	中	少	少	外面一部灰かぶり
第83図	336	SD-57	覆土	須恵器	甕	口縁〜体部	(29.2)	(9.2)	−	N 4/0	N 4/0	良	ナデ＋タタキ	ナデ	−	微	微	微	微	
第83図	337	SD-57	覆土	須恵器	甕	口縁〜体部	(52.0)	(10.4)	−	N 5/0	N 5/0	良	ロクロナデ＋タタキ	ロクロナデ	−	微	少	中	−	内面指頭圧痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第83図	338	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	(7.1)	−	10YR 5/1	5YR 4/2	並	ロクロナデ ＋タタキ	ナデ	−	微	微	微	微	
第83図	339	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 3/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	−	中	少	少	少	
第83図	340	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	10YR 2/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	−	中	少	最多	少	外面焼台痕有
第83図	341	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5YR 5/6	10YR 3/2	並	タタキ	ナデ	−	少	少	少	少	
第83図	342	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5YR 4/4	5YR 3/2	並	タタキ	ナデ	−	少	少	少	少	外面焼台痕有
第83図	343	SD-57	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 3/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	−	少	少	少	少	
第83図	344	SD-57	覆土	須恵器	壺	体部〜底部	−	(9.8)	(8.4)	10Y 3/1	10Y 4/1	良	ロクロナデ ＋ヘラナデ	ロクロナデ	ヘラナデ	少	少	少	少	
第83図	345	SD-57	覆土	須恵器	鉢	口縁〜体部	(20.4)	(8.7)	−	N 3/0	N 3/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	多	多	少	少	外面体部刻書有、口縁部灰かぶり
第83図	346	SD-57	覆土	須恵器	甕	口縁〜体部	(19.6)	(12.3)	−	5B 2/1	5PB 2/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ ＋タタキ	−	少	少	少	少	外面一部灰かぶり、外面光沢有
第83図	347	SD-57	覆土	須恵器	壺	口縁〜体部	(15.0)	(11.2)	−	7.5YR 2/2	7.5YR 1.7/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	中	少	多	−	口縁部灰かぶり、自然釉付着
第83図	348	SD-57	覆土	陶磁器	鉢	口縁〜体部	(26.0)	(3.0)	−	2.5YR 4/4	2.5YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	中	微	−	内外面自然釉付着
第83図	349	SD-61	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 2/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	−	中	少	多	微	
第84図	350	SD-62	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(28.8)	(5.1)	−	5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ケズリ＋ ヘラナデ	ヘラナデ	−	多	多	少	中	外面口唇部工具痕有、内面輪積痕有、内面煤付着
第84図	351	SD-62	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 3/0	10Y 3/1	不良	タタキ	ナデ	−	中	少	多	中	内外面剥落有
第84図	352	SD-66	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(13.0)	(2.7)	−	10YR 7/2	10YR 6/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	少	少	微	微	内面爪痕有
第84図	353	SD-66	覆土	土師器	坏	口縁〜底部	12.2	4.9	5.6	10YR 6/4	10YR 6/3	良	ヘラナデ	ヘラナデ	砂底	多	中	少	微	口唇部打欠痕有、内外面煤付着
第84図	354	SD-66	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(12.0)	(4.0)	-	5YR 7/6	5YR 6/6	不良	ヘラナデ	ヘラナデ	−	中	少	微	少	口唇部打欠痕有
第84図	355	SD-66	覆土・1層	土師器	坏	体部〜底部	−	(6.5)	(6.4)	10YR 7/3	10YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	多	微	外面指頭圧痕有、内外面煤付着
第84図	356	SD-66	覆土	土師器	坏	体部〜底部	−	(3.3)	(6.4)	2.5YR 5/8	5YR 6/8	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	多	中	内面煤付着
第84図	357	SD-66	覆土	土師器	皿	口縁〜底部	(14.8)	4.0	4.8	5YR 6/6	10YR 5/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	多	中	中	少	内外面巻上痕有、外面指頭圧痕有、二次被熱
第84図	358	SD-66	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(13.2)	(4.5)	−	10YR 7/3	10YR 7/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	中	少	微	微	外面墨書有、口唇部打欠痕有、巻上痕有
第84図	359	SD-66	1層	土師器	甕	口縁〜体部	(24.4)	(6.4)	−	5YR 6/6	5YR 6/8	良	ヘラナデ	ヘラナデ	−	多	少	少	中	外面輪積痕有
第84図	360	SD-66	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(20.6)	(7.2)	−	5YR 6/8	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	多	少	中	中	
第84図	361	SD-66	覆土	土師器	小甕	口縁〜体部	(13.8)	(5.6)	−	10YR 7/4	10YR 7/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	−	中	少	微	微	外面炭化物付着、内外面煤付着、内面輪積痕有
第84図	362	SD-66	覆土	土師器	小甕	口縁〜体部	(14.6)	(6.6)	−	10YR 5/1	10YR 6/3	良	ヘラナデ	ヘラナデ	−	中	少	微	微	内外面輪積痕有、指頭圧痕有、内面煤付着
第84図	363	SD-66	覆土	須恵器	壺	口縁〜頸部	(10.0)	(2.0)	−	N 4/0	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	微	微	微	
第84図	364	SD-66	中層	須恵器	短頸壺	口縁〜体部	(12.0)	(8.4)	−	N 3/0	N 3/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	微	微	微	微	頸部刻書有、内面輪積痕有
第84図	365	SD-66	覆土	須恵器	長頸甕	口縁〜頸部	(18.2)	(5.3)	−	N 4/0	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	微	微	少	微	
第85図	366	SD-66	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5G 1.7/1	N 5/0	良	タタキ	ナデ	−	少	少	中	微	
第85図	367	SD-66	1層	須恵器	甕	体部	−	−	−	5GY 4/1	5Y 3/1	良	タタキ	ナデ	−	少	少	中	中	
第85図	368	SD-66	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5YR 4/6	10YR 5/4	並	タタキ	ナデ	−	中	少	少	少	
第85図	369	SD-66	3層	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 4/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	−	少	少	少	多	
第85図	370	SD-66	覆土	珠洲	壺	体部〜底部	−	(3.7)	(10.8)	10YR 5/1	10YR 6/1	良	ヘラナデ	ロクロナデ	ナデ	少	微	微	微	
第85図	371	SD-66	覆土	珠洲	壺	口縁〜体部	(15.4)	(3.6)	−	10YR 5/1	10YR 4/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ ＋ヘラナデ	−	微	微	微	微	
第85図	372	SD-77	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(16.0)	(3.9)	−	10YR 7/2	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	中	中	微	−	内外面煤付着
第85図	373	SD-77	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(26.6)	(5.0)	−	5YR 7/4	5YR 7/4	並	ヘラナデ ＋ナデ	ハケメ ＋ナデ	−	多	中	微	少	外面輪積痕有
第85図	374	SD-77	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(16.6)	(5.9)	−	5YR 6/6	5YR 7/4	良	ヘラナデ ＋ナデ	ナデ	−	多	中	微	少	
第85図	375	SD-77	覆土	土師器	小甕	口縁〜体部	(13.8)	(5.3)	−	7.5YR 5/2	7.5YR 5/3	並	ケズリ ＋ナデ	ナデ	−	多	多	微	少	外面指頭圧痕有、内外面煤付着
第85図	376	SD-77	中層	土師器	小甕	体部〜底部	−	(3.5)	(5.4)	2.5YR 6/6	7.5YR 7/3	並	ケズリ ＋ナデ	ナデ	ナデ	少	多	中	中	内外面煤付着
第85図	377	SD-77 遺構外	覆土 表土	土師器	小甕	口縁〜底部	(13.8)	16.2	(7.0)	2.5YR 5/6	7.5YR 6/4	並	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ＋ ヘラナデ	砂底	中	多	少	多	内面輪積痕有、内外面煤付着、外面底部剥落有
第85図	378	SD-77 遺構外	覆土 表土	土師器	堝	口縁〜体部	(35.0)	(5.5)	−	5YR 7/6	2.5YR 6/6	並	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ＋ ヘラナデ	−	多	中	少	中	口唇部磨滅
第85図	379	SD-77	覆土	須恵器	甕	頸部	−	(6.3)	−	5PB 2/1	5PB 3/1	良	ナデ＋ タタキ	ナデ	−	少	少	少	少	外面煤付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第85図	380	SD-77	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	10YR 4/2	10YR 3/2	並	タタキ	ナデ	−	少	少	多	多	
第85図	381	SD-77	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	7.5YR 3/1	7.5YR 4/1	並	タタキ	ナデ	−	中	少	多	多	胎土内赤色粒多量（0.1〜5㎜）、内面剥落有
第85図	382	SD-77	覆土	須恵器	甕	頸部〜体部	−	−	−	N 3/0	7.5YR 2/1	並	ナデ＋タタキ	ナデ	−	中	少	多	中	外面灰かぶり
第85図	383	SD-77	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 1.5/0	2.5YR 3/1	並	タタキ	ナデ	−	中	少	多	多	外面黒色で光沢を帯びる
第85図	384	SD-77	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5GB 3/1	2.5Y 3/2	並	タタキ	ナデ	−	中	少	少	多	外面灰かぶり
第85図	385	SD-77	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 4/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	−	少	少	少	微	
第85図	386	SD-77	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	2.5GY 4/1	N 5/0	並	タタキ	ナデ	−	中	少	中	微	
第86図	387	SD-81	覆土	土師器	皿	口縁〜体部	(18.0)	(2.7)	−	5YR 7/6	5YR 7/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	中	中	微	多	
第86図	388	SD-82	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(21.2)	(4.0)	−	7.5YR 5/3	7.5YR 6/3	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	−	多	中	微	少	内外面煤付着
第86図	389	SD-86	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(11.5)	(4.9)	−	7.5YR 7/3	10YR 8/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	少	少	微	外面擦痕有
第86図	390	SD-86	覆土	土師器	甕	口縁〜体部	(20.0)	(7.6)	−	10YR 8/3	7.5YR 6/1	並	ナデ＋ヘラナデ＋沈線	ナデ＋ヘラナデ	−	少	少	少	中	外面指頭圧痕有、輪積痕有
第86図	391	SD-84 SD-86	覆土 覆土	土師器	甕	体部〜底部	−	(4.4)	7.6	5YR 6/6	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	柾目痕	中	少	中	多	破断面磨滅
第86図	392	SD-86	覆土	土師器	小甕	口縁〜底部	13.0	13.7	(7.5)	7.5YR 4/2	7.5YR 7/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	不明	中	少	少	中	内外面煤付着、外面剥落有、口唇部磨滅
第86図	393	SD-86	覆土	須恵器	甕	口縁〜体部	(40.0)	(6.0)	−	N 4/0	N 5/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	−	少	少	少	少	
第86図	394	SD-86	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	5Y 3/1	N 5/0	並	タタキ	ナデ	−	微	少	中	少	
第86図	395	SD-98	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(12.6)	(3.0)	-	5YR 6/6	7.5YR 6/3	並	ナデ	ナデ	−	中	中	微	少	内外面煤付着、口唇部面取有
第86図	396	SD-98	覆土	擦文	甕	口縁部	−	−	−	10YR 3/1	10YR 3/2	並	刺突＋沈線	ミガキ	−	少	少	少	中	外面煤付着
第86図	397	SD-98	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	タタキ	ナデ	−	多	中	中	少	
第86図	398	SD-98 遺構外	覆土 表採	須恵器	長頸壺	頸部〜体部	−	(7.1)	−	2.5GY 5/1	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	微	少	微	微	外面自然釉付着、頸部リング状凸帯有
第86図	399	SD-99	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(13.0)	(2.8)	−	5YR 7/4	5YR 8/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	−	中	中	微	多	
第86図	400	SD-99	覆土	土師器	小甕	口縁〜体部	(13.0)	(6.8)	−	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ヘラナデ	−	多	多	少	中	外面炭化物付着、内面煤付着、内外面指頭圧痕有
第86図	401	SD-99	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	7.5Y 3/1	10Y 2/1	並	タタキ	ナデ	−	少	少	少	微	外面煤付着
第86図	402	SD-99	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	7.5Y 4/1	7.5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	−	多	少	多	中	
第86図	403	SD-100	覆土	土師器	皿	口縁〜底部	(15.8)	4.4	(6.0)	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	中	微	多	外面指頭圧痕有
第86図	404	SD-100	覆土	土師器	坏	口縁〜体部	(11.8)	(3.4)	−	5YR 7/6	5YR 7/4	並	ナデ	ナデ	−	中	中	微	中	内外面巻上痕有
第86図	405	SD-100	覆土	土師器	坏	口縁〜底部	(12.7)	4.4	(5.0)	10YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	ナデ	少	少	多	少	口唇部打欠痕有、内外面口縁煤付着
第86図	406	SD-100	覆土	土師器	坏	口縁〜底部	(12.2)	6.1	4.5	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	柾目痕	中	少	少	中	外面体部〜底部刻書有、巻上痕有
第86図	407	SD-100	覆土	土師器	坏	体部〜底部	−	(3.0)	(5.2)	10YR 8/1	10YR 8/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	多	少	微	
第86図	408	SD-100	覆土	土師器	小甕	口縁〜体部	(11.6)	(6.9)	−	7.5YR 4/2	7.5YR 3/1	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ハケメ	−	多	多	中	少	内外面煤付着
第86図	409	SD-100	覆土	須恵器	甕	頸部〜体部	−	−	−	N 4/0	5B 4/1	並	ナデ＋タタキ	ナデ	−	少	少	少	少	外面輪積痕有
第86図	410	SD-100	覆土	須恵器	甕	体部	−	−	−	N 4/0	2.5GY 4/1	良	タタキ	ナデ	−	少	多	微	微	内面自然釉付着
第87図	411	SD-105	覆土	土師器	皿	口縁〜底部	(14.0)	4.1	5.0	7.5YR 7/3	7.5YR 6/3	並	ケズリ＋ナデ	ナデ	柾目痕	多	多	微	少	外面輪積痕有、火襷痕有、内面指頭圧痕有、底面刻書有、底部柱状高台
第87図	412	SD-105	覆土	土師器	皿	口縁〜底部	(14.0)	2.7	7.0	7.5YR 4/2	7.5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	少	多	内外面煤付着、施釉陶器の器形を模倣
第87図	413	SD-105	覆土	土師器	皿	口縁〜体部	(14.0)	(2.7)	−	7.5YR 7/4	7.5YR 7/3	良	ロクロナデ＋ヘラナデ＋ナデ	ロクロナデ？	−	少	中	微	少	外面巻上痕有
第87図	414	SD-105	覆土	土師器	坏	口縁〜底部	(12.6)	5.8	5.0	5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ナデ	ナデ	ナデ	多	多	微	微	内外面巻上痕有、指頭圧痕有
第87図	415	SD-105	覆土	土師器	坏	体部〜底部	−	(4.1)	5.0	7.5YR 3/1	7.5YR 4/1	並	ヘラケズリ＋ナデ	ナデ	砂底	中	多	多	少	外面煤付着、内面爪痕有
第87図	416	SD-105	覆土	土師器	坏	体部	−	(4.3)	−	5YR 7/3	2.5YR 6/6	良	ナデ	ナデ	−	中	多	微	少	外面輪積痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第87図	417	SD-105	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.4)	5.4	7.5YR 6/8	7.5YR 7/4	良	ロクロナデ＋ヘラケズリ	ロクロナデ	右回転糸切	多	多	微	微	外面焼ハジケ有
第87図	418	SD-105	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(28.4)	(5.0)	－	7.5YR 5/3	7.5YR 5/2	並	ヘラケズリ＋ナデ	ナデ	－	多	多	少	少	外面口唇部炭化物付着、内面輪積痕有、工具痕有
第87図	419	SD-105	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.0)	(10.0)	－	7.5YR 6/2	7.5YR 4/1	並	ヘラナデ	ヘラナデ＋ハケメ	－	中	中	少	少	内外面煤付着
第87図	420	SD-105	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(4.7)	8.0	10YR 7/4	10YR 7/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	柾目痕＋砂底	多	多	多	中	内外面煤付着、破断面磨滅
第87図	421	SD-105	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(14.4)	(6.2)	－	7.5YR 5/3	7.5YR 6/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	多	少	少	
第87図	422	SD-105	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(16.0)	(8.7)	－	7.5YR 3/1	7.5YR 4/2	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ＋ナデ	ナデ	－	少	中	微	極微	内外面輪積痕有、外面指頭圧痕有、内外面煤付着
第87図	423	SD-105	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.5)	5.6	7.5YR 7/2	7.5YR 7/4	並	ヘラケズリ	ナデ	柾目痕	中	多	微	中	内面指頭圧痕有
第87図	424	SD-105	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(3.2)	(6.4)	5YR 6/6	7.5YR 8/3	並	ヘラケズリ	ナデ	砂底	多	中	少	少	外面煤付着、内面指頭圧痕有、輪積痕有
第87図	425	SD-105	覆土	須恵器	長頸壺	口縁～頸部	(11.0)	(4.3)	－	N 5/0	N 3/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	外面灰かぶり、自然釉付着、頸部器壁薄くなっている
第87図	426	SD-105	覆土	須恵器	壺	口縁部	(17.8)	(2.4)	－	N 3/0	N 5/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	微	－	
第87図	427	SD-105	覆土	須恵器	甕	口縁部	(39.0)	(3.6)	－	5P 1.7/1	5P 1.7/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	
第87図	428	SD-105	4層	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/2	10YR 4/2	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	外面煤付着
第87図	429	SD-105	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 3/1	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	
第87図	430	SD-105	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5YR 6/8	2.5YR 6/8	並	タタキ	ナデ	－	少	中	多	多	
第88図	431	SD-117	覆土	土師器	皿	口縁～底部	14.3	4.2	6.2	5YR 6/6	7.5YR 8/6	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	少	多	多	外面巻上痕有、指頭圧痕有、底部に糸圧痕有
第88図	432	SD-117	覆土	土師器	皿	口縁～底部	14.0	4.2	6.2	7.5YR 5/4	7.5YR 5/2	並	ナデ	ナデ	静止糸切	中	少	少	中	内外面煤付着、底部に糸圧痕有
第88図	433	SD-117	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(12.0)	3.3	(5.0)	5YR 3/1	2.5YR 5/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切＋ヘラオコシ	中	中	少	少	内外面灯明痕有、内外面煤付着、外面絞込痕有
第88図	434	SD-117	覆土	土師器	小坏	口縁～底部	(10.2)	3.4	5.0	7.5YR 7/6	7.5YR 7/6	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	少	少	中	内外面指頭圧痕有、底部に糸圧痕有、内外面煤付着
第88図	435	SD-117	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(5.2)	5.2	7.5YR 4/6	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	木葉痕（平行脈）	中	多	少	少	内面輪積痕有、口縁部やや内湾
第88図	436	SD-117	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.8)	(5.0)	10YR 6/4	N 2/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ミガキ	糸切＋ヘラオコシ	少	少	中	少	内面黒色処理、外面煤付着
第88図	437	SD-117	覆土	土師器	坏	口縁部	－	－	－	10YR 5/4	10YR 5/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	外面口縁部刻書有、口唇部先細る
第88図	438	SD-117	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(26.6)	(8.2)	－	5YR 5/4	5YR 6/8	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	少	外面煤付着
第88図	439	SD-117	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(25.0)	(11.0)	－	7.5YR 4/2	5YR 2/1	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	少	内外面煤付着、外面輪積痕有、指頭圧痕有
第88図	440	SD-117	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(26.0)	(9.4)	－	5YR 3/1	5YR 5/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	多	少	少	内外面煤付着
第88図	441	SD-117	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(21.0)	(3.4)	－	5YR 7/6	5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	多	口唇部平坦に整形
第88図	442	SD-117	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(25.0)	(6.6)	－	2.5YR 6/8	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	多	少	多	
第88図	443	SD-117	覆土	かわらけ	-	口縁～体部	(12.0)	(2.4)	－	10YR 5/1	10YR 5/2	並	ナデ	ナデ	－	少	少	多	少	手づくね成形
第88図	444	SD-117	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 6/6	7.5YR 5/4	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	中	内外面剥落有
第88図	445	SD-117	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 4/1	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	外面焼台痕有、外面自然釉付着
第88図	446	SD-117 遺構外	覆土 表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 5/4	10YR 6/4	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	多	
第89図	447	SD-120	覆土	土師器	小皿	口縁～底部	(9.4)	2.1	(4.2)	5YR 6/4	7.5YR 4/3	並	ナデ	ナデ	静止糸切	中	少	少	少	内面煤付着、外面巻上痕有
第89図	448	SD-120	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(12.8)	3.8	6.2	2.5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	中	少	少	中	内外面煤付着
第89図	449	SD-120	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(11.8)	3.6	4.2	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	並	ナデ	ナデ	静止糸切＋ナデ	少	少	少	多	胎土内赤色粒多量（0.1～3㎜）、外面指頭圧痕有、底部変形
第89図	450	SD-120	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.4)	4.6	5.0	5YR 4/6	5YR 4/6	並	ナデ	ナデ	柾目痕	中	少	少	少	内外面煤付着
第89図	451	SD-120 遺構外	覆土 表採	土師器	坏	口縁～底部	(13.0)	4.8	(5.5)	7.5YR 6/4	5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	ヘラナデ	少	少	少	少	内外面巻上痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第89図	452	SD-120	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.0)	4.7	5.5	10YR 4/2	10YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ＋指頭圧痕	中	中	少	少	内外面煤付着、底部糸切時の破損により粘土で補修痕有
第89図	453	SD-120	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(14.8)	6.1	7.0	7.5YR 5/2	5YR 2/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切（離し糸切）	多	中	少	中	口唇部打欠痕有、内外面煤付着、外面剥落、木器椀の器形を模倣、底部柱状高台
第89図	454	SD-120	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.9)	(5.4)	10YR 8/3	10YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	右回転糸切	中	少	微	少	内面黒色処理
第89図	455	SD-120	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(9.2)	7.0	5YR 1.7/1	5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	ナデ＋ヘラケズリ	少	少	少	少	外面煤付着
第89図	456	SD-120	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(15.2)	(7.1)	－	5YR 5/4	5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	少	
第89図	457	SD-120	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.4)	(7.7)	－	7.5YR 2/1	7.5YR 4/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	少	中	少	少	内外面煤付着
第89図	458	SD-120	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.0)	(5.6)	－	2.5YR 5/6	5YR 4/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	多	少	少	内面煮炊痕有、外面煤付着
第89図	459	SD-120	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(21.6)	(6.3)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	中	少	
第89図	460	SD-120	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(23.4)	(6.8)	－	10YR 7/4	10YR 7/4	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	多	
第89図	461	SD-120	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(4.0)	6.2	7.5YR 6/4	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	砂底	中	少	少	中	内面煤付着
第89図	462	SD-120	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(11.8)	(3.8)	－	10YR 5/1	10YR 5/1	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	少	微	内外面煤付着
第89図	463	SD-120	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(4.4)	(7.6)	5YR 6/4	10YR 5/2	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	ナデ	中	少	少	微	内面煤付着
第90図	464	SD-120	覆土	土師器	壺	口縁～体部	(11.2)	(4.7)	－	7.5YR 5/4	10YR 6/3	不良	ヘラナデ	ナデ	－	多	多	微	微	内外面輪積痕有
第90図	465	SD-120	覆土	須恵器	壺	口縁～頸部	(11.0)	(5.1)	－	5PB 4/1	5PB 5/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	中	口縁部内面灰かぶり、外面欠け有
第90図	466	SD-120	覆土	須恵器	甕	口縁部	(22.0)	(2.2)	－	N 4/0	2.5GY 2/1	並	ロクロナデ＋タタキ	ロクロナデ+ヘラナデ	－	少	少	多	少	口縁部内面灰かぶり
第90図	467	SD-120	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 5/1	2.5Y 5/1	並	タタキ	ナデ	－	少	微	少	少	
第90図	468	SD-120	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	2.5GY 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	微	
第90図	469	SD-120	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 5/1	5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	
第90図	470	SD-120	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	－	少	微	少	
第90図	471	SD-120	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 4/3	2.5Y 4/2	並	タタキ	ナデ	－	中	多	中	少	酸化焼成
第94図	472	BSE-02	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5YR 5/6	2.5YR 4/6	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	多	内外面輪積痕有、煤付着、酸化焼成
第94図	473	BSE-04	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(21.8)	(6.3)	－	10YR 4/2	5YR 5/8	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	中	外面輪積痕有、外面煤付着
第94図	474	BSN-04	下層	土師器	坏	体部～底部	－	(2.5)	6.4	10YR 8/4	10YR 8/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	微	少	外面二次被熱
第94図	475	BSN-04	下層	土師器	坏	口縁～体部	(13.8)	(3.7)	－	10YR 8/2	10YR 7/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	外面体部刻書有、外面煤付着、内面剥落
第94図	476	BSN-04	下層	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(8.3)	－	10YR 8/2	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	少	内外面煤付着
第94図	477	BSN-04	下層	土師器	甕	口縁～体部	(21.6)	(5.7)	－	10YR 7/3	10YR 2/2	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	少	外面煤付着、外面指頭圧痕有、内外面輪積痕有
第94図	478	BSN-04 遺構外	上層 確認面	土師器	小甕	口縁～底部	(9.4)	7.7	5.4	7.5YR 6/2	10YR 6/6	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラナデ	中	微	微	微	内面底部灯明油痕有、指頭圧痕有
第94図	479	BSN-04	下層	土師器	小甕	口縁～体部	(8.6)	(3.9)	－	10YR 3/1	10YR 6/2	不良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	微	微	少	外面剥落、内面輪積痕有
第110図	480	BSP-09	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(15.6)	(5.1)	－	10YR 5/2	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	微	微	微	外面剥落、内外面輪積痕有
第110図	481	BSP-22	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.2)	(6.2)	－	5YR 5/8	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	少	中	内面輪積痕有
第110図	482	BSP-56	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(4.1)	(8.2)	10YR 5/3	7.5YR 3/4	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラナデ	少	微	微	少	
第110図	483	BSP-76	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(2.2)	－	10YR 6/4	10YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	微	微	微	外面巻上痕有
第110図	484	BSP-126	1層	土師器	小甕	口縁～体部	(16.8)	(6.4)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	中	外面輪積痕有
第111図	485	遺構外	表採	土師器	小皿	口縁～体部	(10.6)	(1.7)	－	7.5YR 5/4	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	中	外面爪痕有
第111図	486	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～体部	(15.4)	(2.8)	－	5YR 5/6	5YR 5/6	並	ナデ	ナデ	－	少	中	少	中	内外面巻上痕有、内面指頭圧痕有
第111図	487	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	(12.8)	(2.9)	(6.4)	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	中	中	微	外面巻上痕有、内外面煤付着、体部～底部の器壁厚み有、太めの糸による静止糸切
第111図	488	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	(12.6)	3.2	(6.0)	7.5YR 6/3	7.5YR 8/4	良	ヘラナデ	ナデ	砂底	少	多	微	微	内外面煤付着、内面指頭圧痕有
第111図	489	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	(16.4)	4.0	(5.4)	7.5YR 6/4	10YR 5/2	並	ナデ	ヘラナデ＋ナデ	静止糸切＋ナデ	中	多	微	少	内外面指頭圧痕有、巻上痕有、内面煤付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第111図	490	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	13.6	2.7	6.0	7.5YR 7/6	7.5YR 7/4	並	ナデ	ヘラナデ ＋ナデ	静止糸切	少	中	中	微	内外面巻上痕有、口唇部先細り、施釉陶器の器形を模倣か
第111図	491	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	(12.8)	3.7	6.2	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	微	微	微	微	外面指頭圧痕有、工具痕有、口唇部打欠痕有、内面炭化物付着
第111図	492	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	(15.0)	3.7	6.6	10YR 7/3	10YR 7/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	微	微	口唇部打欠痕有
第111図	493	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	(13.2)	2.9	(6.0)	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	微	少	口唇部打欠痕有、口唇部先細り、施釉陶器の器形を模倣か
第111図	494	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～体部	(14.4)	(3.2)	－	5YR 6/6	7.5YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	少	少	
第111図	495	遺構外	表土	土師器	皿	口縁～体部	(14.0)	(3.3)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 8/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	微	少	外面巻上痕有
第111図	496	遺構外	表土	土師器	皿	口縁～体部	(17.8)	(2.6)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	微	中	外面巻上痕有、内面煤付着
第111図	497	遺構外	排土一括	土師器	皿	口縁～体部	(12.2)	(2.6)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 7/8	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	内面巻上痕有
第111図	498	遺構外	排土一括	土師器	皿	口縁～体部	(14.0)	(1.9)	－	10YR 6/4	10YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	微	微	外面巻上痕有
第111図	499	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～体部	(15.5)	(3.1)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	少	中	外面巻上痕有
第111図	500	遺構外	確認面	土師器	皿	口縁～底部	(13.0)	2.9	(6.4)	7.5YR 7/6	7.5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ ＋ヘラナデ	静止糸切	微	中	微	少	外面巻上有
第111図	501	遺構外	確認面	土師器	皿	体部～底部	－	(2.8)	(7.8)	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	少	微	口縁部やや外反
第111図	502	遺構外	確認面	土師器	皿	体部～底部	－	(1.6)	(6.8)	10YR 7/4	10YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	微	微	底部貼付高台
第111図	503	遺構外	確認面	土師器	小坏	口縁～体部	(10.0)	(2.6)	－	7.5YR 6/3	10YR 5/2	並	ナデ	ナデ	－	少	中	微	微	内面爪痕、輪積痕有
第111図	504	遺構外	－	土師器	坏	口縁～体部	(16.0)	(3.6)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ナデ	ナデ	－	少	微	少	中	内外面巻上痕有、口縁部緩やかに外反
第111図	505	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(12.6)	5.4	6.6	7.5YR 6/4	10YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	ヘラナデ	中	少	微	中	外面輪積痕有
第111図	506	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(14.0)	5.0	(5.0)	5YR 6/4	7.5YR 5/3	良	ヘラナデ	ヘラナデ	ナデ	少	少	微	多	口唇部打欠痕有、外面巻上痕有、胎土に赤色粒多量混入
第111図	507	遺構外	ローム直上	土師器	坏	口縁～底部	13.0	6.1	6.4	10YR 7/4	10YR 7/4	良	ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	多	少	微	少	外面煤付着、内面爪痕有
第111図	508	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(12.4)	6.0	5.9	7.5YR 4/1	7.5YR 6/2	並	ヘラナデ	ナデ	網代痕 ＋ヘラナデ	少	中	微	微	内外面煤付着
第111図	509	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(11.2)	5.3	4.4	7.5YR 6/4	7.5YR 5/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	網代痕	中	少	微	微	外面巻上痕有
第111図	510	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(12.4)	5.2	(6.6)	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ヘラケズリ ＋ヘラナデ	ヘラナデ	砂底	中	少	微	少	内外面二次被熱
第112図	511	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(11.2)	4.1	5.6	10YR 5/3	10YR 4/1	並	ナデ	ナデ	網代痕	微	微	微	少	内外面巻上痕有、外面指頭圧痕有、外面底部付近刻書有
第112図	512	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(11.5)	3.7	5.7	10YR 7/4	10YR 8/4	並	ヘラケズリ	ナデ	柾目痕 ＋ヘラナデ	微	微	少	微	口唇部打欠痕有、内面爪痕有
第112図	513	遺構外	－	土師器	大坏	口縁～底部	(14.6)	5.2	7.2	10YR 7/3	5YR 6/8	良	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ	砂底	中	多	少	中	内面指頭圧痕有
第112図	514	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(12.8)	5.4	(4.0)	5YR 6/8	7.5YR 7/4	良	ヘラナデ ＋ナデ	ナデ	網代痕	少	中	微	少	内外面巻上痕有、内面指頭圧痕有
第112図	515	遺構外	－	土師器	坏	口縁～底部	(12.4)	4.1	5.0	7.5YR 5/4	7.5YR 1.7/1	並	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ	ナデ	少	中	微	微	内外面巻上痕有、外面指頭圧痕有、内面炭化物付着
第112図	516	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(11.6)	5.2	(5.6)	5YR 5/6	7.5YR 5/3	並	ナデ	ナデ	砂底	少	中	微	中	外面巻上痕有、内外面指頭圧痕有
第112図	517	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	口縁～底部	(13.8)	3.4	(6.2)	7.5YR 6/6	10YR 4/1	並	ヘラナデ	ヘラナデ	静止糸切	少	微	微	少	外面指頭圧痕有
第112図	518	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	口縁～底部	10.8	4.3	4.6	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ナデ	ヘラナデ	静止糸切	中	微	少	中	外面指頭圧痕有、内外面巻上痕有、内面煤付着
第112図	519	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(11.0)	4.1	(4.8)	7.5YR 7/6	7.5YR 7/3	良	ナデ＋ ヘラケズリ	ナデ	静止糸切	中	少	少	中	外面巻上痕有、内面指頭圧痕有
第112図	520	遺構外	確認面	土師器	大坏	口縁～体部	(22.0)	(2.5)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 6/4	並	ナデ	ナデ	－	少	少	微	微	内外面巻上痕有、内面スサ痕有
第112図	521	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(5.1)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 5/3	並	ナデ	ナデ＋ ヘラナデ	－	中	少	微	微	
第112図	522	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.4)	(5.5)	－	5YR 6/6	5YR 7/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	微	微	少	外面口唇部工具痕有、内面巻上痕有
第112図	523	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(3.9)	－	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	微	微	微	外面巻上痕有、体部墨書有、外面煤付着
第112図	524	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(17.4)	(5.7)	－	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	中	少	少	内外面巻上痕有、内面工具痕有、口縁部緩やかに外反
第112図	525	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.6)	－	10YR 5/4	10YR 2/1	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	微	微	微	内外面巻上痕有、口唇部打欠痕有
第112図	526	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(12.4)	(2.9)	－	5YR 6/8	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	少	
第112図	527	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(3.6)	－	5YR 6/3	5YR 6/6	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	中	微	少	内外面巻上痕有、口縁部やや内湾
第112図	528	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.2)	(4.5)	－	10YR 6/3	7.5YR 5/2	並	ナデ	ナデ	－	少	中	少	微	内外面巻上痕有、外面指頭圧痕有
第112図	529	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(10.0)	(3.6)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 7/4	良	ナデ	ナデ	－	少	中	微	少	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第112図	530	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～体部	(12.4)	(4.9)	－	5YR 6/8	10YR 6/2	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	少	内面巻上痕有
第112図	531	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(3.4)	－	5YR 5/6	7.5YR 7/6	並	ナデ	ナデ	－	少	微	微	微	内外面巻上痕有
第112図	532	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(4.3)	－	10YR 8/4	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	少	微	内外面巻上痕有、口唇部打欠痕有
第112図	533	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(16.0)	(4.1)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	微	少	少	中	外面工具痕有、内面指頭圧痕有、内外面巻上痕有
第112図	534	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	口縁～体部	(11.4)	(4.4)	－	7.5YR 5/4	10YR 4/1	並	ナデ	ナデ	－	微	微	微	微	口縁部打欠痕有、内外面巻上痕有、外面指頭圧痕有
第112図	535	遺構外	確認面	土師器	大坏	口縁～体部	(20.0)	(5.8)	－	5YR 5/6	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	－	少	中	少	少	外面輪積痕有、指頭圧痕有、内外面煤付着
第112図	536	遺構外	確認面	土師器	坏	体部	－	－	－	5YR 5/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	少	外面刻書有
第112図	537	遺構外	確認面	土師器	坏	体部	－	－	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	少	中	外面刻書有
第113図	538	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(3.9)	6.0	7.5YR 7/4	7.5YR 7/3	良	ナデ	ヘラナデ＋ナデ	網代痕	少	多	微	多	外面指頭圧痕有、絞込痕有、輪積痕有
第113図	539	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.1)	5.8	7.5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	網代痕	中	少	中	中	外面煤付着
第113図	540	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.3)	4.8	7.5YR 7/3	7.5YR 6/3	並	ヘラケズリ＋ヘラナデ	ナデ	ヘラナデ	中	少	少	多	外面籾圧痕有、内面煤付着
第113図	541	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(3.1)	4.9	5YR 6/6	5YR 6/4	並	ナデ	ナデ	ヘラナデ	微	微	微	微	外面底部付近糸圧痕有
第113図	542	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.2)	5.1	7.5YR 6/3	7.5YR 7/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ＋ナデ	砂底	少	微	微	微	
第113図	543	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	体部～底部	－	(3.0)	(5.0)	7.5YR 7/4	10YR 7/3	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	中	微	中	外面指頭圧痕有
第113図	544	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.2)	4.4	5YR 6/4	7.5YR 1.7/1	並	ナデ	ナデ＋ミガキ	柾目痕	少	中	微	少	外面巻上痕有
第113図	545	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(3.0)	5.0	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	静止糸切	中	中	少	多	外面刻書有
第113図	546	遺構外	確認面	土師器	大坏	口縁～体部	(19.6)	(2.7)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	微	少	外面輪積痕有、口唇部やや丸みを帯びる
第113図	547	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	口縁～底部	13.6	4.1	6.2	10YR 7/3	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	微	中	口唇部打欠痕有、内面煤付着
第113図	548	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(13.2)	4.9	(6.6)	5YR 5/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	少	微	微	少	外面巻上痕有、口唇部打欠痕有
第113図	549	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.0)	(3.2)	(5.4)	10YR 8/4	10YR 8/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	中	微	微	微	内面煤付着
第113図	550	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	口縁～底部	(12.6)	4.4	5.4	7.5YR 8/4	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	少	少	
第113図	551	遺構外	確認面	土師器	大坏	口縁～底部	(16.8)	6.7	5.4	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	微	微	外面体部墨書有、外面煤付着
第113図	552	遺構外	確認面	土師器	大坏	口縁～底部	14.7	5.7	4.9	10YR 6/6	10YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	微	微	微	微	口唇部打欠痕有、内外底面煤付着
第113図	553	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	(13.6)	6.1	(6.4)	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	微	中	外面巻上痕、内外面指頭圧痕有、内外面煤付着
第113図	554	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～体部	(14.4)	(4.3)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	微	少	内外面煤付着
第113図	555	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(3.5)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	微	
第113図	556	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.0)	－	5YR 5/6	7.5YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	少	少	内外面煤付着
第114図	557	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(3.4)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	少	少	外面巻上痕有
第114図	558	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.4)	(3.6)	－	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	内面煤付着
第114図	559	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(11.4)	(3.4)	－	5YR 7/6	5YR 7/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	微	少	
第114図	560	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(15.0)	(3.7)	－	7.5YR 7/6	7.5YR 8/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	少	多	
第114図	561	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.0)	－	7.5YR 6/4	10YR 6/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	多	多	微	少	内外面輪積痕有
第114図	562	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.2)	－	7.5YR 8/4	7.5YR 8/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	中	少	多	内外面輪積痕有
第114図	563	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(12.8)	(3.5)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	微	中	口唇部打欠痕有、外面煤付着
第114図	564	遺構外	確認面	土師器	大坏	口縁～体部	(18.6)	(4.6)	－	10YR 5/3	10YR 6/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	微	内外面煤付着
第114図	565	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.8)	－	10YR 7/4	10YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	微	微	中	内面巻上痕有
第114図	566	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(18.0)	(4.1)	－	7.5YR 5/3	7.5YR 2/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	中	少	微	外面巻上痕有、内外面煤付着、やや厚みのある器壁
第114図	567	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(4.7)	－	10YR 8/4	7.5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	口唇部打欠痕有、外面巻上痕有
第114図	568	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(11.0)	(3.6)	－	7.5YR 6/4	5YR 6/8	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	微	微	微	外面巻上痕有
第114図	569	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(3.4)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 7/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	微	少	外面墨書有、内面巻上痕有
第114図	570	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(15.8)	(5.0)	－	7.5YR 6/2	7.5YR 5/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	微	微	内面刻書有、内外面煤付着
第114図	571	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(18.2)	(6.3)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	中	少	口唇部打欠痕有、外面煤付着
第114図	572	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(4.5)	－	10YR 6/3	10YR 3/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	小	少	少	微	外面刻書有、内面煤付着
第114図	573	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(16.0)	(3.8)	－	7.5YR 7/3	7.5YR 4/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	少	微	外面巻上痕有、内外面煤付着
第114図	574	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(2.4)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	少	少	口縁部やや外反、口唇部先細る
第114図	575	遺構外	確認面	土師器	坏	体部	－	－	－	7.5YR 4/1	7.5YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	外面刻書有
第114図	576	遺構外	確認面	土師器	坏	体部	－	(2.3)	－	10YR 7/4	10YR 7/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	少	微	外面刻書有、内外面煤付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第114図	577	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(3.0)	(7.2)	5YR 5/8	5YR 6/8	並	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切	少	微	微	中	
第114図	578	遺構外	排土山	土師器	坏	体部～底部	－	(2.3)	(7.0)	10YR 3/3	5YR 5/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切＋ヘラオコシ	少	中	中	少	底面粘土付着
第114図	579	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(3.1)	(5.8)	10YR 8/3	7.5YR 8/3	良	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切	少	多	微	中	
第114図	580	遺構外	表採	土師器	坏	体部～底部	－	(2.7)	5.0	5YR 7/6	7.5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	中	微	少	
第114図	581	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.7)	4.4	2.5YR 6/6	5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	中	中	多	微	内外面煤付着
第114図	582	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(3.4)	6.2	7.5YR 7/6	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	多	少	多	内面炭化物付着、輪積痕、底部細めの糸による糸切
第114図	583	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.5)	5.2	7.5YR 7/6	7.5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	微	少	
第114図	584	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.5)	5.7	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	多	中	内面巻上痕有、内外面煤付着、底部太めの糸による糸切
第114図	585	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(3.2)	4.6	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	微	微	多	外面指頭圧痕有、内面爪痕有
第114図	586	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.2)	(6.8)	5YR 4/6	10YR 7/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	少	中	少	微	外面刻書有、外面指頭圧痕有
第115図	587	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	体部～底部	－	(2.6)	(5.8)	5YR 7/6	5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切	微	少	微	微	外面煤付着
第115図	588	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～底部	(12.1)	3.6	(2.2)	7.5YR 6/4	7.5YR 6/6	並	ロクロナデ＋ナデ	ロクロナデ＋ナデ	静止糸切	少	少	微	微	外面巻上痕有
第115図	589	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(13.4)	(4.2)	－	7.5YR 6/6	5YR 5/6	良	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ＋ヘラナデ	－	少	微	微	微	外面巻上痕有、口唇部内面外傾
第115図	590	遺構外	－	土師器	坏	口縁～体部	(11.2)	(3.7)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	中	少	微	微	
第115図	591	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～体部	(14.6)	(4.3)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 7/6	良	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	微	内外面輪積痕有
第115図	592	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(11.6)	(3.1)	－	10YR 7/4	10YR 7/4	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ＋ヘラナデ"	－	少	微	微	少	
第115図	593	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(16.4)	(6.2)	－	5YR 6/6	10YR 6/4	並	ロクロナデ＋ナデ	ロクロナデ	－	少	少	微	少	外面輪積痕有、内面煤付着、厚めの器壁
第115図	594	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(4.2)	5.4	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ＋ナデ	ロクロナデ＋ナデ	静止糸切	少	少	微	微	外面巻上痕有、指頭圧痕有、内面煤付着
第115図	595	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(4.2)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	－	少	中	微	少	外面指頭圧痕有、内面二次被熱
第115図	596	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(4.0)	－	10YR 7/4	N 3/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	－	少	中	微	中	内面黒色処理、外面煤付着
第115図	597	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.8)	－	7.5YR 8/4	7.5YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	－	微	多	微	少	二次被熱
第115図	598	遺構外	－	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(3.7)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 2/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	－	少	少	少	微	内面黒色処理
第115図	599	遺構外	Ⅱ層	土師器	坏	口縁～体部	(11.0)	(2.6)	－	7.5YR 6/4	10YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	－	少	中	少	微	外面巻上痕有、内面二次被熱
第115図	600	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(2.8)	4.6	10YR 6/4	10YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	右回転糸切	微	微	微	少	外面炭化物付着、内面黒色処理、底面炭化物付着
第115図	601	遺構外	表土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.1)	5.8	7.5YR 7/6	10YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	右回転糸切	微	微	微	少	内面黒色処理、外底面炭化物付着
第115図	602	遺構外	確認面	土師器	坏	体部～底部	－	(1.9)	5.4	10YR 7/4	N 2/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ+ヘラミガキ	右回転糸切	少	少	微	微	内面黒色処理
第115図	603	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.6)	(4.6)	－	5YR 5/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	微	少	外面輪積痕有、内外面煤付着
第115図	604	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.6)	(7.3)	－	10YR 7/4	5YR 5/4	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	微	内面輪積痕、指頭圧痕有、内外面煤付着、口唇部内面外傾
第115図	605	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(30.8)	(5.7)	-	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	微	
第115図	606	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(16.0)	(6.1)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	多	微	少	口唇部打欠痕有、口唇部内面外傾
第115図	607	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(19.0)	(4.5)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	微	微	
第115図	608	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(14.1)	(5.6)	－	5YR 4/2	5YR 5/2	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	微	微	内外面輪積痕有
第115図	609	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(17.4)	(3.1)	－	7.5YR 8/4	7.5YR 8/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	微	微	少	
第115図	610	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(23.2)	(9.9)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	内面輪積痕有
第116図	611	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(19.0)	(10.7)	－	10YR 7/2	10YR 6/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	微	口唇部打欠痕有、外面炭化物付着、外面輪積痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第116図	612	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.4)	(4.6)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 7/3	並	ナデ	ナデ	－	中	中	微	少	外面輪積痕、指頭圧痕有
第116図	613	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(25.4)	(5.8)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	多	中	少	少	内面輪積痕有、外面煤付着
第116図	614	遺構外	排土山	土師器	甕	口縁～体部	(19.8)	(5.9)	－	7.5YR 7/6	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	中	多	少	内面一部剥落
第116図	615	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(19.0)	(5.3)	－	5YR 7/6	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	微	少	外面指頭圧痕、輪積痕有、口縁部急激に薄くなる
第116図	616	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(17.6)	(5.0)	－	7.5YR 3/3	7.5YR 4/2	並	ナデ	ナデ	－	少	中	微	少	内面輪積痕有、内外面煤付着
第116図	617	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(9.3)	－	5YR 6/6	7.5YR 6/3	並	ナデ	ロクロナデ	－	多	少	微	少	外面輪積痕、指頭圧痕有、口唇部平坦に整形
第116図	618	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(23.6)	(7.0)	－	5YR 5/6	5YR 5/8	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	中	中	中	口唇部打欠痕有、内面煤付着
第116図	619	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(30.0)	(4.6)	－	7.5YR 4/2	7.5YR 4/2	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	少	中	多	微	外面輪積痕有、内外面煤付着
第116図	620	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(25.0)	(4.7)	－	10YR 7/3	7.5YR 6/1	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	中	少	微	内外面煤付着
第116図	621	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(15.6)	(5.8)	－	10YR 7/4	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	多	
第116図	622	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(15.6)	(4.0)	－	10YR 5/3	10YR 4/1	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	微	口唇部打欠痕有、外面口唇部工具痕有、外面煤付着
第116図	623	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(7.5)	－	7.5YR 7/3	7.5YR 6/2	並	ナデ	ナデ	－	少	中	多	微	内外面輪積痕有、内面指頭圧痕有、口縁部やや長め
第116図	624	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(23.6)	(4.9)	－	7.5YR 7/3	10YR 6/3	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	少	少	微	外面輪積痕有、内面煤付着
第116図	625	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(26.8)	(5.4)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	少	微	少	内面輪積痕有、外面煤付着、
第116図	626	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(25.8)	(5.2)	－	7.5YR 7/4	5YR 7/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	多	中	中	中	内外面煤付着
第116図	627	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(9.2)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	良	ヘラケズリ	ナデ	－	多	中	中	中	内面輪積痕有
第117図	628	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(19.2)	(5.6)	－	7.5YR 7/4	5YR 6/8	並	ナデ	ナデ	－	中	中	少	微	内外面煤付着
第117図	629	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.4)	(4.9)	－	10YR 8/4	7.5YR 7/4	並	ケズリ	ナデ	－	中	中	微	中	
第117図	630	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(15.8)	(7.7)	－	5YR 6/6	7.5YR 7/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	微	口唇部打欠痕有、内外面煤付着
第117図	631	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(6.3)	－	7.5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	少	外面煤付着
第117図	632	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(14.8)	(5.5)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ハケメ	－	多	少	微	少	外面輪積痕有、内面煤付着
第117図	633	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(15.4)	(6.4)	－	10YR 3/2	10YR 5/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	外面口縁部工具痕有、内面煤付着
第117図	634	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(17.0)	(5.5)	－	7.5YR 7/4	5YR 7/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	少	中	微	少	外面輪積痕有
第117図	635	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.8)	(8.1)	－	5YR 7/6	5YR 7/6	良	ナデ	ナデ	－	少	中	多	少	内外面指頭圧痕、輪積痕有
第117図	636	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(24.0)	(6.7)	－	5YR 7/6	7.5YR 6/4	並	ナデ	ナデ	－	中	中	少	中	内面指頭圧痕有、輪積痕有、内面やや雑な調整、内外面煤付着
第117図	637	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(22.2)	(5.7)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 6/3	並	ヘラナデ	ナデ	－	中	少	微	微	外面指頭圧痕、内面輪積痕有、外面煤付着
第117図	638	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(25.6)	(7.1)	－	5YR 4/8	5YR 4/8	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	中	少	内外面輪積痕有
第117図	639	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(7.9)	－	5YR 5/8	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	少	内面白色付着物有、内面煤付着
第117図	640	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(19.6)	(6.8)	－	2.5YR 5/8	2.5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	微	中	口唇部打欠痕有、内面煤付着
第117図	641	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(22.6)	(9.7)	－	7.5YR 7/4	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	少	少	外面口縁部工具痕有、内外面輪積痕有、内外面煤付着
第117図	642	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(15.8)	(5.0)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	微	
第117図	643	遺構外	排土山	土師器	甕	口縁～体部	(17.6)	(9.0)	－	5YR 5/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	微	少	少	外面輪積痕有
第117図	644	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(24.4)	(7.0)	－	5YR 6/8	5YR 6/8	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	少	微	微	外面炭化物付着
第118図	645	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(15.0)	(6.8)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	多	中	少	少	口唇部打欠痕有、内面輪積痕有
第118図	646	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(20.4)	(7.2)	－	7.5YR 5/4	7.5YR 4/2	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	微	微	口唇部打欠痕有、内面指頭圧痕有、内面煤付着、口唇部平坦
第118図	647	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(18.6)	(6.3)	－	10YR 8/1	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	少	少	少	内面輪積痕有、内面煤付着
第118図	648	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(14.0)	(4.3)	－	5YR 6/6	2.5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	中	内外面煤付着
第118図	649	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(24.6)	(7.1)	－	7.5YR 6/2	7.5YR 7/3	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	微	多	外面煤付着
第118図	650	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(25.6)	(14.8)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 4/3	良	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	多	多	少	中	内外面煤付着
第118図	651	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(26.6)	(9.7)	－	5YR 5/8	5YR 5/8	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	中	少	微	外面炭化物付着、内面煤付着、指頭圧痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第118図	652	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(18.6)	(9.8)	－	5YR 5/6	5YR 5/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	多	中	多	外面口縁部工具痕有、輪積痕有、内面煤付着、口唇部平坦
第118図	653	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.2)	(7.4)	－	5YR 5/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	少	微	少	内外面煤付着
第118図	654	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(20.6)	(7.9)	－	7.5YR 4/2	10YR 4/2	並	ヘラナデ	ハケメ	－	少	微	微	微	外面輪積痕有、内外面煤付着
第118図	655	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.4)	(6.8)	－	7.5YR 6/3	7.5YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	内面輪積痕有、内外面煤付着
第118図	656	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(19.8)	(6.9)	－	7.5YR 7/4	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	微	微	微	外面口縁部工具痕有
第118図	657	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(16.0)	(7.4)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 7/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	少	微	微	内外面輪積痕有
第118図	658	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.6)	(9.6)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	微	微	微	微	内外面輪積痕有、内面煤付着
第118図	659	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.3)	(7.5)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ナデ＋ヘラケズリ	－	中	少	微	微	内外面輪積痕有
第119図	660	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(17.0)	(8.1)	－	7.5YR 7/6	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	微	微	微	外面輪積痕有、内面指頭圧痕有、外面炭化物付着
第119図	661	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.8)	(7.1)	－	5YR 6/6	7.5YR 5/4	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	中	少	微	内面指頭圧痕有、輪積痕有
第119図	662	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.8)	(6.2)	－	7.5YR 7/6	10YR 7/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	少	少	微	少	内外面輪積痕有、口縁部やや強く屈曲
第119図	663	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(18.8)	(9.6)	－	5YR 6/6	7.5YR 6/4	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	中	少	中	
第119図	664	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(19.4)	(4.5)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 6/3	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	少	多	微	内外面煤付着
第119図	665	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(18.6)	(5.4)	－	5YR 5/6	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	中	外面煤付着
第119図	666	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.6)	(5.3)	－	10YR 4/2	10YR 5/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	微	微	微	少	内外面煤付着、口縁部器壁やや厚い
第119図	667	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(16.6)	(5.4)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	少	内面指頭圧痕有、内外面煤付着
第119図	668	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(3.3)	－	5YR 5/8	5YR 5/8	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	微	
第119図	669	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(21.0)	(5.4)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	多	外面輪積痕有、指頭圧痕有、内面煤付着
第119図	670	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	口縁～体部	(24.4)	(4.4)	－	5YR 6/6	5YR 4/2	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	微	口唇部打欠痕有、外面口縁部工具痕有、外面輪積痕有、体部外面一部剥落
第119図	671	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	口縁～体部	(19.4)	(5.8)	－	5YR 6/8	5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	少	微	中	外面輪積痕有、内面指頭圧痕有、内面煤付着
第119図	672	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.6)	(4.3)	－	5YR 5/6	5YR 5/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ハケメ＋ナデ	－	少	少	微	微	内外面輪積痕有
第119図	673	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(6.7)	－	7.5YR 5/4	7.5YR 4/2	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	少	少	微	外面輪積痕有、工具痕有、内外面煤付着
第119図	674	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(17.8)	(4.1)	－	7.5YR 5/3	7.5YR 4/3	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	中	微	少	内外面輪積痕有、内面煤付着
第119図	675	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.6)	(6.6)	－	5YR 7/6	7.5YR 8/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	微	多	少	微	内外面輪積痕有
第119図	676	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(28.2)	(6.6)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	中	微	中	内面輪積痕有、やや厚めの器壁
第119図	677	遺構外	確認面	土師器	甕	口縁～体部	(22.8)	(4.5)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	少	口唇部打欠痕有、内面煤付着
第119図	678	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	口縁～体部	(23.4)	(4.6)	－	7.5YR 4/3	7.5YR 5/4	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	微	微	微	内外面煤付着
第120図	679	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	口縁～体部	(23.8)	(4.7)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	微	微	中	外面輪積痕有、内面煤付着
第120図	680	遺構外	Ⅱ層	土師器	甕	口縁～体部	(21.0)	(6.8)	－	2.5YR 5/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	中	外面輪積痕有、内面指頭圧痕有、内面煤付着
第120図	681	遺構外	－	土師器	甕	口縁～体部	(22.6)	(3.3)	－	2.5YR 5/4	2.5YR 6/6	不良	ナデ	ハケメ	－	少	微	微	微	内面煤付着
第120図	682	遺構外	確認面	土師器	甕	底部	－	－	－	5YR 6/4	7.5YR 3/1	並	ヘラナデ	ナデ	ヘラナデ	中	少	少	中	底部刻書有、内外面煤付着、破断面磨滅
第120図	683	遺構外	確認面	土師器	甕	体部～底部	－	(3.9)	(15.4)	10YR 8/1	5YR 6/6	良	ヘラケズリ	ヘラナデ	網代痕	中	少	中	微	内面指頭圧痕有
第120図	684	遺構外	確認面	土師器	甕	体部～底部	－	(3.7)	(7.6)	7.5YR 7/3	10YR 7/3	並	ナデ	ナデ	網代痕	少	中	少	少	外面指頭圧痕有、輪積痕有、内外面煤付着
第120図	685	遺構外	確認面	土師器	甕	体部～底部	－	(10.7)	(5.8)	5YR 7/4	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	網代痕＋ヘラナデ	中	多	微	少	内面輪積痕有、内面煤付着
第120図	686	遺構外	確認面	土師器	甕	体部～底部	－	(3.7)	6.4	5YR 7/6	5YR 7/6	並	ナデ	ナデ	柾目痕＋ヘラナデ	中	多	少	少	内外面爪痕有、外面輪積痕、指頭圧痕有
第120図	687	遺構外	確認面	土師器	甕	体部～底部	－	(6.3)	7.2	10YR 5/2	10YR 5/2	並	ヘラナデ	ヘラナデ	ヘラナデ	中	少	微	微	内外面煤付着
第120図	688	遺構外	－	土師器	甕	体部～底部	－	(5.6)	9.3	10YR 6/3	7.5YR 4/1	良	ヘラケズリ	ナデ	砂底＋柾目痕	中	多	微	少	内外面煤付着
第120図	689	遺構外	確認面	土師器	甕	体部～底部	－	(5.5)	(6.4)	5YR 6/6	7.5YR 3/1	並	ヘラケズリ	ナデ	網代痕	少	中	少	微	内外面煤付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第120図	690	遺構外	確認面	土師器	甕	体部～底部	－	(5.9)	(9.8)	7.5YR 5/2	7.5YR 6/4	並	ナデ	ハケメ＋ナデ	網代痕	少	中	微	少	外面輪積痕有、内外面煤付着
第120図	691	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(12.6)	(11.4)	－	7.5YR 5/2	5YR 5/2	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	少	微	外面指頭圧痕有、内面煤付着
第120図	692	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(16.0)	(3.8)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ナデ	－	少	少	微	微	外面輪積痕有
第120図	693	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(14.3)	(4.5)	－	10YR 5/2	10YR 5/3	良	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	少	微	外面指頭圧痕有、内外面輪積痕有、内面煤付着
第120図	694	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(15.4)	(7.8)	－	5YR 6/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	多	中	少	少	外面口縁部工具痕、輪積痕有、内面煤付着
第120図	695	遺構外	排土山	土師器	小甕	口縁～体部	(13.8)	(5.1)	－	10YR 7/3	10YR 7/4	並	ヘラケズリ＋ナデ	ナデ	－	中	中	少	微	内外面煤付着
第120図	696	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(15.0)	(4.8)	－	5YR 6/4	5YR 6/4	不良	ナデ	ナデ	－	微	少	微	少	内面巻上痕有、内面煤付着、口唇部内面外傾
第120図	697	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(13.0)	(9.8)	－	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	中	微	少	外面煤付着
第120図	698	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(13.0)	(4.7)	－	5YR 4/6	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	少	微	口唇部打欠痕有
第121図	699	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(15.0)	(3.8)	－	5YR 7/6	5YR 7/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	少	微	内外面焼ハジケ有
第121図	700	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(9.0)	(3.8)	－	10YR 6/3	10YR 6/3	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ	－	中	少	微	微	把手剥落部分有、内外面煤付着
第121図	701	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(15.6)	(9.6)	－	7.5YR 7/6	7.5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	微	多	内外面輪積痕有、内面煤付着
第121図	702	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	12.8	(10.1)	－	5YR 6/8	5YR 6/8	並	ナデ	ナデ	－	中	中	少	微	内外面輪積痕有、内面指頭圧痕有
第121図	703	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(16.2)	(7.2)	－	10YR 3/2	5YR 5/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	少	微	
第121図	704	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(10.4)	(4.6)	－	10YR 5/1	N 2/0	並	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	少	中	少	微	内外面煤付着、口唇部内面外傾
第121図	705	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(13.8)	(3.5)	－	5YR 4/2	7.5YR 5/1	良	ヘラナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	少	中	少	微	外面輪積痕有、内外面煤付着
第121図	706	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(14.0)	(5.3)	－	5YR 6/8	5YR 6/8	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	微	微	
第121図	707	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～体部	(7.6)	(2.8)	－	10YR 7/4	10YR 8/4	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	外面指頭圧痕有、外面煤付着
第121図	708	遺構外	表土	土師器	小甕	口縁～体部	(8.0)	(3.2)	－	5YR 5/6	10YR 4/2	並	ヘラナデ	ナデ	－	微	少	微	微	内面輪積痕有
第121図	709	遺構外	－	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.4)	(6.6)	10YR 6/3	10YR 7/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	ヘラケズリ＋ナデ	多	中	少	中	底部上底状を呈する
第121図	710	遺構外	確認面	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.2)	(5.2)	10YR 7/4	10YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	少	微	微	中	太めの糸による糸切
第121図	711	遺構外	確認面	土師器	小甕	体部～底部	－	(3.2)	(5.4)	2.5YR 3/1	7.5YR 5/2	良	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ナデ	網代痕	少	微	微	微	内面輪積痕有
第121図	712	遺構外	確認面	土師器	小甕	体部～底部	－	(5.5)	4.6	7.5YR 6/3	7.5YR 4/1	並	ヘラケズリ＋ナデ	ナデ	ナデ？	少	中	少	微	内面指頭圧痕有、内外面煤付着
第121図	713	遺構外	確認面	土師器	壺	口縁～体部	(17.6)	(5.0)	－	10YR 6/3	10YR 6/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	口唇部打欠痕有、内面輪積痕有
第121図	714	遺構外	確認面	土師器	壺	口縁～体部	(14.2)	(5.4)	－	10YR 8/3	7.5YR 5/3	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	中	多	少	少	内面輪積痕有、内面口縁部煤付着
第121図	715	遺構外	確認面	土師器	壺	口縁～体部	(22.0)	(5.2)	－	10YR 3/1	10YR 3/1	良	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	少	中	微	微	外面輪積痕有、内外面煤付着
第121図	716	遺構外	確認面	土師器	壺	口縁～体部	(18.0)	(4.9)	－	7.5YR 5/3	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ＋ナデ	－	微	微	微	中	内外面煤付着
第121図	717	遺構外	確認面	土師器	壺	口縁～体部	(13.0)	(4.5)	－	10YR 7/3	7.5YR 8/2	良	ナデ	ナデ	－	少	中	微	少	内面指頭圧痕有
第121図	718	遺構外	表土	土師器	壺	体部	－	(11.2)	－	7.5YR 6/6	10YR 8/3	並	ヘラナデ＋ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	微	中	内面輪積痕有
第121図	719	遺構外	確認面	土師器	壺	体部～底部	－	(8.0)	(6.4)	5YR 6/6	5YR 6/8	並	ヘラナデ	ヘラナデ	ヘラナデ	中	多	微	中	内面指頭圧痕有、外面煤付着
第121図	720	遺構外	確認面	土師器	鍋	口縁～体部	(24.0)	(6.0)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	少	少	微	微	内外面輪積痕有、外面籾圧痕有、内面煤付着
第121図	721	遺構外	Ⅱ層	土師器	鍋	口縁～体部	(33.6)	(13.5)	－	10YR 6/3	10YR 7/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	微	少	少	口唇部打欠痕有、外面指頭圧痕有、外面煤付着
第122図	722	遺構外	確認面	土師器	羽釜	口縁～体部	(20.0)	(6.0)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	中	微	少	直胴形、外面輪積痕有、内面指頭圧痕有、内面煤付着
第122図	723	遺構外	確認面	土師器	ミニチュア土器	口縁～底部	(5.0)	5.2	3.2	10YR 6/3	10YR 7/4	並	ナデ	ナデ	ナデ	少	微	微	微	内外面指頭圧痕有、内面口唇部外傾
第122図	724	遺構外	確認面	土師器	ミニチュア土器	口縁～体部	(5.4)	(2.2)	－	5YR 7/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	微	少	内面煤付着
第122図	725	遺構外	確認面	土師器	ミニチュア土器	口縁～体部	(6.8)	(3.6)	－	7.5YR 7/3	7.5YR 7/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	微	少	外面煤付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第122図	726	遺構外	確認面	擦文	甕	体部	－	－	－	10YR 6/4	10YR 5/4	並	刺突＋沈線	ナデ	－	中	少	少	少	外面煤付着
第122図	727	遺構外	確認面	擦文	甕	体部	－	－	－	7.5YR 6/4	5YR 5/4	並	沈線＋隆帯＋刺突	ヘラナデ＋ヘラミガキ	－	中	少	少	少	内面煤付着
第122図	728	遺構外	表採	須恵器	坏	体部～底部	－	(1.8)	(4.6)	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	微	微	中	微	外面火襷痕有
第122図	729	遺構外	確認面	須恵器	鉢	体部	－	(8.5)	－	7.5YR 4/1	7.5YR 4/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	少	微	外面火襷痕有
第122図	730	遺構外	覆土	須恵器	長頸壺	口縁～頸部	(8.2)	(3.9)	－	N 4/0	N 5/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	微	少	微	
第122図	731	遺構外	確認面	須恵器	長頸壺	口縁～頸部	(9.4)	(7.5)	－	N 4/0	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	微	微	外面頸部刻書有、内面輪積痕有、頸部にリング状凸帯有
第122図	732	遺構外	確認面	須恵器	長頸壺	口縁～頸部	(11.0)	(1.6)	－	10R 4/2	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	微	微	内面自然釉付着
第122図	733	遺構外	確認面	須恵器	壺	頸部	－	(4.3)	－	N 4/0	N 3/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	内面剥落、頸部にリング状凸帯有
第122図	734	遺構外	確認面	須恵器	壺	頸部	－	(5.4)	－	10YR 5/1	10YR 5/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	微	微	内外面自然釉付着、外面輪積痕有、頸部にリング状凸帯有
第122図	735	遺構外	確認面	須恵器	壺	体部	－	－	－	N 3/0	N 4/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	多	微	外面刻書有
第122図	736	遺構外	確認面	須恵器	壺	体部	－	－	－	5B 4/1	5B 4/1	やや不良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	
第122図	737	遺構外	確認面	須恵器	壺	底部	－	－	－	5B 3/1	N 4/0	並	ロクロナデ＋ヘラケズリ	ロクロナデ	ヘラナデ	少	少	中	少	底部剥落
第122図	738	遺構外	確認面	須恵器	壺	体部～底部	－	(3.7)	(6.0)	N 5/0	N 5/0	並	ヘラナデ	ロクロナデ	ナデ	微	微	少	微	外面剥落
第122図	739	遺構外	確認面	須恵器	壺	体部～底部	－	(6.0)	(10.4)	N 4/0	N 4/0	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	ヘラナデ	少	微	微	微	
第122図	740	遺構外	表採	須恵器	甕	口縁～頸部	(26.4)	(7.4)	－	N 4/0	N 4/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	多	少	少	微	
第122図	741	遺構外	確認面	須恵器	甕	口縁～頸部	(26.6)	(9.4)	－	N 4/0	N 4/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	少	微	
第122図	742	遺構外	確認面	須恵器	甕	口縁～頸部	(42.8)	(6.0)	－	N 4/0	10YR 4/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	少	－	内外面自然釉付着
第122図	743	遺構外	確認面	須恵器	甕	口縁～肩部	(27.2)	(6.4)	－	N 3/0	N 4/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	－	－	外面刻書有、内面輪積痕有
第122図	744	遺構外	確認面	須恵器	長頸壺	頸部～肩部	－	(7.8)	－	10YR 5/1	10YR 4/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	中	微	頸部リング状凸帯有
第122図	745	遺構外	表採	須恵器	甕	頸部～体部	－	(6.4)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	タタキ	ナデ	－	多	少	微	多	内外面輪積痕有、煤付着
第123図	746	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 3/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	中	
第123図	747	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 4/0	良	タタキ	ナデ	－	少	少	少	微	
第123図	748	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10Y 3/1	7.5Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	中	外面焼台痕有
第123図	749	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10Y2/1	10Y 3/1	良	ナデ タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面灰かぶり
第123図	750	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	多	酸化焼成
第123図	751	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5B 4/1	5B 4/1	やや不良	タタキ	ナデ	－	少	少	多	微	
第123図	752	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 2/2	7.5Y 4/2	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	中	
第123図	753	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 3/0	やや不良	タタキ	ナデ	－	少	少	多	微	外面焼台痕有、火膨れ箇所有
第123図	754	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 3/1	5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	微	外面自然釉付着、内面輪積痕有
第123図	755	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5YR 4/8	7.5YR 4/3	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	内外面煤付着
第123図	756	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 2/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	少	外面灰かぶり、内面輪積痕有
第123図	757	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 6/1	2.5Y 6/1	並	タタキ	ナデ	－	多	少	中	少	内外面煤付着
第123図	758	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 6/1	2.5Y 6/1	並	タタキ	ナデ	－	多	少	中	少	
第123図	759	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	内外面一部剥落
第123図	760	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 2/1	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	
第123図	761	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5GY 2/1	2.5Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	中	
第123図	762	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	
第123図	763	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 3/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	外面自然釉付着
第123図	764	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5YR 5/8	2.5YR 5/8	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	内外面煤付着
第123図	765	遺構外	Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	微	
第123図	766	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/1	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	
第123図	767	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	
第123図	768	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 3/1	7.5Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	中	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第123図	769	遺構外	排土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 5/1	5Y 5/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第123図	770	遺構外	排土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	
第123図	771	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 4/1	10YR 3/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	中	
第123図	772	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 6/6	5YR 6/8	並	タタキ	ナデ	－	微	少	少	少	内面一部剥落
第123図	773	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 7/6	7.5YR 6/6	並	タタキ	ヘラナデ	－	少	少	中	多	
第123図	774	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	微	少	少	少	
第123図	775	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	中	
第124図	776	遺構外	確認面	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	7.5YR 2/1	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	中	内面輪積痕、指頭圧痕有
第124図	777	遺構外	確認面	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	5B 3/1	5B 3/1	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面輪積痕有
第124図	778	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	少	
第124図	779	遺構外	－	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	少	中	少	少	
第124図	780	遺構外	Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 4/2	2.5YR 3/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	中	
第124図	781	遺構外	確認面	須恵器	甕	肩部	－	－	－	7.5Y 4/1	7.5Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	多	中	少	中	内外面一部剥落
第124図	782	遺構外	Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/1	N 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	
第124図	783	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 2/1	2.5Y 3/1	並	タタキ	ナデ＋当て具痕	－	少	中	多	多	
第124図	784	遺構外	Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 2/0	並	タタキ	ナデ	－	少	中	多	多	
第124図	785	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10Y 2/1	5Y 3/1	良	タタキ	ナデ	－	少	少	少	中	
第124図	786	遺構外	確認面 Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	外面黒色で光沢を帯びている、胎土内火膨れ箇所有
第124図	787	遺構外	Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 3/1	7.5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	
第124図	788	遺構外	Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 5/2	2.5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	中	破断面磨滅
第124図	789	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 4/4	5YR 4/6	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	多	内外面煤付着
第124図	790	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5B/2/1	5B 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	
第124図	791	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 3/4	5YR 2/2	並	タタキ	ヘラナデ	－	少	中	多	中	
第124図	792	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 5/2	5YR 6/6	不良	タタキ	ナデ	－	中	少	多	多	外面煤付着、酸化焼成
第124図	793	遺構外	排土山	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	外面付着物有
第124図	794	遺構外	排土山	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 4/2	10YR 5/4	並	タタキ	ナデ	－	多	少	多	中	
第124図	795	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5YR 6/8	2.5YR 6/8	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	多	酸化焼成
第124図	796	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 6/1	2.5Y 6/1	並	タタキ	ナデ	－	多	中	少	少	
第124図	797	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 3/1	7.5Y 3/1	不良	タタキ	ナデ	－	少	多	中	少	外面灰かぶり、火膨れ箇所有
第124図	798	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	5PB 3/1	10G 2/1	並	タタキ	ナデ	－	少	中	中	少	外面灰かぶり
第124図	799	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10Y 3/2	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	外面自然釉付着、灰かぶり
第124図	800	遺構外	排土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	多	内面灰かぶり、自然釉付着
第124図	801	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 4/4	7.5YR 4/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	中	酸化焼成
第124図	802	遺構外	確認面	須恵器	甕	頸部～肩部	－	－	－	7.5YR 4/3	2.5YR 3/1	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	少	少	少	中	自然釉付着
第124図	803	遺構外	確認面	製塩土器	－	体部	－	(6.1)	－	5YR 7/6	2.5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	－	多	中	中	微	外面輪積痕有
第124図	804	遺構外	確認面	製塩土器	－	体部	－	(3.7)	－	7.5YR 8/2	7.5YR 8/2	並	ナデ	ナデ	－	少	中	微	微	外面輪積痕有
第125図	805	遺構外	Ⅱ層	かわらけ	－	口縁～底部	(13.0)	3.0	(8.0)	7.5YR 5/4	10YR 4/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	ヘラナデ	少	微	微	微	口唇部打欠痕有、内面巻上痕有、外面指頭圧痕有
第125図	806	遺構外	確認面	珠洲焼	壺	口縁～体部	12.6	(10.8)	-	10YR 5/1	10YR 5/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	微	微	内外面自然釉付着、808と同一個体
第125図	807	遺構外	確認面	珠洲焼	壺	体部～底部	－	(4.7)	(10.0)	10YR 5/1	10YR 6/1	並	ヘラナデ	ロクロナデ	ヘラナデ	少	微	微	少	内面煤付着
第125図	808	遺構外	確認面	珠洲焼	壺	体部～底部	－	(2.0)	(6.2)	N 4/0	N 5/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	微	微	微	806と同一個体
第125図	809	遺構外	排土	珠洲焼	擂鉢	体部	－	－	－	10Y 5/1	10Y 5/1	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ＋ヘラナデ	－	中	少	多	少	
第125図	810	遺構外	排土	珠洲焼	擂鉢	体部	－	－	－	7.5Y 5/1	7.5Y 5/1	不良	ロクロナデ	ナデ	－	少	少	多	微	内面一部剥落
第125図	811	遺構外	Ⅱ層	珠洲焼	甕	体部	－	－	－	N 5/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第125図	812	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 6/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面一部黒色で光沢を帯びる
第125図	813	遺構外	表採	須恵器	甕	頸部～体部	－	(6.1)	－	2.5Y 5/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	微	微	少	微	内面輪積痕有
第125図	814	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第125図	815	遺構外	Ⅱ層	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 4/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	微	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第125図	816	遺構外	確認面	常滑	大甕	体部	－	(7.1)	－	2.5YR 2/2	2.5YR 2/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ ＋ヘラナデ	－	多	多	中	微	
第125図	817	遺構外	確認面	常滑	大甕	体部～底部	－	(5.5)	(19.0)	2.5YR 3/2	2.5YR 2/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	ナデ	多	多	中	微	内外面自然釉付着、内面輪積痕有
第125図	818	遺構外	Ⅱ層	常滑	壺	体部～底部	－	(5.4)	(16.6)	10R 3/1	7.5YR 4/1	並	ナデ	ナデ	ナデ	微	微	微	微	内外面輪積痕有
第125図	819	遺構外	確認面	陶磁器	鉢	口縁～体部	(18.8)	(4.2)	－	7.5Y 5/2	7.5Y 5/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	
第125図	820	遺構外	表土	陶磁器	鉢	口縁～頸部	(30.0)	(1.6)	－	5Y 4/2	5Y 4/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	微	－	微	

第11表　川原館遺跡Ｂ区出土木製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	計測値(cm)			製品群	製品名	木取	樹種	備考
				長さ	幅	厚さ					
第90図	木48	SD-57	覆土	(26.3)	3.5	0.6	用途不明	板状	柾目	スギ科スギ属スギ	貫通孔有　樹種同定No.29
第90図	木49	SD-57	覆土	(13.1)	1.7	0.4	用途不明	板状	板目	ヒノキ科アスナロ属	貫通孔有　樹種同定No.36
第90図	木50	SD-57	覆土	22.1	20.8	1.5	容器	曲物,底板	追柾目		
第90図	木51	SD-57	覆土	(19.3)	(5.3)	0.53	容器	曲物,側板	柾目		樺皮付き一部炭化
第90図	木52	SD-57	覆土	17.1	6.3	0.7	用途不明	板状	柾目	ヒノキ科アスナロ属	中心部貫通孔、釘孔有　樹種同定No.31
第90図	木53	SD-57	撹乱	21.5	8.2	(2.7)	服飾具	下駄	柾目		
第90図	木54	SD-105	覆土	52.4	3.0	3.0	建築材, 部材, 杭等	杭	芯持丸木		
第90図	木55	SD-117	最下層	(6.6)	7.8	0.9	紡織具	紡輪	柾目		側面木釘付き、柄杓底板を転用
第94図	木56	BSE-02	覆土	12.0	10.5	1.1	調理加工具	柄杓,側板	柾目	ヒノキ科アスナロ属	柄なし。器高8.6 樹種同定No.35
第94図	木57	BSE-04	覆土	(26.3)	1.1	0.7	用途不明	棒状	追柾目	ヒノキ科アスナロ属	樹種同定No.41
第94図	木58	BSE-04	覆土	19.3	3.8	1.6	用途不明	板状	柾目		
第125図	木59	遺構外	Ⅱ層	(16.9)	(6.0)	1.3	建築材, 部材, 杭等	杭？	柾目		

第12表　川原館遺跡Ｂ区出土石器・石製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量(g)	石質	備考
					長軸	短軸	厚さ			
第91図	石8	SD-57	覆土	砥石	11.1	6.0	5.1	290.0	凝灰岩	
第91図	石9	SD-63	覆土	台石	12.7	10.7	10.2	1412.0	凝灰岩	
第91図	石10	SD-99	覆土	凹石	16.0	10.3	6.7	602.0	泥岩	
第91図	石11	SD-105	覆土	磨石	7.0	6.0	4.6	76.8	砂岩	
第125図	石12	遺構外	排土	石鏃	(4.6)	1.5	0.45	3.2	珪質頁岩	尖基鏃
第125図	石13	遺構外	確認面	砥石	7.9	5.0	5.0	341.9	凝灰岩	
第125図	石14	遺構外	確認面	砥石	8.3	2.1	3.5	53.5	凝灰岩	
第125図	石15	遺構外	Ⅱ層	砥石	9.1	3.0	2.7	109.6	凝灰岩	両側面に擦り切り痕有

第13表　川原館遺跡Ｂ区出土土製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			調整		備考
					長軸	短軸	厚さ	表面	裏面	
第65図	土18	BSI-03カマド	覆土	支脚	(5.8)	(5.2)	(1.2)	ヘラケズリ	－	棒状支脚
第91図	土19	SD-100	覆土	焼成粘土塊	4.2	2.5	2.2	ナデ	ナデ	
第125図	土20	遺構外	－	焼成粘土塊	5.5	3.9	2.4	ナデ	ナデ	混入されたスサの痕跡が認められる。

第14表　川原館遺跡Ｂ区出土鉄関連遺物観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量(g)	メタル度	磁着度	備考
					長軸	短軸	厚さ				
第65図	鉄5	BSI-04	覆土	椀形鍛冶滓(大)	16.3	11.2	5.2	630.0	銹化（△）	1	

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量(g)	メタル度	磁着度	備考
					長軸	短軸	厚さ				
第91図	鉄6	SD-46	覆土	鉄鍋	8.9	9.6	2.3	126.6	M(◎)	3	
第91図	鉄7	SD-46	覆土	環状鉄製品	3.4	3.2	0.9	5.3	錆化（△）	1	
第91図	鉄8	SD-57	覆土	鍛冶滓	3.6	3.7	1.5	16.8	錆化（△）	2	
第91図	鉄9	SD-57	覆土	釘	4.5	1.5	1.0	4.8	錆化（△）	2	
第91図	鉄10	SD-57	覆土	鍛冶滓	4.7	3.1	1.7	15.3	錆化（△）	1	
第91図	鉄11	SD-105	覆土	不明鉄製品	20.5	7.2	3.8	484.0	L（●）	6	
第91図	鉄12	SD-117	覆土	羽口	(6.7)	(10.7)	2.3	131.1	なし	－	表面沈線有、断面円形、推定外径6.9㎝、内径2.8㎝
第91図	鉄13	SD-120	覆土	鉄鍋	5.7	6.5	0.5	34.5	錆化（△）	4	
第94図	鉄14	BSN-04	上部	椀形鍛冶滓	6.2	4.9	3.5	99.5	錆化（△）	2	
第125図	鉄15	遺構外	確認面	椀形鍛冶滓	7.5	4.7	4.0	115.9	錆化（△）	4	
第125図	鉄16	遺構外	確認面	羽口	7.1	3.7	2.1	50.8	なし	－	表面指頭圧痕有、断面円形、小片のため、外径・内径不明
第125図	鉄17	遺構外	確認面	羽口	6.7	5.6	3.5	92.9	なし	－	断面方形、小片のため、外径・内径不明
第125図	鉄18	遺構外	確認面	刀子	12.7	3.1	1.05	60.0	M(◎)	6	やや厚みあり
第125図	鉄19	遺構外	排土山	釘	2.4	0.6	0.5	1.0	錆化（△）	2	
第125図	鉄20	遺構外	確認面	板状鉄製品	3.9	2.0	0.9	6.4	錆化（△）	3	
第125図	鉄21	遺構外	確認面	棒状鉄製品	6.4	1.2	1.1	10.6	錆化（△）	3	
第125図	鉄22	遺構外	確認面	棒状鉄製品	5.9	1.1	0.6	5.5	錆化（△）	2	
第125図	鉄23	遺構外	確認面	不明鉄製品	6.0	2.3	2.8	12.3	錆化（△）	3	

第15表　川原館遺跡Ｂ区出土古銭観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	銭名	計測値（㎜）				重量（g）	初鋳年	備考
					外径	孔径	外縁厚	文字面厚			
第125図	銭4	遺構外	確認面	洪武通寶	22.81	6.17	1.82	1.78	3.11	1368	
第125図	銭5	遺構外	確認面	桐一銭青銅貨	23.02	－	1.32	1.32	3.35	1917	
第125図	銭6	遺構外	確認面	寛永通寶	22.39	6.56	0.97	0.86	1.7	1697～1747 1767～1781	
第125図	銭7	遺構外	確認面	寛永通寶	25.35	5.79	1.45	1.36	4.1	1697～1747 1767～1781	背上「文」
第125図	銭8	遺構外	確認面	寛永通寶	24.76	5.62	1.22	1.22	3.3	1697～1747 1767～1781	銭10と同一鋳型の可能性有
第125図	銭9	遺構外	確認面	寛永通寶	24.39	5.41	1.24	1.27	3.7	1697～1747 1767～1781	
第125図	銭10	遺構外	確認面	寛永通寶	24.91	5.51	0.96	0.98	3.0	1697～1747 1767～1781	銭8と同一鋳型の可能性有
第125図	銭11	遺構外	確認面	寛永通寶	24.86	5.58	1.15	1.04	3.1	1697～1747 1767～1781	
第125図	銭12	遺構外	確認面	寛永通寶	24.23	5.34	1.22	1.23	3.2	1697～1747 1767～1781	

第４節　Ｃ区

１．土坑

CSK－01（第127図）

EQ－160グリッドで検出した。CSP－30、33と重複している。本遺構がCSP－33を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSP－30との新旧関係は不明である。全体形は不明だが、平面形は方形を呈していると考えられ、規模は長軸66×短軸34×深さ68㎝を測る。壁は西側が段を持って立ち上がり、東側がほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

CSK－02（第127図）

EO・EP－159グリッドで検出した。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸156×短軸40×深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と段をもって立ち上がる部分が認められ、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒色を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

CSK－03（第127図）

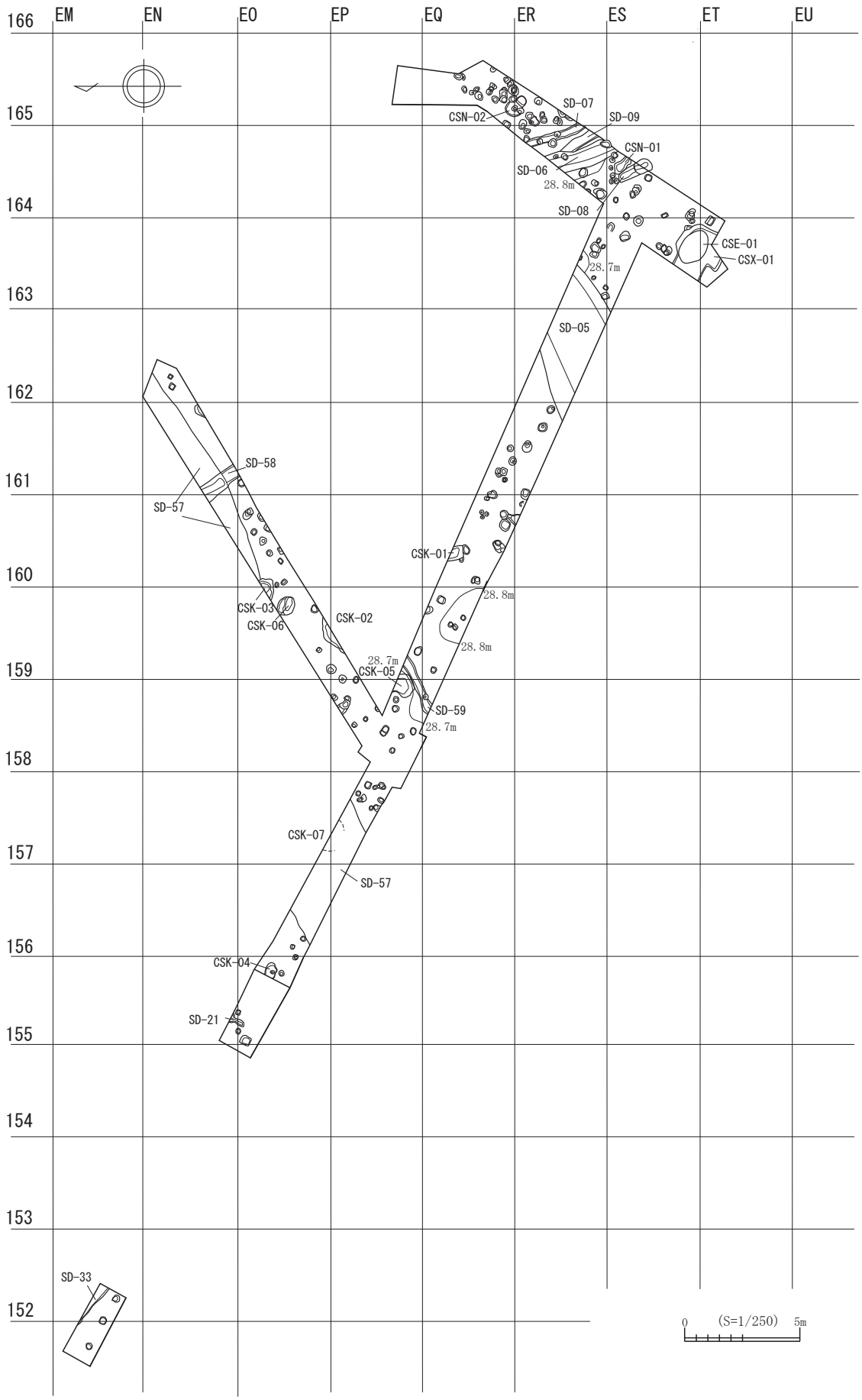
EO－159・160グリッドで検出した。SD－57と重複している。本遺構がSD－57を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈していると考えられ、規模は長軸86×短軸44×深さ48㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と開口部で外反する部分が認められ、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点（第145図821）を図示した。821は非ロクロ皿の口縁部～体部で、内外面ナデによって調整されている。

CSK－04（第127図）

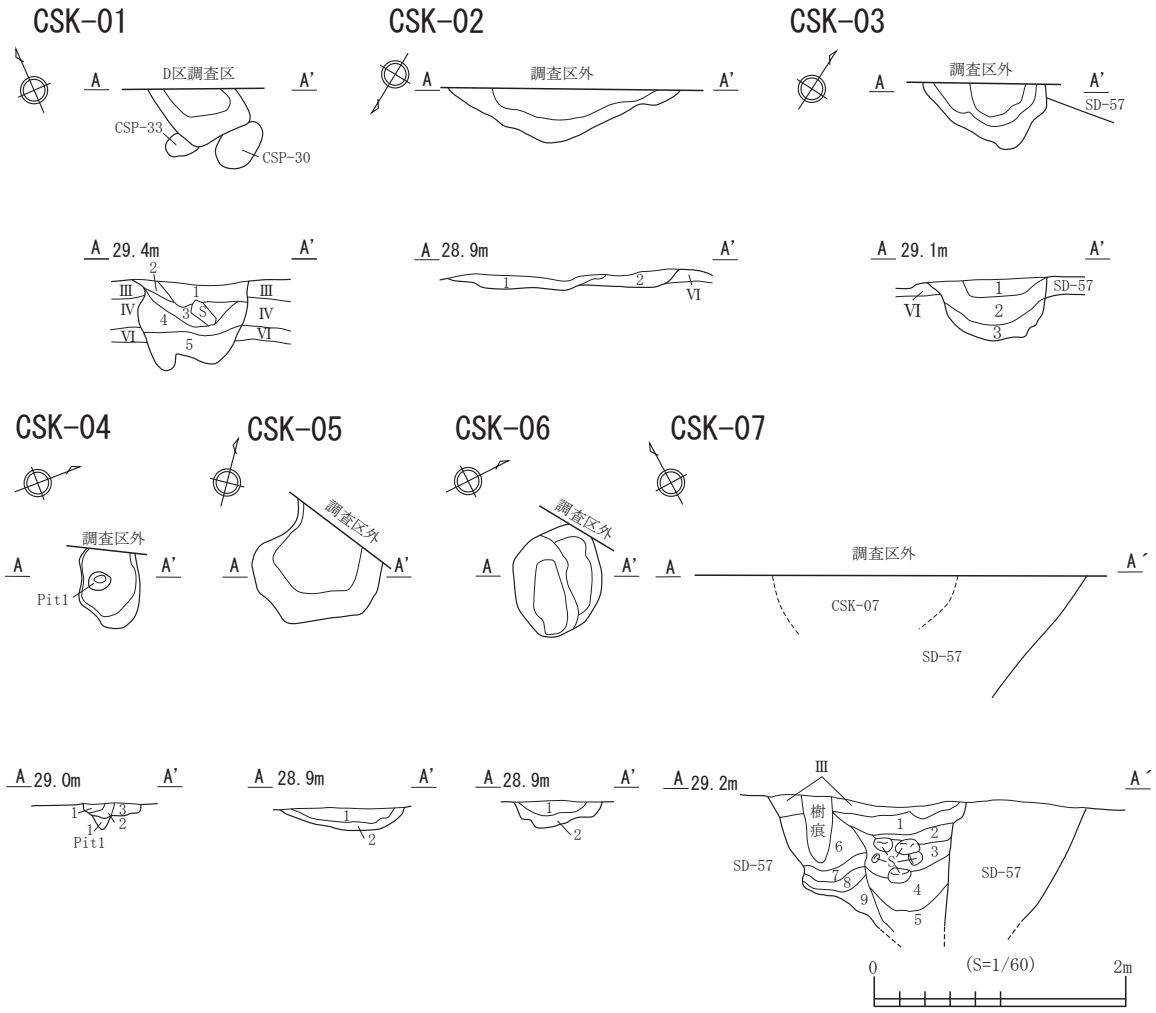
EO－155グリッドで検出した。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈しており、規模は長軸57×短軸47×深さ19㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面からピット１基を確認した。平面形は円形を呈し、規模は、Pit1＝長軸18×短軸14×深さ８㎝を測る。堆積土はピットを除いて３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

CSK－05（第127図）

EP－158・159グリッドで検出した。SD－59と一部接しているが、新旧関係は不明である。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈しており、規模は長軸98×短軸79×深さ16㎝を測る。壁は緩やかな傾斜をもって立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。



第126図　川原館遺跡Ｃ区遺構配置図



CSK-01 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、礫(φ40mm)微量
第5層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、礫(φ5～30mm)微量

CSK-02 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～9mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～9mm)少量

CSK-03 第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、炭化物ブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

CSK-04 第1層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
Pit1 第1層 10YR3/3 暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層 酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

CSK-05 第1層 10YR1.7/1 黒色土 ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ2～5mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量

CSK-06 第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ5～10mm)少量、酸化鉄粒(φ2～5mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量

CSK-07 第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～12mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～12mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第4層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～12mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第5層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第6層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)多量、炭化物ブロック(φ10～20mm)多量、焼土粒(φ1～5mm) 中量、酸化鉄粒(φ1～3mm) 少量
第7層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)微量、炭化物ブロック(φ10～20mm)多量、焼土粒(φ1～9mm) 多量、焼土ブロック(φ10～20mm) 多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第8層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～11mm)微量、炭化粒(φ1～9mm)中量、炭化物ブロック(φ10～15mm)中量、焼土粒(φ1～3mm) 少量、酸化鉄粒(φ1～2mm) 微量
第9層 10YR3/3 暗褐色土 ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

第127図　川原館遺跡Ｃ区SK

CSK－06（第127図）

EO－159グリッドで検出した。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸45×短軸38×深さ11㎝を測る。壁は一部段状に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒色土、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

CSK－07（第127図）

EO・EP－157グリッドで検出した。全体形は不明だが、平面形は円形を呈していると考えられ、規模は長軸72×短軸23×深さ57㎝を測る。壁は段状に立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面は東側に向かって深くなっている。堆積土は９層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積している。１～５層が６～９層を掘り込んだような状況を呈しており、２基の土坑が重複している可能性も考えられる。

２．溝跡

SD－09（第128図）

ER－164グリッドで検出した。SD－06と重複している。SD－06が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長167㎝、幅46㎝、深さ９㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－21（第128図）

EN・EO－155グリッドで検出した。直線状を呈し、規模は延長64㎝、幅24㎝、深さ６㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－33（第128図）

EM－151・152グリッドで検出した。直線状を呈し、確認できた部分の規模は延長206㎝、幅42㎝、深さ34㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第145図822）を図示した。822は土師器坏の口縁～底部で、ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。

SD－58（第128図）

EN－160・161グリッドで検出した。SD－57と重複している。本遺構がSD－57を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、延長169㎝、幅98㎝、深さ68㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と緩やかに段をもって立ち上がる部分が認められ、底面は丸みを帯びる。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点、須恵器甕２点（第145図823～825）を図示した。823は土師器甕の口縁部～体部である。体部は直胴で、口縁部がやや外反する形状を呈している。824は須恵器甕の頸部で、内外面ロクロ調整が施されている。825は須恵器甕の肩部～体部で、外面タタキ成形、内面ナデにより調整されている。

SD－59（第128図）

EP・EQ－158・159グリッドで検出した。CSK－05と一部接しているが、新旧関係は不明である。直線状を呈し、延長263㎝、幅56㎝、深さ18㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。南東壁寄りの底面からはピット１基を検出した。ピットは円形を呈し、規模は、Pit1＝長軸20×短軸18×深さ12㎝を測る。堆積土はピットを除いて４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

３．井戸跡

CSE－01（第129図）

ES・ET－163グリッドで検出した。CSX－01と重複している。本遺構がCSX－01を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸160×短軸108㎝である。壁は急角度に立ち上がる。堆積土は２層のみ確認できた。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点（第145図826）を図示した。826は土師器甕の口縁部～体部で、体部は直胴で、口縁部がやや外反する。内外面ヘラナデによって調整されている。

４．焼土遺構

CSN－01（第129図）

ES－164グリッドで検出した。不整形を呈する燃焼部と前庭部を検出した。燃焼部の規模は長軸40×短軸30㎝、前庭部は部分的な検出で、長軸91×短軸48㎝を測る。１層上面が火床面に相当し、ほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。１層は焼土層で、その下層には暗褐色を主体とする土層が堆積している。

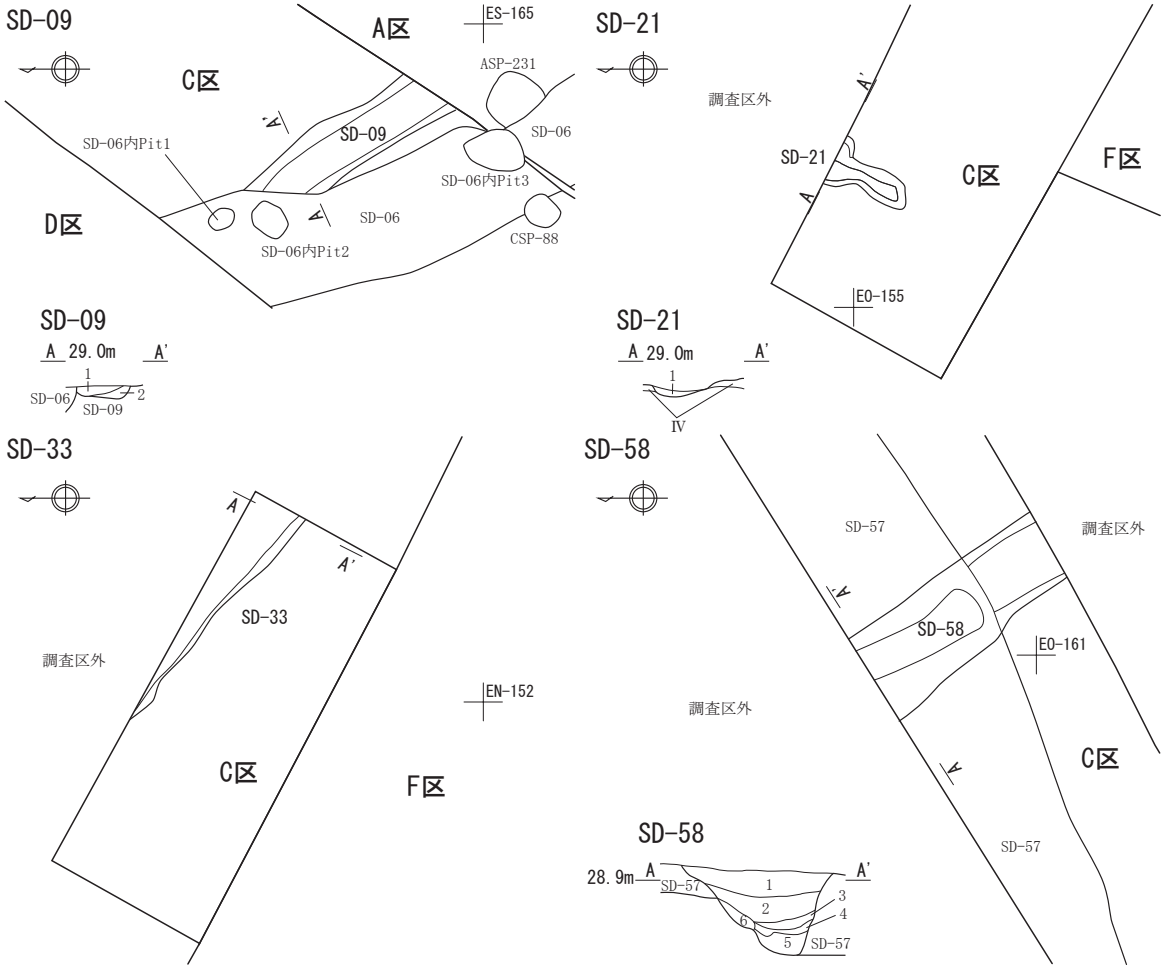
CSN－02（第129図）

EQ・ER－165グリッドで検出した。CSP－50、71と重複している。CSP－50、71が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は円形を呈する焼土遺構で、規模は長軸70×短軸68㎝を測る。火床面は１層上面が相当すると考えられ、やや南側へ傾斜している。掘方は壁が緩やかに立ち上がり、底面がやや丸みを帯びる擂鉢状を呈する。底面からは平面不整形を呈するピットを２基検出した。平面形は不整形を呈し、規模はPit1＝長軸48×短軸42×深さ24㎝、Pit2＝長軸50×短軸42×深さ22㎝を測る。堆積土は掘方、ピットを含めて７層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

５．その他の遺構

CSX－01（第130図）

ES・ET－163グリッドで検出した。CSE－01、CSP－122と重複している。本遺構がCSP－122を掘り込んでおり、本遺構が新しい。CSE－01が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸208×短軸206×深さ34㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、染付小皿１点（第145図827・828）を図示した。827は体部～底部で、内外面ロクロ調整が施されている。828は内面には山水図が描かれている。



SD-09
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ3～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ5mm)微量

SD-21
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

SD-33
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第5層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)多量、炭化粒(φ1～2mm)微量

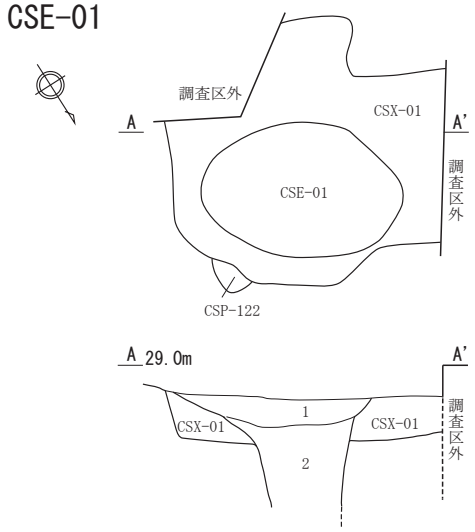
SD-58
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ2～10mm)少量、酸化鉄粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ10mm)微量、焼土粒(φ2～3mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ5mm)微量
第4層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第5層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、焼土粒(φ3mm)微量
第6層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ5mm)微量

SD-59
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)多量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ5mm)微量、焼土粒(φ3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ10～20mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ20mm)微量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)微量

SD-59内Pit1
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量

第128図　川原館遺跡Ｃ区SD

CSE-01

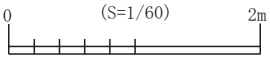


崩落のためエレベのみ

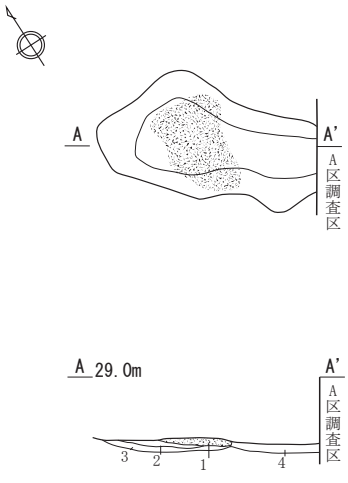
CSE-01

第1層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ローム ブロック(φ10～40mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

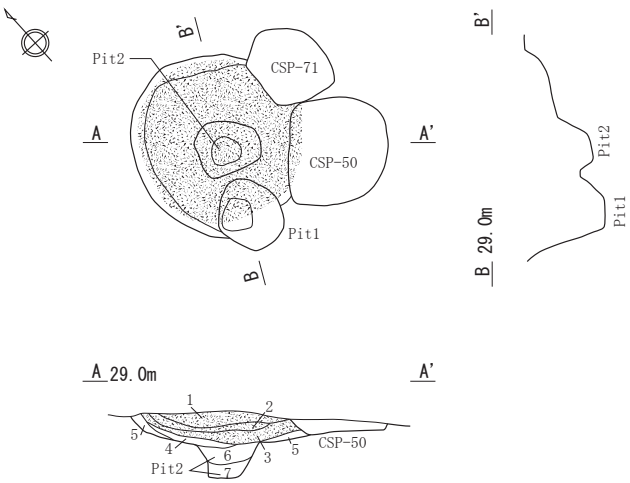
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ローム ブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

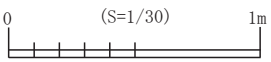


CSN-01



CSN-02





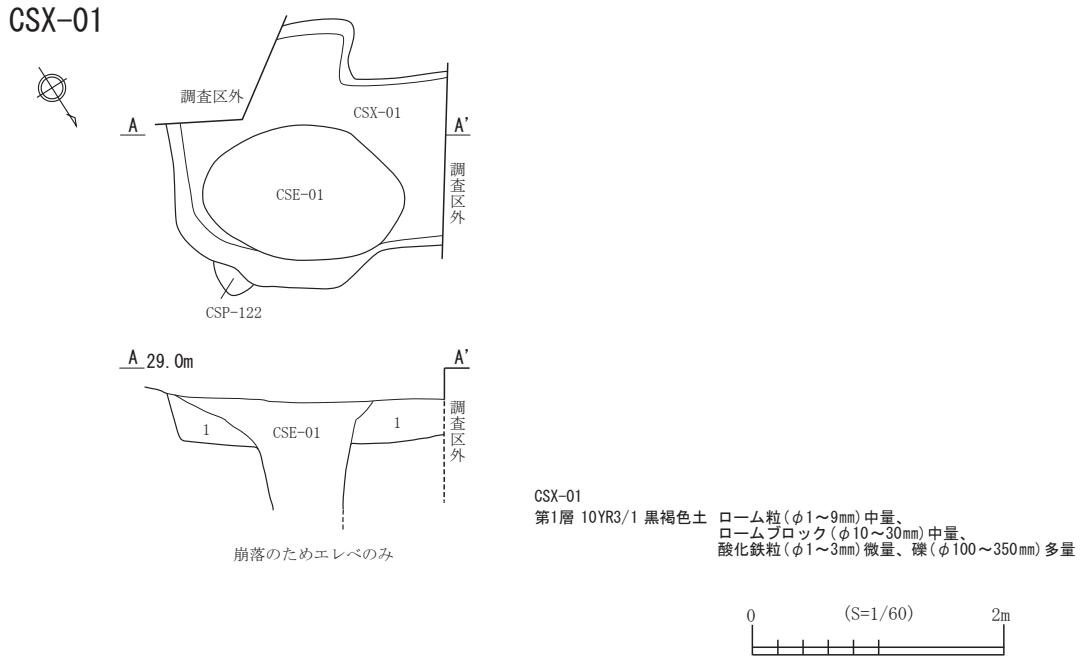
CSN-01

第1層 5YR4/4　にぶい赤褐色土　焼土層　炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量
第3層 7.5YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第4層 10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)多量

CSN-02

第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化物ブロック(φ10～30mm)少量、焼土ブロック(φ10～50mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　炭化物層
第3層 7.5YR5/6　明褐色土と7.5YR5/2灰褐色土の混合層　焼土層　炭化物ブロック(φ10mm)少量
第4層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1mm)微量
第5層 7.5YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量
第6層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第7層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量

第129図　川原館遺跡Ｃ区SE・SN



第130図　川原館遺跡Ｃ区SX

６．ピット

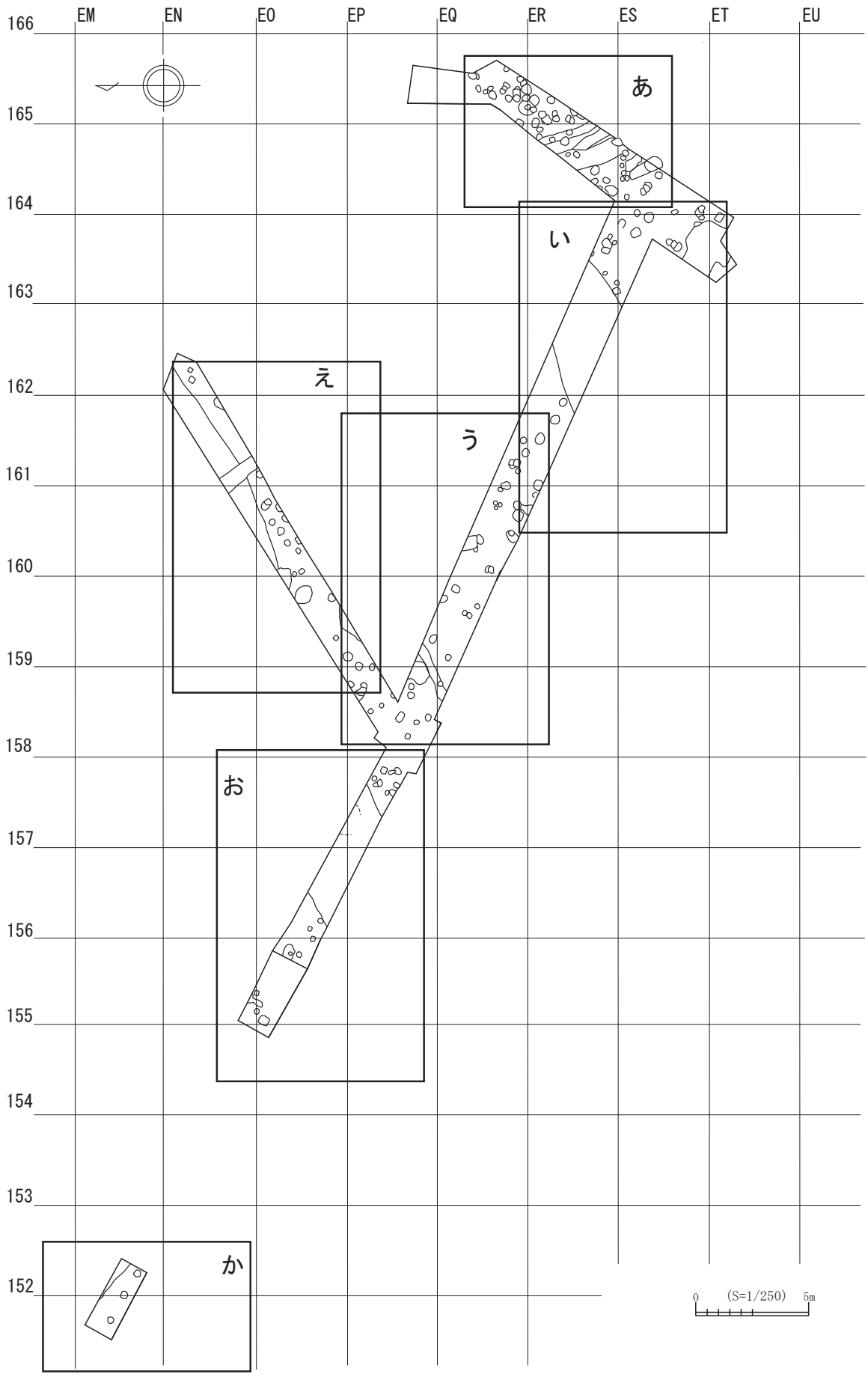
Ｃ区からは157基のピットを検出した。Ａ区に隣接するEQ～ETラインに比較的集中して分布する。詳細及び出土遺物は第16表及び第131～144図のとおりである。

第16表　川原館遺跡Ｃ区SP観察表

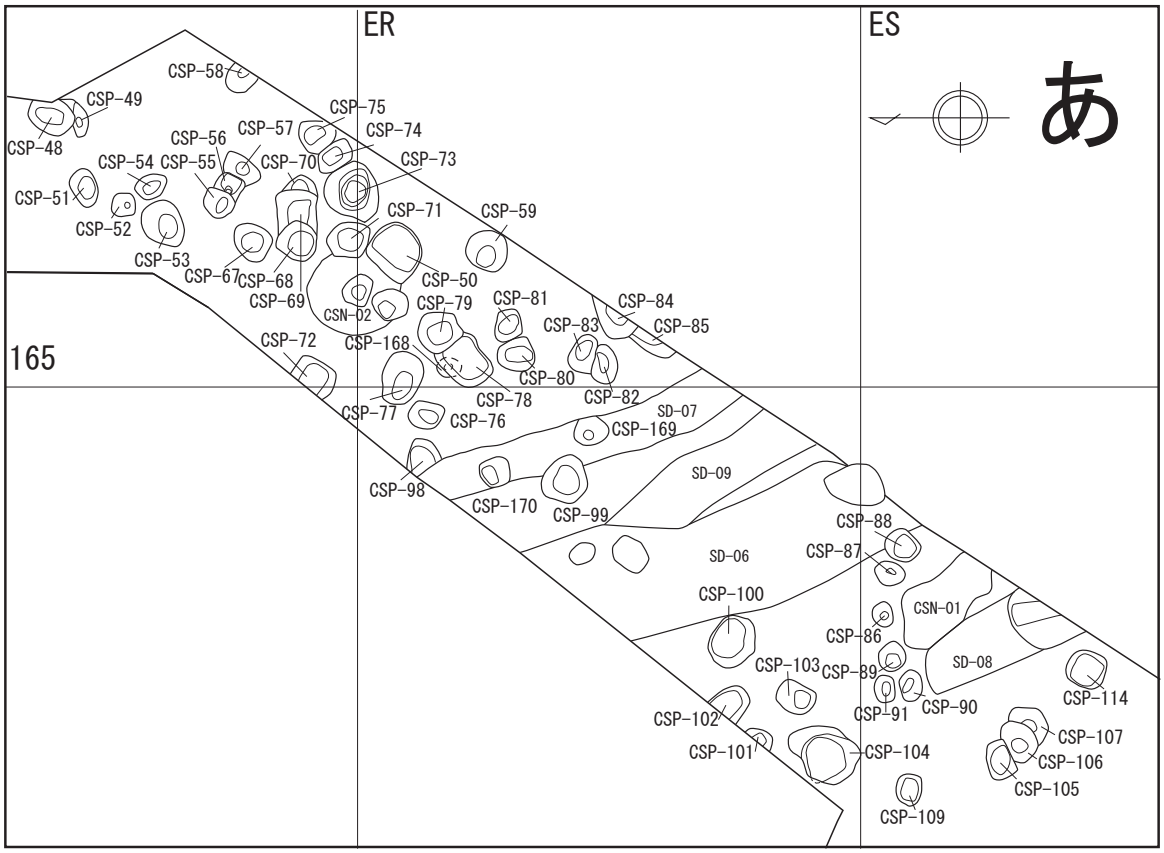
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第143図	CSP-01	EO-156		22	18	26	h	a			
第143図	CSP-02	EP-157		30	26	16	e	c			
第143図	CSP-03	EP-157		20	16	22	h	a			
第143図	CSP-04	EP-157		30	18	30	f	a			
第143図	CSP-05	EP-157	CSP-05>CSP-06	32	24	22	e	g			
第143図	CSP-06	EP-157	CSP-06<CSP-05	22	20	4	e	a			
第143図	CSP-07	EP-157		22	18	14	e	a			
第143図	CSP-08	EP-157	CSP-08<CSP-09	36	28	14	e	c			
第143図	CSP-09	EP-157	CSP-09>CSP-08	34	16	6	e	d			
第143図	CSP-10	EP-157		28	28	26	e	a			
第138図	CSP-11	EP-159		28	26	18	h	a			
第138図	CSP-12	EP-159		22	20	16	c	a			
第138図	CSP-13	EP-159		32	26	34	h	a			
第138図	CSP-14	EP-159		32	28	22	h	a			
第138図	CSP-15	EP-159		46	28	34	b	a			
第138図	CSP-16	EP-159		20	18	36	c	a			
第138図	CSP-17	EP-159		24	18	14	h	a			
第138図	CSP-18	EP-159		26	12	38	h	a			
第138図	CSP-19	EP-159	CSP-19<CSP-20	44	30	20	e	x			
第138図	CSP-20	EP-159	CSP-20>CSP-19・21	46	38	18	e	i			
第138図	CSP-21	EP-159	CSP-21<CSP-20	32	20	26	e	a			
第142図	CSP-22	EO-157		26	24	24	h	a			
第138図	CSP-23	EQ-159		32	30	30	f	a			
第138図	CSP-24	EQ-159		24	22	14	c	g			
第138図	CSP-25	EQ-159		24	22	40	h	a			柱痕跡有
第138図	CSP-26	EQ-159		40	34	28	b	a			
第138図	CSP-27	EQ-159		24	24	20	h	a			
第138図	CSP-28	EQ-159	CSP-28>CSP-29	30	26	22	e	g			
第138図	CSP-29	EQ-159	CSP-29<CSP-28	32	18	12	g	g			
第138図	CSP-30	EQ-160	CSP-30<CSK-01	46	30	22	f	a			
第139図	CSP-31	EQ-160	CSP-31>CSP-32	26	22	34	h	a			

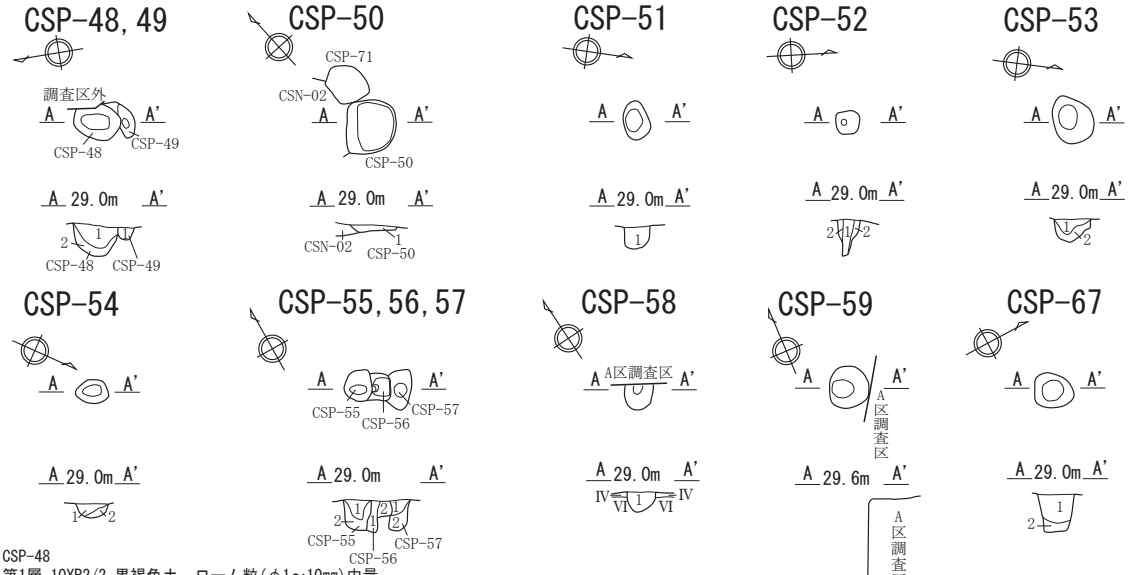
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第139図	CSP-32	EQ-160	CSP-32<CSP-31	46	42	10	f	a			
第139図	CSP-33	EQ-160	CSP-33<CSK-01	20	18	18	f	g	土師器小甕１点（第145図829）	平安時代	
第139図	CSP-34	EQ-160		54	50	16	h	i			
第139図	CSP-35	EQ・ER-160	CSP-35<CSP-36	52	48	16	e	x			
第139図	CSP-36	EQ-160	CSP-36>CSP-35	38	36	8	h	d			
第139図	CSP-37	ER-160・161		46	38	18	e	h			
第139図	CSP-38	EQ-160・161		42	36	16	e	a			
第139図	CSP-39	EQ-160		22	16	12	f	a			
第139図	CSP-40	ER-160		24	12	40	h	a			
第139図	CSP-41	EQ-161		24	20	16	h	e	須恵器甕１点（第145図830）	平安時代	
第136図	CSP-42	ER・ES-163	CSP-42>SD-05	32	30	8	a	d			
第136図	CSP-43	ER・ES-163		22	20	10	e	a			
第136図	CSP-44	ER-163		24	8	18	x	a			
第136図	CSP-45	ER-163		22	16	8	h	a			
第136図	CSP-46	ER-163	CSP-46>CSP-47	40	30	16	e	a			
第136図	CSP-47	ER-163	CSP-47<CSP-46	50	36	20	c	d			
第132図	CSP-48	EQ-165	CSP-48>CSP-49	36	30	24	c	g			
第132図	CSP-49	EQ-165	CSP-49<CSP-48	30	18	10	e	g			
第132図	CSP-50	ER-165	CSP-50>CSN-02	42	38	6	e	d			
第132図	CSP-51	EQ-165		34	20	18	f	a			
第132図	CSP-52	EQ-165		18	18	28	c	j			柱痕跡有
第132図	CSP-53	EQ-165		40	32	18	e	a			
第132図	CSP-54	EQ-165		26	18	14	e	a			
第132図	CSP-55	EQ-165	CSP-55>CSP-56	26	22	24	e	a			
第132図	CSP-56	EQ-165	CSP-55>CSP-56>CSP-57	22	14	24	c	e			
第132図	CSP-57	EQ-165	CSP-57<CSP-56	34	20	26	e	a			
第132図	CSP-58	EQ-165		20	20	16	f	a			
第132図	CSP-59	ER-165		34	32	30	h	a			
第136図	CSP-60	ER-163		26	18	8	b	a			
第132図	CSP-67	EQ-165		32	30	30	e	a			
第133図	CSP-68	EQ-165	CSP-68>CSP-69	32	30	20	c	a			柱痕跡有
第133図	CSP-69	EQ-165	CSP-68>CSP-69>CSP-70	32	30	18	b	d			
第133図	CSP-70	EQ-165	CSP-70<CSP-69	26	(18)	18	h	a			
第133図	CSP-71	EQ・ER-165	CSP-71>CSN-02	36	30	26	e	b			
第133図	CSP-72	EQ-164・165		36	24	20	a	a			
第133図	CSP-73	EQ・ER-165		50	42	34	e	e			
第133図	CSP-74	EQ-165	CSP-74>CSP-75	32	20	12	f	a			
第133図	CSP-75	EQ-165	CSP-75<CSP-74	32	28	26	e	e			
第133図	CSP-76	ER-164		28	22	14	e	a			
第133図	CSP-77	ER-164・165		44	32	34	g	g			
第133図	CSP-78	ER-165	CSP-168<CSP-78<CSP-79	38	38	8	b	d			
第133図	CSP-79	ER-165	CSP-79>CSP-78	36	34	34	e	a			柱痕跡有
第133図	CSP-80	ER-165		30	28	6	e	d			
第133図	CSP-81	ER-165		26	24	12	e	d			
第133図	CSP-82	ER-165	CSP-82>CSP-83	32	16	12	e	d			
第133図	CSP-83	ER-165	CSP-83<CSP-82	30	20	8	e	a			
第133図	CSP-84	ER-165	CSP-84>CSP-85	44	20	18	e	a			
第133図	CSP-85	ER-165	CSP-85<CSP-84	36	(14)	10	f	d			
第134図	CSP-86	ES-164		22	18	10	h	g			
第134図	CSP-87	ES-164		26	20	16	e	g			柱痕跡有
第134図	CSP-88	ES-164		28	24	18	e	a			柱痕跡有
第134図	CSP-89	ES-164		24	20	12	h	e			柱痕跡有
第134図	CSP-90	ES-164		26	20	4	e	d			
第134図	CSP-91	ES-164		22	18	4	f	d			
第139図	CSP-92	EQ-160		18	14	12	h	a			
第139図	CSP-93	EQ-160		18	16	14	e	a			
第139図	CSP-94	EQ-160		22	18	14	h	a			
第139図	CSP-95	EQ-161	CSP-95>CSP-96>CSP-152	32	30	28	c	a			
第139図	CSP-96	EQ-161	CSP-95>CSP-96>CSP-152	(28)	(22)	30	c	a			
第136図	CSP-97	ER-163		22	20	8	e	a			
第134図	CSP-98	ER-164	CSP-98<SD-07	30	(24)	12	x	a			
第134図	CSP-99	ER-164	CSP-99>SD-07	38	36	24	e	b			
第134図	CSP-100	ER-164		46	36	8	f	i			
第134図	CSP-101	ER-164		24	(10)	16	x	a			
第134図	CSP-102	ER-164		26	26	24	f	a			
第134図	CSP-103	ER-164		34	24	12	b	d			
第134図	CSP-104	ER-164		60	44	32	e	h			柱痕跡有
第134図	CSP-105	ES-164	CSP-105>CSP-106	32	20	10	b	a			
第134図	CSP-106	ES-164	CSP-105>CSP-106>CSP-107	32	(24)	14	e	d			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第134図	CSP-107	ES-164	CSP-106>CSP-107	32	(20)	18	e	d			
第136図	CSP-108	ES-163・164		48	40	28	h	e			
第134図	CSP-109	ES-164		26	18	8	h	a	須恵器甕1点（第145図831）	平安時代	柱痕跡有
第136図	CSP-110	ES-163・164		36	26	18	h	a			
第136図	CSP-111	ES-164		26	18	8	b	a			
第136図	CSP-112	ES-163		46	42	14	b	a			
第136図	CSP-113	ES-163		(32)	30	16	f	i			柱痕跡有
第134図	CSP-114	ES-164		32	30	32	c	a			
第136図	CSP-115	ES-163	CSP-115>CSP-116	26	18	6	f	a			
第136図	CSP-116	ES-163・164	CSP-115>CSP-116<CSP-117	(42)	38	20	e	a			
第136図	CSP-117	ES-164	CSP-117>CSP-116	32	22	30	e	i			柱痕跡有
第136図	CSP-118	ES-163	CSP-118<CSP-119	38	(28)	16	e	d			
第136図	CSP-119	ES-163	CSP-118<CSP-119>CSP-120	34	22	12	e	a			
第136図	CSP-120	ES-163	CSP-120<CSP-119	(28)	26	8	h	a			
第136図	CSP-121	ET-163・164		38	32	34	b	i			
第136図	CSP-122	ES-163	CSP-122<CSX-01	(40)	(22)	14	x	a			
第141図	CSP-123	EN-162		20	20	6	a	d			
第141図	CSP-124	EN-162		26	24	18	a	a			柱痕跡有
第141図	CSP-125	EN-161		70	(26)	80	x	a			柱根残存
第141図	CSP-126	EO-161		32	(26)	28	h	a			
第139図	CSP-127	EP-159		42	30	8	f	a			
第139図	CSP-128	EQ-159		32	24	16	h	a			
第139図	CSP-129	EP-158		28	26	38	h	a			
第141図	CSP-133	EO-160	CSP-133<CSP-134	(38)	32	40	f	b			
第141図	CSP-134	EO-160	CSP-134>CSP-133	30	26	26	d	a			
第141図	CSP-135	EO-160		30	28	14	h	a			
第141図	CSP-136	EO-160		40	(16)	30	c	a			
第141図	CSP-137	EO-160		40	(20)	26	x	b			
第141図	CSP-138	EO-160		36	28	42	d	b			
第141図	CSP-139	EO-160		26	26	28	c	i			
第141図	CSP-140	EO-160		34	(14)	36	a	e			
第141図	CSP-141	EO-160		26	18	22	a	a			
第141図	CSP-142	EO-160		28	22	10	e	a			
第141図	CSP-143	EO-160		26	16	4	e	d			
第141図	CSP-146	EO-159		34	34	22	d	a			
第141図	CSP-147	EO-159		22	20	34	c	a			柱痕跡有
第141図	CSP-148	EO・EP-159		44	40	34	h	a			柱痕跡有
第141図	CSP-149	EP-158・159		34	34	26	h	g			
第141図	CSP-150	EP-158		30	20	24	e	g			
第141図	CSP-151	EP-158・159		32	24	10	f	a			
第139図	CSP-152	EQ-161	CSP-152<CSP-96<CSP-95	36	(18)	24	x	d			
第136図	CSP-154	ER-161		38	34	22	h	a			
第136図	CSP-155	ER-161		44	38	28	c	a			
第139図	CSP-156	ER-161		50	36	30	h	h			
第139図	CSP-157	EQ-161		28	28	22	h	d			
第139図	CSP-158	EQ・ER-161		40	32	28	h	a			
第143図	CSP-159	EQ-156・157		24	22	24	e	a			
第143図	CSP-160	EO-155		24	20	22	h	g			
第143図	CSP-162	EN・EO-155		24	22	18	a	a			
第143図	CSP-163	EN・EO-155		28	18	18	a	a			
第143図	CSP-164	EO-154・155		44	38	24	b	d			
第144図	CSP-165	EM-152		32	30	32	e	a			掘立柱建物跡の可能性有（CSP-165～167）柱痕跡有
第144図	CSP-166	EM-152・153		36	30	16	e	a			掘立柱建物跡の可能性有（CSP-165～167）
第144図	CSP-167	EM-151		28	30	16	h	a			掘立柱建物跡の可能性有（CSP-165～167）
第133図	CSP-168	ER-165	CSP-168<CSP-78	20	18	18	h	a			
第134図	CSP-169	ER-164	CSP-169>SD-07	25	24	18	h	d			
第134図	CSP-170	ER-164	CSP-170>SD-07	24	23	24	d	d			



第131図　川原館遺跡Ｃ区SP分割図





CSP-48
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

CSP-49
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-50
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量

CSP-51
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-52
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-53
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-54
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、礫(φ1～8mm)微量

CSP-55
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

CSP-56
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-57
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

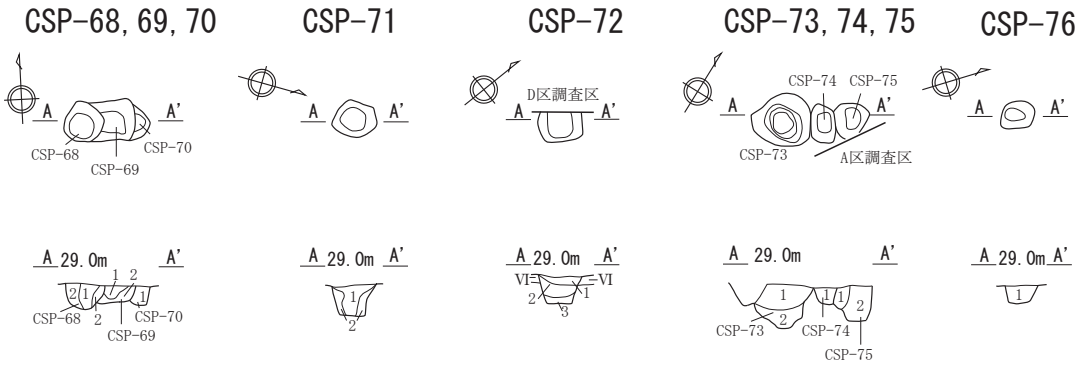
CSP-58
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ50mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

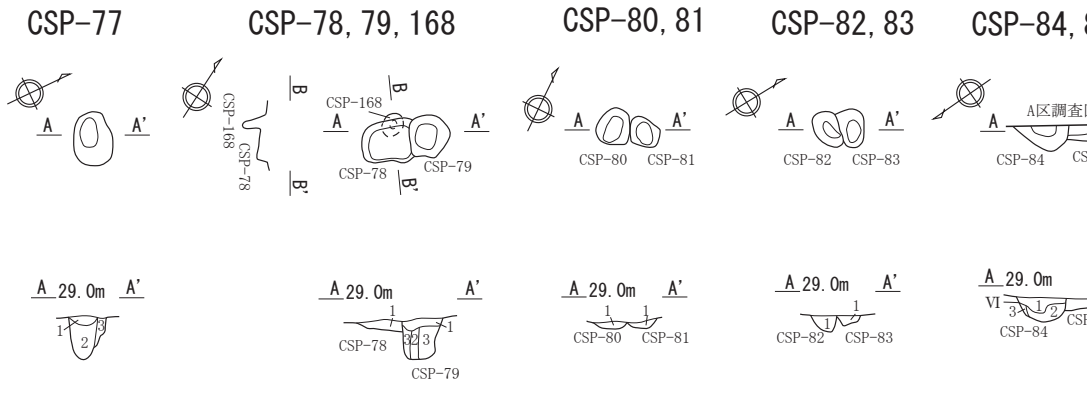
CSP-59
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層

CSP-67
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～50mm)少量

0　(S=1/60)　2m

第132図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図あ・あ（１）





CSP-68
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)微量

CSP-69
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

CSP-70
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

CSP-71
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)多量、ロームブロック(φ10mm)少量

CSP-72
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)少量

CSP-73
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量、礫少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量、礫多量

CSP-74
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

CSP-75
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-76
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

CSP-77
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-78
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

CSP-79
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量
第2層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量
第3層 10YR3/3 暗褐色土　砂質層、ローム粒(φ1～3mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)少量

CSP-80
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量

CSP-81
第1層 10YR3/4 暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10mm)中量

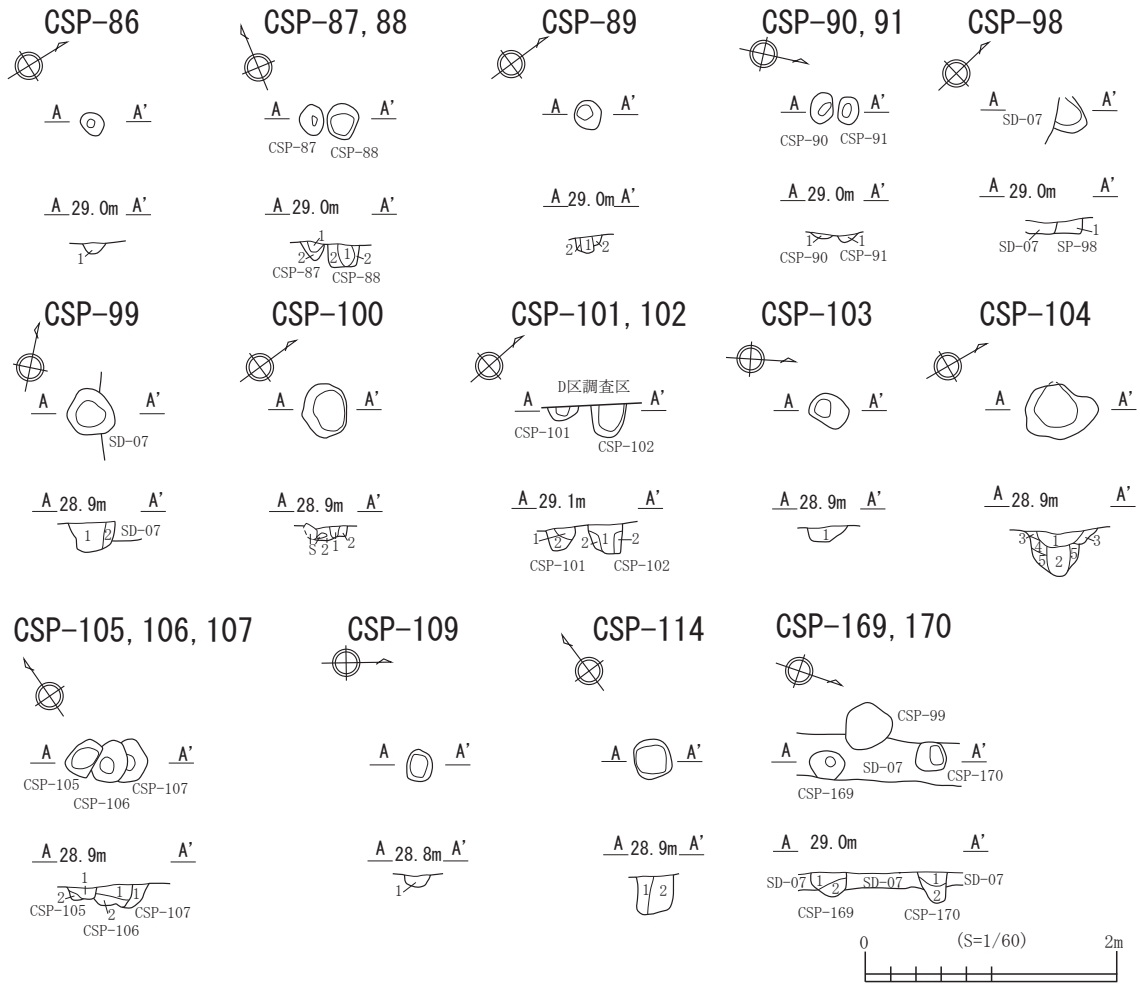
CSP-82
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10mm)中量

CSP-83
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量

CSP-84
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

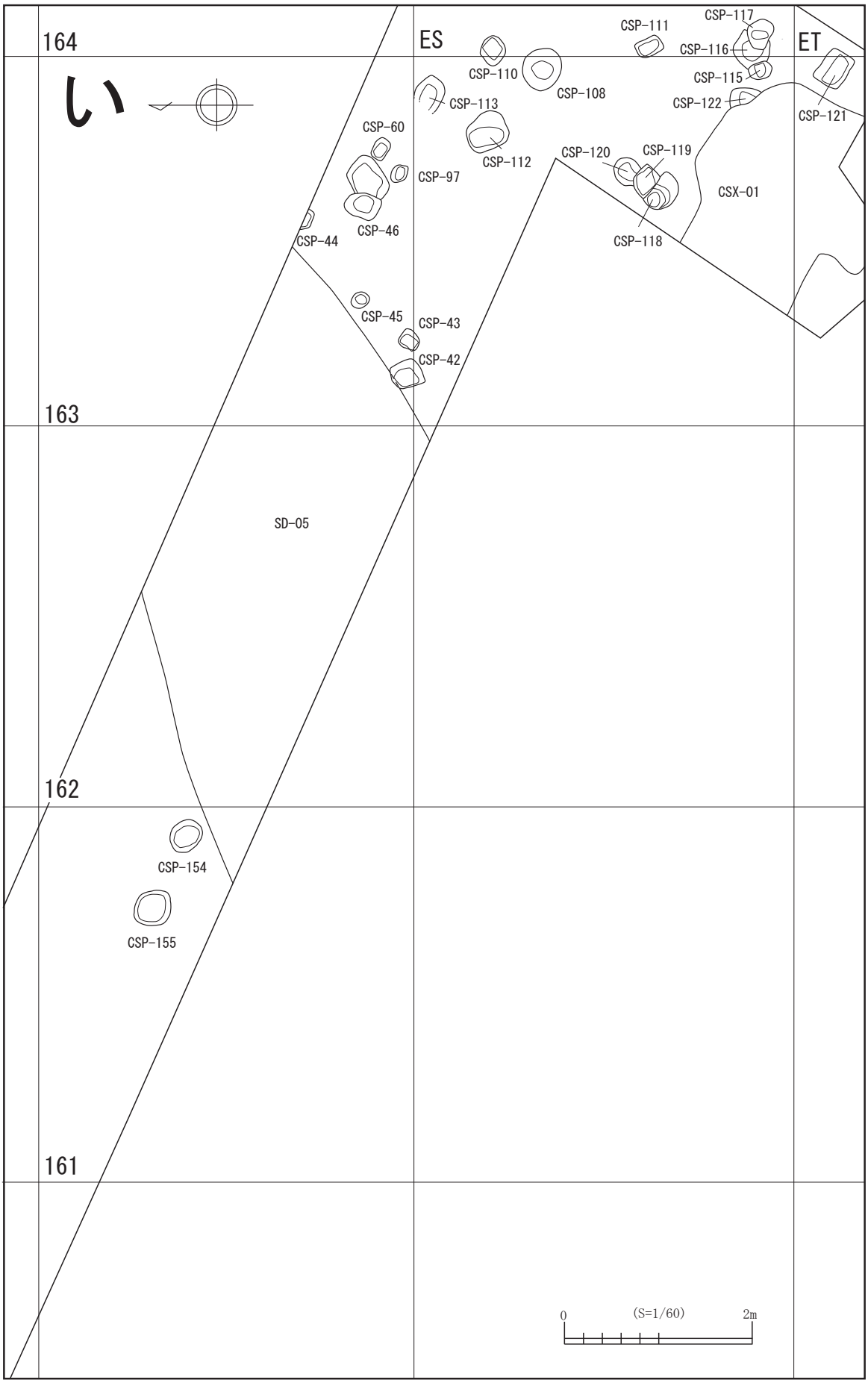
CSP-85
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

第133図　川原館遺跡Ｃ区SPあ（２）

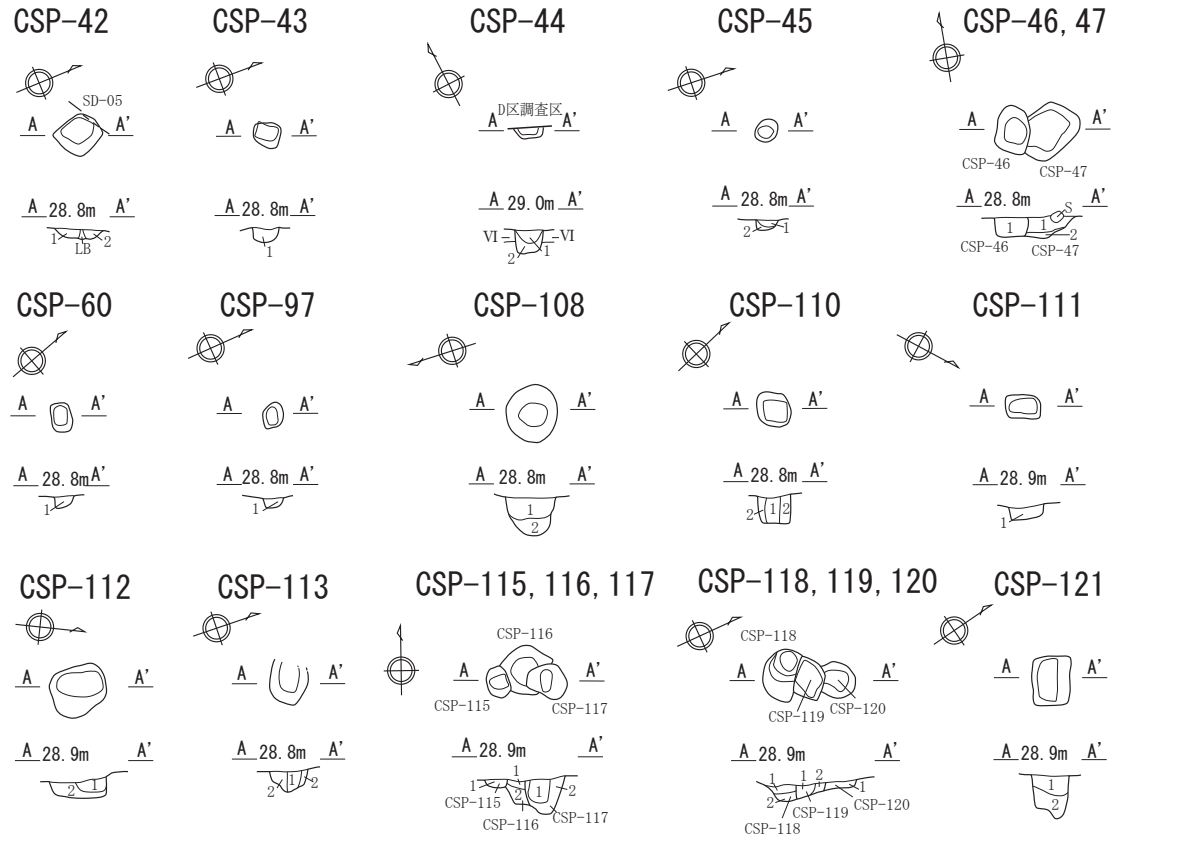


CSP-86
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
CSP-87
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)少量
CSP-88
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
炭化物ブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～9mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～9mm)少量
CSP-89
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～2mm)微量、
酸化鉄粒(φ1mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
CSP-90
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
CSP-91
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR3/4暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～30mm)中量、
炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
CSP-98
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)微量、
ロームブロック(φ20～30mm)少量、
炭化粒(φ1～2mm)微量
CSP-99
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～8mm)中量、炭化粒(φ5mm)微量、
焼土粒(φ3～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)少量、
ロームブロック(φ20～30mm)微量、
焼土粒(φ5mm)微量
CSP-100
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ3～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)少量、炭化粒(φ5～8mm)微量、
酸化鉄粒(φ3～5mm)少量
CSP-101
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量、炭化粒(φ5～8mm)少量
CSP-102
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ5～8mm)少量、酸化鉄粒(φ5～8mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ20～30mm)多量
CSP-103
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量、
酸化鉄粒(φ5～10mm)中量
CSP-104
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～8mm)中量、
ロームブロック(φ10mm)微量、
炭化粒(φ5～8mm)微量、
酸化鉄粒(φ2～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)微量、炭化粒(φ3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ3mm)微量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、炭化粒(φ3mm)微量、
酸化鉄粒(φ5mm)少量
第5層　10YR4/4　褐色土　ローム粒(φ5～10mm)中量
CSP-105
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層　10YR4/2　灰黄褐色土
CSP-106
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～10mm)少量
第2層　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒(φ2～3mm)微量、砂粒少量
CSP-107
第1層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～6mm)中量
CSP-109
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
酸化鉄粒(φ5mm)微量
CSP-114
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
炭化物ブロック(φ20～30mm)少量、
酸化鉄粒(φ5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ20～30mm)少量、
炭化粒(φ5～10mm)微量、酸化鉄粒(φ10mm)微量
CSP-169
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～10mm)少量、炭化粒(φ3mm)微量、
焼土粒(φ5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
CSP-170
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～5mm)微量、焼土粒(φ3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)微量

第134図　川原館遺跡Ｃ区SPあ（３）



第135図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図い



CSP-42
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-43
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-44
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-45
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-46
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-47
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、炭化物ブロック(φ40mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量、礫(φ30～50mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-60
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-97
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ5～8mm)多量、炭化粒(φ2～5mm)微量、酸化鉄粒(φ2～5mm)微量

CSP-108
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)少量

CSP-110
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、炭化粒(φ5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ5mm)微量、酸化鉄粒(φ3～5mm)少量

CSP-111
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

CSP-112
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)多量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ5mm)微量、酸化鉄粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　ローム粒(φ5～10mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量

CSP-113
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化物ブロック(φ10mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄粒(φ10mm)微量

CSP-115
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量

CSP-116
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)少量
第2層　10YR4/2　灰黄褐色土

CSP-117
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～4mm)少量、炭化粒(φ2～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～10mm)少量

CSP-118
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、小礫中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ2～5mm)少量、小礫多量

CSP-119
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～8mm)少量、炭化物ブロック(φ10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量

CSP-120
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ5～10mm)多量、焼土粒(φ5mm)微量

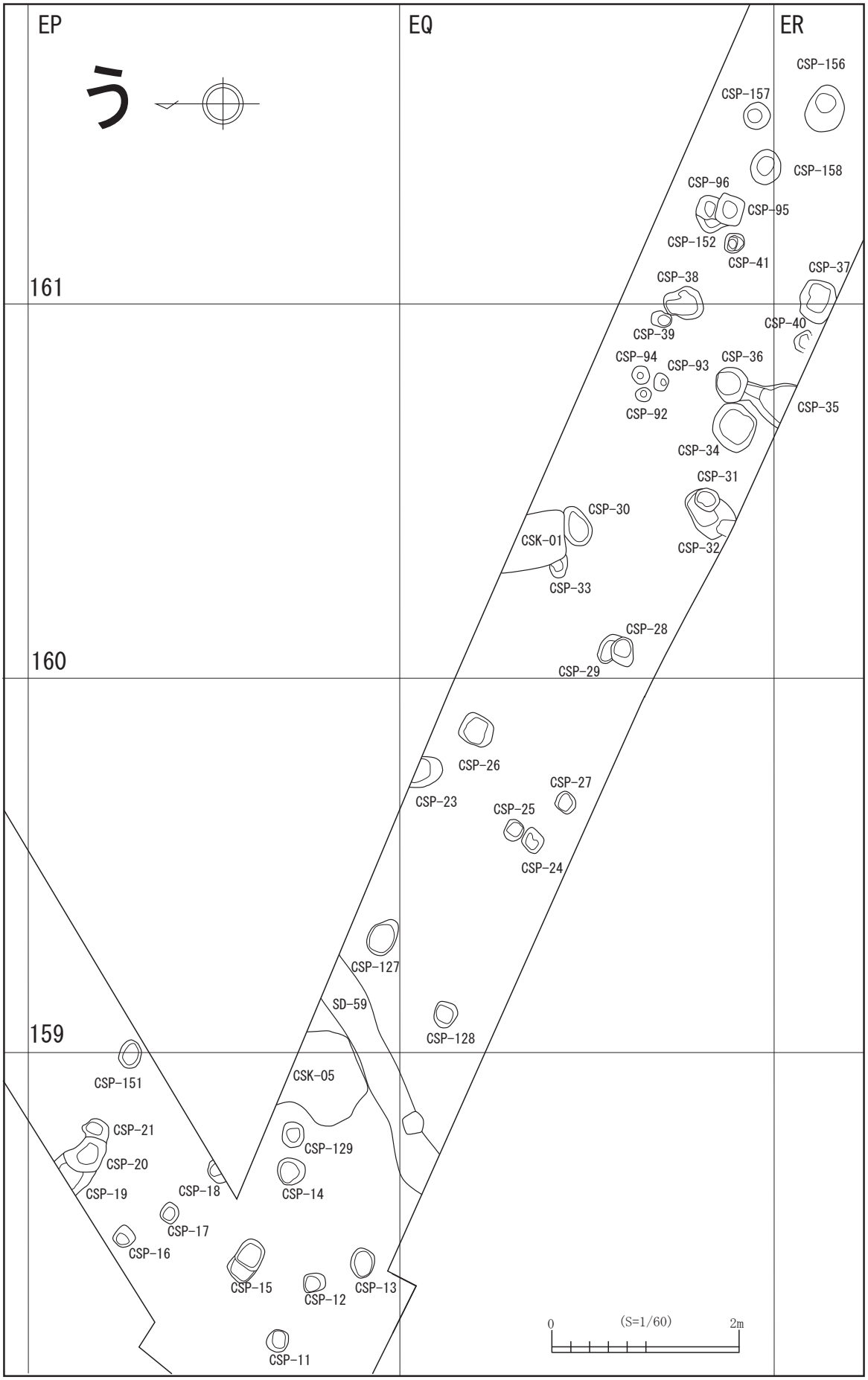
CSP-121
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR2/1黒色土の混合層

CSP-122
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、焼土粒(φ3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ2mm)微量

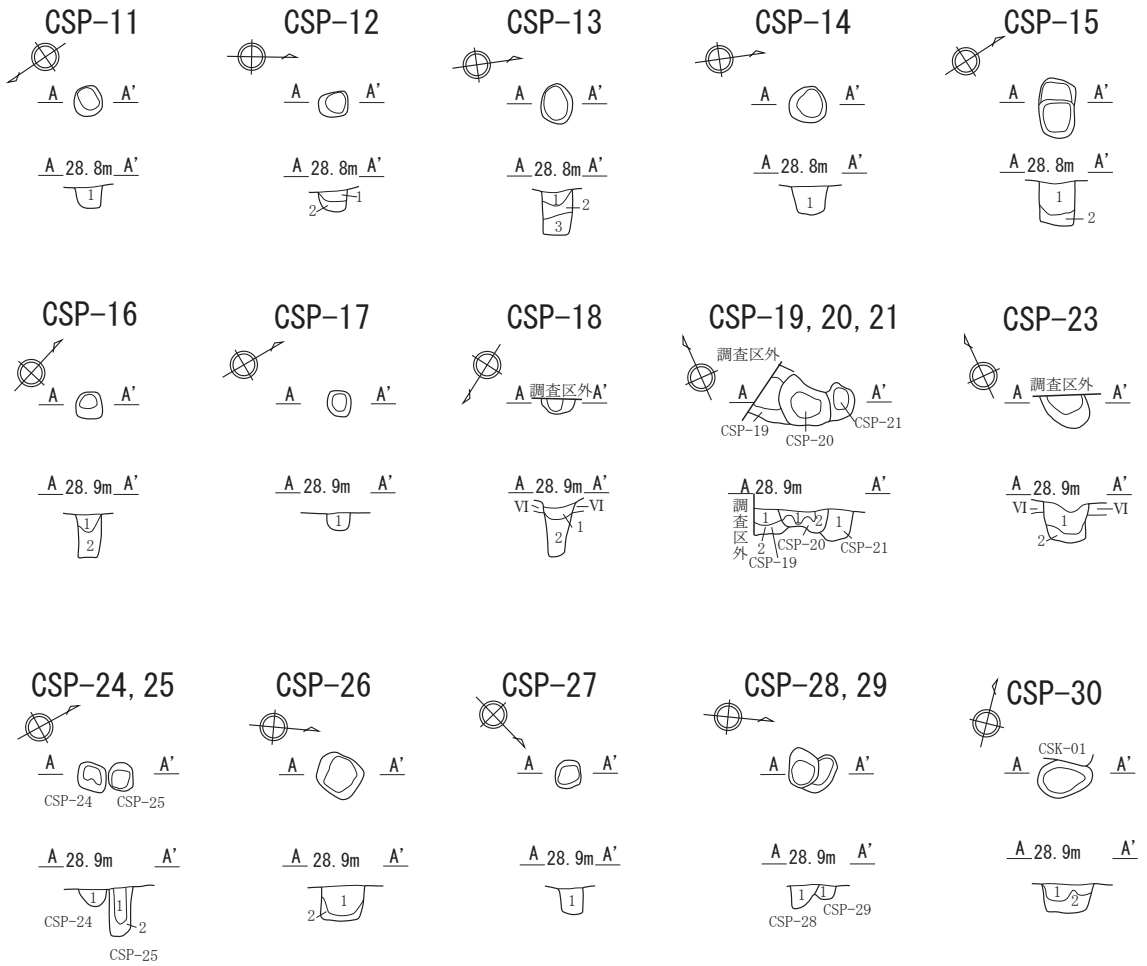
CSP-154
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

CSP-155
第1層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～12mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR5/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量

第136図　川原館遺跡Ｃ区SPい



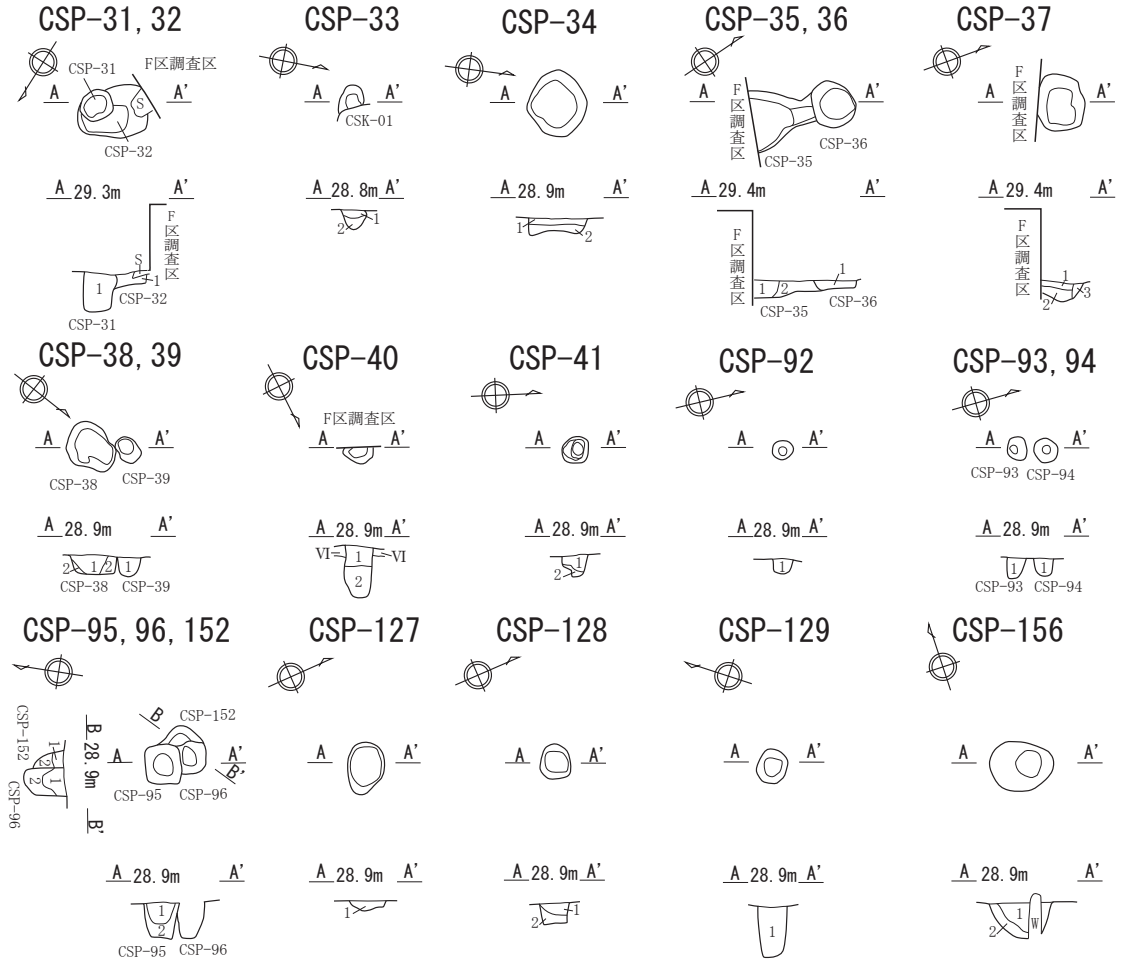
第137図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図う



CSP-11
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-12
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
CSP-13
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-14
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ10～40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-15
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～50mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR4/3のにぶい黄褐色ロームの混合層
CSP-16
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-17
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
CSP-18
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
CSP-19
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/3のにぶい黄褐色ロームの混合層
CSP-20
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層

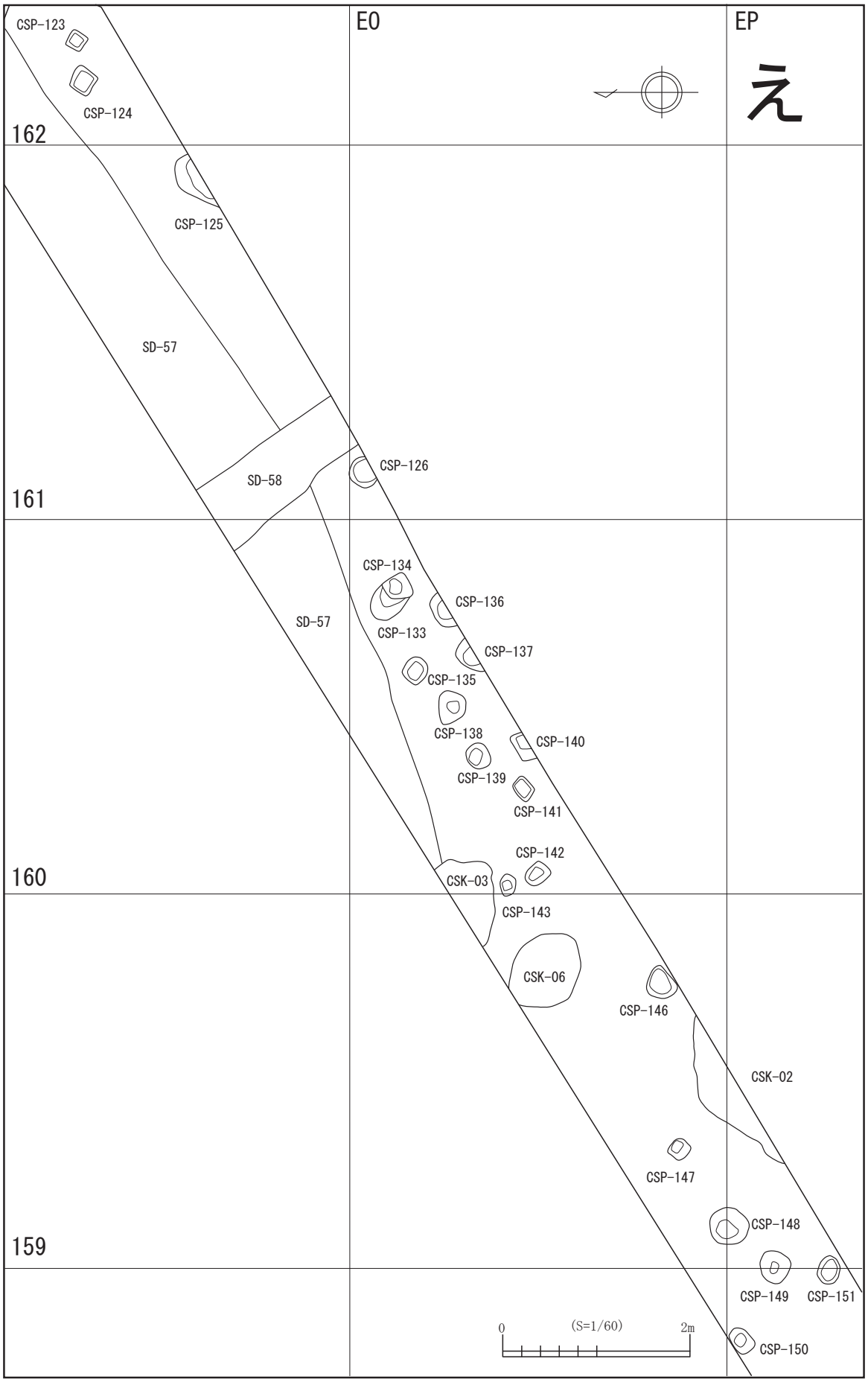
CSP-21
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-23
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ50mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-24
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-25
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-26
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層
CSP-27
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-28
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-29
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-30
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3のにぶい黄褐色ロームの混合層

第138図　川原館遺跡Ｃ区SPう（1）

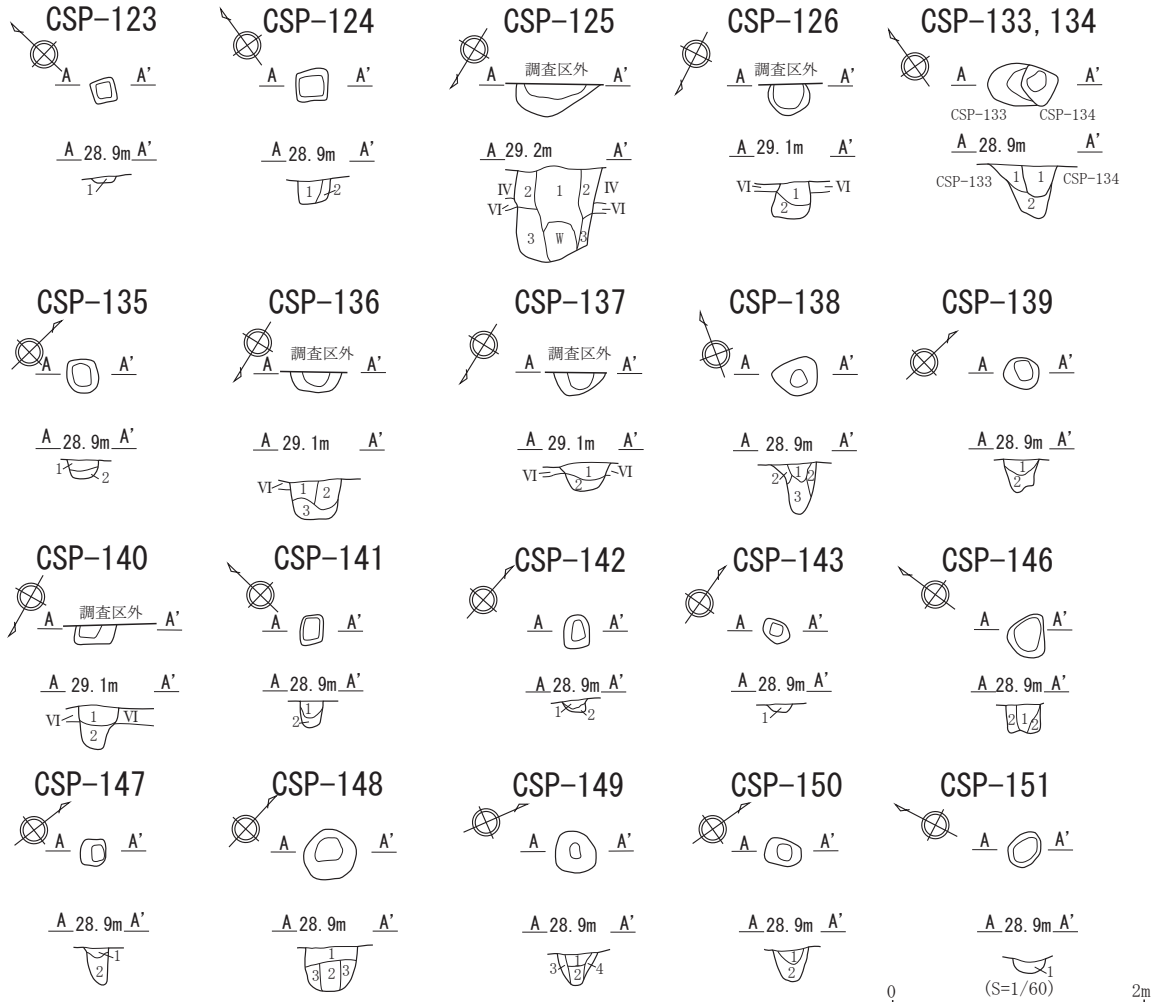


CSP-31
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-32
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3のにぶい黄褐色ロームの混合層
CSP-33
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～30mm)中量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-34
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2にぶい黄褐色ロームの混合層
CSP-35
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色ロームの混合層
CSP-36
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
　　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-37
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～20mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～30mm)少量
CSP-38
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
　　ロームブロック(φ10～30mm)少量
CSP-39
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-40
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-41
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
CSP-92
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～20mm)少量、
　　炭化粒(φ5mm)微量
CSP-93
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ2～8mm)少量、炭化粒(φ2～5mm)微量
CSP-94
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、
　　ロームブロック(φ10mm)微量
CSP-95
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ3～10mm)少量、酸化鉄粒(φ2～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ3～5mm)微量
CSP-96
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ2～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～20mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)微量
CSP-152
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量
CSP-127
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ5～10mm)少量、焼土粒(φ3～5mm)微量
CSP-128
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)微量、炭化粒(φ5～10mm)微量、
　　焼土粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
CSP-129
第1層　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒(φ5～10mm)多量
CSP-156
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR4/2　灰黄褐色土ローム粒(φ1～9mm)多量、
　　ロームブロック(φ10～20mm)多量
CSP-157
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～12mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR4/2　灰黄褐色土ローム粒(φ1～9mm)多量、
　　ロームブロック(φ10～20mm)多量
CSP-158
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
　　ロームブロック(φ10～15mm)中量

第139図　川原館遺跡Ｃ区SPう（2）



第140図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図え



CSP-123
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量

CSP-124
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
ロームブロック(φ10mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量

CSP-125
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10mm)中量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-126
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
焼土粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

CSP-133
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
ロームブロック(φ50mm)微量

CSP-134
第1層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、
炭化粒(φ5～10mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

CSP-135
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ5mm)微量、
焼土粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

CSP-136
第1層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
炭化物ブロック(φ20～50mm)中量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、
ロームブロック(φ10～30mm)多量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量

CSP-137
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、
ロームブロック(φ20～30mm)少量
第2層　10YR4/4　褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量

CSP-138
第1層　10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、
ロームブロック(φ20～40mm)少量、焼土粒(φ5mm)微量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量

CSP-139
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、焼土粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ5mm)微量

CSP-140
第1層　10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、
ロームブロック(φ30～50mm)多量、酸化鉄粒(φ5mm)微量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、
ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

CSP-141
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ5～10mm)少量
第2層　10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ10mm)微量

CSP-142
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/4 暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量

CSP-143
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量

CSP-146
第1層　10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)多量

CSP-147
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量

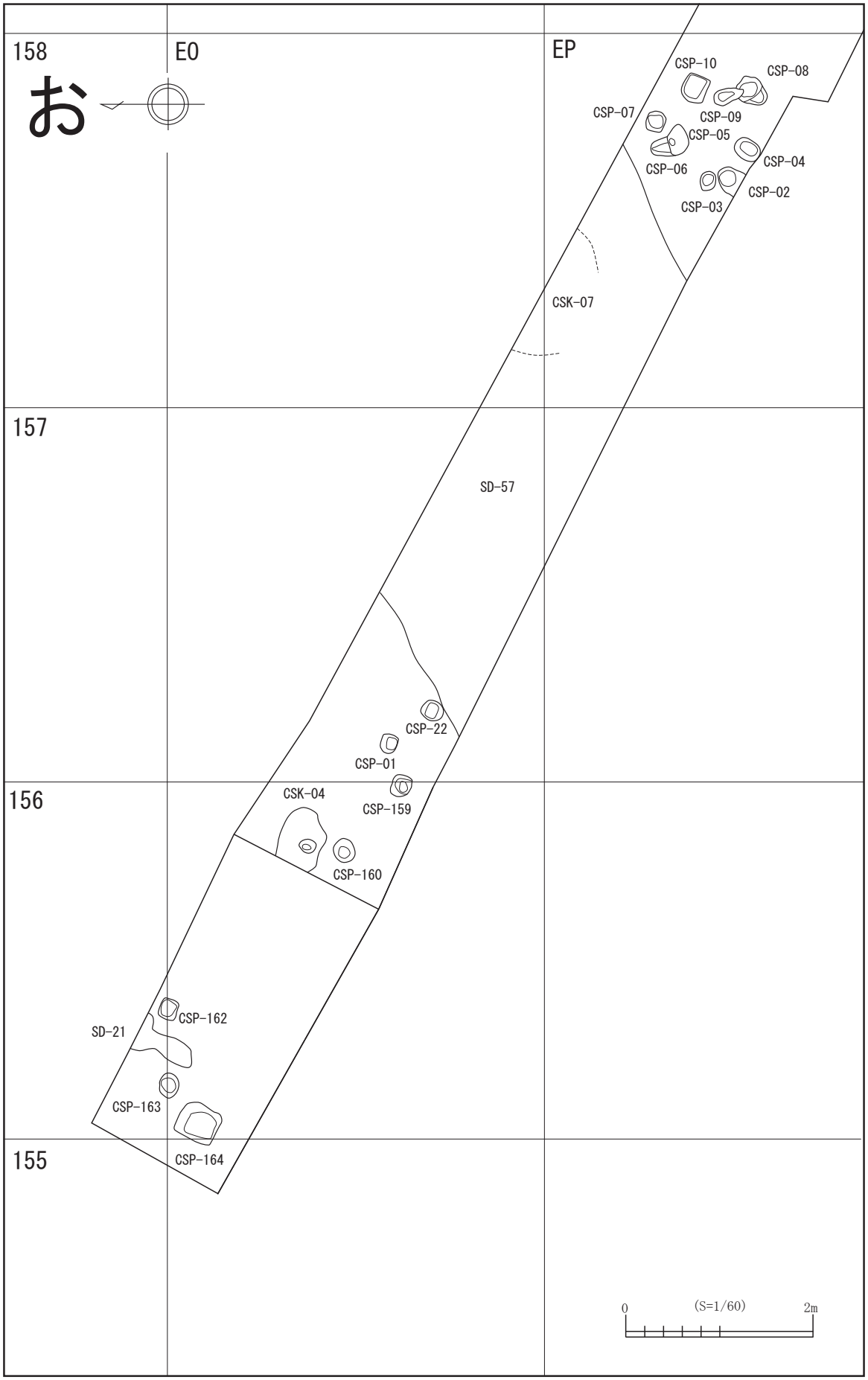
CSP-148
第1層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、
ロームブロック(φ20～30mm)少量、
炭化物ブロック(φ30mm)微量
第2層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/4 暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量

CSP-149
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ5～10mm)少量、炭化粒(φ5～10mm)微量
第2層　10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量
第3層　10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第4層　10YR4/4 褐色土　ローム層

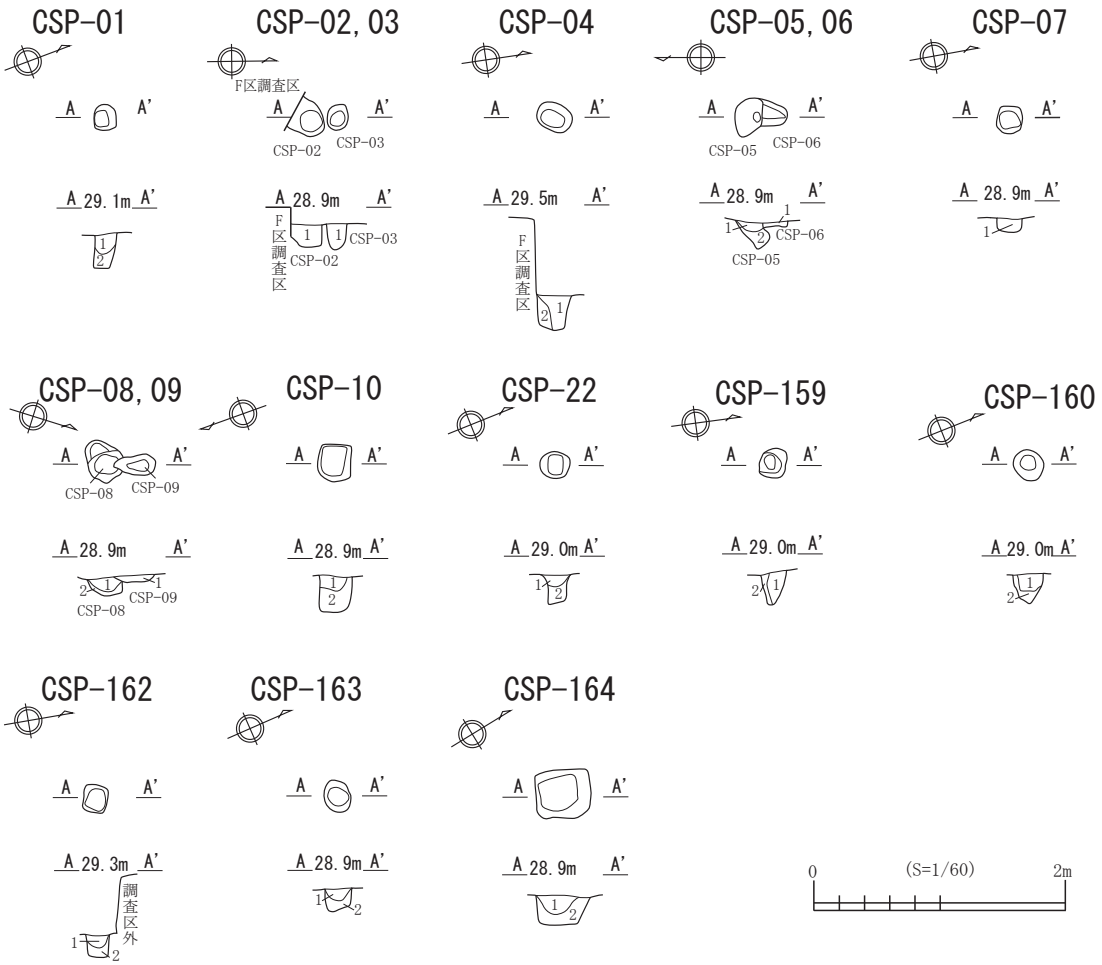
CSP-150
第1層　10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
ロームブロック(φ10mm)少量、焼土粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR4/4 褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量

CSP-151
第1層　10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ5mm)微量

第141図　川原館遺跡Ｃ区SPえ

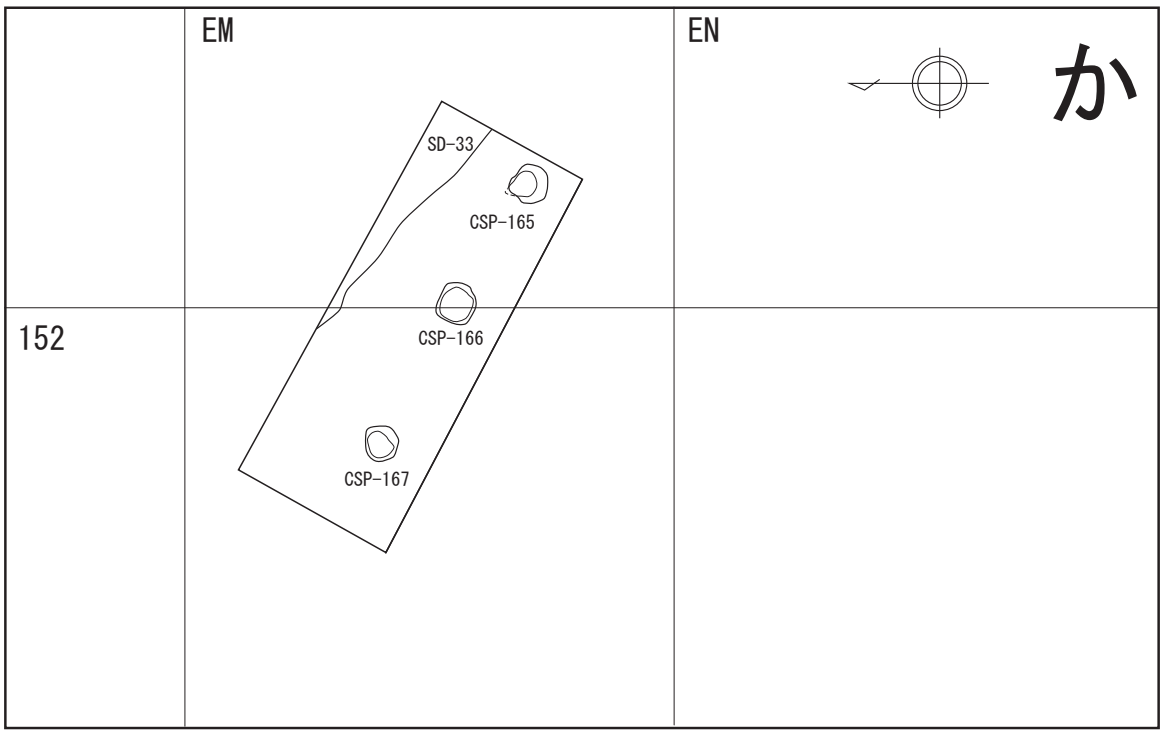


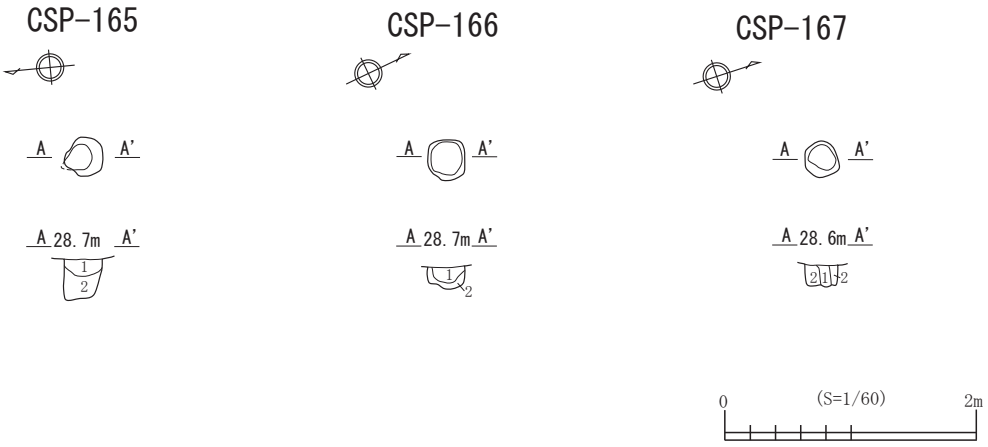
第142図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図お



CSP-01
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-02
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
CSP-03
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-04
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
CSP-05
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
CSP-06
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、ロームブロック(φ10～40mm)中量
CSP-07
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
CSP-08
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量
CSP-09
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
CSP-10
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-22
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
CSP-159
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層
CSP-160
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-162
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-163
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
CSP-164
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

第143図　川原館遺跡Ｃ区SPお



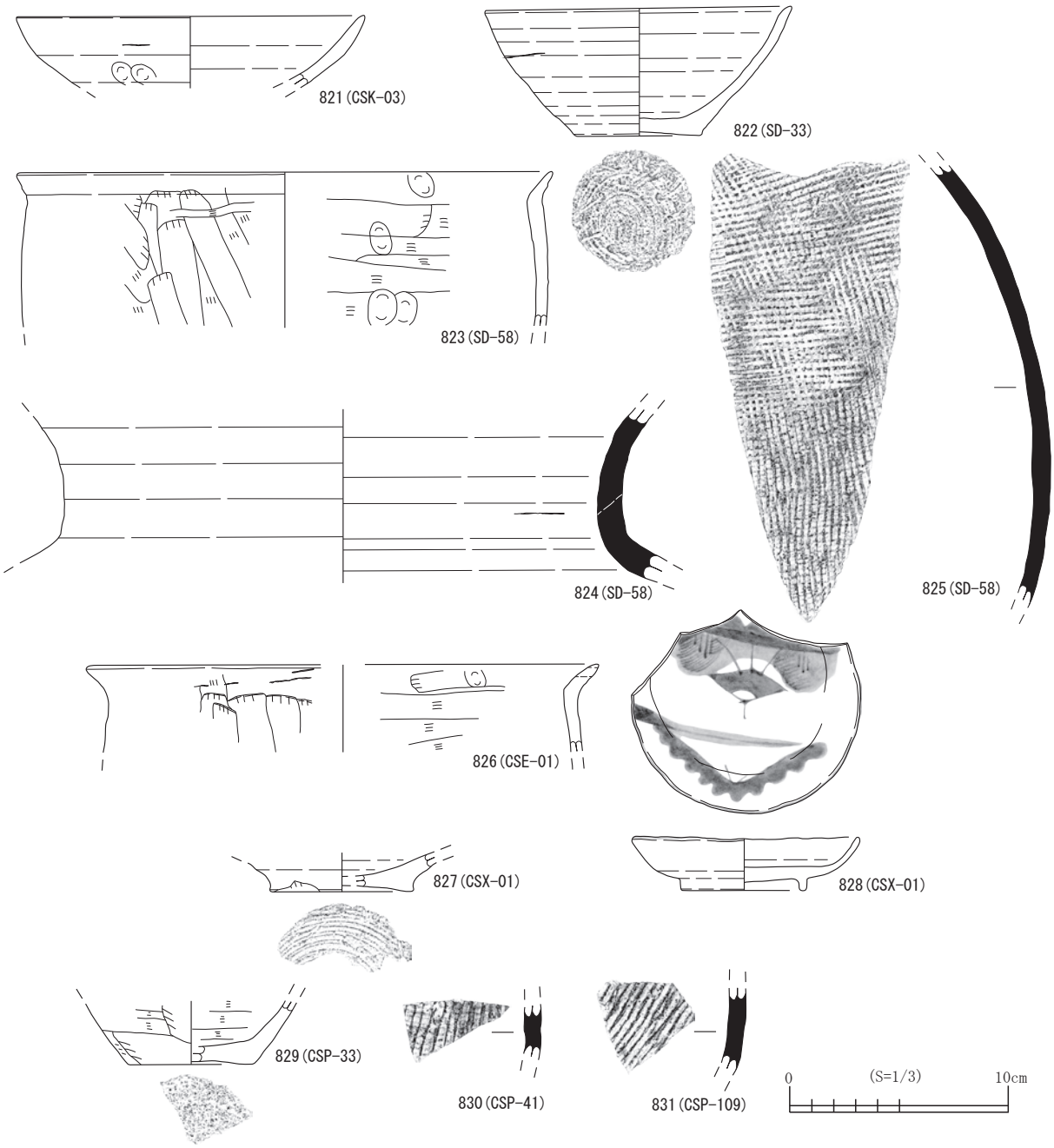


CSP-165
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)多量

CSP-166
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、酸化鉄粒(φ5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)多量、ロームブロック(φ10mm)微量、炭化粒(φ1～2mm)微量

CSP-167
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量

第144図　川原館遺跡Ｃ区SP区分図か



第145図　川原館遺跡Ｃ区出土土器SK・SD・SE・SX・SP

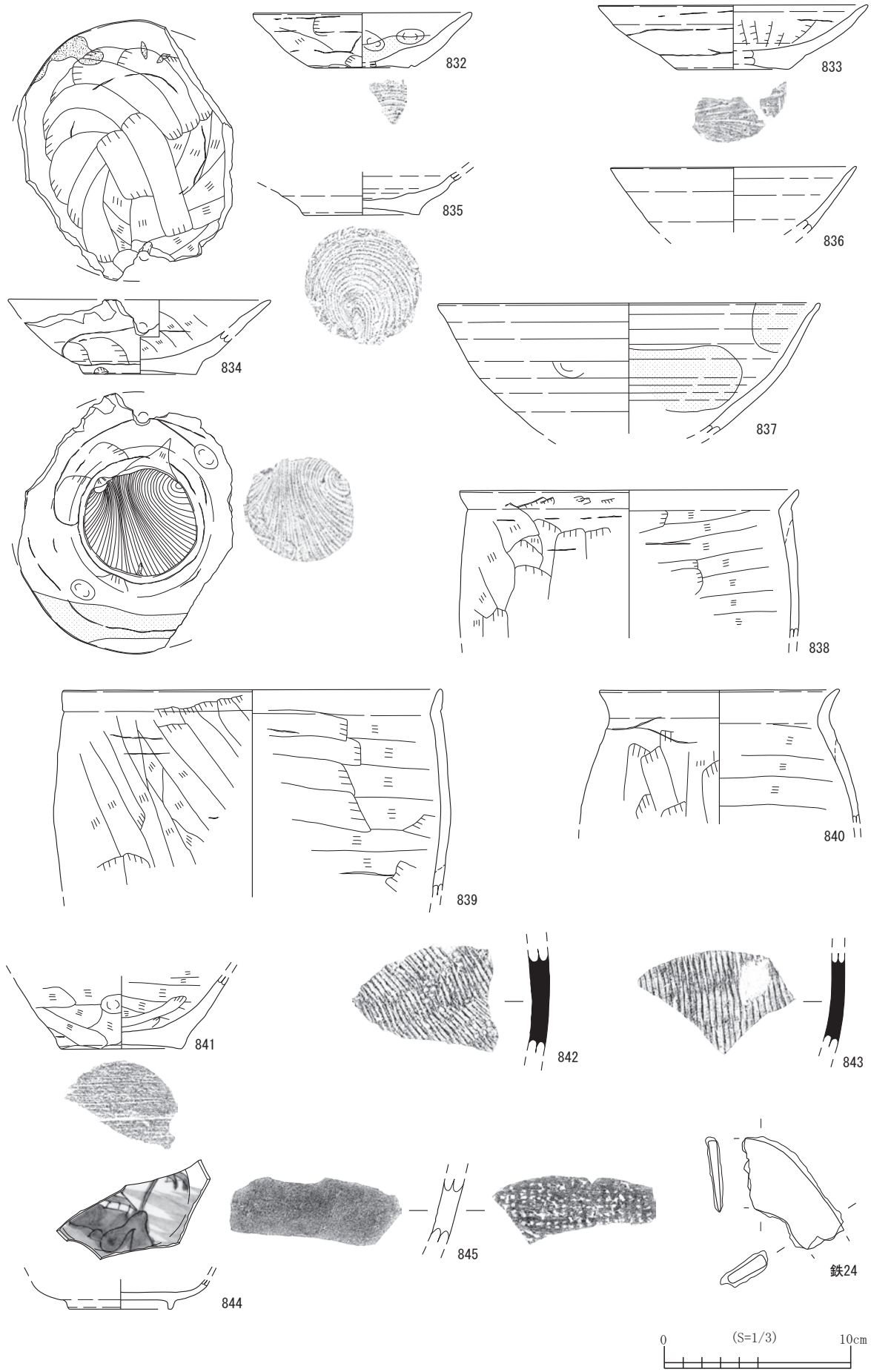
7．遺構外出土遺物

（1）土器

土師器皿２点、坏４点、甕２点、小甕２点、須恵器甕２点、陶磁器２点を図示した（第146図832～845）。皿は832が非ロクロ、833がロクロ調整である。832はやや厚い器壁を持ち、内外面ナデによって調整されており、底部は静止糸切である。底部には切離に使用したと考えられる糸の圧痕が認められる。833はロクロ調整の後、内外面ヘラナデが施されており、底部は静止糸切である。坏は４点のうち、非ロクロ１点（834）、ロクロ調整３点（835～837）である。837は大坏の口縁部～体部で、推定口径20.4㎝を測る。838は甕の口縁部～体部で、体部がほぼ直線的で口縁部はやや直立気味の形状を呈し、内外面ヘラナデによって調整されている。839は甕の口縁部～体部で、体部上半はほぼ直線的で、口縁部が緩やかに反る形状を呈する。内外面ヘラナデによって調整されている。840は小甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部は緩やかに外反する形状を呈する。内外面ヘラナデによって調整されている。841は小甕の体部～底部で、内外面ヘラナデによって調整されており、底部は柾目痕である。842・843は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形で、内面はナデによって調整されている。844は染付小皿で、山水図が描かれている。845は擂鉢である。

（2）鉄関連遺物

鉄製品１点（第146図鉄24）を図示した。鉄24は鎌の破片である。断面形状から柄に近い部分と考えられる。



第146図　川原館遺跡Ｃ区遺構外出土遺物

第17表　川原館遺跡Ｃ区出土土器観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第145図	821	CSK-03	覆土	土師器	皿	口縁～体部	(15.6)	(3.3)	－	5YR 5/4	5YR 5/3	並	ナデ	ナデ	－	微	少	微	微	外面指頭圧痕、巻上痕有、内面煤付着
第145図	822	SD-33	1層	土師器	坏	口縁～底部	(14.0)	5.9	5.7	10YR 8/2	10YR 8/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	微	多	中	少	胎土に籾混入、外面巻上痕有、底部細めの糸による糸切
第145図	823	SD-58	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.2)	(7.1)	－	5YR 7/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	少	微	内面指頭圧痕有
第145図	824	SD-58	覆土	須恵器	甕	頸部～体部	－	(7.9)	－	N 3/0	N 3/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	少	微	内面輪積痕有
第145図	825	SD-58	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	中	上部交叉タタキ、下部並行タタキ
第145図	826	CSE-01	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.8)	(4.0)	－	10YR 4/2	10YR 5/3	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	微	中	微	少	外面輪積痕有、内面指頭圧痕有
第145図	827	CSX-01	－	土師器	坏	体部～底部	－	(1.8)	(6.4)	7.5YR 6/1	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	微	少	少	微	
第145図	828	CSX-01	－	染付	小皿	口縁～底部	10.2	2.5	5.7	2.5GY 8/1	2.5GY 8/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	－	－	内面山水図
第145図	829	CSP-33	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.9)	5.6	7.5YR 6/4	5YR 5/8	並	ナデ	ナデ	砂底	少	多	微	少	
第145図	830	CSP-41	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 2/2	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第145図	831	CSP-109	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	破断面磨滅
第146図	832	遺構外	表土	土師器	皿	口縁～底部	(11.6)	3.0	(5.0)	5YR 5/4	5YR 5/3	並	ナデ	ナデ	静止糸切	中	少	少	微	内外面巻上痕有、内面指頭圧痕有、内面煤付着
第146図	833	遺構外	表土	土師器	皿	口縁～底部	(14.4)	3.5	(6.0)	7.5YR 6/3	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ＋ヘラナデ	静止糸切	微	中	少	少	内外面巻上痕有、煤付着
第146図	834	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～底部	(14.0)	4.0	6.0	5YR 5/4	5YR 6/4	良	ナデ	ナデ	静止糸切	少	中	微	中	体部貫通孔有、内面油痕有、内外面巻上痕有
第146図	835	遺構外	表土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.3)	6.1	10YR 7/2	10YR 7/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	微	中	外面煤付着
第146図	836	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(3.6)	－	7.5YR 3/1	7.5YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	中	少	内外面煤付着
第146図	837	遺構外	表採	土師器	大坏	口縁～体部	(20.4)	(7.0)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 8/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	微	微	少	外面指頭圧痕有、内面煤付着
第146図	838	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(7.9)	－	5YR 6/4	5YR 6/6	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	中	少	微	内外面輪積痕有、内面煤付着
第146図	839	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(20.0)	(11.1)	－	7.5YR 7/3	7.5YR 7/3	良	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	中	少	多	少	内外面輪積痕有、外面煤付着
第146図	840	遺構外	表採	土師器	小甕	口縁～体部	(12.8)	(7.2)	－	7.5YR 5/3	7.5YR 5/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	内外面煤付着
第146図	841	遺構外	表土	土師器	小甕	体部～底部	－	(3.9)	(6.4)	5YR 7/6	7.5YR 7/6	並	ナデ	ナデ	柾目痕	少	多	微	中	外面指頭圧痕、輪積痕有
第146図	842	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 2/1	5Y 3/2	並	タタキ	ナデ	－	多	少	多	中	外面一部剥落
第146図	843	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 3/1	2.5Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	内面煤付着、外面剥落有
第146図	844	遺構外	表土	染付	小皿	体部～底部	－	(1.6)	(5.5)	2.5GY 8/1	2.5GY 8/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	－	－	内面山水図
第146図	845	遺構外	表土	陶磁器	擂鉢	体部	－	－	－	7.5YR 2/2	7.5YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	少	－	少	

第18表　川原館遺跡Ｃ区出土鉄関連遺物観察表

図版番号	No	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量(g)	メタル度	磁着度	備考
					長軸	短軸	厚さ				
第146図	鉄24	遺構外	表採	鎌	5.5	6.0	1.0	34.1	L（●）	5	柄に近い部分

第５節　D区

１．竪穴遺構

DSI－01（第148図）

EH・EI－166グリッドで検出した。DSK－28、SD－57と重複している。DSK－28、SD－57が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は重複により不明だが、平面形は不整方形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸248×短軸88×深さ26㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面からはピット２基を検出した。Pit1は隅丸方形、Pit2は不整形を呈しており、規模はPit1＝長軸34×短軸24×深さ10㎝、Pit2＝長軸26×短軸16×深さ９㎝を測る。堆積土は２層に分層した。黒褐色土、暗褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点、須恵器甕１点（第149図846・847）を図示した。846は土師器甕の口縁部～体部で、外面は体部から口縁部へ緩やかに反る形状を呈し、口縁部内面は外傾する。847は須恵器甕の体部である。

2．土坑

DSK－01（第150図）

EA・EB－167・168グリッドで検出した。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸146×短軸92×深さ20㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認められ、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点を図示した（第155図848）。848は土師器甕の口縁部で、体部はほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。内外面ナデによって調整されている。

DSK－02（第150図）

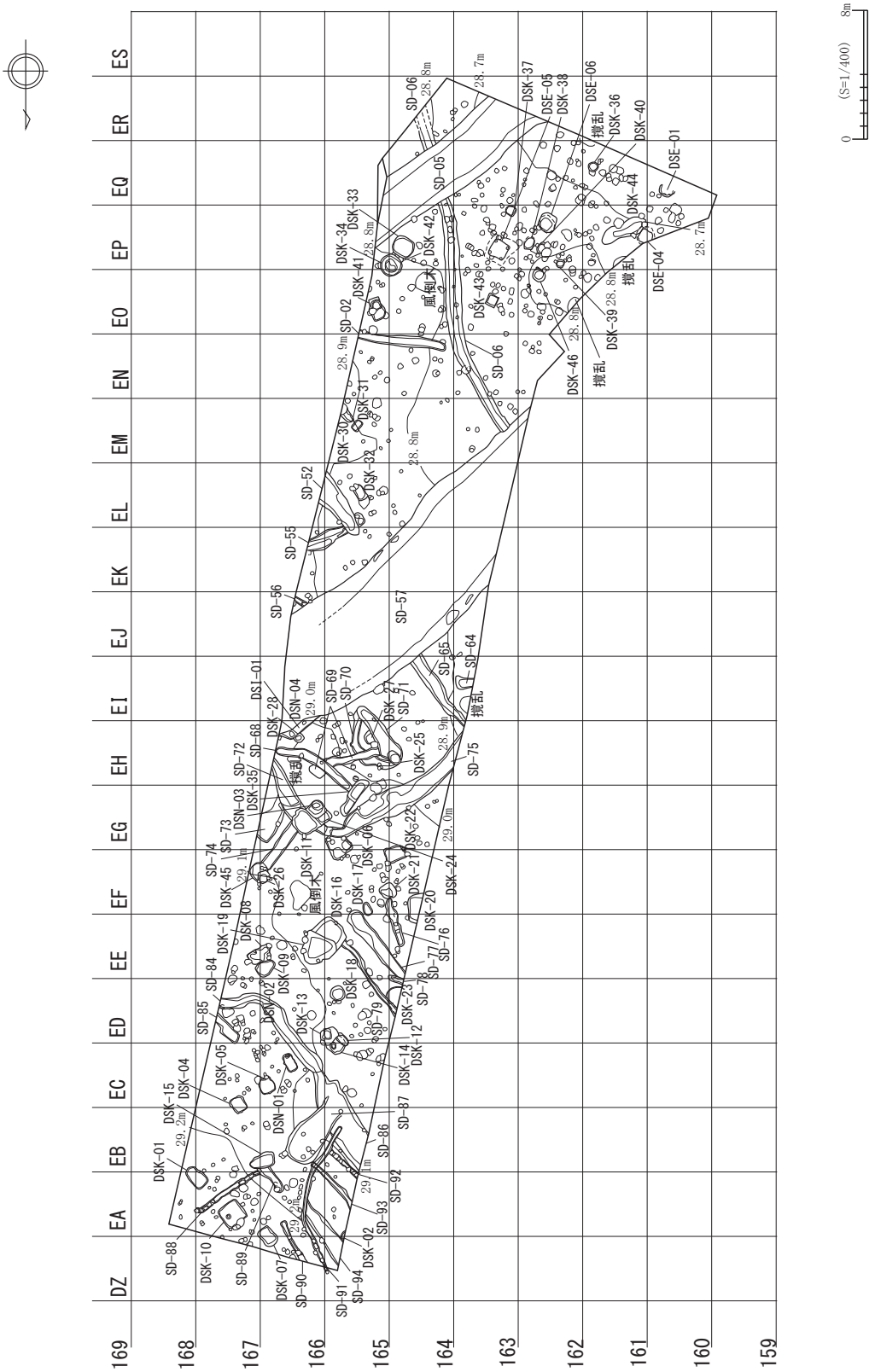
DZ・EA－165グリッドで検出した。全体形は不明だが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸38×短軸18×深さ15㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点（第155図849）を図示した。849は甕の口縁部～体部である。口縁部から体部まで直線的で、ヘラケズリで形成された段が口縁部と体部の境となっている。

DSK－04（第150図）

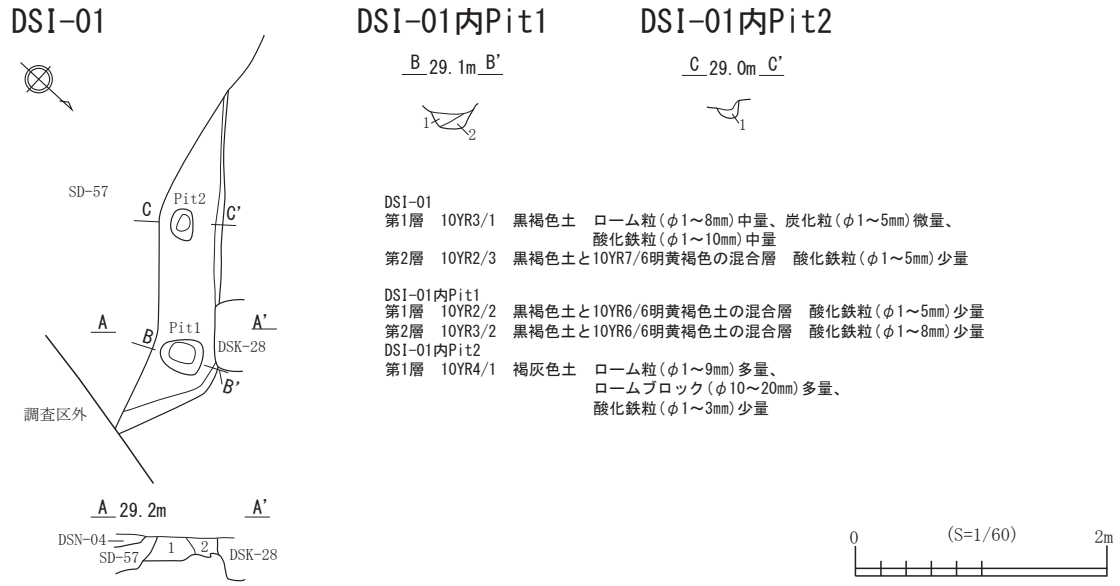
EB・EC－167グリッドで検出した。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸100×短軸94×深さ８㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は１層で、黒色土とにぶい黄褐色土の混合土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－05（第150図）

EC－166・167グリッドで検出した。DSP－41、86と重複している。本遺構がDSP－41を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－86が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整方形を



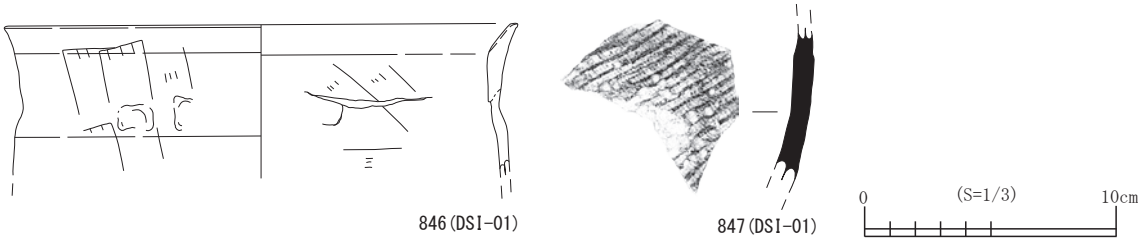
第147図　川原館遺跡Ｄ区遺構配置図



DSI-01
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR7/6明黄褐色の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSI-01内Pit1
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSI-01内Pit2
第1層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
　　ロームブロック(φ10～20mm)多量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)少量

第148図　川原館遺跡Ｄ区SI



第149図　川原館遺跡Ｄ区出土土器SI

呈しており、規模は長軸94×短軸104×深さ８㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点を図示した（第155図850）。850は坏の口縁部～体部で、内外面ロクロ調整が施されている。口径に対して器高が高くなっている。

DSK－06（第150図）

EF・EG－165グリッドで検出した。SD－75、DSP－70～73と重複している。SD－75、DSP－70～73が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整方形を呈しており、規模は長軸164×短軸146×深さ36㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面からはピット２基を検出した。Pit1は不整方形、Pit2は不整形を呈し、規模はPit1＝長軸50×短軸42×深さ36㎝、Pit2＝長軸66×短軸62×深さ52㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点、須恵器甕１点を図示した（第155図851・852）。851は土師器甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈している。852は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが施されている。

DSK－07（第150図）

DZ・EA－166・167グリッドで検出した。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸122×短軸92×深さ28㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点を図示した（第155図853）。853は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが施されている。酸化焼成である。

DSK－08（第150図）

EE－165・166グリッドで検出した。DSK－09、DSP－61、77・78と重複している。DSK－09、DSP－61、77・78が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸151×短軸88×深さ18㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK－09（第150図）

EE－166・167グリッドで検出した。DSK－08と重複している。本遺構がDSK－08を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸120×短軸91×深さ10㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK－10（第151図）

EA－167グリッドで検出した。DSP－106、109、146と重複している。DSP－106、109、146が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は方形を呈し、規模は長軸148×短軸134×深さ24㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からはピット１基を検出した。平面形

は円形を呈し、規模は長軸28×短軸28×深さ15㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒色・黒褐色土とにぶい黄褐色土の混合土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－11（第151図）

EG－166グリッドで検出した。DSK－24、SD－72、74・75、DSN－03と重複している。本遺構がDSK－24、SD－72、74・75を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSN－03が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸166×短軸136×深さ51㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、須恵器甕２点を図示した（第155図854～856）。854はSD－73との接合資料である。坏の口縁～底部で、底部から丸みを帯びるように立ち上がり、口唇が端反る形状を呈する。内外面ロクロ調整で、内面は更にヘラミガキによって黒色処理されている。855は須恵器甕の頸部～体部、856は体部である。856は酸化焼成である。

DSK－12（第151図）

EC・ED－165グリッドで検出した。DSK－13・14と重複している。本遺構がDSK－14を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－13が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸78×短軸48×深さ６㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒褐色土と明黄褐色土の混合土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－13（第151図）

EC・ED－165・166グリッドで検出した。DSK－12、14、DSP－208と重複している。本遺構がDSK－12、14、DSP－208の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整形を呈し、規模は長軸112×短軸96×深さ42㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点を図示した（第155図857）。857は須恵器甕の体部で、器壁が薄く、外面は灰かぶりが認められる。

DSK－14（第151図）

EC・ED－165グリッドで検出した。DSK－12・13と重複している。DSK－12・13が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整形と考えられ、規模は長軸82×短軸74×深さ34㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。底面からはピット１基を検出した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸42×短軸28×深さ36㎝を測る。堆積土は７層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－15（第151図）

EB－166・167グリッドで検出した。SD－89と重複している。本遺構がSD－89を掘り込んでおり、

本遺構が新しい。平面形は不整楕円形を呈しており、規模は長軸158×短軸94×深さ８㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は１層で、黒色土とにぶい黄褐色土の混合土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－16（第151図）

EE－165・166グリッドで検出した。DSK－19、SD－79と重複している。本遺構がSD－79を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－19が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は方形を呈していると考えられ、規模は長軸196×短軸118×深さ12㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面からはピット１基を検出した。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸26×短軸22×深さ６㎝を測る。堆積土は２層に分層した。黒褐色土と黒色土の混合土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－17（第152図）

EE・EF－165グリッドで検出した。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸82×短軸50×深さ８㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－18（第152図）

ED－165グリッドで検出した。DSP－199と重複している。DSP－199が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は円形を呈し、規模は長軸92×短軸91×深さ30㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は須恵器甕２点（第155図858・859）、土製品１点（第156図土21）、鉄関連遺物１点（第156図鉄25）を図示した。858・859は体部で、外面タタキ成形、外面ナデが施されている。土21は棒状支脚で、外面はヘラケズリによって調整されている。鉄25は炉壁である。

DSK－19（第151図）

EE－165・166グリッドで検出した。DSK－16、DSP－196、203・204、206と重複している。本遺構がDSK－16の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－196、203・204、206が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸204×短軸186×深さ21㎝を測る。壁は緩やかに段を持って立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－20（第152図）

EE・EF－164グリッドで検出した。DSP－220と重複している。DSP－220が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整方形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸174×短軸76×深さ38㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分と段をもって立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は10層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－21（第152図）

EF－164・165グリッドで検出した。平面形は不整形を呈し、規模は長軸108×短軸98×深さ20㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認められ、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－22（第152図）

EF・EG－164・165グリッドで検出した。DSP－37、227、232と重複している。DSP－37、227、232が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸128×短軸96×深さ８㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点（第155図860）を図示した。860は甕の体部である。

DSK－23（第152図）

ED－164・165グリッドで検出した。SD－79と重複している。SD－79が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸136×短軸82×深さ38㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－24（第152図）

EG－165・166グリッドで検出した。DSK－11、SD－75、DSN－03と重複している。本遺構がSD－75の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－11、DSN－03が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整方形を呈していると考えられ、規模は長軸90×短軸61×深さ22㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－25（第152図）

EH－164・165グリッドで検出した。SD－70・71と重複している。本遺構がSD－70・71を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸96×短軸64×深さ21㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－26（第152図）

EF－166・167グリッドで検出した。DSK－45、DSP－38、296と重複している。本遺構がDSK－45を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－38、296が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸78×短軸73×深さ13㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－27（第153図）

EH－165グリッドで検出した。SD－71、DSP－254と重複している。SD－71、DSP－254が本遺構の堆積土を掘り込んでおり本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整方形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸72×短軸50×深さ22㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－28（第153図）

EH－166グリッドで検出した。DSI－01と重複している。本遺構がDSI－01の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸59×短軸47×深さ33㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、常滑壺１点（第155図861・862）を図示した。861は土師器坏の口縁部～底部で、内外面ロクロ調整が施されており、底部は回転糸切である。口縁部付近がやや歪んでいる。SD－57、DSN―04との接合資料である。862は常滑壺の体部～底部である。

DSK－30（第153図）

EM－165グリッドで検出した。DSP－333と重複している。DSP－333が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸67×短軸63×深さ14㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は一部分凹む以外はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK－31（第153図）

EM－165グリッドで検出した。平面形は長方形を呈しており、規模は長軸72×短軸48×深さ７㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK－32（第153図）

EL－165グリッドで検出した。DSP－336・337、387と重複している。本遺構がDSP－387を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－336・337が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整楕円形を呈しており、規模は長軸96×短軸64×深さ20㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は中央がやや凹んでいる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、甕２点（第155図863～865）を図示した。863は非ロクロ坏の体部～底部で、底部は柾目痕である。864・865は甕の口縁部～体部で、体部は直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。

DSK－33（第153図）

EP－164グリッドで検出した。DSK－42と重複している。本遺構がDSK－42を掘り込んでおり、本

遺構が新しい。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸130×短軸118×深さ28㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は陶磁器１点（第155図866）、古銭１点（第156図銭13）を図示した。866は徳利の体部～底部で、体部は外面白濁釉が認められ、底部は高台となっている。近世以降の所産と考えられる。銭13は寛永通寶である。

DSK－34（第153図）

EO・EP－164・165グリッドで検出した。DSK－42、DSP－469と重複している。本遺構がDSK－42、DSP－469を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸132×短軸124×深さ22㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK－35（第153図）

EG・EH－165グリッドで検出した。SD－68と重複している。本遺構がSD－68を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸262×短軸80×深さ16㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、２層は埋め戻し等による人為堆積、１層は自然堆積と考えられる。

DSK－36（第153図）

EQ－161グリッドで検出した。DSP－426と重複している。本遺構がDSP－426を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸62×短軸60×深さ22㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸が認められる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－37（第153図）

EP－163グリッドで検出した。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸61×短軸59×深さ34㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面がほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－38（第154図）

EP－162グリッドで検出した。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸80×短軸56×深さ86㎝を測る。壁はオーバーハングして立ち上がる部分と段を持ちながら立ち上がる部分が認められ、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、甕２点（第155図867～869）、木製品１点（第156図木60）を図示した。867は坏の口縁部～体部で、口縁部が端反る形状を呈する。ロクロ調整が施されている。868は甕の口縁部～体部で、体部下半～口縁部に向かって徐々にすぼまる形状を呈し、口縁部は緩やかに外反する。869は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈し、く

の字状のくびれを有する。木60は箸で、先端と下端を欠損している。

DSK－39（第154図）

EP－162グリッドで検出した。DSP－556と重複している。本遺構がDSP－556を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整円形を呈しており、規模は長軸52×短軸50×深さ42㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK－40（第154図）

EP－162グリッドで検出した。DSP－611、613・614、622と重複している。本遺構がDSP－614、622を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－611、613が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸72×短軸54×深さ38㎝を測る。壁は段を持って立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、１層は埋め戻し等による人為堆積、２層は自然堆積と考えられる。

DSK－41（第154図）

EO－165グリッドで検出した。DSP－391、464・465と重複している。本遺構がDSP－391、464を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－465が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸86×短軸64×深さ26㎝を測る。壁は段をもって立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、３層は自然堆積、１・２層は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－42（第154図）

EP－164グリッドで検出した。DSK－33・34と重複している。DSK－33・34が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整円形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸72×短軸18×深さ28㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は北西側へやや傾斜している。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－43（第154図）

EO－163グリッドで検出した。平面形は方形を呈している。規模は長軸71×短軸62×深さ70㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

DSK－44（第154図）

EP－161グリッドで検出した。DSP－444、461、468、551と重複している。DSP－444、461、468、551が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸300×短軸90×深さ26㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認め

られ、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－45（第152図）

EF－166・167グリッドで検出した。DSK－26、SD－74、DSP－296と重複しているが、新旧関係は不明である。全体形は不明だが、平面形は円形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸104×短軸72×深さ４㎝を測る。壁は緩やかな傾斜で立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。底面からピット２基を検出した。平面形はPit1が楕円形、Pit2が円形を呈しており、規模はPit1＝長軸22×短軸16×深さ６㎝、Pit2＝長軸20×短軸18×深さ20㎝を測る。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSK－46（第154図）

EO・EP－162グリッドで検出した。DSP－571と重複している。本遺構がDSP－571を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸92×短軸76×深さ84㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、１～４層は自然堆積、５層は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は木製品１点（第156図木61）を図示した。木61は曲物底板で、表裏面には刃痕が認められる。柄杓の底板と考えられる。

３．溝跡

SD－56（第157図）

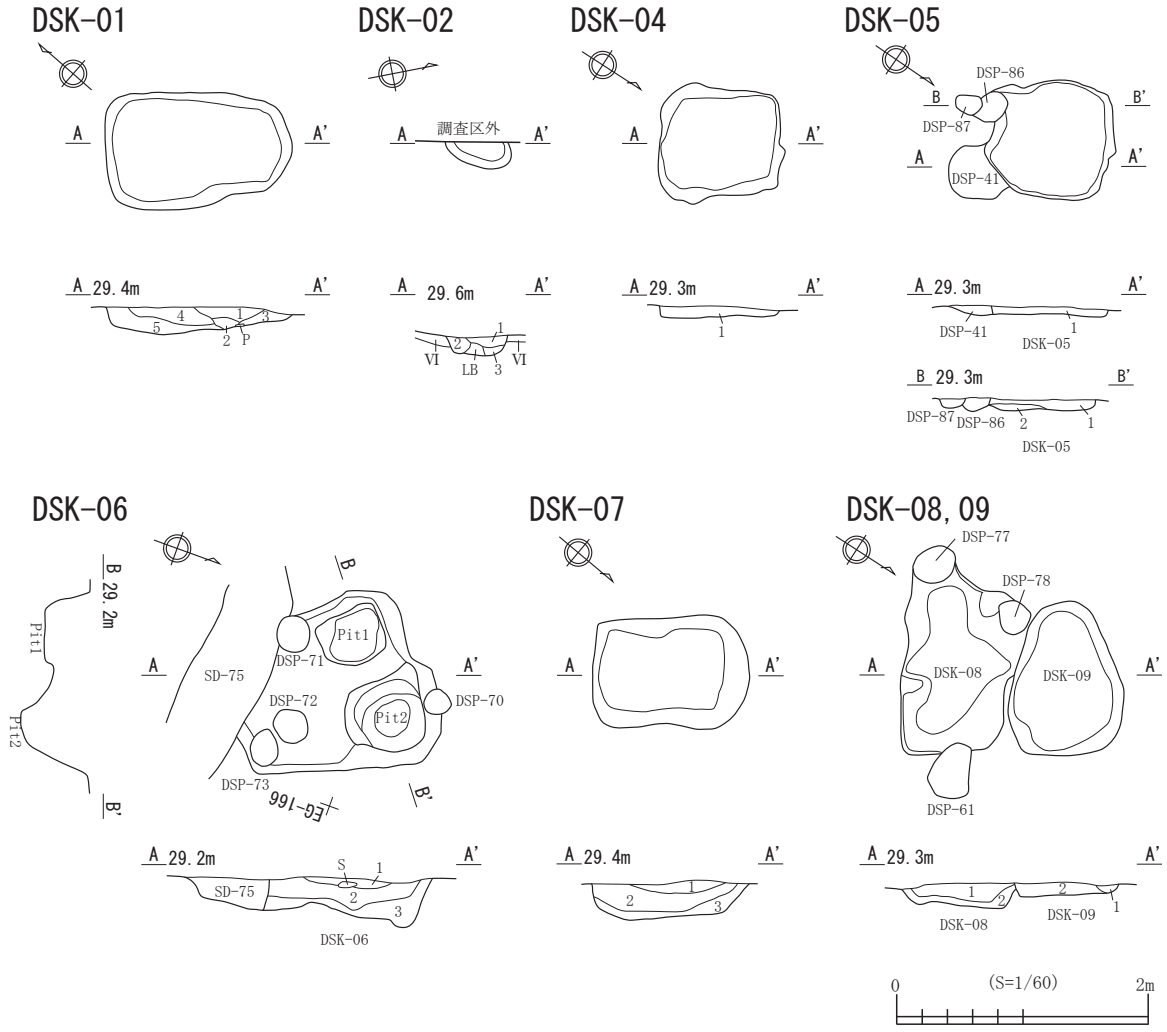
EJ－166グリッドで検出した。SD－57、DSP－425と重複している。SD－57、DSP－425が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、確認できた規模は延長78㎝、幅36㎝、深さ22㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－64（第157図）

EI－163グリッドで検出した。直線状を呈し、確認できた規模は延長102㎝、幅82㎝、深さ31㎝を測る。壁は丸みを帯びて立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認められ、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－65（第157図）

EH・EI－163・164グリッドで検出した。SD－57と重複している。SD－57が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈し、延長499㎝、幅88㎝、深さ10㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分と段をもって立ち上がる部分が認められる。堆積土は１層で黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。



DSK-01
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～80mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
第3層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第4層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～100mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第5層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSK-02
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量

DSK-04
第1層 10YR2/1　黒色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ5mm)微量

DSK-05
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～60mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層

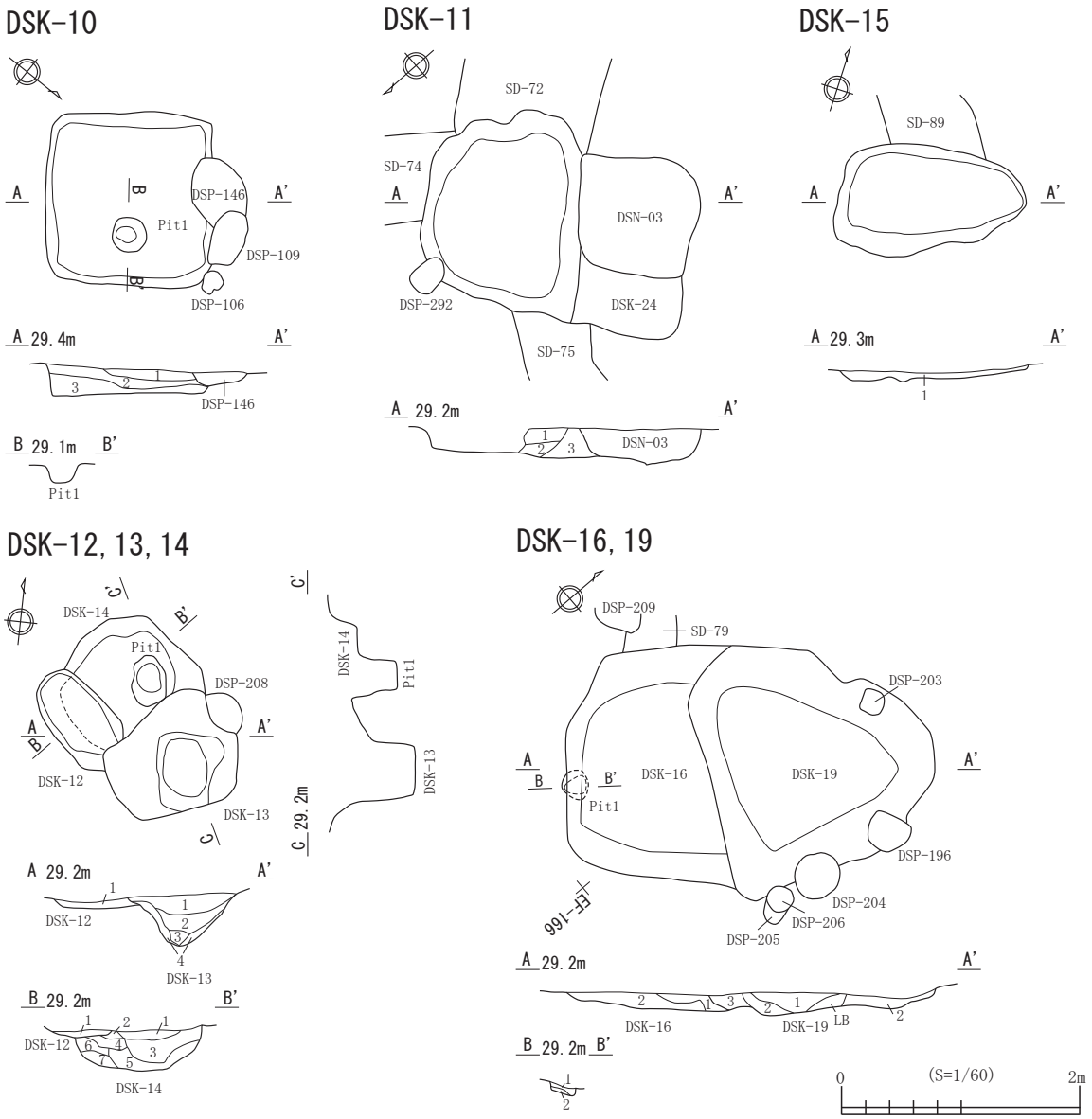
DSK-06
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ10～50mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～100mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSK-07
第1層 10YR2/2　黒褐色土と7.5YR2/3極暗褐色土の混合層 ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ10mm)少量
第2層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)多量、ロームブロック(φ10～40mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSK-08
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～60mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

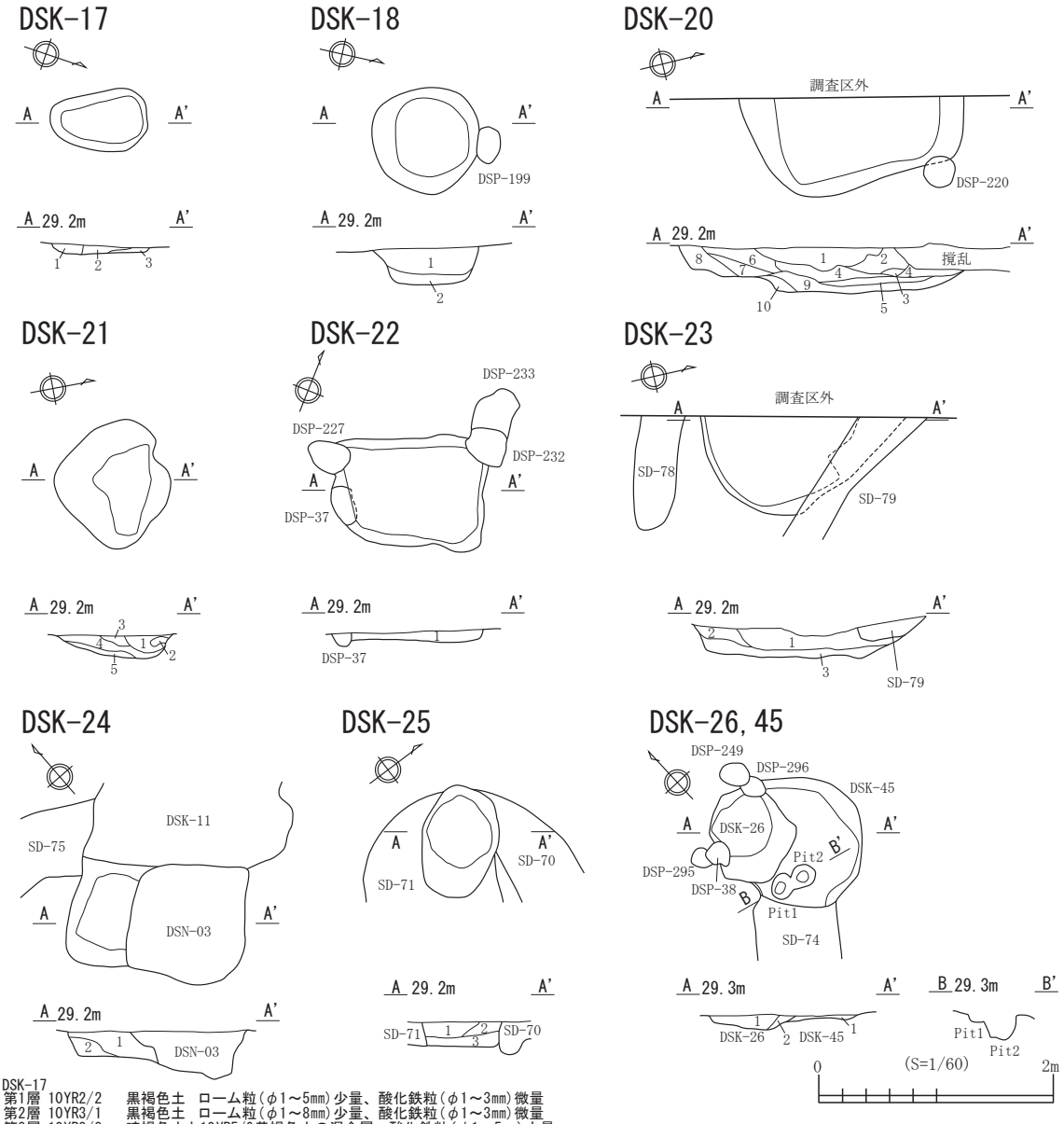
DSK-09
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第150図　川原館遺跡Ｄ区SK（１）



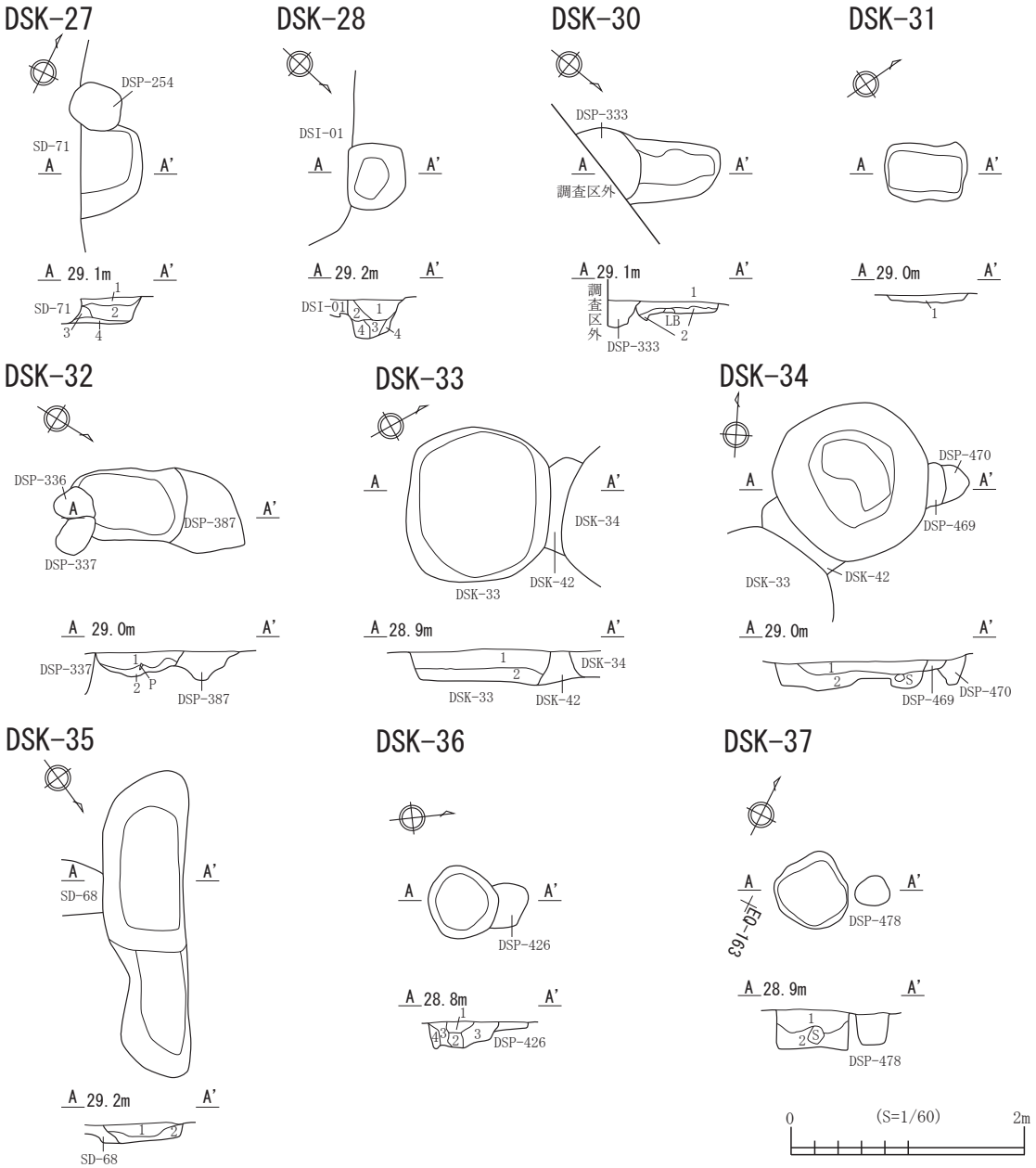
DSK-10
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR4/3　にぶい黄褐色土と10YR2/1黒色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSK-11
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)中量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～7mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)少量
第3層　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)多量、酸化鉄粒(φ1～2mm)少量
DSK-12
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～30mm)中量
DSK-13
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/8黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ロームブロック(φ80mm)多量
第4層　10YR3/3　暗褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ20mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSK-14
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～40mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
第4層　10YR4/3　にぶい黄褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第5層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第6層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量
第7層　10YR5/6　黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-15
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-16
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR2/1黒色土の混合層　炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)多量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
DSK-16内Pit1
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層
DSK-19
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～100mm)多量、炭化粒(φ1～10mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～100mm)多量、炭化粒(φ1～10mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ロームブロック(φ10～15mm)中量

第151図　川原館遺跡Ｄ区SK（２）



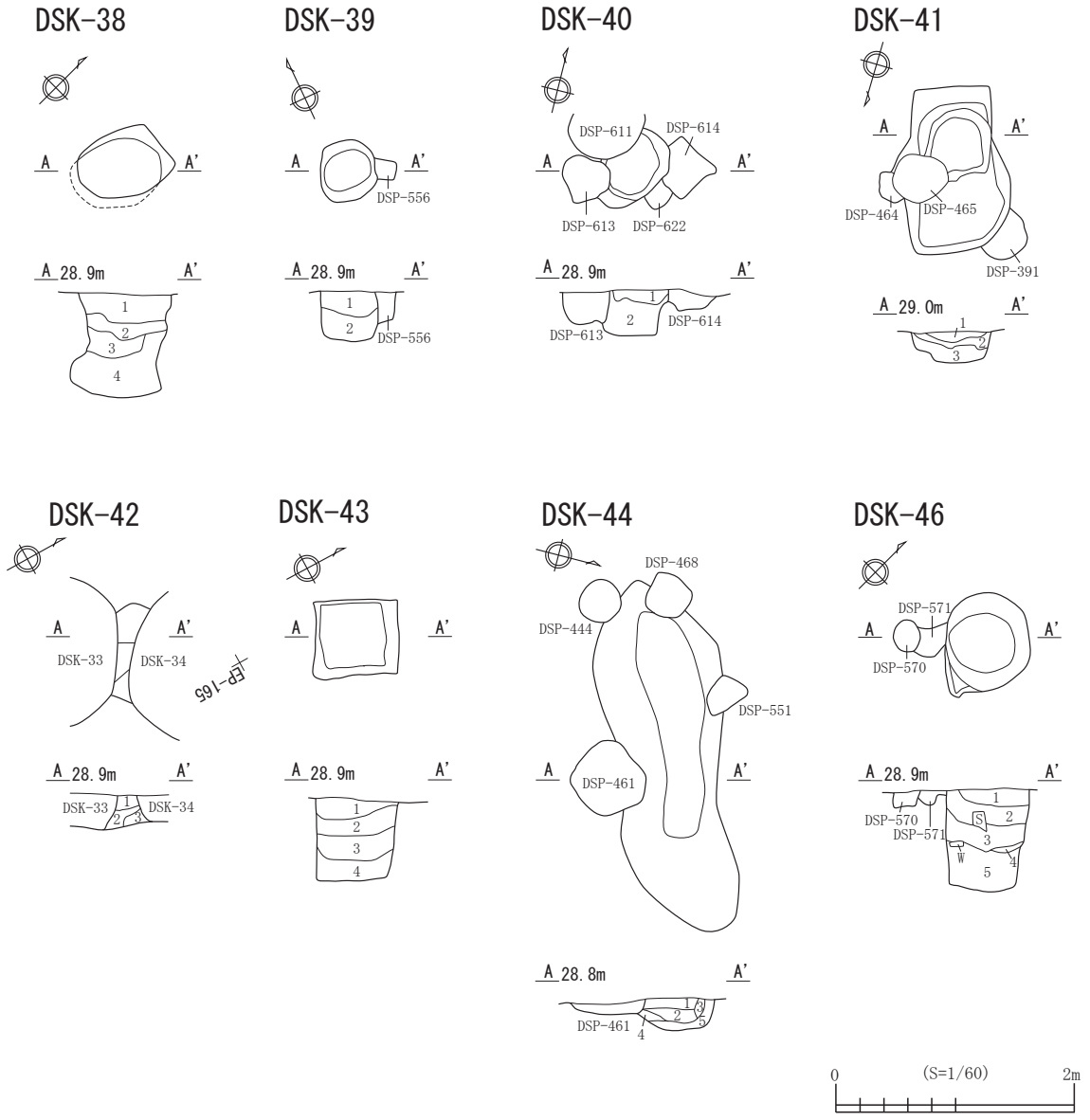
DSK-17
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-18
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSK-20
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～70mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ5～20mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土と10YR3/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm少量
第3層 10YR3/1　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第5層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第6層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第7層 10YR3/1　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第8層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ60mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第9層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第10層10YR5/3　にぶい黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSK-21
第1層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)多量
第3層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第5層 10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSK-22
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化物ブロック(φ5～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSK-23
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～4mm)微量
第3層 10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土量(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-24
第1層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)中量
第2層 10YR4/4　褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)中量
DSK-25
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSK-26
第1層 10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR6/8　明黄褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合層
DSK-45
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量

第152図　川原館遺跡Ｄ区SK（３）



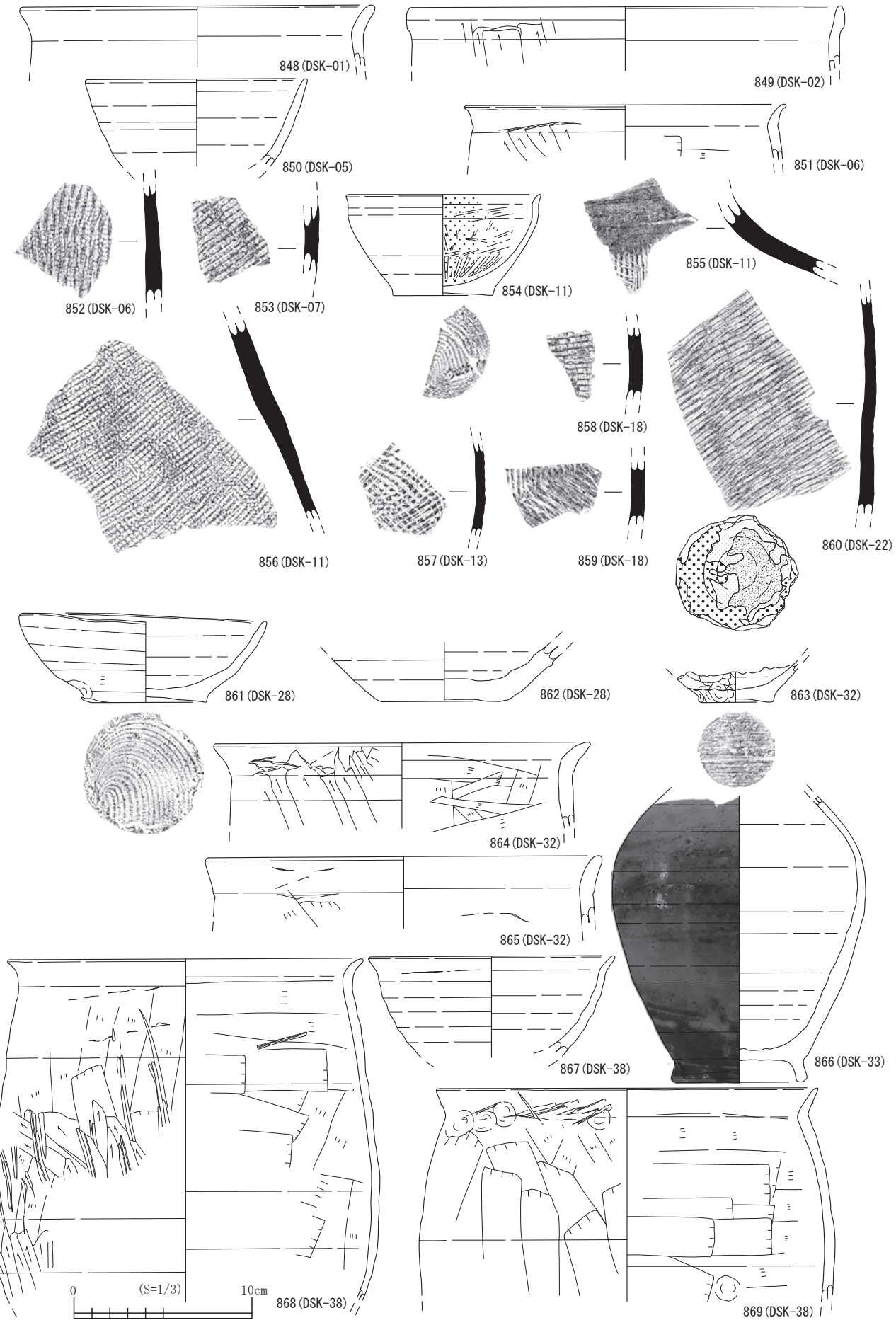
DSK-27
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層 10YR3/3 暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-28
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～60mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第3層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR3/4 暗褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層 炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
DSK-30
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSK-31
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～25mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
DSK-32
第1層 10YR3/1 黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1～20mm)中量
第2層 10YR7/6 明黄褐色土
DSK-33
第1層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、礫(φ20～100mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR7/6明黄褐色の混合層 炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSK-34
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層 炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-35
第1層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-36
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層 10YR2/1 黒色土 ローム粒(φ1～3mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、粘土塊(φ50mm)少量
第3層 10YR3/1 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量、粘土塊(φ50mm)少量
第4層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSK-37
第1層 10YR2/2 黒褐色土 ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層 炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

第153図　川原館遺跡Ｄ区SK（４）

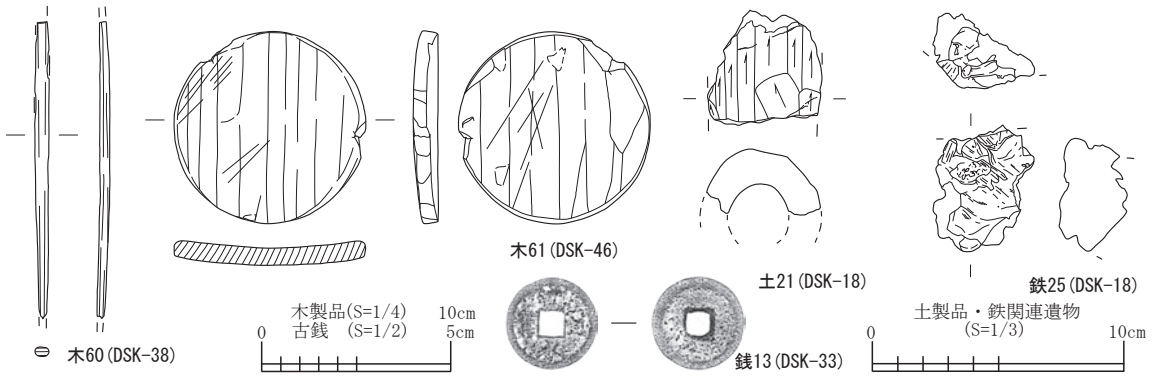


DSK-38
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2　黒褐色土と10YR6/4にぶい黄橙色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-39
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSK-40
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
DSK-41
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量、灰(φ8～10mm)少量
第3層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ60mm)少量
DSK-42
第1層 10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第3層 10YR7/6　明黄褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層
DSK-43
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/3　黒褐色土と10YR6/3にぶい黄橙色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層 10YR3/3　暗褐色土と10YR6/3にぶい黄橙色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第4層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSK-44
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層 10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
第5層 10YR2/3　黒褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層
DSK-46
第1層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層 10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第5層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

第154図　川原館遺跡Ｄ区SK（５）



第155図　川原館遺跡Ｄ区出土土器SK



第156図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SK

SD－68（第157図）

EG－165・EH－165・166グリッドで検出した。DSK－35、SD－69と重複している。本遺構がSD－69を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－35が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、延長520㎝、幅59㎝、深さ10㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。底面からピット２基を確認した。平面形はPit1不整円形、Pit2不整楕円形を呈し、各ピットの規模はPit1＝長軸31×短軸26×深さ14㎝、Pit2＝長軸19×短軸15×深さ16㎝を測る。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－69（第157図）

EH－165・166グリッドで検出した。SD－68、70・71、DSP－254と重複している。本遺構がSD－70を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－68、71、DSP－254が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。東側がやや屈曲する以外は概ね直線状を呈し、延長330㎝、幅66㎝、深さ22㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。南東壁寄り底面からピット１基を確認した。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸18×短軸11×深さ11㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－70（第157図）

EH－164・165・EI－166グリッドで検出した。DSK－25、SD－69、71、DSP－275～277、427と重複している。DSK－25、SD－69、71、DSP－275～277、427が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長258㎝、幅86㎝、深さ11㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土及び黒色土と明黄褐色の混合層を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－71（第157図）

EH・EI－164・165グリッドで検出した。DSK－25、27、SD－69・70、DSP－254と重複している。本遺構がDSK－27、SD－69・70の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－25、DSP－254が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長412㎝、幅122

㎝、深さ21㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は中央部が凹む形状を呈している。南西壁寄り底面からピット１基を検出した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸24×短軸12×深さ15㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－72（第158図）

EG・EH－166グリッドで検出した。DSK－11、SD－73・74、DSN－03と重複している。本遺構がSD－73・74の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－11、DSN－03が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、確認できた規模は延長324㎝、幅92㎝、深さ22㎝を測る。壁は段をもって立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点、小甕１点（第162図870・871）を図示した。870は皿の体部～底部で、内外面ロクロ調整が施されている。871は小甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部と体部の境には浅いくびれを有する。

SD－73（第158図）

EG－166・167、EH－166グリッドで検出した。SD－72と重複している。SD－72が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。屈曲が認められるものの概ね直線状を呈し、規模は延長306㎝、幅126㎝、深さ16㎝を測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はほぼ平坦である。西壁寄りの底面からピット１基を検出した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸32×短軸26×深さ12㎝を測る。堆積土は4層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点、坏３点、小甕１点、須恵器甕２点（第162図872～878）を図示した。872は非ロクロの皿で、外面ヘラケズリによって調整されており、底部は柾目痕である。内面及び外面に灯明痕が認められる。坏は３点ともロクロ調整である。875は外面に「大」の墨書が認められる。876は小甕の口縁部～体部である。877・878は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが認められる。878は酸化焼成で、内面当て具痕が認められる。

SD－74（第158図）

EF・EG－166グリッドで検出した。DSK－11、45、SD－72と重複している。DSK－11、45、SD－72が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長322㎝、幅70㎝、深さ７㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。エレベーションのみの確認のため、堆積状況は不明である。

SD－75（第158図）

EG・EH－163～166グリッドで検出した。DSK－06、11、24、DSP－51、71、88、93、139と重複している。本遺構がDSK－06を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－11、24、DSP－51、71、88、93、139が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長10.92mを測り、最大幅186㎝、最少幅62㎝、深さ50㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考え

られる。遺物は土師器皿２点、坏２点、甕３点、小甕１点、須恵器壺１点、甕２点（第162図879～889）、鉄関連遺物１点（第163図鉄26）を図示した。皿・坏はいずれもロクロ調整である。882は口縁～体部で、体部～口縁部まで丸みを帯びており、口縁部がやや端反る形状を呈する。883は甕の口縁部～体部で、やや厚みのある器壁で、体部から口縁部までほぼ直線的である。884は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈する。885は甕の体部～底部で、開き気味に立ち上がる形状を呈し、底部は柾目痕である。886は小甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線的で、口縁部がやや外反する。887は須恵器壺の体部～底部で、内外面ヘラナデ、ヘラケズリによって調整されている。888・889は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが認められる。鉄26は全面茶褐色を呈する鍛冶滓である。

SD－76（第159図）

EE・EF－164・165グリッドで検出した。DSP－217、243と重複している。本遺構がDSP－243を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－217が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長304㎝、幅44㎝、深さ14㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。南西壁寄り底面からはピット３基を検出した。平面形はPit1・2が不整形、Pit3が隅丸方形を呈し、規模はPit1＝長軸32×短軸22×深さ12㎝、Pit2＝長軸34×短軸20×深さ13㎝、Pit3＝長軸26×短軸18×深さ10㎝を測る。堆積土は４層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－78（第159図）

ED・EE－164・165グリッドで検出した。SD－77と重複している。本遺構がSD－77の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、規模は延長94㎝、幅36㎝、深さ24㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と段状に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－79（第159図）

ED・EE－164・165グリッドで検出した。DSK－16、23、DSP－209と重複している。本遺構がDSK－23を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－16、DSP－209が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長476㎝、幅46㎝、深さ18㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－84（第159図）

EC・ED－166・167グリッドで検出した。SD－86、DSN－02、DSP－145、148と重複している。本遺構がDSP－145を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSN－02が本遺構の堆積土上にあり、本遺構が古い。SD－86、DSP－148との新旧関係は不明である。やや蛇行しながら北西方向に延びており、規模は延長902㎝、幅84㎝、深さ26㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はＶ字状を呈する。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土

師器坏１点、甕２点（第163図890～892）。890は非ロクロの坏の口縁部～体部である。891・892は甕の口縁部～体部で、同一個体である。体部はほぼ直線的で、口縁部には横ナデにより浅いくびれが作り出されている。

SD－85（第159図）

ED－167グリッドで検出した。DSP－99と重複している。DSP－99が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、北西側が一部張出す形状を呈する。規模は延長189㎝、幅52㎝、深さ13㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、堝１点（第163図893・894）を図示した。893は非ロクロ坏で、内外面ナデによって調整され、底部は柾目痕である。894は堝の口縁部～体部である。

SD－87（第160図）

EB・EC－165・166グリッドで検出した。SD－86、DSP－172、176～180と重複している。本遺構がSD－86の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－172、176～180が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長452㎝、幅202㎝、深さ17㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏２点、須恵器甕２点（第163図895～898）を図示した。坏は２点ともにロクロ調整で、896はロクロ調整後、内面ヘラミガキにより黒色処理されている。897は須恵器甕の口縁部で、ロクロ調整が施されている。898は須恵器甕の体部で、外面タタキ成形、内面ナデが施されている。

SD－88（第160図）

EA・EB－167グリッドで検出した。SD－89、DSP－40と重複している。SD－89、DSP－40が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。東端部が屈曲するものの直線状を呈し、規模は延長452㎝、幅32㎝、深さ８㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土と褐色土の混合土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。本遺構のほか、SD－89・90とG区のSD－97は4条の溝によって一部途切れるものの、コの字状を呈しており、外周溝や区画溝の可能性も考えられる。

SD－89（第160図）

EA・EB－166・167グリッドで検出した。DSK－15、SD－88、DSP－131と重複している。本遺構がSD－88の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSK－15、DSP－131が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長186㎝、幅74㎝、深さ７㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。北東壁寄り底面よりピット１基を確認した。平面形は楕円形を呈し、規模はPit1＝長軸27×短軸21×深さ29㎝を測る。堆積土は１層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－90（第160図）

DZ・EA－166グリッドで検出した。D区・G区へと延びる溝である。D区でDSP－278～280、G区でGSK－17、SD－97、GSP－06、46と重複している。DSP－278～280、GSP－06、46が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。本遺構がGSK－17、SD－97を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ほぼ直線状に延びており、規模は延長278㎝、幅40㎝、深さ10㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－91（第161図）

DZ・EA・EB－165・166グリッドで検出した。D区でSD－86、92～94、DSP－13、15、89、142、G区でGSP－120と重複している。本遺構がSD－86、92、94、DSP－89、GSP－120の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－93、DSP－13、15、142が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長962㎝、幅28㎝、深さ18㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。北西側の底面からピット３基を検出した。平面形はPit1が円形、Pit2は楕円形、Pit3は不整円形を呈し、規模はPit1＝長軸26×短軸22㎝×深さ21㎝、Pit2＝長軸32×短軸20㎝×深さ25㎝、Pit3＝長軸26×短軸18㎝×深さ16㎝を測る。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第163図899）を図示した。899は坏の口縁部～体部で、内外面ロクロ調整後、内面ヘラミガキによる黒色処理されている。

SD－92（第161図）

EA・EB－165グリッドで検出した。SD－91と重複している。SD－91が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長228㎝、幅28㎝、深さ６㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面からはピット６基を検出した。平面形はPit1～4、6が不整円形、Pit5が楕円形を呈し、規模はPit1＝長軸26×短軸20×深さ４㎝、Pit2＝長軸30×短軸28×深さ６㎝、Pit3＝長軸24×短軸22×深さ４㎝、Pit4＝長軸28×短軸28×深さ４㎝、Pit5＝長軸20×短軸14×深さ２㎝、Pit6＝長軸22×短軸22×深さ３㎝を測る。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－93（第161図）

EA・EB－165・166グリッドで検出した。SD－91と重複している。本遺構がSD－91を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、規模は延長339㎝、幅44㎝、深さ10㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、須恵器甕１点（第163図900・901）を図示した。900は非ロクロの坏で、外面ヘラケズリ、内面ナデによって調整されている。901は須恵器甕の体部である。

SD－94（第161図）

DZ・EA－165・166グリッドで検出した。SD－91、DSP－39と重複している。SD－91、DSP－39

が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長346㎝、幅124㎝、深さ13㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第163図902）を図示した。902は坏の口縁部～体部で、ロクロ調整が施されている。

４．井戸跡

DSE－01（第164図）

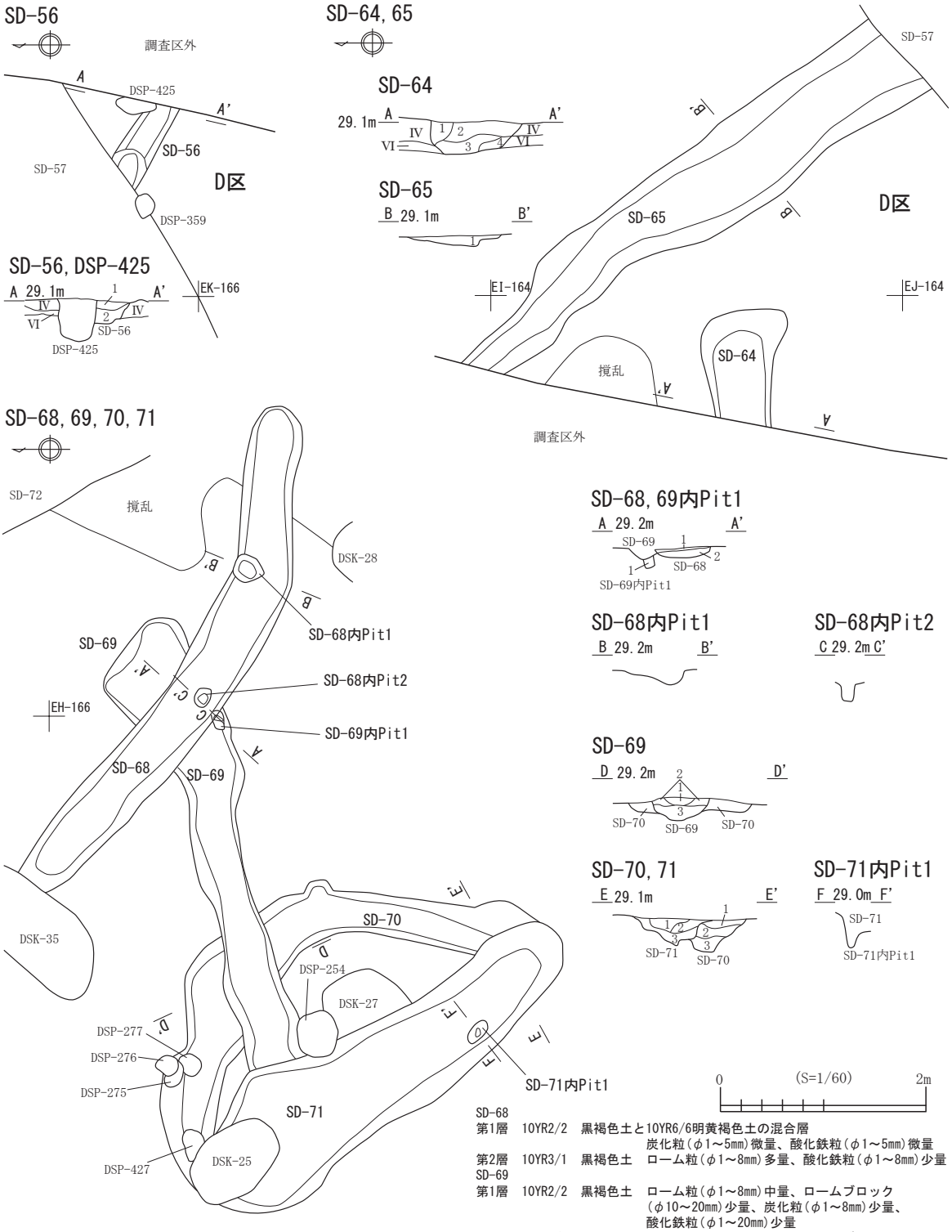
EQ－160グリッドで検出した。平面形は円形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸98×短軸56×深さ92㎝を測る。深さは92㎝と浅いが、井戸枠と考えられる部材の出土から井戸跡とした。壁は底面からオーバーハング気味に立ち上がり、開口部にむかって外反する。底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

DSE－04（第164図）

EP－160・161グリッドで検出した。平面形は隅丸方形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸80×短軸78×深さ114㎝を測る。壁は底面からオーバーハングして立ち上がり、開口部付近でほぼ垂直となる。底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落のため、２層のみ確認した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は木製品１点（第165図木62）、石製品１点（第165図石16）、古銭１点（第165図銭14）が出土した。木62は器高が低い曲物である。石16は砥石で、表面及び両側面が砥面となっている。銭14は寛永通寶である。

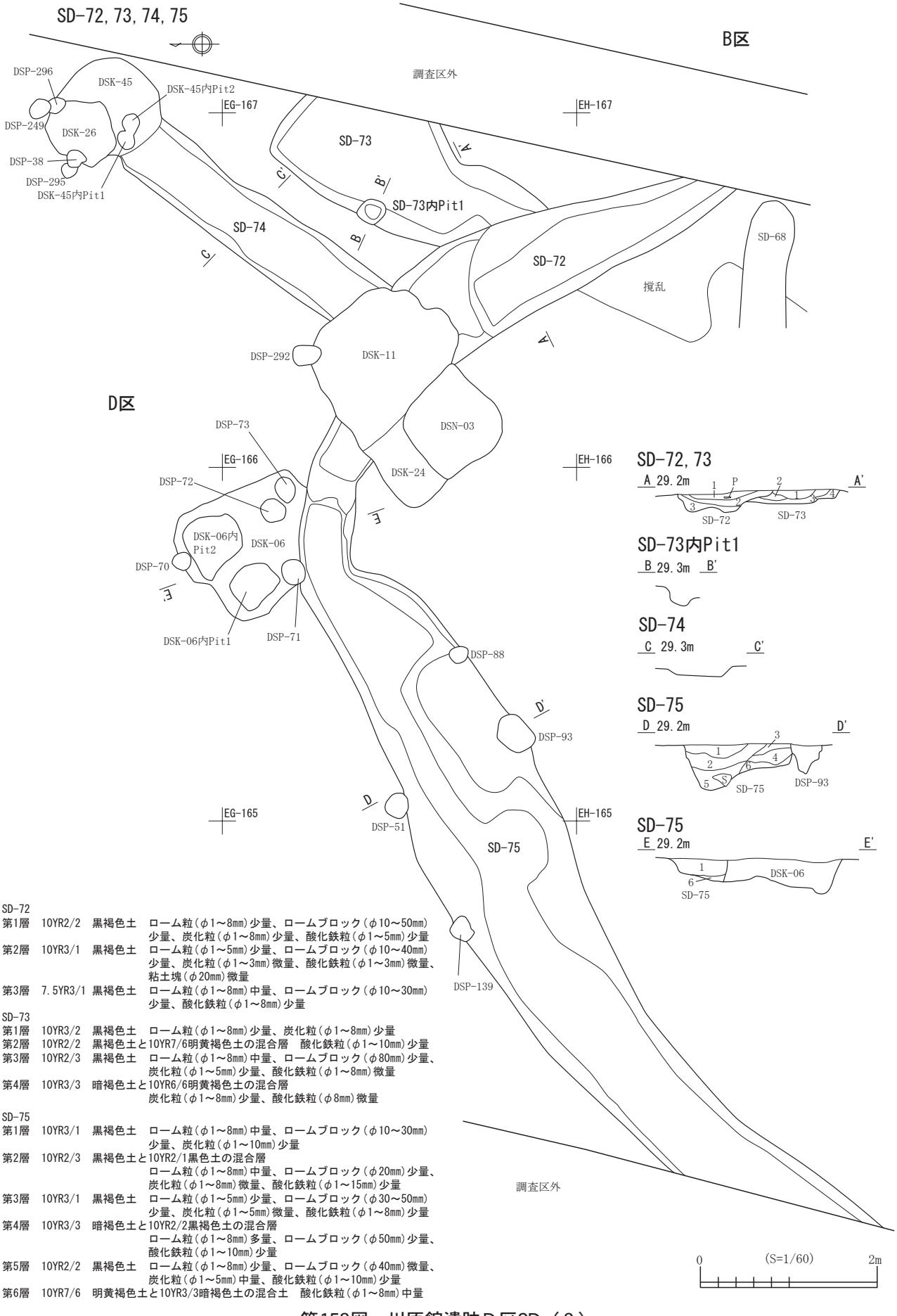
DSE－05（第164図）

EP－163グリッドで検出した。DSP－503・504、507と重複している。本遺構がDSP－507を掘り込んでおり、本遺構が新しい。DSP－503・504との新旧関係は不明である。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸106×短軸104×深さ98㎝を測る。壁は底面からオーバーハングして立ち上がり、開口部付近でほぼ垂直となる。壁には井戸枠と考えられる板が残存していた。底面はほぼ平坦で隅柱跡と考えられるピット４基を４隅から検出した。平面形はPit1が隅丸方形、Pit2が不整形、Pit3が円形、Pit4が不整形を呈し、規模はPit1＝長軸15×短軸14×深さ９㎝、Pit2＝長軸14×短軸13×深さ12㎝、Pit3＝長軸16×短軸14×深さ８㎝、Pit4＝長軸18×短軸11×深さ６㎝を測る。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、１～５層は自然堆積、６層は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は陶磁器１点（第165図903）、木製品11点（第165図木63～73）を図示した。903は染付の皿である。木63は杭と考えられ、両端が削られて尖っている。木64～67は用途不明の板状を呈する木製品、木68は用途不明の棒状を呈する木製品である。木69・70は曲物底板で、表裏面に刃痕が認められることから、まな板として転用したと考えられる。木70の表面には柿渋及び赤漆が塗布されている。木71は建築部材で、ほぞ穴が認められる。木72・73は箸である。



SD-56
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-64
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第4層　10YR6/4　にぶい黄橙色土と10YR2/3黒色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
SD-65
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ5～30mm)少量
SD-68
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-69
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ100mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-69内Pit1
第1層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
SD-70
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/2にぶい灰黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
第3層　10YR3/2　黒褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
SD-71
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

第157図　川原館遺跡Ｄ区SD（１）

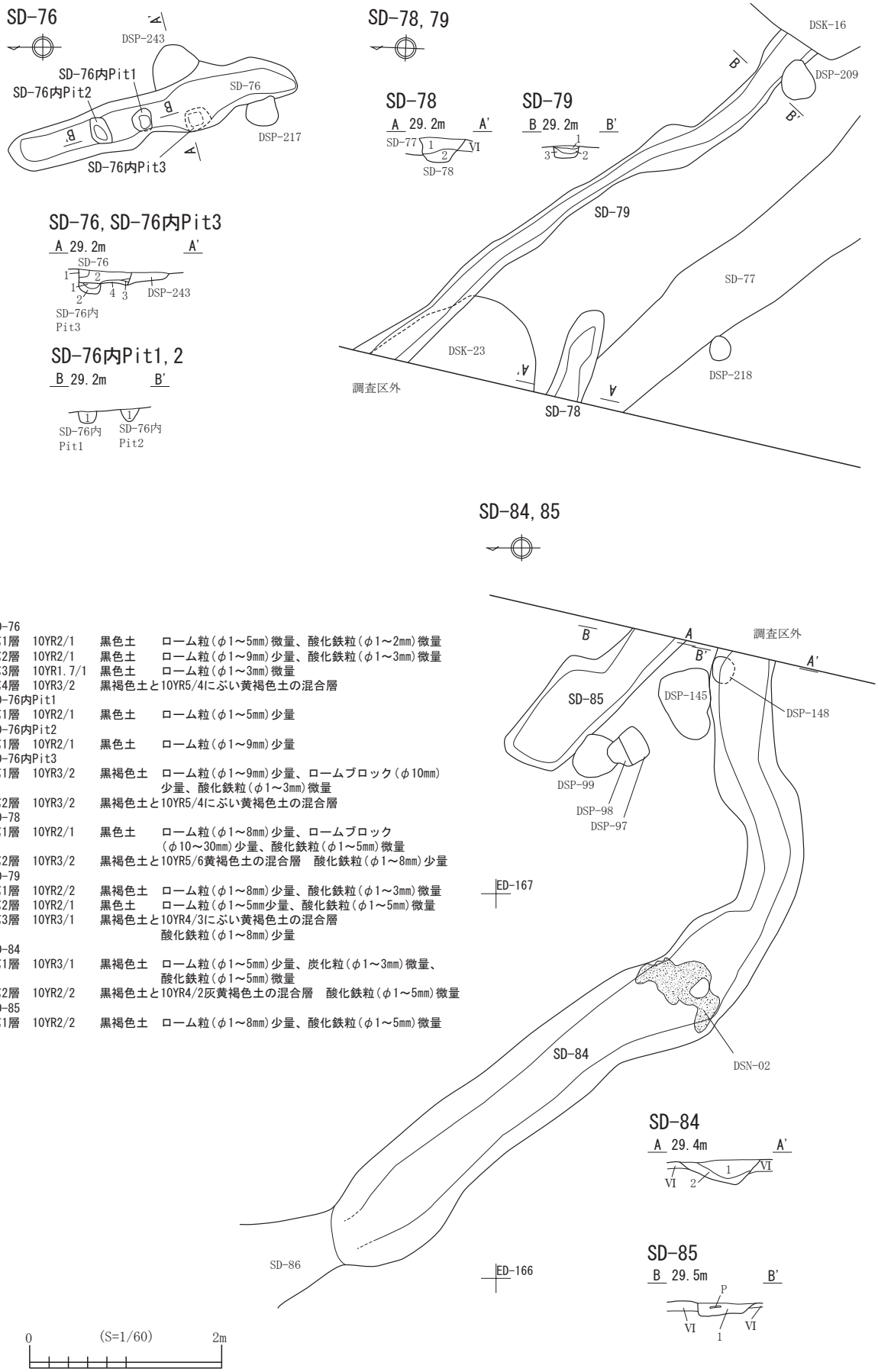


SD-72
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、粘土塊(φ20mm)微量
第3層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

SD-73
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ80mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第4層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ8mm)微量

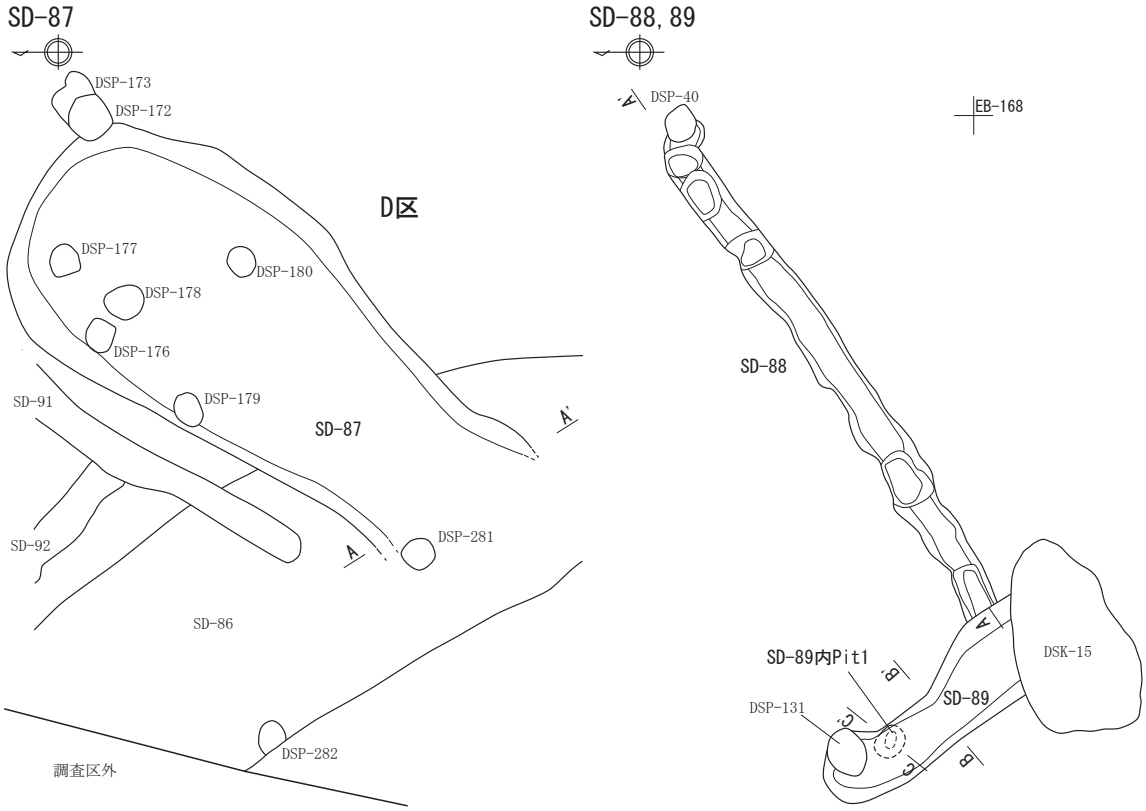
SD-75
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR2/1黒色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第6層　10YR7/6　明黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合土　酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

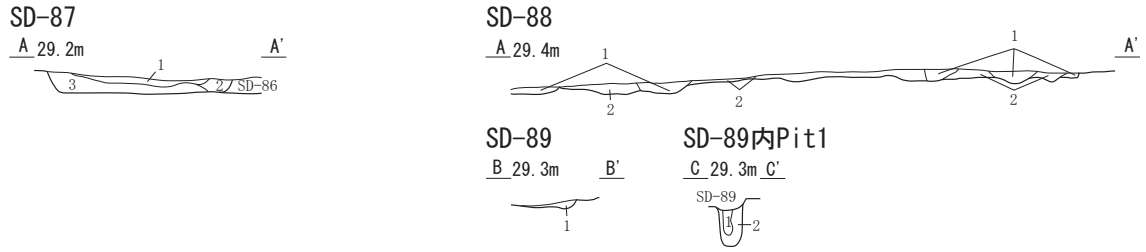
第158図　川原館遺跡Ｄ区SD（２）

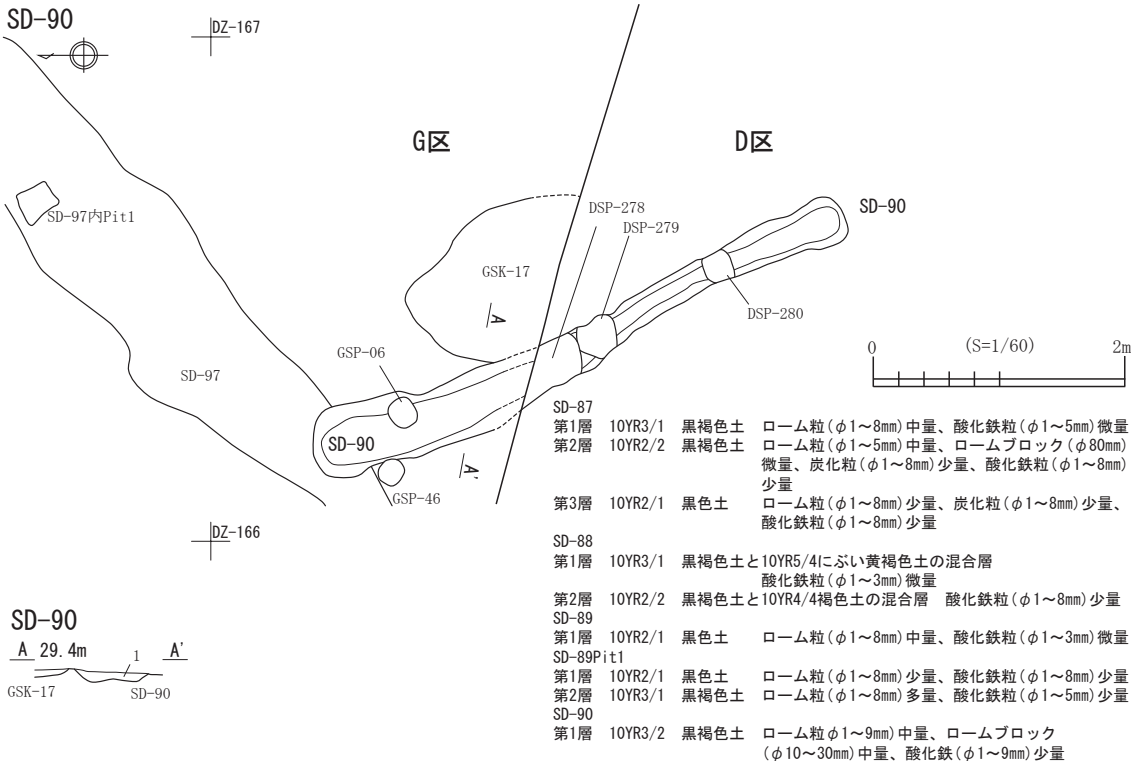


SD-76
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
SD-76内Pit1
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
SD-76内Pit2
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量
SD-76内Pit3
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
SD-78
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-79
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-84
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
SD-85
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第159図　川原館遺跡Ｄ区SD（３）

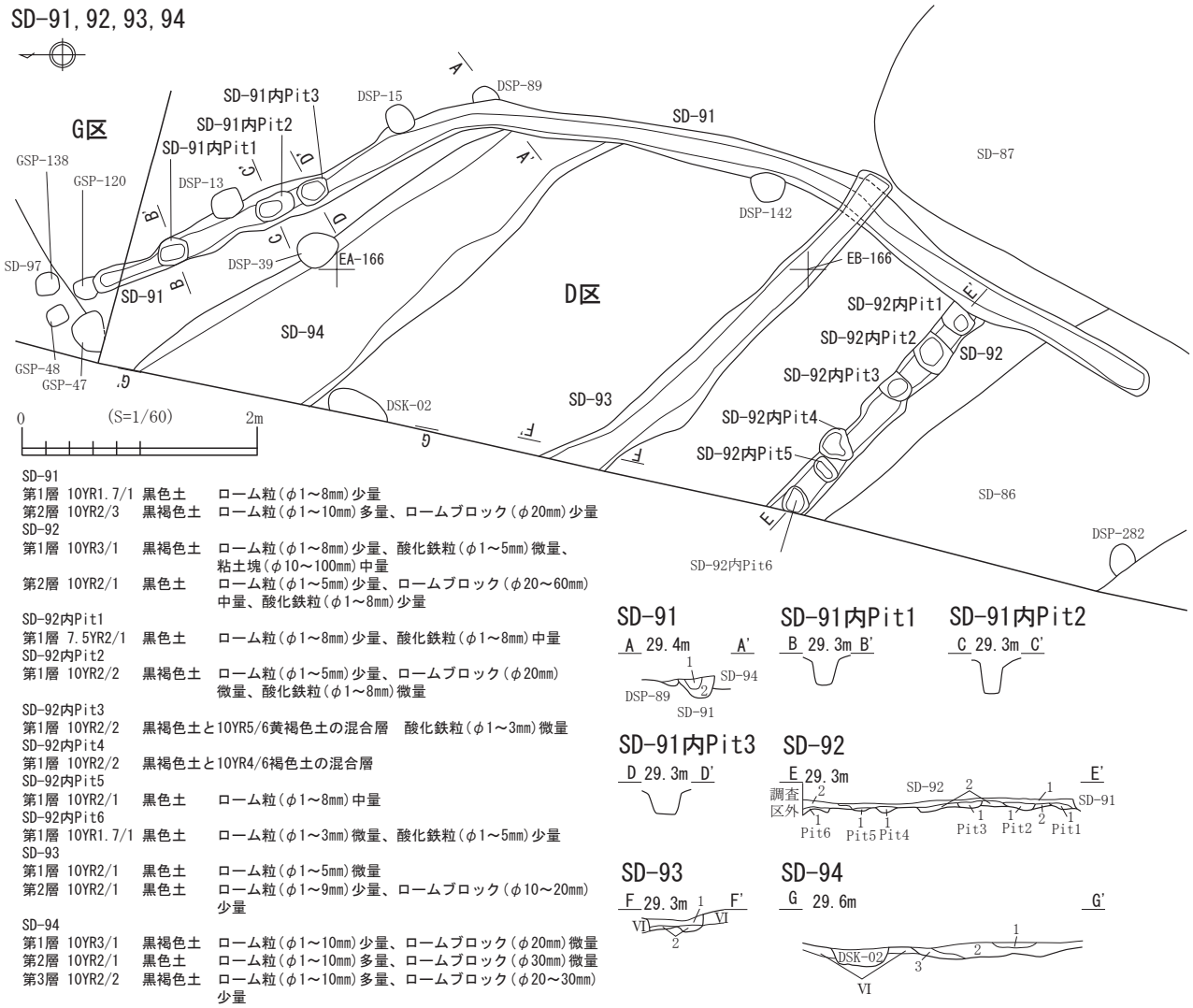






SD-87
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ80mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-88
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-89
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
SD-89Pit1
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
SD-90
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄(φ1～9mm)少量

第160図　川原館遺跡Ｄ区SD（４）



SD-91
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層 10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ20mm)少量
SD-92
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、粘土塊(φ10～100mm)中量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～60mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
SD-92内Pit1
第1層 7.5YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
SD-92内Pit2
第1層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
SD-92内Pit3
第1層 10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
SD-92内Pit4
第1層 10YR2/2　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層
SD-92内Pit5
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量
SD-92内Pit6
第1層 10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
SD-93
第1層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量
SD-94
第1層 10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量
第2層 10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ30mm)微量
第3層 10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ20～30mm)少量

第161図　川原館遺跡Ｄ区SD（５）

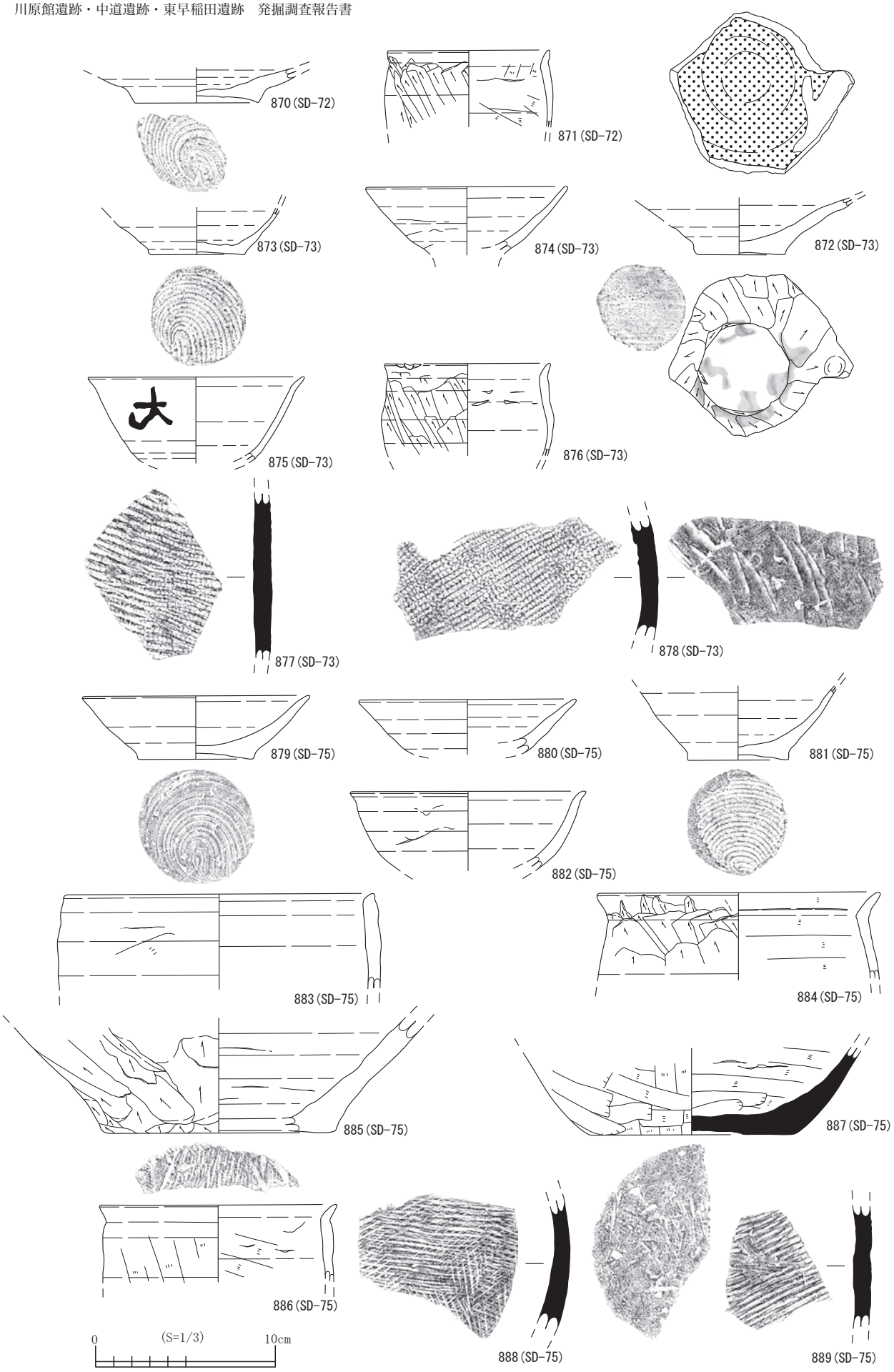
DSE－06（第164図）

EP－162グリッドで検出した。DSP－616と重複している。本遺構がDSP－616を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸112×短軸106×深さ152㎝を測る。壁はオーバーハングして立ち上がり、開口部でやや外反する。底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落のため、２層のみ確認した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は須恵器長頸壺１点（第165図904）、木製品１点（第165図木74）を図示した。904は長頸壺の口縁部で、酸化焼成である。木74は曲物である。

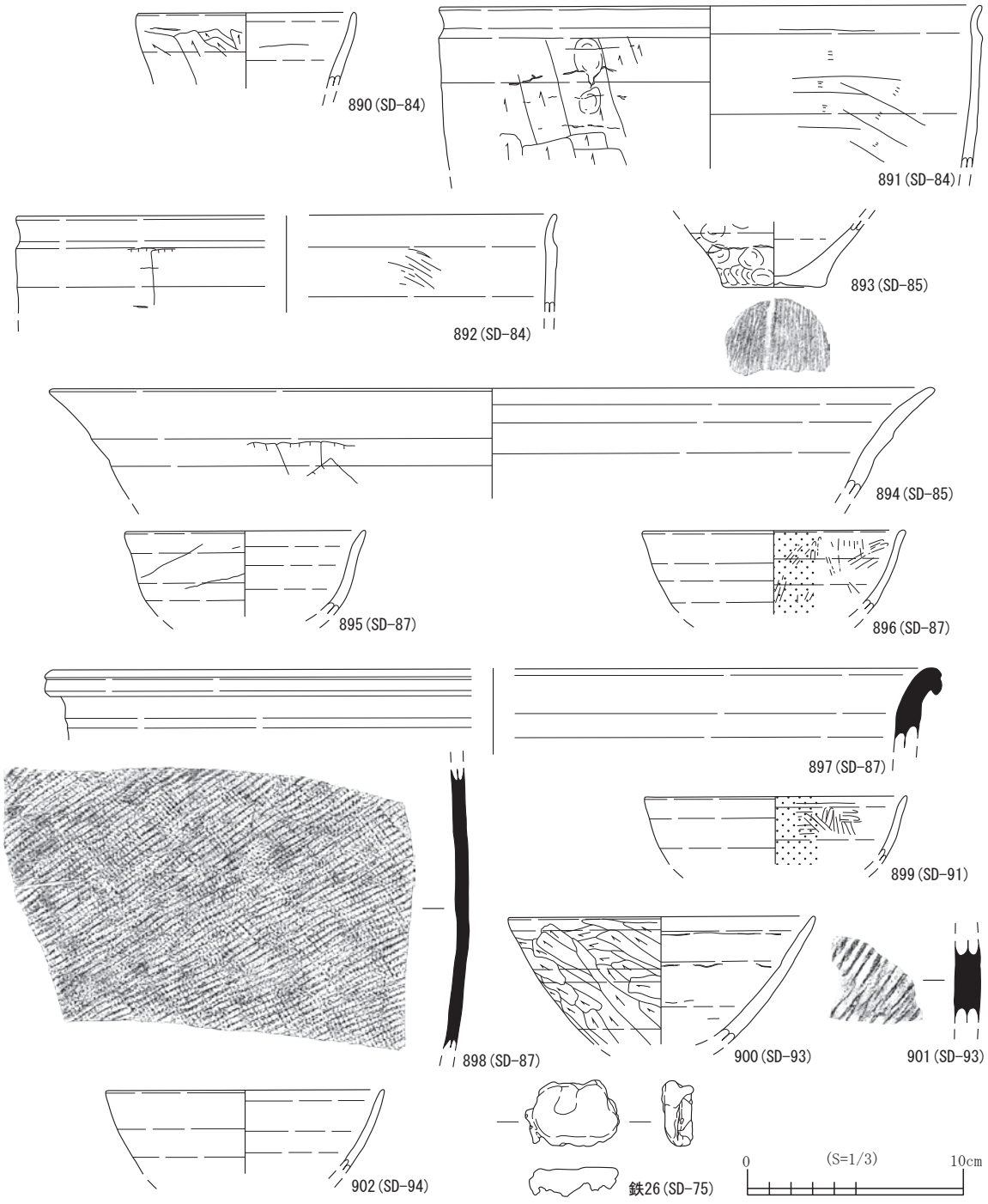
５．焼土遺構・カマド状遺構

DSN－01（第166図）

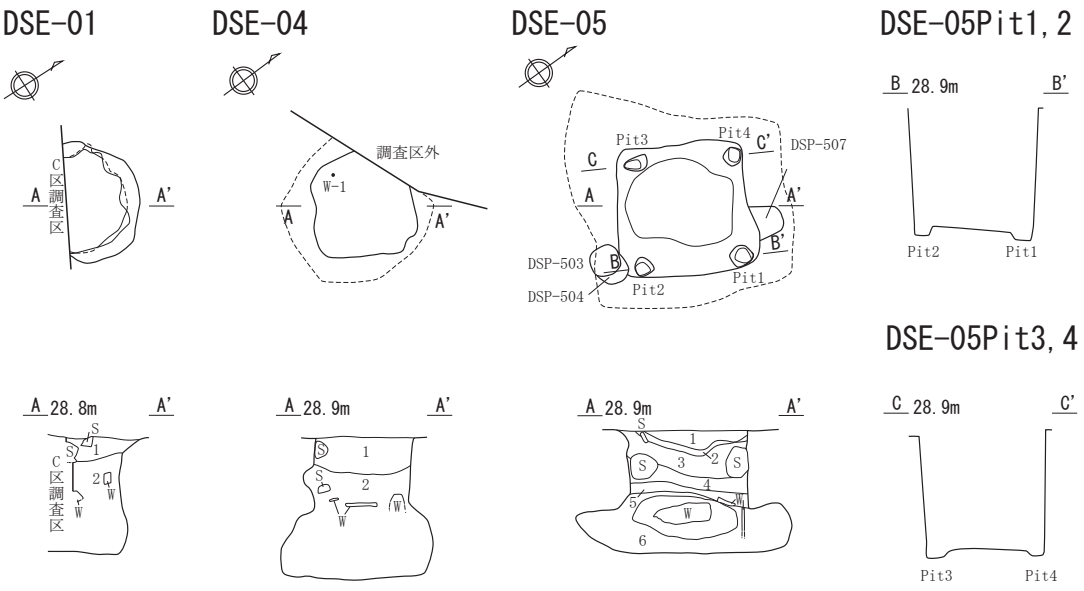
EC－166グリッドで検出した。カマド状遺構の燃焼部と考えられる馬蹄形の焼土範囲を確認した。焼土範囲の規模は長軸94×短軸51㎝で、焼土層の厚さは４㎝を測る。掘方は隅丸長方形を呈し、規模



第162図　川原館遺跡Ｄ区出土土器SD

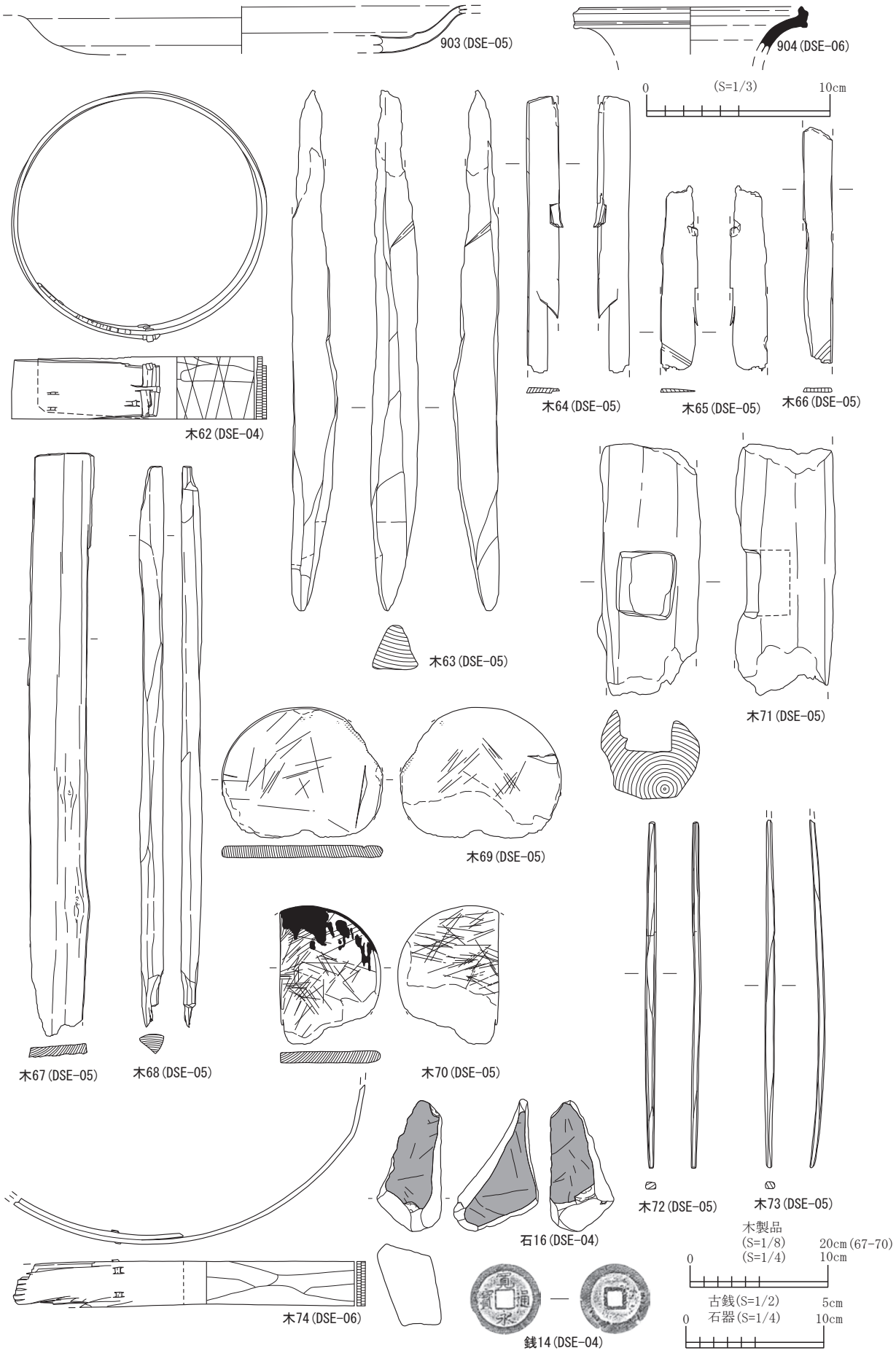


第163図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SD



DSE-01
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　炭化粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSE-04
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSE-05
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR1.7/1黒色土　炭化物層　ローム粒(φ1～5mm)微量、10YR3/1黒褐色土少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第5層　10YR4/1　褐灰色土　粘土質土
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSE-06
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

第164図　川原館遺跡Ｄ区SE



第165図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SE

は長軸114×短軸62×深さ8㎝を測る。掘方の壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。掘方底面南東壁寄りからピット１基を検出した。平面形は不整形を呈しており、規模はPit1＝長軸31×短軸24×深さ７㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層で、２層が黒褐色土と褐色土の混合層で焼土層に相当する。遺物は土師器甕１点（第167図905）を図示した。905は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が直立気味となっている。内外面ヘラナデによって調整されている。

DSN－02（第166図）

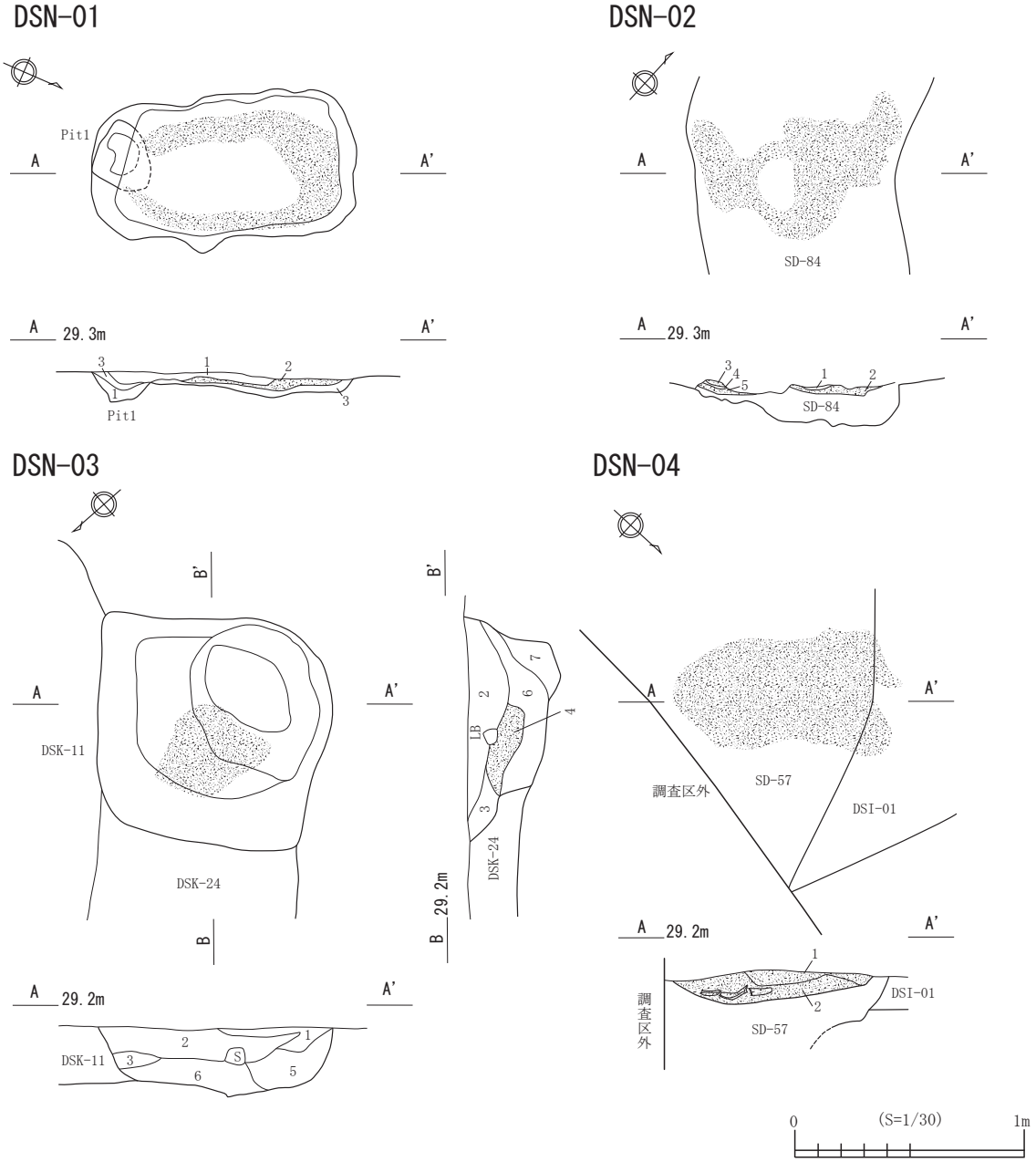
ED－166グリッドで検出した。SD－84と重複している。本遺構がSD－84の堆積土上に構築されていることから、本遺構が新しい。平面不整形を呈する焼土遺構で、規模は長軸90×短軸50㎝、焼土層の厚さは３㎝を測る。焼土の濃淡などから５層に分層した。２・３、５層がにぶい赤褐色土やにぶい褐色土などの焼土層である。遺物は土師器甕１点（第167図906）を図示した。906は甕の口縁部～体部で、SD－84との接合資料である。体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。

DSN－03（第166図）

EG－165・166グリッドで検出した。DSK－11、24と重複している。本遺構がDSK－11、24の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。カマド状遺構の燃焼部と考えられ、規模は長軸80×短軸54㎝、焼土の厚さは13㎝を測る。掘方は不整方形を呈し、規模は長軸110×短軸99×深さ40㎝を測る。掘方の壁は段をもって立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は掘方を含めて７層に分層した。４層が赤褐色と褐灰色の混合層で焼土層に相当する。焼土層下位の土層はロームブロック等が多量に混入しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

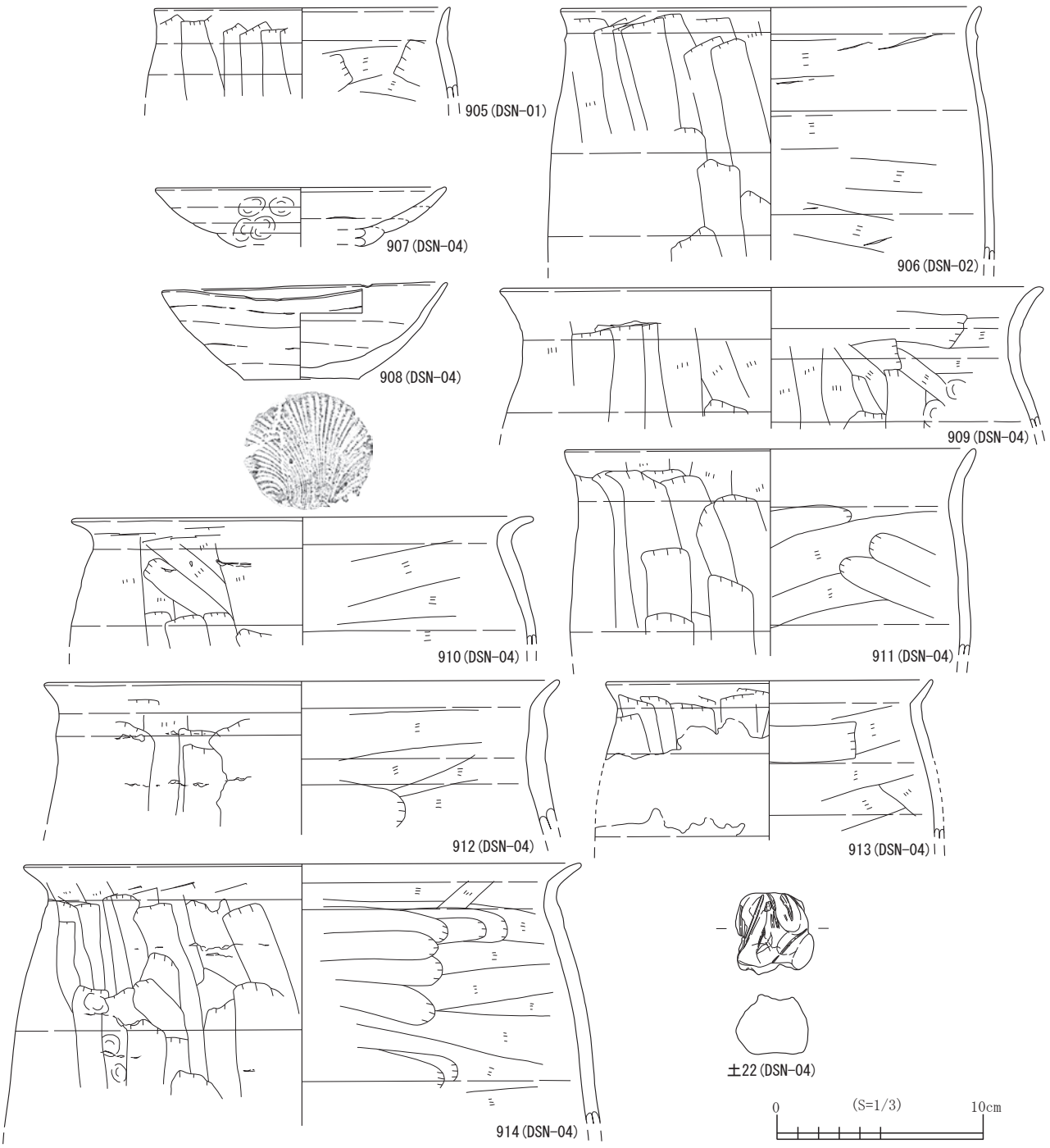
DSN－04（第166図）

EH・EI－166グリッドで検出した。SD－57と重複している。本遺構がSD－57を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ロームブロックや土器が混入しており、廃棄された土の可能性もあるが、焼土遺構として取り扱った。平面形は不整形を呈し、規模は長軸91×短軸51㎝で、焼土の厚さは13㎝を測る。堆積土は２層に分層した。焼土は黒褐色土とにぶい赤褐色土、黒褐色土と明赤褐色土の混合層に分層した。遺物は土師器皿１点、坏１点、甕６点（第167図907～914）、土製品１点（第167図土22）を図示した。907は非ロクロの皿で、内外面ともに巻上痕が認められる。908は非ロクロの坏で、底部は静止糸切である。甕はすべて口縁部～体部である。909は口縁部と体部の境がやや長くなっており、コの字状に近い形状のくびれを有する。910～912は直胴気味で口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。910は体部が丸みを帯び、比較的口縁部がやや強く外反する。土22は焼成粘土塊で内外面ナデによって調整されている。



DSN-01
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　7.5YR2/2　黒褐色土と7.5YR4/3褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　7.5YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土(φ1～8mm)中量
DSN-01内Pit1
第1層　7.5YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
DSN-02
第1層　7.5YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄粒(φ1～20mm)多量
第2層　7.5YR4/2　灰褐色土　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　5YR5/4　にぶい赤褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)少量
第4層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)少量
第5層　7.5YR5/4　にぶい褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
DSN-03
第1層　10YR6/6　明黄褐色土10YR5/4にぶい黄褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～40mm)多量
炭化粒(φ1～9mm)多量、炭化物ブロック(φ10～20mm)多量、焼土粒(φ1～9mm)多量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)多量、炭化物ブロック(φ10～20mm)多量、
焼土粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～9mm)少量
第4層　5YR4/8　赤褐色土と10YR4/1褐灰色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)多量、焼土粒(φ1～9mm)多量、焼土ブロック(φ10～20mm)多量
第5層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、焼土粒(φ1～9mm)少量
第6層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第7層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量
DSN-04
第1層　7.5YR3/1　黒褐色土と5YR4/4にぶい赤褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)中量
第2層　7.5YR2/2　黒褐色土と5YR5/6明赤褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)中量

第166図　川原館遺跡Ｄ区SN



第167図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SN

6．ピット

D区から607基のピットを検出した。SD－57以南のA区・C区・F区に隣接する部分の分布密度が多い。詳細や出土遺物は第19表及び第168～第209図のとおりである。

第19表　川原館遺跡D区SP観察表

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第175図	DSP-01	ED-167		32	31	10	c	d			
第175図	DSP-02	ED-166･167		33	17	26	g	e			
第175図	DSP-03	ED-166		24	20	11	a	c			
第170図	DSP-04	EB-167		39	29	9	e	c			
第170図	DSP-05	EA･EB-167		42	36	9	h	d			
第170図	DSP-06	EA-167	DSP-53と新旧不明	46	28	8	h	d			
第170図	DSP-07	EA-167		56	35	11	f	a	土師器小甕1点（第210図915）	平安時代	
第170図	DSP-08	EA-167		29	22	16	f	i			
第170図	DSP-09	DZ-166		21	20	9	h	h			
第170図	DSP-10	DZ-166		35	26	5	e	d			
第170図	DSP-11	DZ-166		25	20	18	e	a			
第170図	DSP-12	DZ-166		45	(22)	7	d	f			
第170図	DSP-13	DZ-166	DSP-13>SD-91	26	24	14	c	d			
第170図	DSP-14	EZ･EA-166		30	25	12	f	d			
第170図	DSP-15	EA-166	DSP-15>SD-91	24	23	21	h	a			
第175図	DSP-16	EC-166	DSP-16<DSP-17 DSP-57と新旧不明	27	23	21	e	h			柱痕跡有
第175図	DSP-17	EC-166	DSP-17>DSP-16 DSP-57と新旧不明	25	19	23	e	e			
第175図	DSP-18	EB-167	DSP-18>DSP-19	26	22	17	f	d			
第175図	DSP-19	EB-167	DSP-19<DSP-18	(18)	15	4	g	d			
第175図	DSP-20	EB-167		20	16	4	e	h			
第175図	DSP-21	EB-166	DSP-21>DSP-22	35	32	17	c	d			
第175図	DSP-22	EB-166	DSP-22<DSP-21	33	(22)	24	e	e			
第175図	DSP-23	EC-166		24	24	17	h	h			柱痕跡有
第175図	DSP-24	EC-166		19	19	17	c	h			柱痕跡有
第175図	DSP-25	EC-167		24	22	12	c	d			
第175図	DSP-26	EC-167		20	18	12	c	d			
第175図	DSP-27	EC-167		20	20	11	h	d			
第175図	DSP-28	EC-166	DSP-28>DSP-29	25	20	16	c	d			
第175図	DSP-29	EC-166	DSP-29<DSP-28	36	33	20	h	d			
第175図	DSP-30	EC-166		22	20	14	h	a			
第170図	DSP-31	EA-168	DSP-31>DSP-32	14	11	11	e	d			
第170図	DSP-32	EA-168	DSP-31>DSP-32> DSP-33	(16)	16	9	e	a			
第170図	DSP-33	EA-168	DSP-33<DSP-32	14	(9)	5	c	a			
第170図	DSP-34	EA-168		29	181	19	g	g			
第175図	DSP-35	EC-166		21	17	14	h	a			柱痕跡有
第175図	DSP-36	EC-166		20	20	12	h	d			柱痕跡有
第185図	DSP-37	EF･EG-164	DSP-37>DSK-22	34	19	11	f	d			
第180図	DSP-38	EF-166	DSK-26<DSP-38> DSP-295	22	19	26	h	a			
第170図	DSP-39	DZ-166	DSP-39>SD-94	35	29	10	h	d			
第170図	DSP-40	EA-167･168	DSP-40>SD-88	30	25	18	c	d			
第176図	DSP-41	EC-166･167	DSP-41<DSK-05	(42)	48	8	e	d			
第176図	DSP-42	EC-167		23	21	11	h	a			
第176図	DSP-43	EC-167	DSP-43<DSP-44	(19)	14	9	d	d			
第176図	DSP-44	EC-167	DSP-43<DSP-44＜ DSP-45	(19)	17	8	h	d			
第176図	DSP-45	EC-167	DSP-45>DSP-44	25	22	11	c	a			
第176図	DSP-46	ED-166		24	15	10	e	g			
第176図	DSP-47	EC･ED-166		16	14	17	h	a			
第180図	DSP-48	EF-165	DSP-48>DSP-49	27	20	22	f	a			
第180図	DSP-49	EF-165	DSP-49<DSP-48	53	(43)	9	h	d			
第180図	DSP-50	EF-165		27	17	8	b	d			
第185図	DSP-51	EG-165	DSP-51>SD-75	29	26	17	h	a			
第185図	DSP-52	EG-164･165		32	27	14	h	d			
第170図	DSP-53	EA-167	DSP-06と新旧不明	40	23	31	e	c			
第176図	DSP-54	EC-166･167	DSP-54>DSP-84	24	20	29	e	d			柱痕跡有
第176図	DSP-55	EC-166	DSP-56>DSP-55> DSP-84	21	(10)	11	h	d			
第176図	DSP-56	EC-166	DSP-56>DSP-55	20	16	8	e	h			
第175図	DSP-57	EC-166	DSP-16･17と 新旧不明	(16)	(15)	25	h	h			
第176図	DSP-58	EC-167	DSP-58>DSP-59	21	17	27	c	d (一部a)			
第176図	DSP-59	EC-167	DSP-59<DSP-58	19	(14)	15	h	a			柱痕跡有

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第176図	DSP-60	EC-167		22	20	9	h	d			
第180図	DSP-61	EE-167	DSP-61>DSK-08	46	31	10	e	d			
第180図	DSP-62	ED･EE-167		24	19	7	f	h			
第180図	DSP-63	ED･EE-167		29	24	12	e	d			
第180図	DSP-64	ED-167	DSP-64>DSP-65	27	27	5	h	a			
第180図	DSP-65	ED-167	DSP-65<DSP-64	25	(13)	11	e	d			
第180図	DSP-66	ED･EE-167	DSP-66>DSP-67	60	40	10	e	e			
第180図	DSP-67	ED-167	DSP-67<DSP-66	(25)	(15)	7	g	d			
第180図	DSP-68	EE-167	DSP-68<DSP-69	38	32	5	e	i			
第180図	DSP-69	EE-167	DSP-69>DSP-68	21	17	18	h	a			
第180図	DSP-70	EF-165	DSP-70>DSK-06	21	20	5	h	d			
第185図	DSP-71	EG-165	DSP-71>DSK-06、SD-75	29	27	15	h	c			
第185図	DSP-72	EG-165	DSP-72>DSK-06	29	27	16	h	a			
第185図	DSP-73	EG-165	DSP-73>DSK-06	30	22	12	f	g			
第180図	DSP-74	EE-166		33	31	10	d	h			
第180図	DSP-75	EE-166		63	58	7	h	d			
第180図	DSP-76	EE-166		26	22	11	e	a			
第180図	DSP-77	EE-166	DSP-77>DSK-08	34	28	6	f	d			
第180図	DSP-78	EE-166	DSP-78>DSK-08	27	24	12	f	g			
第181図	DSP-79	EE-166	DSP-79<DSP-80	25	20	14	f	g			
第181図	DSP-80	EE-166	DSP-80>DSP-79	24	21	12	h	d			
第181図	DSP-81	EE･EF-166		22	15	13	f	a			
第181図	DSP-82	EF-166		37	34	9	f	d			
第176図	DSP-83	EC-166	DSP-83>DSP-84	35	32	24	d	i	土師器坏1点（第210図916）	平安時代	
第176図	DSP-84	EC-166	DSP-83>DSP-84<DSP-54･55	(24)	22	18	e	a	土師器甕1点（第210図917）	平安時代	
第176図	DSP-85	EC-166		25	22	24	h	d			
第176図	DSP-86	EC-166	DSP-87>DSP-86>DSK-05	30	22	10	f	d			
第176図	DSP-87	EC-166	DSP-87>DSP-86	21	15	7	f	d			
第185図	DSP-88	EG-165	DSP-88>SD-75	22	18	18	h	d			
第171図	DSP-89	EA-166	SD-91>DSP-89	22	(12)	5	h	d			
第181図	DSP-90	ED-166･167	DSP-90>DSP-91	22	17	15	e	d			
第181図	DSP-91	ED-166･167	DSP-91<DSP-90	28	(21)	36	h	c			
第176図	DSP-92	EC-167		17	16	14	h	h			
第185図	DSP-93	EG-165	DSP-93>SD-75	46	33	34	f	e			柱痕跡有
第176図	DSP-94	ED-167	DSP-94>DSP-95	39	37	23	d	c			
第176図	DSP-95	ED-167	DSP-94>DSP-95<DSP-96	27	(12)	31	e	e			
第176図	DSP-96	ED-167	DSP-96>DSP-95	23	20	10	c	d			
第176図	DSP-97	ED-167	DSP-97>DSP-98	35	24	18	b	b			柱痕跡有
第176図	DSP-98	ED-167	DSP-97>DSP-98>DSP-99	30	18	15	e	i			
第176図	DSP-99	ED-167	DSP-98>DSP-99>SD-85	48	42	16	e	e			
第176図	DSP-100	ED-167		19	16	4	d	g			
第176図	DSP-101	EC･ED-167		34	21	15	e	e			
第171図	DSP-102	EA-167	DSP-102>DSP-103	20	(13)	11	h	d			
第171図	DSP-103	EA-167	DSP-103<DSP-102	22	16	6	f	d			
第171図	DSP-104	EA-167		21	17	11	f	a			
第171図	DSP-105	DZ･EA-167		22	(21)	20	f	e			
第171図	DSP-106	EA-167	DSP-106>DSK-10	19	16	5	e	d			
第176図	DSP-107	EB-167		24	20	19	h	a			
第176図	DSP-108	EB-167		32	31	13	e	d			
第171図	DSP-109	EA-167	DSP-109>DSK-10、DSP-146	47	28	12	g	c			
第171図	DSP-110	DZ-167	DSP-110<DSP-111	24	(23)	14	e	h			
第171図	DSP-111	DZ-167	DSP-111>DSP-110	34	27	21	f	a			柱痕跡有
第171図	DSP-112	DZ-167		(28)	26	29	f	b			
第171図	DSP-113	EA-167	DSP-113<DSP-114	31	(18)	8	e	a			
第171図	DSP-114	EA-167	DSP-114>DSP-113	24	11	8	g	d			
第171図	DSP-115	EA-167		17	15	11	c	a			
第171図	DSP-116	EA-167		20	20	8	h	d			
第171図	DSP-117	EA-166		43	38	8	h	d			
第171図	DSP-118	EA-167		17	16	17	c	h			
第171図	DSP-119	EA-167		24	22	22	c	a			
第171図	DSP-120	EA-167	DSP-120<DSP-121	26	22	29	f	c			
第171図	DSP-121	EA-167	DSP-121>DSP-120	19	10	8	c	d			
第172図	DSP-122	EB-167		21	17	26	c	d			
第172図	DSP-123	EB-167		23	21	11	h	d			
第172図	DSP-124	EA･EB-167		25	21	9	h	d			
第172図	DSP-125	EA-167		26	20	23	c	e			
第172図	DSP-126	EA-167	DSP-126>DSP-127	25	21	12	h	a			
第172図	DSP-127	EA-167	DSP-127<DSP-126	29	23	14	e	d			
第172図	DSP-128	EA-167		47	41	12	f	e			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第172図	DSP-129	EA-166･167		25	20	13	c	d			
第172図	DSP-130	EA-166		26	23	28	c	c			柱痕跡有
第172図	DSP-131	EA-166	DSP-131>SD-89	39	30	33	f	f			柱痕跡有
第172図	DSP-132	EA-166		27	24	12	h	d			柱痕跡有
第177図	DSP-133	ED-167	DSP-133>DSP-134、149	38	32	18	f	a			
第177図	DSP-134	ED-167	DSP-133>DSP-134>DSP-135 DSP-149と新旧不明	(37)	29	16	f	d			
第177図	DSP-135	ED-167	DSP-135<DSP-134、149	17	(14)	14	h	d			
第177図	DSP-136	ED-167	DSP-136<DSP-137	21	22	37	c	a	土師器皿1点（第210図918）	平安時代	
第177図	DSP-137	ED-167	DSP-137>DSP-136	16	15	11	h	a			
第185図	DSP-138	EG-165		17	16	5	c	a			
第185図	DSP-139	EG-164	DSP-139>SD-75	26	24	28	e	h			
第172図	DSP-140	EA-165		25	14	6	g	g			
第172図	DSP-141	EA-165		27	23	14	c	g			柱痕跡有
第172図	DSP-142	EA-166	DSP-142>SD-91	28	26	13	h	d			
第172図	DSP-143	EA-165		20	18	6	h	d			
第172図	DSP-144	EB-165		24	21	18	f	d			
第177図	DSP-145	ED-167	DSP-145<SD-84	73	49	17	e	d			
第173図	DSP-146	EA-167	DSP-146>DSK-10 DSP-146<DSP-109	(58)	45	12	e	d			
第173図	DSP-147	EA-166		60	52	36	h	g	須恵器甕2点（第210図919･920）	平安時代	
第177図	DSP-148	ED-167	SD-84と新旧不明	29	25	11	h	h			
第177図	DSP-149	ED-167	DSP-133>DSP-149>DSP-135 DSP-134と新旧不明	30	(20)	12	f	d			
第173図	DSP-150	EB-166		25	20	15	f	d			
第173図	DSP-151	EA-166		22	17	9	g	h			
第173図	DSP-152	EA-166		29	19	8	e	d			
第173図	DSP-153	EA-166		24	20	12	c	c			
第173図	DSP-154	EA-166		23	18	4	f	d			
第173図	DSP-155	EA-166		28	21	14	f	g			
第177図	DSP-156	EC-165		40	28	6	f	d			
第177図	DSP-157	EC-165		54	52	18	h	e			
第177図	DSP-158	EC-165		23	23	11	h	d			
第177図	DSP-159	EC-165	DSP-159<DSP-160	40	32	15	f	c			
第177図	DSP-160	EC-165	DSP-160>DSP-159	36	28	8	e	d			
第177図	DSP-161	EC-165	DSP-161<DSP-162	52	(39)	17	c	a			
第177図	DSP-162	EC-165	DSP-161<DSP-162>DSP-163	54	33	13	e	c			
第177図	DSP-163	EC-165	DSP-163<DSP-162	30	(20)	13	c	e			
第177図	DSP-164	EC-165	DSP-164>DSP-165	35	23	11	e	h			
第177図	DSP-165	EC-165	DSP-165<DSP-164	41	(20)	13	e	a			
第177図	DSP-166	ED-165	DSP-166>DSP-167	32	23	19	f	h			
第177図	DSP-167	ED-165	DSP-167<DSP-166	26	18	18	f	a			
第177図	DSP-168	ED-165		24	22	7	h	a			
第177図	DSP-169	ED-165		22	22	8	h	h			
第177図	DSP-170	EC-165		21	18	5	h	d			
第177図	DSP-171	EC-165		23	19	19	h	d			
第173図	DSP-172	EB-166	DSP-172>DSP-173、SD-87	35	32	6	h	d			
第173図	DSP-173	EB-166	DSP-173<DSP-172	35	(13)	8	e	d			
第173図	DSP-174	EA-166		22	20	18	c	a			柱痕跡有
第173図	DSP-175	EA-166		37	24	22	f	c			
第173図	DSP-176	EB-166	DSP-176>SD-87	26	22	21	c	a			
第173図	DSP-177	EB-166	DSP-177>SD-87	24	23	19	c	c			
第173図	DSP-178	EB-166	DSP-178>SD-87	31	27	8	f	c			
第173図	DSP-179	EB-166	DSP-179>SD-87	27	21	12	f	d			
第178図	DSP-180	EB-166	DSP-180>SD-87	23	23	9	h	h			
第173図	DSP-181	EB-165		20	15	7	f	a			
第178図	DSP-182	ED-166		57	53	16	h	e			
第178図	DSP-183	ED-166		22	22	11	c	d			
第178図	DSP-184	ED-165		27	20	15	f	h			
第178図	DSP-185	ED-165		24	22	10	h	d			
第178図	DSP-186	ED-165		43	38	9	h	d			
第178図	DSP-187	ED-165	DSP-187<DSP-188	63	(44)	14	f	d			
第178図	DSP-188	ED-165	DSP-188>DSP-187	54	48	18	h	d			
第178図	DSP-189	ED-165		27	25	15	h	d			
第178図	DSP-190	ED-165		25	20	16	g	g			
第178図	DSP-191	ED-165		19	17	17	h	d			
第178図	DSP-192	ED-165		28	23	14	f	d			
第178図	DSP-193	ED-165		22	21	13	h	e			
第181図	DSP-194	ED-166		17	15	21	h	a			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第181図	DSP-195	EE-166		29	20	8	f	a	須恵器短頸壺（第210図921）	平安時代	
第181図	DSP-196	EE-166	DSP-196>DSK-19	31	24	10	e	c			
第181図	DSP-197	ED･EE-165		16	16	10	c	c			
第181図	DSP-198	ED-165		19	17	8	h	a			
第178図	DSP-199	ED-165	DSP199>DSK-18	32	20	7	f	a			
第178図	DSP-200	ED-165		28	26	13	h	g			
第181図	DSP-201	ED-165		46	42	10	c	a			
第181図	DSP-202	ED･EE-165		30	28	5	c	d			
第181図	DSP-203	EE-166	DSP-203>DSK-19	20	19	19	c	h			柱痕跡有
第181図	DSP-204	EE-166	DSP-204>DSK-19	39	37	17	h	a			
第181図	DSP-205	EE-166	DSP-205<DSP-206	17	(11)	9	g	d			
第181図	DSP-206	EE-166	DSP-206>DSK-19、DSP-205	22	22	13	h	h			
第181図	DSP-207	EE-165		52	34	19	g	c			
第178図	DSP-208	EC･ED-165･166	DSP-208<DSK-13	41	(27)	10	h	d			
第182図	DSP-209	EE-165	DSP-209>SD-79	40	34	16	f	c			
第182図	DSP-210	EF-165		28	26	20	h	d			
第182図	DSP-211	EF-165		31	23	18	e	i			
第182図	DSP-212	EF-165	DSP-212<DSP-213	33	24	4	f	d			
第182図	DSP-213	EF-165	DSP-213>DSP-212	25	22	17	h	h			
第182図	DSP-214	EF-165		38	27	22	f	g			
第182図	DSP-215	EF-165	DSP-215<DSP-216	35	(12)	22	e	f			
第182図	DSP-216	EF-165	DSP-216>DSP-215	46	38	15	f	h			
第182図	DSP-217	EF-164	DSP-217<SD-76	32	27	12	e	a			
第182図	DSP-218	EE-164	DSP-218>SD-77	26	22	24	h	a			
第182図	DSP-219	EE-164	DSP-219>DSP-237	37	26	15	f	e			
第182図	DSP-220	EE-164	DSP-220>DSK-20	26	26	28	h	d			
第182図	DSP-221	EF-164		23	20	20	h	a			
第182図	DSP-222	EF-164	DSP-222>DSP-242	24	19	15	f	d			
第182図	DSP-223	EF-164		28	28	10	c	a			
第182図	DSP-224	EF-164		24	21	10	f	d			
第182図	DSP-225	EF-164	DSP-225>DSP-226	27	21	19	e	g			
第182図	DSP-226	EF-164	DSP-225>DSP-226	25	(24)	19	h	a			
第185図	DSP-227	EF-164	DSP-227>DSK-22	36	26	10	f	d			
第185図	DSP-228	EG-164		34	25	11	f	d			
第185図	DSP-229	EG-164		34	25	9	f	a			
第185図	DSP-230	EG-164		28	28	27	c	d			
第185図	DSP-231	EG-164		32	27	8	d	d			
第183図	DSP-232	EF-164･165	DSP-232>DSK-22、DSP-233	35	30	17	e	h			
第183図	DSP-233	EF-164･165	DSP-233<DSP-232	(36)	33	17	e	a			
第183図	DSP-234	EF-165		35	26	6	b	a			
第183図	DSP-235	EF-165	DSP-235<DSP-236	31	(28)	5	h	a			
第183図	DSP-236	EF-165	DSP-235<DSP-236 DSP-244とは新旧不明	32	30	8	f	d			
第182図	DSP-237	EE-164	DSP-237<DSP-219	22	21	14	c	d			
第183図	DSP-238	EF-165		25	22	13	h	d			
第185図	DSP-239	EG-164		17	17	10	h	e			
第185図	DSP-240	EG-164		19	17	10	h	d			
第185図	DSP-241	EG-164		28	25	14	h	d			
第182図	DSP-242	EF-164	DSP-242<DSP-222	16	(13)	10	e	d			
第183図	DSP-243	EE-164･165	DSP-243<SD-76	50	39	13	f	d			
第183図	DSP-244	EF-165	DSP-236と新旧不明	(19)	(14)	11	h	f			
第183図	DSP-245	EE-167		33	(26)	8	f	d			
第183図	DSP-246	EE-166･167		56	49	7	e	i			
第183図	DSP-247	EE･EF-166		20	20	16	h	a			
第183図	DSP-248	EF-166		25	21	11	h	a			
第183図	DSP-249	EF-166･167	DSP-249>DSP-296	24	21	9	e	g			
第183図	DSP-250	EF-166･167		17	16	11	c	h			
第183図	DSP-251	EF-166		23	17	13	f	d			
第185図	DSP-252	EF･EG-166		26	22	6	h	a			
第186図	DSP-253	EG-165		28	26	11	c	d			
第186図	DSP-254	EH-165	DSP-254>DSK-27、SD-69、71	46	40	14	h	d			
第186図	DSP-255	EH-164		21	20	10	c	d			
第186図	DSP-256	EH-164		31	22	6	f	d			
第186図	DSP-257	EH-166		31	21	16	g	d			
第186図	DSP-258	EH-166		22	19	5	f	d			
第186図	DSP-259	EH･EI-165･166		44	39	14	f	d			
第186図	DSP-260	EH-165		32	28	15	e	e			
第186図	DSP-261	EH-165	DSP-261>DSP-262	33	27	10	f	d			
第186図	DSP-262	EH-165	DSP-262<DSP-261	23	(20)	11	f	a			
第186図	DSP-263	EI-165		28	19	27	f	f			
第186図	DSP-264	EH-165		17	17	11	h	d			

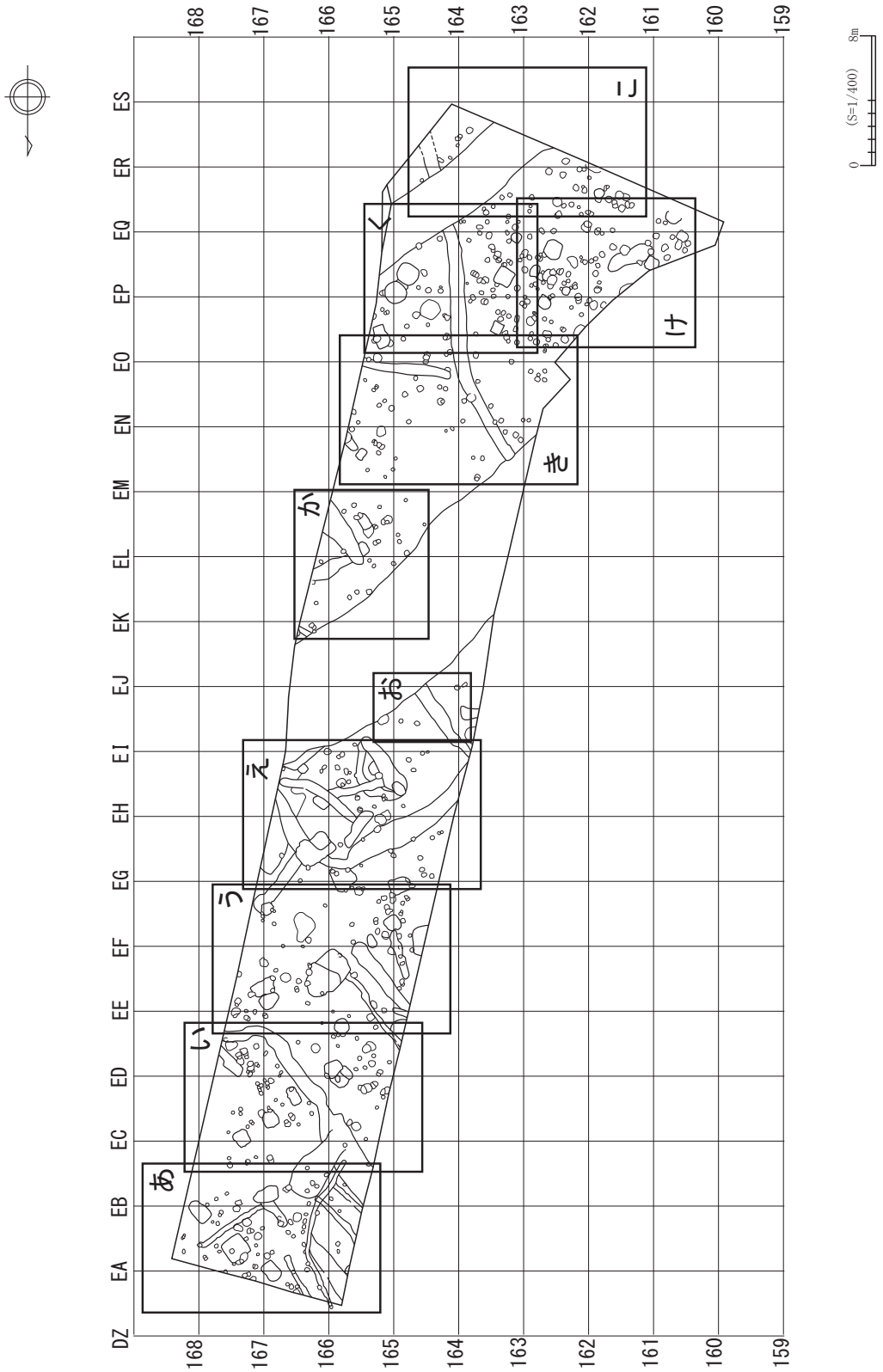
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第186図	DSP-265	EH-165		39	24	10	f	h			
第186図	DSP-266	EH-165		24	23	13	h	d			
第186図	DSP-267	EH-165	DSP-267>DSP-268	29	22	4	c	d			
第186図	DSP-268	EH-165	DSP-268<DSP-267	24	(9)	8	h	d			
第186図	DSP-269	EH-165	DSP-269>DSP-270	23	21	14	h	d			
第186図	DSP-270	EH-165	DSP-270<DSP-269	59	48	8	f	d			
第186図	DSP-271	EH-165	DSP-271>DSP-272	32	14	14	g	d			
第186図	DSP-272	EH-165	DSP-272<DSP-271	32	31	16	h	c			
第186図	DSP-273	EH･EG-165	DSP-273<DSP-274	59	(39)	8	e	d			
第186図	DSP-274	EH･EG-165	DSP-274>DSP-273	75	55	21	e	e			
第187図	DSP-275	EH-165	DSP-275<DSP-276 >DSP-277,SD-70	26	16	11	g	d			
第187図	DSP-276	EH-165	DSP-276>DSP-275 >SD-70	20	19	8	h	h			
第187図	DSP-277	EH-165	DSP-277<DSP-275, SD-70	23	19	6	f	d			
第173図	DSP-278	DZ-166	DSP-278>SD-90	46	(35)	12	f	d			
第173図	DSP-279	DZ-166	DSP-279>SD-90	35	32	9	h	d			
第173図	DSP-280	DZ･EA-166	DSP-280>SD-90	23	23	8	h	d			
第178図	DSP-281	EB-165	DSP-281>SD-86	25	24	21	h	d			
第178図	DSP-282	EB-165	DSP-282>SD-86	27	21	17	f	d			
第187図	DSP-283	EH-165		22	18	8	h	h			
第188図	DSP-284	EI･EJ-163･ 164		36	31	20	h	d			
第188図	DSP-285	EI･EJ-163		36	17	10	f	d			
第187図	DSP-286	EH･EI-164		19	15	6	h	d			
第187図	DSP-287	EH･EI-164		26	23	9	h	h			
第187図	DSP-288	EH-164		31	27	9	f	e			
第188図	DSP-289	EI-164		31	27	13	f	d			
第188図	DSP-290	EI-164		25	25	25	h	g			
第188図	DSP-291	EI-165	DSP-291>SD-57	72	46	9	f	i			
第187図	DSP-292	EG-166	DSP-292>DSK-11	31	30	15	c	d			
第192図	DSP-293	EN･EO-165	DSP-293>SD-02	54	51	19	h	c			
第192図	DSP-294	EN-164	DSP-294<SD-02	34	(22)	16	h	d			
第180図	DSP-295	EF-166	DSP-295<DSP-38	(18)	16	16	h	d			
第183図	DSP-296	EF-166･167	DSP-249>DSP-296 >DSK-26、45	(21)	16	18	c	d			
第208図	DSP-297	ER-163		39	38	24	h	j			
第208図	DSP-298	ER-163･164	DSP-298>DSP-299	26	21	19	h	d			柱痕跡有
第208図	DSP-299	ER-163･164	DSP-299<DSP-298	34	(24)	15	e	d			
第208図	DSP-300	ER-163･164		20	16	16	c	d			柱痕跡有
第208図	DSP-301	ER-164		25	14	8	g	d			
第208図	DSP-302	ER-164	DSP-302>SD-06	41	21	22	g	d			
第208図	DSP-303	EQ-164		21	21	5	h	d			
第192図	DSP-304	EN-163	DSP-304>SD-06	26	23	9	h	d			
第192図	DSP-305	EN-163	DSP-305>SD-06	56	51	15	h	d			
第192図	DSP-306	EN-163		28	27	12	h	d			
第202図	DSP-307	EP-161	DSP-307<DSP-536	(19)	(12)	16	x	d			
第187図	DSP-308	EH-166		21	16	18	c	a			
第192図	DSP-309	EN-165	DSP-309<DSP-310	20	(18)	4	c	d			
第192図	DSP-310	EN-165	DSP-310>DSP-309	21	14	4	f	d			
第192図	DSP-311	EN-165		23	20	8	h	d			
第192図	DSP-312	EN-165		24	19	9	h	d			
第192図	DSP-313	EN-165		26	24	42	h	d			
第192図	DSP-314	EN-164･165		35	35	26	h	d			
第192図	DSP-315	EN-164		35	33	8	h	d			
第192図	DSP-316	EN-164		28	25	5	h	d			
第192図	DSP-317	EN-164		41	37	28	h	a			柱痕跡有
第192図	DSP-318	EN-164		27	25	38	h	d			柱痕跡有
第192図	DSP-319	EN-165		22	18	18	h	d			柱痕跡有
第192図	DSP-320	EN-165		(26)	30	49	h	d			
第192図	DSP-321	EN-165		21	21	23	h	d			
第193図	DSP-322	EM-164･165		32	30	18	h	d			
第193図	DSP-323	EM･EN-165		64	55	23	f	i			
第193図	DSP-324	EM-165		24	11	10	g	d			
第193図	DSP-325	EM-165	DSP-325<DSP-326	34	(20)	7	e	d			
第193図	DSP-326	EM-165	DSP-325<DSP-326 >DSP-327	31	28	12	h	d			
第193図	DSP-327	EM-165	DSP-327<DSP-326	36	24	46	f	d			柱痕跡有
第193図	DSP-328	EM-165		29	25	6	h	d			
第193図	DSP-329	EM-164		18	18	12	h	d			
第193図	DSP-330	EM･EN-165		20	20	18	h	d			柱痕跡有
第193図	DSP-331	EM-165		21	16	5	f	d			
第193図	DSP-332	EM-165		22	20	5	h	d			
第193図	DSP-333	EM-165	DSP-333>DSK-30	70	(30)	23	h	d			
第189図	DSP-334	EL-165		30	27	9	h	d			
第189図	DSP-335	EL-165		27	23	21	h	d			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第189図	DSP-336	EL-165	DSK-32<DSP-336<DSP-337	35	29	44	h	j			柱痕跡有
第189図	DSP-337	EL-165	DSK-32<DSP-336<DSP-337	38	25	32	f	c			柱痕跡有
第189図	DSP-338	EL-165	DSP-338<DSP-339	22	(14)	6	f	h			
第189図	DSP-339	EL-165	DSP-339>DSP-338	27	19	4	f	g			
第189図	DSP-340	EL-165	DSP-341>DSP-340>DSP-342	51	45	5	f	d			
第189図	DSP-341	EL-165	DSP-340<DSP-341>DSP-342	28	22	20	f	d			
第189図	DSP-342	EL-165	DSP-342<DSP-340･341	35	29	10	f	d			
第189図	DSP-343	EL-165	DSP-343>DSP-344	27	23	43	h	d			
第189図	DSP-344	EL-165	DSP-344<DSP-343	(33)	29	27	f	d			
第189図	DSP-345	EL-164		18	17	5	c	d			
第189図	DSP-346	EL-164		22	21	8	h	d			
第189図	DSP-347	EL-164		26	25	17	h	d			
第189図	DSP-348	EL-164		33	32	22	h	d			
第189図	DSP-349	EK-164･165		27	25	52	h	d			
第189図	DSP-350	EK-165		25	19	6	f	d			
第189図	DSP-351	EK-165		23	21	15	h	d			
第189図	DSP-352	EL-165	DSP-352>SD-52	30	26	23	f	d			
第189図	DSP-353	EK-165		32	31	40	h	j			柱痕跡有
第189図	DSP-354	EK-165		27	25	10	h	d			
第190図	DSP-355	EK-165		27	23	45	f	j			柱痕跡有
第190図	DSP-356	EK-166		23	22	10	h	d			
第190図	DSP-357	EJ-166	DSP-357<DSP-358	(19)	25	32	f	d			
第190図	DSP-358	EJ-166	DSP-358>DSP-357	31	25	33	f	d			
第190図	DSP-359	EJ-166	DSP-359>SD-57	22	18	30	f	a			
第190図	DSP-360	EL-164		21	18	22	h	d			
第193図	DSP-361	EM-163	DSP-361<DSP-362	(35)	31	10	f	d			
第193図	DSP-362	EM-163	DSP-362>DSP-361	25	25	21	h	d (一部f)			
第193図	DSP-363	EM-163		30	23	11	f	d			
第193図	DSP-364	EM-163		22	20	5	h	d			
第193図	DSP-365	EM-164		17	15	11	h	d			
第193図	DSP-366	EM･EN-164		29	20	11	f	d			
第193図	DSP-367	EN-164	DSP-367>DSP-368	24	23	30	h	d			
第193図	DSP-368	EN-164	DSP-368<DSP-367	41	41	14	h	d			
第194図	DSP-369	EN-164		30	26	19	h	d			柱痕跡有
第194図	DSP-370	EN-164		26	26	31	h	d			柱痕跡有
第194図	DSP-371	EN-163		27	23	10	h	d			
第190図	DSP-372	EK-166		26	21	11	h	d			
第190図	DSP-373	EK-166	DSP-373>SD-55	20	(8)	18	h	d			
第190図	DSP-374	EL-165		20	18	11	c	d			
第197図	DSP-375	EO-164		28	28	62	h	d			柱痕跡有
第197図	DSP-376	EO-164		27	27	19	h	d			
第197図	DSP-377	EO-164		46	40	17	h	c			
第197図	DSP-378	EO-164		23	20	13	h	d			
第194図	DSP-379	EO-164	DSP-467<DSP-379>DSP-380	38	32	32	f	d			柱痕跡有
第194図	DSP-380	EN･EO-164	DSP-379>DSP-380	(28)	30	8	e	d			
第194図	DSP-381	EO-164	DSP-381>DSP-382	33	29	15	h	d			柱痕跡有
第194図	DSP-382	EO-164	DSP-382<DSP-381	23	22	14	h	d			
第197図	DSP-383	EO-164	DSP-383<DSP-384	40	(32)	7	h	d			
第197図	DSP-384	EO-164	DSP-384>DSP-383	29	25	7	h	d			
第197図	DSP-385	EO-164	DSP-385<DSP-386	(25)	25	5	h	d			
第197図	DSP-386	EO-164	DSP-386>DSP-385	39	35	15	e	d			
第190図	DSP-387	EL-165	DSP-387<DSK-32	69	(53)	24	e	e	土師器小甕1点、須恵器甕1点（第210図922･923）	平安時代	
第197図	DSP-388	EO-165		38	(15)	72	h	d			
第197図	DSP-389	EO-165		24	22	30	h	d			柱痕跡有
第197図	DSP-390	EO-165	DSP-522と新旧不明	18	15	22	h	c			
第197図	DSP-391	EO-165	DSP-391<DSK-41	44	42	31	h	d			
第202図	DSP-392	EP-161	DSP-392<DSP-536	20	(14)	16	c	d			
第198図	DSP-393	EP-164		24	22	28	h	d			
第198図	DSP-394	EP-164		35	32	16	h	d			
第198図	DSP-395	EP-164		18	12	7	f	d			
第198図	DSP-396	EP-164		32	28	8	h	d			
第198図	DSP-397	EP-164		46	33	25	e	d			
第198図	DSP-398	EP-164	DSP-398>SD-05	36	34	14	c	d			
第198図	DSP-399	EP-164		30	30	58	h	d			柱痕跡有
第208図	DSP-400	EQ-163		27	26	31	c	d			柱痕跡有
第208図	DSP-401	EQ-163		27	25	9	c	d			
第202図	DSP-403	EQ-162		23	22	8	h	d			
第203図	DSP-404	EQ-162		20	17	20	h	d			

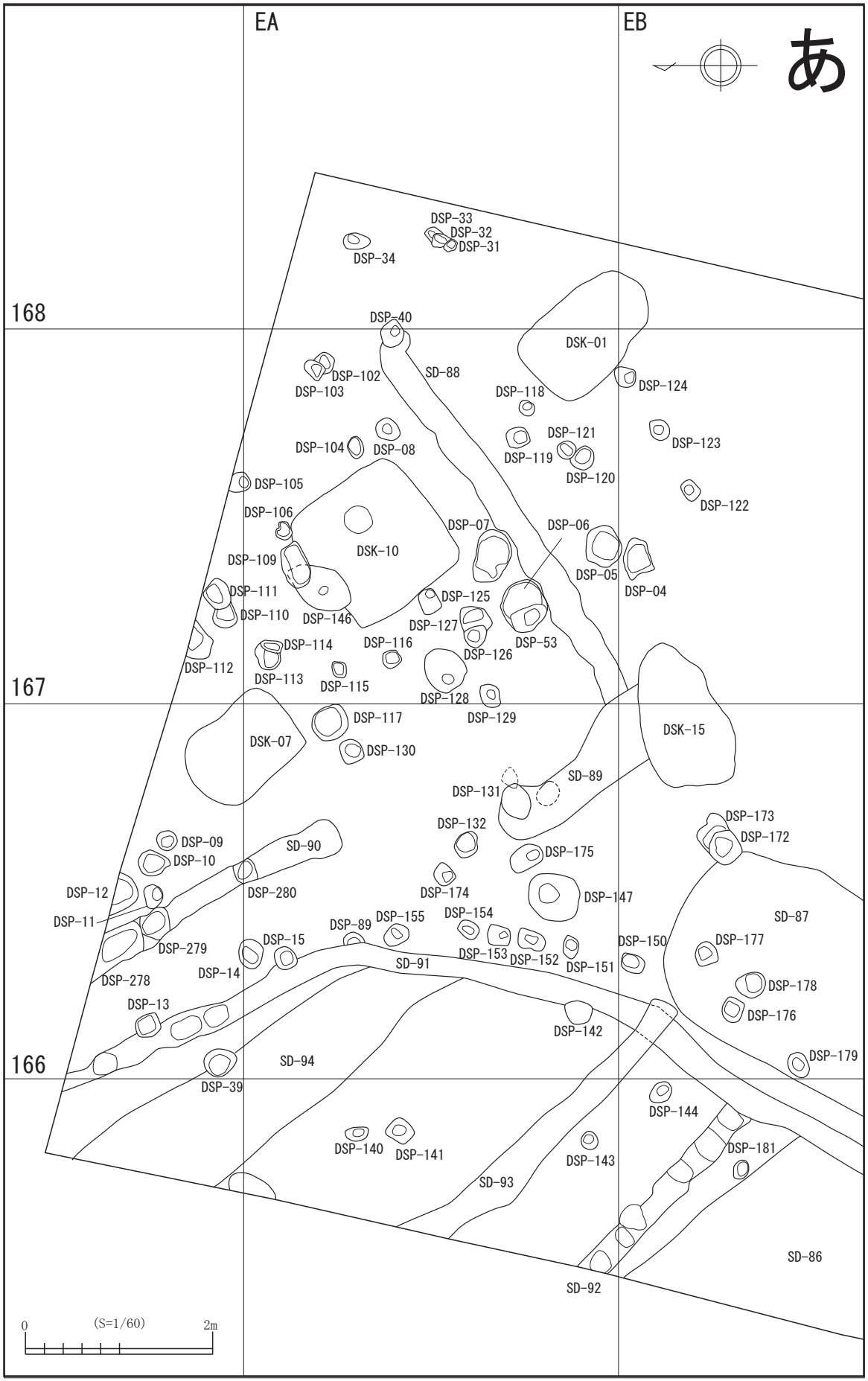
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第208図	DSP-405	EQ-162		34	32	11	e	a			
第208図	DSP-406	EQ-162		40	38	12	h	d			
第208図	DSP-409	ER-162		49	40	12	f	d			
第208図	DSP-410	EQ-162	DSP-410<DSP-411	26	22	11	h	d			
第208図	DSP-411	EQ･ER-162	DSP-411>DSP-410	32	32	11	h	d			
第208図	DSP-412	EQ-161･162		24	21	5	h	d			
第208図	DSP-413	EQ-162		38	34	12	h	d			
第208図	DSP-414	EQ-162	DSP-414<DSP-415	19	17	6	h	d			
第208図	DSP-415	EQ-162	DSP-415>DSP-414	37	30	30	f	d	土師器小甕1点（第210図924）	平安時代	
第209図	DSP-416	EQ-162		59	56	43	h	j			
第209図	DSP-417	EQ-162		29	25	12	h	d			柱痕跡有
第209図	DSP-418	EQ-162		31	31	11	h	d			
第209図	DSP-419	EQ-162		19	17	7	h	g			
第203図	DSP-420	EQ-162		24	20	19	h	d			
第203図	DSP-421	EQ-162	DSP-421>DSP-422	38	37	21	h	b			
第203図	DSP-422	EQ-162	DSP-422<DSP-421	(26)	36	7	h	d			
第203図	DSP-423	EQ-161･162	DSP-423>DSP-424	30	24	27	f	e			
第203図	DSP-424	EQ-161	DSP-424<DSP-423	30	(27)	23	c	d	土師器小甕1点（第210図925）	平安時代	
第190図	DSP-425	EJ-166	DSP-425>SD-56	38	18	42	f	d			柱痕跡有
第209図	DSP-426	EQ-161	DSP-426<DSK-36	(44)	38	6	f	a			
第187図	DSP-427	EH-164	DSK-25>DSP-427>SD-70	31	(18)	8	e	d			
第203図	DSP-429	EP･EQ-161		24	23	8	h	d			
第203図	DSP-430	EP･EQ-161		28	27	22	h	d			
第209図	DSP-431	EQ-161		40	38	7	h	d			
第209図	DSP-432	EQ-161	DSP-432>DSP-433	21	17	9	h	d			
第209図	DSP-433	EQ-161	DSP-433<DSP-432	35	19	7	g	d			
第209図	DSP-434	EQ-161	DSP-434<DSP-435	30	(28)	20	h	d			柱根残存
第209図	DSP-435	EQ-161	DSP-435>DSP-434	32	25	19	f	d			
第209図	DSP-436	EQ-161	DSP-436<DSP-437	(51)	41	13	f	d			
第209図	DSP-437	EQ-161	DSP-437>DSP-436	50	50	11	h	d			
第209図	DSP-438	EQ-161		41	38	20	c	d			柱痕跡有
第209図	DSP-439	EQ-161	DSP-439<DSP-440	37	28	15	f	d（一部e）			
第209図	DSP-440	EQ-161	DSP-440>DSP-439	41	26	23	f	e			
第203図	DSP-442	EQ-161	DSP-442>DSP-443	26	22	5	f	d			
第203図	DSP-443	EP･EQ-161	DSP-443<DSP-442	(36)	30	29	f	d			
第203図	DSP-444	EP-161	DSP-444>DSK-44	36	35	22	h	e			
第203図	DSP-445	EP-160･161		39	35	9	h	d			
第209図	DSP-447	EQ-162		39	37	19	h	d			
第203図	DSP-450	EQ-160		26	23	16	h	d（一部e）			柱痕跡有
第203図	DSP-451	EQ-160		28	28	12	h	d			
第203図	DSP-453	EP-160		28	27	18	c	d			柱痕跡有
第203図	DSP-454	EP-160		49	40	26	e	e			
第203図	DSP-455	EP･EQ-160	DSP-455>DSP-456	70	63	42	c	d			柱痕跡有
第203図	DSP-456	EP-160	DSP-456<DSP-455	(56)	39	21	f	d			
第203図	DSP-457	EP-160		34	32	12	h	d			
第203図	DSP-458	EP-160		32	28	21	h	d			
第204図	DSP-459	EP-160		42	32	22	f	d			
第204図	DSP-461	EP-161	DSP-461>DSK-44	57	55	12	c	d			
第204図	DSP-462	EP-161		41	37	14	h	d			柱痕跡有
第204図	DSP-463	EP-161		37	30	11	f	d			
第198図	DSP-464	EO-165	DSK-41>DSP-464<DSP-465	24	(16)	7	h	a			
第198図	DSP-465	EO-165	DSK-41>DSP-465>DSP-464	45	42	34	h	d			
第194図	DSP-467	EO-164	DSP-467<DSP-379	(36)	36	15	h	d			
第204図	DSP-468	EP-160･161	DSP-468>DSK-44	33	32	10	h	d			
第198図	DSP-469	EP-165	DSK-34>DSP-469>DSP-470	37	(16)	9	f	d			
第198図	DSP-470	EP-165	DSP-470<DSP-469	30	(24)	26	e	d			
第204図	DSP-471	EP･EQ-162		40	25	11	f	d			
第198図	DSP-472	EP-162		30	26	13	h	d			
第198図	DSP-473	EQ-163		20	17	7	h	d			
第198図	DSP-474	EQ-163		38	35	10	h	d			
第198図	DSP-475	EQ-163		29	27	11	h	d			
第198図	DSP-476	EQ-163		19	17	15	c	d			
第198図	DSP-477	EP･EQ-163		29	21	7	f	d			
第198図	DSP-478	EP-163		30	26	28	h	d			
第209図	DSP-479	EQ-163		25	23	15	h	a			
第209図	DSP-480	EQ-163		24	19	12	f	d			
第209図	DSP-481	EQ-163		33	31	6	h	d			
第198図	DSP-482	EQ-163		26	24	37	h	a			柱痕跡有

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第198図	DSP-483	EP-163		42	35	24	f	d (一部e)			柱根残存
第199図	DSP-484	EQ-163		41	23	10	g	d			
第199図	DSP-485	EP･EQ-163		26	26	27	h	d			
第199図	DSP-486	EP-163		24	22	12	c	a			
第199図	DSP-487	EQ-163		18	16	12	h	d			
第199図	DSP-488	EQ-163	DSP-488<SD-05	23	15	6	g	d			
第199図	DSP-489	EP-163	DSP-489>DSP-490	42	31	16	f	d			
第199図	DSP-490	EP-163	DSP-490<DSP-489	(24)	24	14	h	d			
第199図	DSP-491	EP-163	DSP-491>DSP-492	39	34	17	h	d			
第199図	DSP-492	EP-163	DSP-492<DSP-491	(28)	26	13	h	d			
第199図	DSP-493	EP-163	DSP-493>DSP-494	26	22	13	h	d			
第199図	DSP-494	EP-163	DSP-494<DSP-493	(28)	28	6	f	d			
第199図	DSP-495	EP-163		30	30	8	h	d			
第199図	DSP-496	EP-162･163	DSP-496<DSP-497	48	37	27	f	d			
第199図	DSP-497	EP-163	DSP-497>DSP-496	28	24	6	h	d			
第199図	DSP-498	EP-163		22	22	11	c	d			
第199図	DSP-499	EP-162		30	28	9	h	d			
第199図	DSP-500	EP-162･163		39	35	23	f	j			
第199図	DSP-501	EP-163	DSP-501<DSP-502	28	22	30	f	d			
第199図	DSP-502	EP-163	DSP-502<DSP-501	23	20	4	c	d			
第199図	DSP-503	EP-163	DSP-503>DSP-504 DSE-05と新旧不明	24	23	9	h	d			
第199図	DSP-504	EP-163	DSP-504<DSP-503 DSE-05と新旧不明	24	(18)	9	h	d			
第199図	DSP-505	EP-163		39	36	13	h	d (一部e)			
第200図	DSP-506	EO･EP-163		27	26	22	h	d			
第200図	DSP-507	EP-163	DSP-507<DSE-05	25	(21)	6	g	h			
第200図	DSP-508	EP-163		28	23	12	f	d			
第200図	DSP-509	EO･EP-163		29	25	6	f	d			
第200図	DSP-510	EP-163	DSP-510>DSP-511	40	28	11	f	i			
第200図	DSP-511	EP-163	DSP-510>DSP-511 >DSP-512	28	(25)	7	c	d			
第200図	DSP-512	EP-163	DSP-512<DSP-511	37	28	14	f	d			
第200図	DSP-513	EP-163	DSP-513>DSP-514	30	22	7	f	d			
第200図	DSP-514	EP-163	DSP-513>DSP-514 >DSP-515	33	(23)	11	f	i			
第200図	DSP-515	EP-163	DSP-515<DSP-514	33	(22)	6	h	d			
第200図	DSP-516	EP-163		14	14	3	h	d			
第200図	DSP-517	EP-163		29	22	7	f	d			
第200図	DSP-518	EO･EP-163	DSP-518>DSP-519	37	28	50	f	d			柱痕跡有
第200図	DSP-519	EO-163	DSP-519<DSP-518	(24)	20	26	f	d			柱痕跡有
第200図	DSP-520	EO-163	DSP-520>DSP-521	36	24	26	f	d			
第200図	DSP-521	EO-163	DSP-521<DSP-520	36	26	25	e	e			
第197図	DSP-522	EO-165	DSP-390と新旧不明	24	19	24	h	d			
第204図	DSP-524	EP･EQ-162		35	32	42	e	d (一部e)			
第204図	DSP-525	EQ-161･162	DSP-525>DSP-526	47	37	16	f	d			
第204図	DSP-526	EP･EQ-161･162	DSP-525>DSP-526	59	(51)	17	f	d			
第204図	DSP-527	EP-161		29	25	10	h	i			
第204図	DSP-528	EP-161		28	25	9	h	d			
第204図	DSP-529	EP-161		28	25	10	c	d			
第204図	DSP-530	EP-161		34	33	13	c	d			
第204図	DSP-532	EP-162		77	48	12	f	d			
第204図	DSP-533	EP-162	DSP-533>DSP-534	29	29	20	h	d			
第204図	DSP-534	EP-162	DSP-534<DSP-533	(20)	16	5	f	d			
第202図	DSP-535	EP-161		26	20	14	f	d			
第202図	DSP-536	EP-161	DSP-536>DSP-307、392	41	34	29	f	d			
第204図	DSP-538	EO-161		39	(25)	15	f	d			柱痕跡有
第204図	DSP-539	EO-161	DSP-539>DSP-540	56	46	16	f	d			
第204図	DSP-540	EO-161･162	DSP-540<DSP-539	31	29	7	h	d			
第204図	DSP-541	EO-162		23	19	11	f	d			
第205図	DSP-542	EO･EP-162	DSP-542>DSP-543	41	29	9	f	d			
第205図	DSP-543	EO-162	DSP-542>DSP-543 >DSP-544	38	(26)	11	h	d			
第205図	DSP-544	EO-162	DSP-544<DSP-543	37	30	11	f	d			
第205図	DSP-545	EP-162		24	22	15	h	d			柱痕跡有
第205図	DSP-546	EP-162		36	26	17	f	d			
第205図	DSP-547	EP-162	DSP-547>DSP-548	43	25	21	e	j			柱痕跡有
第205図	DSP-548	EP-162	DSP-548<DSP-547	32	31	12	h	d			
第205図	DSP-549	EP-162	DSP-549<DSP-550	28	21	20	f	d			
第205図	DSP-550	EP-162	DSP-550>DSP-549	30	25	18	f	d			
第205図	DSP-551	EP-161	DSP-551>DSK-44	35	24	13	e	a			
第205図	DSP-552	EP-162		26	24	26	h	d			柱痕跡有
第205図	DSP-553	EP-162	DSP-553<DSP-554	30	(20)	17	b	d			

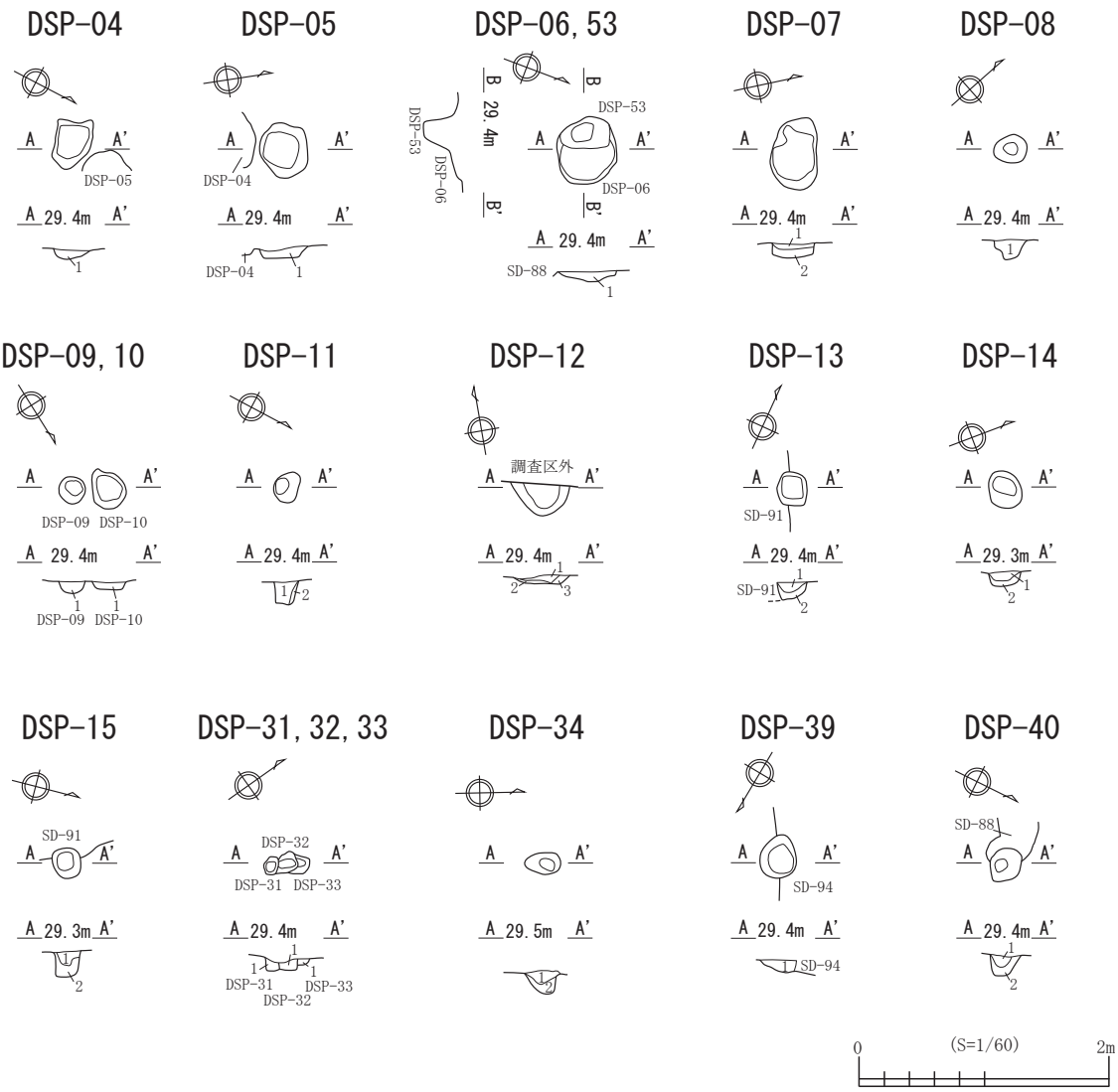
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第205図	DSP-554	EP-162	DSP-554>DSP-553	27	27	20	c	d			
第205図	DSP-555	EP-162		20	14	9	g	h			
第205図	DSP-556	EP-162	DSP-556<DSK-39	(17)	16	26	c	a			
第205図	DSP-557	EO-162		25	24	20	h	d			
第205図	DSP-558	EO-162		23	20	8	h	d			
第205図	DSP-559	EO-162		46	45	14	h	d			
第205図	DSP-560	EO-162	DSP-560>DSP-561	27	21	19	f	d			
第205図	DSP-561	EO-162	DSP-561<DSP-560	26	(19)	10	f	d			
第205図	DSP-562	EO-162		22	22	32	h	d			
第205図	DSP-563	EO-162		26	24	36	h	d			
第200図	DSP-564	EO-162	DSP-564>DSP-565	35	24	24	f	d			
第200図	DSP-565	EO-162	DSP-565<DSP-564	53	(49)	11	h	d			
第200図	DSP-566	EO-162	DSP-566<DSP-567	21	18	13	h	d			
第200図	DSP-567	EO-162	DSP-567>DSP-566	14	12	14	h	d			
第200図	DSP-568	EO-162		36	30	24	f	d			柱痕跡有
第200図	DSP-569	EO・EP-162・163		22	22	10	h	d			
第206図	DSP-570	EO・EP-162	DSK-46>DSP-570>DSP-571	26	22	13	f	c			
第206図	DSP-571	EO・EP-162	DSP-571<DSP-570、DSK-46	(22)	24	12	e	e			
第200図	DSP-572	EO-162・163		26	24	25	c	d			柱根残存
第194図	DSP-573	EO-162		31	29	29	h	d			柱痕跡有
第206図	DSP-574	EO-162	DSP-574>DSP-575	27	25	29	h	d			
第206図	DSP-575	EO-162	DSP-575<DSP-574	54	46	13	b	d			
第194図	DSP-577	EO-162	DSP-577<DSP-578	24	(20)	12	h	d			
第194図	DSP-578	EO-162	DSP-578>DSP-577	17	15	5	h	d			
第194図	DSP-579	EO-162	DSP-579>DSP-580	16	13	6	h	d			
第194図	DSP-580	EO-162	DSP-580<DSP-579	(18)	18	7	f	d			
第194図	DSP-581	EO-162		37	36	19	h	d			柱痕跡有
第200図	DSP-582	EO-162		22	21	7	h	d			
第201図	DSP-583	EO-162		26	25	18	c	d			柱痕跡有
第201図	DSP-584	EO-163		28	28	20	h	d			
第201図	DSP-585	EO-163		33	25	11	c	d			
第201図	DSP-586	EO-163		45	28	10	b	d			
第201図	DSP-587	EO-163	DSP-587<DSP-588	37	(30)	31	c	d			柱痕跡有
第201図	DSP-588	EO-163	DSP-587<DSP-588<DSP-589	38	34	30	f	d			
第201図	DSP-589	EO-163	DSP-589>DSP-588	24	21	9	h	d			
第201図	DSP-590	EO-163		28	27	14	h	d			柱痕跡有
第201図	DSP-591	EO-163		31	24	18	f	a			柱痕跡有
第201図	DSP-592	EO-163		34	32	25	e	a			柱痕跡有
第201図	DSP-593	EO-163		29	26	15	h	i			柱痕跡有
第201図	DSP-594	EO-163		27	22	17	f	d			柱痕跡有
第194図	DSP-595	EN-162		26	21	15	f	d			
第194図	DSP-596	EN-162		28	23	11	f	d			
第194図	DSP-597	EN-162		20	20	8	h	d			
第194図	DSP-598	EN-162		32	28	13	c	d			
第194図	DSP-599	EN-162		26	26	8	h	d			
第194図	DSP-600	EN・EO-163		29	29	35	h	d			
第194図	DSP-601	EO-163		40	32	23	f	d			柱痕跡有
第194図	DSP-602	EN-163		26	23	35	e	d			柱痕跡有
第195図	DSP-603	EN-162		22	21	11	h	d			
第195図	DSP-604	EN-162・163		22	22	6	h	d			
第195図	DSP-605	EM-163		29	29	30	c	d			柱痕跡有
第195図	DSP-606	EM-163		34	31	31	c	d			柱痕跡有
第195図	DSP-607	EM-163		28	25	25	h	d			
第195図	DSP-608	EN-163		32	26	7	f	d			
第195図	DSP-609	EN-163		30	25	13	f	d			
第206図	DSP-610	EP-162		24	20	12	h	d			
第206図	DSP-611	EP-162	DSK-40<DSP-611>DSP-612	64	60	12	h	d			
第206図	DSP-612	EP-162	DSP-612<DSP-611	(29)	35	12	f	d			
第206図	DSP-613	EP-162	DSP-613>DSK-40	42	38	27	f	d			柱根残存
第206図	DSP-614	EP-162	DSK-40>DSP-614>DSP-622	52	36	18	c	c			
第206図	DSP-615	EP-162	DSP-615<DSP-616	20	19	11	h	d			
第206図	DSP-616	EP-162	DSE-06>DSP-616>DSP-615	(23)	31	11	f	d			
第206図	DSP-617	EP-162		28	28	12	h	d			
第206図	DSP-618	EP-162		19	18	10	h	d			
第206図	DSP-619	EP-162		22	20	14	c	d			
第201図	DSP-620	EO-162・163		23	22	10	c	d			
第206図	DSP-621	EP-162		16	16	13	e	d			柱根残存
第206図	DSP-622	EP-162	DSP-622<DSK-40、DSP-614	(25)	(22)	8	x	d			



第168図　川原館遺跡Ｄ区SP分割図



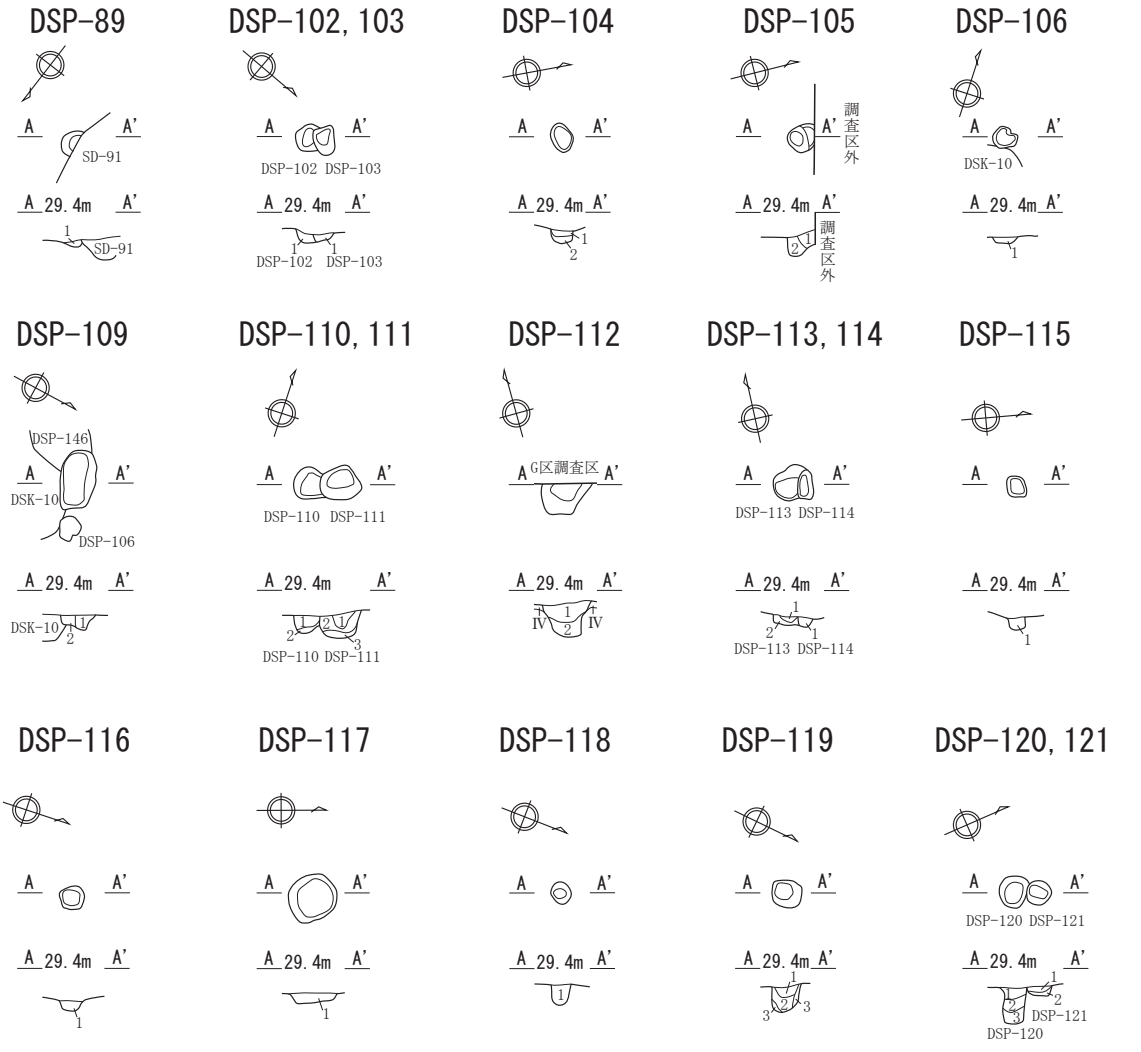
第169図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図あ



DSP-04
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
DSP-05
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-06
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-07
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ10～50mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-08
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-09
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～4mm)微量
DSP-10
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-11
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-12
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
DSP-13
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

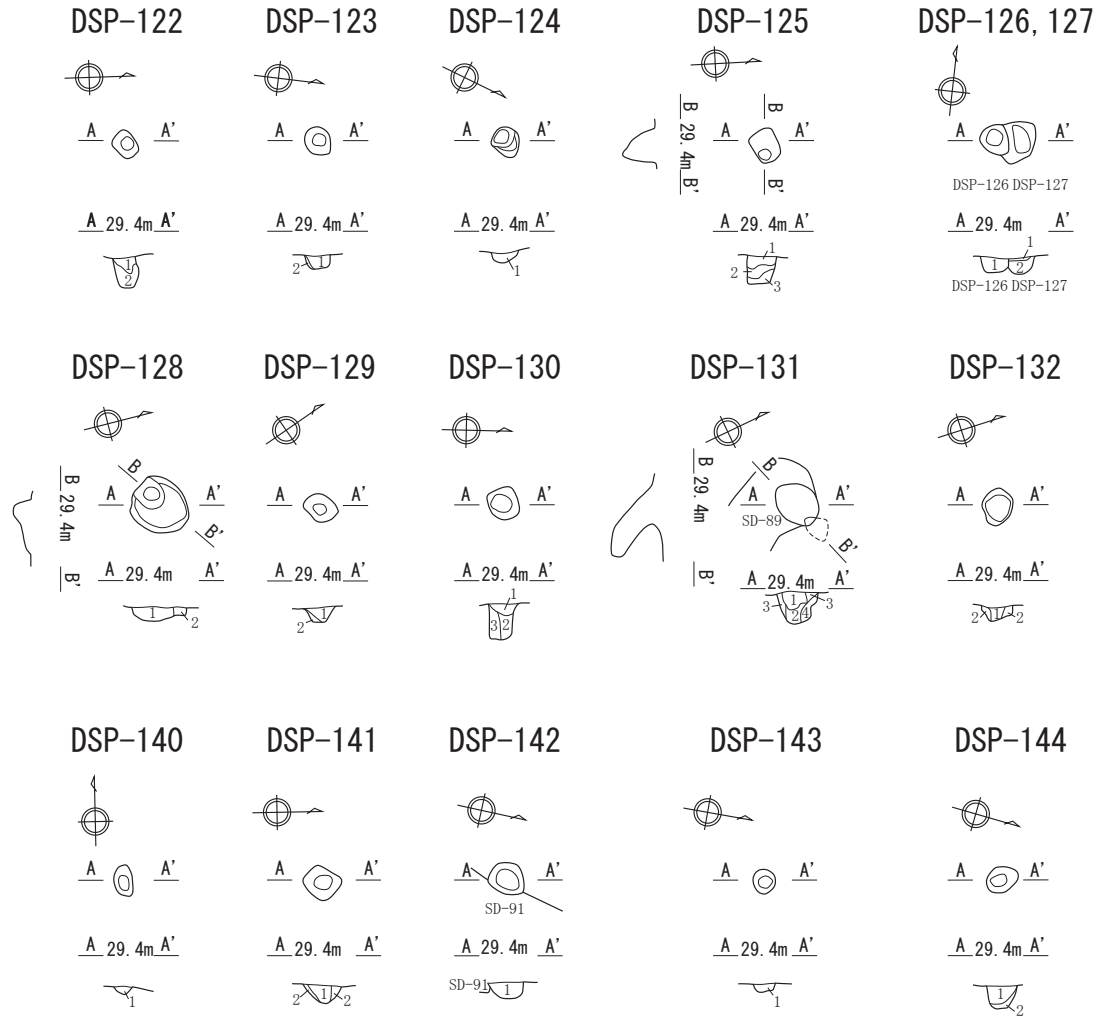
DSP-14
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-15
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、
ロームブロック(φ10～40mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-31
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-32
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-33
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、
ロームブロック(φ30mm)微量
DSP-34
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、
ロームブロック(φ30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-39
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ5～10mm)多量、焼土粒(φ5～10mm)少量
DSP-40
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第170図　川原館遺跡Ｄ区SPあ（１）



DSP-89
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
DSP-102
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-103
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-104
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-105
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-106
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-109
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-110
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
　　ロームブロック(φ20mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
DSP-111
第1層　10YR5/6　黄褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ40mm)微量、
　　炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)中量
DSP-112
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～40mm)中量、
　　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～25mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-113
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層
DSP-114
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
DSP-115
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-116
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-117
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-118
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-119
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量
DSP-120
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-121
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR4/3　にぶい黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層

第171図　川原館遺跡Ｄ区SPあ（２）



DSP-122
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-123
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合層

DSP-124
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-125
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR5/4にぶい黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量

DSP-126
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ10～50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-127
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-128
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ30～60mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR5/6　黄褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層

DSP-129
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ30～80mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

DSP-130
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-131
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、
炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合層

DSP-132
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-140
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

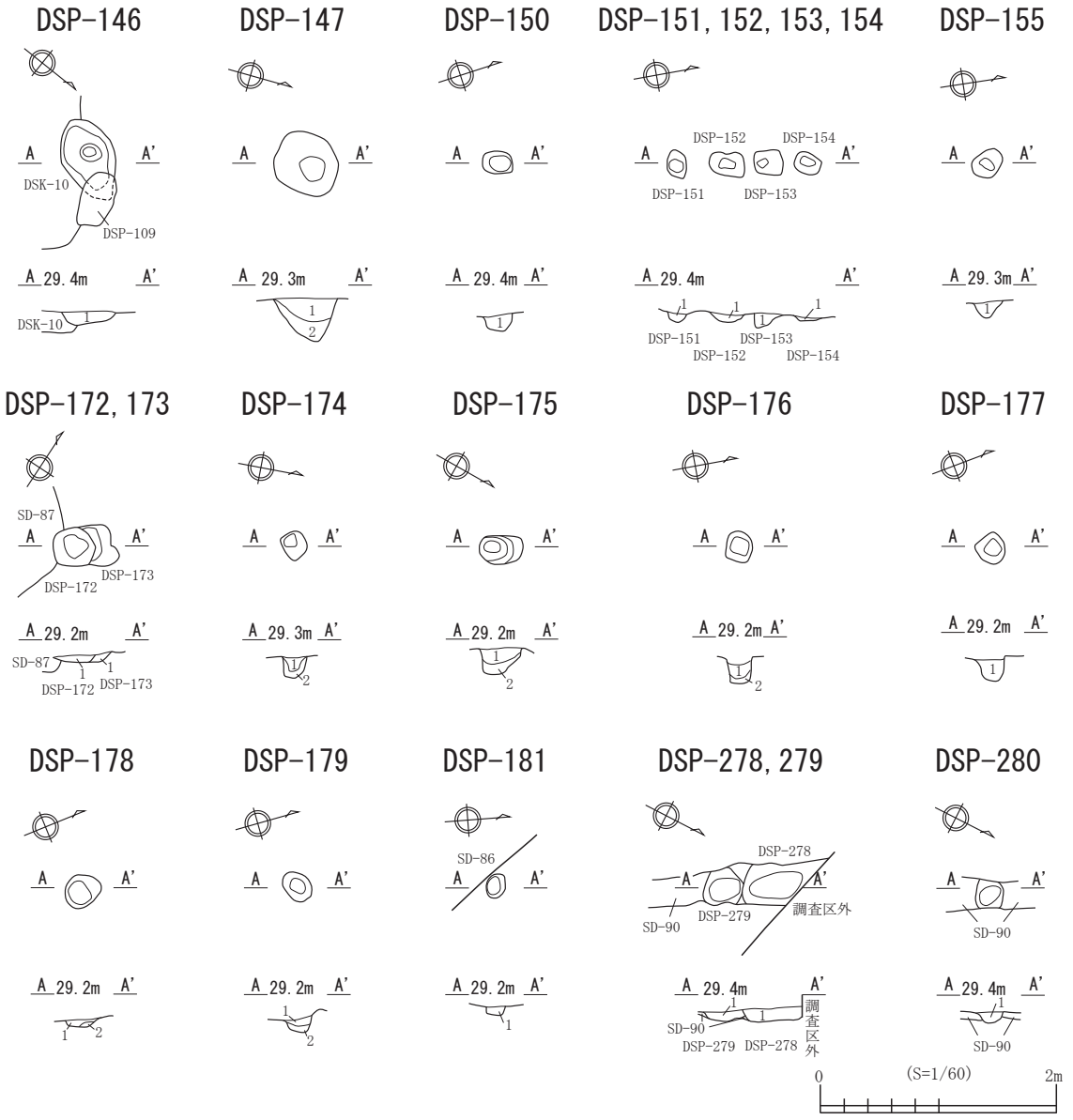
DSP-141
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10mm)中量

DSP-142
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-143
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、
ロームブロック(φ10～20mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-144
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

第172図　川原館遺跡Ｄ区SPあ（３）



DSP-146
第1層　7.5YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ10～50mm)中量

DSP-147
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-150
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-151
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-152
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-153
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層

DSP-154
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層

DSP-155
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-172
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-173
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-174
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

DSP-175
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-176
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-177
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～6mm)少量

DSP-178
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR5/4　にぶい黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層

DSP-179
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)中量

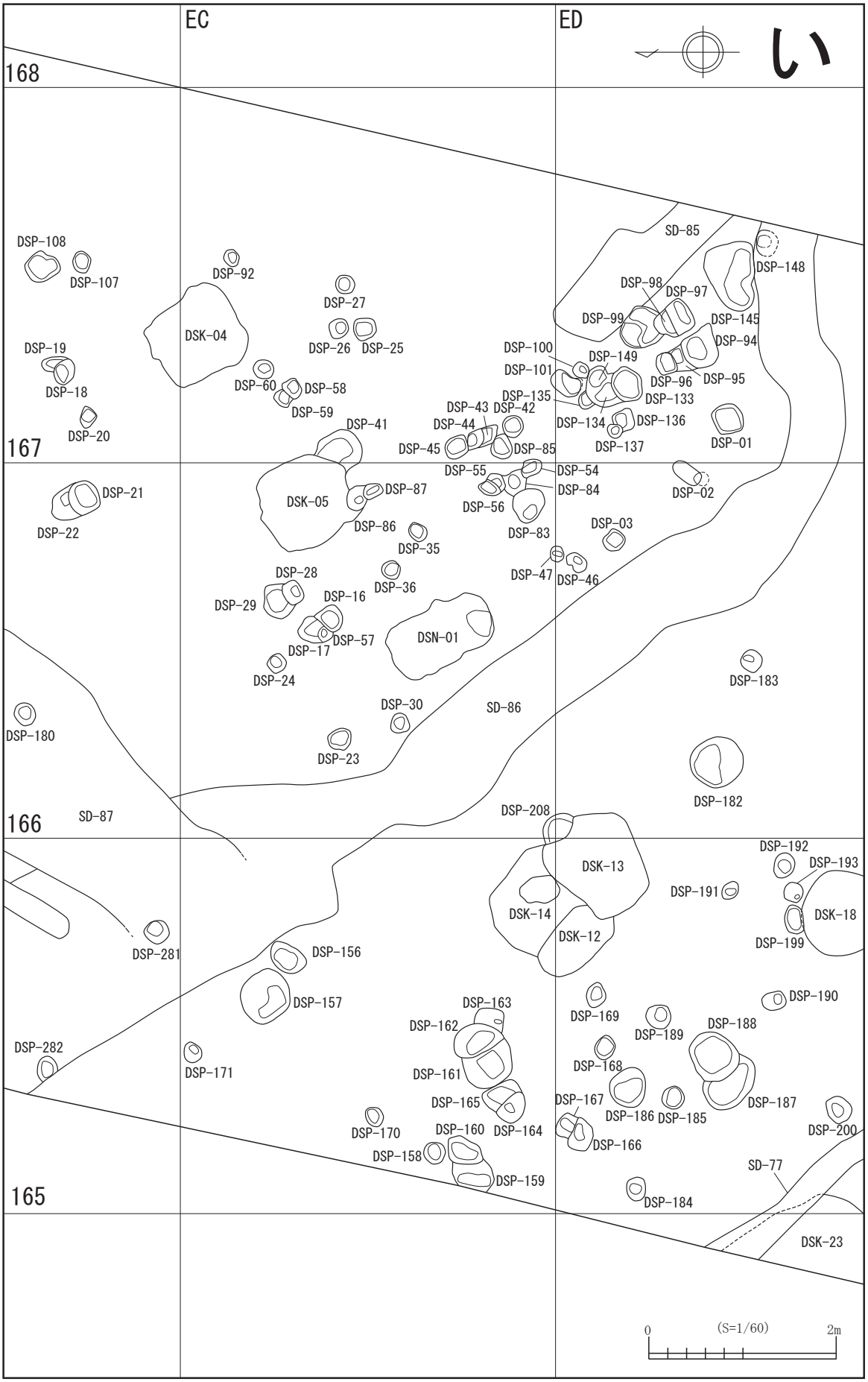
DSP-181
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-278
第1層　7.5YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～50mm)中量

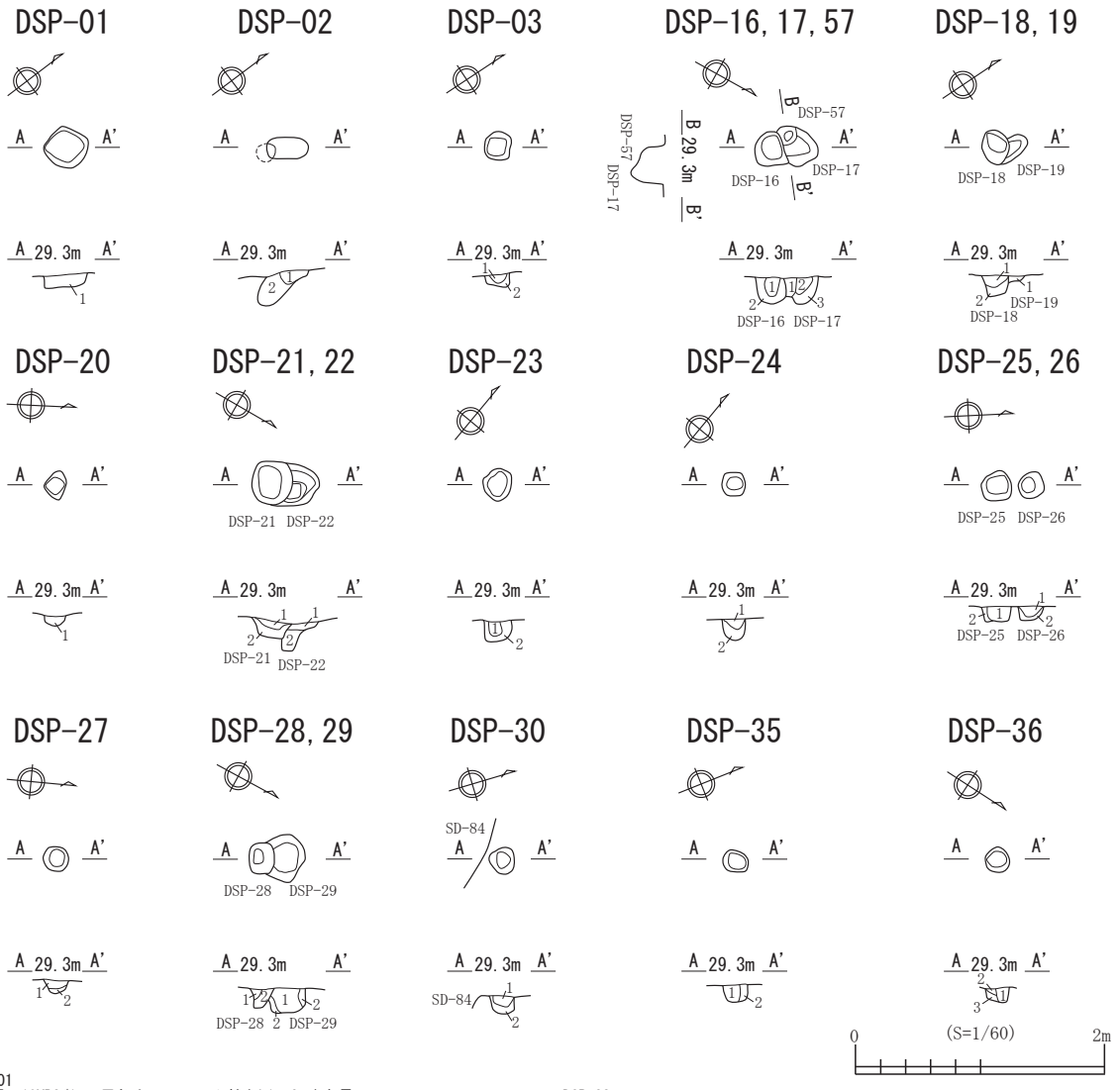
DSP-279
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-280
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

第173図　川原館遺跡Ｄ区SPあ（４）



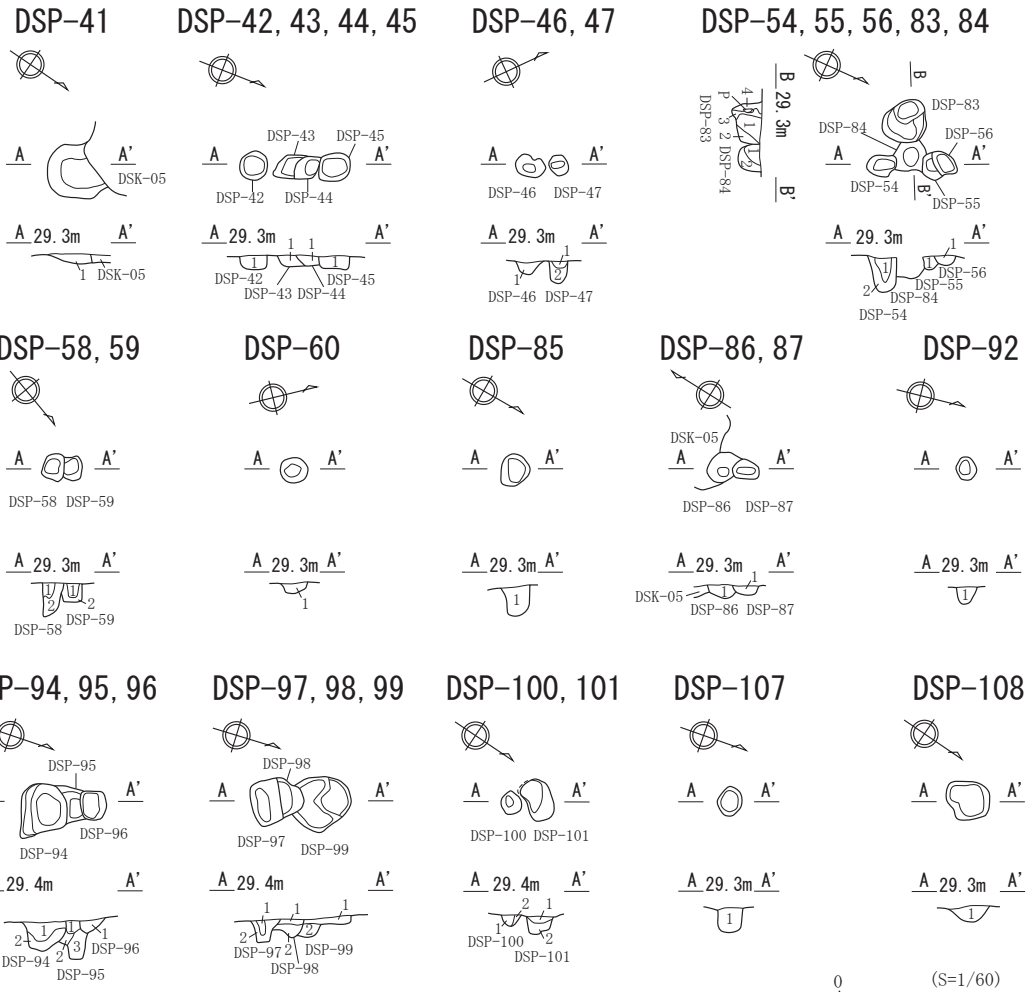
第174図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図い



DSP-01
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、
ロームブロック(φ10～40mm)中量
DSP-02
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ20mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-03
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-16
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～4mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ20mm)微量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-17
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)微量、酸化鉄粒(φ1～6mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ50mm)微量
DSP-18
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-19
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
炭化粒(φ1～5mm)微量
DSP-20
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-21
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
ロームブロック(φ40mm)少量
DSP-22
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～50mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-23
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-24
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ20mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～7mm)少量
DSP-25
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-26
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-27
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-28
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、
ロームブロック(φ20mm)微量
DSP-29
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層 酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-30
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ50mm)少量
DSP-35
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ10～40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-36
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層
第3層　10YR4/4　褐色土と10YR2/1黒色土の混合層

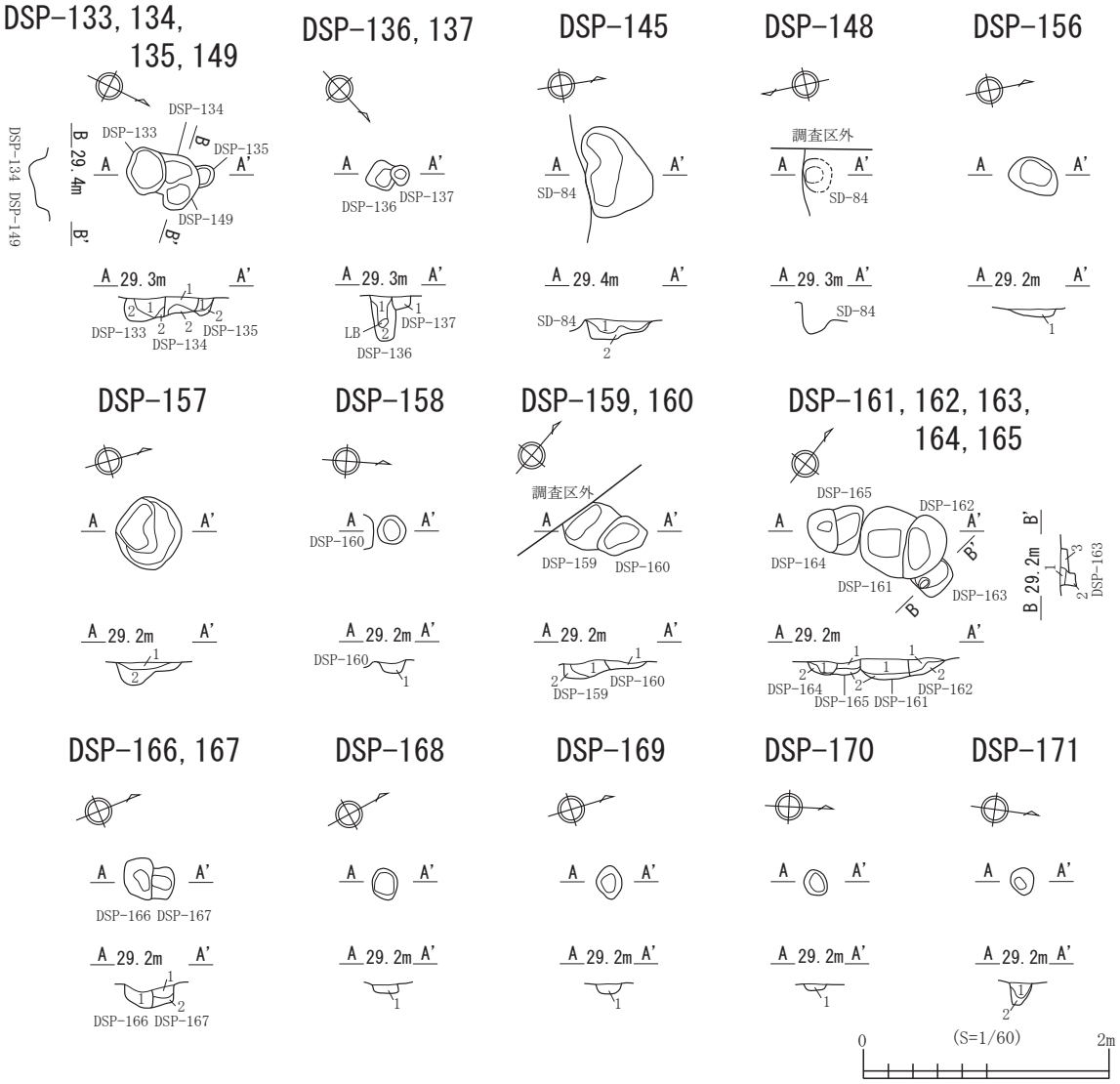
第175図　川原館遺跡Ｄ区SPい（１）



DSP-41
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
DSP-42
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ60mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-43
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-44
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
DSP-45
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量
DSP-46
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-46
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
DSP-54
第1層　10YR2/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-55
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-56
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
DSP-58
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-59
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-60
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-83
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ10～40mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-84
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化物ブロック(φ15mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-85
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-86
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-87
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-92
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-94
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-95
第1層　10YR2/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-96
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-97
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-98
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-99
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～25mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-100
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量
DSP-101
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-107
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-108
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

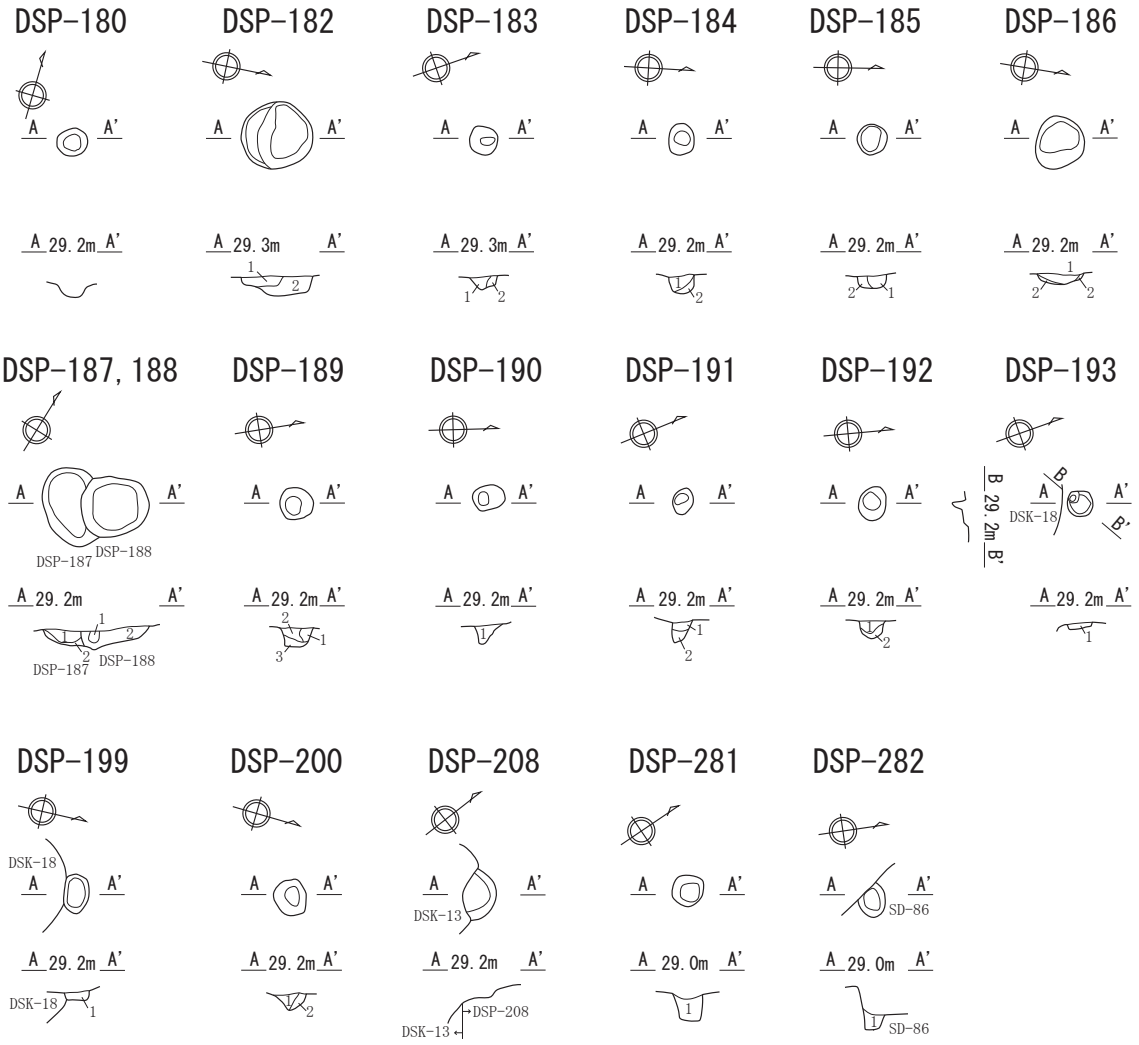
第176図　川原館遺跡Ｄ区SPい（２）



DSP-133
第1層　10YR2/2　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、
　　ロームブロック(φ10～100mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR4/2　灰黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
DSP-134
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～70mm)少量、
　　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量、
　　粘土塊(φ40mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/4にぶい黄褐色土の混合層
DSP-135
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR5/4　黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
DSP-136
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ20mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-137
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-145
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-156
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-157
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
　　ロームブロック(φ50mm)微量
DSP-158
第1層　10YR3/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-159
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
　　ロームブロック(φ20mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6褐色土の混合層

DSP-160
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ40mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-161
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
DSP-162
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR4/4　褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
DSP-163
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ40mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
DSP-164
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ20mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量
DSP-165
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ20mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-166
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-167
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ20mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-168
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-169
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、
　　ロームブロック(φ10～50mm)中量、
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-170
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-171
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合層

第177図　川原館遺跡Ｄ区SPい（３）



DSP-182
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～70mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～6mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-183
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-184
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-185
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合層
ローム粒(φ1～8mm)多量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量

DSP-186
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-187
第1層　10YR2/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、
ロームブロック(φ20～30mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-188
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

DSP-189
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/4にぶい黄褐色土の混合層
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ40mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/3黄褐色土の混合層

DSP-190
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-191
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-192
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
ロームブロック(φ10～40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)少量

DSP-193
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層

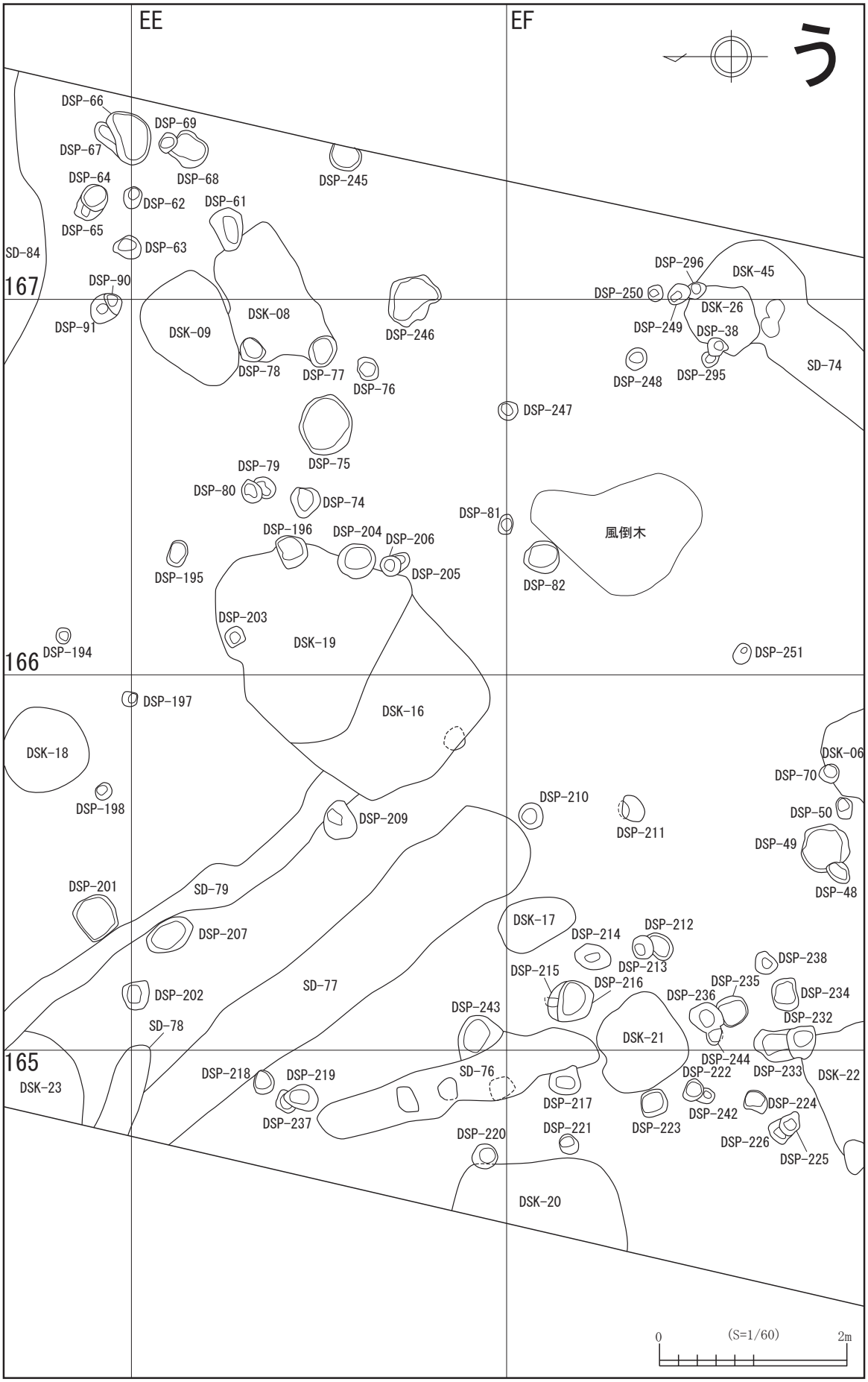
DSP-199
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-200
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

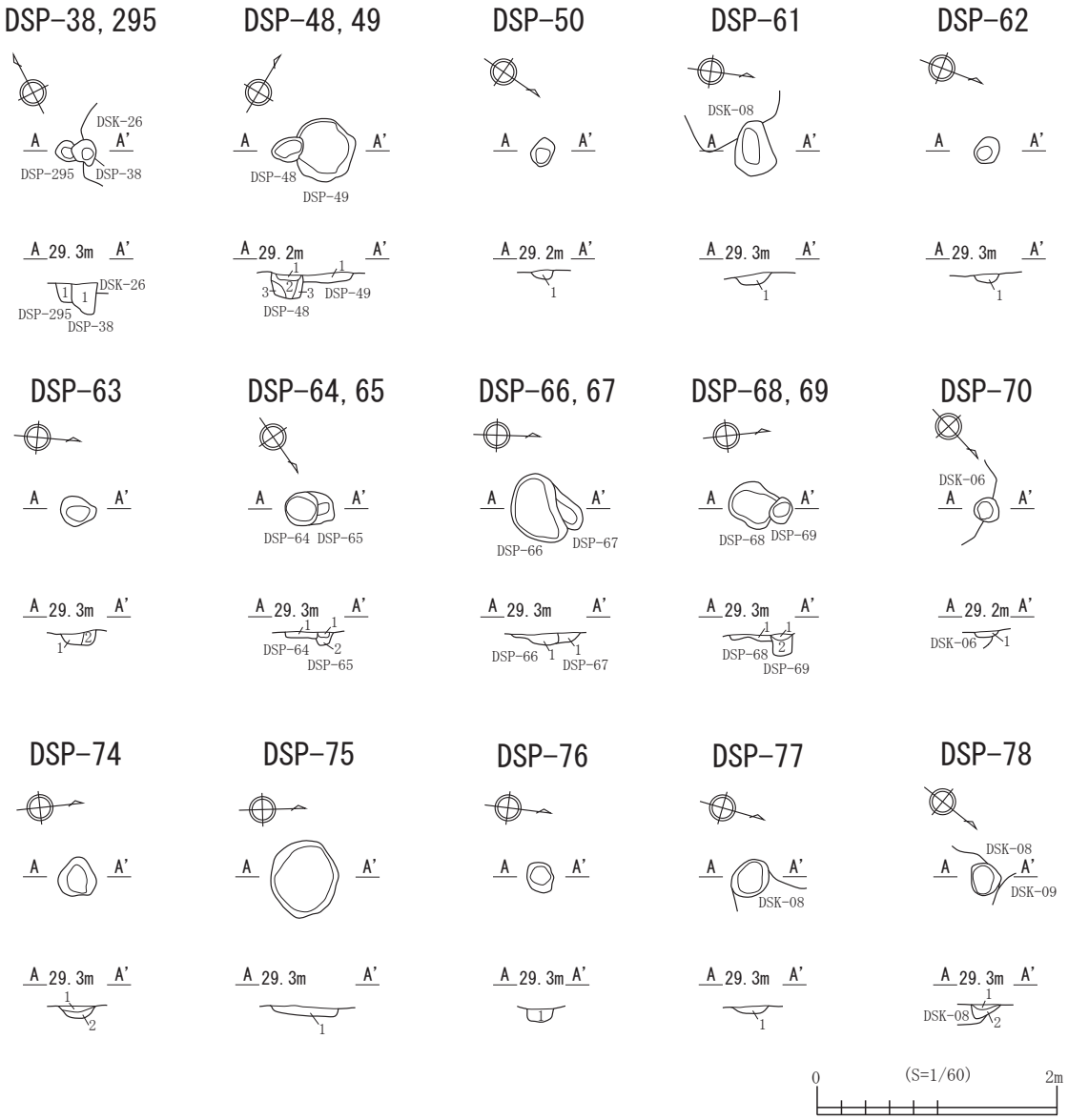
DSP-281
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-282
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～30mm)中量、
炭化粒(φ1mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

第178図　川原館遺跡Ｄ区SPい（４）

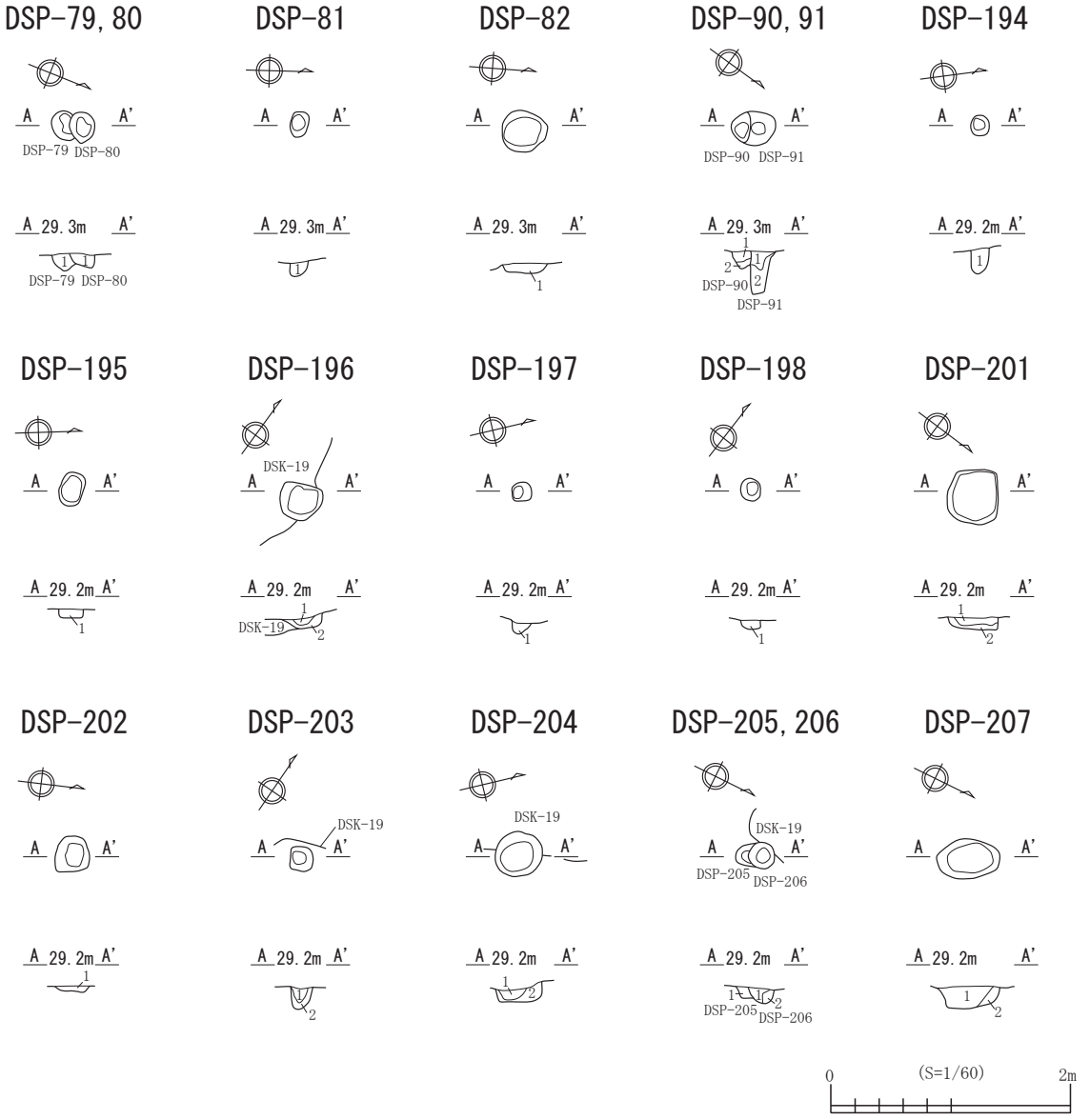


第179図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図う



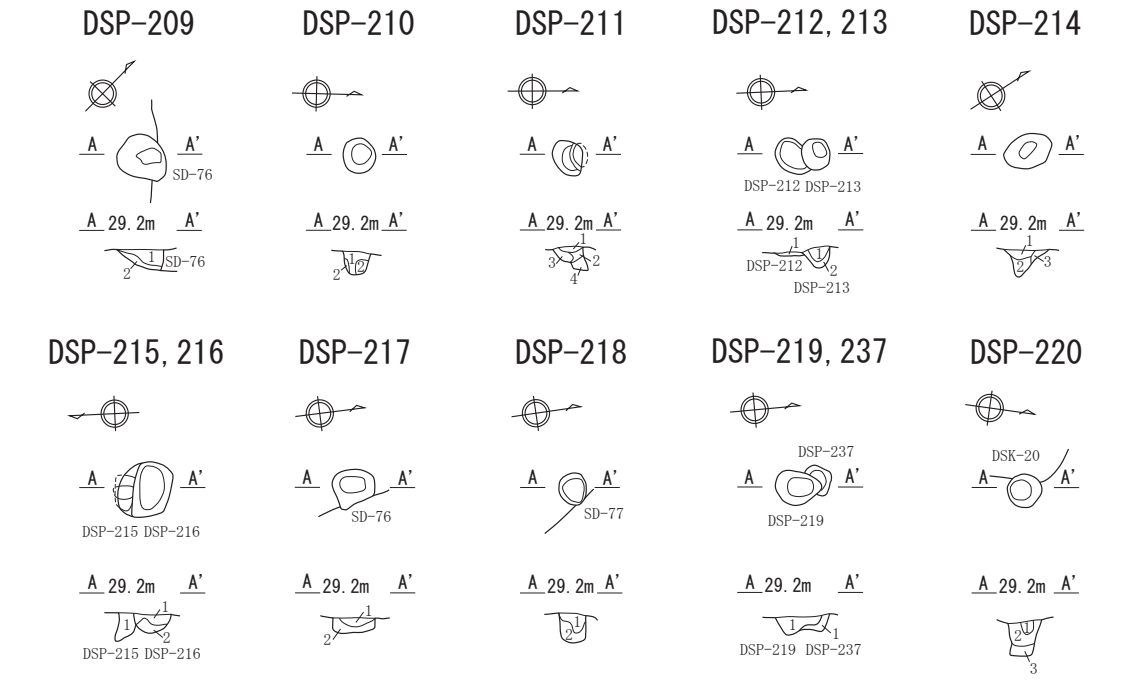
DSP-38
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄(φ1～5mm)少量
DSP-48
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、
ロームブロック(φ10～25mm)少量
DSP-49
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-50
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ50mm)微量
DSP-61
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR4/4褐色土の混合層
DSP-62
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-63
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、
ロームブロック(φ40mm)微量、
炭化粒(φ1～8mm)少量
DSP-64
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
DSP-65
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
DSP-66
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-67
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
DSP-68
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
DSP-69
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-70
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-74
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR6/4にぶい黄褐色土の混合層
DSP-75
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-76
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
DSP-77
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-78
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
DSP-295
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層

第180図　川原館遺跡Ｄ区SPう（１）



DSP-79
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-80
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-81
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-82
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-90
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
　　ロームブロック(φ20mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-91
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、
　　ロームブロック(φ10～50mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/8明黄褐色土の混合層
DSP-194
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
DSP-195
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
　　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-196
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-197
　　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～20mm)中量
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-198
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-201
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、
　　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～15mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-202
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
　　ロームブロック(φ20mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-203
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-204
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層
　　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-205
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-206
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
　　ロームブロック(φ10～30mm)少量、
　　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-207
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、
　　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR4/4　褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層

第181図　川原館遺跡Ｄ区SPう（２）



DSP-209
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ40mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-210
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　炭化粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-211
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

DSP-212
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層

DSP-213
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-214
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-215
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～25mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

DSP-216
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-217
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-218
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-219
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-220
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-221
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-222
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量

DSP-223
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層

DSP-224
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～20mm)中量、
炭化物(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量

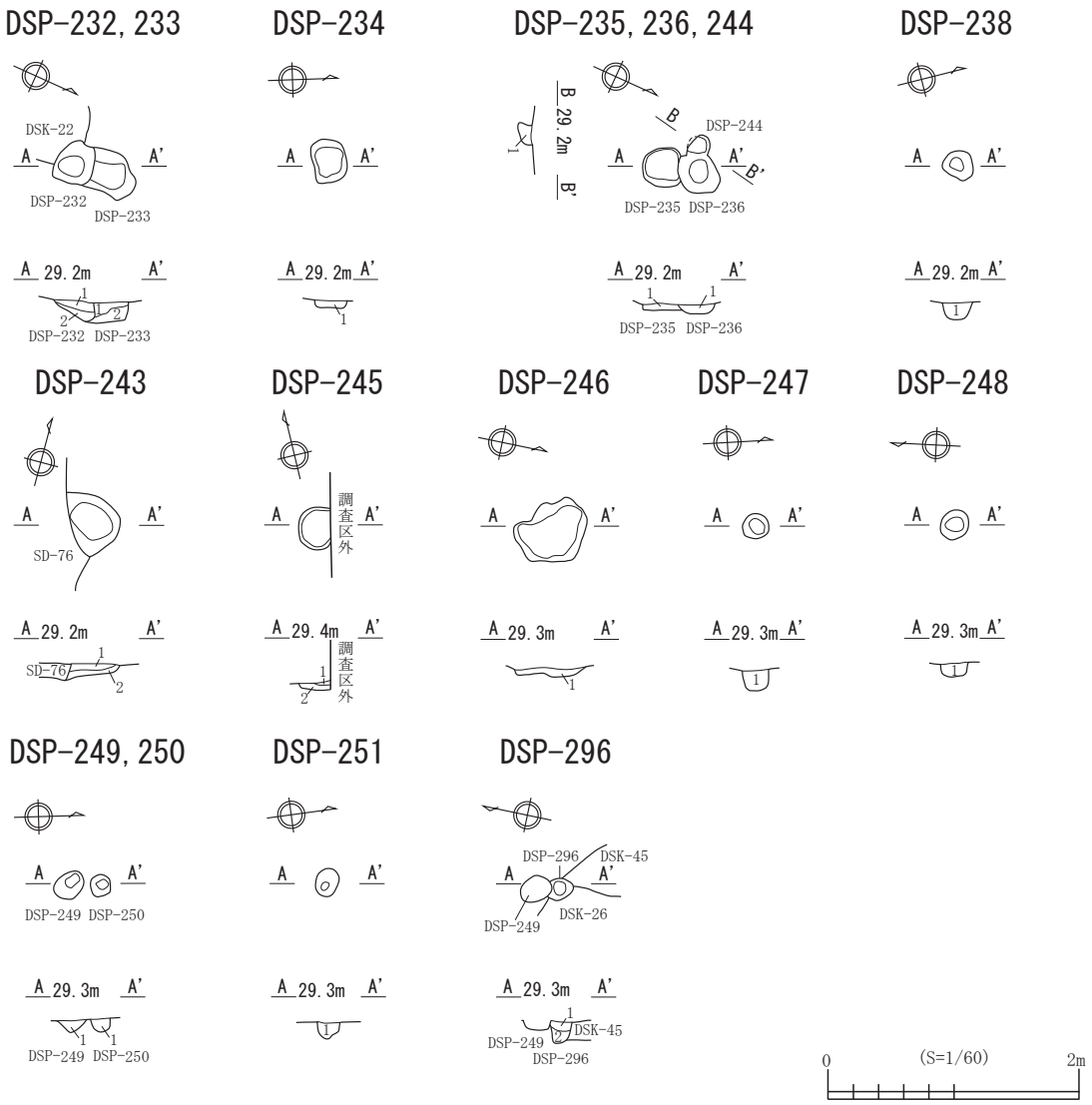
DSP-225
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～40mm)中量、
炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-226
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、炭化粒(φ1mm)微量

DSP-237
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

0　(S=1/60)　2m

第182図　川原館遺跡Ｄ区SPう（３）



DSP-232
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～2mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量

DSP-233
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR5/6　黄褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-234
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～25mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-235
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)中量、ロームブロック(φ10～25mm)微量、炭化粒(φ1～2mm)微量

DSP-236
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～25mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量

DSP-238
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-243
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層

DSP-244
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-245
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～15mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-246
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)微量

DSP-247
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～6mm)中量、焼土粒(φ1～2mm)微量

DSP-248
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～15mm)中量

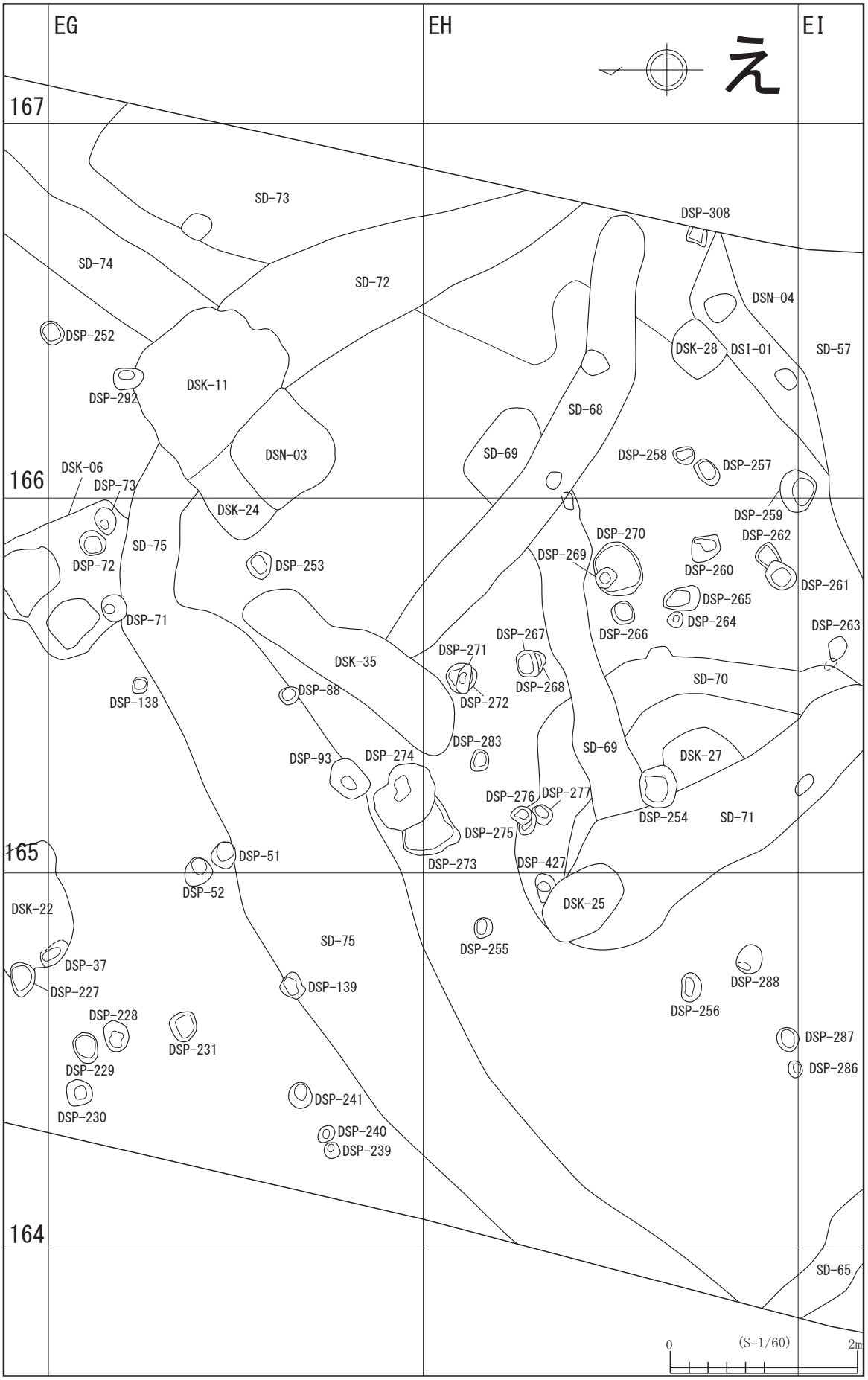
DSP-249
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-250
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

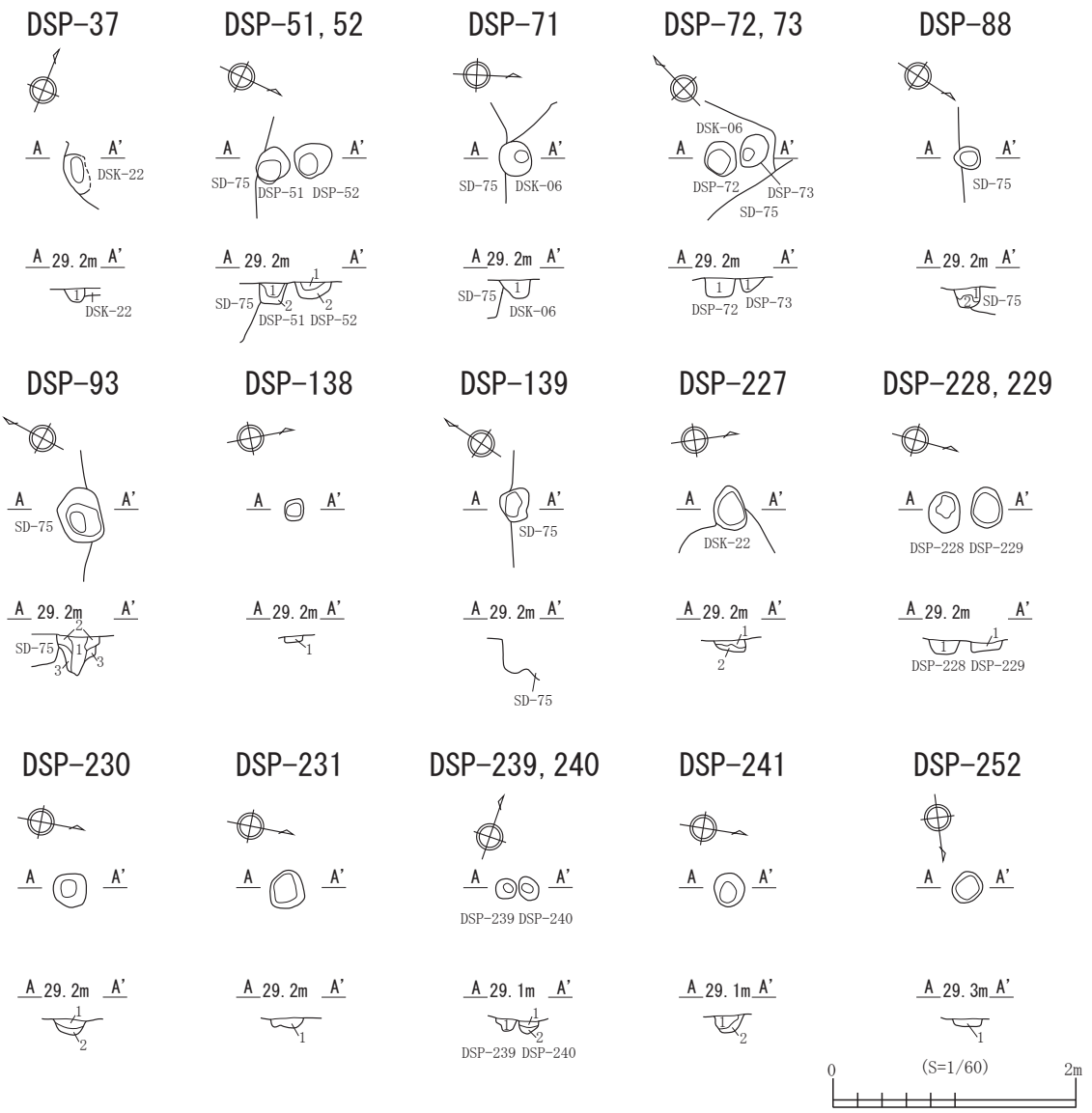
DSP-251
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-296
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

第183図　川原館遺跡Ｄ区SPう（４）

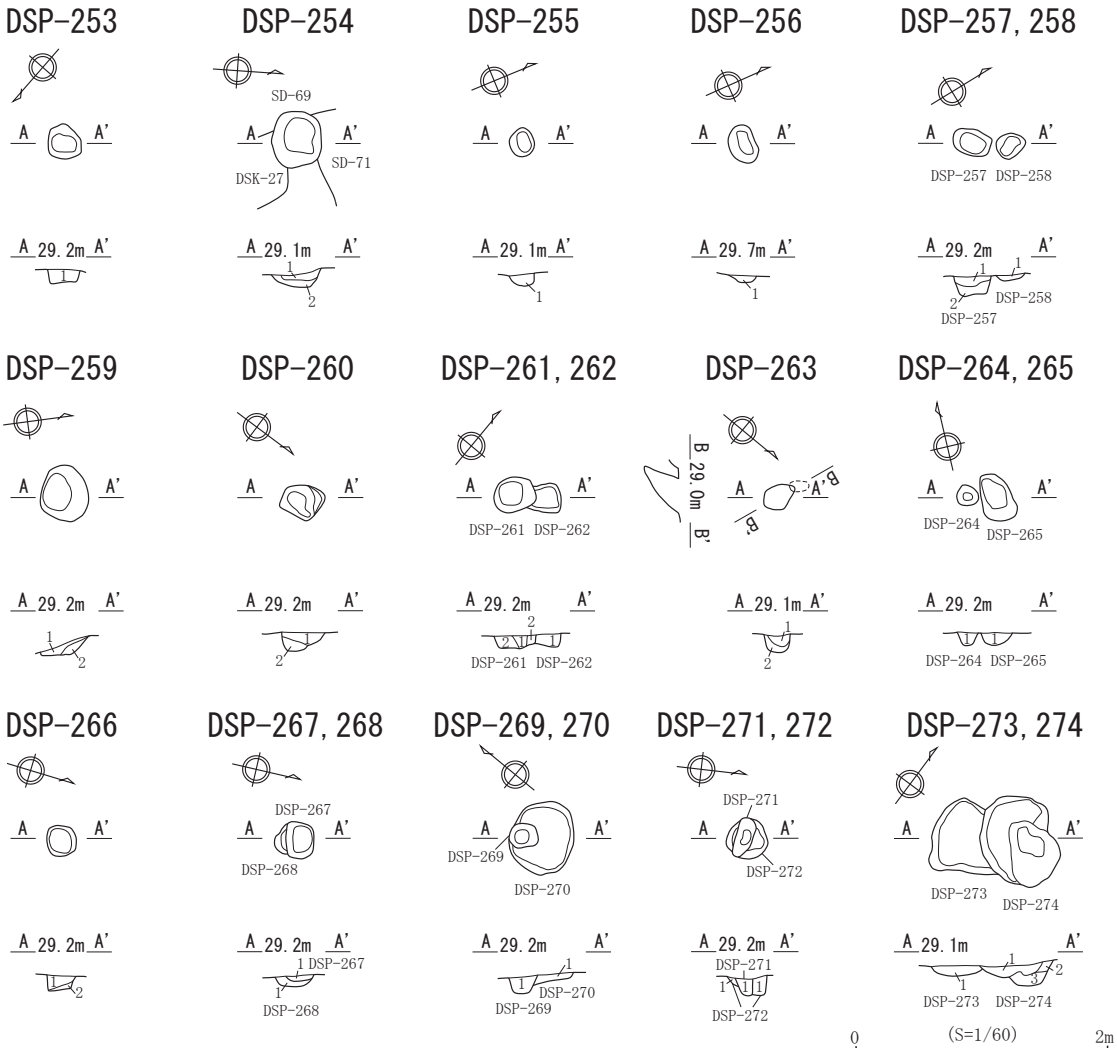


第184図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図え



DSP-37
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-51
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
DSP-52
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ30～50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-71
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
炭化物ブロック(φ15mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-72
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-73
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-88
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)多量、
ロームブロック(φ20mm)微量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
DSP-93
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
第3層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-138
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-227
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量
DSP-228
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～15mm)微量、
炭化粒(φ1～2mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量
DSP-229
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR2/2黒褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量、
炭化粒(φ1～2mm)微量
DSP-230
第1層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
炭化粒(φ1～10mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)微量
DSP-231
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
DSP-239
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR2/1黒色土の混合層
ローム粒(φ1～3mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-240
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量、
酸化鉄粒(φ1mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～2mm)多量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
DSP-241
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～70mm)多量
DSP-252
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第185図　川原館遺跡Ｄ区SPえ（１）



DSP-253
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-254
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、
ロームブロック(φ10～30mm)中量、
炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-255
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～2mm)微量

DSP-256
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄粒(φ1mm)微量

DSP-257
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～15mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-258
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-259
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、
ロームブロック(φ40mm)少量、
灰(10YR4/1褐灰色)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～50mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-260
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
焼土粒(φ1～5mm)少量、焼土ブロック(φ30mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
焼土粒(φ1～2mm)微量

DSP-261
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～30mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-262
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-263
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量

DSP-264
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、
炭化物ブロック(φ10～15mm)少量、
酸化鉄粒(φ1mm)微量

DSP-265
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-266
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量

DSP-267
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
焼土粒(φ1mm)微量

DSP-268
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-269
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-270
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

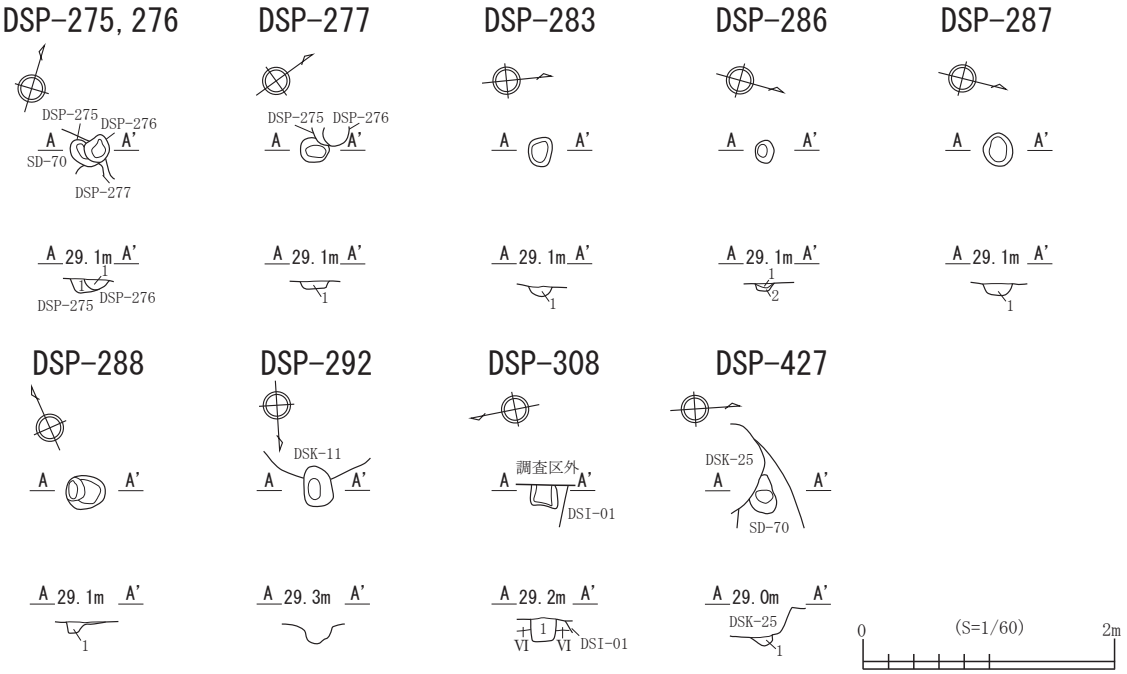
DSP-271
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

DSP-272
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

DSP-273
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～15mm)少量

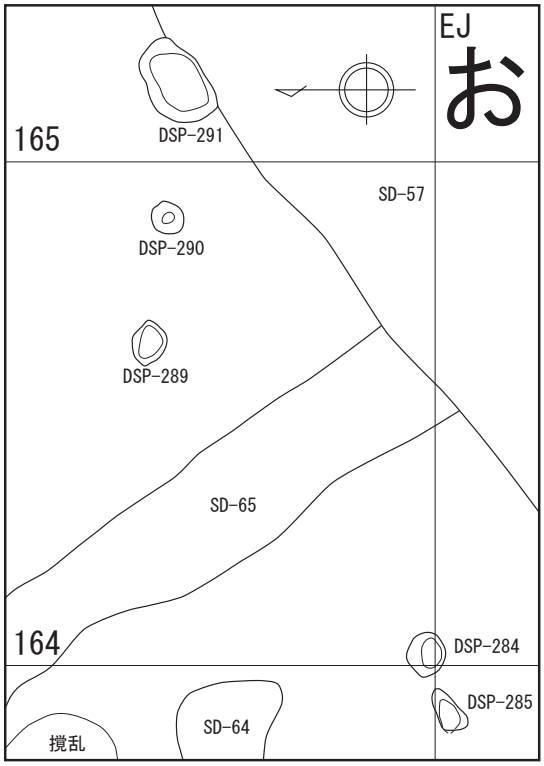
DSP-274
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10～20mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
ローム粒(φ1～9mm)多量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、
ロームブロック(φ10～15mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～2mm)微量

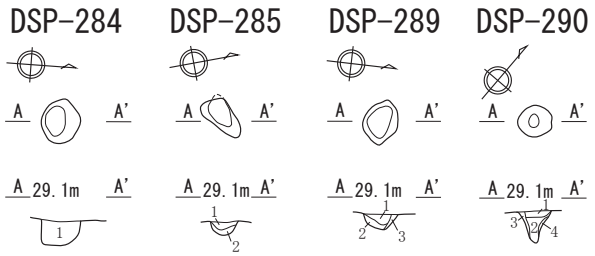
第186図　川原館遺跡Ｄ区SPえ（２）

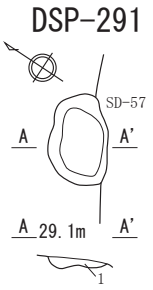


DSP-275
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、粘土ブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-276
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、粘土粒(φ1～5mm)微量
DSP-277
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量
DSP-283
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-286
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-287
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-288
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-308
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-427
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第187図　川原館遺跡Ｄ区SPえ（３）







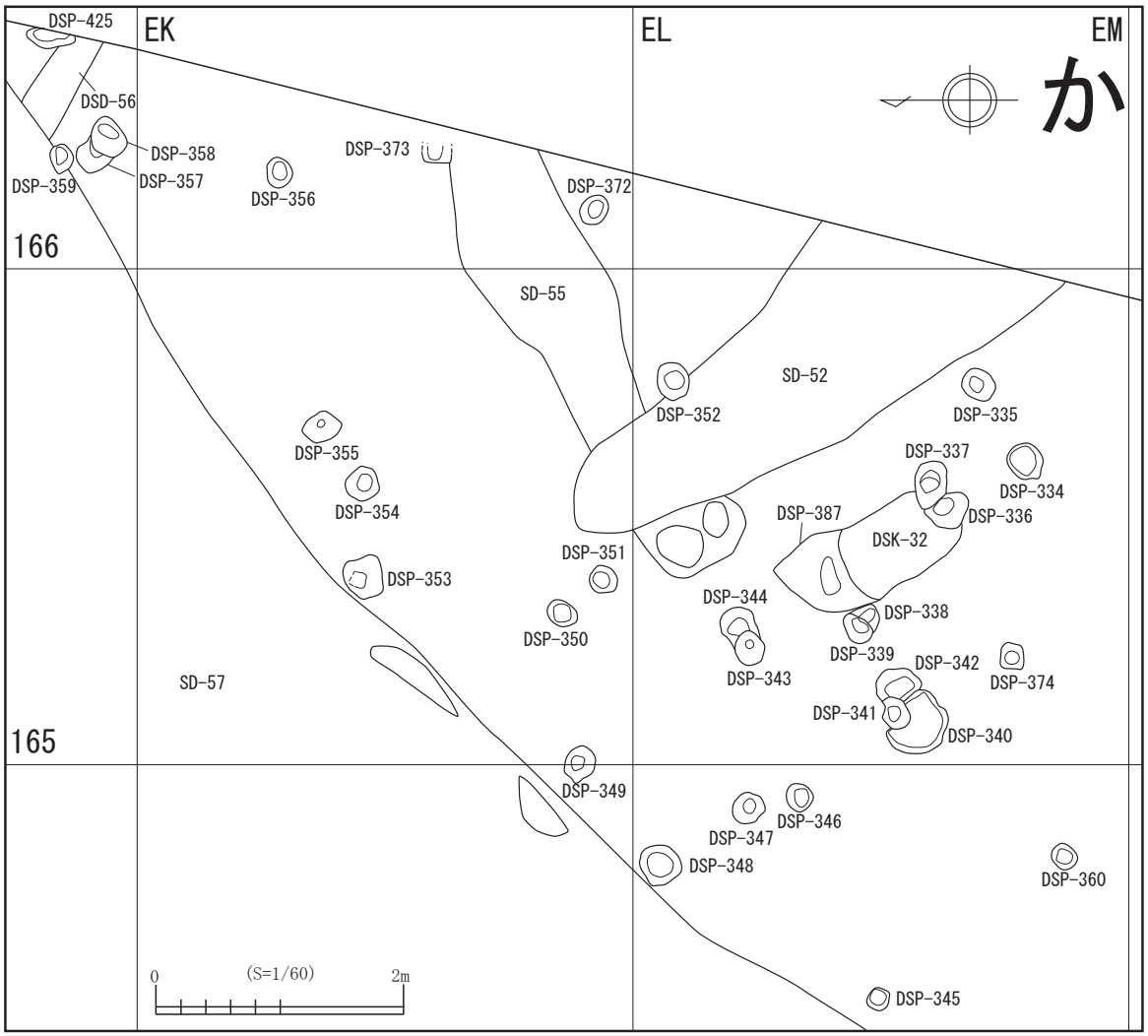
DSP-284
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-285
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

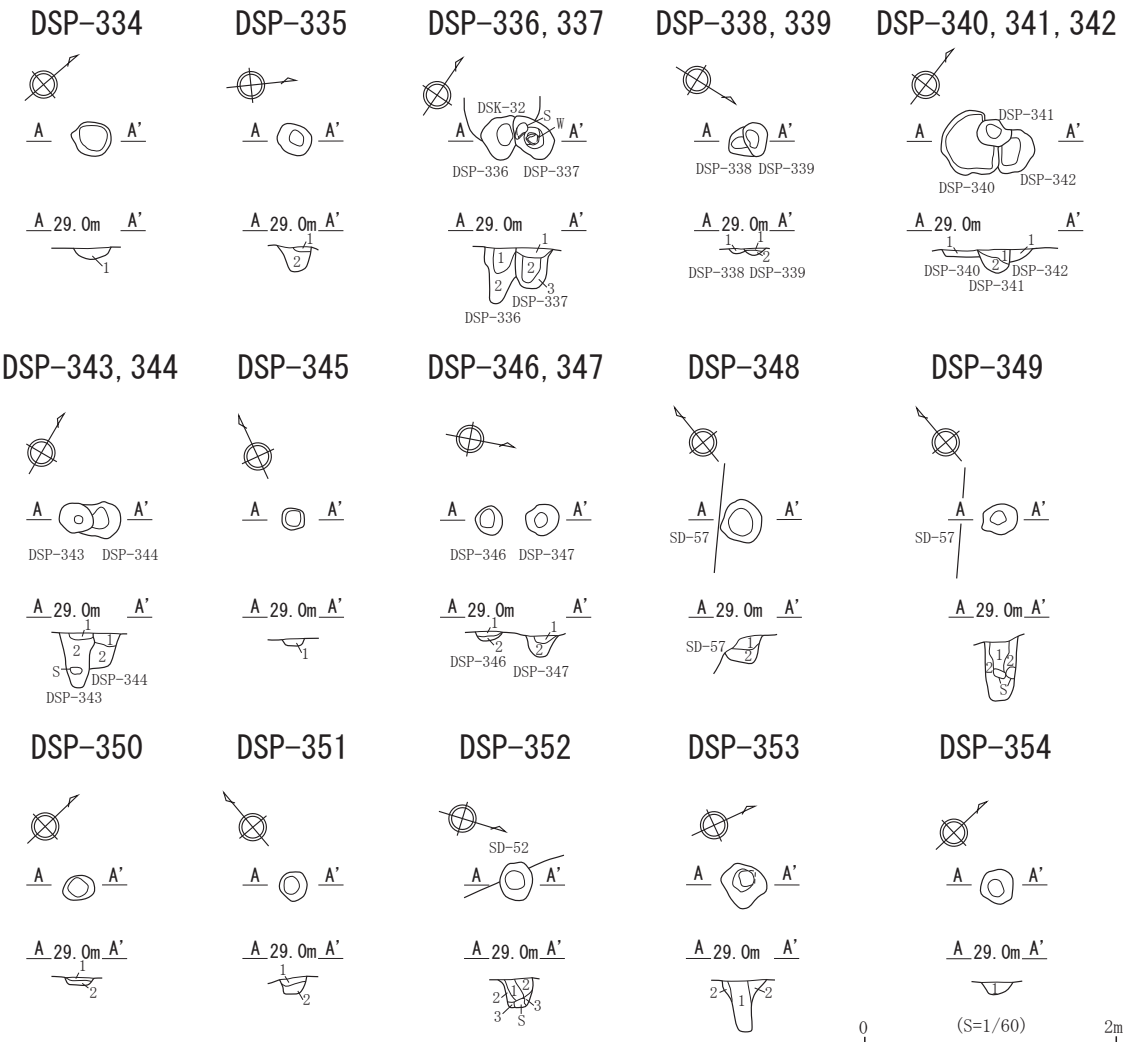
DSP-289
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-290
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量

DSP-291
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)中量



第188図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図お・か



DSP-334
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量

DSP-335
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量

DSP-336
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

DSP-337
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-338
第1層　10YR3/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量

DSP-339
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-340
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層

DSP-341
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量

DSP-342
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-343
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-344
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

DSP-345
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-346
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層

DSP-347
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-348
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-349
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-350
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量、火山灰ブロック(φ30mm)少量

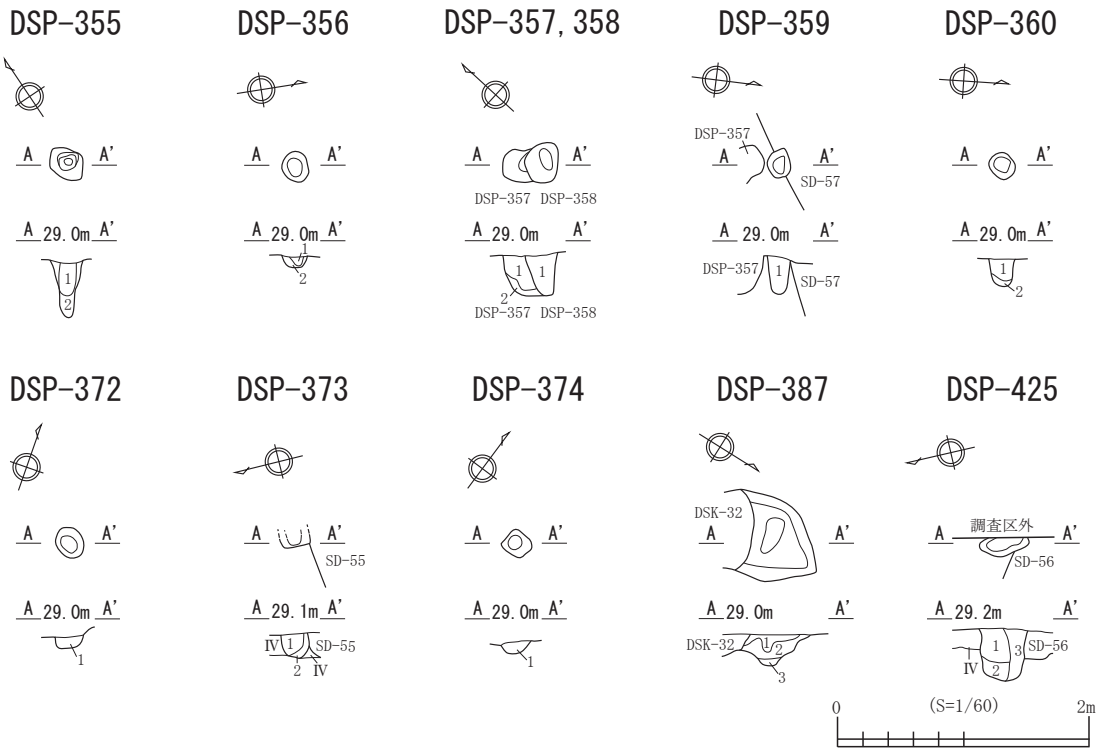
DSP-351
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-352
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～20mm)少量
第3層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量

DSP-353
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量

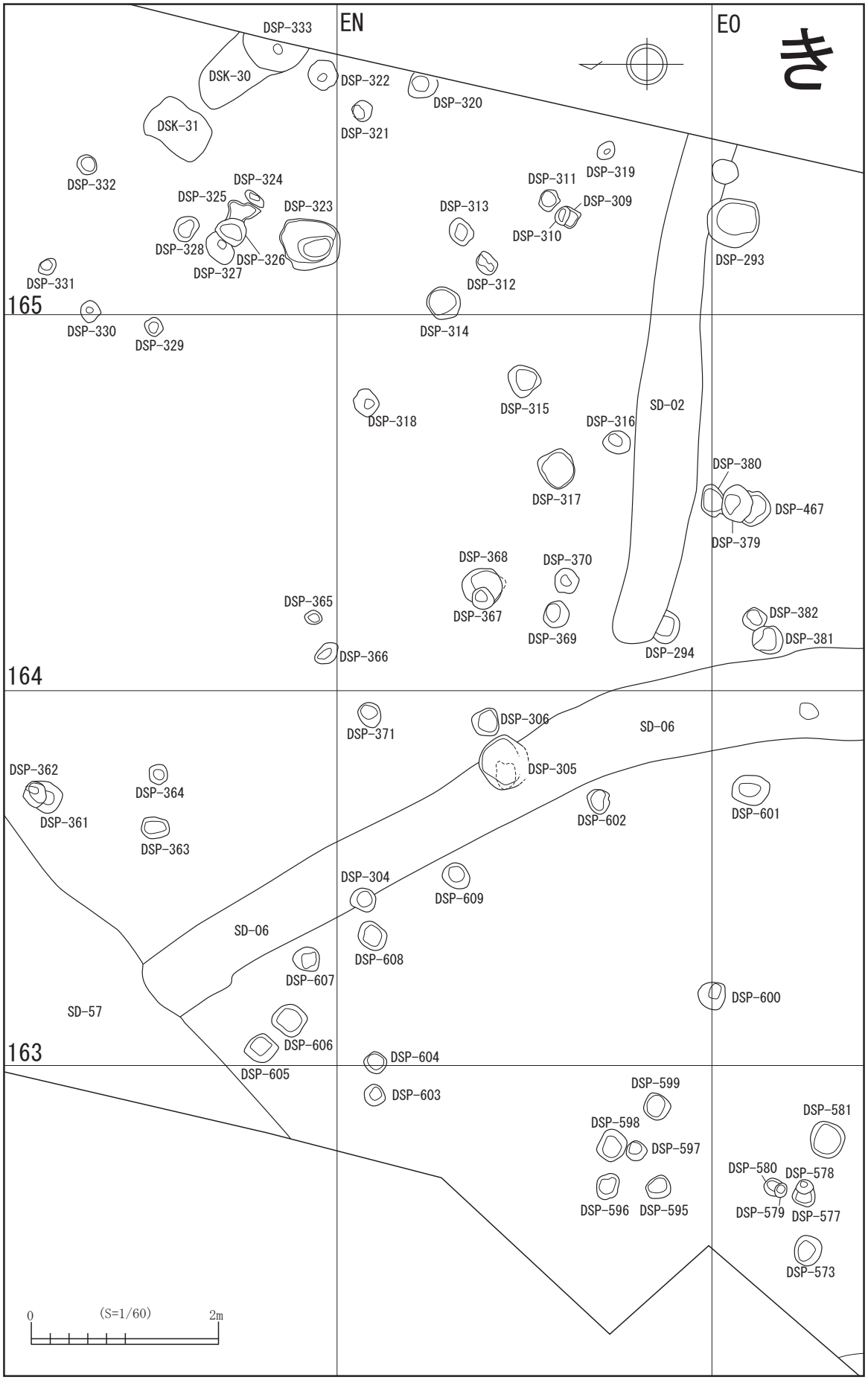
DSP-354
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～15mm)少量

第189図　川原館遺跡Ｄ区SPか（１）

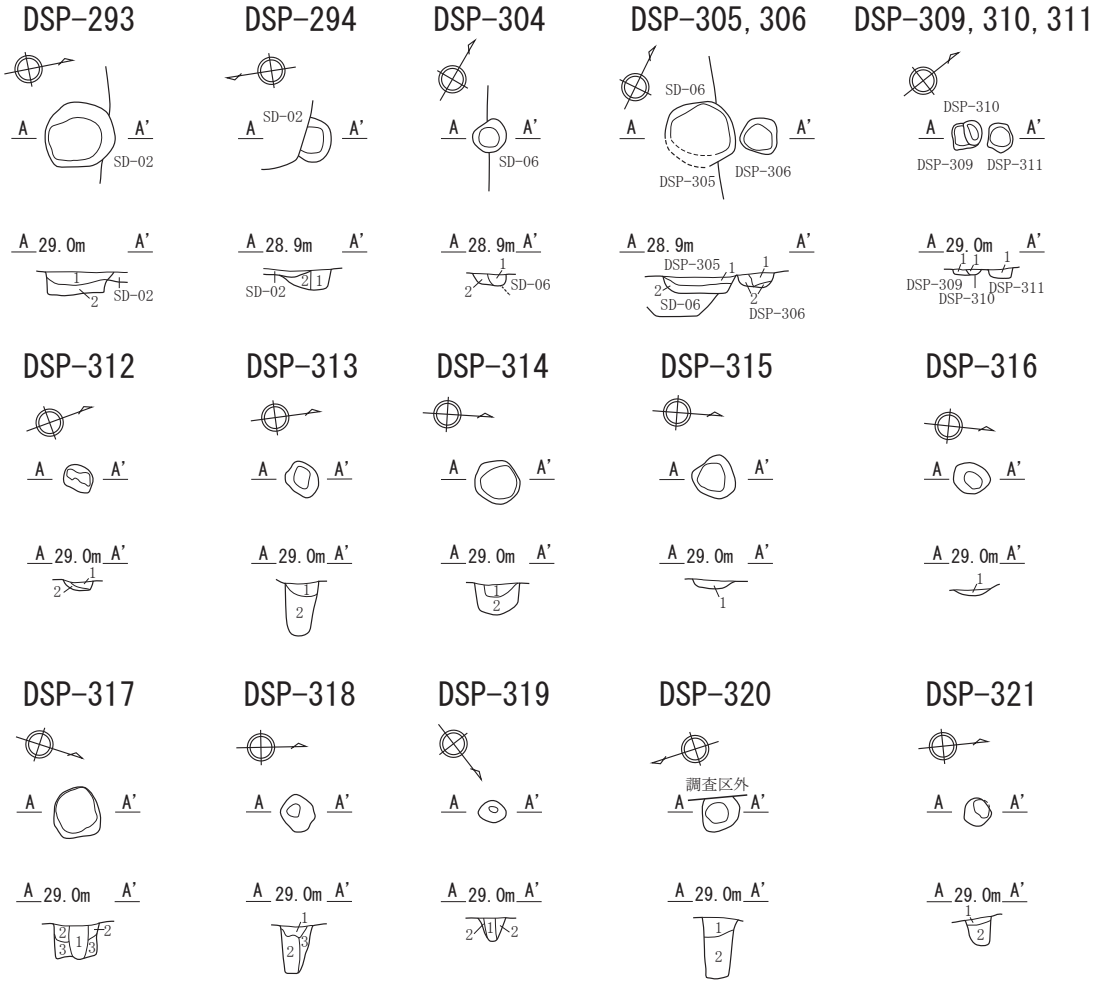


DSP-355
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-356
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
DSP-357
第1層　10YR2/3　黒色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
DSP-358
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)中量
DSP-359
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-360
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-372
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-373
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-374
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-387
第1層　10YR2/1　黒色土　　ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～100mm)多量
第3層　10YR4/6　褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層
DSP-425
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量

第190図　川原館遺跡Ｄ区SPか（２）



第191図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図き

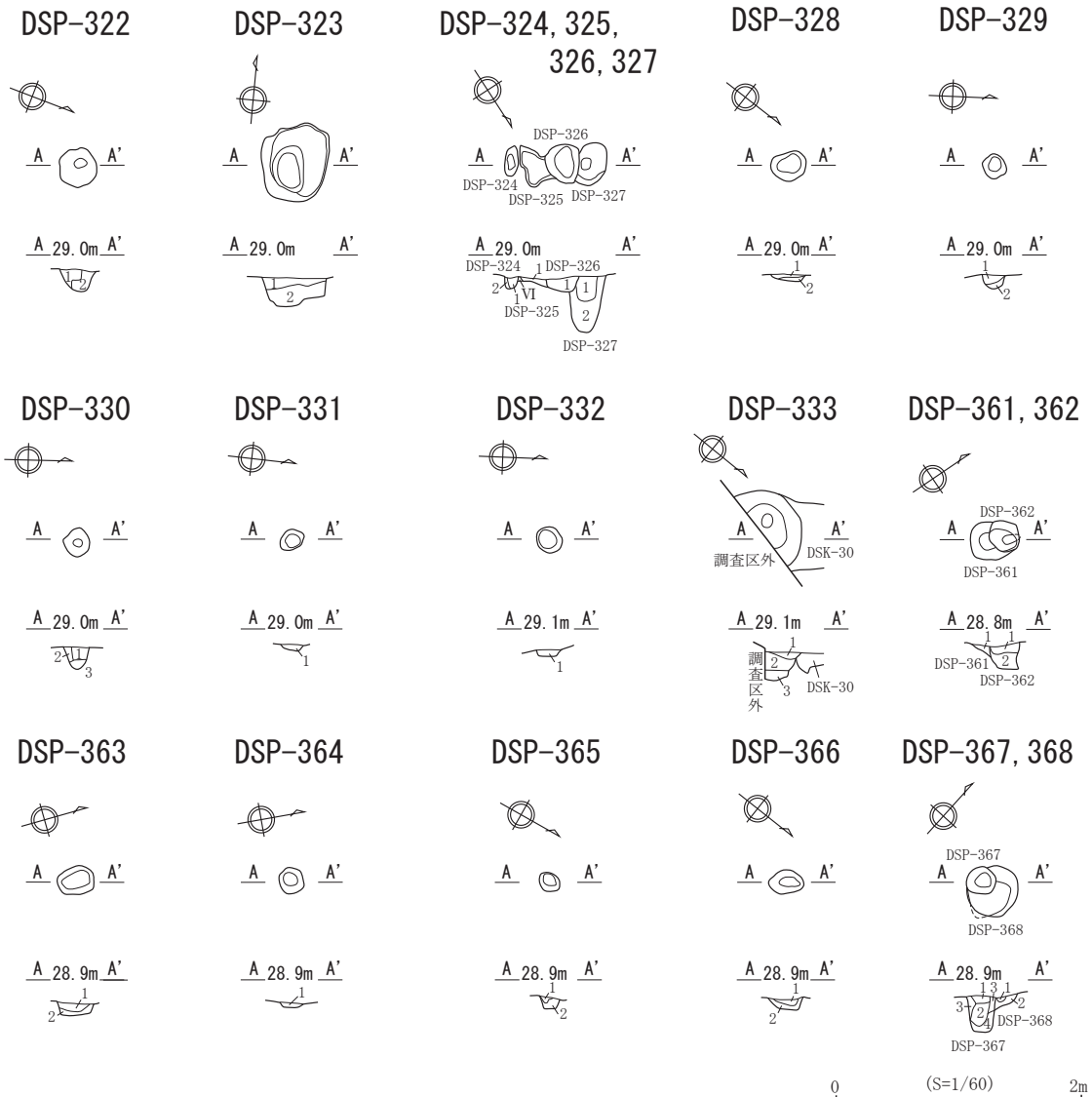


DSP-293
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-294
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-304
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-305
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ロームブロック(φ20～50mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-306
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-309
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-310
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
DSP-311
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-312
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
DSP-313
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-314
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

0　(S=1/60)　2m

DSP-315
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-316
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
DSP-317
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-318
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-319
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-320
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-321
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

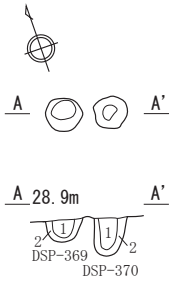
第192図　川原館遺跡Ｄ区SPき（１）



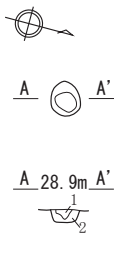
DSP-322
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-323
第1層　10YR2/1　黒色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)多量
DSP-324
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合層
DSP-325
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-326
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-327
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-328
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-329
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-330
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-331
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
DSP-332
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
DSP-333
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1mm)微量
第2層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～7mm)中量、酸化鉄粒(φ1～2mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
DSP-361
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-362
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-363
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-364
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
DSP-365
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-366
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
DSP-367
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-368
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR6/4　にぶい黄橙色土と10YR2/2黒褐色土の混合層

第193図　川原館遺跡Ｄ区SPき（２）

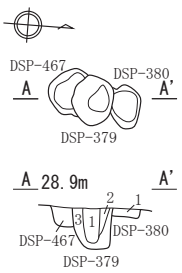
DSP-369, 370



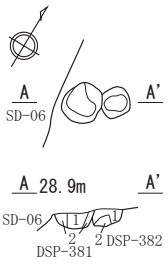
DSP-371



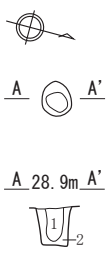
DSP-379, 380, 467



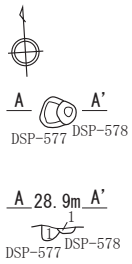
DSP-381, 382



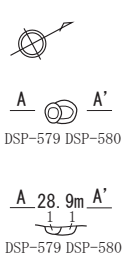
DSP-573



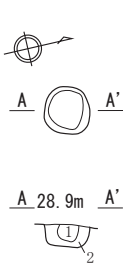
DSP-577, 578



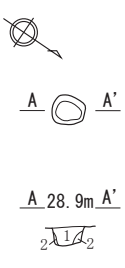
DSP-579, 580



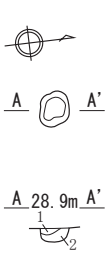
DSP-581



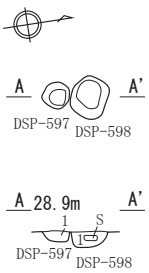
DSP-595



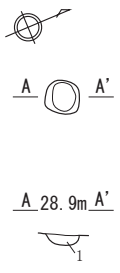
DSP-596



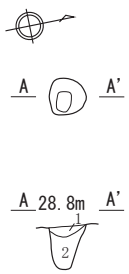
DSP-597, 598



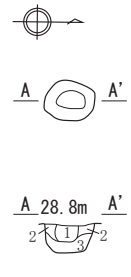
DSP-599



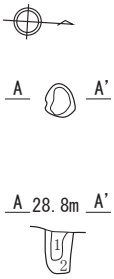
DSP-600



DSP-601



DSP-602



DSP-369
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、礫(φ50mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-370
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-371
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-379
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-380
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
黒色土(10YR2/2)少量混入、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

DSP-381
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

DSP-382
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-573
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～6mm)少量

DSP-577
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-578
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量

DSP-579
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-580
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

0　(S=1/60)　2m

DSP-581
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

DSP-595
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-596
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～9mm)中量

DSP-597
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量、粘土粒(φ10mm)少量

DSP-598
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

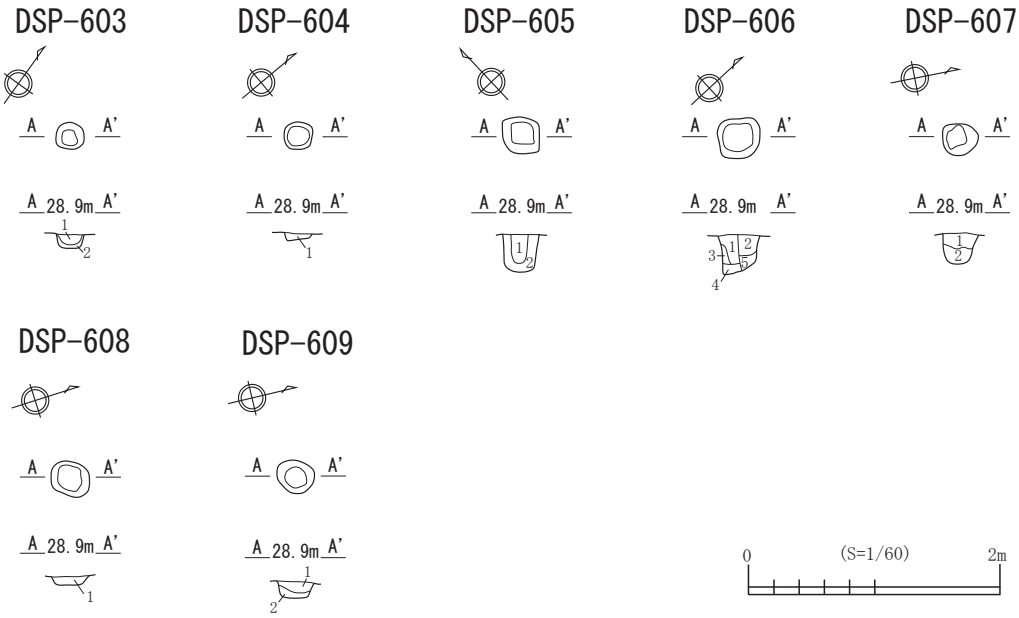
DSP-599
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-600
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ20～40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　暗褐色土と10YR6/4にぶい黄橙色土の混合層

DSP-601
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

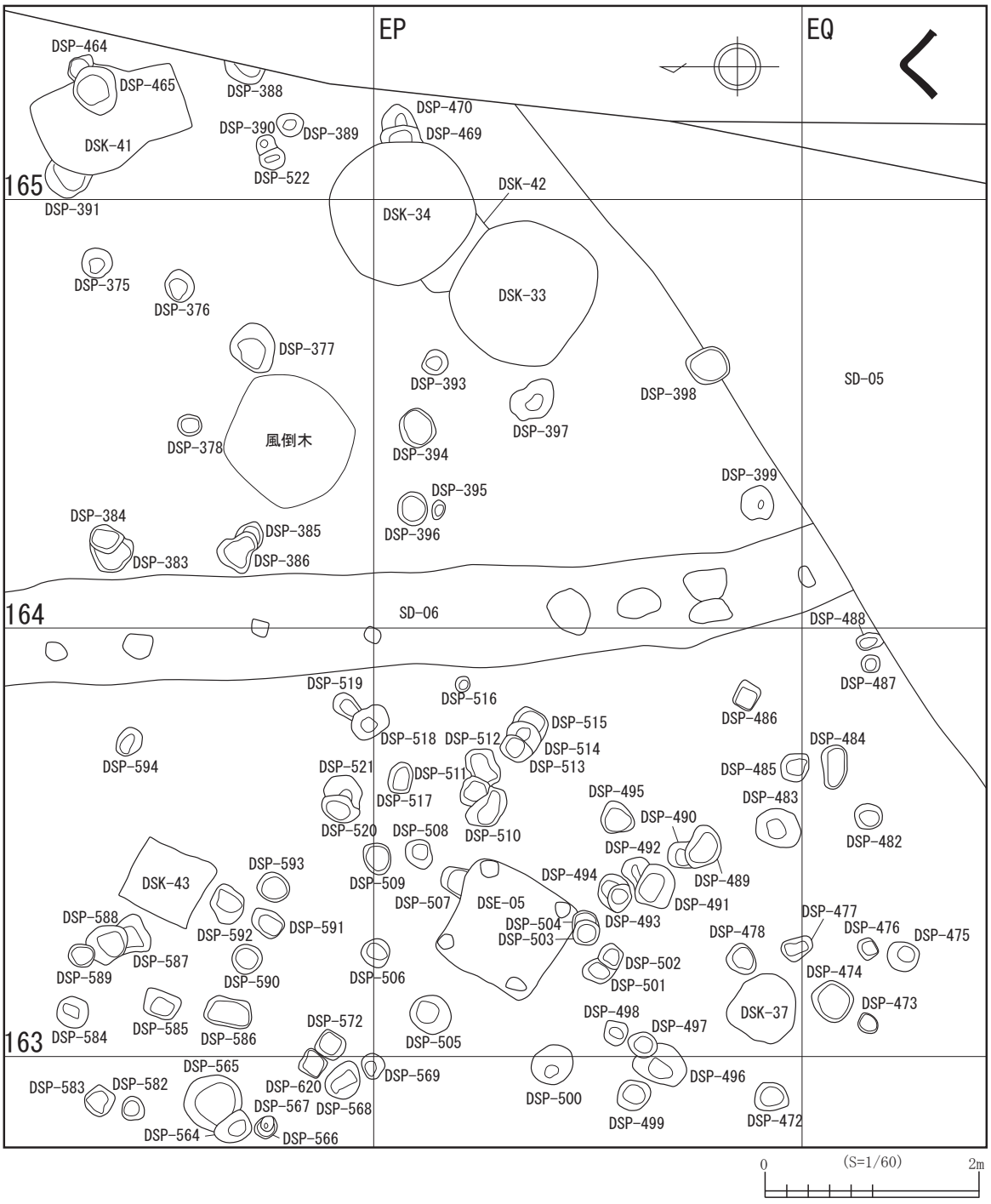
DSP-602
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

第194図　川原館遺跡Ｄ区SPき（３）

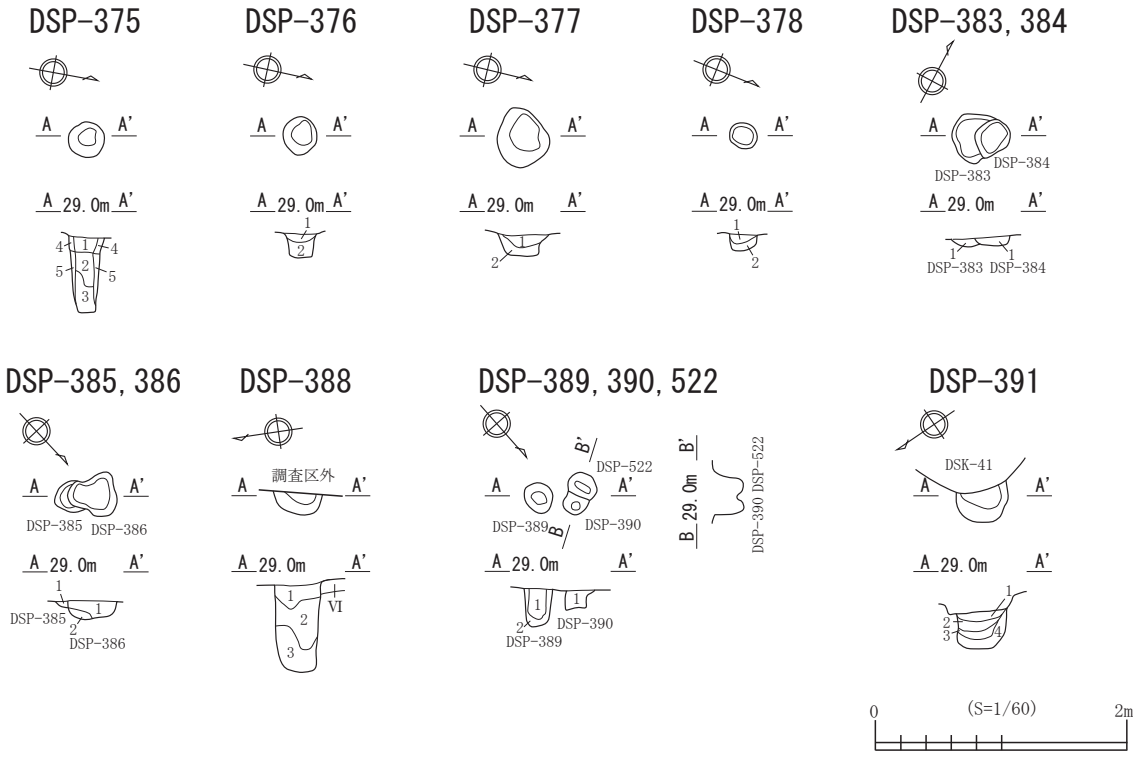


DSP-603
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-604
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-605
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-606
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/4　暗褐色土と10YR6/4にぶい黄褐色土の混合層
第5層　10YR4/2　灰黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
DSP-607
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-608
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-609
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量

第195図　川原館遺跡Ｄ区SPき（４）

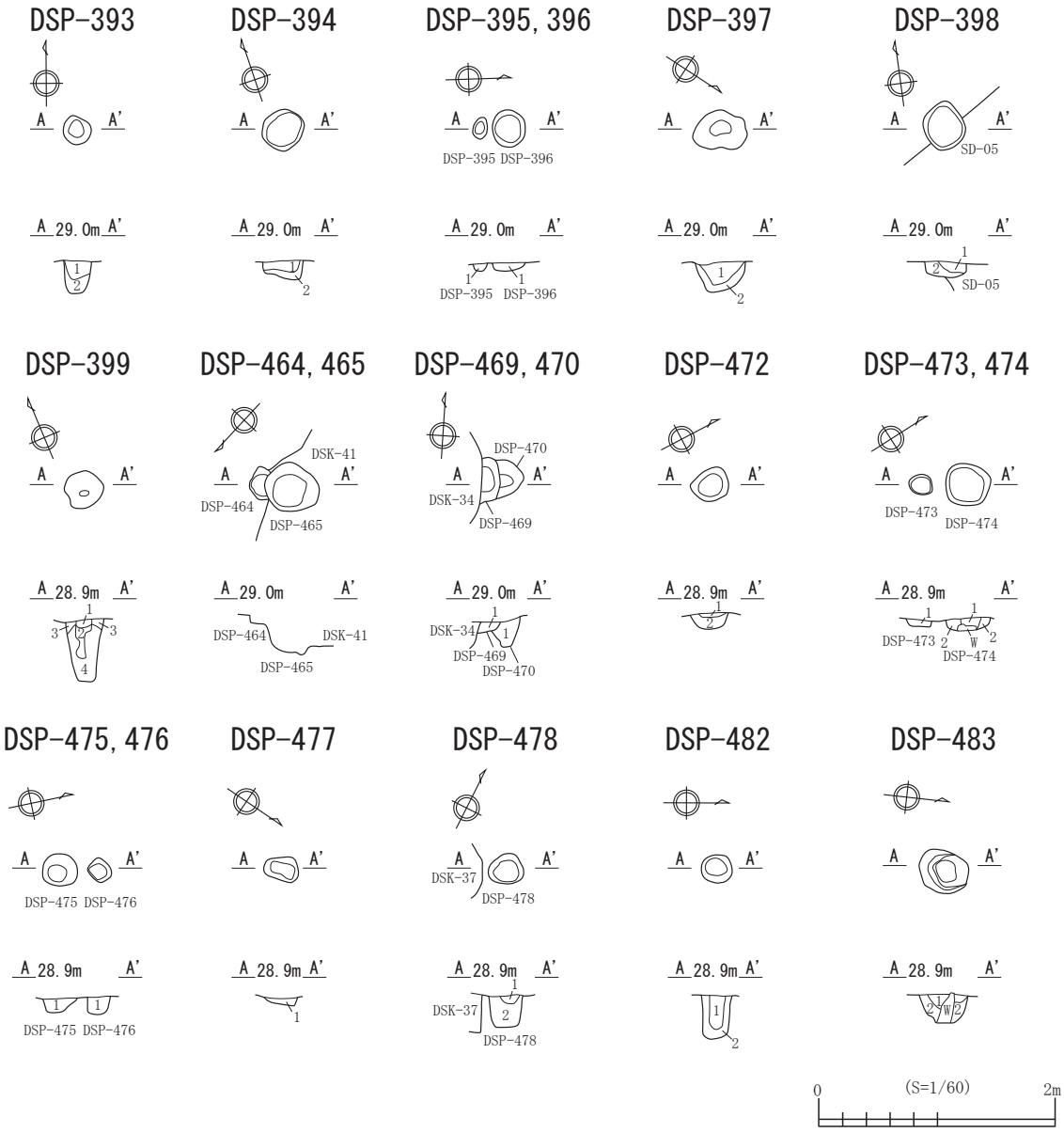


第196図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図く



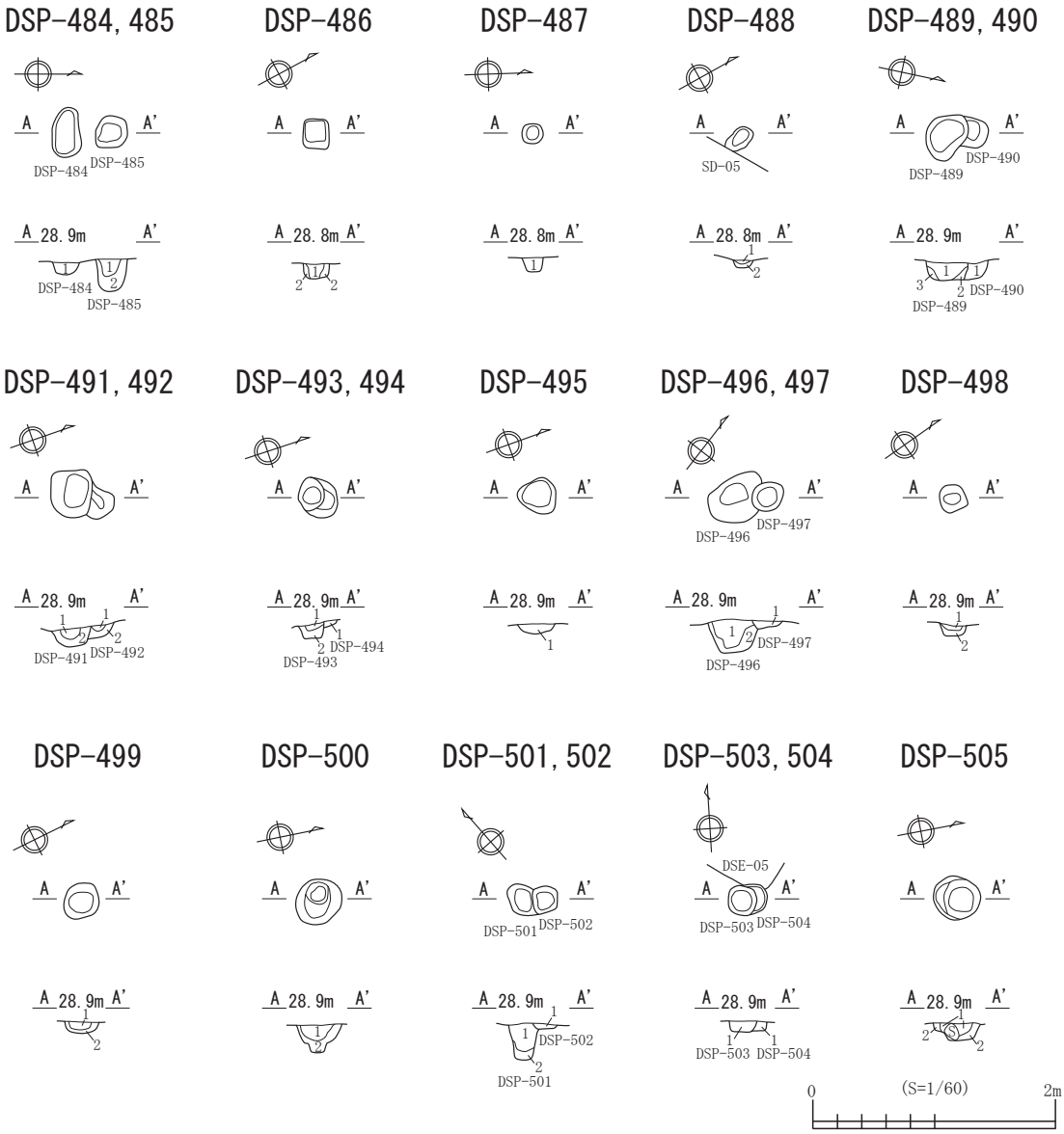
DSP-375
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第5層　10YR5/4　にぶい黄褐色土
DSP-376
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-377
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-378
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-383
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-384
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-385
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄橙色土の混合層
DSP-386
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-388
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ20～80mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-389
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-390
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-391
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

第197図　川原館遺跡Ｄ区SPく（1）



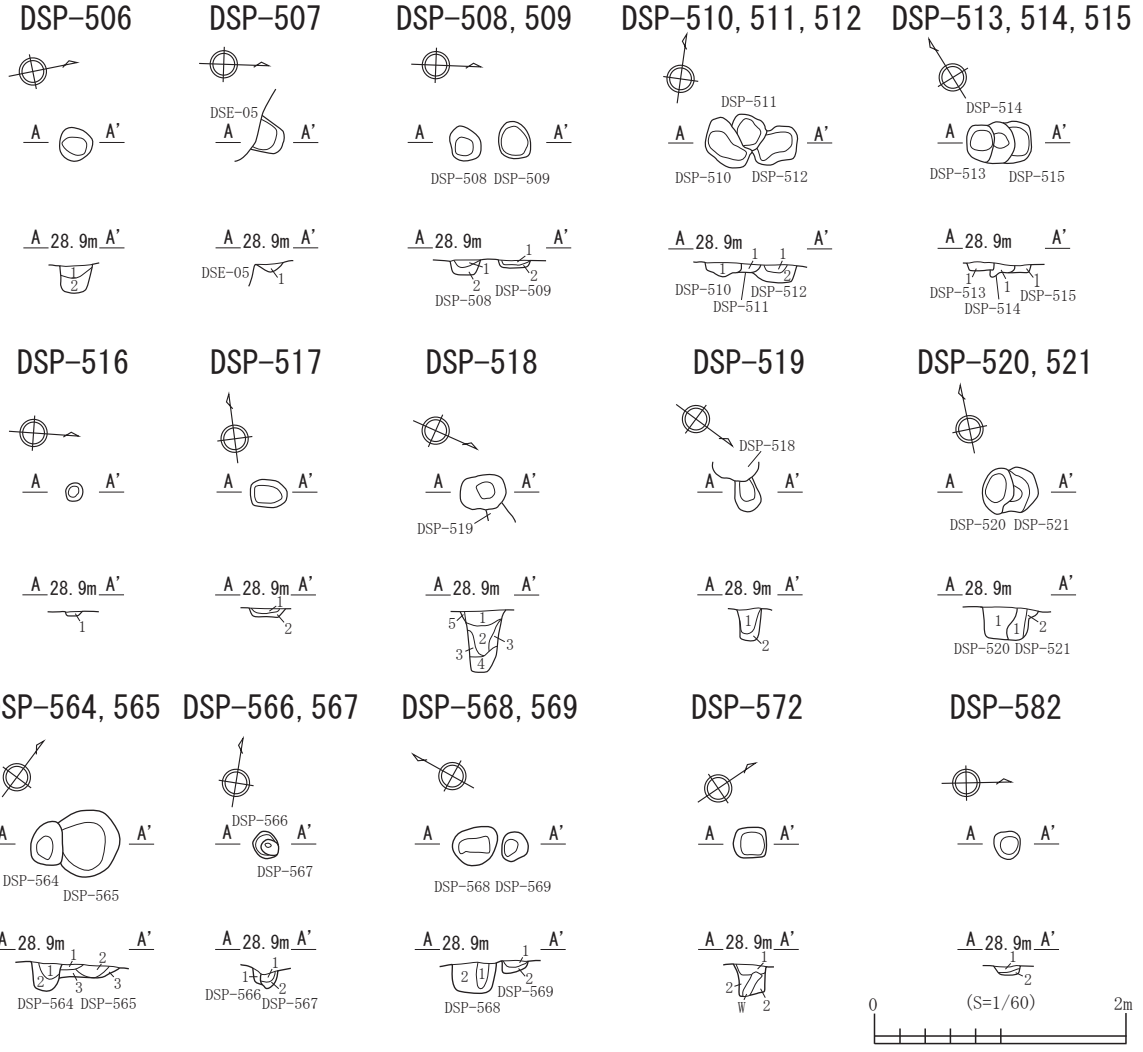
DSP-393
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-394
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ30～50mm)少量、
炭化粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-395
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-396
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-397
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量
DSP-398
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-399
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-469
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-470
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-472
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～50mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-473
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-474
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、ロームブロック(φ80mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-475
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-476
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-477
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-478
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-482
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-483
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、
炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

第198図　川原館遺跡Ｄ区SPく（２）



DSP-484
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-485
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/4にぶい黄橙色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量
DSP-486
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-487
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
DSP-488
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR7/4　にぶい黄橙色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
DSP-489
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-490
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
DSP-491
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-492
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-493
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-494
第1層　10YR5/4　にぶい黄褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層
DSP-495
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-496
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-497
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-498
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR7/6　明黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
DSP-499
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-500
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-501
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-502
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-503
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-504
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-505
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層

第199図　川原館遺跡Ｄ区SPく（３）



DSP-506
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-507
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-508
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-509
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/6褐色土の混合層

DSP-510
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量、
炭化粒(φ1～5mm)少量

DSP-511
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

DSP-512
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層

DSP-513
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

DSP-514
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～30mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量

DSP-515
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)中量

DSP-516
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-517
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層

DSP-518
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
第4層　10YR6/4　にぶい黄橙色土と10YR3/4暗褐色土の混合層
第5層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層

DSP-519
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-520
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-521
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR5/6　黄褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層

DSP-564
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-565
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-566
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)少量

DSP-567
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

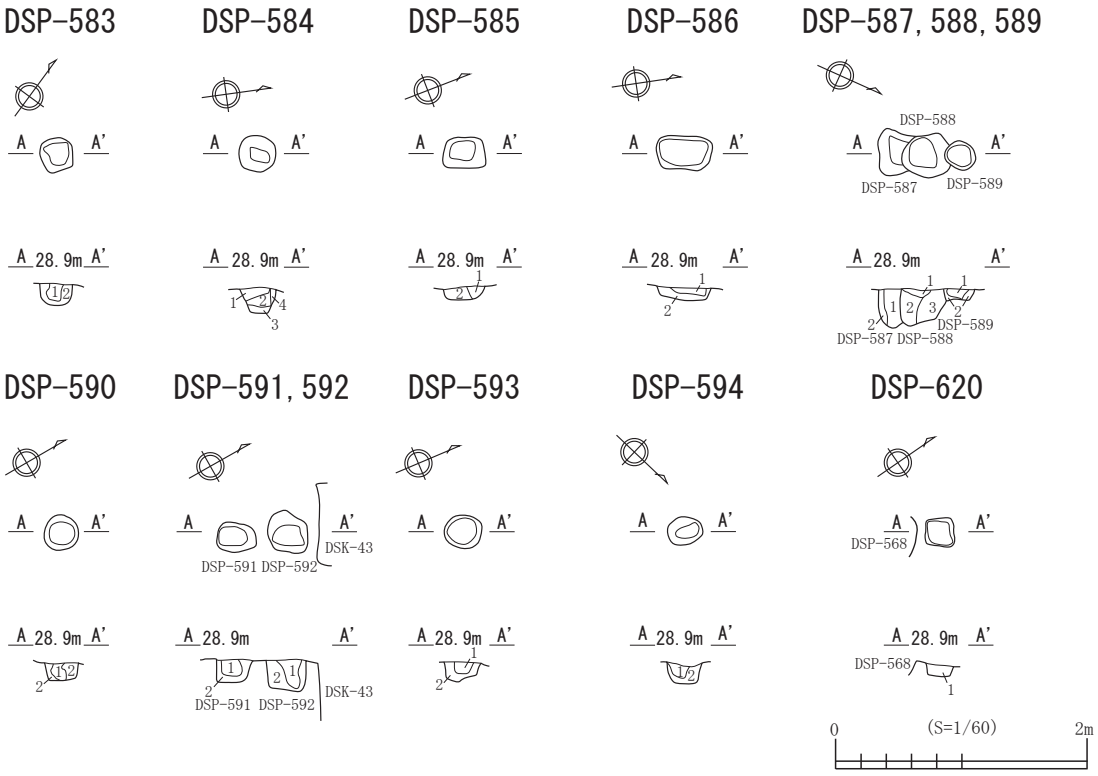
DSP-568
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-569
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層

DSP-572
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

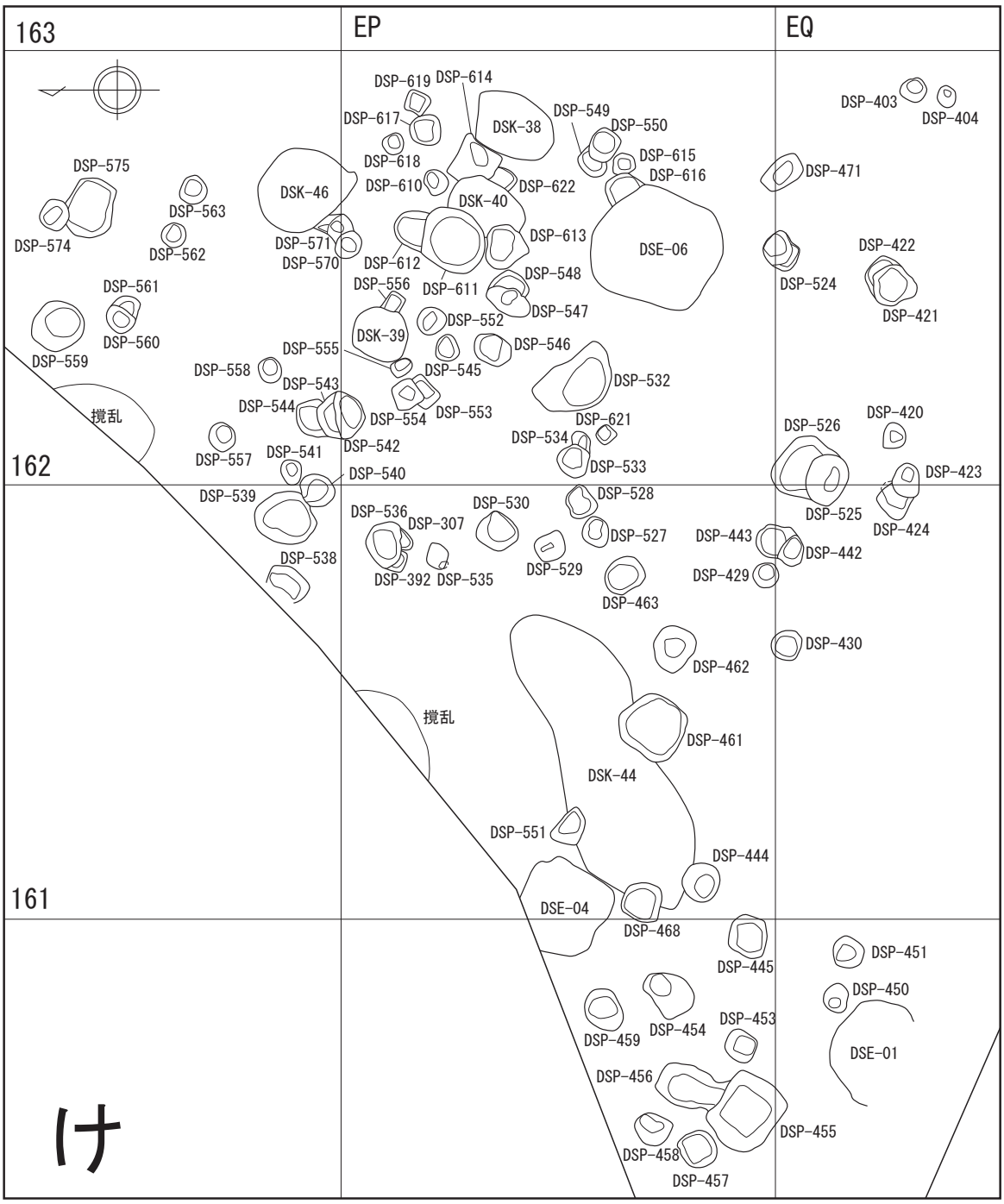
DSP-582
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量

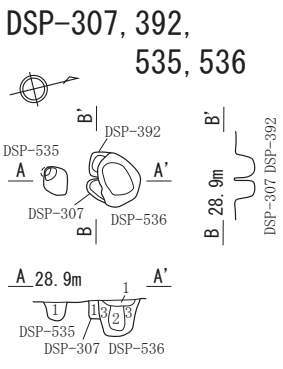
第200図　川原館遺跡Ｄ区SPく（４）

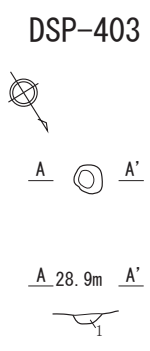


DSP-583
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-584
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ50mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量
第4層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層
DSP-585
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-586
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-587
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-588
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-589
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-590
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-591
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-592
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-593
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-594
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-602
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

第201図　川原館遺跡Ｄ区SPく（５）







DSP-307
第1層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

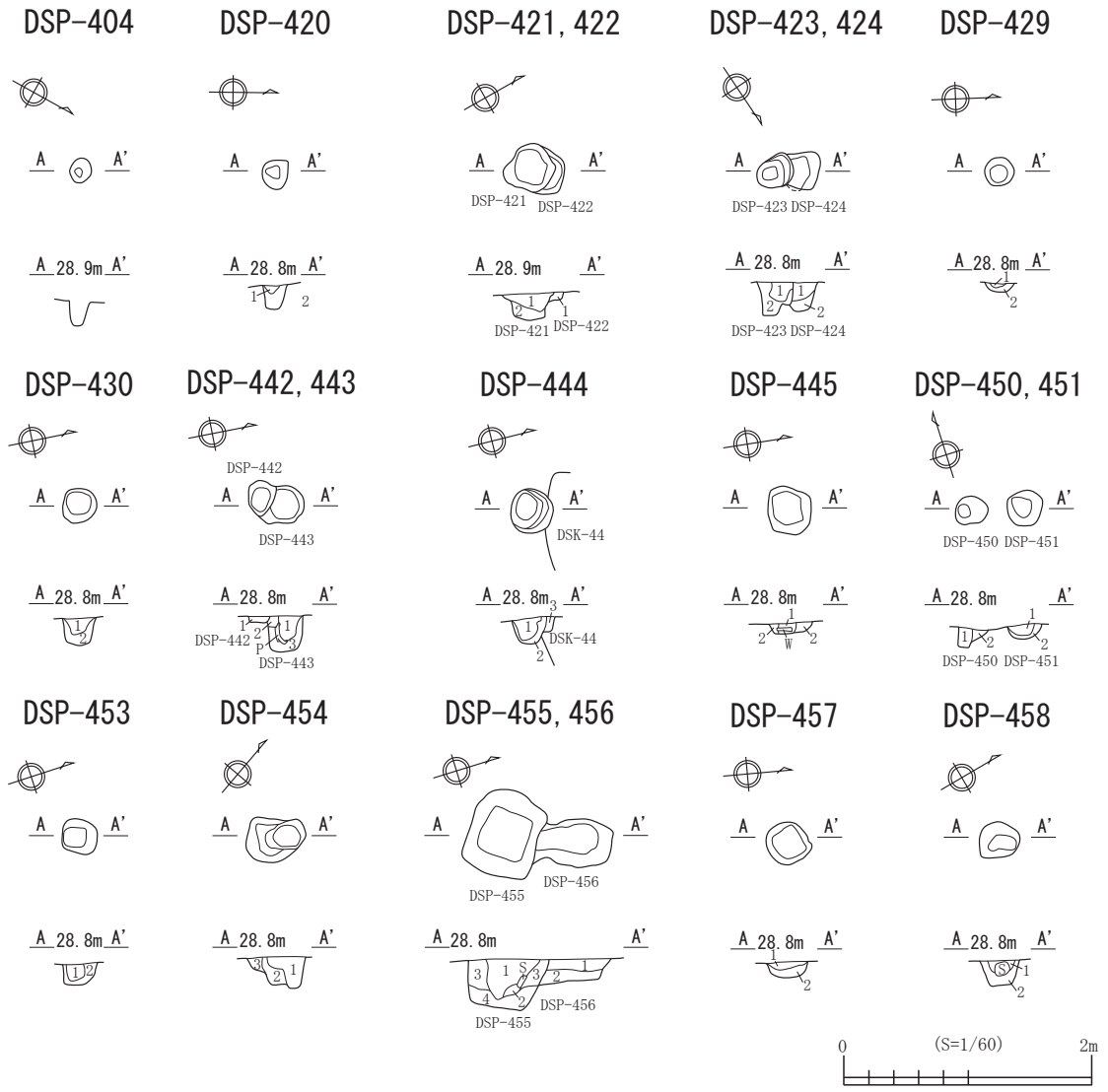
DSP-403
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
黒褐色土(10YR2/3)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

DSP-535
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

DSP-536
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

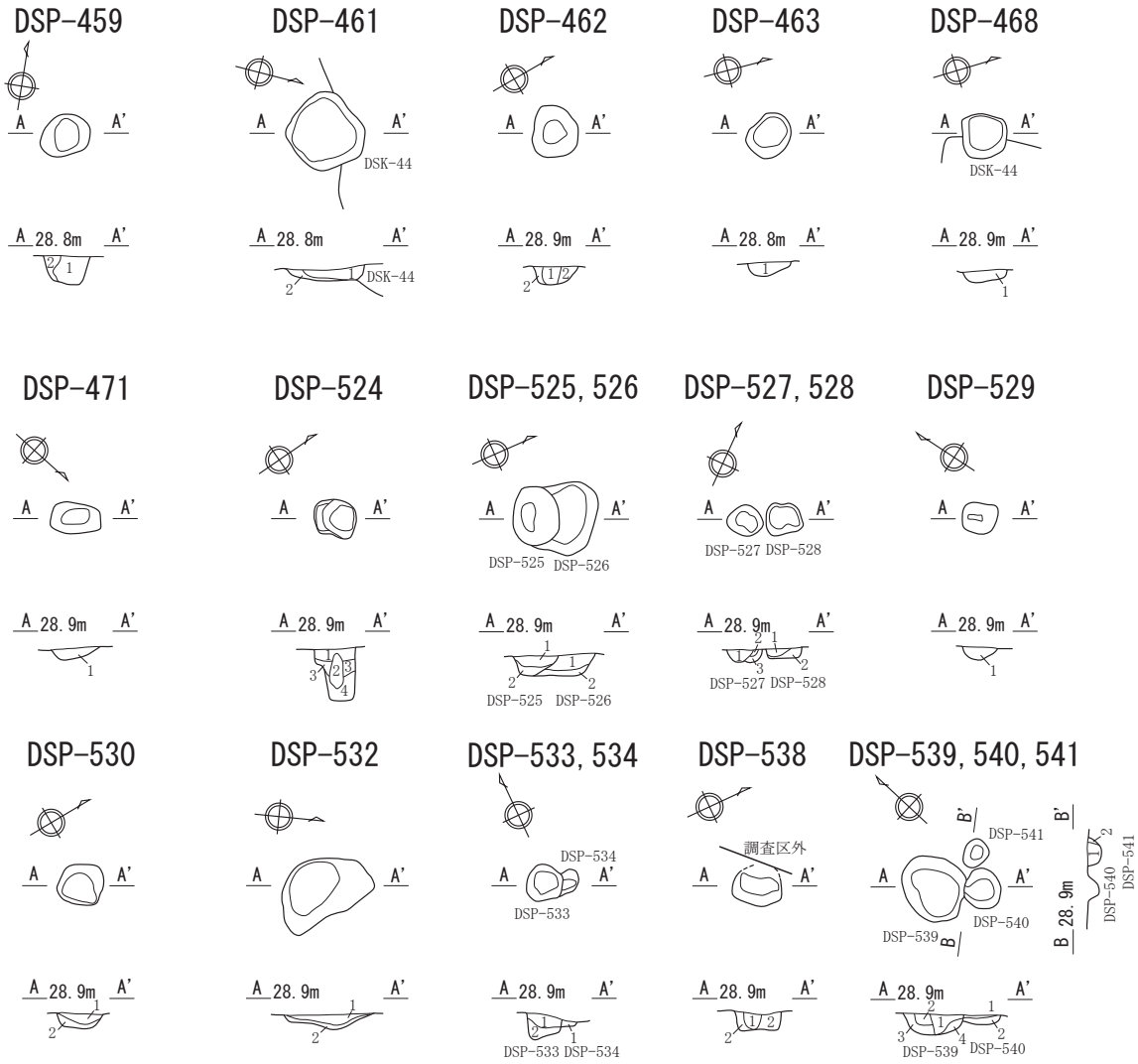
0　(S=1/60)　2m

第202図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図け・け（１）



DSP-420
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
DSP-421
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-422
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
DSP-423
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-424
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-429
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-430
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-442
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-443
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-444
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-445
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
DSP-450
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-451
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-453
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-454
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-455
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～10mm)中量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/6褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)中量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-456
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-457
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
DSP-458
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量

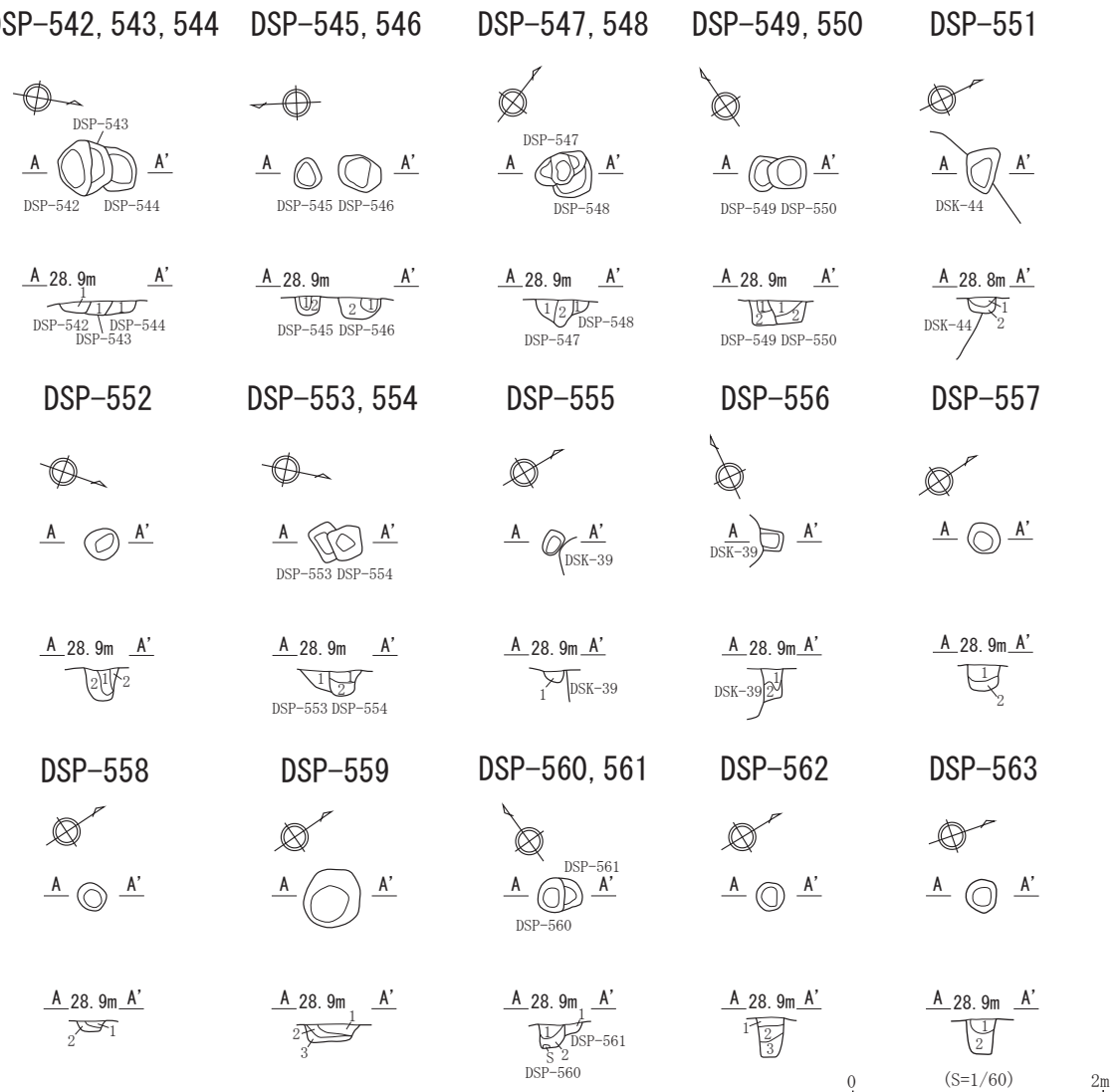
第203図　川原館遺跡Ｄ区SPけ（２）



DSP-459
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-461
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-462
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-463
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR7/6　明黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-468
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ100mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-471
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-524
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ30mm)微量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層　10YR4/4　褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
DSP-525
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、
焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR4/4　褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
DSP-526
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～10mm)少量、
焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

DSP-527
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量
第3層　10YR5/6　黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
DSP-528
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR4/6　褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合層
DSP-529
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-530
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量
DSP-532
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-533
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-534
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)中量
DSP-538
第1層　10YR2/2　黒褐色土
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-539
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～10mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-540
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR4/4褐色土の混合層
DSP-541
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

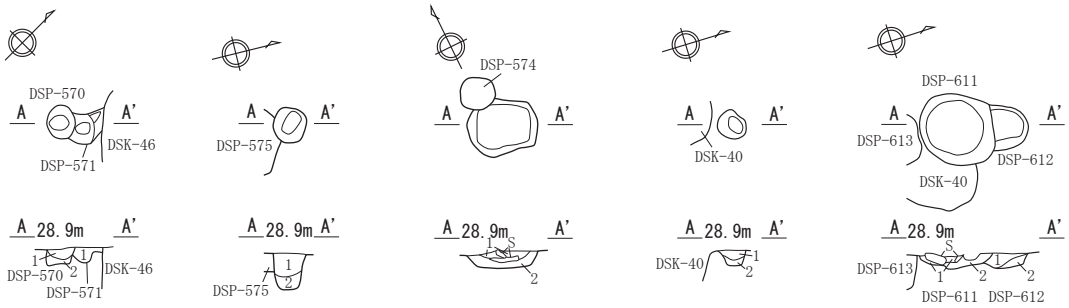
第204図　川原館遺跡Ｄ区SPけ（３）



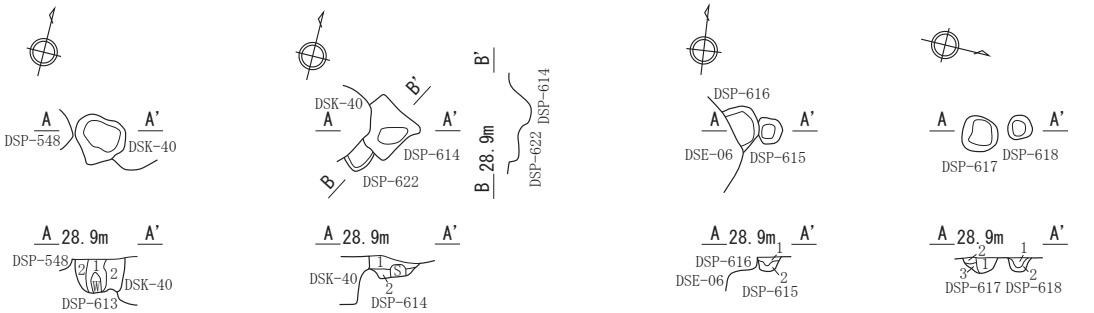
DSP-542
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-543
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量、礫(φ80mm)少量
DSP-544
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-545
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-546
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-547
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-548
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　炭化粒(φ1～5mm)少量
DSP-549
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-550
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-551
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-552
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-553
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-554
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-555
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-556
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-557
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-558
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-559
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、
炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
DSP-560
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ20～30mm)少量、
炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-561
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-562
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-563
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)微量

第205図　川原館遺跡Ｄ区SPけ（４）

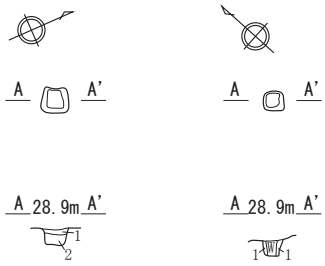
DSP-570, 571　DSP-574　DSP-575　DSP-610　DSP-611, 612

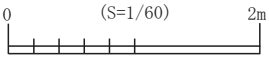


DSP-613　DSP-614, 622　DSP-615, 616　DSP-617, 618



DSP-619　DSP-621

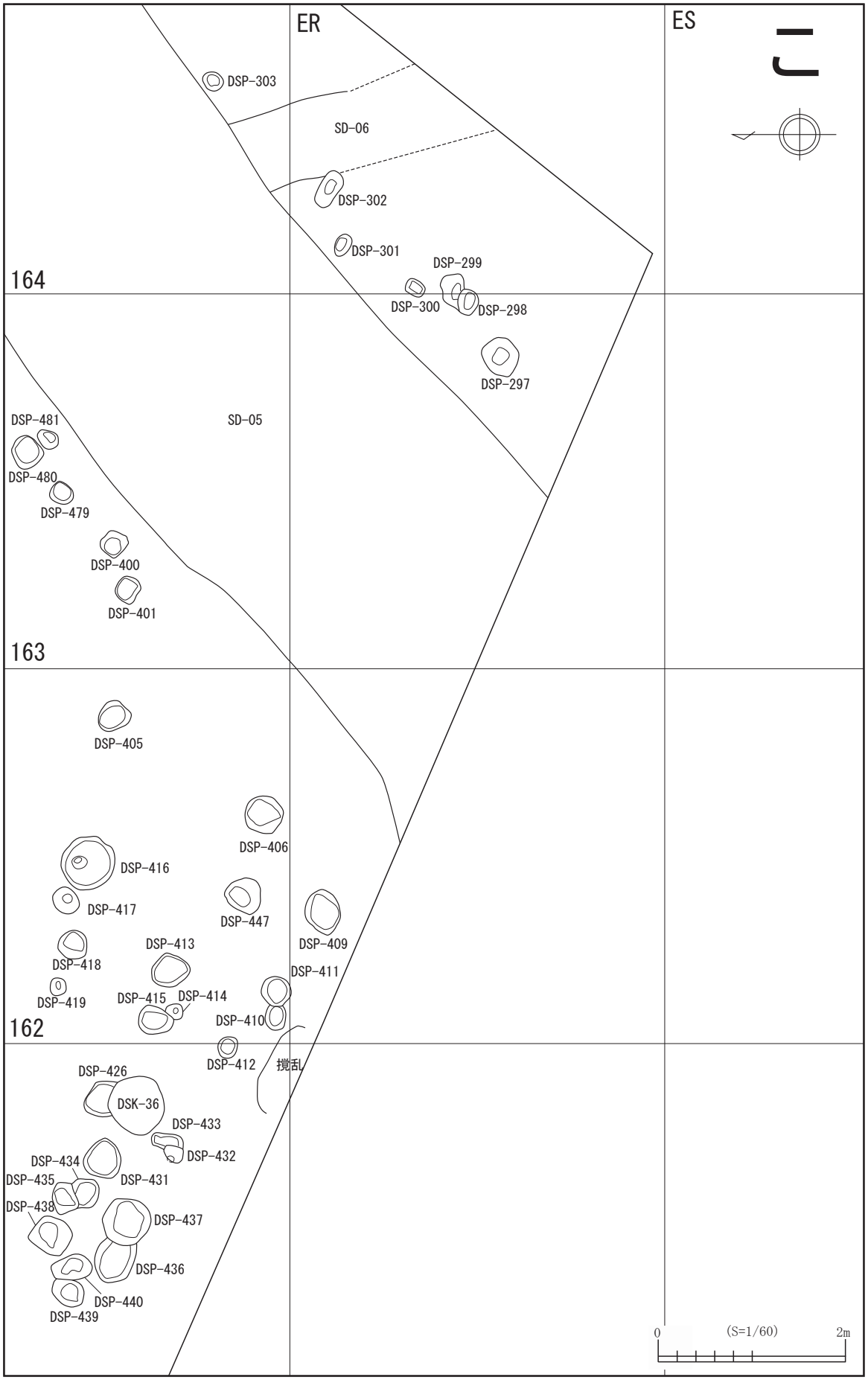




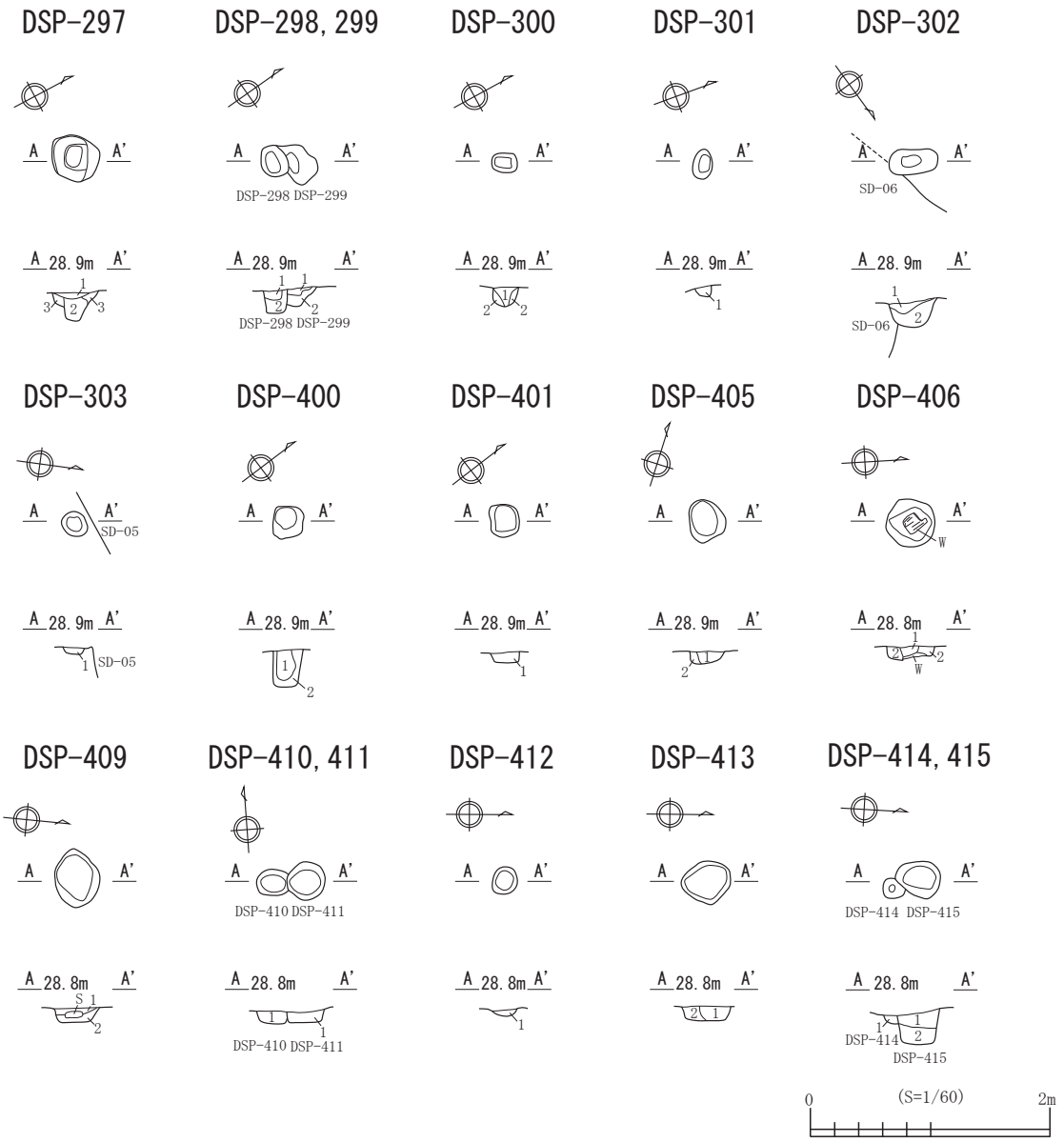
DSP-570
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-571
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-574
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-575
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層　炭化粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-610
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-611
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～6mm)少量
DSP-612
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層

DSP-613
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-614
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-615
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-617
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量
第3層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR3/4暗褐色土の混合層
DSP-618
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
DSP-619
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-621
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量

第206図　川原館遺跡Ｄ区SPけ（５）



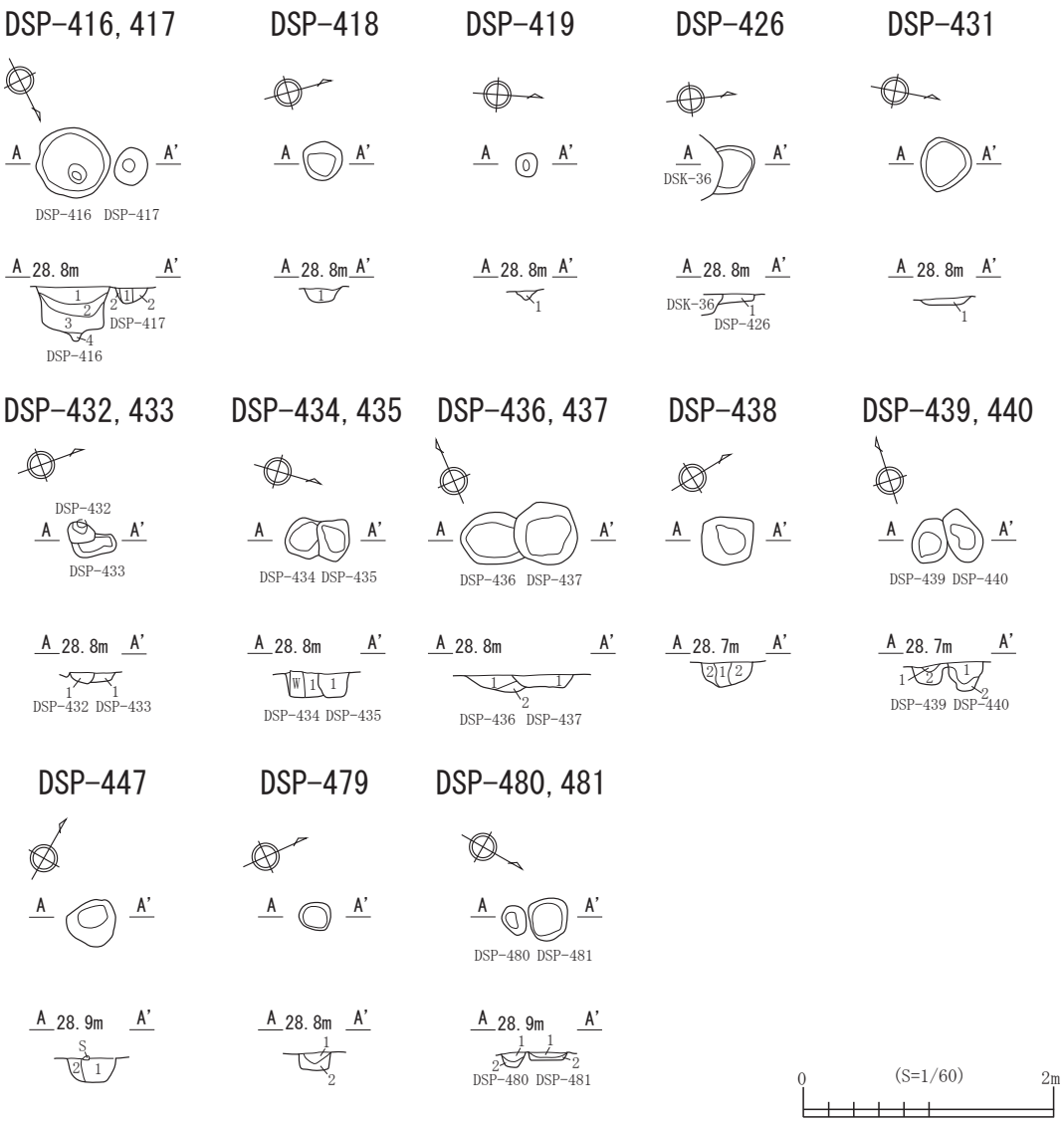
第207図　川原館遺跡Ｄ区SP区分図こ



DSP-297
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第4層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層
DSP-298
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-299
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　焼土粒(φ3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-300
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
DSP-301
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-302
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量
DSP-303
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
DSP-400
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-401
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量

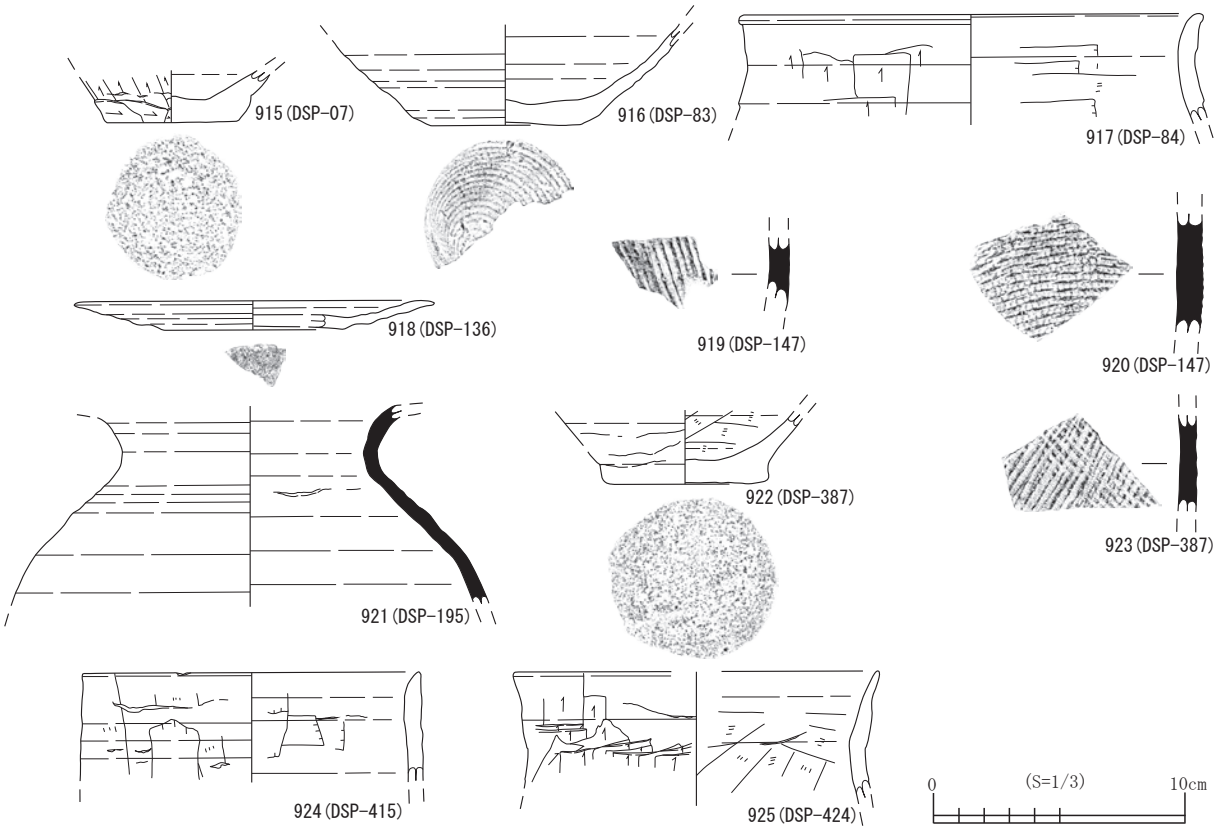
DSP-405
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、
ロームブロック(φ50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
DSP-406
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～10mm)少量
DSP-409
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)中量
DSP-410
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、
ロームブロック(φ50mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-411
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-412
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
DSP-413
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-414
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR7/6明黄褐色土の混合層
DSP-415
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量

第208図　川原館遺跡Ｄ区SPこ（１）



DSP-416
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
DSP-417
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-418
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-419
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-426
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-431
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層
DSP-432
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-433
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-434
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-435
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～8mm)微量
DSP-436
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-437
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-438
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-439
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、
ロームブロック(φ10～30mm)中量、
炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-440
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
DSP-447
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄粒(φ1～8mm)少量
DSP-479
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ20～40mm)少量、
酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
DSP-480
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
DSP-481
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層

第209図　川原館遺跡Ｄ区SPこ（２）



第210図　川原館遺跡Ｄ区出土遺物SP

７．遺構外出土遺物

（１）土器

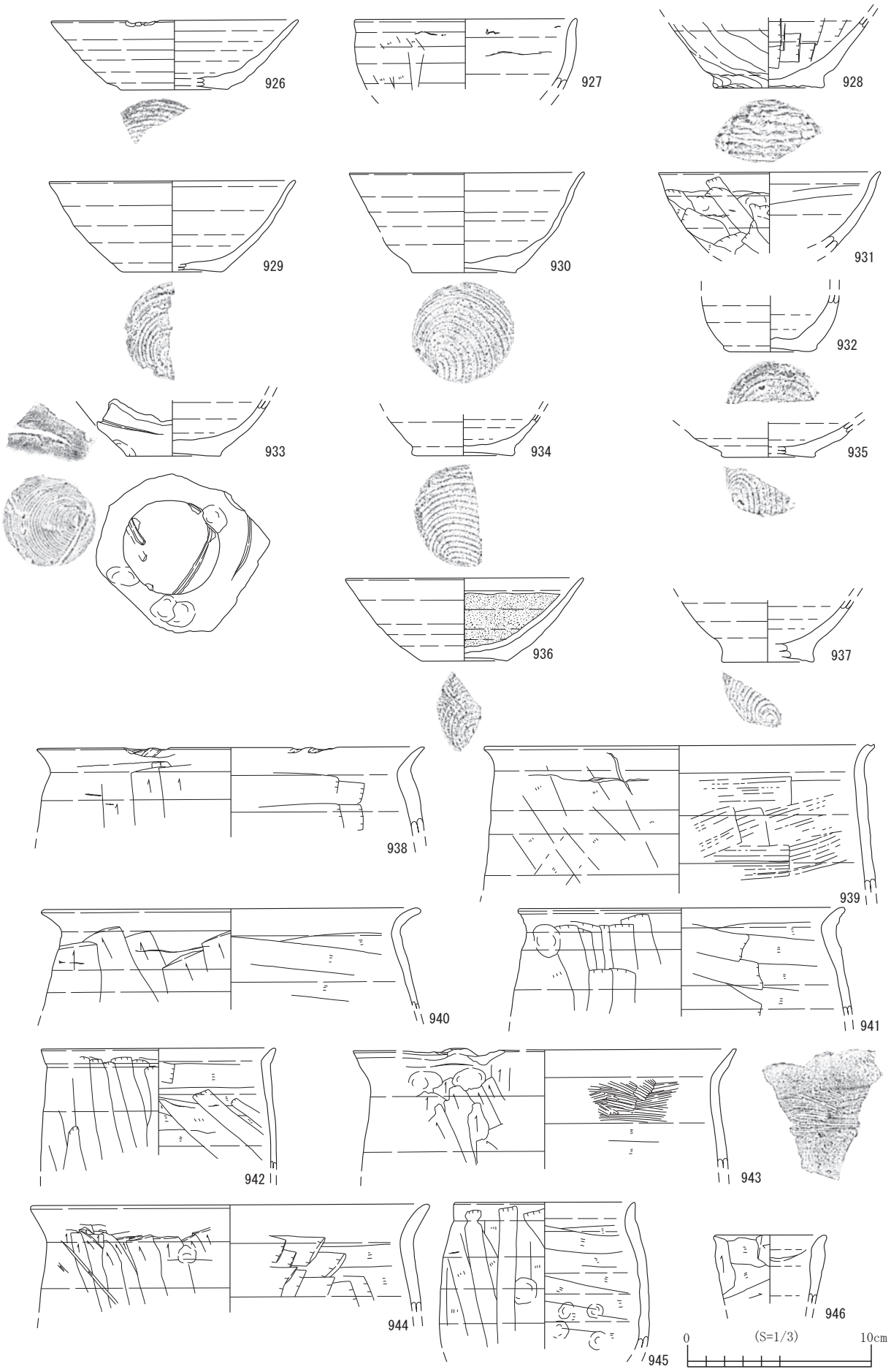
土師器皿１点、坏10点、甕６点、小甕２点、小壺１点、ミニチュア土器１点、製塩土器１点、須恵器長頸壺２点、甕14点、常滑壺１点（第211・212図926～964）を図示した。926は皿の口縁～底部で、ロクロ調整が施されている。坏は10点のうち、非ロクロ２点（927・928）、ロクロ調整８点（929～931、933～937）である。936は内面油痕が認められる。937は底部が柱状高台を呈する。甕はすべて口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が外反するもの（938、940・941）、体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反するもの（939、943・944）が認められる。942、945は小甕の口縁部～体部である。945は体部がやや丸みを帯び、口縁部へとすぼまる形状を呈する。942は体部がほぼ直線的で、口縁部が極端に短い形状を呈する。932は小壺の体部～底部で内外面ロクロ調整が施されている。947は製塩土器の体部で、輪積痕が認められ、ナデによって調整されている。948・949は須恵器長頸壺の口縁部、950～963は須恵器甕の頸部～体部である。甕は外面タタキ成形、内面ナデが施されている。964は常滑壺の体部～底部である。

（２）木製品

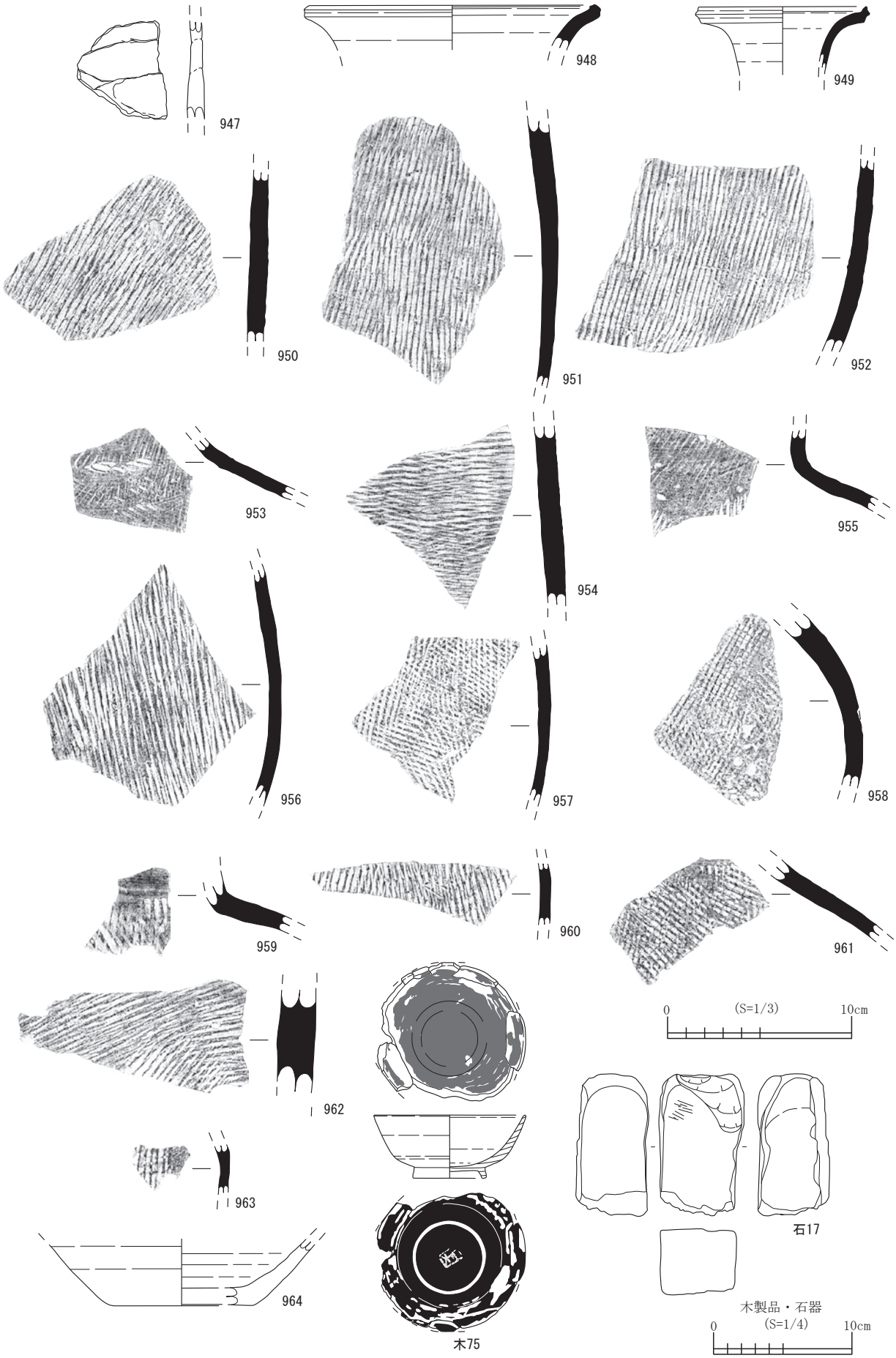
漆塗椀１点（第212図木75）を図示した。木75は外面黒漆、内面赤漆が塗布されている。

（３）石製品

砥石１点（第212図石17）を図示した。石17は平面長方形を呈する砥石である。



第211図　川原館遺跡Ｄ区遺構外出土土器



第212図　川原館遺跡Ｄ区遺構外出土遺物

第20表　川原館遺跡Ｄ区出土土器観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第149図	846	DSI-01	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(10.4)	(6.1)	－	5YR 7/6	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	少	少	少	多	内面輪積痕有、外面口縁部付着物有
第149図	847	DSI-01	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	内外面一部剥落
第155図	848	DSK-01	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.6)	(3.4)	－	10YR 7/2	10YR 2/2	並	ナデ	ナデ	－	少	少	少	中	内外面煤付着
第155図	849	DSK-02	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.0)	(3.3)	－	5YR 5/8	2.5YR 5/8	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	多	少	少	多	内面口縁部煮炊痕有
第155図	850	DSK-05	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.4)	(4.9)	－	7.5YR 6/3	10YR 6/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	
第155図	851	DSK-06	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(3.1)	－	2.5YR 6/8	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	多	少	少	多	口縁部急激に先細る
第155図	852	DSK-06	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	多	多	中	少	
第155図	853	DSK-07	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 5/6	5YR 5/6	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	多	破断面磨滅、酸化焼成
第155図	854	DSK-11 SD-73	覆土 覆土	土師器	坏	口縁～底部	(10.8)	5.6	5.6	7.5YR 7/3	7.5YR 2/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ヘラミガキ	右回転糸切	少	少	多	多	内面黒色処理、内外面磨滅
第155図	855	DSK-11	覆土	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	7.5YR 3/3	10YR 5/2	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第155図	856	DSK-11	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/1	10YR 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	多	胎土内赤色粒３㎜多量
第155図	857	DSK-13	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	少	中	中	微	外面灰かぶり、器壁やや薄
第155図	858	DSK-18	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 4/1	2.5Y 4/2	並	タタキ	ナデ	－	少	中	少	少	
第155図	859	DSK-18	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 3/1	2.5Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	
第155図	860	DSK-22	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 3/3	5YR 3/1	良	タタキ	ナデ	－	少	少	多	中	
第155図	861	DSK-28 SD-57 DSN-04	覆土	土師器	坏	口縁～底部	14.0	5.0	6.8	2.5YR 6/6	5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	少	多	形状が片側に大きく反り、歪んだ楕円形になっている
第155図	862	DSK-28	覆土	常滑	壺	体部～底部	－	(3.3)	7.2	10BG 1.7/1	5BG 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラナデ	多	中	少	少	外面自然釉付着
第155図	863	DSK-32	1層	土師器	坏	体部～底部	－	(2.3)	4.2	7.5YR 7/4	7.5YR 6/3	良	ヘラナデ	ヘラナデ	柾目痕	少	少	少	少	外面巻上痕、指頭圧痕有、内面油痕有、内面炭化物付着
第155図	864	DSK-32	1層	土師器	甕	口縁～体部	(21.0)	(4.8)	－	5YR 7/6	5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	少	少	中	
第155図	865	DSK-32	1層	土師器	甕	口縁～体部	22.0	(4.0)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 5/8	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	中	内外面輪積痕有
第155図	866	DSK-33	覆土	陶磁器	徳利	体部～底部	－	(16.0)	7.6	10Y7～2/1	5YR 3/4	良	ロクロナデ	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	－	－	内外面釉付、底部貼付高台
第155図	867	DSK-38	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.6)	(5.6)	－	7.5YR 7/3	7.5YR 4/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	少	中	外面巻上痕有、内外面煤付着
第155図	868	DSK-38	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.8)	(19.2)	－	5YR 7/6	2.5YR 5/8	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	多	中	中	少	体部下半が張る形状、内外面下部煤付着
第155図	869	DSK-38	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(21.4)	(12.0)	－	7.5YR 5/4	5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	少	内外面指頭圧痕有
第162図	870	SD-72	覆土	土師器	皿	体部～底部	－	(1.9)	6.8	7.5YR 6/4	5YR 4/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	少	少	内面煤付着
第162図	871	SD-72	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(9.0)	(4.3)	－	10YR 7/4	10YR 7/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	中	少	少	内面輪積痕有
第162図	872	SD-73	覆土	土師器	皿	体部～底部	－	(3.2)	4.8	5YR 4/2	7.5YR 1.7/1	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	柾目痕	少	少	少	少	内面炭化物付着、外面底部煤付着
第162図	873	SD-73	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.6)	5.3	2.5YR 5/8	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	
第162図	874	SD-73	覆土	土師器	坏	口縁～体部	11.2	(3.7)	－	7.5YR 8/4	7.5YR 8/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	外面巻上痕有、底部柱状高台と考えられる
第162図	875	SD-73	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.8)	－	10YR 7/3	10YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	多	中	少	中	外面墨書有
第162図	876	SD-73	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(9.1)	(5.1)	－	10YR 7/4	10YR 7/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	中	少	少	内面輪積痕有
第162図	877	SD-73	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	
第162図	878	SD-73	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 3/3	7.5YR 3/3	不良	タタキ	ナデ＋当て具痕	－	少	少	多	中	
第162図	879	SD-75	覆土	土師器	皿	口縁～底部	12.6	3.5	6.4	7.5YR 7/4	7.5YR 7/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	少	少	破断面磨滅
第162図	880	SD-75	覆土	土師器	皿	口縁～体部	(12.0)	(3.0)	－	5YR 5/4	5YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	少	少	少	体部下半やや丸みを帯びる

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第162図	881	SD-75	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(4.1)	5.6	7.5YR 6/4	7.5YR 6/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切＋ヘラオコシ	少	少	少	少	内面煤付着、底部細めの糸による糸切
第162図	882	SD-75	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(13.0)	(4.4)	－	5YR 6/6	7.5YR 6/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	外面巻上痕有
第162図	883	SD-75	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(17.0)	(5.3)	－	7.5YR 8/4	7.5YR 4/2	並	ナデ	ナデ	－	少	少	少	少	内面付着物有、口唇部内面外傾
第162図	884	SD-75	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(15.6)	(4.8)	－	7.5YR 4/2	7.5YR 1.7/1	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	中	内外面煤付着
第162図	885	SD-75	覆土	土師器	甕	体部～底部	－	(6.4)	13.0	7.5YR 7/6	7.5YR 3/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	柾目痕＋ヘラケズリ	多	多	少	少	内面輪積痕有、外面一部剥落
第162図	886	SD-75	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(13.0)	(4.3)	－	7.5YR 2/1	7.5YR 2/2	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	少	少	少	少	内外面輪積痕有
第162図	887	SD-75	覆土	須恵器	壺	体部～底部	－	(4.8)	11.4	N 5/0	N 3/0	良	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	ヘラケズリ	少	少	中	少	内面輪積痕有、外面灰かぶり
第162図	888	SD-75	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/2	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第162図	889	SD-75	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 5/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第163図	890	SD-84	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(10.0)	(3.5)	－	7.5YR 7/4	10YR 8/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	少	少	少	内外面煤付着、内面巻上痕有
第163図	891	SD-84	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(25.0)	(7.5)	－	10YR 6/4	7.5YR 6/4	良	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	少	少	多	外面指頭圧痕有、892と同一個体
第163図	892	SD-84	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.8)	(4.5)	－	7.5YR 7/4	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	少	少	少	中	内面工具による擦痕有、外面輪積痕有、891と同一個体
第163図	893	SD-85	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.0)	4.8	5YR 6/8 5YR 3/1	5YR 4/1	並	ナデ	ナデ	柾目痕	中	少	少	中	外面巻上痕、指頭圧痕有、内外面煤付着
第163図	894	SD-85	覆土	土師器	堝	口縁	(41.0)	(5.1)	－	5YR 7/8	2.5YR 6/8	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	多	中	少	多	内面煤付着
第163図	895	SD-87	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(11.0)	(3.9)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 5/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	中	外面巻上痕有、内外面煤付着
第163図	896	SD-87	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(3.8)	－	5YR 6/8	N 2/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ヘラミガキ	－	少	少	多	多	内面黒色処理、破断面磨滅
第163図	897	SD-87	覆土	須恵器	甕	口縁	(41.0)	(3.9)	－	5PB 1.7/1	N 3/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	少	少	口縁部灰かぶり
第163図	898	SD-87	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	中	
第163図	899	SD-91	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(3.1)	－	7.5YR 6/4	N 2/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ヘラミガキ	－	－	少	多	－	内面黒色処理
第163図	900	SD-93	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(14.0)	(5.9)	－	5YR 6/5	5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	多	中	少	中	内面輪積痕有、外面煤付着
第163図	901	SD-93	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 3/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	微	
第163図	902	SD-94	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.8)	(3.9)	－	7.5YR 4/2	7.5YR 5/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	少	少	内外面煤付着
第165図	903	DSE-05	覆土	染付	皿	体部	－	(2.5)	－	7.5GY 7/1	5GY 7/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	－	微	－	－	
第165図	904	DSE-06	覆土	須恵器	長頸壺	口縁	12.0	(2.6)	－	10YR 4/2	10YR 4/1	やや不良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	微	多	多	破断面磨滅
第167図	905	DSN-01	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(14.2)	(4.4)	－	7.5YR 6/6	7.5YR 5/3	良	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	微	口唇部先細り
第167図	906	DSN-02 SD-84	覆土 覆土	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(12.2)	－	7.5YR 5/1	2.5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	多	少	少	中	外面煤付着、破断面と内面磨滅
第167図	907	DSN-04	覆土	土師器	皿	口縁～体部	(14.0)	(2.8)	－	7.5YR 6/3	7.5YR 6/4	並	ナデ	ナデ	－	少	少	少	多	内外面巻上痕有、外面指頭圧痕有
第167図	908	DSN-04	覆土	土師器	坏	口縁～底部	13.8	4.6	5.6	5YR 7/6	7.5YR 7/6	並	ナデ	ナデ	静止糸切	中	少	少	中	外面巻上痕有、破断面磨滅、口唇部打欠有
第167図	909	DSN-04	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(26.0)	(6.8)	－	5YR 6/4	5YR 6/4	良	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	少	
第167図	910	DSN-04	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(6.2)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 5/8	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	少	内面付着物有、外面輪積痕有、破断面磨滅
第167図	911	DSN-04	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.8)	(10.0)	－	5YR 6/6	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	少	少	多	
第167図	912	DSN-04	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.8)	(7.5)	－	7.5YR 6/4	2.5YR 5/8	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	少	少	少	少	内外面煤、炭化物付着、外面輪積痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第167図	913	DSN-04	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(15.7)	(7.7)	－	2.5YR 4/6	7.5YR 3/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	少	内外面煤付着、外面一部剥落
第167図	914	DSN-04 SD-57	覆土 覆土	土師器	甕	口縁～体部	(26.8)	(12.6)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	少	中	少	少	外面輪積痕有、破断面磨滅
第210図	915	DSP-07	覆土	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.0)	5.4	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	砂底	中	少	少	少	
第210図	916	DSP-83	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(4.0)	6.0	5YR 4/2 5YR 8/2	7.5YR 7/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	中	少	細めの糸による糸切、内外面煤付着
第210図	917	DSP-84	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(4.4)	－	5YR 5/6	7.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	中	少	少	少	内面煤付着
第210図	918	DSP-136	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(14.2)	(1.1)	(7.0)	2.5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	ヘラナデ	少	少	多	中	
第210図	919	DSP-147	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 3/2	5YR 4/1	良	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	
第210図	920	DSP-147	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 1.7/1	7.5YR 1.7/1	並	タタキ	ナデ	－	微	少	少	少	内外面煤付着
第210図	921	DSP-195	覆土	須恵器	短頸壺	頸部～肩部	－	(7.9)	－	2.5YR 3/1	2.5YR 4/2	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	多	多	内面頸部灰かぶり、外面自然釉付着
第210図	922	DSP-387	覆土 1層	土師器	小甕	体部～底部	－	(2.9)	6.6	2.5YR 5/6	2.5YR 1.7/1	並	ナデ	ナデ	砂底	中	少	少	少	外面輪積痕有
第210図	923	DSP-387	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 3/1	5YR 3/1	良	タタキ	ナデ	－	少	少	中	中	
第210図	924	DSP-415	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(13.2)	(4.3)	－	2.5YR 6/6	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	少	内外面輪積痕有、外面口唇部工具痕有、口唇部内面外傾
第210図	925	DSP-424	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(14.4)	(5.3)	－	7.5YR 6/3	5YR 5/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	少	少	少	内外面輪積痕有、口縁部先細り
第211図	926	遺構外	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(13.4)	3.7	5.8	7.5YR 3/1	7.5YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切	中	中	少	少	口唇部打欠痕有、内外面煤付着
第211図	927	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(3.8)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	少	少	中	多	外面巻上痕有
第211図	928	遺構外	表土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.8)	6.0	5YR 6/6	10YR 7/3	並	ナデ	ヘラナデ＋ヘラケズリ	網代痕	中	多	少	少	外面指ナデ痕、絞込痕有
第211図	929	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～底部	(13.3)	4.9	5.5	10YR 4/1 10YR 1.7/1	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	中	少	多	少	内外面煤付着
第211図	930	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～底部	(12.6)	5.4	5.6	7.5YR 7/4	7.5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	少	中	少	外面煤付着、太めの糸による糸切
第211図	931	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.4)	－	10YR 7/4	10YR 6/4	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	中	内面巻上痕有
第211図	932	遺構外	表土	土師器	小壺	体部～底部	－	(3.0)	5.0	10YR 5/2	10YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切＋ヘラオコシ	中	少	少	少	内外面煤付着
第211図	933	遺構外	表土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.0)	5.0	5YR 5/2	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	最多	中	外面刻書、指頭圧痕有、内外面煤付着、底部細めの糸による糸切
第211図	934	遺構外	表土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.2)	5.5	2.5YR 6/8	2.5YR 5/3 2.5YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	中	少	少	少	内外面煤付着
第211図	935	遺構外	表土	土師器	坏	体部～底部	－	(1.9)	(5.0)	7.5YR 7/4	7.5YR 1.7/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	中	内面煤付着
第211図	936	遺構外	表土	土師器	坏	口縁～底部	(12.8)	4.5	(4.6)	7.5YR 8/3	7.5YR 6/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	中	少	少	中	内外面煤付着、内面油痕有
第211図	937	遺構外	表土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.3)	(5.0)	7.5YR 4/2	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	中	少	内外面煤付着
第211図	938	遺構外	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(21.0)	(4.8)	－	7.5YR 2/1	7.5YR 3/1	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	少	少	少	口唇部工具痕有、外面輪積痕有、外面煤付着
第211図	939	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(21.0)	(8.0)	－	7.5YR 2/2	7.5YR 3/1	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ハケメ	－	少	少	少	少	外面輪積痕有、外面煤付着
第211図	940	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(5.5)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	多	多	少	少	内外面煤付着
第211図	941	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(17.6)	(5.9)	－	2.5YR 6/6	2.5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	中	外面指頭圧痕有
第211図	942	遺構外	表土	土師器	小甕	口縁～体部	(12.6)	(6.6)	－	10YR 8/4	10YR 7/6	良	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	少	中	少	少	
第211図	943	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(20.8)	(6.5)	－	7.5YR 6/3	7.5YR 6/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ハケメ	－	多	多	少	少	口唇部工具による整形痕有、外面輪積痕有、指頭圧痕有、内外面煤付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第211図	944	遺構外	表土	土師器	甕	口縁～体部	(21.5)	(5.8)	－	5YR 6/4	5YR 3/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	少	少	少	多	外面指頭圧痕有、内外面煤付着
第211図	945	遺構外	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(9.8)	(8.0)	－	5YR 5/6	5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	多	多	少	中	内外面指頭圧痕有
第211図	946	遺構外	表土	ミニチュア土器	－	口縁～体部	(6.0)	(3.7)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 8/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	中	少	中	内面輪積痕有
第212図	947	遺構外	表土	製塩土器	甕	体部	－	(5.3)	－	5YR 7/8	5YR 7/8	並	ナデ	ナデ	－	少	少	少	少	内外面輪積痕有
第212図	948	遺構外	表土	須恵器	長頸壺	口縁	(11.4)	(2.5)	－	N 2/0	N 2/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内面灰かぶり
第212図	949	遺構外	表土	須恵器	長頸壺	口縁～頸部	(9.0)	(3.7)	－	N 4/1	N 3/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内外面灰かぶり
第212図	950	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/1	5Y 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	多	
第212図	951	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/1	10YR 3/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	多	破断面磨滅、外面煤付着
第212図	952	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 3/1	2.5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	多	破断面磨滅
第212図	953	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 4/1	N 4/0	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	
第212図	954	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 4/1	5Y 4/1	良	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	内面自然釉付着
第212図	955	遺構外	表土	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	N 3/0	N 4/0	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	内面輪積痕有
第212図	956	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/3	10YR 4/3	良	タタキ	ナデ	－	少	微	多	中	外面焼台痕有
第212図	957	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/1	10YR 4/2	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面自然釉付着
第212図	958	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 1.7/1	5YR 4/2	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	中	外面焼台痕有
第212図	959	遺構外	表土	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	N 4/0	N 3/0	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	少	微	中	微	外面灰かぶり
第212図	960	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 4/6	5YR 4/6	並	タタキ	ナデ	－	少	中	中	少	破断面磨滅
第212図	961	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 4/0	5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	破断面磨滅
第212図	962	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 5/1	5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	
第212図	963	遺構外	表土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 5/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	微	
第212図	964	遺構外	表土	常滑	壺	体部～底部	－	(3.6)	(7.6)	N 3/0	5PB 2/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	無調整	中	少	少	少	内外面自然釉付着

第21表　川原館遺跡Ｄ区出土木製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	計測値（cm）			製品群	製品名	木取	樹種	備考
				長さ	幅	厚さ					
第156図	木60	DSK-38	覆土	(15.7)	0.7	0.55	食事具	箸	割材面取		
第156図	木61	DSK-46	覆土	10.2	10.2	1.3	容器	柄杓底板	追柾目		
第165図	木62	DSE-04	覆土	18.5	18.0	8.0	容器	曲物側板	柾目		
第165図	木63	DSE-05	－	(37.7)	3.4	3.3	建築材、部材、杭等	杭	割材		
第165図	木64	DSE-05	覆土	(20.0)	2.4	0.4	用途不明	板状	追柾目		
第165図	木65	DSE-05	覆土	(13.4)	2.7	0.25	用途不明	板状	追柾目		
第165図	木66	DSE-05	覆土	(17.1)	2.2	0.3	用途不明	板状	柾目		
第165図	木67	DSE-05	－	(84.7)	9.0	1.5	用途不明	板材	追柾目		井戸枠材
第165図	木68	DSE-05	－	81.3	3.6	2.9	用途不明	棒状	割材		両面凸有
第165図	木69	DSE-05	覆土	(19.0)	23.4	1.8	容器	曲物,底板	追柾目		まな板として転用か？刃物痕有
第165図	木70	DSE-05	覆土	(20.1)	(14.6)	1.8	容器	曲物,底板	追柾目		まな板として転用か？刃物痕有、表面に赤漆有
第165図	木71	DSE-05	覆土	(18.3)	(7.5)	(7.3)	建築材、部材、杭等	柱材	芯持丸木		ほぞ穴有
第165図	木72	DSE-05	覆土	25.1	0.8	0.5	食事具	箸	割材面取		
第165図	木73	DSE-05	覆土	(25.2)	0.7	0.5	食事具	箸	割材面取		
第165図	木74	DSE-06	覆土	(25.5)	3.6	0.6	容器	曲物側板	柾目		樺皮綴じ付
第212図	木75	遺構外	覆土	11.0	5.3	4.6	容器	漆塗椀	横木取,柾目		内：赤漆、外：黒漆、漆膜分析No.6

第22表　川原館遺跡Ｄ区出土石器・石製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量(g)	石質	備考
					長軸	短軸	厚さ			
第165図	石16	DSE-04	覆土	砥石	9.4	4.6	6.0	158.0	石英安山岩	表面及び両側面に砥面有
第212図	石17	遺構外	表土	砥石	10.2	6.1	4.8	422.0	石英凝灰岩	表面及び両側面に砥面有

第23表　川原館遺跡Ｄ区出土土製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			調整		備考
					長軸	短軸	厚さ	表面	裏面	
第156図	土21	DSK-18	覆土	支脚	(4.6)	(4.6)	1.5	ヘラケズリ	ー	棒状支脚、外径4.9㎝
第167図	土22	DSN-04	覆土	焼成粘土塊	3.9	3.8	2.9	ナデ	ナデ	

第24表　川原館遺跡Ｄ区出土鉄関連遺物観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量（g）	メタル度	磁着度	備考
					長軸	短軸	厚さ				
第156図	鉄25	DSK-18	覆土	炉壁	4.0	5.0	3.0	26.0	なし	ー	表面をガラス質の滓が覆っている
第163図	鉄26	SD-75	覆土	鍛冶滓	4.4	3.0	1.5	23.0	錆化（△）	2	

第25表　川原館遺跡Ｄ区出土古銭観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	銭名	計測値（mm）				重量（g）	初鋳年	備考
					外径	孔径	外縁厚	文字面厚			
第156図	銭13	DSK-33	覆土	寛永通寶	24.43	5.86	1.23	1.21	2.97	1668～1683	
第165図	銭14	DSE-04	覆土	寛永通寶	25.42	5.85	1.65	1.59	3.24	1697～1747	背上「文」

第６節　Ｆ区

１．土坑

FSK－01（第214図）

ES－162グリッドで検出した。SD－10、FSP－80と重複している。本遺構がSD－10を掘り込んでおり、本遺構が新しい。FSP－80が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は円形を呈し、規模は長軸104×短軸104×深さ38㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、砂ブロックの混入から、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は鉄関連遺物１点（第216図鉄27）を図示した。鉄27は鉄鍋の体部破片で、外面には把手の根元が残存していることから、取鍋と考えられる。

FSK－02（第214図）

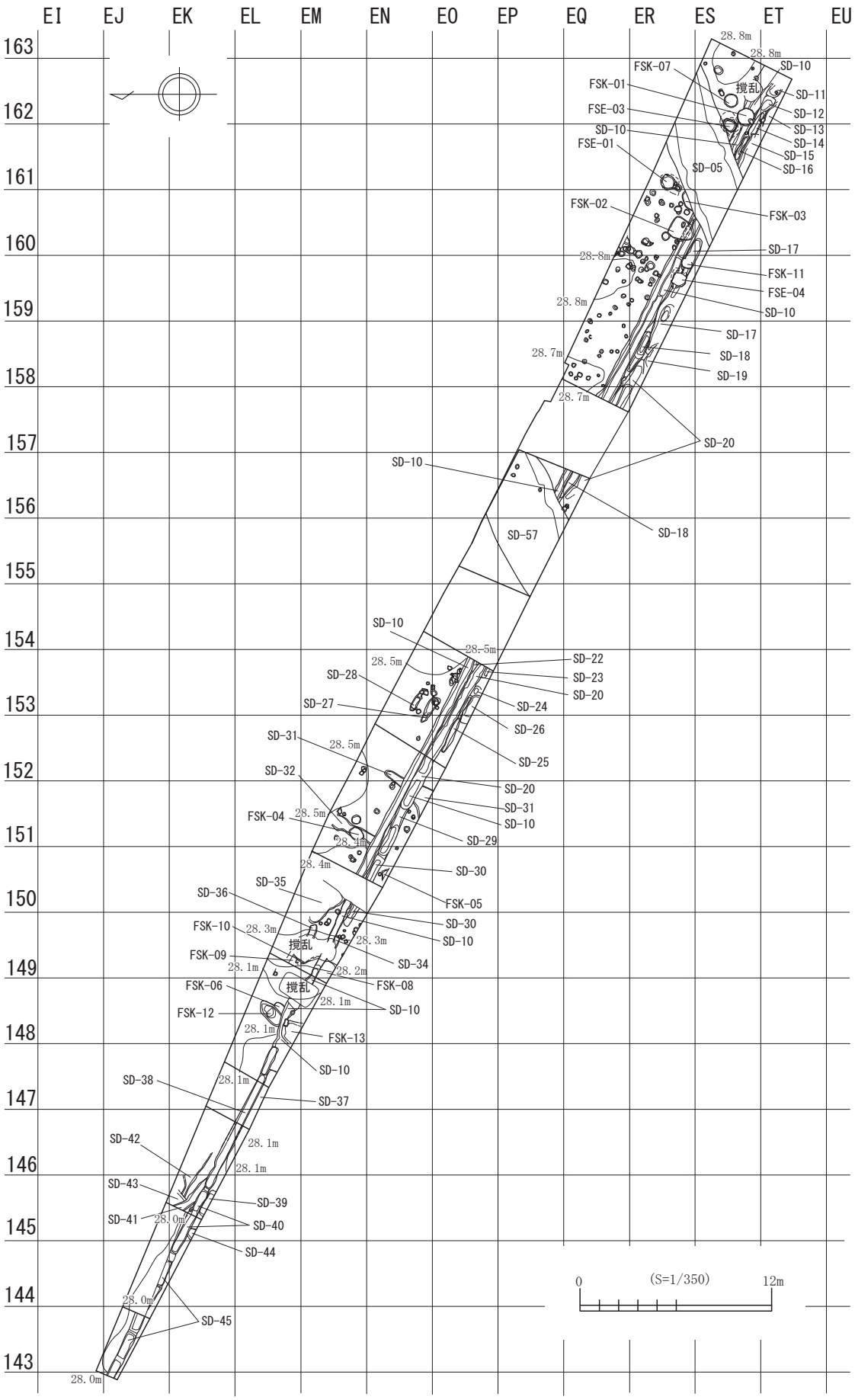
ER－160グリッドで検出した。SD－10、FSP－48と重複している。本遺構がSD－10を掘り込んでおり、本遺構が新しい。FSP－48が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は隅丸三角形を呈し、規模は長軸155×短軸132×深さ19㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸がある。南東壁寄り底面からピット１基を確認した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸36×短軸23×深さ５㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点、坏１点、甕１点、壺１点、須恵器長頸壺１点、珠洲甕１点（第216図965～970）を図示した。965は非ロクロ皿の口縁部～底部で、やや厚みのある器壁で、内外面ナデにより調整されており、底部は太めの糸による静止糸切である。966は非ロクロの坏の口縁部～体部で、内外面ナデによって調整されており、底部はムシロ痕である。967は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。968は広口壺の口縁部～頸部で、口縁部がやや強く外反し、やや長めの頸部をもつ。内外面ロクロ調整が施されている。969は須恵器長頸壺の頸部で、内外面ロクロ調整が施されている。970は珠洲甕の体部である。

FSK－03（第214図）

ER－160グリッドで検出した。SD－05と重複している。SD－05が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複によって全体形は不明だが、平面形は不整形と考えられ、確認できた規模は長軸130×短軸35×深さ17㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや南側に傾斜する。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第216図971）を図示した。971は坏の体部～底部で、内外面ロクロ調整が施されている。

FSK－04（第214図）

EM－151グリッドで検出した。SD－32と重複している。本遺構がSD－32を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸97×短軸73×深さ11㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。



第213図　川原館遺跡Ｆ区遺構配置図

FSK－05（第214図）

EN－150グリッドで検出した。平面形は方形を呈していると考えられ、規模は長軸53×短軸43×深さ20㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

FSK－06（第214図）

EL－148グリッドで検出した。FSK－12、SD－10と重複している。FSK－12、SD－10が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複により全体形は不明だが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸66×短軸45×深さ９㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒褐色土と褐色土の混合層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

FSK－07（第214図）

ES－162グリッドで検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸84×短軸83×深さ60㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第216図972）を図示した。972は非ロクロの坏の体部～底部で、体部は内外面ナデによって調整されており、底部は網代痕が認められる。

FSK－08（第215図）

EM－149グリッドで検出した。FSK－09・10、SD－10と重複している。本遺構がFSK－09・10を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－10が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複により平面形は不明だが、平面形は不整円形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸238×短軸118×深さ18㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は６層に分層した。黒褐色土・黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点（第216図973）を図示した。973は甕の体部である。

FSK－09（第215図）

EL－149グリッドで検出した。FSK－08、10と重複している。本遺構がFSK－10を掘り込んでおり、本遺構が新しい。FSK－08が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複により平面形は不明だが、円形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸50×短軸43×深さ32㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、３層は自然堆積、１・２層は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

FSK－10（第215図）

EL－149グリッドで検出した。FSK－08・09と重複している。FSK－08・09が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。重複により平面形は不明だが、不整形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸58×短軸22×深さ18㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は一部くぼむ以外はほぼ平坦で

ある。堆積土は１層で黒褐色土と明黄褐色土の混合層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

FSK－11（第215図）

ER－159グリッドで検出した。SD－17と重複している。本遺構がSD－17の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。重複により平面形は不明であるが、不整円形を呈していると考えられ、規模は長軸71×短軸51×深さ30㎝を測る。壁はオーバーハングする部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面は南側に傾斜している。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

FSK－12（第215図）

EL－148グリッドで検出した。FSK－06、SD－10と重複している。本遺構がFSK－06の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－10が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸159×短軸87×深さ16㎝を測る。壁は緩やかにに立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

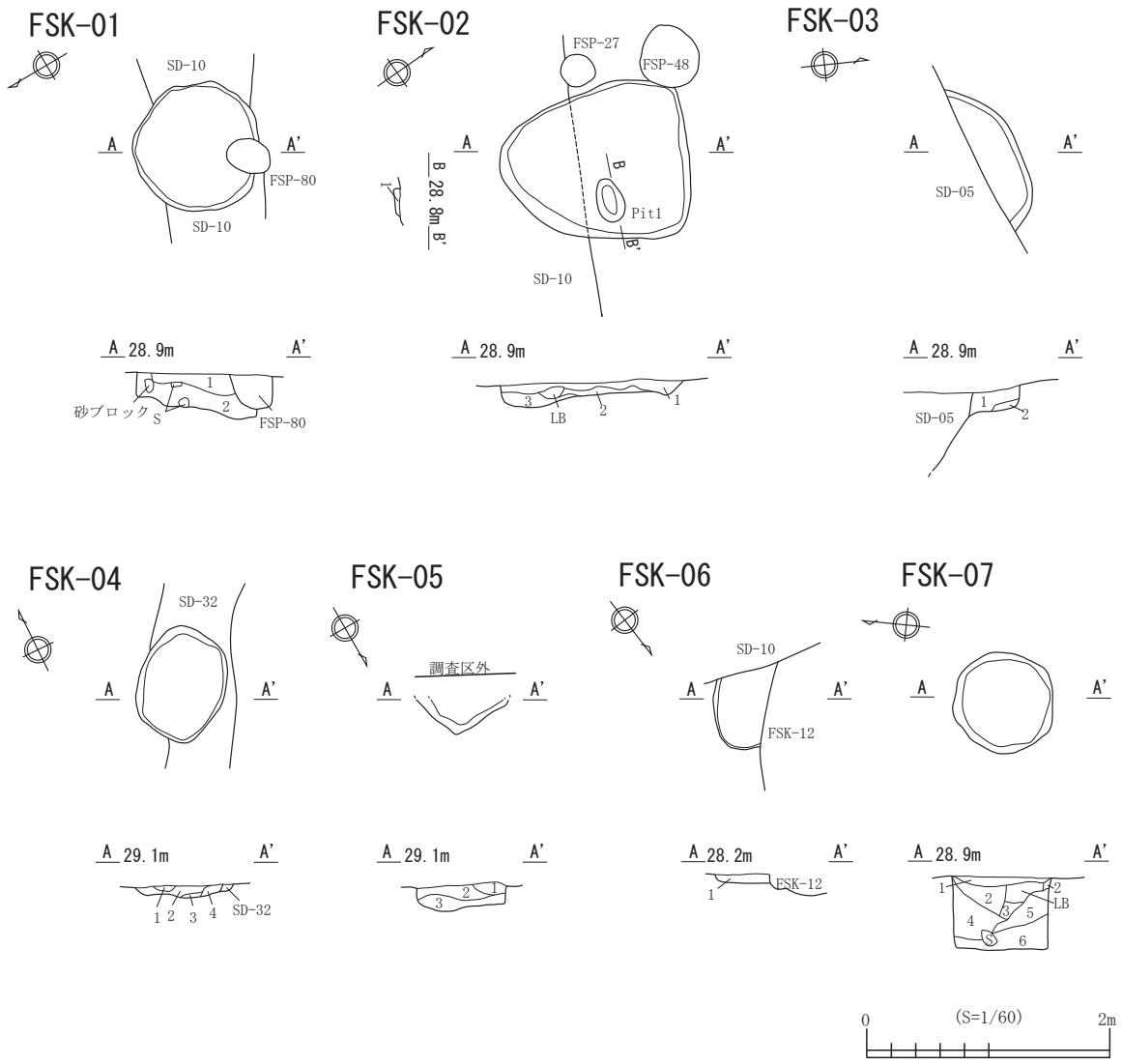
FSK－13（第215図）

EL－148グリッドで検出した。SD－10、FSP－115と重複している。本遺構がSD－10の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が新しい。FSP－115が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整円形を呈していると考えられ、確認できた規模は長軸142×短軸48㎝×深さ26㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

２．溝跡

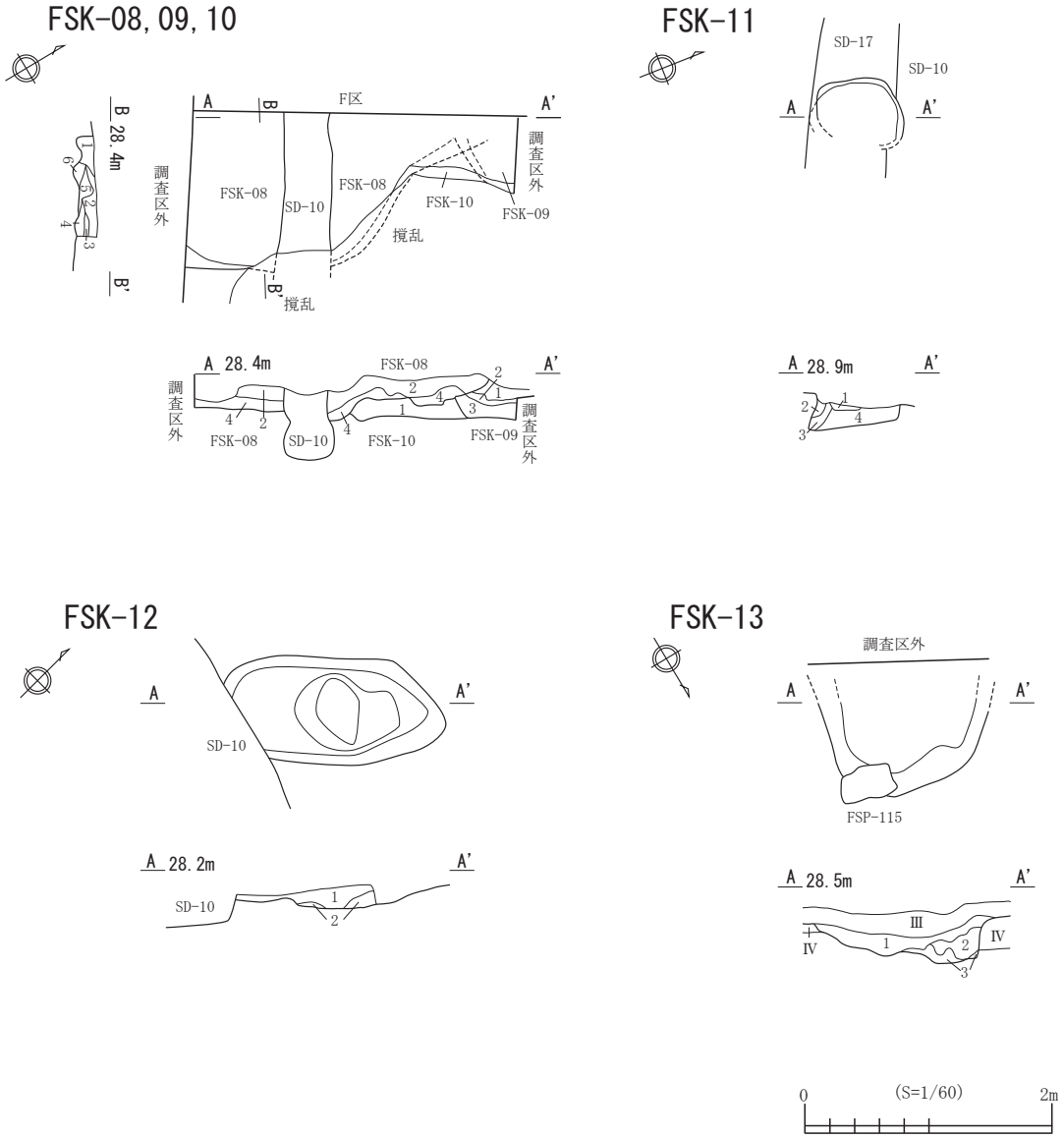
SD－10（第217～219図）

EL～EU－147～162グリッドで検出した。FSK－01・02、06、08、11～13、SD－05、11・12、16～18、20、22、29、31・32、34、38、57、FSE－03・04のほか、多くのSPと重複している。本遺構がFSK－06、08、12、SD－17・18、20、22、29、31・32、34、FSE－03を掘り込んでおり、本遺構が新しい。FSK－01・02、11、13、SD－05、11、38、57、FSE－04が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－12、16との新旧関係は不明である。県道浪岡北中野黒石線とほぼ並行して直線的に延びており、東端がやや蛇行する。確認できた規模は延長50.44m、上端幅は最大で96㎝、最少で41㎝、下端幅は42㎝、深さ34㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。北壁には本遺構と並行するように浅い溝が認められるが、堆積土から本遺構に付随する溝と考えられる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点、坏２点、小甕２点、須恵器甕４点、珠洲甕１点、陶磁器１点（第221図974～984）、石製品１点（第222図石18）を図示した。974は皿の口縁～底部で、内外面ロクロ調整が施されている。坏は２点ともに非ロクロで体部～底部である。底部調整は975が柾目痕、976は砂底である。977は小甕の



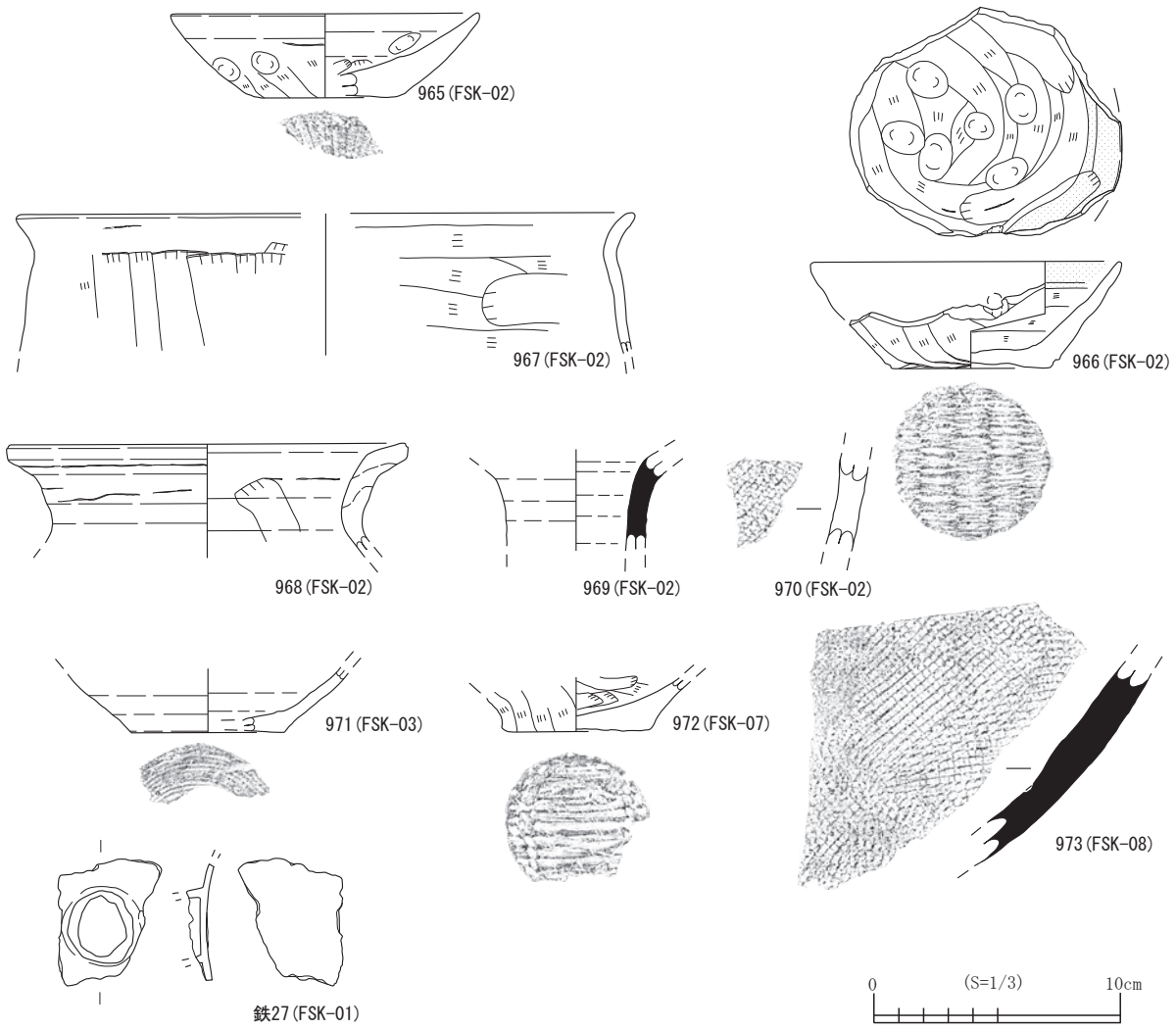
FSK-01
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40～60mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～20mm)中量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量、礫(φ10～30mm)少量
FSK-02
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～100mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSK-02内Pit1
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSK-03
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
FSK-04
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第4層　10YR4/4　褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層
FSK-05
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層
FSK-06
第1層　7.5YR3/1 黒褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～10mm)中量
FSK-07
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR4/3　にぶい黄褐色ロームと10YR3/4暗褐色土の混合層　酸化鉄(φ1～10mm)少量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、礫(φ10～20mm)少量
第5層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量、礫(φ10～40mm)少量

第214図　川原館遺跡Ｆ区SK（１）



FSK-08
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第4層　10YR1.7/1黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第5層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層
第6層　10YR4/3　にぶい黄褐色ローム　10YR2/3黒褐色土少量
FSK-09
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSK-10
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色ロームの混合層
FSK-11
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～60mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
FSK-12
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ30～70mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSK-13
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量

第215図　川原館遺跡Ｆ区SK（２）



第216図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SK

口縁部～体部で、体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。978は小甕の口縁部～体部で、体部～口縁部までほぼ直線的な形状を呈する。979～982は須恵器甕の体部、983は珠洲甕の体部である。984は擂鉢の体部で、近代以降の所産と考えられる。石18は平面方形を呈する砥石である。表面及び両側面、上面に砥面が認められる。

SD－11（第217、219図）

ET－162グリッドで検出した。SD－10、12と重複している。本遺構がSD－10を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－12との新旧関係は不明である。一部分の検出であるが、直線状を呈していると考えられ、確認できた規模は延長61㎝、幅72㎝、深さ52㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。底面の南壁寄りからピット１基を検出した。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸18×短軸15×深さ12㎝を測る。堆積土は５層に分層した。１・２層は自然堆積、それ以外は埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－12（第217、219図）

ES・ET－162グリッドで検出した。SD－10・11、13・14と重複している。SD－14が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－10・11、13との新旧関係は不明である。やや蛇行しており、確認できた規模は延長183㎝、幅67㎝、深さ43㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－13（第217、219図）

ET－162グリッドで検出した。SD－12、FSP－154と重複している。FSP－154が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－12との新旧関係は不明である。直線状を呈し、規模は延長141㎝、幅48㎝、深さ19㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－14（第217、219図）

ES・ET－161・162グリッドで検出した。SD－12、15、FSP－154と重複している。本遺構がSD－12を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－15、FSP－154が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長186㎝、幅50㎝、深さ12㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－15（第217、219図）

ES－161グリッドで検出した。SD－05、14、16と重複している。本遺構がSD－14を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－05が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－16との新旧関係は不明である。直線状を呈し、規模は延長239㎝、幅32㎝、深さ８㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はV字形を呈する。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－16（第217、219図）

ES－161グリッドで検出した。SD－15と重複している。新旧関係は不明である。直線状を呈し、規模は延長159㎝、幅30㎝、深さ11㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は南側に傾斜している。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－17（第217、219図）

ER・ES－158～160グリッドで検出した。FSK－11、SD－10、18・19、FSE－04と重複している。本遺構がSD－18を掘り込んでおり、本遺構が新しい。FSK－11、SD－10、19、FSE－04が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈し、規模は延長771㎝、幅65㎝、深さ36㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、開口部付近で外反する。底面はやや凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点（第221図985）を図示した。985は甕の口縁部～体部で、体部がほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。

SD－18（第217、219図）

EQ・ER－158グリッドで検出した。SD－10、17、20、57と重複している。SD－10、17、20、57が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長308㎝、幅53㎝、深さ51㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はＶ字状に凹む。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。遺物は須恵器甕１点（第221図986）を図示した。986は須恵器甕の体部である。

SD－19（第217、219図）

ER―158グリッドで検出した。SD－17、20と重複している。本遺構がSD－17、20を掘り込んでおり、本遺構が新しい。規模は延長156㎝、幅35㎝、深さ31㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－20（第217～219図）

EN～ES－151～158グリッドで検出した。SD－10、18・19、22～25、29、31、57、FSP－87、91・92と重複している。本遺構がSD－18、22～25、29、31を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－10、19、57、FSP－87、91・92が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長15.62m、幅80㎝、深さ73㎝を測る。壁はほぼ垂直及び急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点（第221図987）を図示した。987は土師器甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部は器壁が厚くなっており、やや強く外反する形状を呈する。

SD－22（第218・219図）

EO－153グリッドで検出した。SD－10、20と重複している。SD－10、20が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部のみの検出であるが、直線状を呈していると考えられ、確認できた規模は延長54㎝、幅41㎝、深さ14㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－23（第218・219図）

EO－153グリッドで検出した。SD－20と重複している。SD－20が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部のみの検出であるが、直線状を呈していると考えられ、規模は延長54㎝、幅34㎝、深さ20㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－24（第218・219図）

EO－153グリッドで検出した。SD－20、25・26と重複している。SD－20、25・26が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部のみの検出であるが、直線状を呈し、規模は延長76㎝、幅35㎝、深さ16㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－25（第218・219図）

EO－152・153グリッドで検出した。SD－20、24、26と重複している。本遺構がSD－24を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－20、26が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長374㎝、幅35㎝、深さ21㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－26（第218・219図）

EO－152・153グリッドで検出した。SD－24・25と重複している。本遺構がSD－24・25を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、規模は延長188㎝、幅46㎝、深さ38㎝を測る。壁は段をもって立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、３層は埋め戻し等による人為堆積で、１・２層は自然堆積と考えられる。

SD－27（第218・219図）

EN－152・153、EO－153グリッドで検出した。FSP－132～135と重複している。FSP－132～135が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長177㎝、幅54㎝、深さ14㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は須恵器壺１点（第221図988）を図示した。内外面ロクロ調整が施されている。

SD－28（第218・219図）

EN－153グリッドで検出した。FSP－123・124、126と重複している。本遺構がFSP－126を掘り込んでおり、本遺構が新しい。FSP－123・124が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ほぼ直線状を呈し、規模は延長156㎝、幅36㎝、深さ15㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－29（第218・219図）

EN－150・151グリッドで検出した。SD－10、20、30と重複している。SD－10、20が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－30との新旧関係は不明である。直線状を呈し、規模は延長554㎝、幅58㎝、深さ54㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。エレベーションのみの確認であり、堆積状況は不明である。

SD－30（第218・219図）

EM－149・150、EN－150グリッドで検出した。SD－29と重複している。新旧関係は不明である。直線状を呈し、規模は延長472㎝を測り、幅61㎝、深さ75㎝を測る。壁は段を持って立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－31（第218・219図）

EN－151・152グリッドで検出した。SD－10、20と重複している。SD－10、20が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。規模は延長314㎝、幅52㎝、深さ５㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－32（第218・219図）

EM・EN－151グリッドで検出した。FSK－04、SD－10と重複している。FSK－04、SD－10が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。概ね直線状を呈し、規模は延長268㎝、幅88㎝、深さ６㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－34（第218・219図）

EM－149グリッドで検出した。SD－10、FSP－142と重複している。SD－10、FSP－142が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部のみの検出であるが、直線状を呈していると考えられ、規模は延長62㎝、幅29㎝、深さ５㎝を測る。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－35（第218・219図）

EM－149・150グリッドで検出した。長軸方向の片側の壁と底面のみの検出であり、詳細は不明であるが、直線状を呈していると考えられ、規模は延長253㎝、幅113㎝、深さ11㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－36（第218・219図）

EM－149グリッドで検出した。一部のみの検出であるが、直線状を呈し、規模は延長67㎝、幅54㎝、深さ７㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は丸みを帯びる。堆積土は１層で黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－37（第218・219図）

EL－147グリッドで検出した。SD－38と重複している。SD－38が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部分のみの検出のため、詳細は不明であるが、直線状を呈していると考えられ、規模は延長69㎝、幅39㎝、深さ23㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層で黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－38（第218・219図）

EK－145・146、EL－146・147グリッドで検出した。SD－10、37、40・41と重複している。本遺構がSD－10、37、40・41を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、規模は長軸952㎝、幅

54㎝、深さ17㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は６層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－39（第220図）

EK－145グリッドで検出した。SD－40と重複している。本遺構がSD－40を掘り込んでおり、本遺構が新しい。直線状を呈し、規模は延長166㎝、幅29㎝、深さ36㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－40（第220図）

EK－144・145グリッドで検出した。SD－38・39、41、44と重複している。本遺構がSD－41、44を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－38・39が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈し、規模は延長443㎝、幅51㎝、深さ67㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦な部分と南側に傾斜する部分が認められる。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－41（第220図）

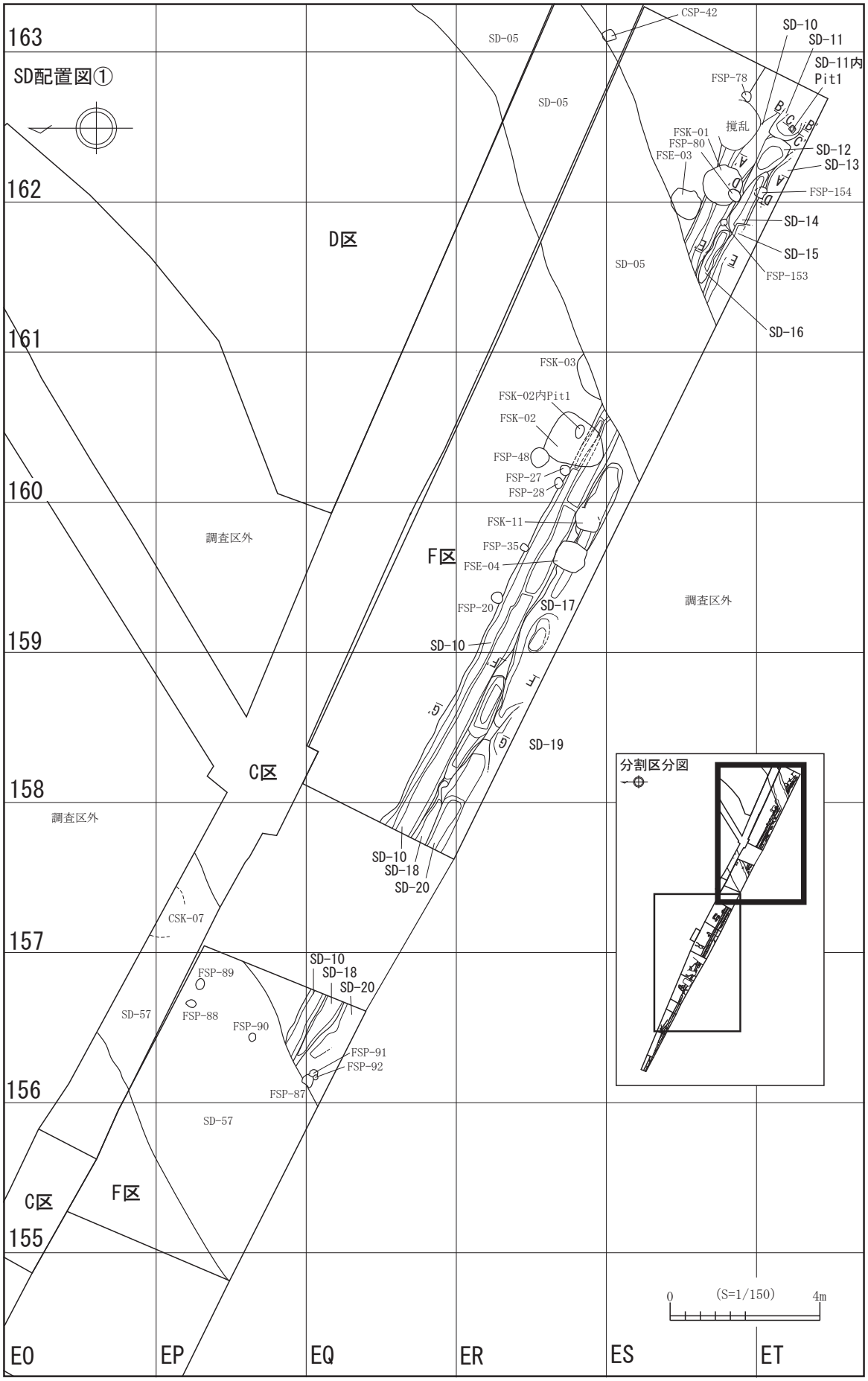
EK－145グリッドで検出した。SD－38、40、43と重複している。本遺構がSD－43を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－38、40が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。やや蛇行しており、規模は延長237㎝、幅56㎝、深さ55㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－42（第218・219図）

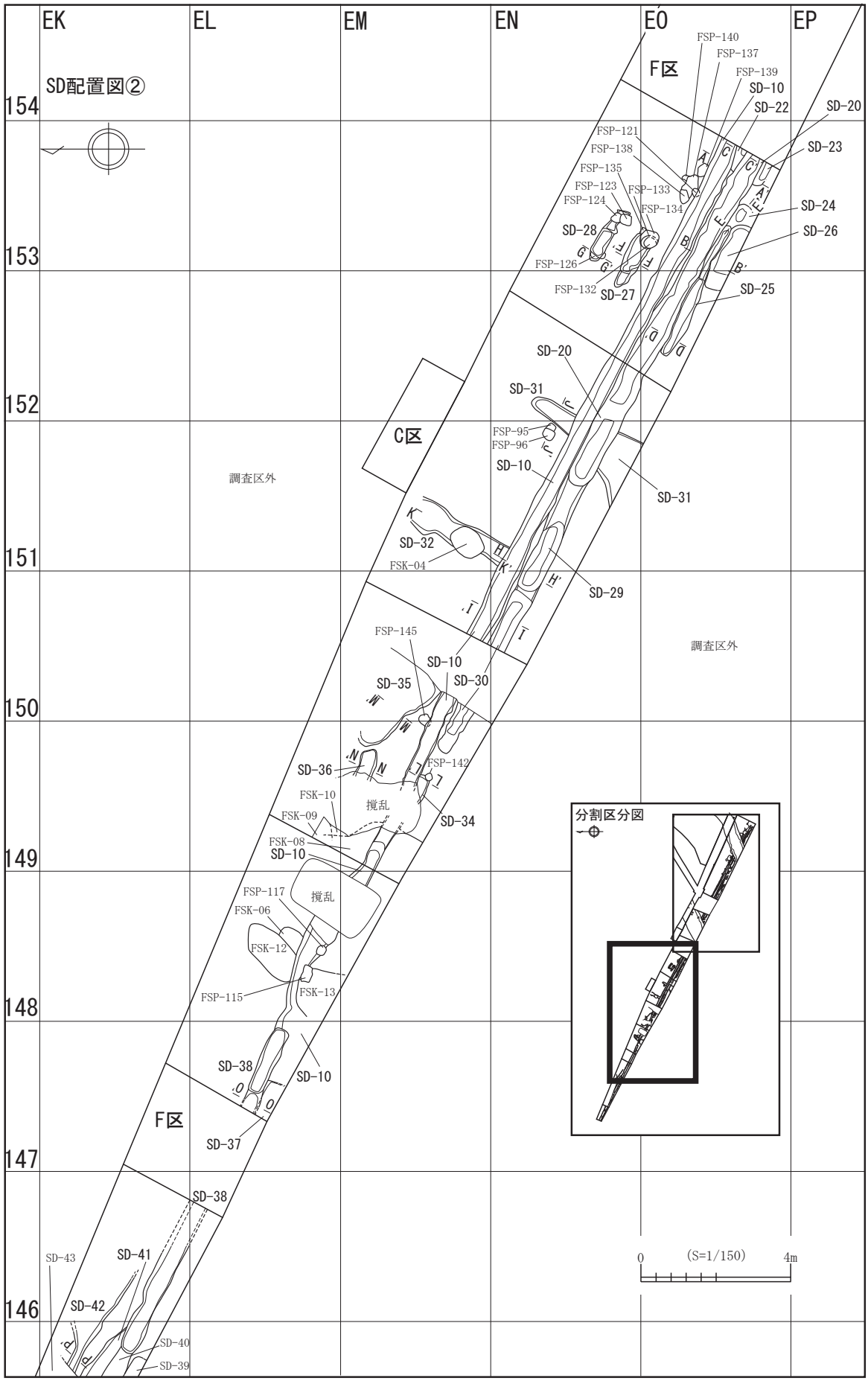
EK－145・146グリッドで検出した。SD－43と重複している。SD－43が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－43に向かって幅が狭くなっていくが、ほぼ直線状を呈し、規模は延長290㎝、幅27㎝、深さ８㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。エレベーションのみの確認のため、堆積状況は不明である。

SD－43（第220図）

EK－145グリッドで検出した。SD－41・42と重複している。本遺構がSD－42を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－41が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部分のみの検出であるが、直線状を呈していると考えられ、規模は延長58㎝、幅82㎝、深さ８㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は１層で、暗褐色土とにぶい黄褐色土の混合層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

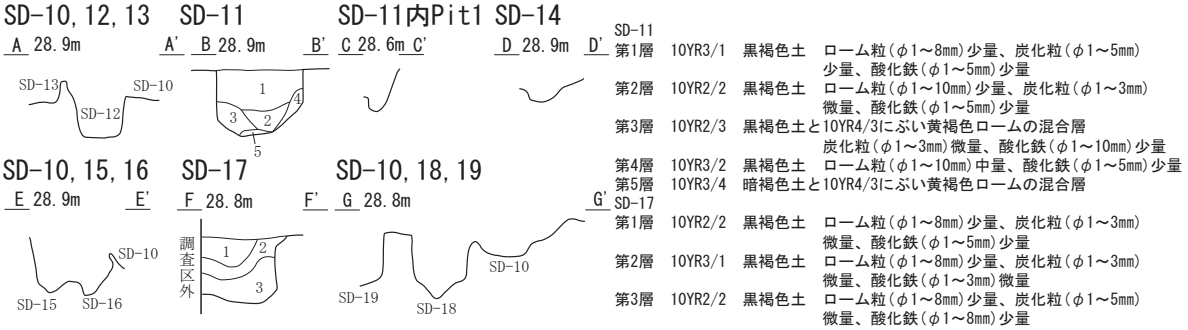


第217図　川原館遺跡Ｆ区SD（１）



第218図　川原館遺跡Ｆ区SD（２）

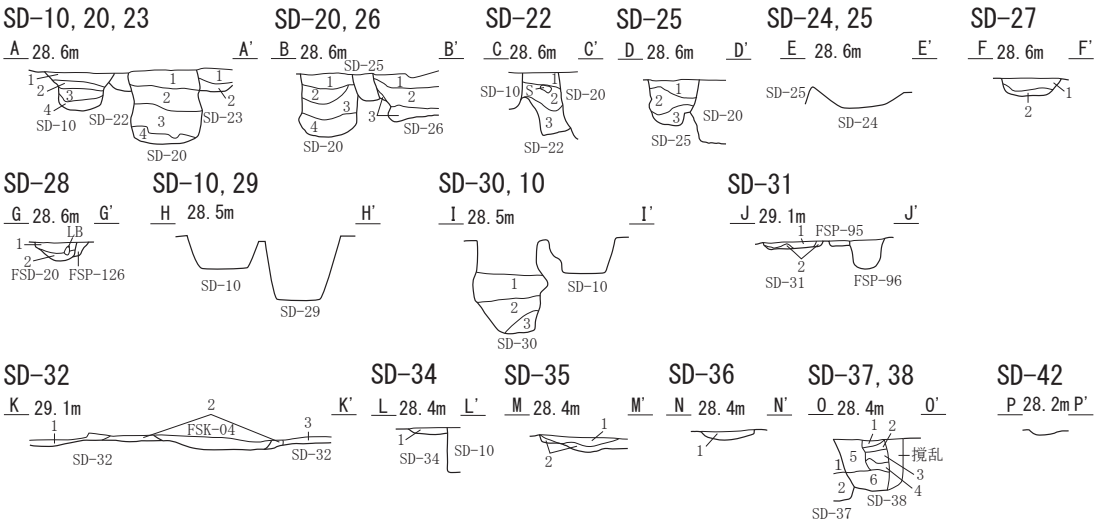
SD配置図①

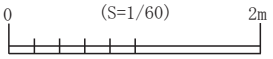


SD-11
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第5層　10YR3/4　暗褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層

SD-17
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD配置図②





SD-10
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化物ブロック(φ10～30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

SD-20
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第4層　10YR5/4　にぶい黄褐色土　酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD-22
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～60mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD-23
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～60mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD-25
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD-26
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

SD-27
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ5mm)微量、酸化鉄(φ1～15mm)中量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD-28
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

SD-30
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD-31
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR4/3　にぶい黄褐色ロームと10YR2/3黒褐色土の混合層

SD-32
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ40～70mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層

SD-34
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

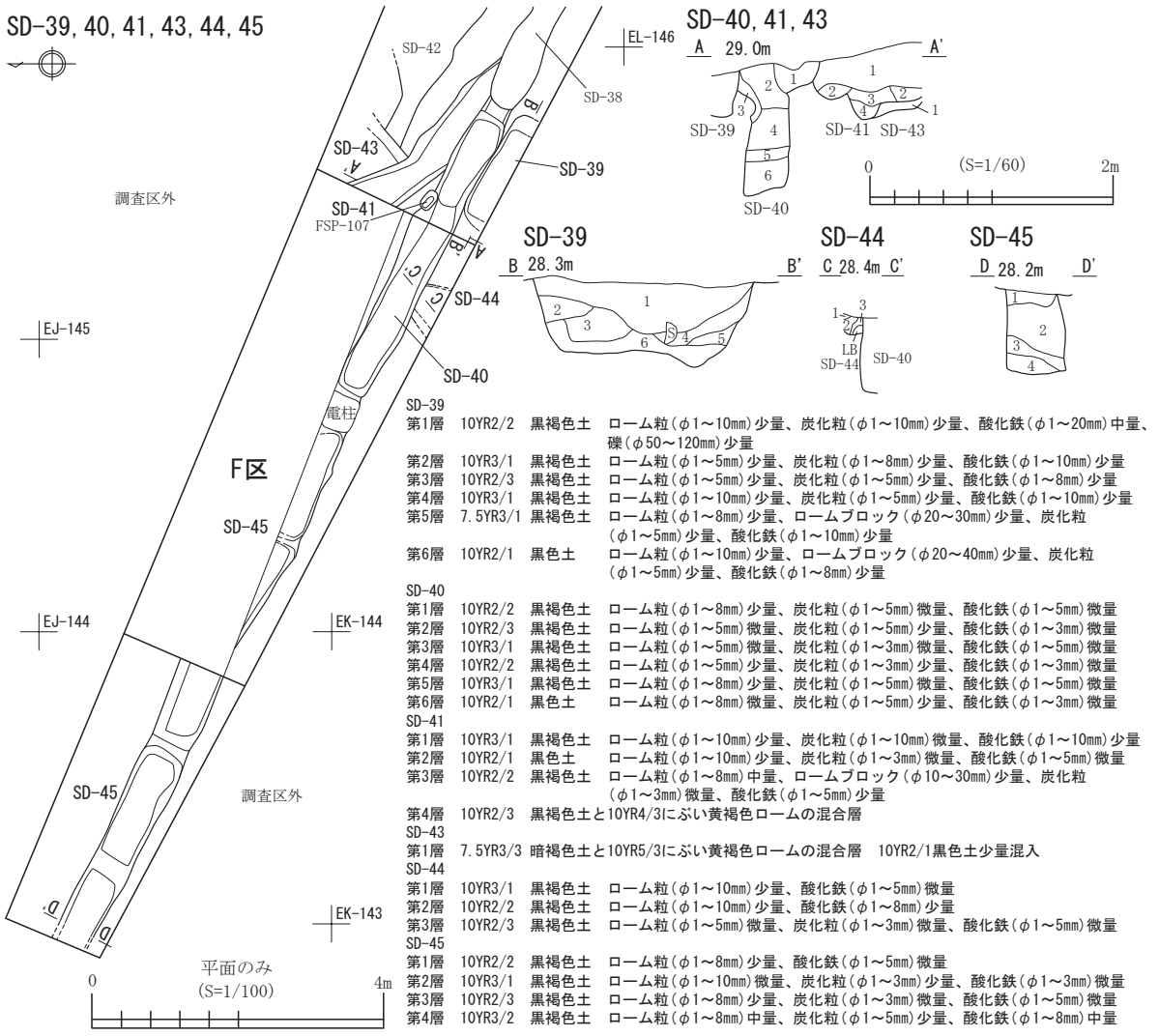
SD-35
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～60mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ70mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量

SD-36
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

SD-37
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

SD-38
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　7.5YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第5層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第6層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

第219図　川原館遺跡Ｆ区SD（３）



SD-39
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～20mm)中量、礫(φ50～120mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第5層　7.5YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

SD-40
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第5層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第6層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

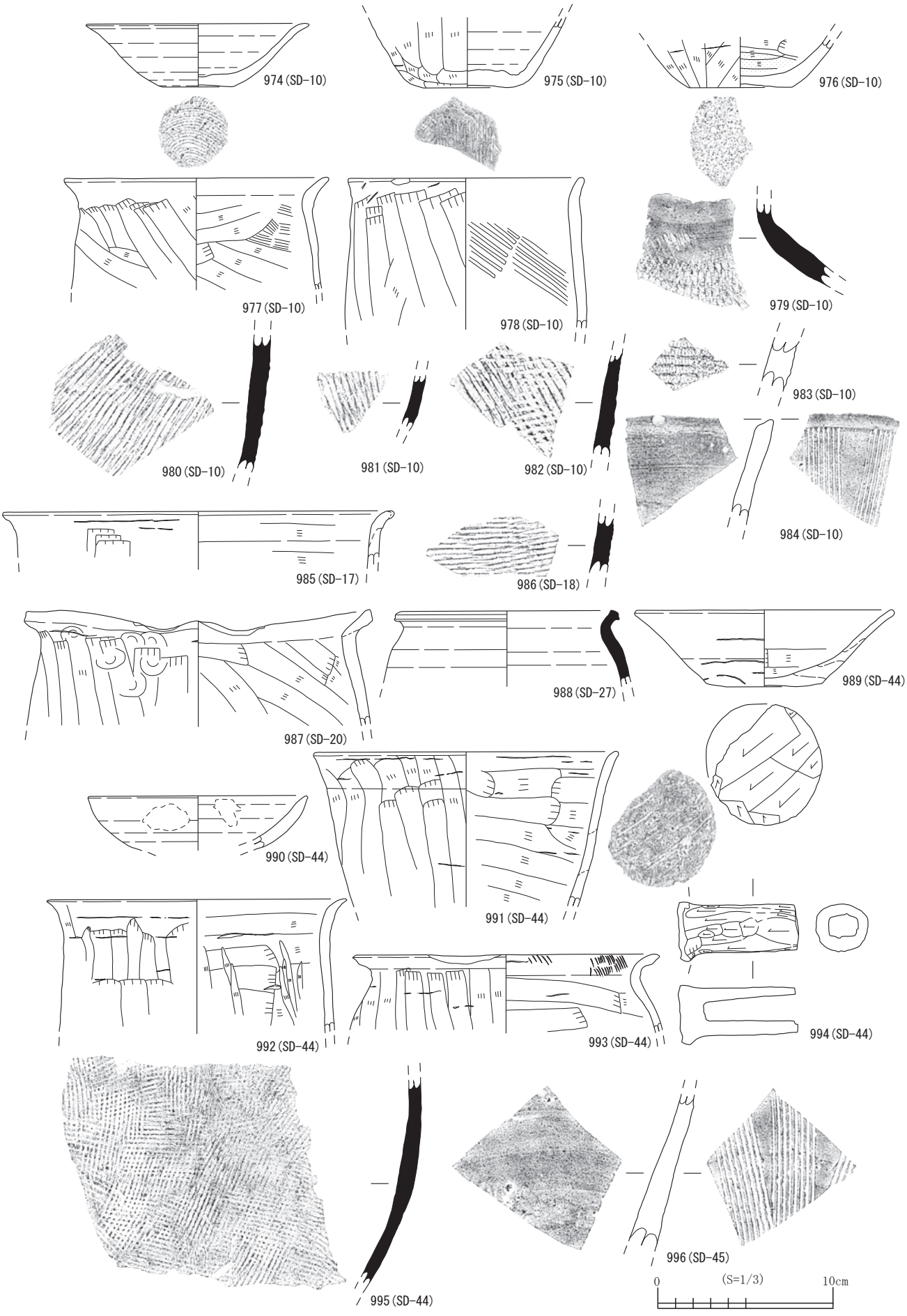
SD-41
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層

SD-43
第1層　7.5YR3/3　暗褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色ロームの混合層　10YR2/1黒色土少量混入

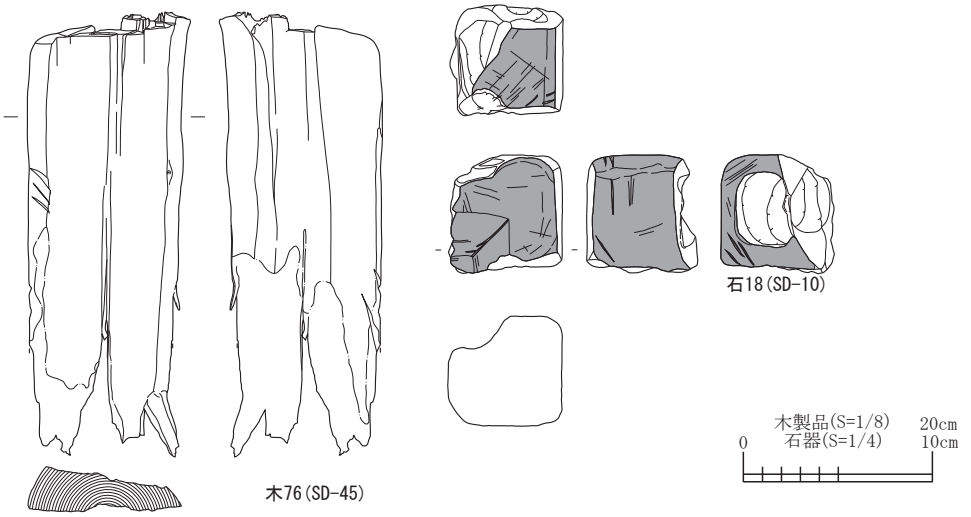
SD-44
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

SD-45
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量

第220図　川原館遺跡Ｆ区SD（４）



第221図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SD



第222図　川原館遺跡Ｆ区出土遺物SD

SD－44（第220図）

EK－145グリッドで検出した。SD－40と重複している。SD－40が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部分のみの検出であるが、概ね直線状を呈していると考えられ、確認できた規模は延長30㎝、幅58㎝、深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏２点、甕３点、小甕１点、須恵器甕１点（第221図989～995）を図示した。坏は２点のうち、非ロクロ１点（989）、ロクロ調整１点（990）である。990はやや厚みのある器壁で、丸みを帯びるように立ち上がる。991は甕の口縁部～体部で、口縁部～体部まで直線的で、口縁部へ開くような形状を呈する。992は甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。993は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部がやや強く屈曲しており、口縁部と体部の間にはくの字状のくびれを有する。994は把手付土器の把手部分である。995は須恵器甕の体部である。

SD－45（第220図）

EJ－142～144、EK－144グリッドで検出した。直線状を呈し、規模は延長822㎝、幅65㎝、深さ69㎝を測る。壁は一部内傾するものの、ほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は陶磁器１点（第221図996）、木製品１点（第222図木76）を図示した。996は擂鉢で、近代以降の所産と考えられる。木76は建築部材と考えられる。

３．井戸跡

FSE－01（第223図）

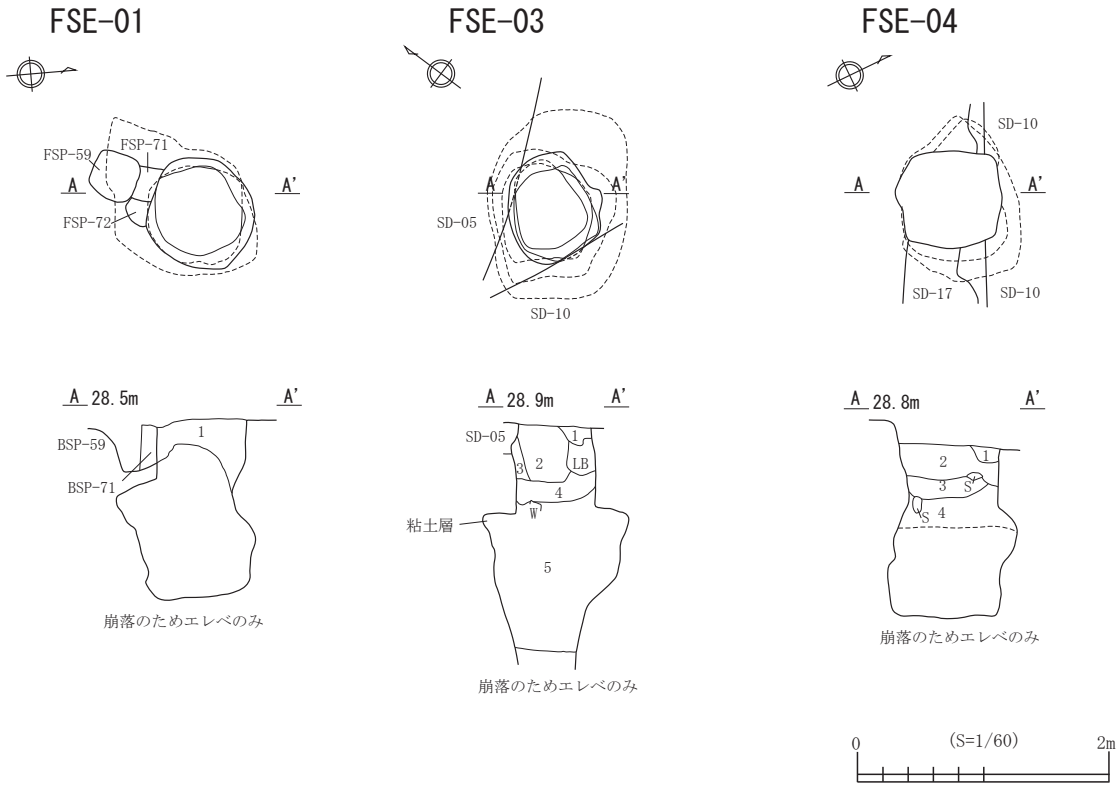
ER－160・161グリッドで検出した。FSP－71・72と重複している。本遺構がFSP－71・72を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸87×短軸85×深さ139㎝を測る。崩落により下位の壁の状況は不明であるが、開口部付近は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落のため、１層のみの確認である。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は木製品５点（第224図木77～81）を図示した。木77は連歯下駄、78～80は箸、81は杭である。木77は左足用で両側部が欠損している。木81は芯持材で上端を尖らせるように加工されている。

FSE－03（第223図）

ES－161・162グリッドで検出した。SD－05、10と重複している。本遺構がSD－05を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－10が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸88×短軸75㎝を測る。壁は底面から急角度に立ち上がり、開口部付近はほぼ垂直に立ち上がる。堆積土は崩落のため、５層のみ確認できた。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点（第224図997）、木製品３点（第224図木82～84）、石器・石製品５点（第224図石19～23）を図示した。997は甕の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。木82～84は桶の側板である。石19は平面長方形状の砥石で、表裏面に砥面が認められ、両側面は磨りが認められる。表裏面には擦切痕が認められる。石20は擦切具と考えられる。石21は平面長方形を呈する硯である。四隅が面取りされている。石22は平面方形を呈する砥石で、表裏面及び右側面に砥面が認められる。石23は両刃の磨製石斧である。

FSE－04（第223図）

ER－159グリッドで検出した。SD－10、17と重複している。本遺構がSD－10、17を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸84×短軸78×深さ157㎝を測る、壁は一部張出や内湾する部分を除いてほぼ垂直ないし急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は崩落のため、４層のみの確認で黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は鉄関連遺物２点（第224図鉄28、29）を図示した。鉄28は炉壁である。湾曲が認められることから製鉄炉のコーナー部付近のものと考えられる。鉄29は羽口で、断面方形を呈し、外径に比べて内径が狭くなっている。

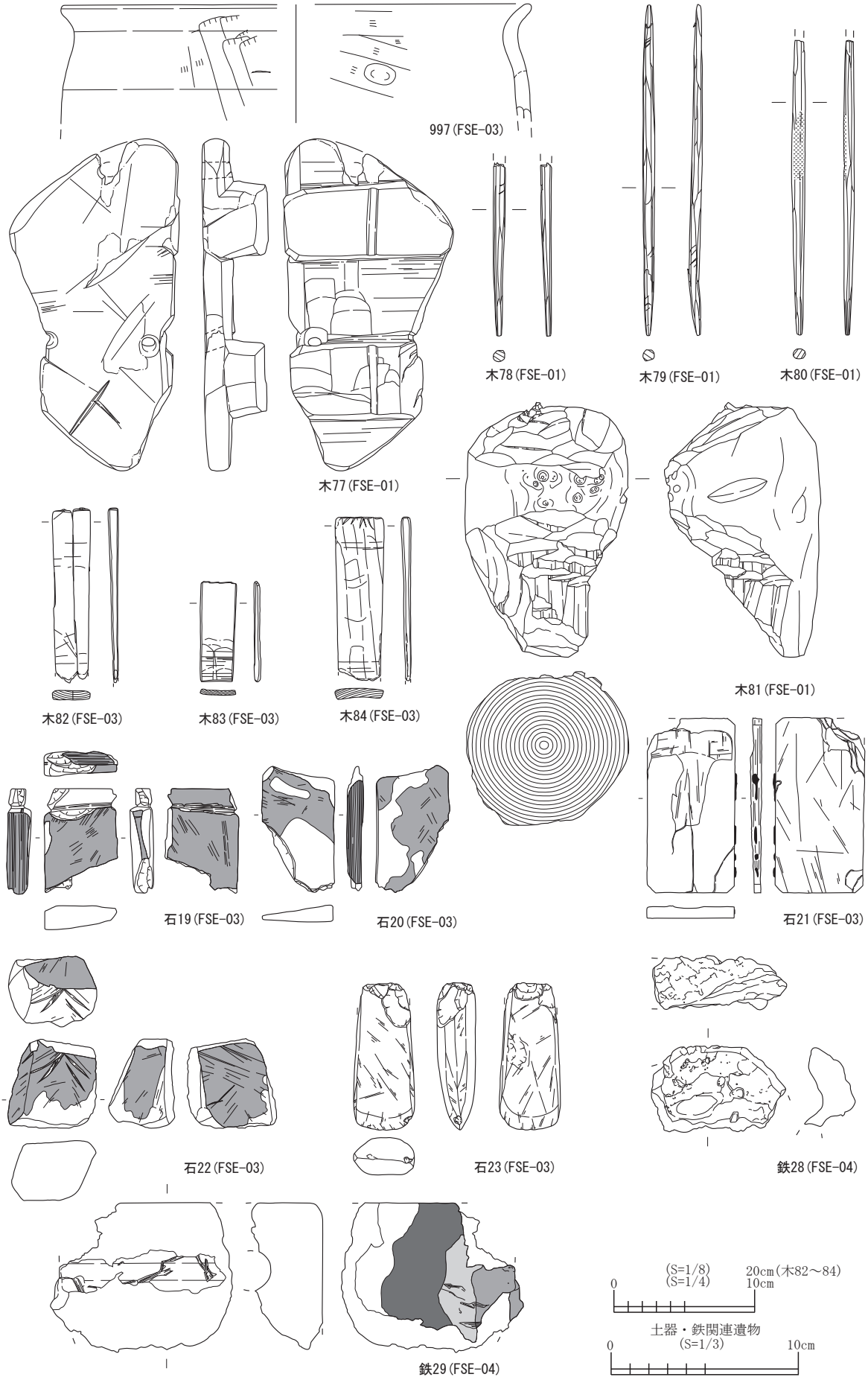


FSE-01
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSE-03
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第5層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

FSE-04
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第4層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量、礫(φ1～8mm)少量

第223図　川原館遺跡Ｆ区SE



第224図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SE

4．ピット

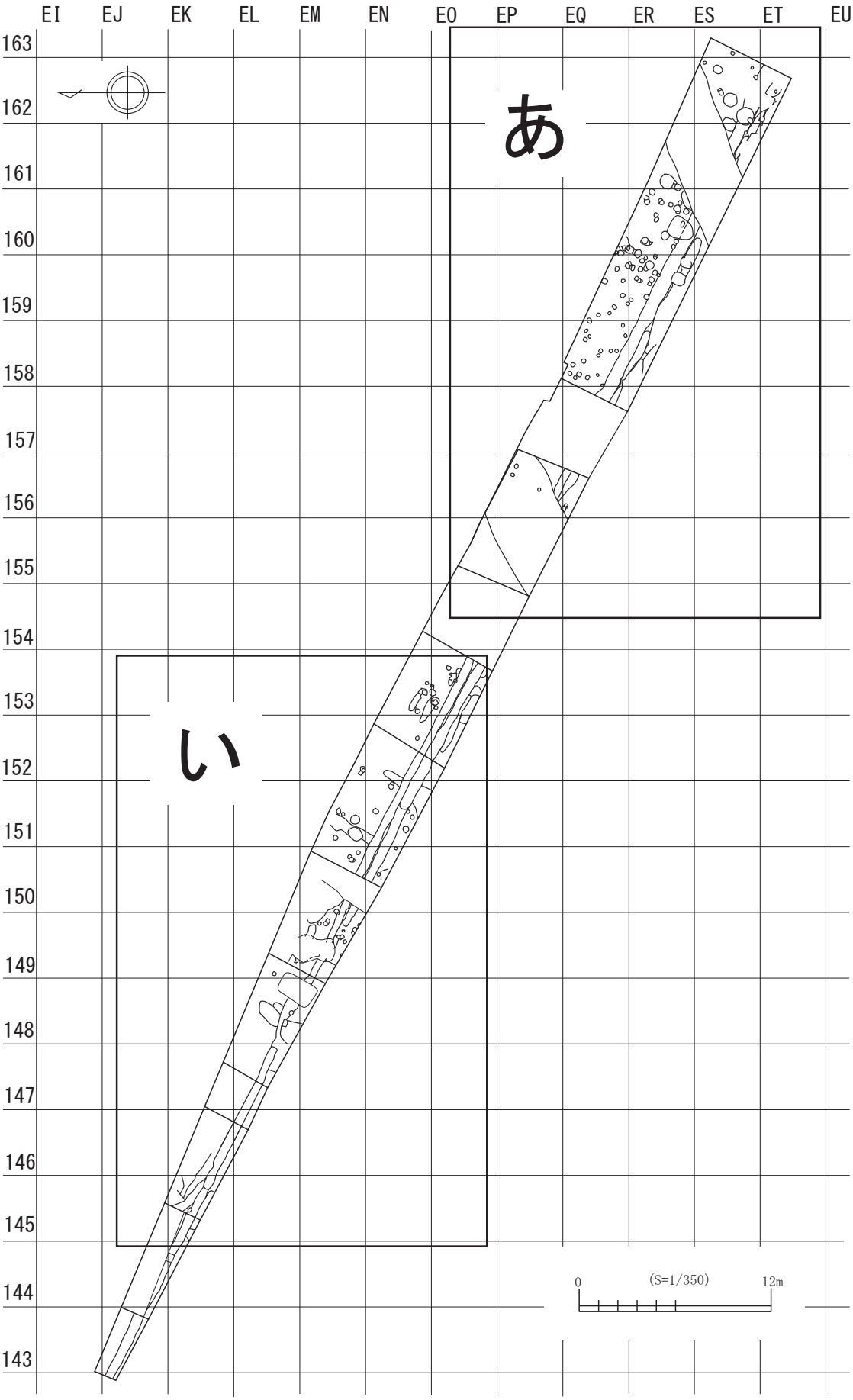
Ｆ区からは150基のピットを検出した。Ｃ区南側のSD－05、SD－57に囲まれた区域の分布密度が高い。詳細は第26表及び第225～235図のとおりである。

第26表　川原館遺跡Ｆ区SP観察表

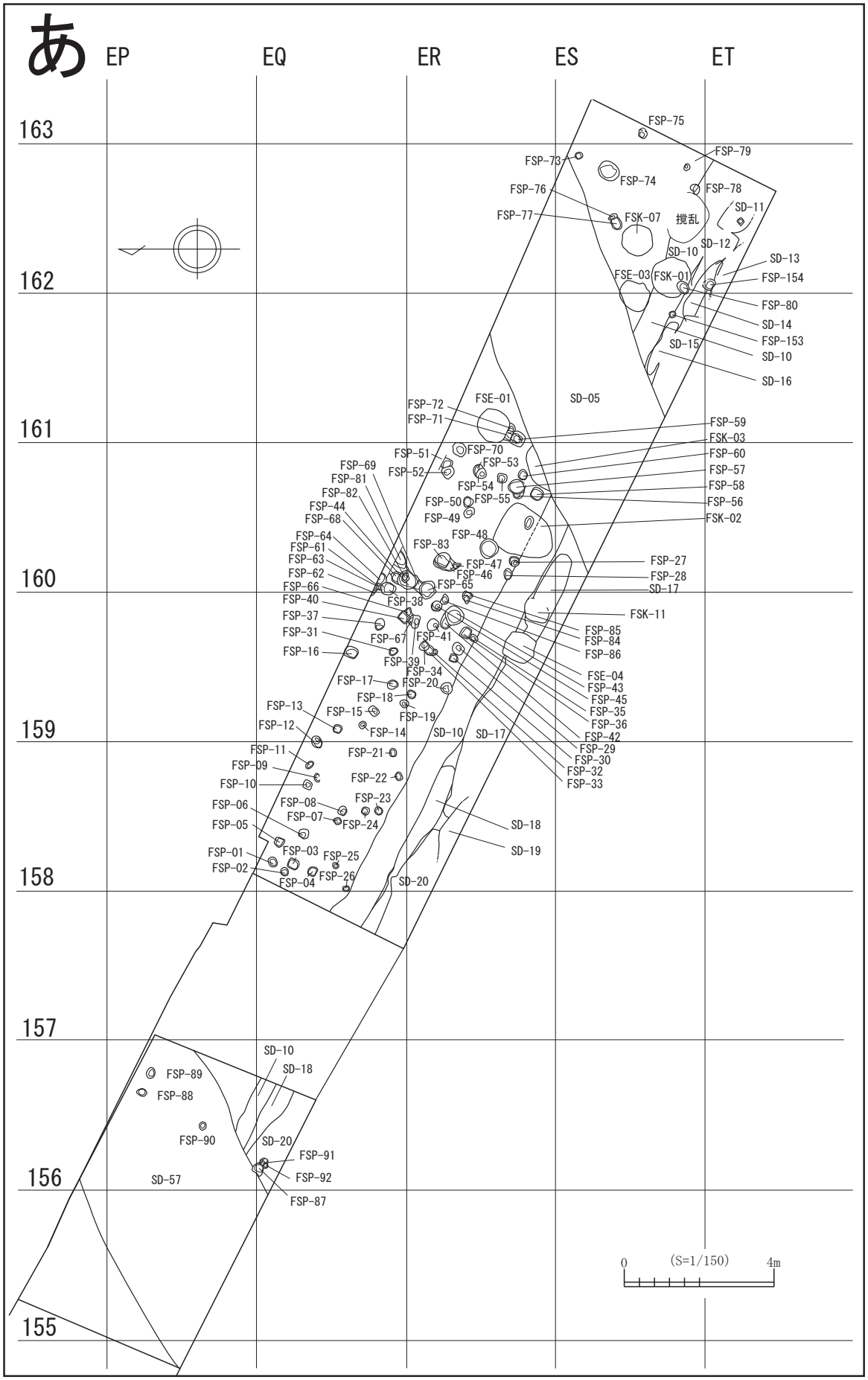
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第227図	FSP-01	EQ-158		27	22	15	f	a			柱痕跡有
第227図	FSP-02	EQ-158		23	21	8	h	d			
第227図	FSP-03	EQ-158		29	26	32	c	a			柱痕跡有
第227図	FSP-04	EQ-158		28	25	10	c	d			
第227図	FSP-05	EQ-158		28	27	27	c	d			
第227図	FSP-06	EQ-158		28	26	34	h	d			
第227図	FSP-07	EQ-158		22	19	13	h	d			
第227図	FSP-08	EQ-158		25	21	23	h	d			
第227図	FSP-09	EQ-158		24	(14)	13	f	d			
第227図	FSP-10	EQ-158		24	27	25	c	d			柱根残存
第227図	FSP-11	EQ-158		25	15	7	f	d			
第227図	FSP-12	EQ-158・159		34	26	18	f	e			
第227図	FSP-13	EQ-159		24	22	20	c	a			柱痕跡有
第227図	FSP-14	EQ-159		20	17	30	h	d			柱痕跡有
第227図	FSP-15	EQ-159		28	21	45	g	d	土師器坏1点（第236図998）	平安時代	
第227図	FSP-16	EQ-159		35	29	40	c	d			柱痕跡有
第227図	FSP-17	EQ-159		29	24	22	h	d			柱痕跡有
第227図	FSP-18	ER-159		24	21	10	h	d			
第227図	FSP-19	EQ・ER-159		23	20	31	h	d			
第228図	FSP-20	ER-159	FSP-20>SD-10	30	29	14	h	d			
第228図	FSP-21	EQ-158		22	19	21	h	d			
第228図	FSP-22	EQ-158		22	18	6	h	d	土師器甕1点（第236図999）	平安時代	
第228図	FSP-23	EQ-158		23	20	8	h	d			
第228図	FSP-24	EQ-158		22	20	22	c	d			
第228図	FSP-25	EQ-158		17	16	7	h	d			
第228図	FSP-26	EQ-157・158		18	14	5	h	d			
第228図	FSP-27	ER-160	FSP-27>SD-10	28	27	20	f	e			
第228図	FSP-28	ER-160	FSP-28>SD-10	30	22	20	f	d			
第228図	FSP-29	ER-159		34	29	16	h	d			柱痕跡有
第228図	FSP-30	ER-159		23	22	13	c	a			
第228図	FSP-31	EQ-159		25	22	10	h	d			
第228図	FSP-32	ER-159	FSP-32<FSP-33	17	12	11	h	d			
第228図	FSP-33	ER-159	FSP-32<FSP-33<FSP-34	27	24	7	f	d			
第228図	FSP-34	ER-159	FSP-34>FSP-33	26	23	22	c	d			
第228図	FSP-35	ER-159	FSP-35>SD-10	24	18	20	h	d			
第228図	FSP-36	ER-159		42	29	33	c	d			
第228図	FSP-37	EQ-159		32	25	15	f	g			
第228図	FSP-38	EQ-159・160	FSP-64<FSP-38<FSP-61	42	33	45	f	d			柱痕跡有
第228図	FSP-39	ER-159	FSP-39>FSP-67	36	20	26	f	d			
第228図	FSP-40	EQ・ER-159	FSP-66<FSP-40<FSP-67	32	24	26	c	d			
第228図	FSP-41	ER-159		33	29	26	f	d			
第229図	FSP-42	ER-159	FSP-42<FSP-43	42	21	13	f	d			
第229図	FSP-43	ER-159	FSP-43>FSP-42	52	50	35	h	d			
第229図	FSP-44	EQ・ER-160	FSP-68･69<FSP-44>FSP-81・82	52	45	11	f	d			
第229図	FSP-45	ER-159	FSP-45>FSP-86	28	28	25	h	d			柱痕跡有
第229図	FSP-46	ER-160	FSP-83<FSP-46<FSP-47	23	15	12	f	d			
第229図	FSP-47	ER-160	FSP-47>FSP-46	22	14	6	x	d			
第229図	FSP-48	ER-160	FSP-48>FSK-02	51	49	15	h	d			
第229図	FSP-49	ER-160		28	27	15	h	a			
第229図	FSP-50	ER-160		29	27	15	f	d			柱痕跡有
第229図	FSP-51	ER-160	FSP-51<FSP-52	32	27	11	h	d			
第229図	FSP-52	ER-160	FSP-52>FSP-51	33	33	28	h	d			柱痕跡有
第229図	FSP-53	ER-160	FSP-53<FSP-54	26	16	10	f	a			
第229図	FSP-54	ER-160	FSP-54>FSP-53	29	27	14	h	d			
第229図	FSP-55	ER-160		27	25	20	c	d			
第230図	FSP-56	ER-160	FSP-56<FSP-57	28	13	17	f	d			
第230図	FSP-57	ER-160	FSP-57>FSP-56	43	39	40	h	d			
第230図	FSP-58	ER-160		34	33	31	h	d			
第230図	FSP-59	ER-160・161	FSP-59>FSP-71	38	37	73	c	j			
第230図	FSP-60	ER-160		28	24	25	h	a			柱痕跡有

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第230図	FSP-61	EQ-160	FSP-61>FSP-63･64	18	16	34	c	d			
第230図	FSP-62	EQ-159・160	FSP-62<FSP-63	23	10	18	x	d			
第230図	FSP-63	EQ-160	FSP-62<FSP-63> FSP-61、64	20	6	20	h	d			
第230図	FSP-64	EQ-160	FSP-61<FSP-63> FSP-61、64	30	26	20	h	d			
第230図	FSP-65	ER-159・160	FSP-65>FSP-69	52	45	10	h	d			
第228図	FSP-66	EQ･ER-159	FSP-66<FSP-40、67	22	17	14	c	a			
第228図	FSP-67	ER-159	FSP-39>FSP-67>FSP -40、FSP-66<FSP-67	25	11	9	c	d			
第229図	FSP-68	EQ-160	FSP-81<FSP-68< FSP-44	31	20	7	h	d			
第229図	FSP-69	ER-159・160	FSP-69<FSP-44、65	29	11	8	x	a			
第230図	FSP-70	ER-160・161		37	35	37	h	h			
第230図	FSP-71	ER-161	FSE-01、FSP-59> FSP-71>FSP-72	30	21	36	c	a			
第230図	FSP-72	ER-161	FSP-72<FSE-01、 FSP-71	20	17	21	h	d			
第230図	FSP-73	ES-162		20	18	18	h	d			
第230図	FSP-74	ES-162		56	52	40	f	d			
第231図	FSP-75	ES-163		24	21	35	h	d			
第231図	FSP-76	ES-162	FSP-76>FSP-77	26	14	6	f	d			
第231図	FSP-77	ES-162	FSP-77<FSP-76	32	27	6	f	d			
第231図	FSP-78	ES-162	FSP-78>SD-10	31	23	13	e	d			
第231図	FSP-79	ES-162		17	17	10	h	d			
第231図	FSP-80	ES-161・162	FSP-80>FSK-01	36	28	27	f	d			
第229図	FSP-81	EQ・ER-160	FSP-81<FSP-44、 68	(70)	(45)	13	f	d			
第229図	FSP-82	EQ・ER-160	FSP-82<FSP-44	25	20	17	f	d			
第229図	FSP-83	ER-160	FSP-83<FSP-46	45	37	29	f	a			
第231図	FSP-84	ER-159	FSP-84>FSP-85	23	19	9	f	d			
第231図	FSP-85	ER-159・160	FSP-85<FSP-84	27	13	9	f	d			
第229図	FSP-86	ER-159	FSP-86<FSP-45	21	20	11	h	d			
第231図	FSP-87	EP・EQ-156	SD-57<FSP-87> SD-20、FSP-91･92	30	26	38	c	d			
第231図	FSP-88	EP-156		28	20	12	f	d			
第231図	FSP-89	EP-156		29	23	14	f	d			
第231図	FSP-90	EQ-156		20	19	8	h	d			
第231図	FSP-91	EQ-157	FSP-87、92>FSP- 91>SD-20	22	20	9	f	d			
第231図	FSP-92	EQ-156	FSP-87、92>FSP- 91、SD-20	13	13	18	h	j			
第233図	FSP-93	EM-152	FSP-106<FSP-93> FSP-94	22	20	10	h	d			
第233図	FSP-94	EM-152	FSP-94>FSP-93	32	30	5	h	d			
第233図	FSP-95	EN-151	FSP-95<FSP-96	23	15	5	c	d			
第233図	FSP-96	EN-151	FSP-96>FSP-95	30	29	25	h	d			柱痕跡有
第233図	FSP-97	EN-151		35	34	23	h	d			
第233図	FSP-98	EM-151		55	55	6	h	d			
第233図	FSP-99	EM-151		21	20	16	h	d			柱痕跡有
第233図	FSP-100	EM-151		36	25	14	f	d			
第233図	FSP-101	EM-151		33	30	20	h	d			
第233図	FSP-102	EM-150		27	25	22	h	d			柱痕跡有
第233図	FSP-103	EM-150	FSP-103<FSP-104	20	11	8	d	d			
第233図	FSP-104	EM-150	FSP-103<FSP-104 <FSP-105	29	25	11	c	d			
第233図	FSP-105	EM-150	FSP-105>FSP-104	26	19	14	h	d			
第233図	FSP-106	EM-152	FSP-106<FSP-93･94	24	23	8	a	a			
第233図	FSP-107	EK-145	FSP-107<SD-40	30	(16)	13	f	d			柱痕跡有
第233図	FSP-108	EN-150		22	20	15	h	a			柱痕跡有
第233図	FSP-109	EN-150		18	17	15	c	d			
第233図	FSP-110	EN-151		42	35	27	e	e			
第233図	FSP-111	EN-151		26	25	12	f	e			
第233図	FSP-112	EN-151		21	19	12	h	d			
第233図	FSP-114	EL-149		23	22	12	c	d			
第233図	FSP-115	EL-148	FSP-115>FSK-31、 SD-10	56	28	26	b	a			
第234図	FSP-117	EL-148	FSP-117<SD-10	27	24	10	f	d			
第234図	FSP-120	EO-153		28	25	13	h	d			
第234図	FSP-121	EO-153	FSP-121<FSP-137、 SD-10	23	20	27	h	d			
第234図	FSP-122	EN-153		21	18	6	f	d			
第234図	FSP-123	EN-153	SD-28<FSP-123> FSP-124	32	25	9	c	d			
第234図	FSP-124	EN-153	FSP-123>FSP-124 >SD-28	26	25	8	h	d			
第234図	FSP-126	EN-153	FSP-126<SD-28	19	10	11	h	d			

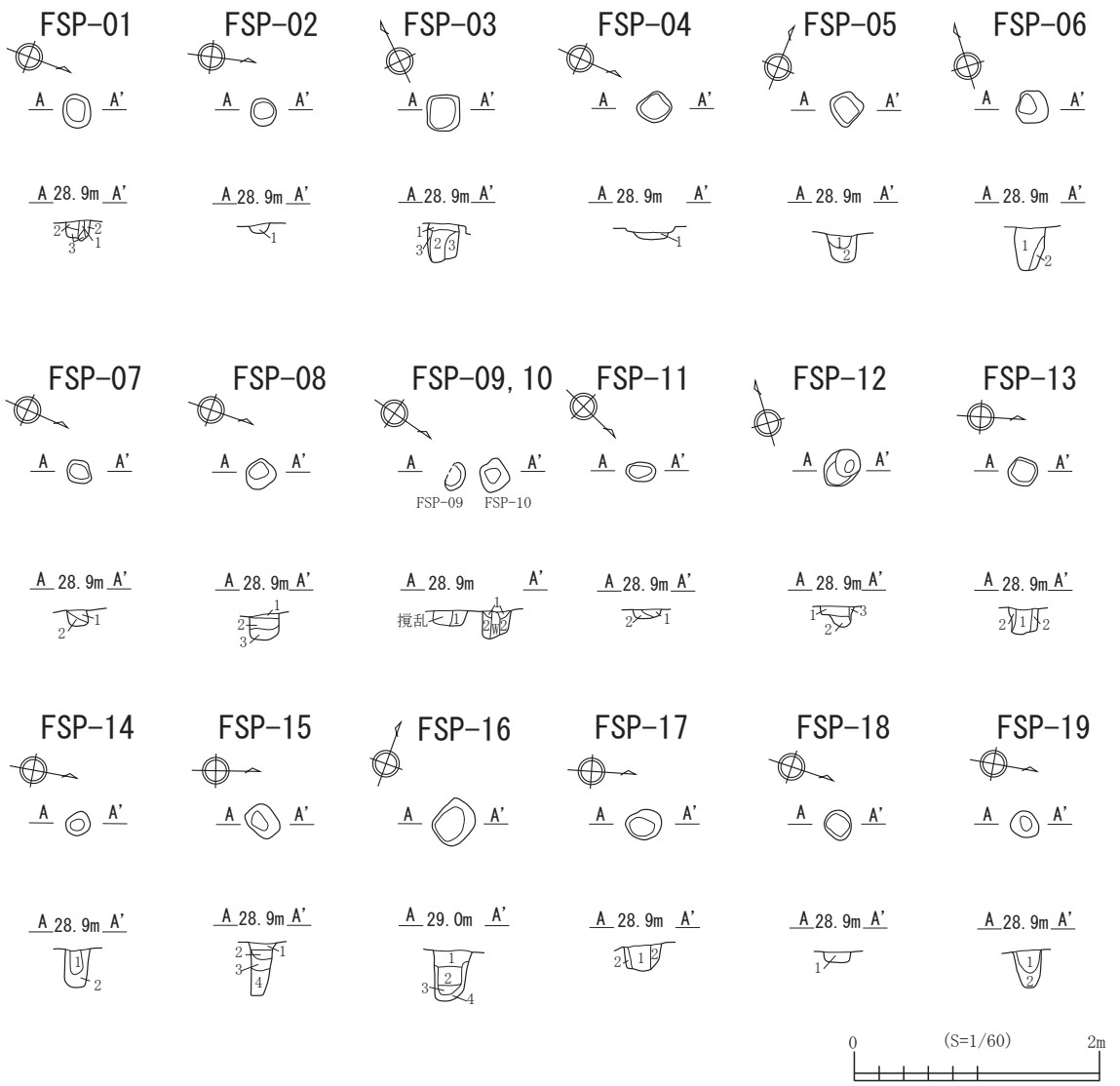
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第234図	FSP-127	EN-153		30	27	10	c	d			
第234図	FSP-128	EN-152		23	23	19	c	d			
第234図	FSP-129	EO-153	FSP-129<FSP-130	24	7	9	f	d			
第234図	FSP-130	EN･EO-153	FSP-129<FSP-130 <FSP-131	26	23	7	f	d			
第234図	FSP-131	EN･EO-153	FSP-131>FSP-130	44	34	10	e	d			
第234図	FSP-132	EO-153	FSP-132>FSP-133	30	(23)	15	h	d			
第234図	FSP-133	EN･EO-153	FSP-132>FSP-133 >FSP-134	37	29	29	h	c			
第234図	FSP-134	EN･EO-153	FSP-133>FSP-134 >FSP-135	54	49	43	h	d			
第234図	FSP-135	EN･EO-153	FSP-135<FSP-134	21	12	6	c	d			
第234図	FSP-136	EO-153		22	22	6	c	d			
第235図	FSP-137	EO-153	FSP-140<FSP-137 <FSP-121、138	62	35	15	e	j			
第235図	FSP-138	EO-153	FSP-138>FSP-137	36	22	13	b	d			
第235図	FSP-139	EO-153	FSP-139<SD-10	39	(23)	10	f	e			
第235図	FSP-140	EO-153		(16)	14	8	h	d			
第235図	FSP-142	EM-149	FSP-142>SD-34、 FSP-146、156	20	20	12	h	d			柱痕跡有
第235図	FSP-143	EM-149	FSP-143>FSP-155	45	30	26	h	e			
第235図	FSP-144	EM-149		20	20	22	c	d			
第235図	FSP-145	EM-149・150	FSP-145>SD-10	36	26	4	f	d			
第235図	FSP-146	EM-149	FSP-142>FSP-146 >156	22	22	25	h	d			
第235図	FSP-147	EM-149		20	20	29	c	d			
第235図	FSP-148	EM-149		20	(7)	28	h	d			
第235図	FSP-149	EM-149	FSP-149>FSP-150	30	(20)	31	h	d			
第235図	FSP-150	EM-149	FSP-150<FSP-149	20	(16)	36	h	d			
第235図	FSP-151	EM-149		15	15	6	h	a			
第235図	FSP-152	EM-149		20	(10)	24	h	d			
第231図	FSP-153	ES-161	FSP-153>SD-10	18	15	21	h	a			
第231図	FSP-154	ES・ET-162	FSP-154>SD-13･14	33	27	21	h	d			
第235図	FSP-155	EM-149	FSP-155>FSP-143	45	24	9	f	d			
第235図	FSP-156	EM-149	FSP-156<FSP-142、 146	18	9	9	h	d			



第225図　川原館遺跡Ｆ区SP分割図



第226図　川原館遺跡Ｆ区SP区分図あ



FSP-01
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)中量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-02
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-03
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量

FSP-04
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

FSP-05
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

FSP-06
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-07
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-08
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

FSP-09
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-10
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量

FSP-11
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層

FSP-12
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量

FSP-13
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-14
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-15
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第4層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

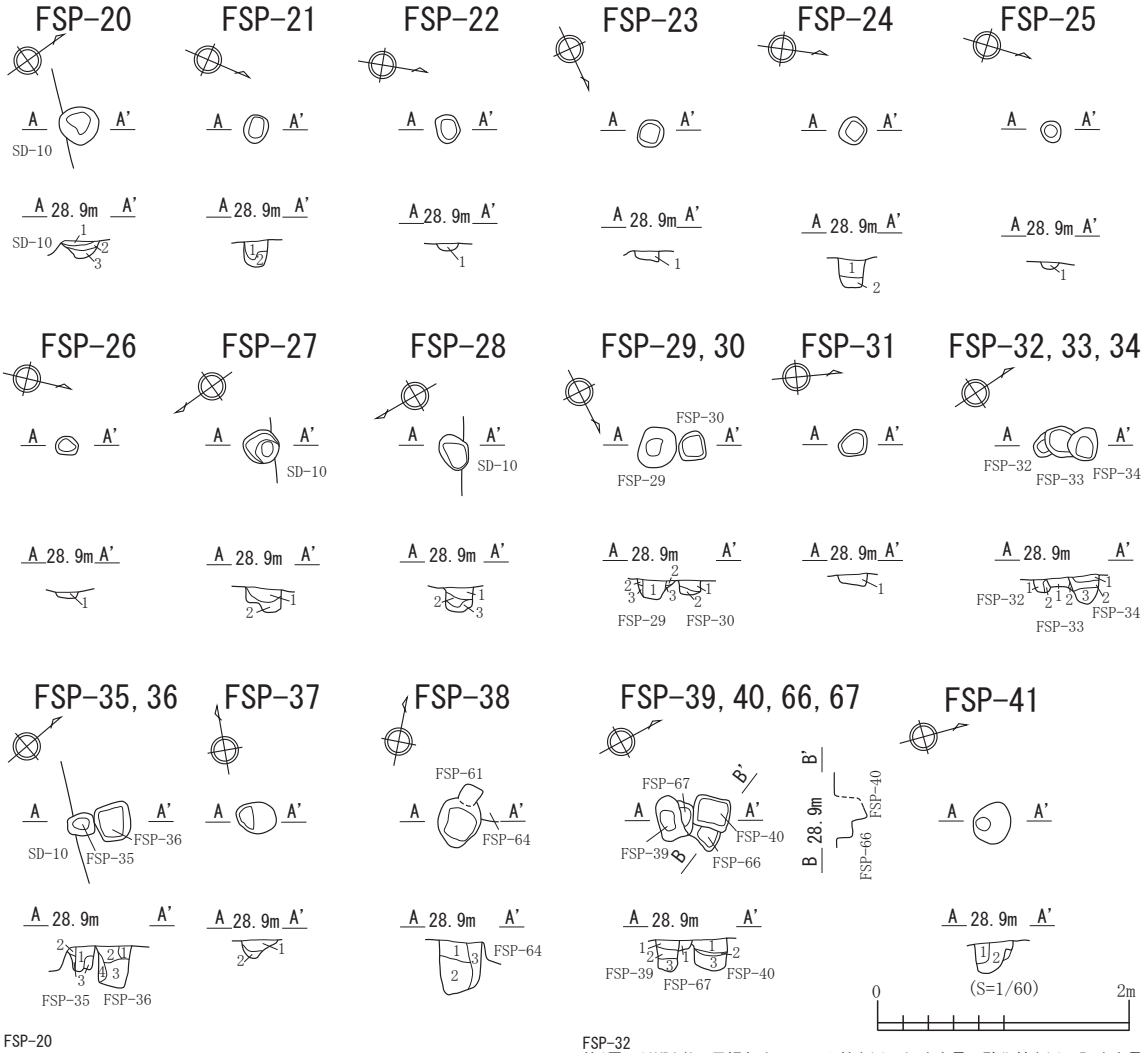
FSP-16
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-17
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-18
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-19
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～5mm)少量

第227図　川原館遺跡Ｆ区SPあ（１）



FSP-20
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、
ロームブロック(φ50mm)少量、
酸化鉄(φ1～3mm)少量

FSP-21
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-22
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-23
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-24
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-25
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量

FSP-26
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-27
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～20mm)少量、
酸化鉄(φ1～5mm)少量、礫(φ10～20mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-28
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
酸化鉄(φ1～8mm)少量

FSP-29
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-30
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、
酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-31
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄(φ1～5mm)少量

FSP-32
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層

FSP-33
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、
ロームブロック(φ20～50mm)少量、
酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量

FSP-34
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-35
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

FSP-36
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄(φ1～8mm)少量

FSP-37
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
酸化鉄(φ1～8mm)少量

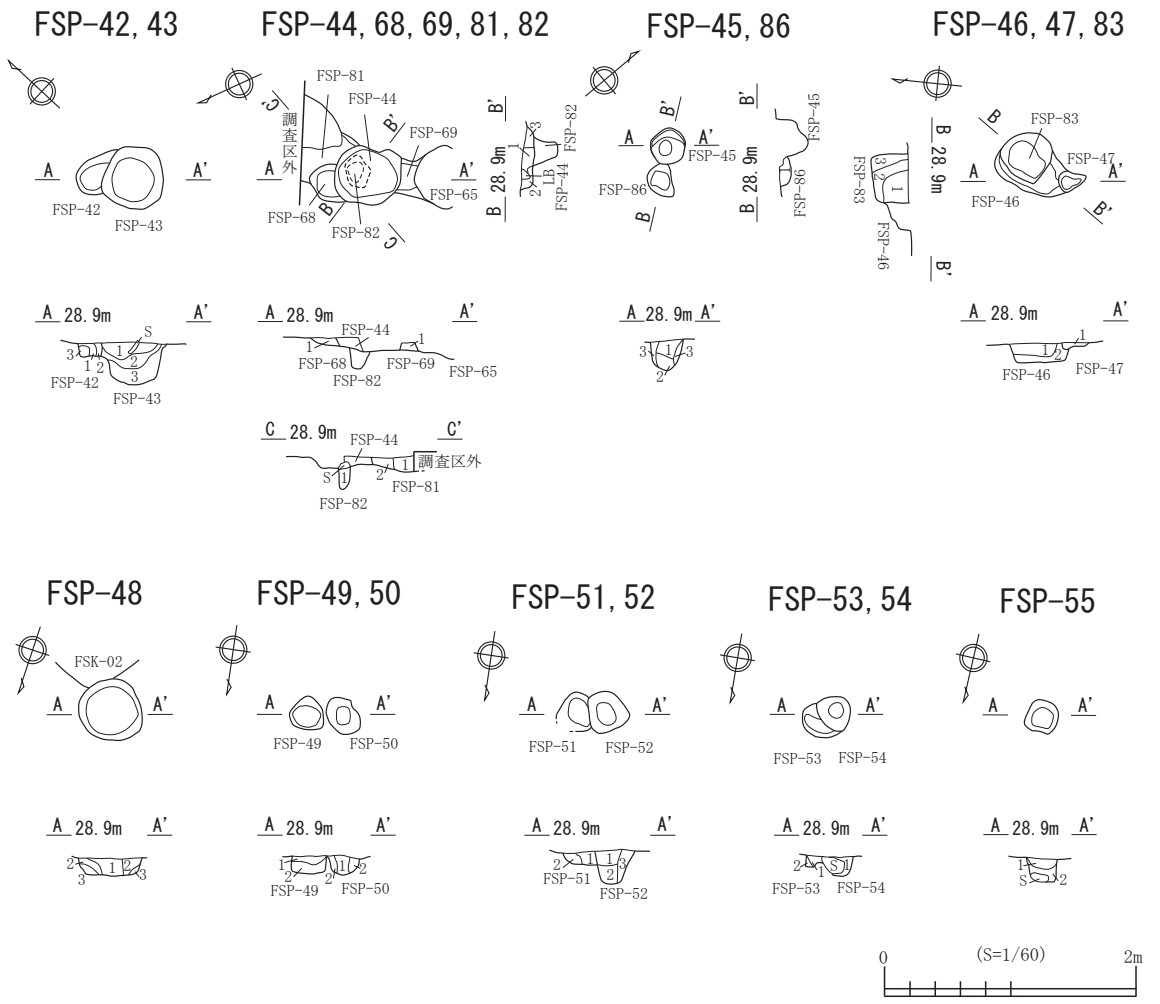
FSP-38
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

FSP-39
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量

FSP-40
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量

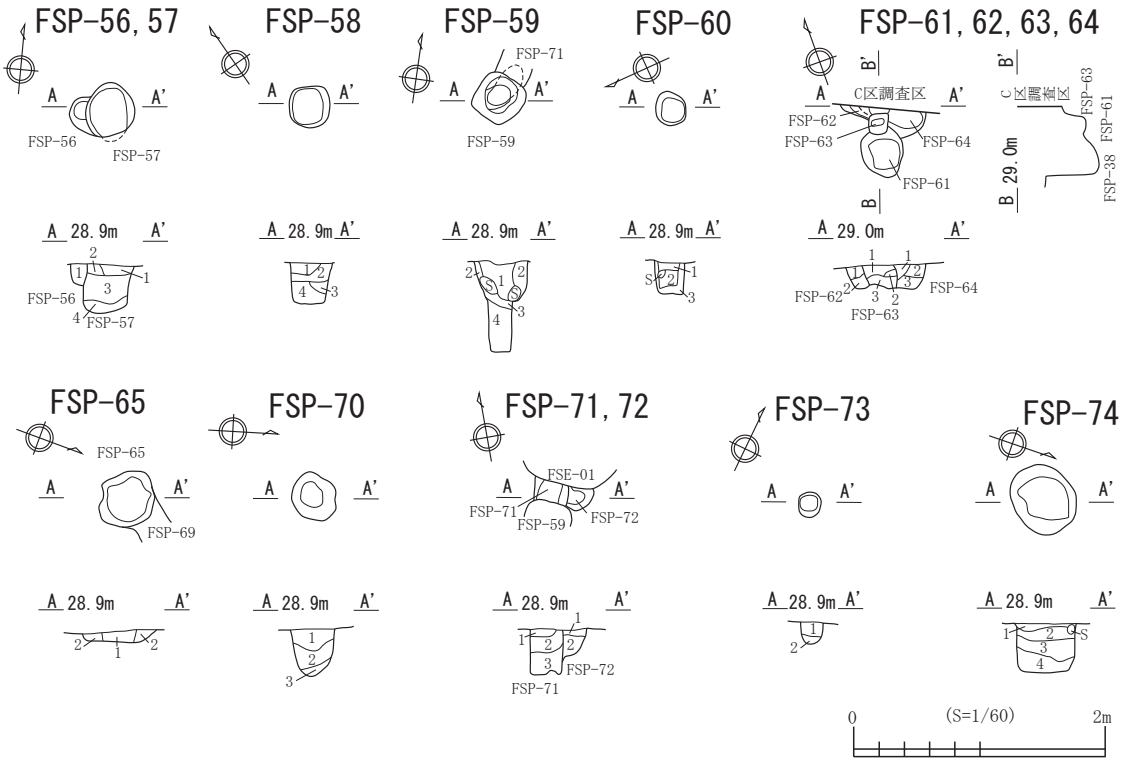
FSP-41
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、
酸化鉄(φ1～5mm)微量

第228図　川原館遺跡Ｆ区SPあ（２）



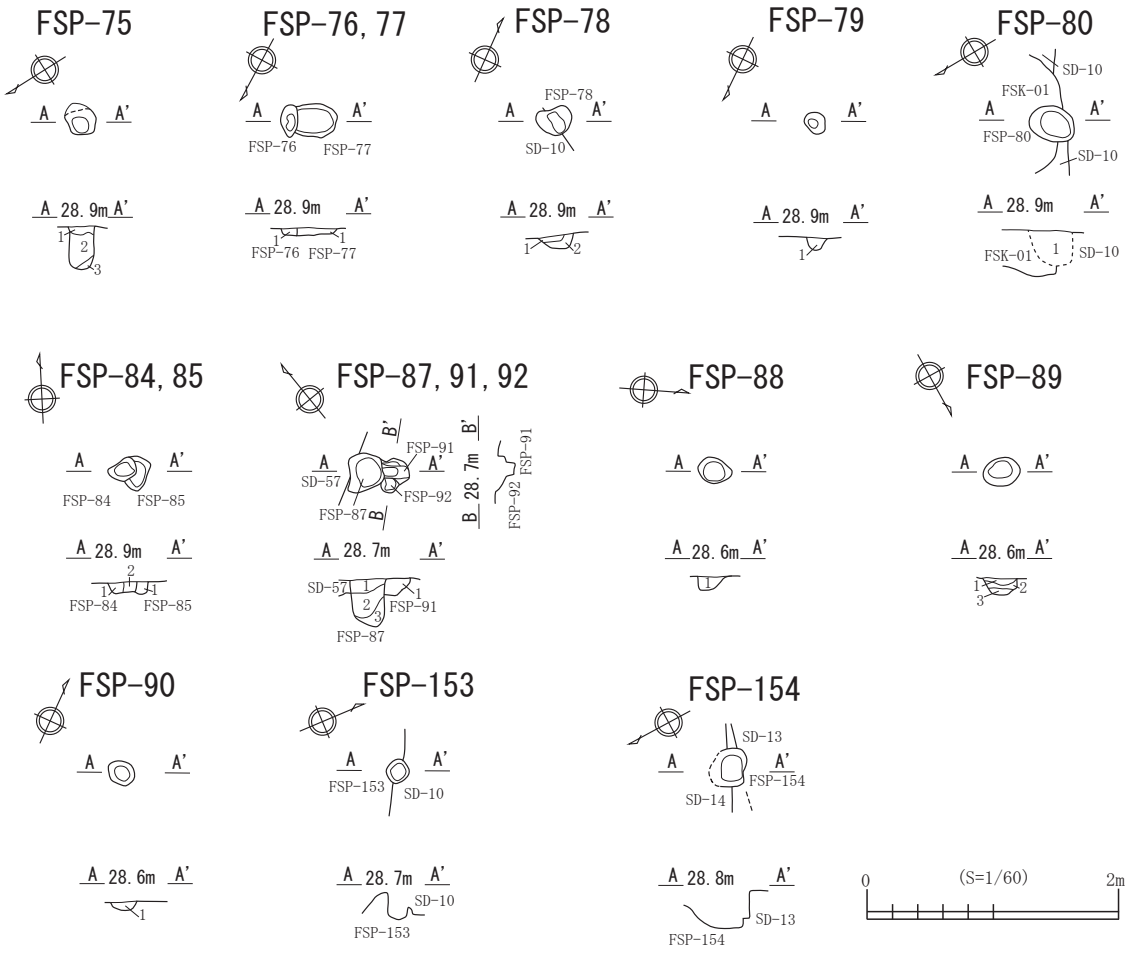
FSP-42
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層
FSP-43
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-44
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～60mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-45
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-46
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-47
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-48
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第3層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-49
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-50
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-51
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-52
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/2灰黄褐色ロームの混合層
FSP-53
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
FSP-54
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-55
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、礫(φ5～20mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-68
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-69
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-81
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-82
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-83
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
FSP-86
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

第229図　川原館遺跡Ｆ区SPあ（３）



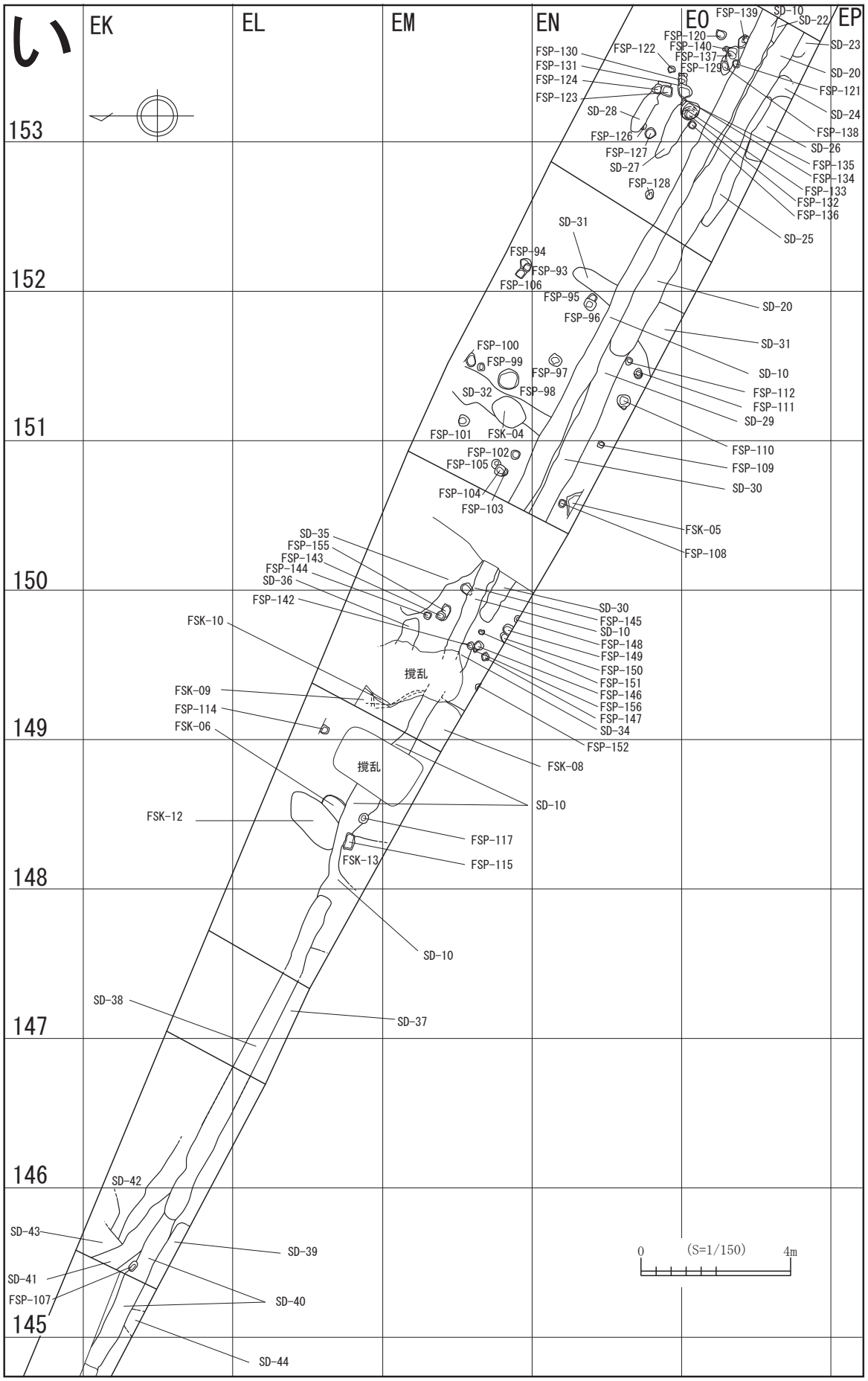
FSP-56
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-57
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層
FSP-58
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第4層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-59
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-60
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-62
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-63
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-64
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
　　酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-65
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
FSP-70
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-71
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-72
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
FSP-73
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-74
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

第230図　川原館遺跡Ｆ区SPあ（４）

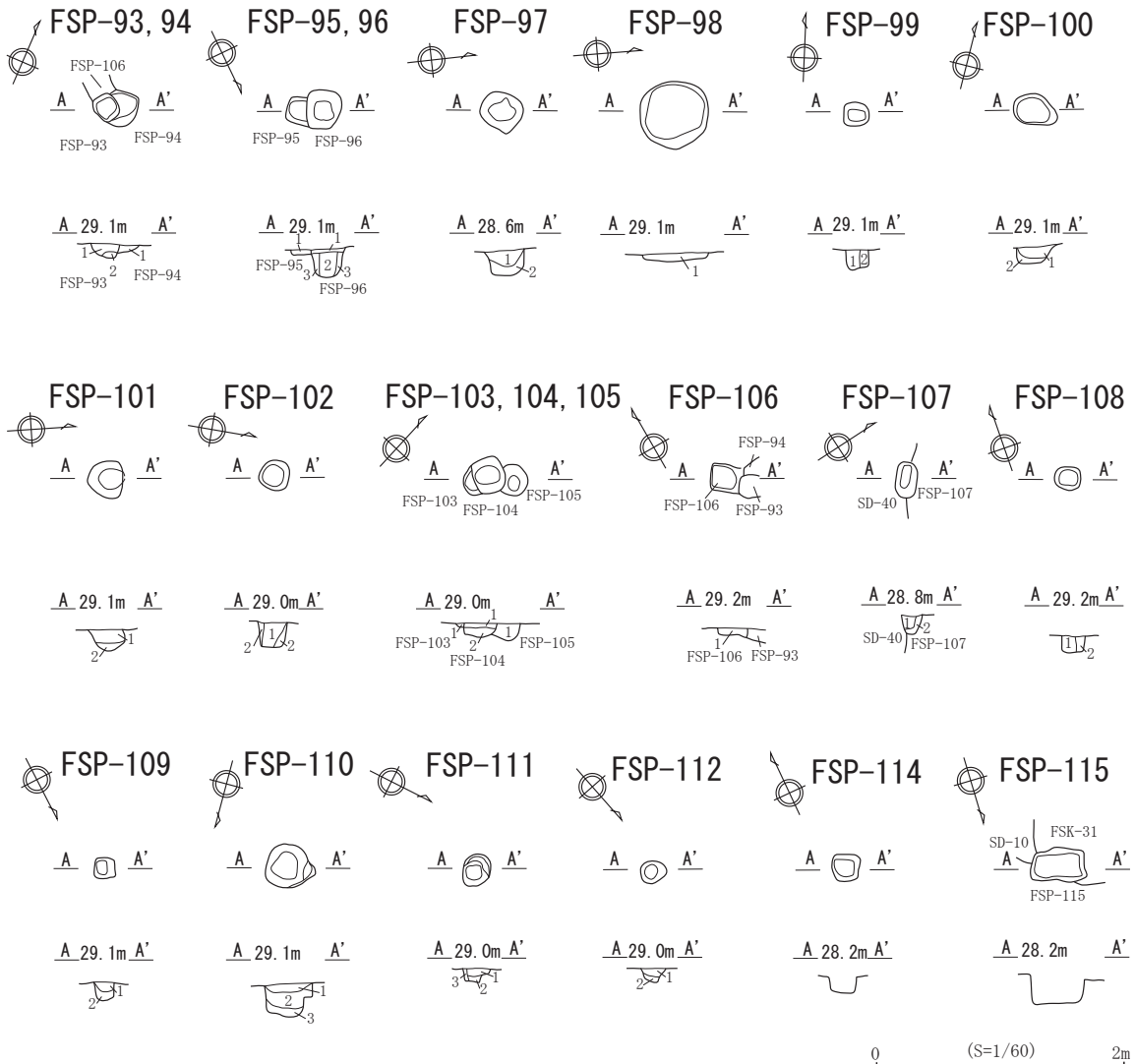


FSP-75
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-76
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-77
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-78
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-79
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-80
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-84
第1層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-85
第1層 10YR3/4 暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-87
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-88
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-89
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-90
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
FSP-91
第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　酸化鉄(φ1～5mm)微量

第231図　川原館遺跡Ｆ区SPあ（５）

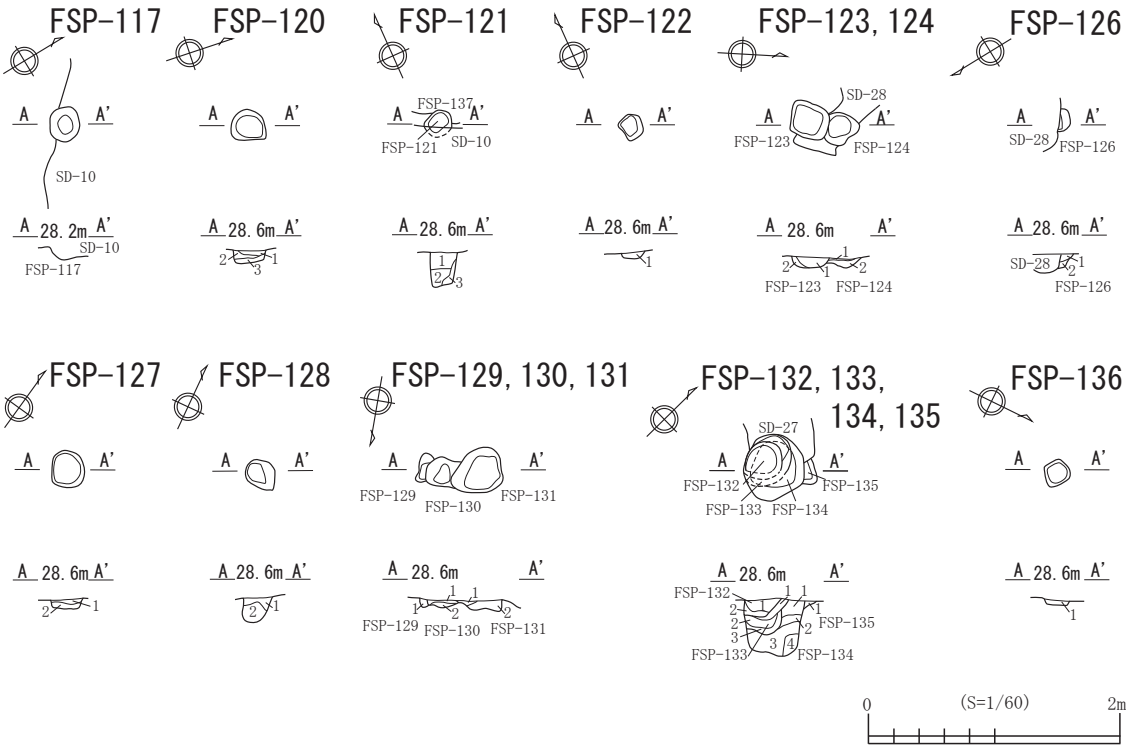


第232図　川原館遺跡Ｆ区SP区分図い



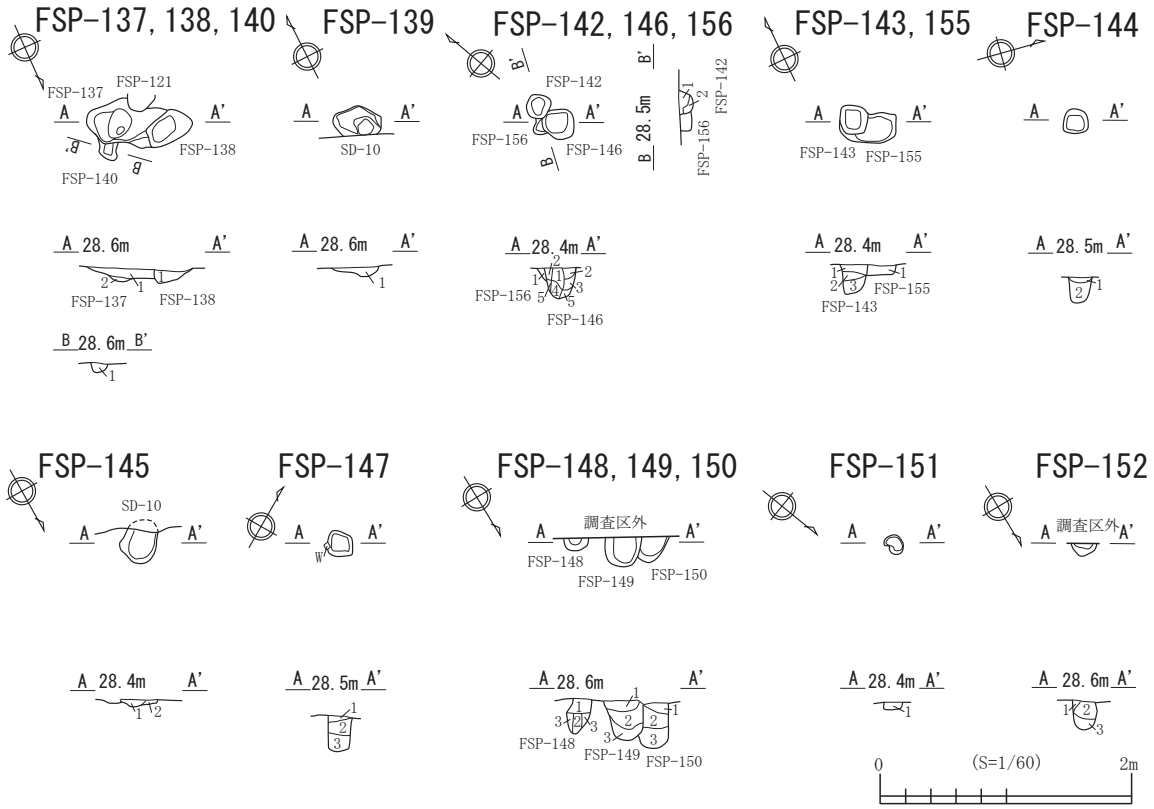
FSP-93
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
FSP-94
第1層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-95
第1層 10YR2/2 黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層
FSP-96
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層 10YR3/2 黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
FSP-97
第1層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-98
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-99
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ50mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-100
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR5/6 黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
FSP-101
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
FSP-102
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-103
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
FSP-104
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30～60mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-105
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-106
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-107
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層 10YR3/3 暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-108
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-109
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-110
第1層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第3層 10YR2/1 黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-111
第1層 10YR2/3 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
FSP-112
第1層 10YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層 10YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

第233図　川原館遺跡Ｆ区SPい（１）



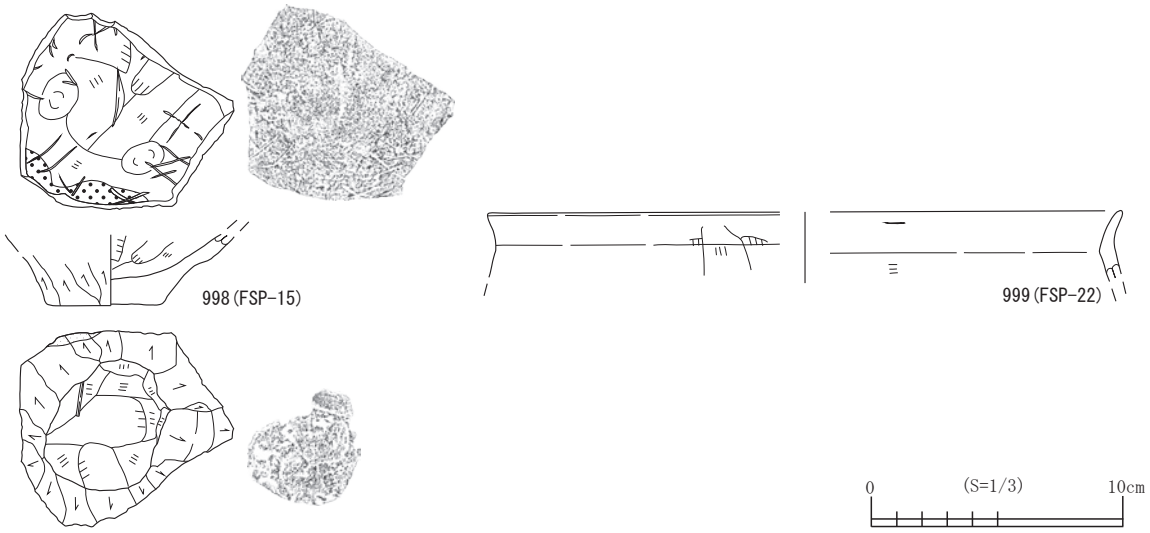
FSP-120
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)中量、酸化鉄(φ1～10mm)微量
第3層　10YR3/4　暗褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-121
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～3mm)少量
FSP-122
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-123
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
FSP-124
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-126
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-127
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-128
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-129
第1層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-130
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-131
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-132
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～150mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
FSP-133
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-134
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第4層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
FSP-135
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-136
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

第234図　川原館遺跡Ｆ区SPい（２）



FSP-137
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-138
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-139
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)多量
FSP-140
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-142
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
FSP-143
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-144
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～60mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-145
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
FSP-146
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第5層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量
FSP-147
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-148
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-149
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、粘土粒(φ20mm)少量
FSP-150
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR1.7/1 黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40～60mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-151
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-152
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR1.7/1 黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
FSP-155
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～5mm)微量
FSP-156
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄（φ1～5mm） 少量

第235図　川原館遺跡Ｆ区SPい（３）



第236図　川原館遺跡Ｆ区出土土器SP

５．遺構外出土遺物

（１）土器

土師器坏３点、甕３点、小甕１点、把手付土器１点、須恵器長頸壺１点、甕５点（第237図1000～1013）を図示した。坏は３点のうち、非ロクロ１点（1000）、ロクロ調整２点（1001・1002）である。1000は坏の口縁部～底部で、外面ヘラケズリ、内面ナデによって調整されており、底部は柾目痕である。1001は口径に対して器高が高くなっている。1003は甕の口縁部～体部で、体部が丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈する。1004は甕の口縁部～体部で体部が丸みを帯び口縁部がやや外反する。1005は甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線的で口縁部が緩やかに外反する形状を呈する。1006は小甕の口縁～体部で、体部はほぼ直線的で、口縁部が緩やかに外反する。1007は把手付土器の把手である。やや短めの把手で外面ヘラケズリによって調整されている。1008は須恵器長頸壺の口縁部で、内外面ロクロ調整が施されている。1009～1013は須恵器甕の体部である。1011、1012は同一個体である。

（２）木製品

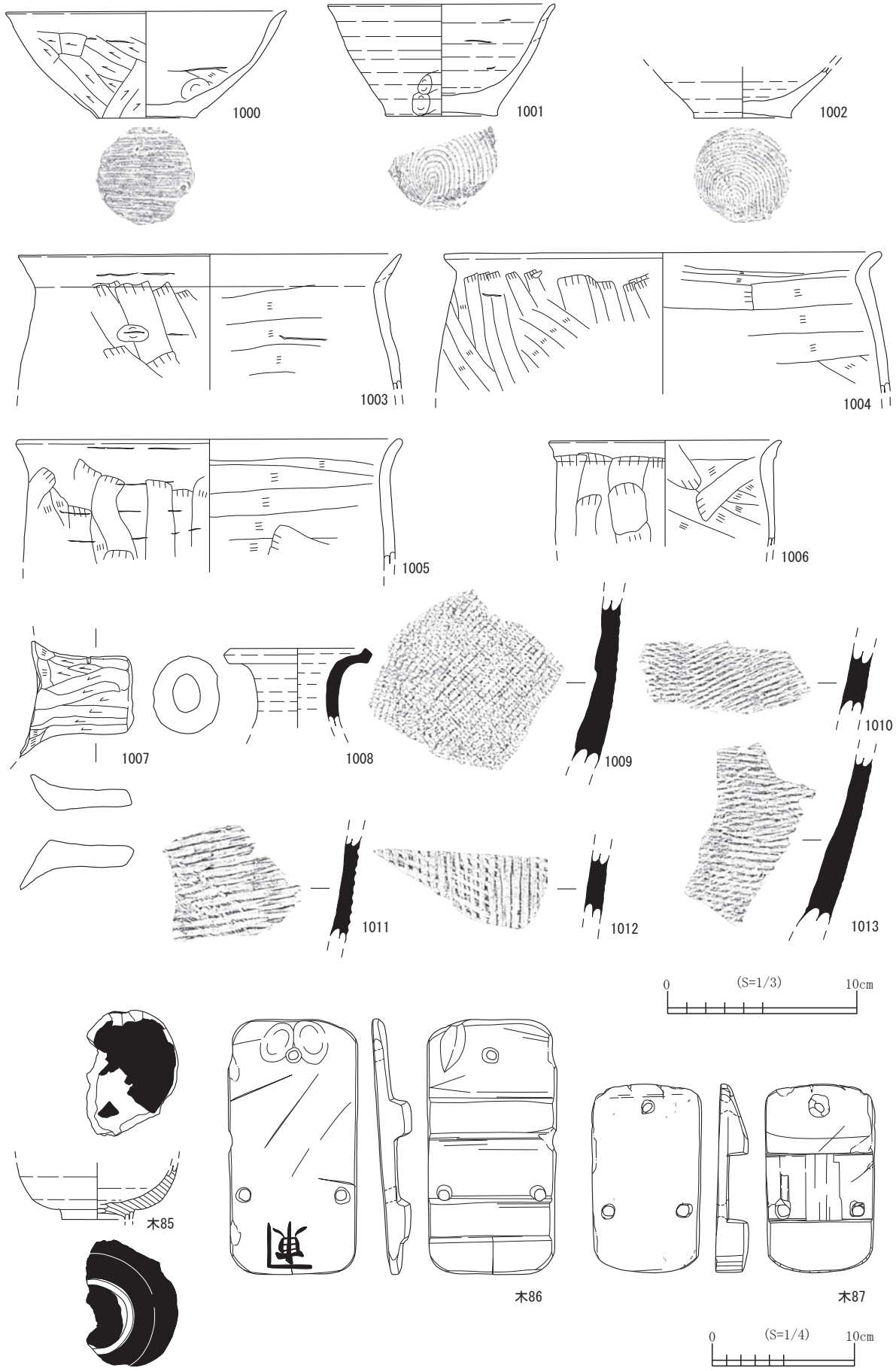
漆塗椀１点、下駄５点（第237・238図木85～90）を図示した。木85は椀で、内外面黒漆が塗布されている。下駄は木86が連歯下駄、木87・88、90が刳り下駄、木89は露卯下駄である。木86は焼印が認められる。

（３）鉄関連遺物

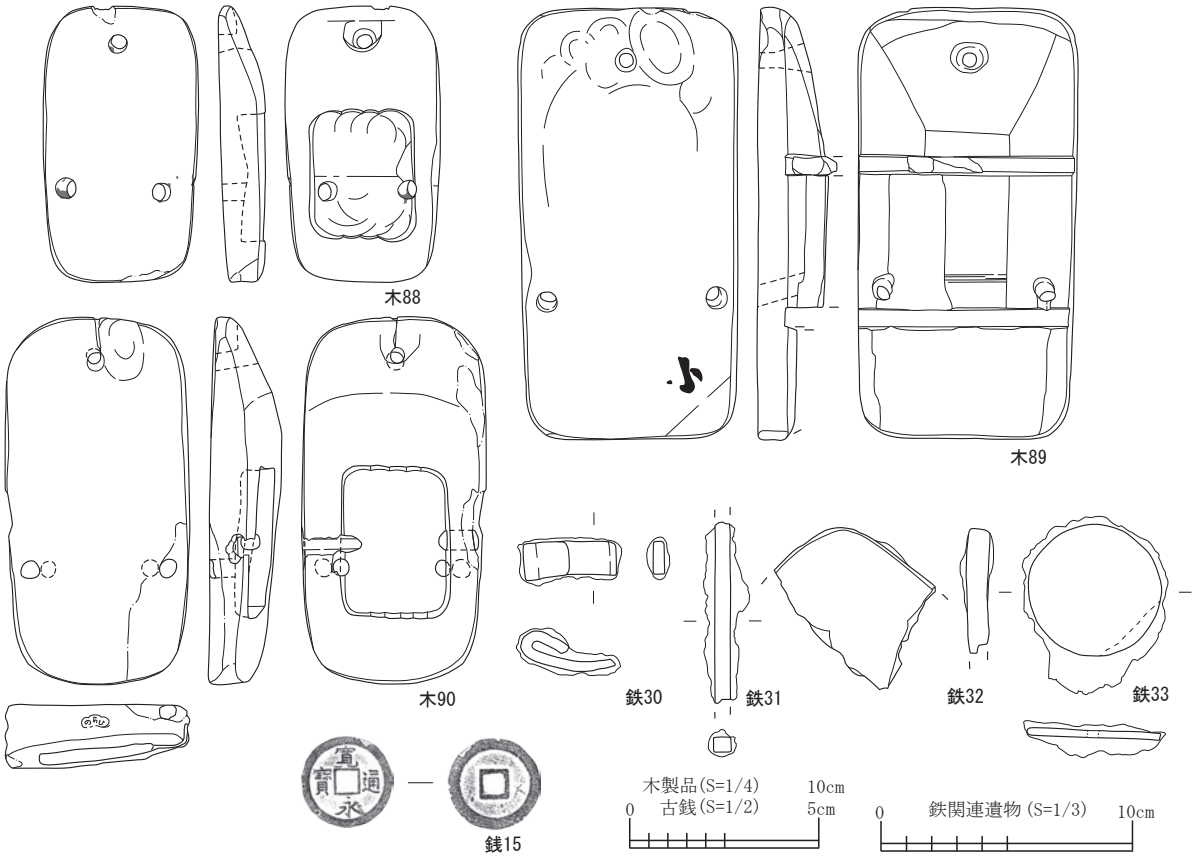
鉄製品４点（第238図鉄30～33）を図示した。鉄30～32は不明鉄製品である。鉄31は棒状、鉄32は板状を呈する。鉄33は紡錘車の紡輪と考えられる。

（４）古銭

１点を図示した（第238図銭15）。銭15は寛永通寶である。



第237図　川原館遺跡Ｆ区遺構外出土遺物（１）



第238図　川原館遺跡Ｆ区遺構外出土遺物（２）

第27表　川原館遺跡Ｆ区出土土器観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第216図	965	FSK-02	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(12.4)	3.4	(5.2)	10YR 6/4	10YR 6/3	並	ナデ	ナデ	静止糸切	少	中	少	微	内外面指頭圧痕有、外面巻上痕有、器壁やや厚い
第216図	966	FSK-02	覆土	土師器	坏	口縁～底部	(12.4)	4.3	6.4	10YR 6/4	10YR 7/4	良	ナデ	ナデ	ムシロ痕	微	少	少	微	体部貫通孔有、外面巻上痕有、内面指頭圧痕有、内面煤付着
第216図	967	FSK-02	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.8)	(5.7)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	少	少	中	外面輪積痕有
第216図	968	FSK-02	覆土	土師器	壺	口縁～頸部	(16.0)	(4.6)	－	7.5YR 5/3	5YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ナデ	－	少	中	少	微	内外面輪積痕有、内外面煤付着
第216図	969	FSK-02	覆土	須恵器	長頸壺	頸部	－	(4.1)	－	N 4/0	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	微	－	
第216図	970	FSK-02	覆土	珠洲	甕	体部	－	－	－	N 5/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	少	983と同一個体
第216図	971	FSK-03	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.6)	(6.2)	5YR 7/6	7.5YR 7/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	回転糸切	少	中	微	中	細めの糸による回転糸切
第216図	972	FSK-07	－	土師器	坏	体部～底部	－	(2.2)	6.0	5YR 5/6	10YR 3/1	並	ナデ	ナデ	網代痕	多	中	多	微	内外面煤付着
第216図	973	FSK-08	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5B 2/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	多	少	多	少	外面一部黒色で光沢を帯びている、内面輪積痕有
第221図	974	SD-10	覆土	土師器	皿	口縁～底部	(12.6)	3.5	4.2	5YR 6/4	5YR 7/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	多	微	微	外面煤付着
第221図	975	SD-10	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(4.0)	(5.0)	10YR 3/1	10YR 6/2	良	ナデ	ナデ	柾目痕	少	中	少	微	外面輪積痕有、内外面煤付着
第221図	976	SD-10	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.9)	(5.8)	7.5YR 6/2	7.5YR 6/4	良	ヘラナデ	ナデ	砂底	微	少	中	微	外面輪積痕有、内面煤付着
第221図	977	SD-10	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(15.0)	(6.4)	－	7.5YR 6/4	5YR 5/6	並	ヘラナデ	ヘラナデ＋ハケメ	－	中	微	微	微	
第221図	978	SD-10	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(13.4)	(8.6)	－	5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ヘラナデ	ハケメ	－	多	微	微	少	口唇部打欠痕有
第221図	979	SD-10	上層	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	N 3/0	N 3/0	並	ナデ タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	内外面剥落有
第221図	980	SD-10	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 6/6	5YR 5/6	良	タタキ	ナデ	－	中	少	多	中	外面煤付着
第221図	981	SD-10	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 4/2	5YR 6/6	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	多	内外面破断面磨滅
第221図	982	SD-10	－	須恵器	甕	体部	－	－	－	2.5Y 5/1	2.5Y 5/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	
第221図	983	SD-10	上層	珠洲	甕	体部	－	－	－	N 5/0	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	－	少	多	－	970と同一個体
第221図	984	SD-10	西側壁付近	陶磁器	擂鉢	口縁部	－	－	－	5YR 5/6	5YR 4/3	良	ロクロナデ	卸目	－	中	少	－	少	一単位８条、内面煤付着
第221図	985	SD-17	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(3.3)	－	10YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	中	少	微	微	内外面輪積痕有、外面煤付着
第221図	986	SD-18	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 2/0	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	外面一部黒色で光沢を帯びている
第221図	987	SD-20	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(19.4)	(6.6)	－	10YR 5/2	10YR 3/2	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	口唇部打欠痕、外面指頭圧痕、輪積痕有、口縁部やや厚み有、口唇部平坦
第221図	988	SD-27	覆土	須恵器	広口壺	口縁～体部	(11.8)	(4.3)	－	N 5/0	N 5/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	微	－	
第221図	989	SD-44	覆土	土師器	坏	口縁～底部	14.5	4.4	(6.6)	5YR 6/4	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	ヘラケズリ	微	微	微	微	外面輪積痕有、内外面煤付着
第221図	990	SD-44	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.6)	(3.1)	－	10YR 6/3	10YR 6/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	微	微	微	内外面一部剥落、口唇部先細る
第221図	991	SD-44	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(17.0)	(8.8)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	良	ナデ	ナデ	－	少	中	少	少	内外面輪積痕有
第221図	992	SD-44	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(16.8)	(7.6)	－	5YR 5/6	5YR 6/6	良	ヘラナデ＋ナデ	ヘラナデ＋ナデ	－	微	少	少	微	内外面輪積痕有、内面煤付着
第221図	993	SD-44	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(17.4)	(4.5)	－	5YR 6/6	7.5YR 6/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	少	微	微	微	口唇部打欠痕有、内外面輪積痕有、内面口縁部工具痕有
第221図	994	SD-44	覆土	土師器	把手付土器	把手	－	－	－	7.5YR 5/3	2.5YR 6/6	並	ヘラケズリ＋ナデ	－	－	微	微	微	微	
第221図	995	SD-44	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 4/2	5YR 3/2	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	少	外面灰かぶり
第221図	996	SD-45	覆土	陶磁器	擂鉢	体部	－	－	－	5YR 4/2	5YR 4/2	良	ロクロナデ	卸目	－	少	少	－	少	一単位８条
第224図	997	FSE-03	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(24.6)	(6.3)	－	5YR 6/6	7.5YR 7/3	並	ヘラナデ＋ナデ	ナデ	－	少	中	少	中	外面輪積痕有、内面指頭圧痕有
第236図	998	FSP-15	1層	土師器	坏	体部～底部	－	(2.8)	(5.0)	10YR 7/3	10YR 6/3	良	ケズリ	ナデ	ナデ	少	中	少	微	内面刻書、指頭圧痕、爪痕有、内面炭化物付着、底部工具痕有
第236図	999	FSP-22	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(25.0)	(2.8)	－	7YR 7/6	5YR 7/6	並	ナデ	ナデ	－	少	少	少	微	
第237図	1000	遺構外	－	土師器	坏	口縁～底部	(14.8)	5.6	5.2	10YR 7/3	10YR 7/3	並	ヘラケズリ	ヘラナデ＋ナデ	柾目痕	中	微	微	微	内外面巻上痕有、内面指頭圧痕有

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底面					
第237図	1001	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(12.0)	5.9	(5.8)	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	少	微	外面指頭圧痕有、内面巻上痕有
第237図	1002	遺構外	―	土師器	坏	体部～底部	―	(2.7)	5.2	10YR 5/1	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	微	微	微	少	
第237図	1003	遺構外	―	土師器	甕	口縁～体部	(20.2)	(7.1)	―	10YR 7/2	10YR 7/3	並	ヘラナデ	ヘラナデ	―	少	微	微	微	内外面輪積痕有、外面指頭圧痕有
第237図	1004	遺構外	―	土師器	甕	口縁～体部	(23.0)	(7.4)	―	5YR 6/6	2.5YR 5/8	並	ヘラナデ	ヘラナデ	―	中	微	微	微	外面輪積痕有
第237図	1005	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(20.0)	(7.0)	―	10YR 4/1	7.5YR 6/4	良	ナデ	ナデ	―	微	中	少	少	内外面輪積痕有、煤付着
第237図	1006	遺構外	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	(11.0)	(5.6)	―	5YR 6/4	7.5YR 6/3	並	ヘラナデ ＋ナデ	ヘラナデ ＋ナデ	―	少	中	少	微	外面煤付着
第237図	1007	遺構外	表採	土師器	小甕	把手	―	―	―	5YR 5/4	7.5YR 7/4	良	ケズリ ＋ナデ	ケズリ ＋ナデ	―	少	中	微	微	外面煤付着
第237図	1008	遺構外	―	須恵器	長頸壺	口縁～頸部	(7.2)	(4.2)	―	N 4/0	N 4/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	―	微	微	微	微	
第237図	1009	遺構外	覆土	須恵器	甕	体部	―	―	―	5B 3/1	5B 4/1	並	タタキ	ナデ	―	少	少	中	少	内面輪積痕有
第237図	1010	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	―	―	―	5B 3/1	5B 3/1	並	タタキ	ナデ	―	少	少	少	少	外面一部黒色で光沢を帯びている
第237図	1011	遺構外	確認面	須恵器	甕	体部	―	―	―	2.5Y 4/2	2.5Y 6/1	並	タタキ	ナデ	―	少	少	少	少	1012と同一個体
第237図	1012	遺構外	覆土	須恵器	甕	体部	―	―	―	2.5Y 4/2	2.5Y 5/2	並	タタキ	ナデ	―	少	少	少	少	1011と同一個体
第237図	1013	遺構外	―	須恵器	甕	体部	―	―	―	5B 3/1	10BG 4/1	並	タタキ	ナデ	―	中	少	多	中	

第28表　川原館遺跡Ｆ区出土木製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	計測値（cm）			製品群	製品名	木取	樹種	備考
				長さ	幅	厚さ					
第222図	木76	SD-45	覆土	47.0	17.2	4.8	建築材,部材,杭等	板材	割材,板目		
第224図	木77	FSE-01	覆土	23.6	12.0	4.7	服飾具	下駄	板目,芯下		左足用
第224図	木78	FSE-01	覆土	(12.3)	0.8	7.5	食事具	箸	割材,面取り		
第224図	木79	FSE-01	覆土	23.5	0.8	0.7	食事具	箸	割材,面取り		
第224図	木80	FSE-01	覆土	(20.9)	0.9	0.7	食事具	箸	割材,面取り		炭化有
第224図	木81	FSE-01	覆土	18.0	11.5	11.0	用途不明	杭？	芯持丸木削出		
第224図	木82	FSE-03	覆土	(24.8)	5.4	1.3	容器	桶,側板	板目		
第224図	木83	FSE-03	覆土	14.2	5.3	0.9	容器	桶,側板	追柾目		
第224図	木84	FSE-03	覆土	(23.2)	7.0	1.4	容器	桶,側板	追柾目		
第237図	木85	遺構外	―	(8.8)	(6.4)	(1.0)	容器	椀	横木取,柾目，芯下		内外面塗り(黒)有
第237図	木86	遺構外	撹乱	18.0	9.1	2.8	服飾具	下駄	板目,芯上		焼印付き、左足用　連歯下駄
第237図	木87	遺構外	撹乱	13.3	7.7	2.3	服飾具	下駄	板目,芯下		朱の漆点在
第238図	木88	遺構外	撹乱	14.6	8.2	2.5	服飾具	下駄	板目,芯下		朱の漆点在、右足用
第238図	木89	遺構外	撹乱	22.9	11.7	(4.2)	服飾具	下駄	柾目,下駄の歯部,追柾目		露卯下駄
第238図	木90	遺構外	撹乱	19.5	9.8	3.8	服飾具	下駄	板目,芯下		左足用

第29表　川原館遺跡Ｆ区出土石器・石製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量(g)	石質	備考
					長軸	短軸	厚さ			
第222図	石18	SD-10	覆土	砥石	(6.2)	(6.0)	5.8	160.3	凝灰岩	
第224図	石19	FSE-03	覆土	砥石	(7.4)	5.1	1.4	77.9	凝灰岩	擦切痕有
第224図	石20	FSE-03	覆土	擦切具	9.0	5.1	1.2	55.8	凝灰岩	
第224図	石21	FSE-03	覆土	硯	12.4	7.3	1.0	128.2	粘板岩？	
第224図	石22	FSE-03	覆土	砥石	6.3	6.3	4.6	167.6	石英安山岩	
第224図	石23	FSE-03	覆土	石斧	(10.4)	4.3	2.8	208.6	輝緑凝灰岩	

第30表　川原館遺跡Ｆ区出土鉄関連遺物観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量（g）	メタル度	磁着度	備考
					長軸	短軸	厚さ				
第216図	鉄27	FSK-01	覆土	鉄鍋（取鍋）	4.2	5.1	1.1	31.4	L（●）	4	外面に把手残存
第224図	鉄28	FSE-04	覆土	炉壁	7.2	4.7	2.9	58.8	なし	3	
第224図	鉄29	FSE-04	覆土	羽口	9.7	7.8	3.8	246.8	なし	－	断面長方形又は方形、外径不明、内径2.1㎝
第238図	鉄30	遺構外	表採	不明鉄製品	4.1	1.9	1.8	13.0	錆化（△）	3	
第238図	鉄31	遺構外	撹乱	棒状鉄製品	7.2	1.8	1.1	16.7	H（○）	3	
第238図	鉄32	遺構外	表採	板状鉄製品	6.4	6.3	1.3	37.6	錆化（△）	2	
第238図	鉄33	遺構外	表採	紡錘車	7.1	5.8	1.5	46.4	錆化（△）	2	

第31表　川原館遺跡F区出土古銭観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	銭名	計測値(mm)				重量（g）	初鋳年	備考
					外径	孔径	外縁厚	文字面厚			
第238図	銭15	遺構外	撹乱	寛永通寶	24.47	5.60	1.25	1.22	2.76	1697～1747	

第７節　Ｇ区

１．竪穴遺構

GSI－01（第240図）

DT・DU－169グリッドで検出した。GSK－19と北西隅で接している。平面形は不整長方形を呈し、規模は長軸272×短軸222×深さ26㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。北西壁は床面から20㎝程度の高さでテラス状になっており、北西壁に沿って竪穴外に壁溝と考えられる溝やピット３基を確認した。壁溝は深さ７㎝を測る。ピットの平面形はPit1が楕円形、Pit2が不整円形、Pit3が円形を呈し、規模はPit1＝長軸32×短軸21×深さ13㎝、Pit2＝長軸27×短軸22×深さ18㎝、Pit3＝長軸21×短軸20×深さ15㎝を測る。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点、把手付土器１点（第241図1014・1015）を図示した。1014は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部がやや外反する。外面ヘラナデ、内面ハケメが施されている。1015は把手付土器の把手で、外面ヘラケズリが施されている。

２．土坑

GSK―01（第242図）

DG－169グリッドで検出した。SD－124と重複している。本遺構がSD－124を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸139×短軸85×深さ32㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－02（第242図）

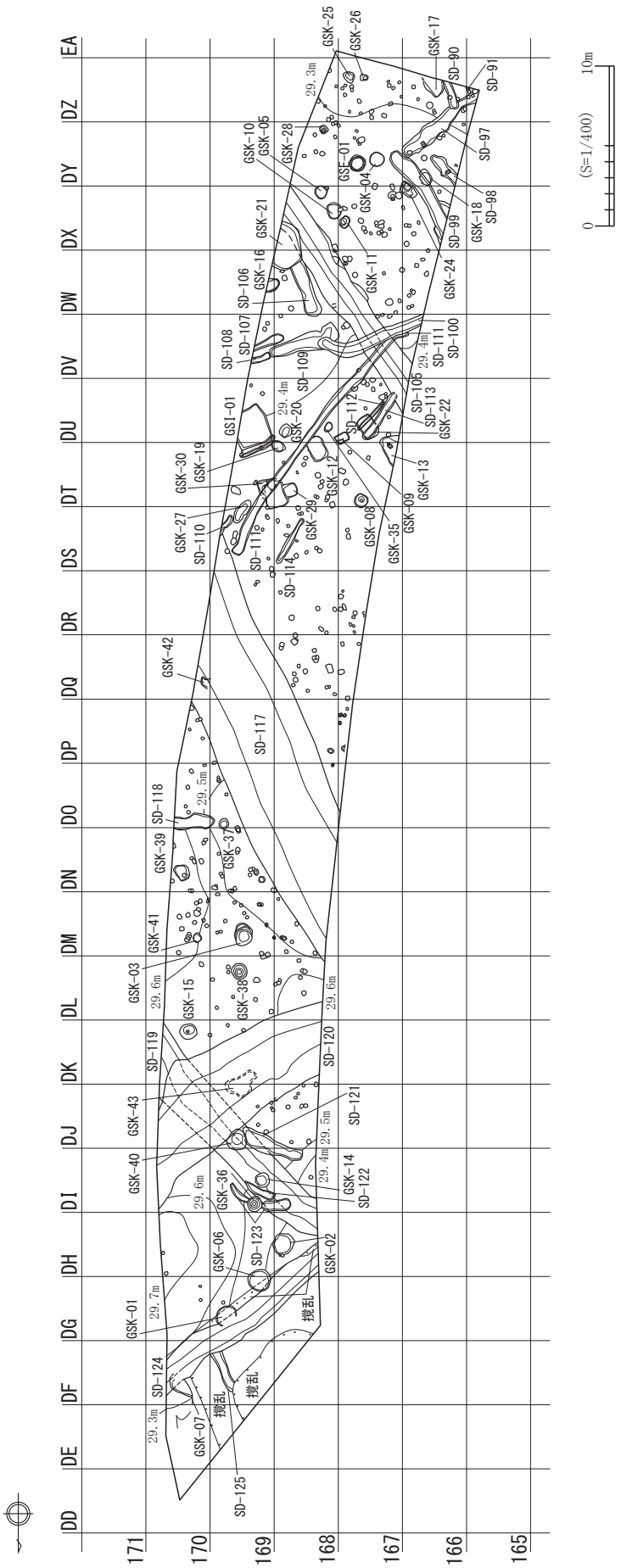
DH－168・169グリッドで検出した。GSP－02・03と重複している。GSP－02・03が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸137×短軸130×深さ24㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

GSK－03（第242図）

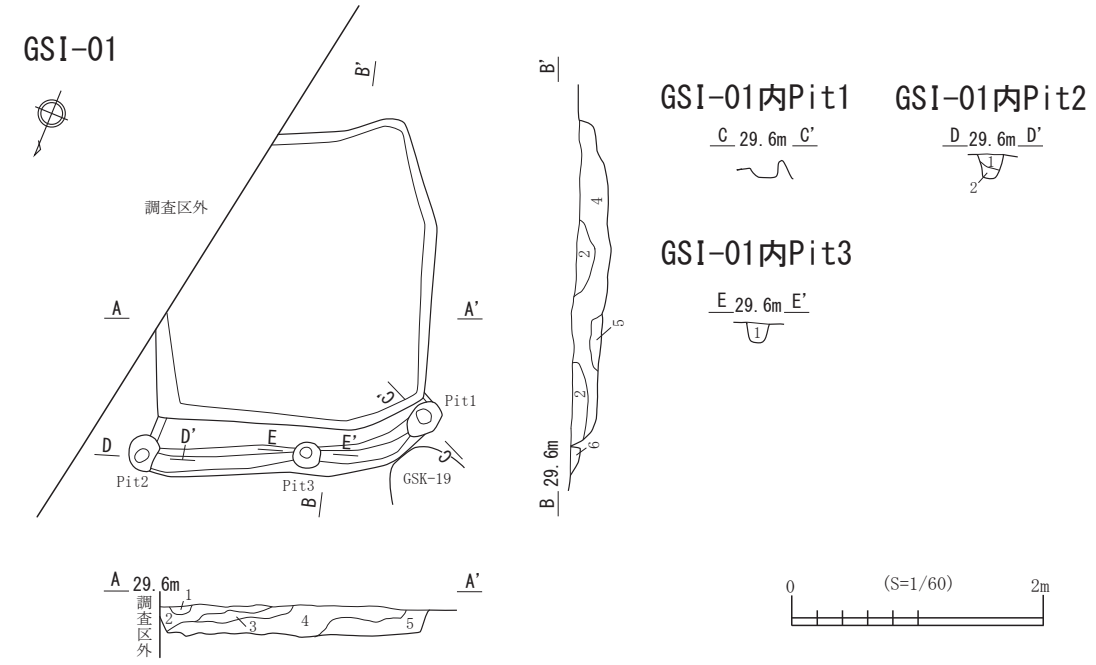
DM－169グリッドで検出した。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸140×短軸108×深さ58㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と段を持って立ち上がる部分が認められる。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、４～６層は埋め戻し等による人為堆積、１～３層は自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第247図1016）を図示した。1016は非ロクロ坏の口縁部～底部である。口縁部はやや内湾気味で、底部は木葉痕（笹葉）＋砂底である。内面油痕が認められる。

GSK－04（第242図）

DY－167グリッドで検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸92×短軸90×深さ29㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土

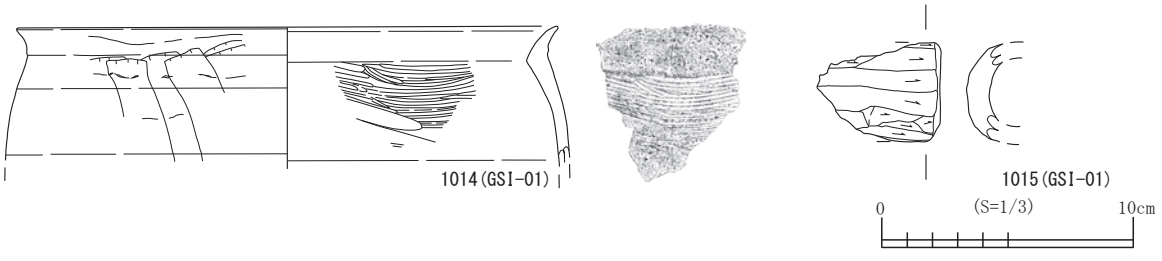


第239図　川原館遺跡Ｇ区遺構配置図



GSI-01
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～2mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)微量
第5層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)多量、焼土粒(φ5mm)少量
第6層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ5～10mm)微量
GSI-01内Pit2
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量
GSI-01内Pit3
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量

第240図　川原館遺跡Ｇ区SI



第241図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SI

層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

GSK－05（第242図）

DX－168グリッドで検出した。GSP―01と重複している。GSP―01が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は円形を呈し、規模は長軸79×短軸76×深さ11㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。灰混じりの黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

GSK－06（第242図）

DG・DH－169グリッドで検出した。SD－124と重複している。本遺構がSD－124を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸139×短軸134×深さ55㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、１～３層は埋め戻し等による人為堆積、それ以外は自然堆積と考えられる。

GSK－07（第243図）

DF－170グリッドで検出した。SD－124と重複している。本遺構がSD－124を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は隅丸長方形を呈していると考えられ、規模は長軸135×短軸80×深さ22㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は丸みを帯びる。堆積土は２層で黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－08（第243図）

DS・DT－167グリッドで検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸83×短軸80×深さ22㎝を測る。壁は丸みを帯びるように立ち上がり、底面はピットの部分を除いてほぼ平坦である。底面中央付近からピット１基を検出した。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸36×短軸32×深さ29㎝を測る。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は須恵器甕１点（第247図1017）を図示した。1017は須恵器甕の体部である。やや薄めの器壁である。

GSK－09（第243図）

DT・DU－167・168グリッドで検出した。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸84×短軸57×深さ14㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－10（第243図）

DX－167・168グリッドで検出した。GSP－05と重複している。GSP－05が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は円形を呈し、規模は長軸102×短軸90×深さ11㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

GSK－11（第243図）

DX－167グリッドで検出した。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸86×短軸50×深さ19㎝を測る。壁は段をもって立ち上がり、底面は丸みを帯びる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－12（第243図）

DT・DU－168グリッドで検出した。SD－111と重複している。SD－111が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は長方形を呈しており、規模は長軸155×短軸102×深さ15㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－13（第243図）

DT・DU－167グリッドで検出した。GSP－153と重複している。本遺構がGSP－153を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈し、規模は長軸179×短軸112×深さ42㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸が認められる。底面からピット２基を検出した。平面形はPit1円形、Pit2不整方形を呈し、規模はPit1＝長軸16×短軸15×深さ７㎝、Pit2＝長軸29×短軸26×深さ19㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－14（第244図）

DI－169グリッドで検出した。SD－119と重複している。本遺構がSD－119を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸88×短軸83×深さ15㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積を考えられる。

GSK－15（第244図）

DK－170グリッドで検出した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸105×短軸89×深さ84㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面ピット１基を検出した。平面形は円形を呈し、長軸18×短軸17×深さ３㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－16（第244図）

DW－168・169グリッドで検出した。全体形は不明だが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸86×短軸74×深さ42㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－17（第244図）

DZ－167グリッドで検出した。SD－90と重複している。SD－90が本遺構を掘り込んでおり、本遺

構が古い。全体形は不明だが、平面形は不整方形を呈していると考えられ、規模は長軸132×短軸121×深さ13㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はやや凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－18（第244図）

DY―166グリッドで検出した。SD－99と重複している。SD－99が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸104×短軸73×深さ37㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒色土・暗褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－19（第244図）

DT・DU－168・169グリッドで検出した。GSI―01と接しているが、新旧関係は不明である。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸95×短軸69×深さ12㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－20（第244図）

DU－168グリッドで検出した。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸82×短軸75×深さ10㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－21（第244図）

DW－168・169、DX－168グリッドで検出した。SD－105・106と重複している。本遺構がSD－105・106を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は楕円形を呈していると考えられ、規模は長軸279×短軸187×深さ34㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒色土、黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏２点、須恵器甕１点を図示した（第247図1018～1020）。坏は２点ともにロクロ調整である。1020は須恵器甕の体部でやや薄手の器壁である。

GSK－22（第245図）

DU－167グリッドで検出した。SD－112・113と重複している。SD－112・113が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は長方形を呈し、規模は長軸148×短軸107×深さ11㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－24（第245図）

DX・DY－166・167グリッドで検出した。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸117×短軸75×深さ31㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面は中

央部がやや凹む形状を呈する。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、３・４層が埋め戻し等による人為堆積、１・２層は自然堆積と考えられる。

GSK－25（第245図）

DZ－167グリッドで検出した。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸72×短軸63×深さ19㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－26（第245図）

DZ－167グリッドで検出した。平面形は不整形を呈しており、規模は長軸48×短軸41×深さ38㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－27（第245図）

DS・DT－169グリッドで検出した。平面形は楕円形を呈しており、規模は長軸165×短軸64×深さ15㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と緩やかに立ち上がる部分が認められ、底面は東側に傾斜する。エレベーションのみの確認のため、堆積状況は不明である。

GSK－28（第245図）

DY－168グリッドで検出した。平面形は不整方形を呈しており、規模は長軸52×短軸48×深さ47㎝を測る。壁は段をもって立ち上がり、底面は平坦である。堆積土は２層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－29（第245図）

DT－168グリッドで検出した。GSK－30と重複している。本遺構がGSK－30を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は隅丸方形を呈しており、規模は長軸86×短軸85×深さ19㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－30（第245図）

DS・DT－168・169グリッドで検出した。GSK－29、SD－111、GSP－253と重複している。GSK－29、SD－111、GSP－253が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整方形を呈しており、規模は長軸185×短軸137×深さ25㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。底面の南壁際からピット１基を検出した。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸34×短軸27×深さ４㎝を測る。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物はミニチュア土器１点、須恵器甕１点（第247図1021・1022）を図示した。1021はミニチュア土器の口縁部～体部で、体部がやや丸みを帯び、口縁部が外反する形状を呈する。ロクロ調整が施されている。1022は須恵器甕の体部である。

GSK－35（第245図）

DU－168グリッドで検出した。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸64×短軸45×深さ９㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－36（第246図）

DI－169グリッドで検出した。SD－119、123と重複している。本遺構がSD－119、123を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は円形を呈し、規模は長軸90×短軸84×深さ66㎝を測る。壁は段をもって急角度に立ち上がり、底面はやや東側に傾斜する。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

GSK－37（第246図）

DN・DO－169グリッドで検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸62×短軸60×深さ43㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第247図1023）を図示した。1023は非ロクロ坏の口縁部～体部で、やや厚めの器壁で口縁部が端反る形状を呈する。内外面ナデにより調整されている。

GSK－38（第246図）

DL－169グリッドで検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸100×短軸100×深さ40㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第247図1024）を図示した。1024は非ロクロの坏で、外面に巻上痕が残るやや厚めの器壁である。粘土の継ぎ目の段によって底部を高台状にしている。底部は静止糸切後、ナデが施されている。

GSK－39（第246図）

DN―170グリッドで検出した。GSP－337と重複している。GSP－337が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。平面形は不整形を呈し、規模は長軸107×短軸83×深さ16㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。暗褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第247図1025）を図示した。1025は口縁部～底部で、内外面ロクロ調整が施された後、内面ヘラミガキによって黒色処理されている。

GSK－40（第246図）

DI・DJ－169グリッドで検出した。SD－119・120・121と重複している。本遺構がSD－119・120・121を掘り込んでおり、本遺構が新しい。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸126×短軸122×深さ126㎝を測る。壁は段を持って急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は５層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

GSK－41（第246図）

DM－170グリッドで検出した。平面形は不整円形を呈し、規模は長軸62×短軸50×深さ15㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点（第247図1026）を図示した。1026は口縁部～体部で、内外面ロクロ調整が施されており、口縁部が端反る形状を呈する。

GSK－42（第246図）

DQ－169・170グリッドで検出した。SD－117と重複している。本遺構がSD－117を掘り込んでおり、本遺構が新しい。全体形は不明だが、平面形は不整形を呈し、規模は長軸62×短軸57×深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、１層は埋め戻し等による人為堆積、２・３層は自然堆積と考えられる。遺物は土師器皿１点、甕２点、小甕１点（第247図1027～1030）を図示した。1027は皿の底部で、ロクロ調整が施されており、内面刻書が施されている。1028は甕の口縁部～体部で、体部はやや丸みを帯び、口縁部に向かってすぼまり、口縁部は直線的である。1029は小甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線的で口縁がやや反る形状を呈する。1030は甕と考えられ、体部～口縁部まで直線的である。

GSK－43（第246図）

DJ・DK－169グリッドで検出した。SD－120と重複しており、SD－120に付属する土坑の可能性もあるが、詳細は不明である。平面形は不整形を呈し、規模は長軸210×短軸130×深さ33㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸が認められる。堆積土は２層に分層した。灰色、灰白色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

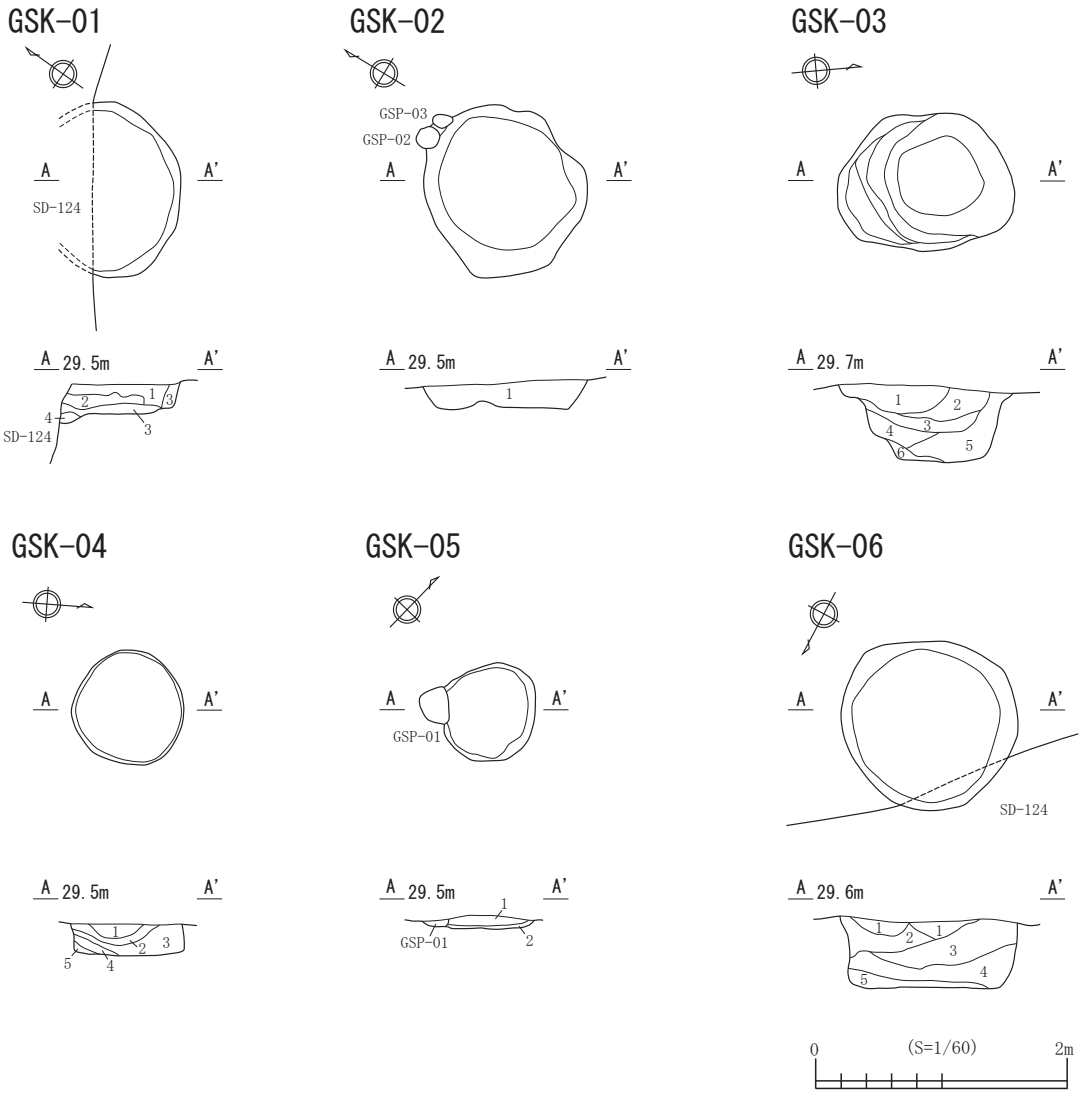
３．溝跡

SD－97（第248図）

DY－166・167、DZ－165～167グリッドで検出した。SD－90、GSP－47・48、54、138と重複している。SD－90、GSP－47・48、54、138が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。一部屈曲するものの、概ね直線状を呈し、規模は延長597㎝、幅52㎝、深さ18㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がる部分と急角度に立ち上がる部分が認められ、底面は凹凸が認められる。北西壁寄り底面からピット１基を検出した。平面形は不整方形を呈し、規模は長軸31×短軸28×深さ13㎝を測る。堆積土は３層に分層した。黒色土を主体とする土層が堆積しており、自然堆積と考えられる。

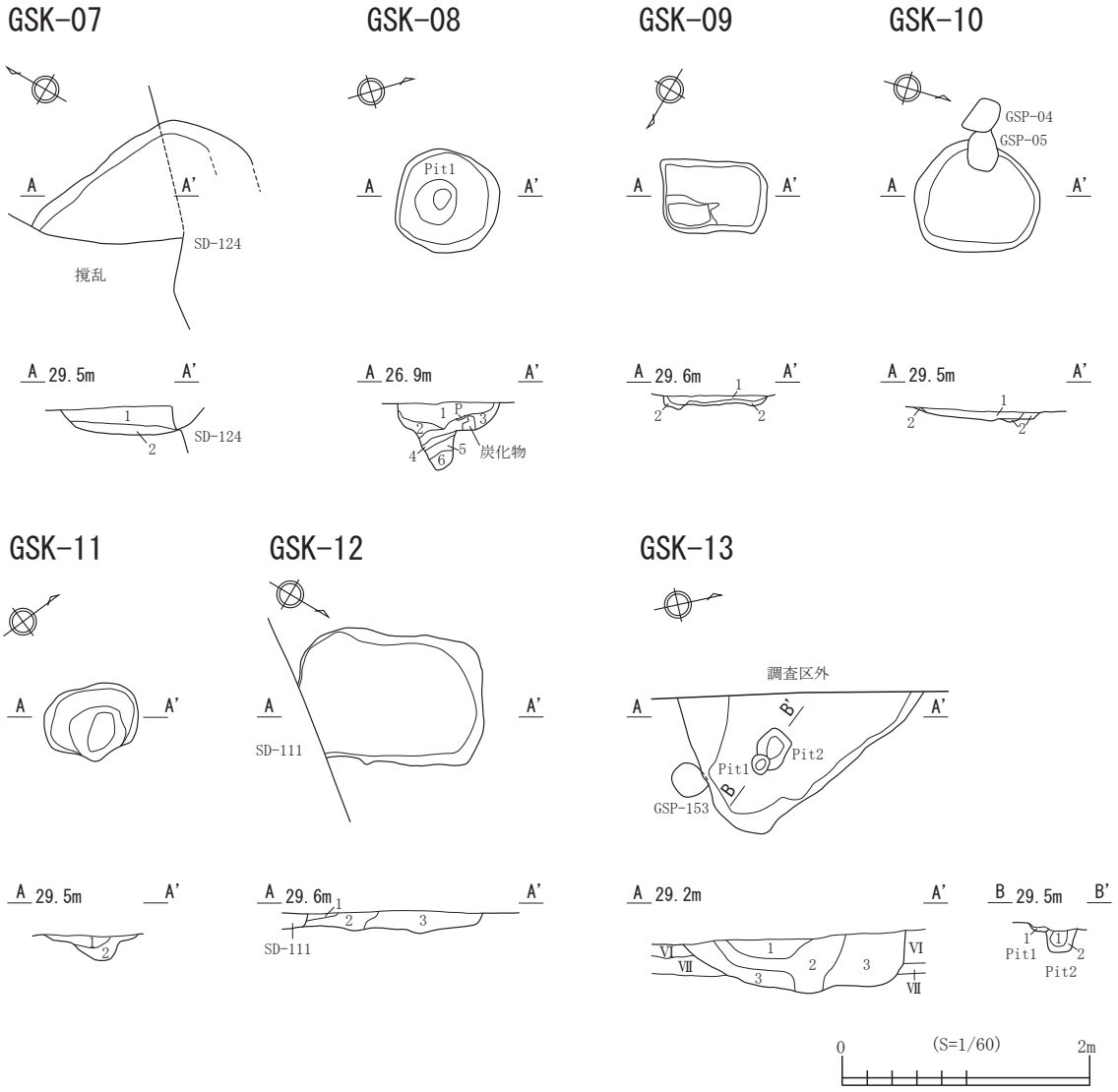
SD－106（第248図）

DV・DW－168グリッドで検出した。GSK－21と重複している。GSK－21が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。SD－105と一部接しているが、新旧関係は不明である。直線状を呈し、規模は延長358㎝、幅99㎝、深さ16㎝を測る。壁はほぼ垂直に立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏２点、須恵器広口壺１点、甕１点（第251図1031～1034）を図示した。坏は２点のうち、非ロクロ１点（1031）、ロクロ調整１点（1032）である。1033は広口壺の口縁部で、内外面ロクロ調整が施さ



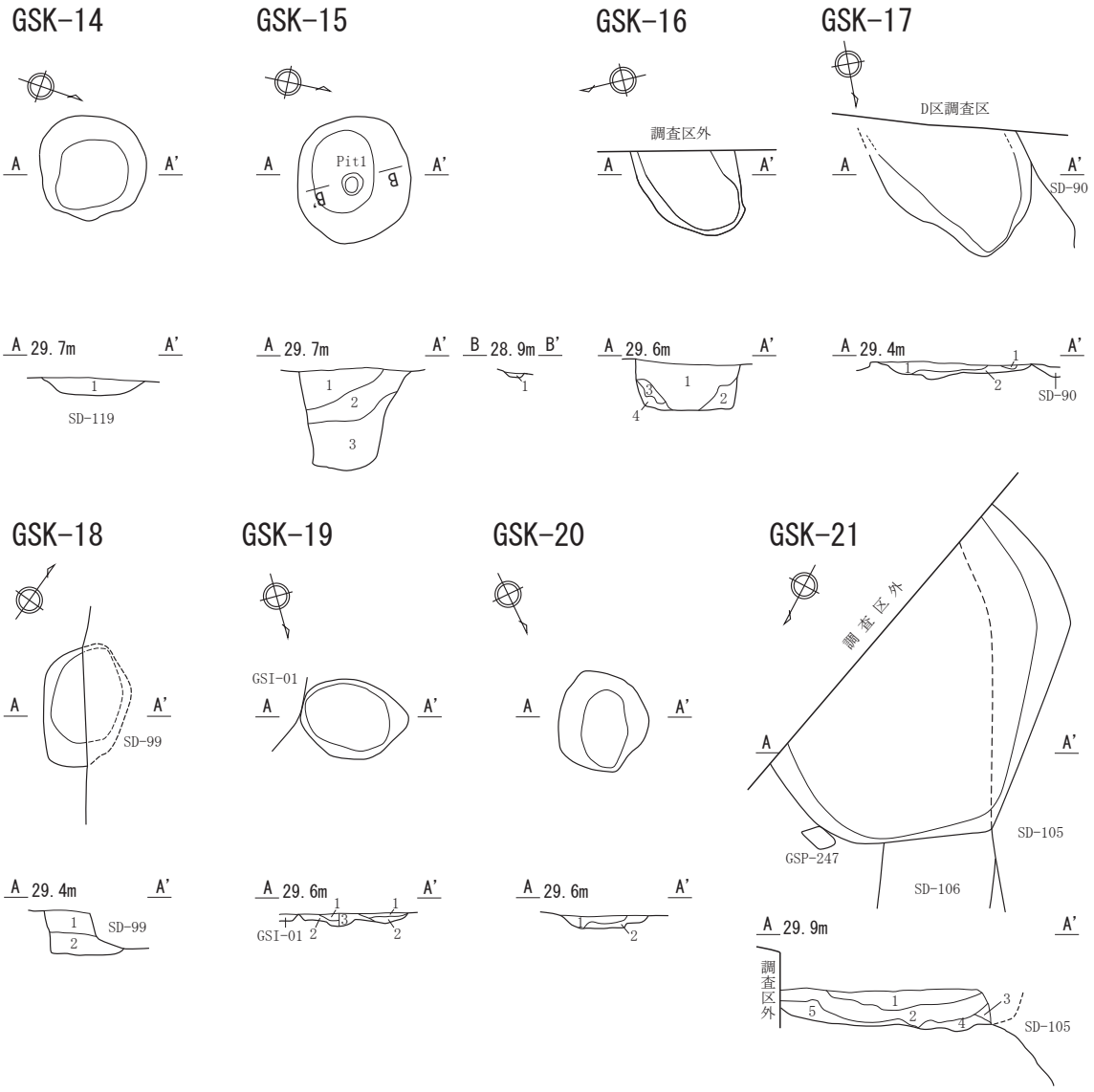
GSK-01
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～60mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第3層　7.5YR2/3　極暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSK-02
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSK-03
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR1.7/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第5層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第6層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSK-04
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ80mm)少量
第5層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSK-05
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/2灰黄褐色の灰の混合層　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSK-06
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　7.5YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)多量
第4層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第5層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量

第242図　川原館遺跡Ｇ区SK（１）



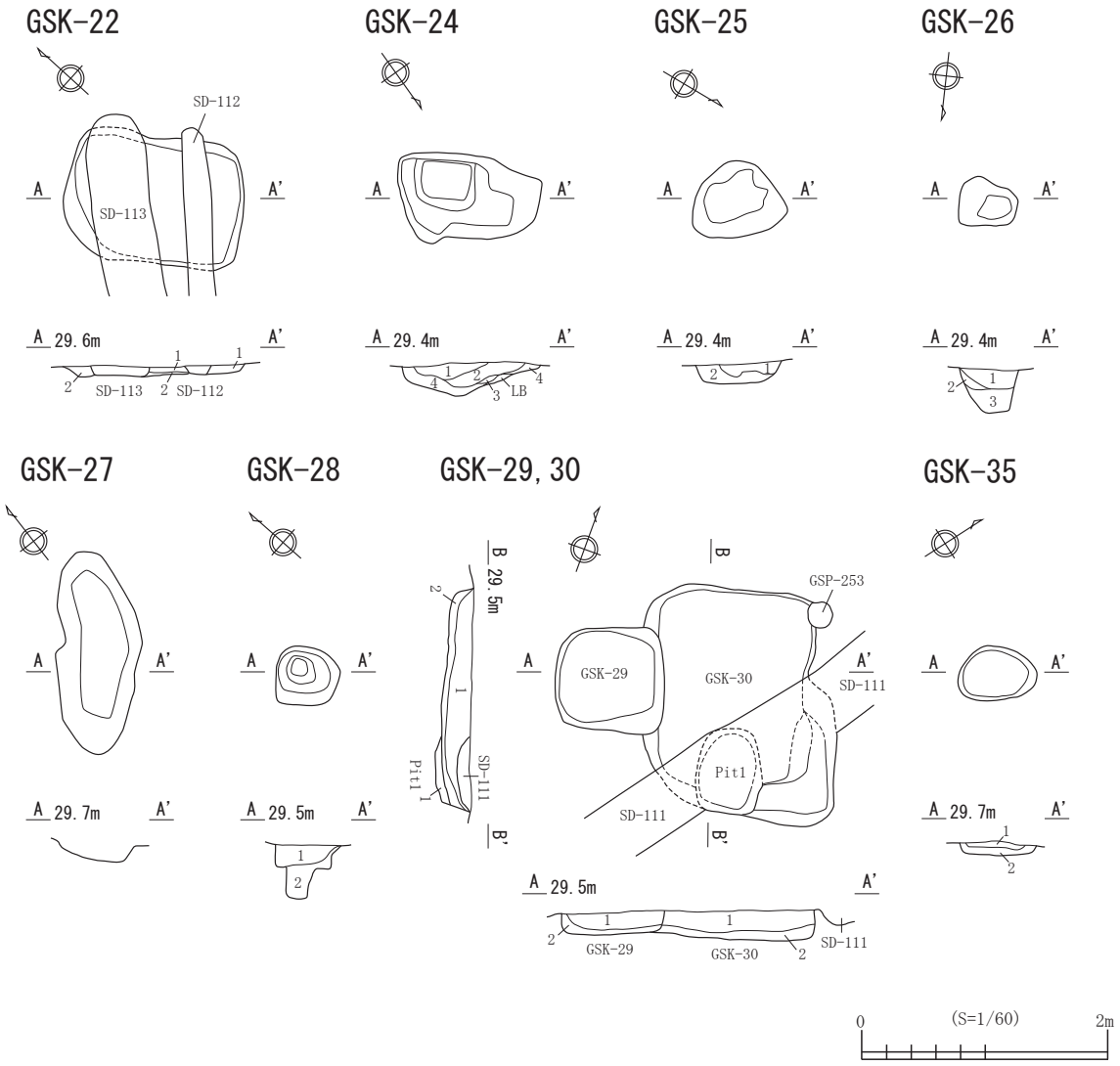
GSK-07
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～10mm)中量
GSK-08
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～3mm)微量(Pit1)
第5層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量(Pit1)
第6層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量(Pit1)
GSK-09
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)中量
GSK-10
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR6/2灰黄褐色の灰の混合層
GSK-11
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ30mm)、酸化鉄(φ1～8mm)中量
GSK-12
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～80mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSK-13
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
GSK-13内Pit1
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
GSK-13内Pit2
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

第243図　川原館遺跡Ｇ区SK（２）



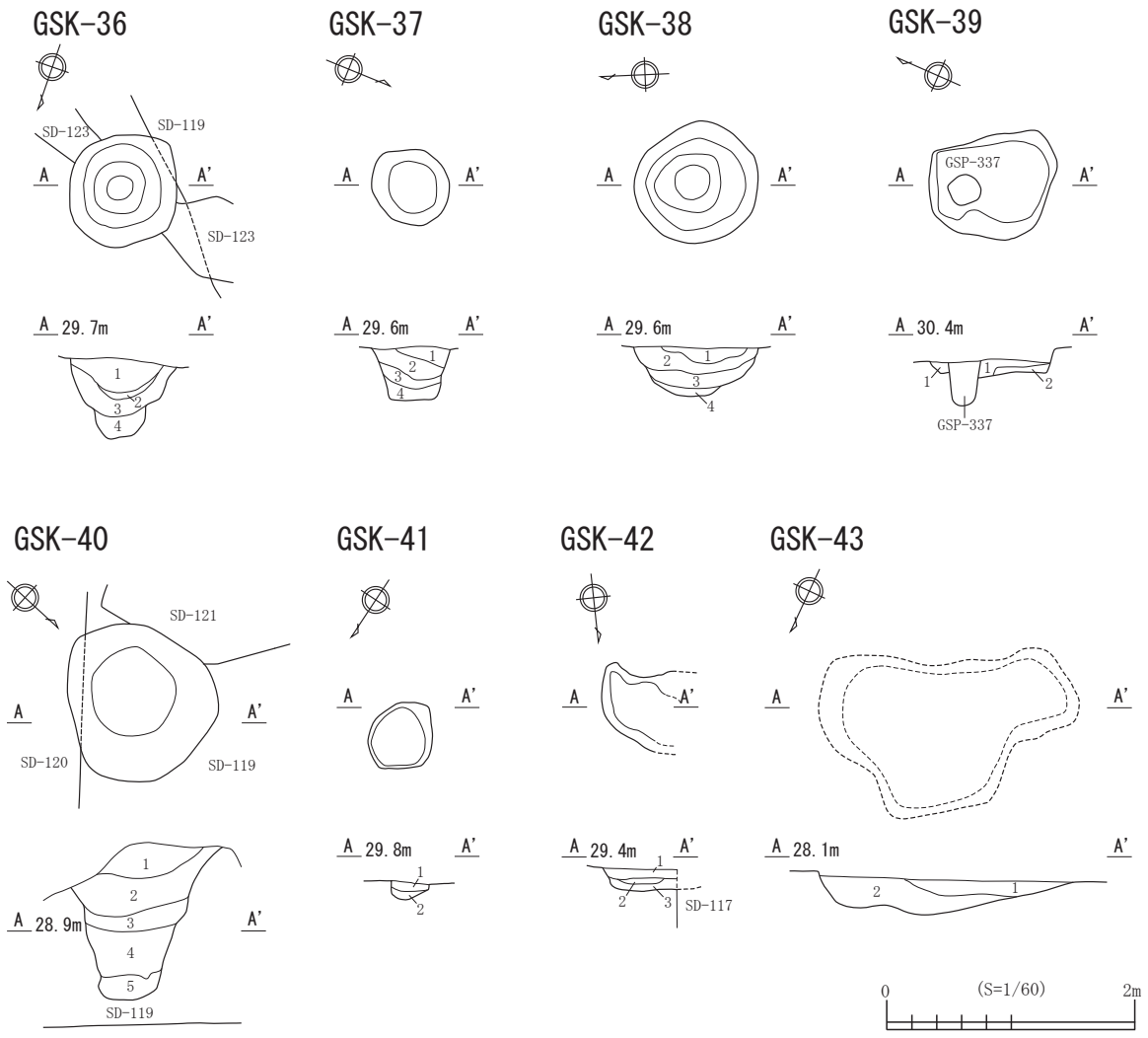
GSK-14
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、
炭化粒(φ3mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
GSK-15
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSK-15内Pit1
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSK-16
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、炭化物ブロック(φ10～20mm)少量、
焼土粒(φ1～9mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
第3層　10YR7/1　灰白色土　粘土層
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～3mm)微量
GSK-17
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～70mm)多量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
GSK-18
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)多量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
GSK-19
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)多量
GSK-20
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、灰(10YR7/1)褐灰色層状に混入
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
GSK-21
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、炭化ブロック(φ10～20mm)少量、
酸化鉄(φ1～9mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～30mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)多量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)多量
第5層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/8黄褐色土の混合層　ロームブロック(φ10～50mm)多量

第244図　川原館遺跡Ｇ区SK（３）



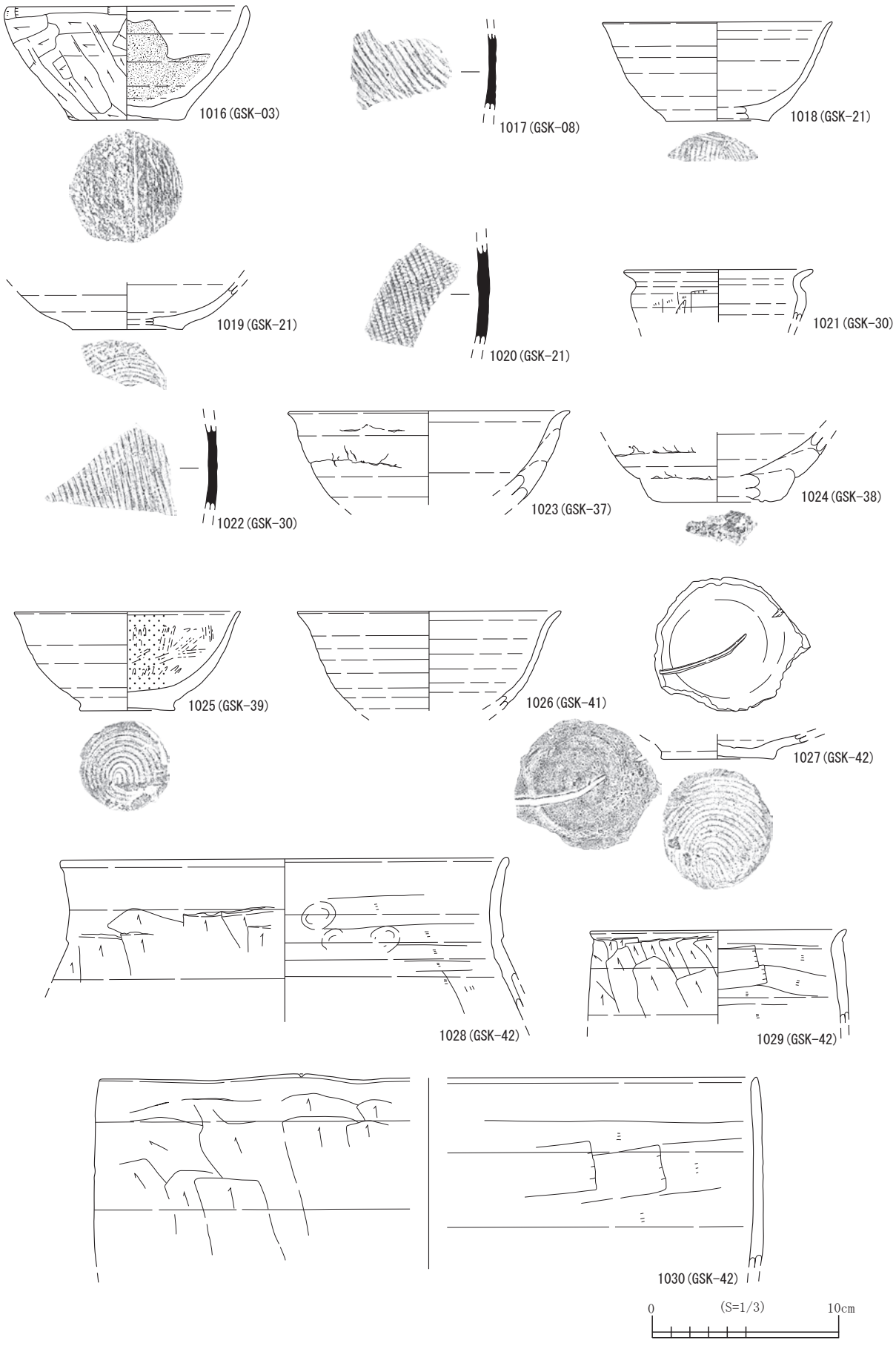
GSK-22
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化物ブロック(φ10mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
GSK-24
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量、10YR2/1黒色土少量混入
第4層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色土の混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量、10YR2/1黒色土少量混入
GSK-25
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSK-26
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～4mm)微量
GSK-28
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量、粘土(φ20mm)微量
GSK-29
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～20mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～20mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSK-30
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ20～60mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSK-30内Pit1
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSK-35
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、灰(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、灰(φ1～10mm)中量

第245図　川原館遺跡Ｇ区SK（４）



GSK-36
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～200mm)中量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)多量、ロームブロック(φ10～20mm)多量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～40mm)少量
GSK-37
第1層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～3mm)微量
第4層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ20mm)微量、焼土粒(φ5mm)微量
GSK-38
第1層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～9mm)少量、炭化物ブロック(φ20mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)少量
第4層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ50mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
GSK-39
第1層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～20mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSK-40
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～200mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR5/6　黄褐色土と10YR4/4褐色土の混合層　ローム主体、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第4層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層　酸化鉄(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第5層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム主体、酸化鉄(φ1～20mm)中量、黒褐色土(10YR2/3)少量混入
GSK-41
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSK-42
第1層　7.5YR2/2 黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、焼土ブロック(φ20～80mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、焼土粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
GSK-43
第1層　7.5R4/1　灰色土　　粘土粒(φ1～3mm)少量、砂質
第2層　7.5R7/1　灰白色土　　粘土粒(φ3～10mm)少量、砂質

第246図　川原館遺跡Ｇ区SK（5）



第247図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SK

れている。1034は須恵器甕の体部である。

SD－107（第248図）

DV－168・169グリッドで検出した。直線状を呈し、規模は延長198㎝、幅59㎝、深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。遺物は土師器甕１点（第251図1035）を図示した。1035は甕の口縁部～体部で、体部はほぼ直線的で、口縁部がやや外反する形状を呈する。

SD－108（第248図）

DV－169グリッドで検出した。西端がやや屈曲する以外は直線状を呈していると考えられ、規模は延長120㎝、幅41㎝、深さ７㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分と丸みを帯びるように立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は１層で、黒色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－109（第248図）

DV－167～169グリッドで検出した。SD－100と重複している。SD－100が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。南西端が屈曲しており、規模は延長438㎝、幅106㎝、深さ33㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は２層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は擦文土器１点（第251図1036）を図示した。1036は甕の体部上半で、隆帯に刺突文が施されている。

SD－110（第248図）

DS―169グリッドで検出した。SD－117と重複している。本遺構がSD－117を掘り込んでおり、本遺構が新しい。一部屈曲するが、直線状に延びており、規模は延長118㎝、幅39㎝、深さ22㎝を測る。壁は段をもって立ち上がり、底面は凹凸が認められる。堆積土は３層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。遺物は土師器坏１点、須恵器甕１点（第251図1037・1038）を図示した。1037は坏の体部～底部で、内外面ロクロ調整が施されている。1038は須恵器甕の体部である。

SD－111（第249図）

DS－169、DT－168・169、DU－167・168、DV－166・167グリッドで検出した。GSK－12、30、SD－100、105、GSP－142、151と重複している。本遺構がGSK－12、30、SD－105、GSP－142、151を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－100が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。北東端と南西端でやや屈曲するが、概ね直線状を呈し、規模は延長17.56m、幅48㎝、深さ14㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－112（第249図）

DU－167グリッドで検出した。GSK－22と重複している。本遺構がGSK－22を掘り込んでおり、本遺構が新しい。ほぼ直線状を呈し、規模は延長241㎝、幅22㎝、深さ７㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－113（第249図）

DU－167グリッドで検出した。GSK－22、SD－105と重複している。本遺構がGSK－22を掘り込んでおり、本遺構が新しい。SD－105が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ほぼ直線状を呈し、規模は延長344㎝、幅51㎝、深さ８㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で、黒色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－114（第249図）

DS－168グリッドで検出した。ほぼ直線状を呈し、規模は延長318㎝、幅43㎝、深さ２㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は１層で、黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－118（第249図）

DN・DO－169・170グリッドで検出した。やや蛇行しており、規模は延長251㎝、幅87㎝、深さ15㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は４層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－119（第250図）

DH－168・169、DI－168・169、DJ－169・170、DK－170グリッドで検出した。GSK－14、36、40、SD－120・121・122・123と重複している。GSK－14、36、40、SD－120・121・122・123が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。G区を南東～北西へ斜めに横断する大溝で、弧状を呈し、規模は延長14.95m、上端幅277㎝、下端幅129㎝、深さ106㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面は平坦な箱薬研堀状を呈する。堆積土は12層に分層した。黒褐色土、褐灰色土を主体とする土層が堆積しており、１～８層は埋め戻し等による人為堆積、９～12層は壁の崩落に伴う自然埋没と考えられる。遺物は土師器坏１点（第251図1039）を図示した。1039は非ロクロ坏の口縁～底部で、外面ヘラケズリ、内面ナデによって調整されており、底部は砂底である。

SD－121（第250図）

DI・DJ－168・169グリッドで検出した。GSK－40、SD－119と重複している。本遺構がSD－119を掘り込んでおり、本遺構が新しい。GSK－40が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。ほぼ直線状を呈し、規模は延長408㎝、幅111㎝、深さ13㎝を測る。壁は緩やかに立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は１層で暗褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－122（第250図）

DI―168・169グリッドで検出した。SD－119と重複している。本遺構がSD－119を掘り込んでおり、

本遺構が新しい。ほぼ直線状を呈し、規模は延長207㎝、幅51㎝、深さ19㎝を測る。壁は急角度に立ち上がる部分とほぼ垂直に立ち上がる部分が認められ、底面はほぼ平坦である。堆積土は２層に分層した。黒褐色土が堆積しており、自然堆積と考えられる。

SD－123（第250図）

DI－168・169グリッドで検出した。GSK－36、SD－119と重複している。本遺構がSD－119を掘り込んでおり、本遺構が新しい。GSK－36が本遺構の堆積土を掘り込んでおり、本遺構が古い。弧状を呈し、規模は延長337㎝、幅73㎝、深さ16㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は３層に分層した。黒褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

SD－124（第250図）

DF－169・170、DG－168～170、DH－168・169グリッドで検出した。GSK－01、06・07、SD－125と重複している。本遺構がSD－125を掘り込んでおり、本遺構が新しい。GSK－01、06・07が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。直線状を呈する大溝で、延長11.92m、上端幅214㎝、下端幅81㎝、深さ121㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面がほぼ平坦な箱薬研堀状を呈する。堆積土は９層に分層した。黒褐色土及び灰褐色土を主体とする土層が堆積しており、１～５層は埋め戻し等による人為堆積、６～９層は自然埋没と考えられる。遺物は土師器坏１点、小甕１点、壺１点、須恵器壺１点（第251図1040～1043）を図示した。1040は非ロクロ坏の体部～底部で、内外面巻上痕が認められ、底部は柾目痕である。1041は小甕の口縁部～体部で、体部～口縁部までほぼ直線的で、口縁部は一部片口状になっている。1042は壺の頸部で、頸部はほぼ直線的で、口縁部に向かって外反する形状を呈する。1043は須恵器壺の体部～底部で、内外面ロクロ調整で、底部は回転糸切である。

SD－125（第250図）

DF－169グリッドで検出した。SD－124と重複しており、SD－124が本遺構を掘り込んでおり、本遺構が古い。北側でやや屈曲するが、ほぼ直線状を呈し、規模は延長262㎝、幅76㎝、深さ６㎝を測る。壁は急角度に立ち上がり、底面はやや丸みを帯びる。堆積土は１層で、明黄褐色土が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

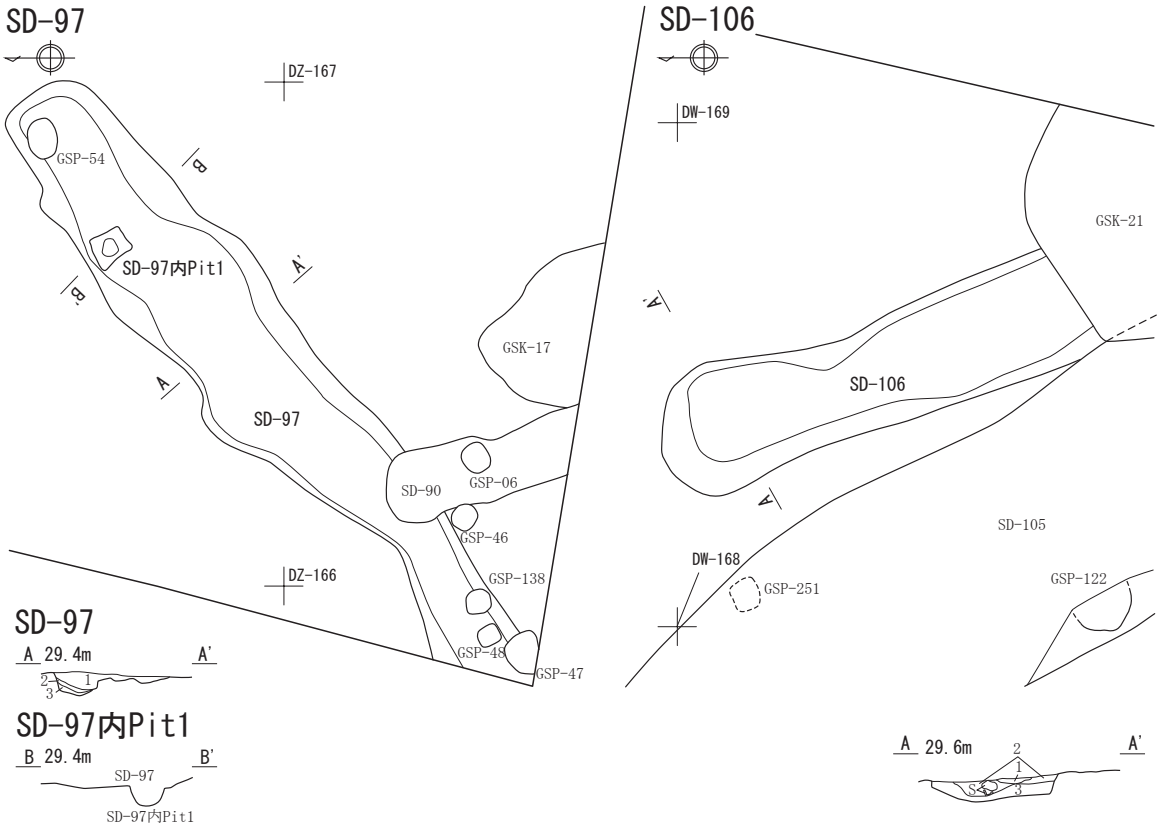
４．井戸跡

GSE－01（第252図）

DY－167グリッドで検出した。平面形は円形を呈し、規模は長軸102×短軸100×深さ105㎝を測る。壁は一部角度を変えながらほぼ垂直に立ち上がり、底面はほぼ平坦である。堆積土は６層に分層した。黒褐色土を主体とする土層が堆積しており、埋め戻し等による人為堆積と考えられる。

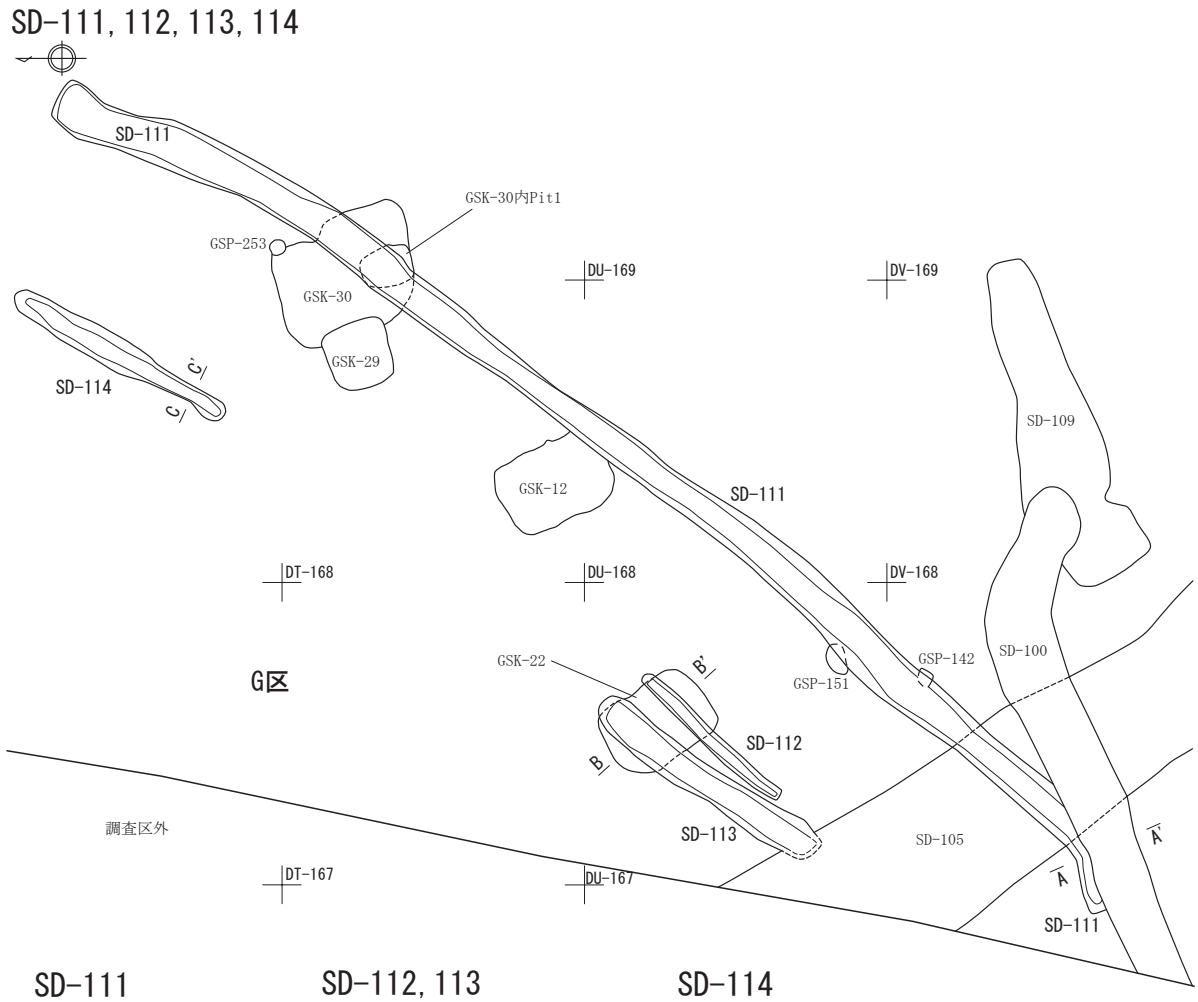
５．ピット

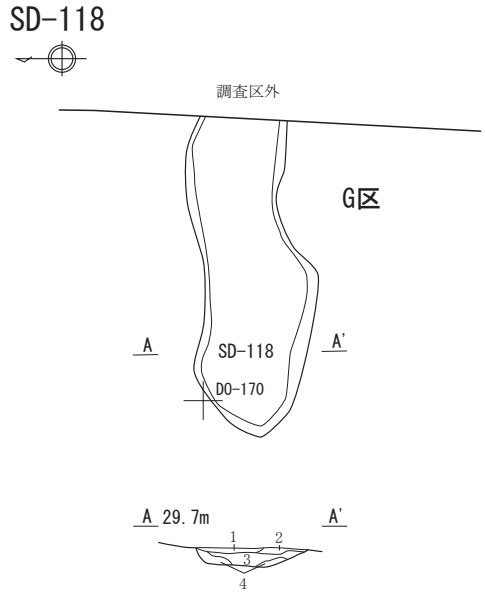
Ｇ区からは345基のピットを検出した。SD－119以南にピットが比較的分布するが、SD－119以北では分布が希薄となる。詳細は第32表、第253～280図のとおりである。

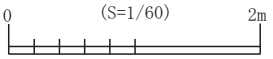


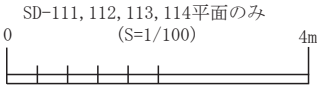
SD-97
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
第2層　7.5YR3/4 暗褐色土と10YR2/1黒色土の混合層　ローム粒(φ1～3mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)少量
SD-106
第1層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～30mm)多量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、焼土粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
SD-107
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～2mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～15mm)中量
SD-108
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～20mm)中量
SD-109
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化物ブロック(φ10～15mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ロームブロック(φ10～50mm)多量
SD-110
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

第248図　川原館遺跡Ｇ区SD（１）









SD-111
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ100mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

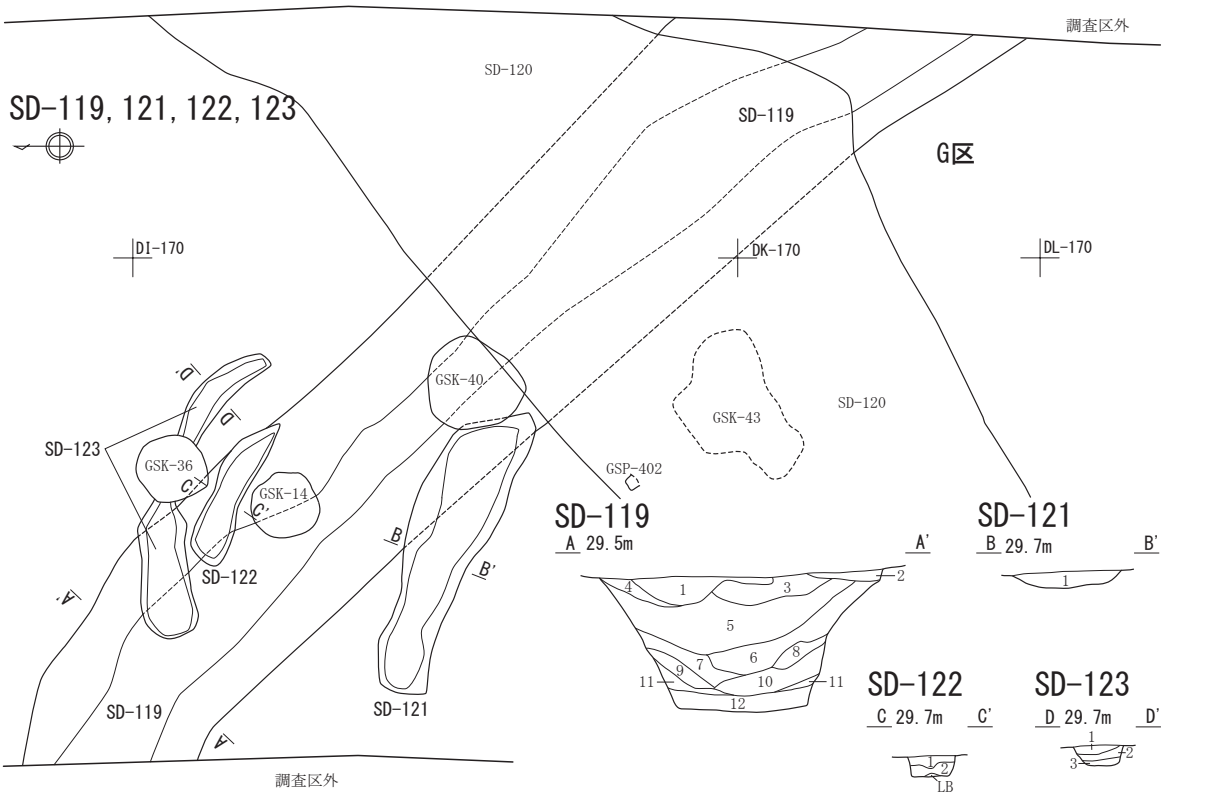
SD-112
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

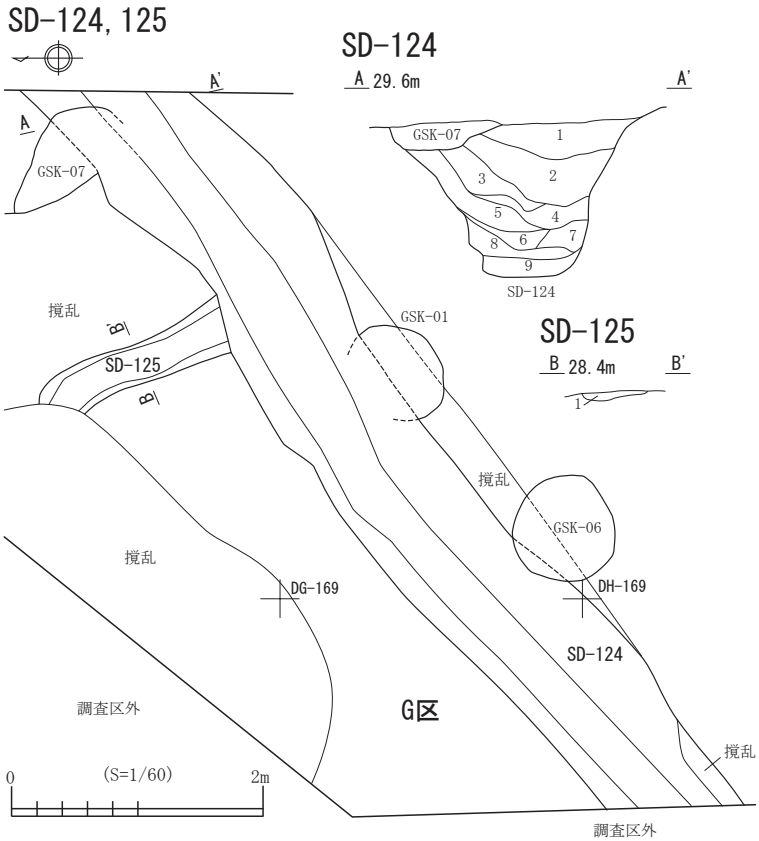
SD-113
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)少量、炭化物ブロック(φ10mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

SD-114
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

SD-118
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30～80mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/4　暗褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層

第249図　川原館遺跡Ｇ区SD（２）





SD-119
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　7.5YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10mm)少量、酸化鉄ブロック(φ10～50mm)少量
第5層　10YR2/1　黒色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～80mm)多量、 酸化鉄ブロック(φ10～20mm)少量
第6層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ50～200mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第7層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第8層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量
第9層　10YR5/4　にぶい黄褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層
第10層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色土の混合層　酸化鉄(φ1～5mm)微量
第11層　10YR5/4　にぶい黄褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第12層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)少量

SD-121
第1層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ10～20mm)少量、炭化粒(φ2～5mm)微量、酸化鉄(φ2～9mm)微量

SD-122
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ20mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ10～50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量

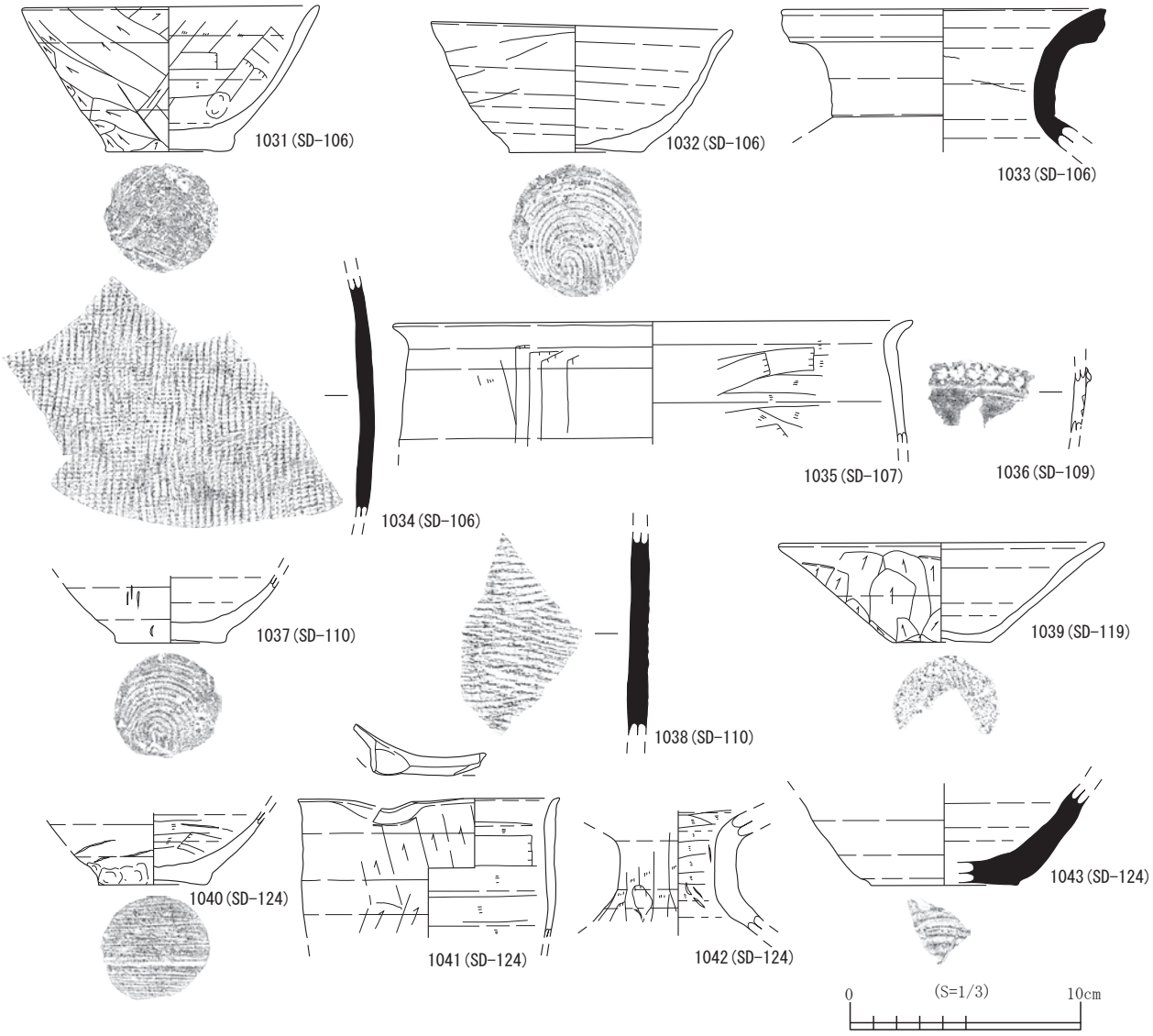
SD-123
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～70mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)中量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)微量、ロームブロック(φ20～50mm)微量

SD-124
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～80mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　7.5YR3/1　黒褐色土と10YR3/1黒褐色土の混合層　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30～130mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量　土の一部が酸化鉄化
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ30～80mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第5層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄(φ100mm)少量
第6層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第7層　7.5YR4/4　褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、酸化鉄層
第8層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第9層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

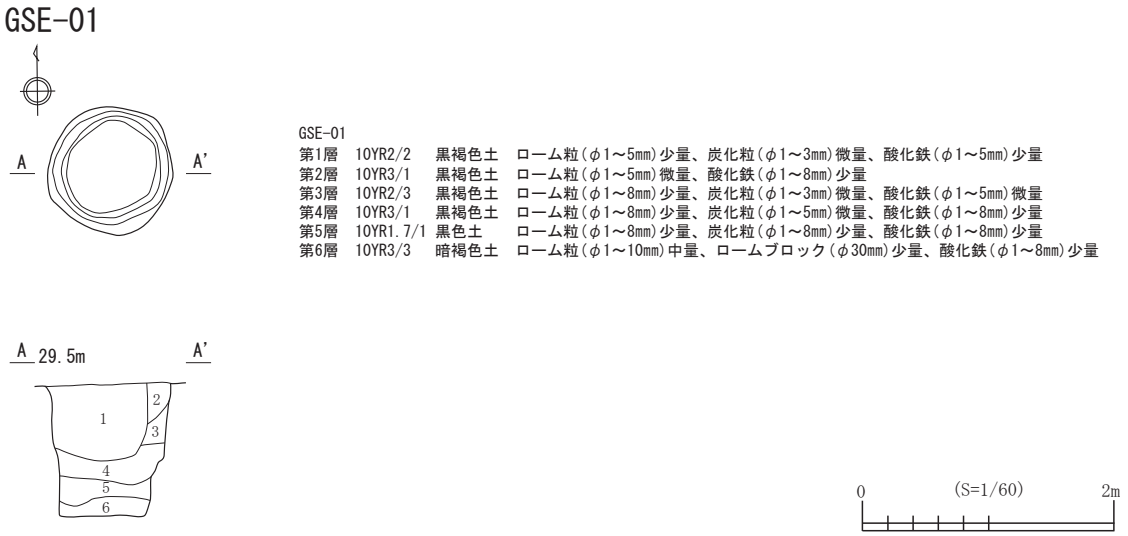
SD-125
第1層　10YR7/6　明黄褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～20mm)多量

平面のみ
0　(S=1/100)　4m

第250図　川原館遺跡Ｇ区SD（３）



第251図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SD



GSE-01
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第5層　10YR1.7/1 黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第6層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

第252図　川原館遺跡Ｇ区SE

第32表　川原館遺跡Ｇ区SP観察表

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第277図	GSP-01	DX-168	GSP-01>GSK-05	29	20	5	h	d			
第254図	GSP-02	DH-168	GSP-02･03>GSK-02	18	17	8	h	d			
第254図	GSP-03	DH-168	GSP-03･02>GSK-02	16	10	16	h	d			
第277図	GSP-04	DX-167	GSP-04>GSP-05>GSK-10	28	22	14	f	d			
第277図	GSP-05	DX-167	GSP-05<GSP-04>GSK-10	30	24	16	f	d			
第277図	GSP-06	DZ-166	GSP-06>SD-90	25	20	14	c	d			
第277図	GSP-07	DZ-165・166	GSP-07>GSP-15	29	22	15	f	d			
第277図	GSP-10	DZ-167		32	23	31	f	d			
第277図	GSP-11	DZ-167		29	25	32	f	d			
第277図	GSP-12	DZ-167		30	26	37	f	d			
第277図	GSP-13	DZ-166		23	21	22	c	d			
第273図	GSP-14	DX-167		33	33	22	h	d			
第277図	GSP-15	DZ-166	GSP-15<GSP-07	25	18	15	c	d			
第273図	GSP-16	DX-166	GSP-16<GSP-17	19	19	26	c	d			
第273図	GSP-17	DX-166	GSP-17>GSP-16	23	21	2	h	d			
第273図	GSP-18	DX-166		26	23	21	c	d			柱痕跡有
第273図	GSP-19	DX-166		32	30	22	h	d			柱痕跡有
第277図	GSP-20	DZ-167		24	20	40	c	d			
第277図	GSP-21	DZ-167		21	16	18	c	d			
第277図	GSP-22	DZ-167		21	21	6	h	d			
第277図	GSP-23	DY-168		24	21	9	c	d			
第277図	GSP-24	DZ-168		35	17	38	x	d			
第277図	GSP-28	DZ-168		16	16	11	h	d			
第277図	GSP-29	DZ-167		17	15	9	h	d			
第277図	GSP-30	DZ-167		19	18	8	h	d			
第278図	GSP-33	DZ-167		29	23	18	f	h			
第278図	GSP-34	DZ-167		16	13	5	c	d			
第278図	GSP-35	DZ-167		18	12	10	f	d			
第278図	GSP-37	DZ-167		22	20	34	c	d			
第278図	GSP-38	DZ-167		22	16	17	c	d			
第278図	GSP-39	DZ-167		27	21	18	c	d			
第278図	GSP-40	DZ-167		17	14	12	c	d			
第278図	GSP-42	DZ-166		21	15	12	f	d			
第278図	GSP-43	DZ-166		40	40	21	h	d			
第278図	GSP-44	DZ-166	GSP-44<GSP-45	21	15	15	h	d			
第278図	GSP-45	DZ-166	GSP-45>GSP-44	18	17	14	h	d			
第278図	GSP-46	DZ-166	GSP-46>SD-90	21	21	10	h	d	須恵器甕1点（第281図1044）		
第278図	GSP-47	DZ-165	GSP-47>SD-91	43	(20)	41	x	c			
第278図	GSP-48	DZ-165	GSP-48>SD-91	19	15	14	c	a			

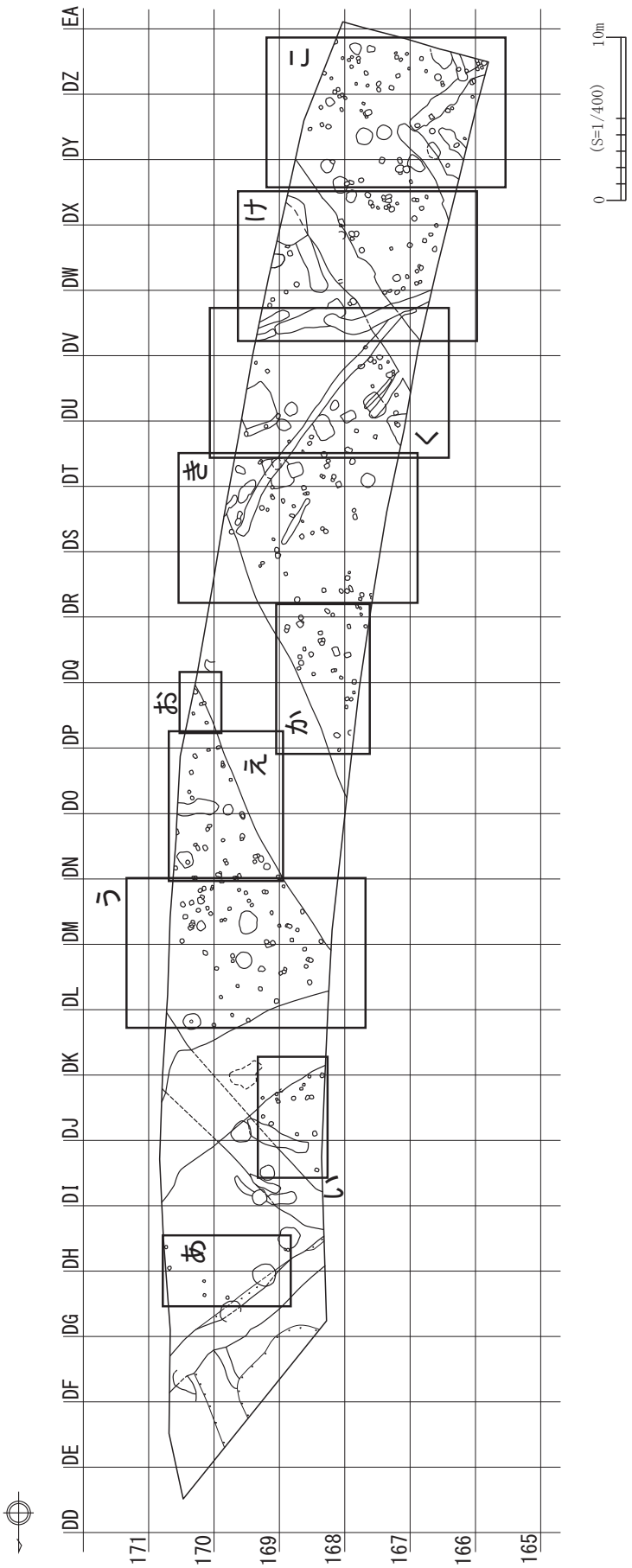
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第278図	GSP-49	DY-166		17	16	7	h	a			
第278図	GSP-50	DY-166		19	16	9	h	d			
第278図	GSP-51	DY-166		30	24	14	f	d			
第279図	GSP-52	DY-166		19	13	22	f	d			
第279図	GSP-53	DY-166		34	33	23	h	d			柱抜取穴
第279図	GSP-54	DY-166	GSP-54>SD-97	33	23	14	f	d			
第279図	GSP-55	DX-166		24	20	6	h	d			
第279図	GSP-56	DY-167	GSP-56<GSP-57	24	10	18	x	—			
第279図	GSP-57	DY-167	GSP-57>GSP-56	40	34	23	f	d			柱抜取穴
第279図	GSP-58	DY-167		16	16	7	h	d			
第279図	GSP-59	DY-167		19	14	13	c	d			
第279図	GSP-60	DZ-167		19	15	13	c	d			
第279図	GSP-61	DY-167・168		21	17	6	h	d			
第279図	GSP-62	DY-168		25	19	10	f	g			
第279図	GSP-63	DY-168	GSP-63<GSP-64	20	19	23	c	d			
第279図	GSP-64	DY・DZ-168	GSP-64>GSP-63	21	20	4	c	d			
第279図	GSP-65	DZ-168		23	23	25	c	d			
第279図	GSP-66	DZ-168		22	21	14	c	d			
第279図	GSP-67	DZ-168		17	16	11	h	d			
第279図	GSP-68	DZ-168		22	19	20	x	d			
第280図	GSP-69	DY-168		22	21	27	c	d			
第280図	GSP-73	DY-168		24	22	13	e	d			柱抜取穴
第277図	GSP-74	DY-168		33	28	17	h	d			
第280図	GSP-79	DX・DY-167		38	31	11	d	d			
第280図	GSP-83	DX・DY-167		39	26	10	f	d			
第280図	GSP-84	DX-167	GSP-84<GSP-393	50	45	29	h	e			
第280図	GSP-85	DX-167	GSP-85>GSP-393	42	40	21	h	d			
第280図	GSP-86	DY-167		18	14	11	f	a			
第273図	GSP-88	DX-166		22	18	12	c	d			
第273図	GSP-90	DX-167	GSP-90>GSP-91	40	28	24	f	d			
第273図	GSP-91	DX-167	GSP-90>GSP-91<GSP-135	64	23	10	f	—			
第273図	GSP-93	DW・DX-166		23	21	25	h	d			
第273図	GSP-94	DW-166		25	18	19	f	d			
第273図	GSP-96	DW-166		22	21	25	a	d			
第273図	GSP-98	DW-166		34	27	12	f	c			
第273図	GSP-102	DW-166	GSP-102<GSP-103	19	10	13	h	d			
第273図	GSP-103	DW-166	GSP-103>GSP-102	28	24	13	f	d			
第273図	GSP-104	DW-166		20	20	15	c	d			
第273図	GSP-105	DW-166		19	17	13	h	g			
第273図	GSP-106	DW-166		22	21	9	h	g			
第273図	GSP-107	DW-167		25	19	18	h	d			
第274図	GSP-109	DV・DW-167		22	20	22	h	d			
第274図	GSP-110	DV・DW-167		30	21	20	f	d			
第274図	GSP-111	DV・DW-167		24	15	4	f	d			
第274図	GSP-112	DW-167		44	40	31	h	d			
第274図	GSP-113	DV-167		23	20	29	h	d			
第274図	GSP-114	DW-166・167		30	20	30	h	d			
第274図	GSP-115	DW-167		22	23	10	f	d			
第274図	GSP-116	DW-167	GSP-116<GSP-117	36	30	7	f	d			
第274図	GSP-117	DW-167	GSP-117>GSP-116	36	30	7	f	d			
第274図	GSP-118	DW-167		23	23	19	f	d			
第280図	GSP-120	DZ-165	GSP-120<SD-91	18	18	15	h	d			
第274図	GSP-121	DX-168	SD-105>GSP-121<GSP-388	46	32	26	f	d			
第274図	GSP-122	DW-167・168	GSP-122<SD-105	46	30	33	h	d			
第280図	GSP-128	DX-167		33	27	14	h	h			
第274図	GSP-129	DX-167		17	15	9	h	d			
第274図	GSP-130	DX-167		35	30	5	h	d			
第275図	GSP-131	DX-167		29	27	11	h	d			
第275図	GSP-132	DX-167		20	19	22	c	d			
第275図	GSP-133	DX-167		20	15	11	f	d			
第273図	GSP-135	DX-167	GSP-135>GSP-91	26	21	18	h	d			
第275図	GSP-136	DX-167	GSP-136<GSP-137	18	16	6	a	d			
第275図	GSP-137	DX-167	GSP-137>GSP-136	21	20	12	h	d			
第280図	GSP-138	DZ-165	GSP-138>SD-97	20	20	7	h	d			
第270図	GSP-140	DU-167		34	26	28	f	d			柱痕跡有
第270図	GSP-142	DV-167	GSP-142<SD-111	26	20	14	h	d			
第270図	GSP-143	DU-167		28	26	28	c	d			
第270図	GSP-144	DU・DV-167		37	27	15	f	d			
第270図	GSP-145	DU-167	GSP-145>GSP-148・149	19	15	18	c	d			
第270図	GSP-146	DU-167		30	20	8	f	d			
第270図	GSP-147	DU-167		16	13	8	h	d			
第270図	GSP-148	DU-167	GSP-148<GSP-145、149	42	32	16	f	h			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第270図	GSP-149	DU-167	GSP-148<GSP-149<GSP-145	18	17	8	h	d			
第270図	GSP-150	DU-167		16	13	8	h	d			
第270図	GSP-151	DU-167	GSP-151<SD-111	43	25	22	f	i			
第270図	GSP-152	DU-167		20	18	21	c	a			
第270図	GSP-153	DU-167	GSP-153<GSK-13	30	26	33	h	d			柱痕跡有
第271図	GSP-154	DT-167		22	22	34	h	d			
第271図	GSP-156	DT-167		47	30	14	f	d			
第271図	GSP-157	DT-167		25	30	5	c	a			
第266図	GSP-158	DT-167		39	31	14	f	d			
第266図	GSP-159	DS-167		34	24	23	f	d			柱痕跡有
第266図	GSP-160	DS-167		23	21	24	h	d			柱痕跡有
第266図	GSP-161	DS・DT-168		35	31	36	a	d			
第266図	GSP-164	DT-168	GSP-164>GSP-165	21	17	10	f	d			
第266図	GSP-165	DT-168	GSP-165<GSP-164	21	18	4	h	d			
第266図	GSP-166	DT-168	GSP-166>GSP-167	27	25	30	h	d			
第266図	GSP-167	DT-168	GSP-167<GSP-166	25	21	4	f	e			
第266図	GSP-168	DT-168		32	25	29	c	d			柱痕跡有
第266図	GSP-169	DT-168		26	23	16	c	d			
第271図	GSP-170	DT-168		35	33	28	h	c			
第271図	GSP-171	DT-168		24	23	13	h	d			
第271図	GSP-172	DT-168		26	21	12	f	a			
第271図	GSP-173	DT-168		18	11	5	f	a			
第271図	GSP-174	DT-168		15	15	14	a	d			
第271図	GSP-175	DU-169		23	21	22	c	d			
第266図	GSP-176	DS・DT-168		28	27	10	h	d			
第266図	GSP-177	DS-168	GSP-177<GSP-178	23	15	27	c	d			
第266図	GSP-178	DS-168	GSP-178>GSP-177	18	15	4	f	c			
第266図	GSP-179	DS-168		16	12	5	f	d			
第266図	GSP-180	DS-168		32	20	10	f	d			
第266図	GSP-181	DS-168		27	25	18	c	d			
第266図	GSP-182	DS-168		22	18	14	f	d			
第266図	GSP-183	DS-168		23	20	14	h	d			
第266図	GSP-184	DS-168		27	27	18	h	d			
第267図	GSP-185	DR-167		17	13	10	h	d			
第267図	GSP-186	DR-167		34	30	23	c	d			柱痕跡有
第267図	GSP-187	DR-167		43	18	14	f	d			
第267図	GSP-188	DR-167・168		28	25	27	f	d			
第267図	GSP-189	DR-167		28	25	19	h	d			
第267図	GSP-190	DR-167		15	10	12	h	d			
第262図	GSP-191	DR-167		23	16	13	e	d			
第262図	GSP-192	DR-167		18	14	6	f	d			
第262図	GSP-193	DR-167		18	13	7	f	d			
第262図	GSP-194	DQ-167		21	21	11	h	d			
第262図	GSP-195	DQ-167		26	18	6	c	a			
第263図	GSP-196	DR-168		23	22	12	c	d			
第263図	GSP-197	DR-168		25	21	6	f	d			
第267図	GSP-198	DR-168		27	24	21	c	d			
第267図	GSP-199	DR-168		35	33	26	h	d			
第263図	GSP-200	DQ-168		27	23	15	h	d			
第263図	GSP-201	DQ-168	GSP-201<GSP-202	21	10	7	x	d			
第263図	GSP-202	DQ-168	GSP-202>GSP-201	38	33	12	f	d			
第263図	GSP-203	DQ・DR-168		30	28	23	h	d			
第263図	GSP-204	DQ-168		23	23	22	c	d			
第263図	GSP-205	DQ-168	GSP-205<GSP-206	25	21	11	h	d			
第263図	GSP-206	DQ-168	GSP-206>GSP-205	29	25	14	h	d			
第263図	GSP-207	DQ-168	GSP-207<GSP-396・397	43	39	16	x	d			
第263図	GSP-209	DQ-168		56	35	28	b	d			
第263図	GSP-210	DQ-167・168		40	30	32	f	d			
第263図	GSP-211	DQ-168		21	16	8	f	a			
第263図	GSP-212	DQ-168	GSP-212<GSP-213	18	13	7	h	d			
第263図	GSP-213	DQ-168	GSP-213>GSP-212	20	18	20	c	d			
第263図	GSP-214	DP-167		15	14	5	a	a			
第263図	GSP-215	DP-167		21	18	11	h	d			
第264図	GSP-216	DP-167		24	22	12	c	e			
第264図	GSP-217	DP-167		21	17	19	f	d			
第264図	GSP-218	DP-167		30	19	30	h	d			
第264図	GSP-219	DP-168		39	31	25	f	d			
第264図	GSP-220	DO-168		22	16	14	f	d			
第264図	GSP-221	DQ-168		22	19	20	h	d			
第264図	GSP-222	DQ-168		22	18	16	c	d			
第264図	GSP-223	DQ-168		31	30	32	h	d			
第264図	GSP-224	DQ-168		32	30	18	h	d			
第267図	GSP-225	DR-168		21	19	14	c	d			柱痕跡有
第267図	GSP-226	DR-168・169		37	32	36	h	d	土師器甕1点（第281図1045）		

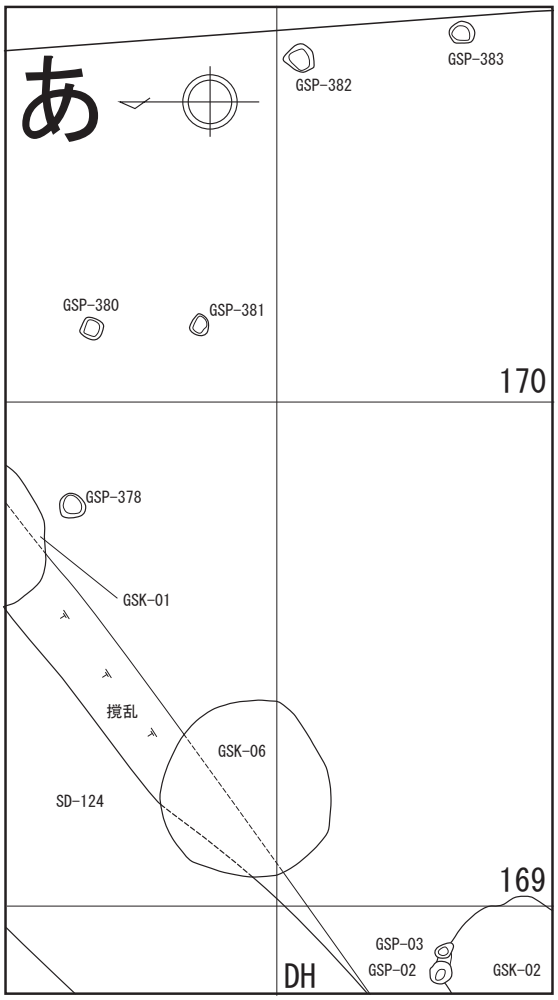
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第267図	GSP-227	DR・DS-169		34	25	37	f	d			柱痕跡有
第267図	GSP-228	DR-169		15	15	8	h	d			
第267図	GSP-229	DS-169		21	20	14	h	d			
第267図	GSP-230	DS-169		20	15	5	f	d			
第268図	GSP-231	DS-169	GSP-231>GSP-232	45	30	8	f	d			
第268図	GSP-232	DS-169	GSP-232<GSP-231	45	25	10	f	d			
第268図	GSP-234	DS-169		28	26	10	h	d			
第268図	GSP-235	DS-169		20	16	11	h	d			
第268図	GSP-236	DT-169		57	42	10	f	e			
第268図	GSP-237	DS-168		28	19	23	f	e			
第268図	GSP-238	DS-169	GSP-238>GSP-239	21	20	6	h	e			
第268図	GSP-239	DS-169	GSP-239<GSP-238	57	42	10	h	d			
第268図	GSP-240	DT-169	GSP-240>GSP-241	20	19	11	h	d			
第268図	GSP-241	DT-169	GSP-241<GSP-240	16	10	6	c	d			
第275図	GSP-242	DV-169		25	24	13	h	d			
第275図	GSP-243	DV-169		23	21	15	c	d			
第275図	GSP-244	DV・DW-168		23	22	24	h	d			
第275図	GSP-245	DW-168		31	31	21	h	d			
第275図	GSP-246	DW-168		33	29	29	f	e			
第275図	GSP-247	DW-168		23	16	13	a	d			
第275図	GSP-249	DV-167	GSP-249<GSP-250	40	33	52	h	d			
第275図	GSP-250	DV-167	GSP-250>GSP-249	23	20	10	h	d			
第275図	GSP-251	DW-168	GSP-251<SD-105	26	24	33	h	d			
第264図	GSP-252	DP・DQ-167		28	26	27	c	d			柱痕跡有
第268図	GSP-253	DS・DT-169	GSP-253>GSK-30	21	20	11	h	d			
第262図	GSP-254	DP-170	SD-117<GSP-254<GSP-255	21	19	32	c	c			
第262図	GSP-255	DP-170	GSP-255>GSP-254	20	18	6	h	d			
第262図	GSP-256	DP-170		18	14	25	c	d			
第262図	GSP-257	DP-170		20	17	19	h	d			
第260図	GSP-258	DO・DP-169		26	18	25	f	d			
第260図	GSP-259	DO-170		20	13	6	c	d			
第260図	GSP-260	DO-170		30	21	14	f	d			
第260図	GSP-262	DO-170		24	21	28	c	d			柱痕跡有
第260図	GSP-263	DO-169		40	24	19	e	e			
第260図	GSP-264	DO-169		17	17	34	c	d			
第260図	GSP-267	DO-170		21	19	10	h	e			
第260図	GSP-268	DO-170		23	21	20	h	d			
第260図	GSP-269	DN-170		37	17	52	a	d			
第260図	GSP-271	DN-170		23	17	12	f	d			
第260図	GSP-272	DN-170		34	20	8	f	a			
第261図	GSP-274	DN-170		34	27	10	f	e			
第261図	GSP-275	DN-170		25	23	18	h	d			
第261図	GSP-276	DN-170		29	21	11	f	d			
第261図	GSP-277	DN-169		22	18	31	h	d			
第261図	GSP-278	DN・DO-169	GSP-278>GSP-410	48	30	29	f	j			
第261図	GSP-279	DN-169	GSP-279<GSP-358	28	25	25	h	d			
第261図	GSP-280	DN-169	GSP-280<GSP-281、283	24	15	23	f	d			
第261図	GSP-281	DN-169	GSP-281>GSP-280	24	21	24	h	d			
第261図	GSP-282	DN-169		21	20	33	h	d			
第261図	GSP-283	DN-169	GSP-283>GSP-280	40	30	22	f	d			
第261図	GSP-284	DN-169		40	40	12	h	d			
第261図	GSP-286	DN-169		24	19	14	c	d			
第261図	GSP-287	DN-169	GSP-287>GSP-411	40	12	24	f	d			
第261図	GSP-288	DN-169	GSP-288<GSP-289	21	20	14	h	d			
第261図	GSP-289	DN-169	GSP-289>GSP-288	22	20	12	h	d			
第261図	GSP-290	DM・DN-169	GSP-290<GSP-291	27	20	15	f	d			
第261図	GSP-291	DM・DN-169	GSP-291>GSP-290	20	18	29	h	d			
第261図	GSP-292	DN-170		24	20	37	h	d			
第257図	GSP-293	DM-170		32	30	30	h	d			
第257図	GSP-295	DM-170		27	21	24	f	d			
第257図	GSP-296	DM-170		30	25	16	h	d			
第257図	GSP-297	DM-170		23	18	13	g	d			
第257図	GSP-298	DM-170		21	21	18	f	d			柱痕跡有
第257図	GSP-299	DM-169		17	15	9	a	d			
第257図	GSP-300	DM-169		17	16	10	c	d			
第257図	GSP-301	DM-169		24	21	33	c	d			柱痕跡有
第257図	GSP-302	DM-169		20	20	9	h	d			
第257図	GSP-303	DM-169		22	22	13	h	i			
第257図	GSP-304	DM-169		20	20	22	h	d			
第257図	GSP-305	DM-169		20	20	22	h	d			
第257図	GSP-307	DM-169	GSP-307>GSP-308	20	17	20	h	d			
第257図	GSP-308	DM-169	GSP-308<GSP-307	23	22	24	c	d			
第261図	GSP-310	DM･DN-168･169		32	30	21	f	d			
第257図	GSP-311	DM-168		18	17	8	h	d			

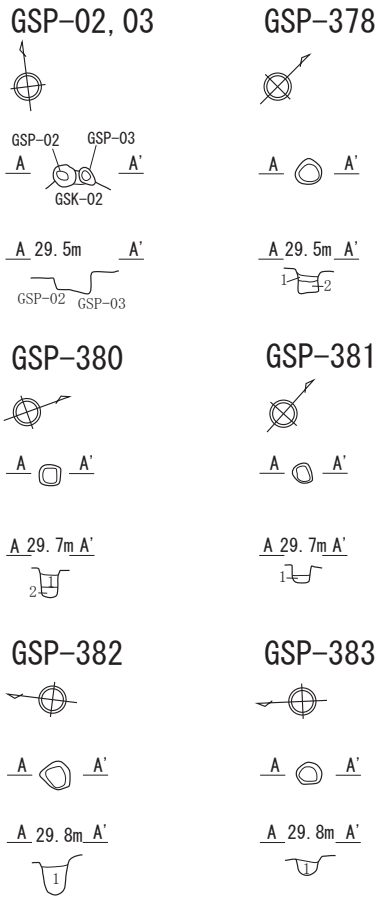
図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第261図	GSP-312	DM・DN-170	GSP-312>GSP-313	20	15	17	f	d			
第261図	GSP-313	DM・DN-170	GSP-313<GSP-312	24	15	20	c	d			
第257図	GSP-314	DM-170	GSP-314>GSP-315	45	40	21	e	d			
第257図	GSP-315	DM-170	GSP-315<GSP-314	26	22	23	e	d			
第258図	GSP-316	DM-170		26	25	26	h	d			
第258図	GSP-317	DM-168		29	23	26	f	d			
第258図	GSP-319	DM-168		20	20	37	h	d			
第258図	GSP-320	DM-168	GSP-320>GSP-412	29	25	25	e	d			
第258図	GSP-321	DM-168･169		19	17	14	h	d			
第258図	GSP-322	DL・DM-169	GSP-322<GSP-323･324	47	36	25	a	e			
第258図	GSP-323	DL・DM-169	GSP-323>GSP-322	30	27	20	c	d			
第258図	GSP-324	DM-169	GSP-324>GSP-322	27	25	14	h	d			
第258図	GSP-325	DM-168		22	20	50	c	b			
第258図	GSP-326	DL-168		26	24	12	h	d			
第258図	GSP-327	DM-168		26	23	47	h	d			
第258図	GSP-328	DL-168	GSP-328>GSP-329	28	26	32	c	e			
第258図	GSP-329	DL-168	GSP-329<GSP-328	24	17	28	h	d			
第258図	GSP-330	DL-168		23	23	24	h	d			
第258図	GSP-331	DL-168		32	25	45	h	d			柱痕跡有
第258図	GSP-333	DL-169		30	29	33	c	d			
第259図	GSP-334	DL-168	GSP-334>GSP-335･336	26	21	20	h	d			
第259図	GSP-335	DL-168	GSP-335<GSP-334	22	17	25	h	d			
第259図	GSP-336	DL-168・169	GSP-336<GSP-334	25	23	59	c	d			柱痕跡有
第261図	GSP-337	DN-170	GSP-337>GSK-39	27	24	48	h	d			
第259図	GSP-339	DL-169		23	23	20	c	d			
第259図	GSP-342	DL-169		24	23	33	h	d			柱痕跡有
第259図	GSP-344	DK-169		22	23	4	h	d			
第259図	GSP-345	DK-169		22	18	21	h	d			柱痕跡有
第259図	GSP-346	DK-169･170		23	23	11	h	d			
第259図	GSP-347	DL-169		21	19	14	h	d			
第259図	GSP-348	DL-169		20	20	18	h	d			
第259図	GSP-349	DL-169		20	20	10	c	d			
第259図	GSP-350	DL-169		24	21	27	h	d			
第259図	GSP-352	DL-170		35	26	8	f	g			
第259図	GSP-353	DM-170		25	12	34	c	d			
第257図	GSP-354	DM-170		26	22	32	h	d			
第259図	GSP-355	DM-170	GSP-355>GSP-356	18	15	9	f	g			
第259図	GSP-356	DM-170	GSP-356<GSP-355	15	15	7	c	g			
第259図	GSP-357	DM-169		25	20	21	f	d			
第261図	GSP-358	DN-169	GSP-358>GSP-279	23	20	4	a	d			
第259図	GSP-360	DM-170	GSP-360>GSP-398	38	25	10	c	d			
第259図	GSP-361	DM-170		28	25	11	h	d			
第255図	GSP-362	DJ-169		20	20	12	h	d			
第255図	GSP-363	DJ-169		29	25	12	h	d			
第255図	GSP-364	DJ-169		14	13	2	h	d			
第255図	GSP-365	DJ-168･169		21	19	21	c	d			柱痕跡有
第255図	GSP-366	DJ-168		26	23	14	h	d			
第255図	GSP-367	DJ-168	GSP-367<SD-120	19	15	18	h	i			
第255図	GSP-368	DJ-168		20	16	6	c	d			
第255図	GSP-369	DJ-168		20	18	4	c	d			
第255図	GSP-370	DJ-168		18	17	10	h	d			
第255図	GSP-371	DJ･DK-168		30	25	20	h	d			
第255図	GSP-372	DJ-168	GSP-372>GSP-373	30	20	26	f	e			柱痕跡有
第255図	GSP-373	DJ-168	GSP-373<GSP-372	27	23	30	h	d			
第255図	GSP-374	DJ-168		30	27	20	h	d			
第255図	GSP-375	DJ-168		20	18	12	c	d			
第255図	GSP-376	DI-168		25	21	18	c	d			柱痕跡有
第255図	GSP-377	DJ-169	GSP-377>SD-120	19	14	22	c	d			
第254図	GSP-378	DG-169		21	20	20	h	a			
第254図	GSP-380	DG-170		17	17	19	c	a			
第254図	GSP-381	DG-170		17	15	14	h	d			
第254図	GSP-382	DH-170		24	20	23	h	d			
第254図	GSP-383	DH-170		20	17	12	h	d			
第280図	GSP-387	DX-166・167		28	16	5	f	d			
第274図	GSP-388	DW・DX-168	GSP-388>GSP-121、SD-105	18	17	10	h	a			
第275図	GSP-390	DW-167		18	16	20	a	d			
第280図	GSP-392	DZ-167		21	(16)	28	c	d			
第280図	GSP-393	DX-167	GSP-84<GSP-393<GSP-85	24	13	23	h	a			
第268図	GSP-394	DS-168		19	17	11	c	i			
第264図	GSP-395	DQ-168		22	18	10	b	d			
第263図	GSP-396	DQ-168	GSP-396>GSP-207、397	24	21	12	h	d			

図版番号	遺構番号	位置	新旧関係	規模（cm）			平面形	断面形	出土遺物	時期	備考
				長軸	短軸	深さ					
第263図	GSP-397	DQ-168	GSP-396>GSP-397 >GSP-207	30	22	16	f	d			
第259図	GSP-398	DM-170	GSP-360>GSP-398 >GSP-399	35	27	16	f	d			
第259図	GSP-399	DM-170	GSP-399<GSP-398	22	17	13	h	d			
第271図	GSP-400	DU-169		18	14	20	h	d			
第259図	GSP-401	DM-169		28	16	13	f	d			
第255図	GSP-402	DJ-169	GSP-402>SD-120	16	15	14	c	a			
第268図	GSP-403	DR-167		19	16	6	a	d			
第267図	GSP-404	DR-167		15	5	22	x	d			
第268図	GSP-405	DR-168		29	21	13	f	e			
第259図	GSP-406	DL-169		50	36	17	e	e			
第268図	GSP-407	DS-169	GSP-407>SD-117	30	28	32	h	d			
第262図	GSP-408	DP-170		29	15	18	h	b			
第261図	GSP-410	DN-169	GSP-410<GSP-278	24	20	12	f	f			
第261図	GSP-411	DN-169	GSP-411<GSP-287	20	14	12	e	d			
第258図	GSP-412	DM-168	GSP-412<GSP-320	24	20	34	h	d			



第253図　川原館遺跡Ｇ区SP分割図





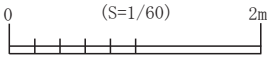
GSP-378
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ30mm)少量

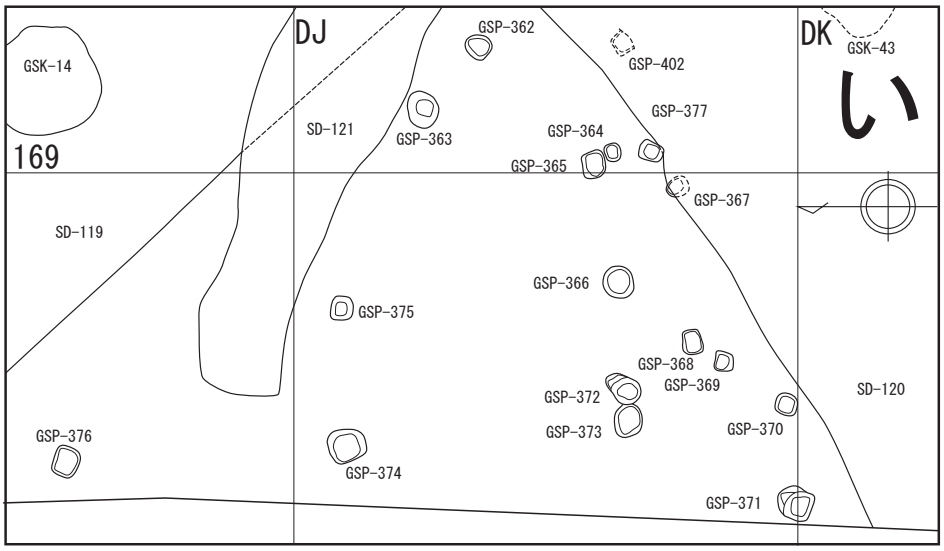
GSP-380
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-381
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

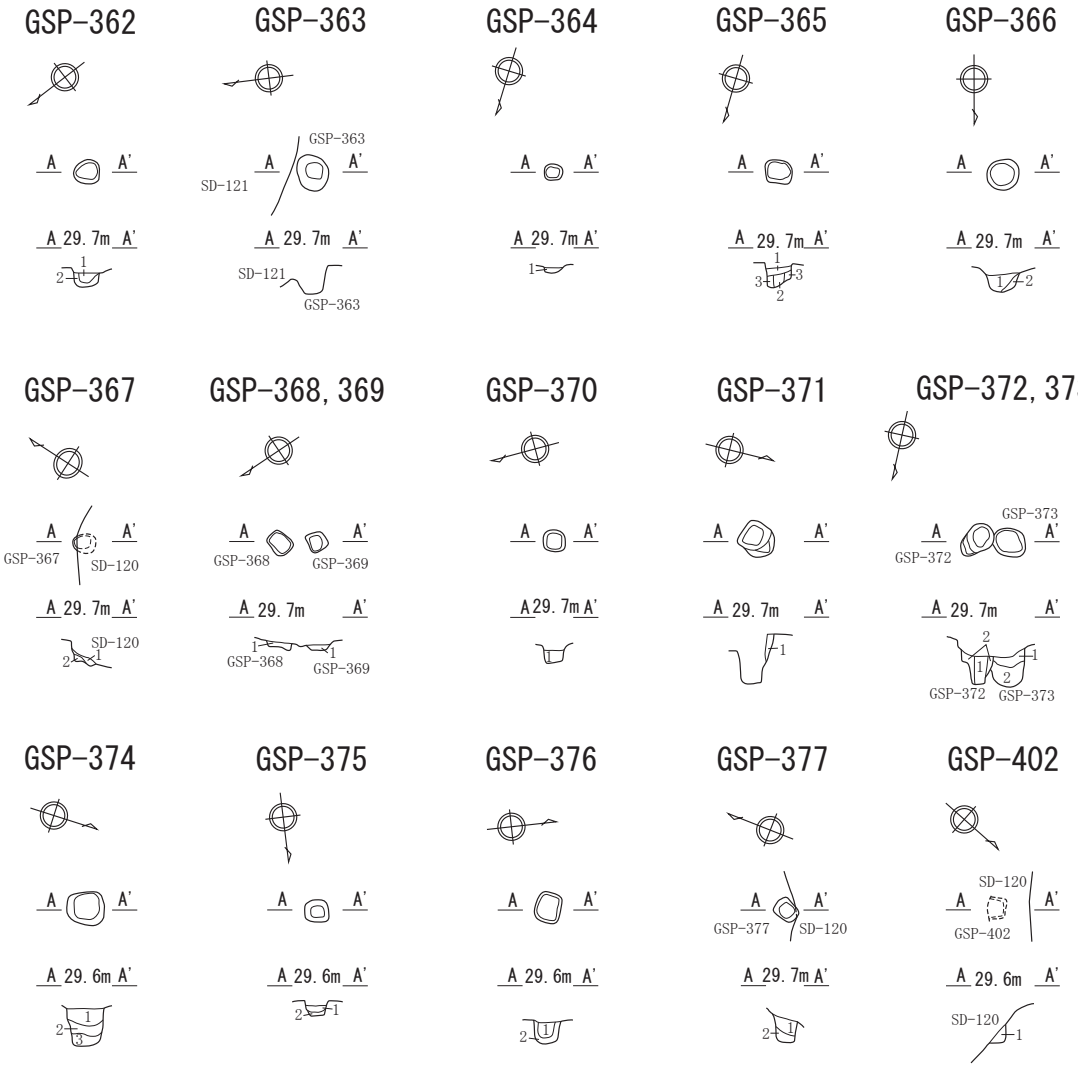
GSP-382
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

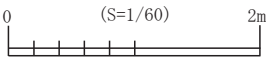
GSP-383
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(30～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量





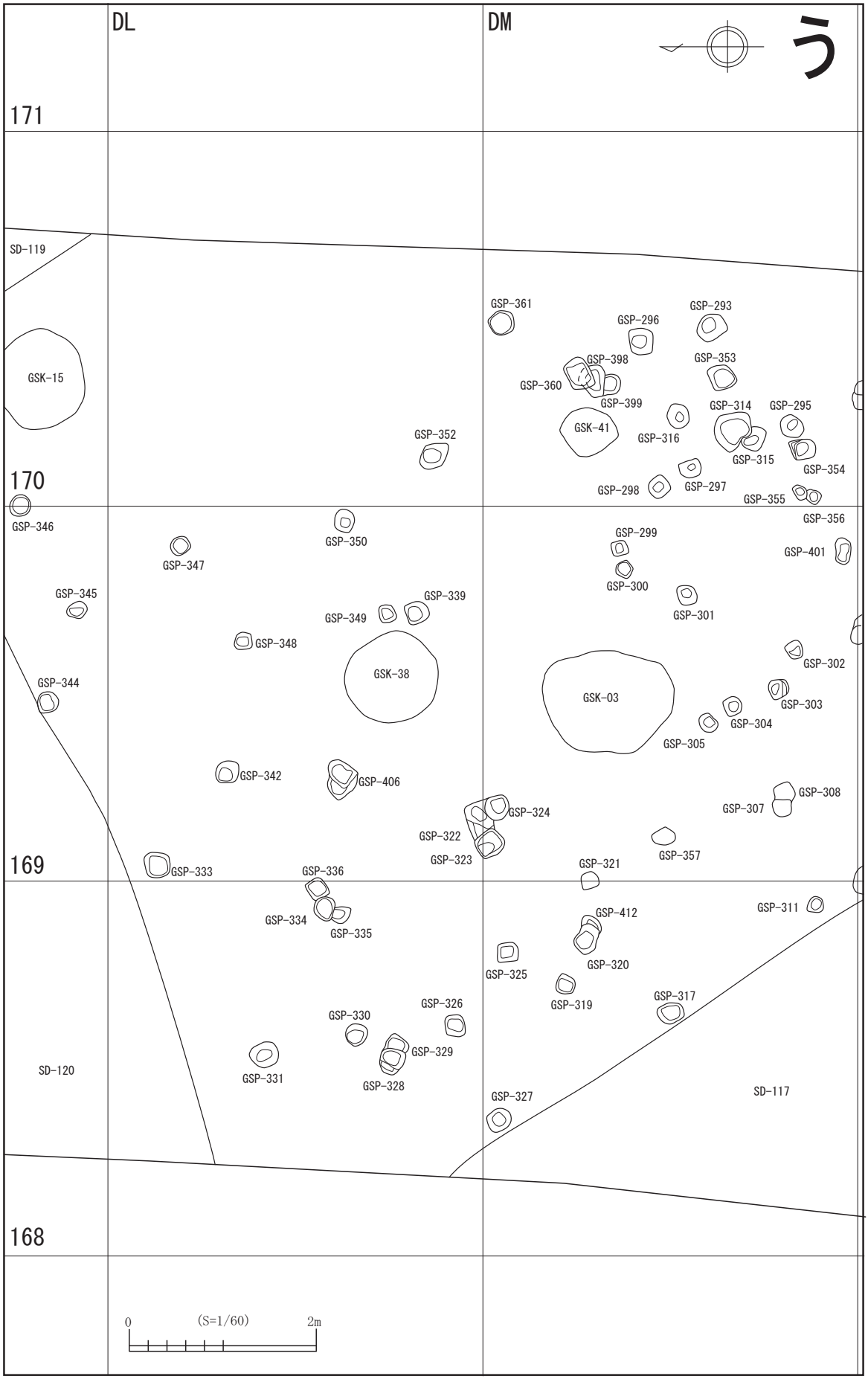
第254図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図あ・い



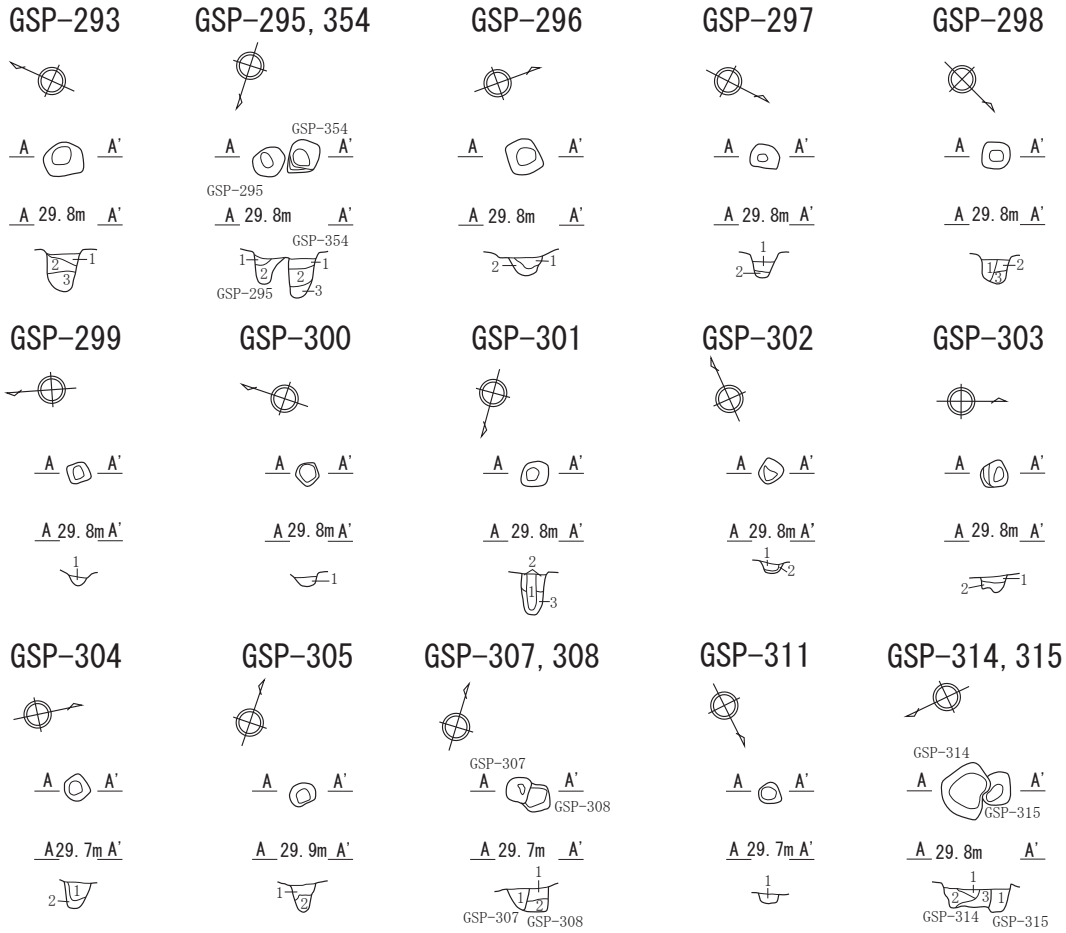


GSP-362
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　7.5YR3/1 黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-364
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-365
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-366
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-367
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)中量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
GSP-368
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-369
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-370
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-371
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-372
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-373
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-374
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～100mm)中量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-375
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-376
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-377
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ90mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-402
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

第255図　川原館遺跡Ｇ区SPい



第256図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図う



GSP-293
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-295
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-296
第1層　7.5YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～30mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量

GSP-297
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層

GSP-298
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

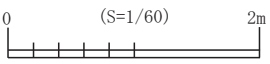
GSP-299
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層

GSP-300
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

GSP-301
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

GSP-302
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層

GSP-303
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR5/6　黄褐色土と10YR3/2黒褐色土の混合層



GSP-304
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-305
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

GSP-307
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-308
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ローム粒ブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

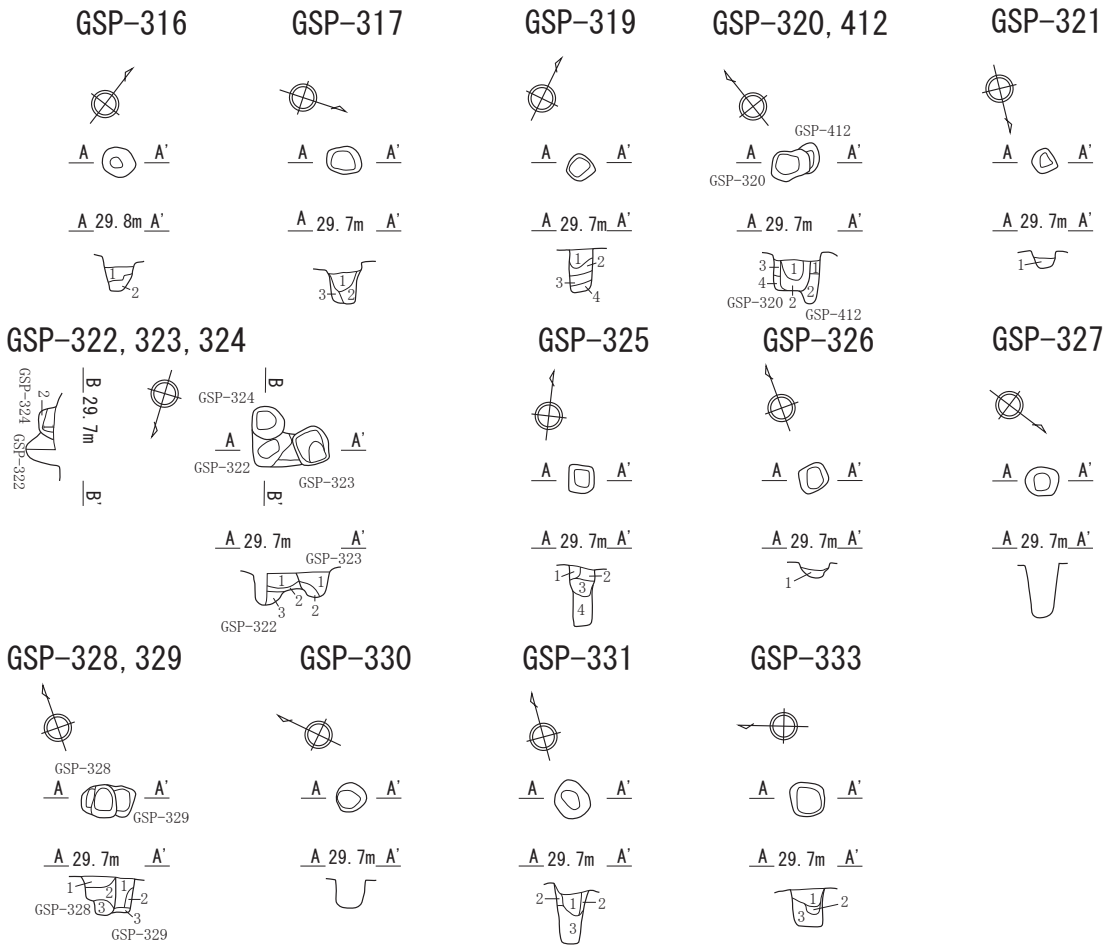
GSP-311
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ローム粒ブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

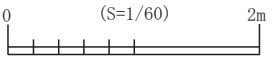
GSP-314
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ローム粒ブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ローム粒ブロック(φ20～40mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量

GSP-315
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-354
第1層　7.5YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量、火山灰(φ10mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

第257図　川原館遺跡Ｇ区SPう（１）





GSP-316
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-317
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-319
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第4層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

GSP-320
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-321
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-322
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

GSP-323
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-324
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-325
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

GSP-326
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-328
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

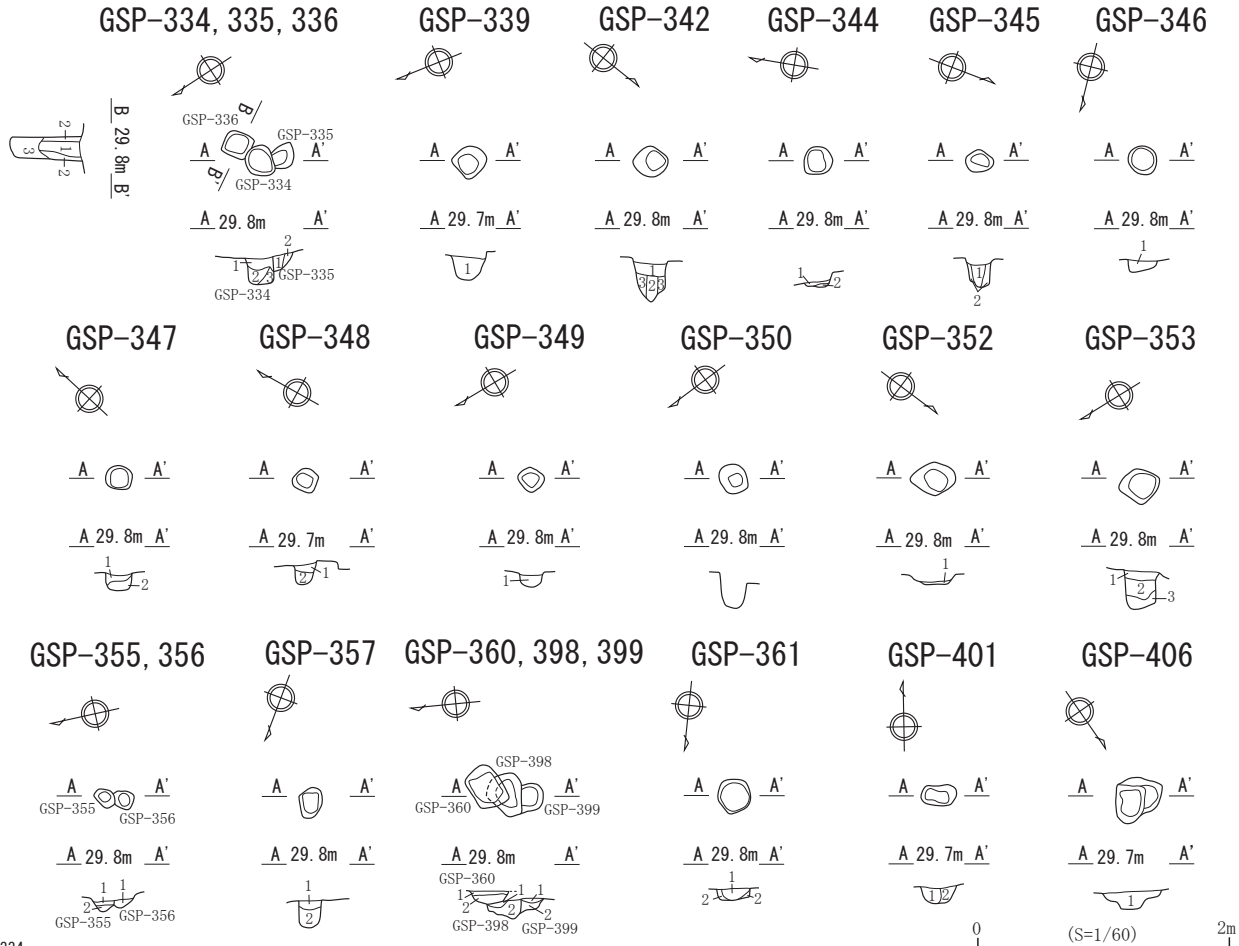
GSP-329
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～6mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層

GSP-331
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

GSP-333
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～60mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-412
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量

第258図　川原館遺跡Ｇ区SPう（２）



GSP-334
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40～80mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/8黄褐色ローム の混合層

GSP-335
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

GSP-336
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量

GSP-339
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量

GSP-342
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～60mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-344
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～6mm)少量

GSP-345
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量

GSP-346
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-347
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

GSP-348
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量

GSP-349
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-352
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-353
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色ローム の混合層

GSP-355
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)微量

GSP-356
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～9mm)微量

GSP-357
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-360
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

GSP-361
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

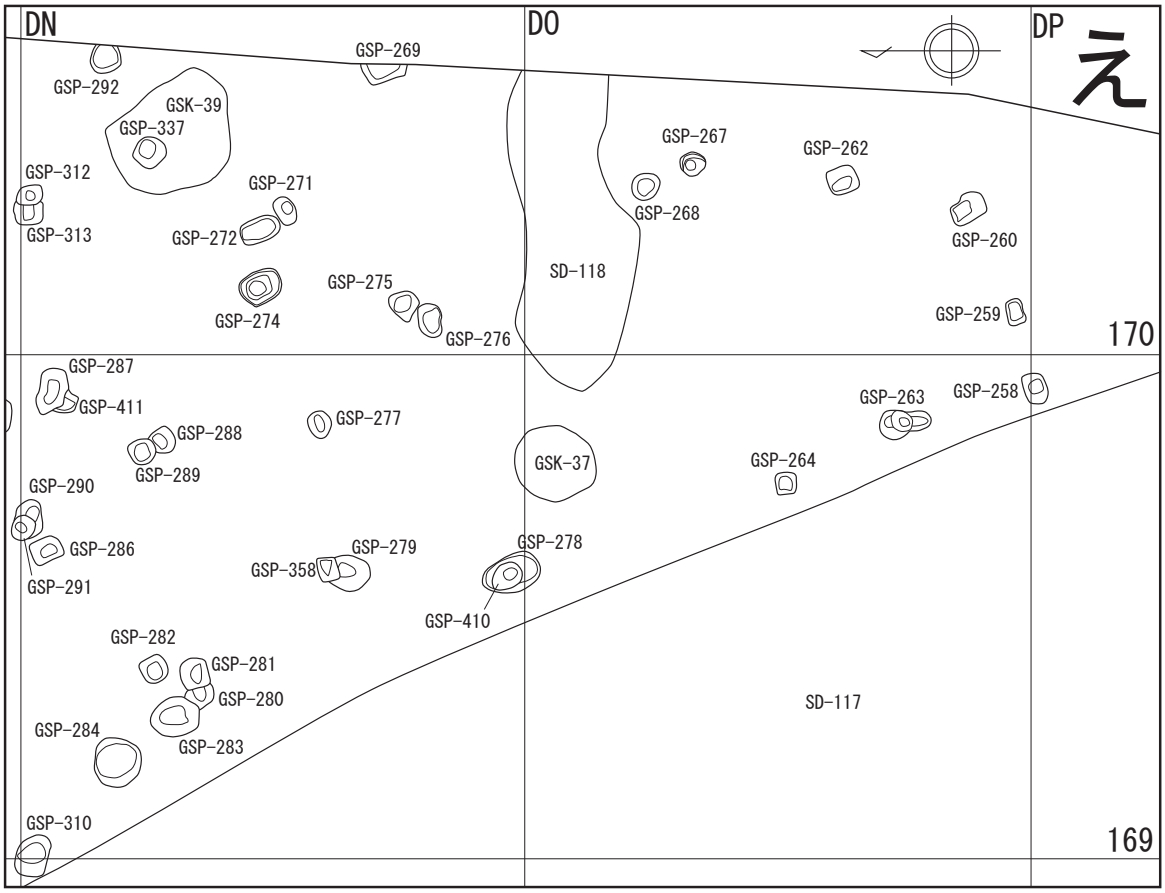
GSP-398
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、火山灰(φ15mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

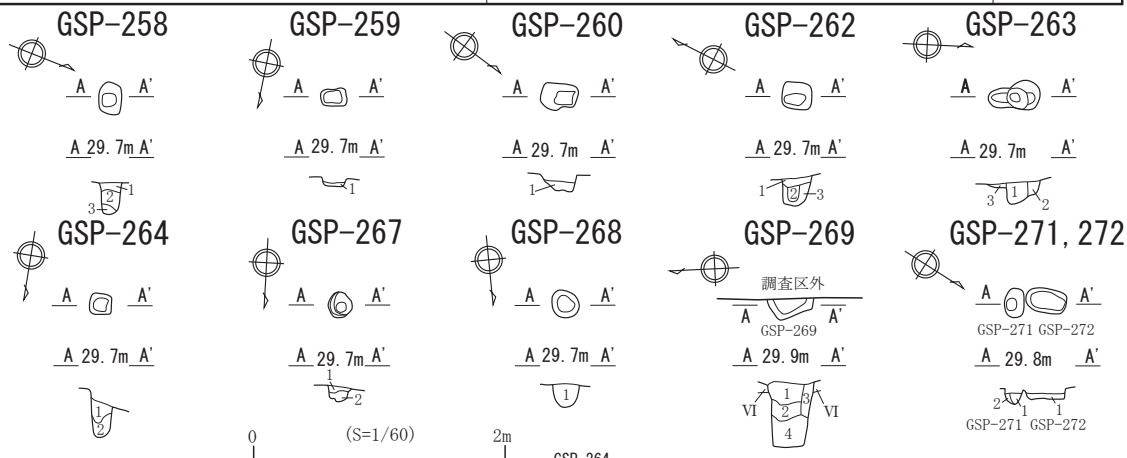
GSP-399
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

GSP-401
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50～80mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～6mm)少量

GSP-406
第1層　10YR4/3　にぶい黄褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量

第259図　川原館遺跡Ｇ区SPう（３）





GSP-258
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　7.5YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-259
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-260
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-262
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、粘土粒(φ20mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量

GSP-263
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～20mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

GSP-264
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

GSP-267
第1層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層

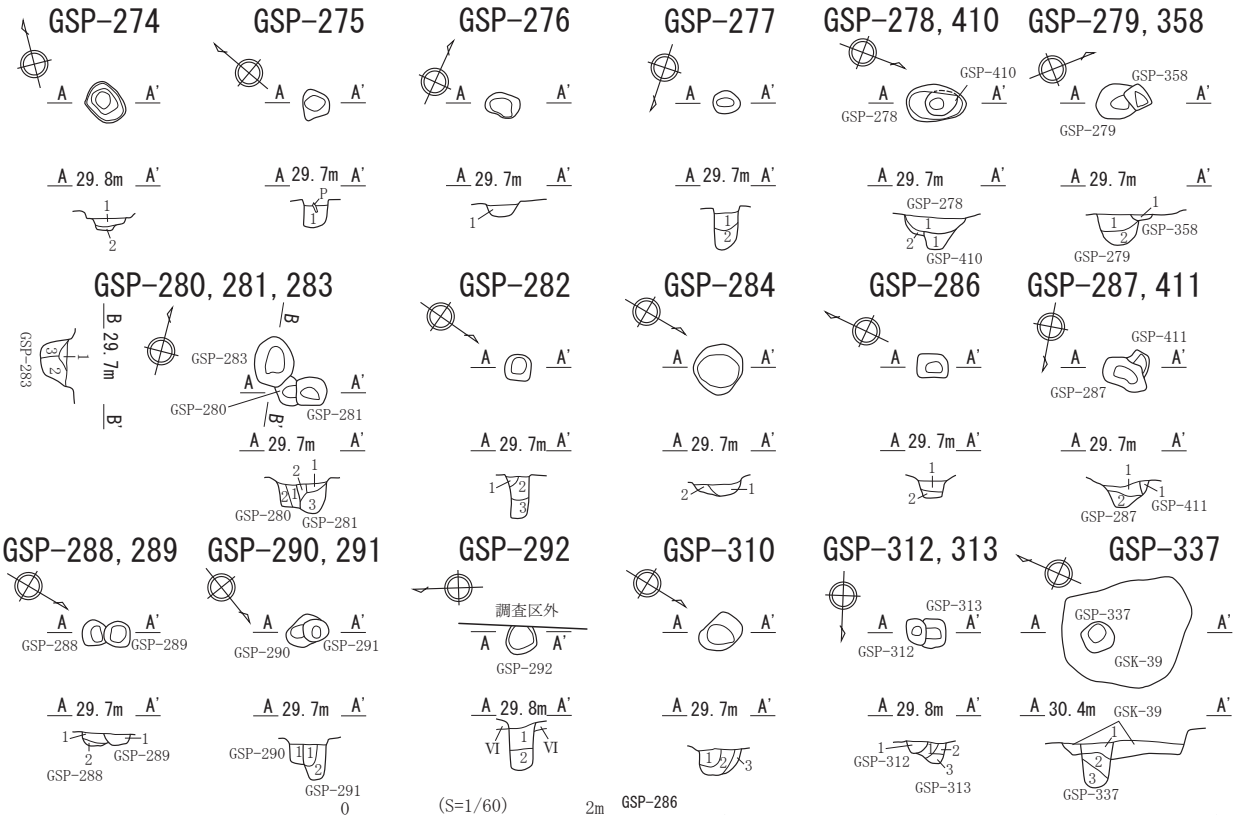
GSP-268
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量

GSP-269
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

GSP-271
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、火山灰(φ100mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

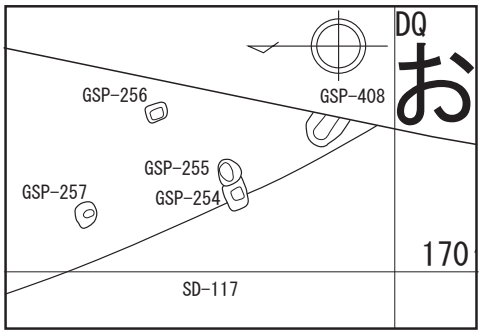
GSP-272
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量

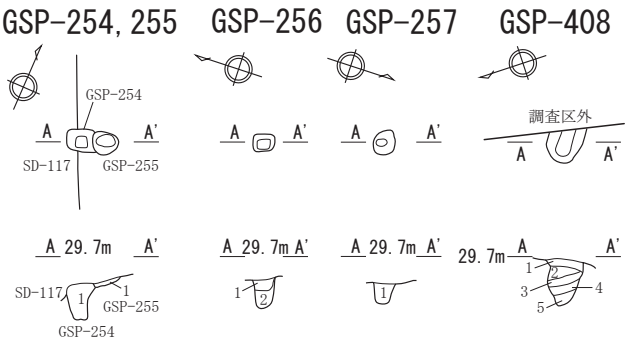
第260図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図え・え（１）



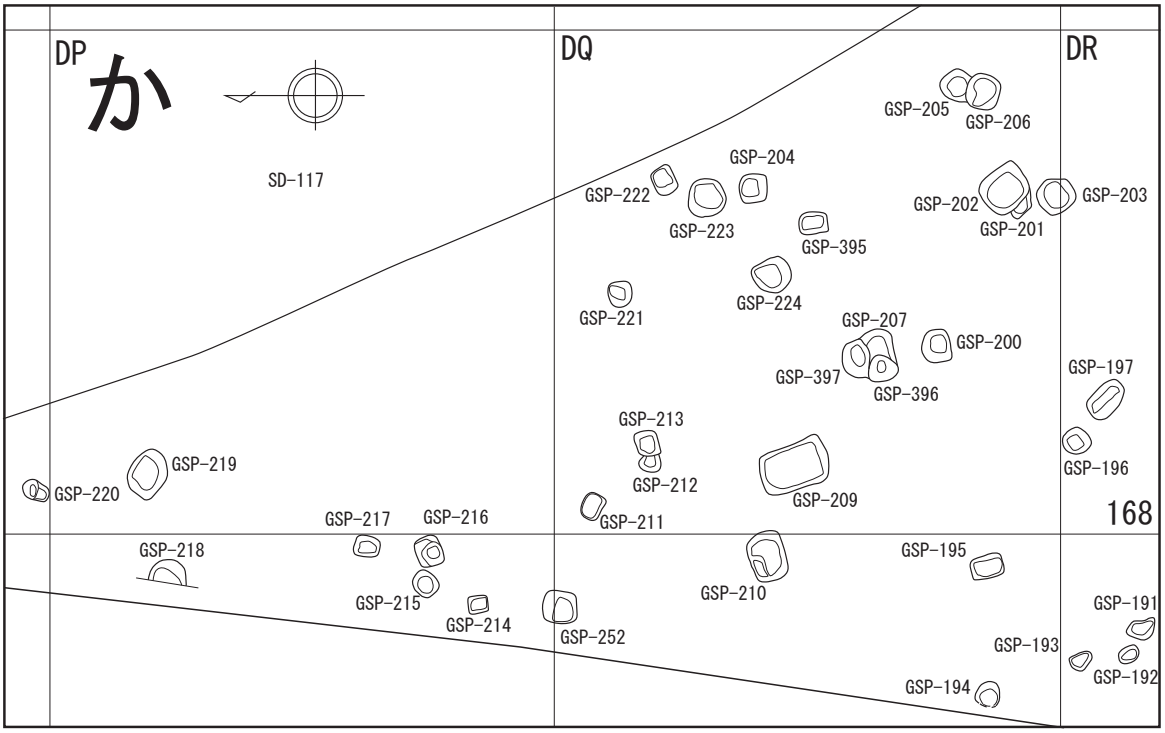
GSP-274
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-275
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-276
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-277
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-278
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
GSP-279
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ30～60mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-280
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30～60mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-281
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-282
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-283
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
GSP-284
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-286
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-287
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-288
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層
GSP-289
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-290
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-291
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)少量、粘土粒(φ20mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-292
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-310
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～40mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-312
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-313
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-337
第1層　10YR4/2　灰黄褐色　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量
GSP-358
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-410
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ50～80mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-411
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量

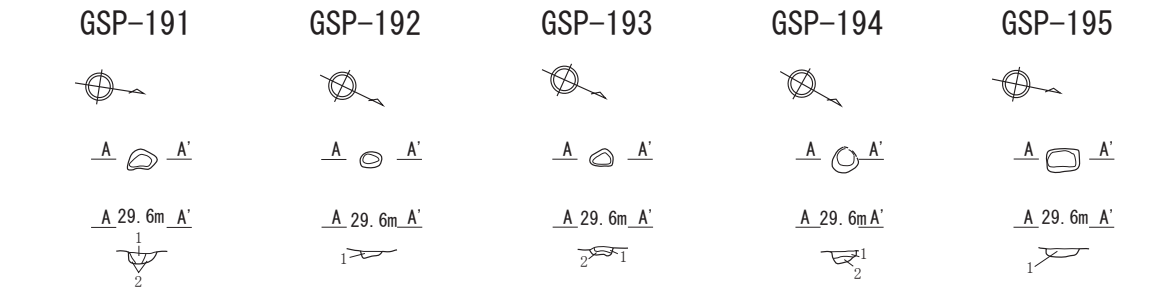
第261図　川原館遺跡Ｇ区SPえ（２）



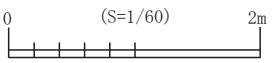


GSP-254
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-255
第1層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-256
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-257
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-408
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～9mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量、灰(10YR7/1灰白色)少量混入
第3層　10YR4/1　褐灰色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、炭化粒(φ1～9mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、灰(10YR7/1灰白色)中量混入
第4層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量
第5層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量



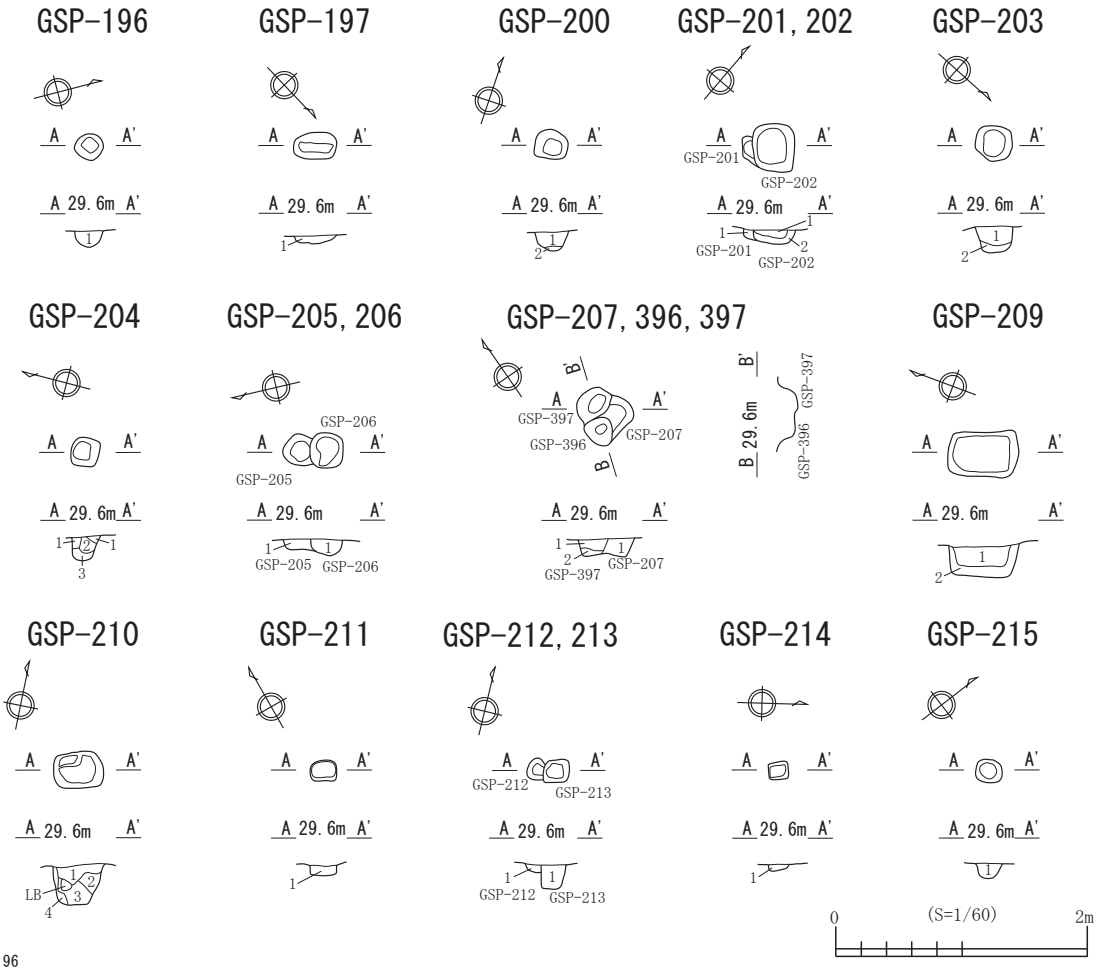


GSP-191
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
GSP-192
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-193
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層



GSP-194
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
GSP-195
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40～60mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

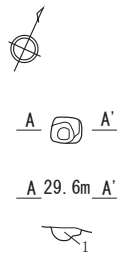
第262図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図お・か（１）



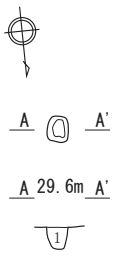
GSP-196
第1層　10YR4/2　灰黄褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-197
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層　炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-200
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層
GSP-201
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-202
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-203
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-204
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-205
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-206
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-207
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量
GSP-209
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-210
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)中量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～6mm)中量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-211
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
GSP-212
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-213
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-214
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-215
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-397
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～5mm)少量

第263図　川原館遺跡Ｇ区SPか（２）

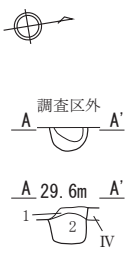
GSP-216



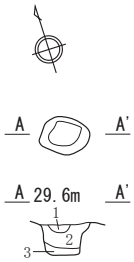
GSP-217



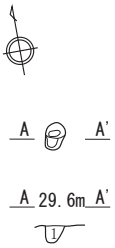
GSP-218



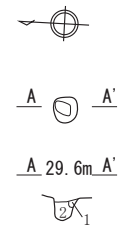
GSP-219



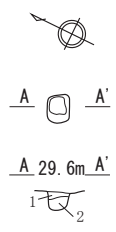
GSP-220



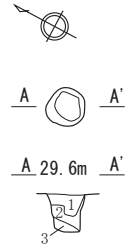
GSP-221



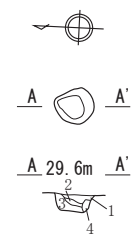
GSP-222



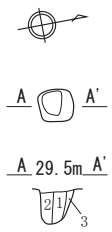
GSP-223



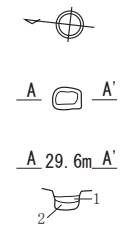
GSP-224

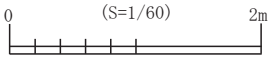


GSP-252



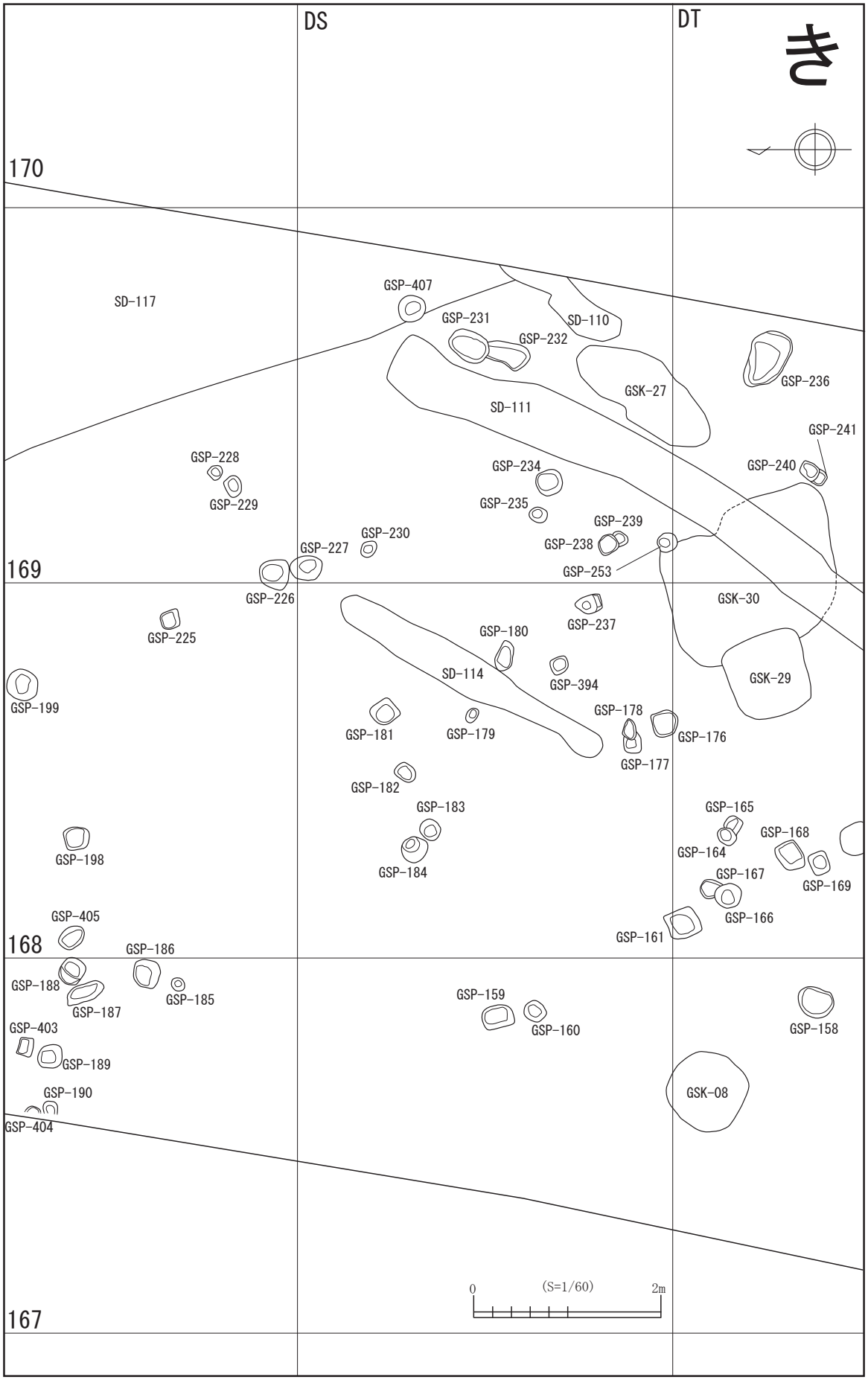
GSP-395



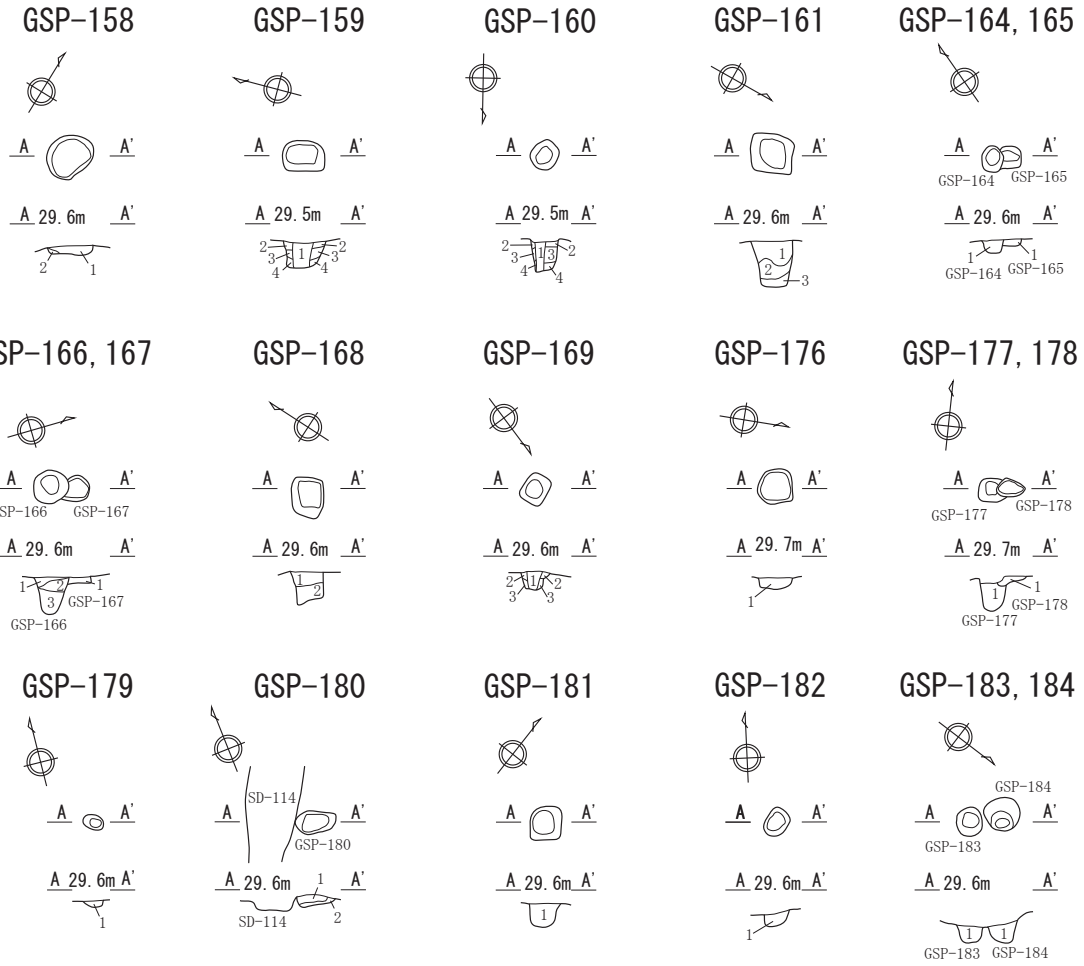


GSP-216
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ60mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
GSP-217
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、火山灰(φ10～40mm)少量
GSP-218
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)微量
GSP-219
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)多量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-220
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-221
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-222
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-223
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～70mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　7.5YR3/3 暗褐色土と7.5YR4/6褐色ロームの混合層
GSP-224
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第4層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/6褐色ロームの混合層
GSP-252
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～6mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-395
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

第264図　川原館遺跡Ｇ区SPか（３）

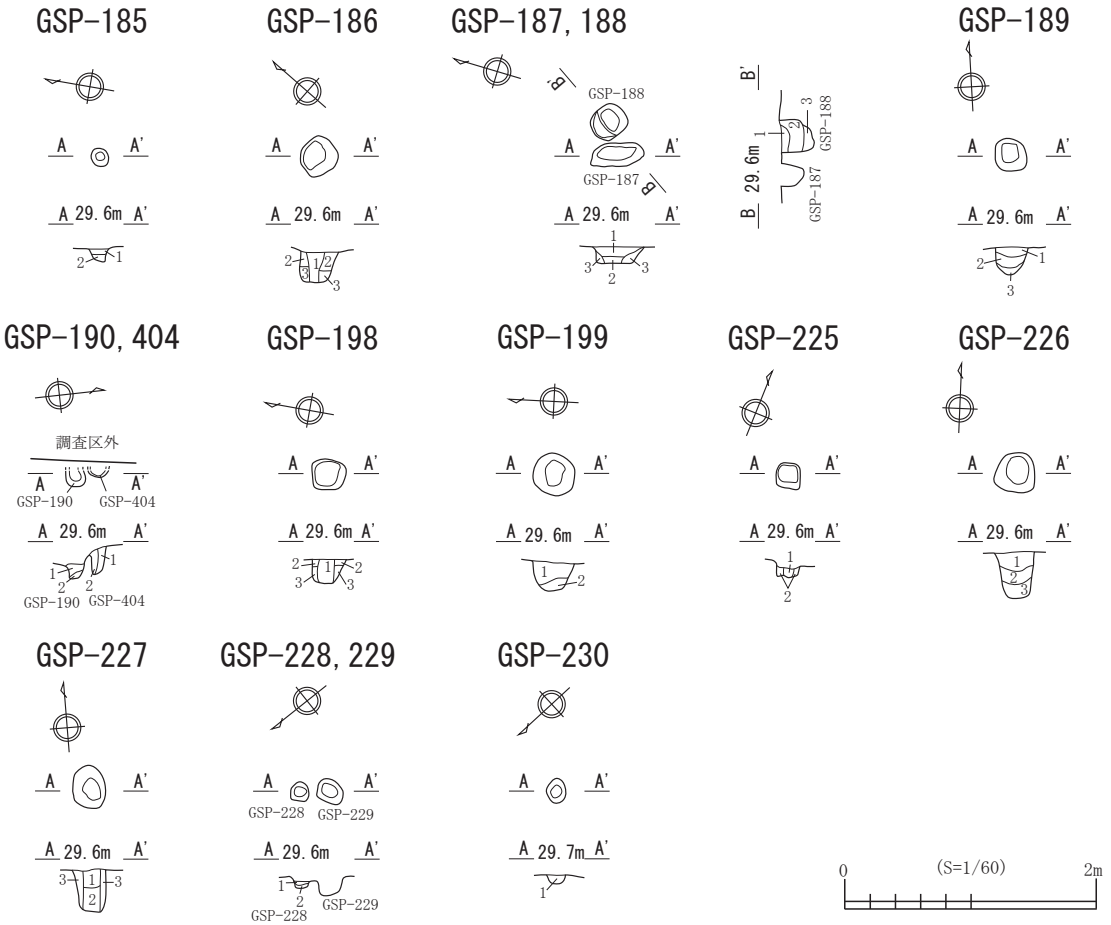


第265図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図き



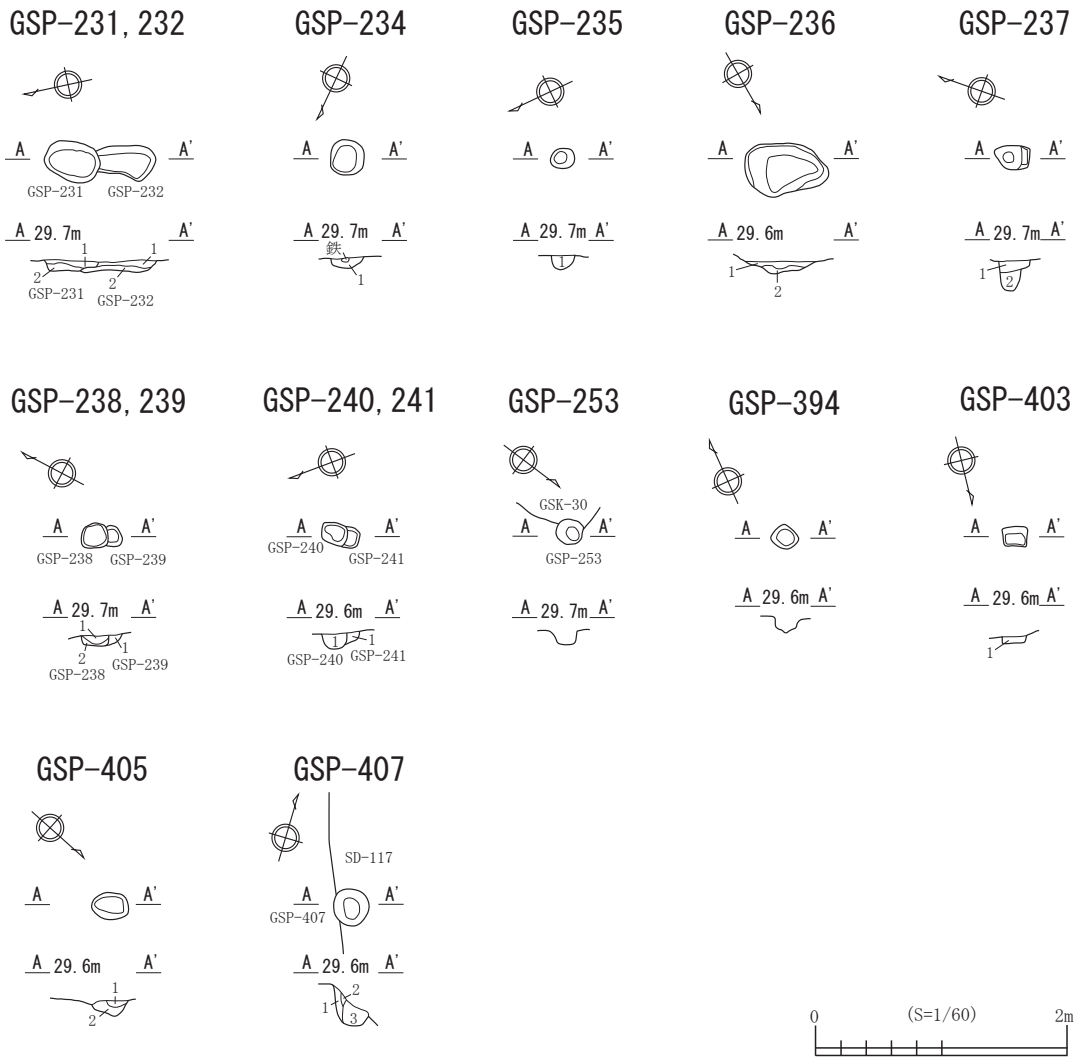
GSP-158
第1層　5YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR6/6　明黄褐色土と7.5YR3/4暗褐色土の混合層
GSP-159
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第4層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-160
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-161
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-164
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-165
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-166
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-167
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-168
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-169
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-176
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-177
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-178
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-179
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-180
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-181
第1層　10YR2/1　黒色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、灰(φ1～20mm)少量
GSP-182
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-183
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-184
第1層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量

第266図　川原館遺跡Ｇ区SPき（１）



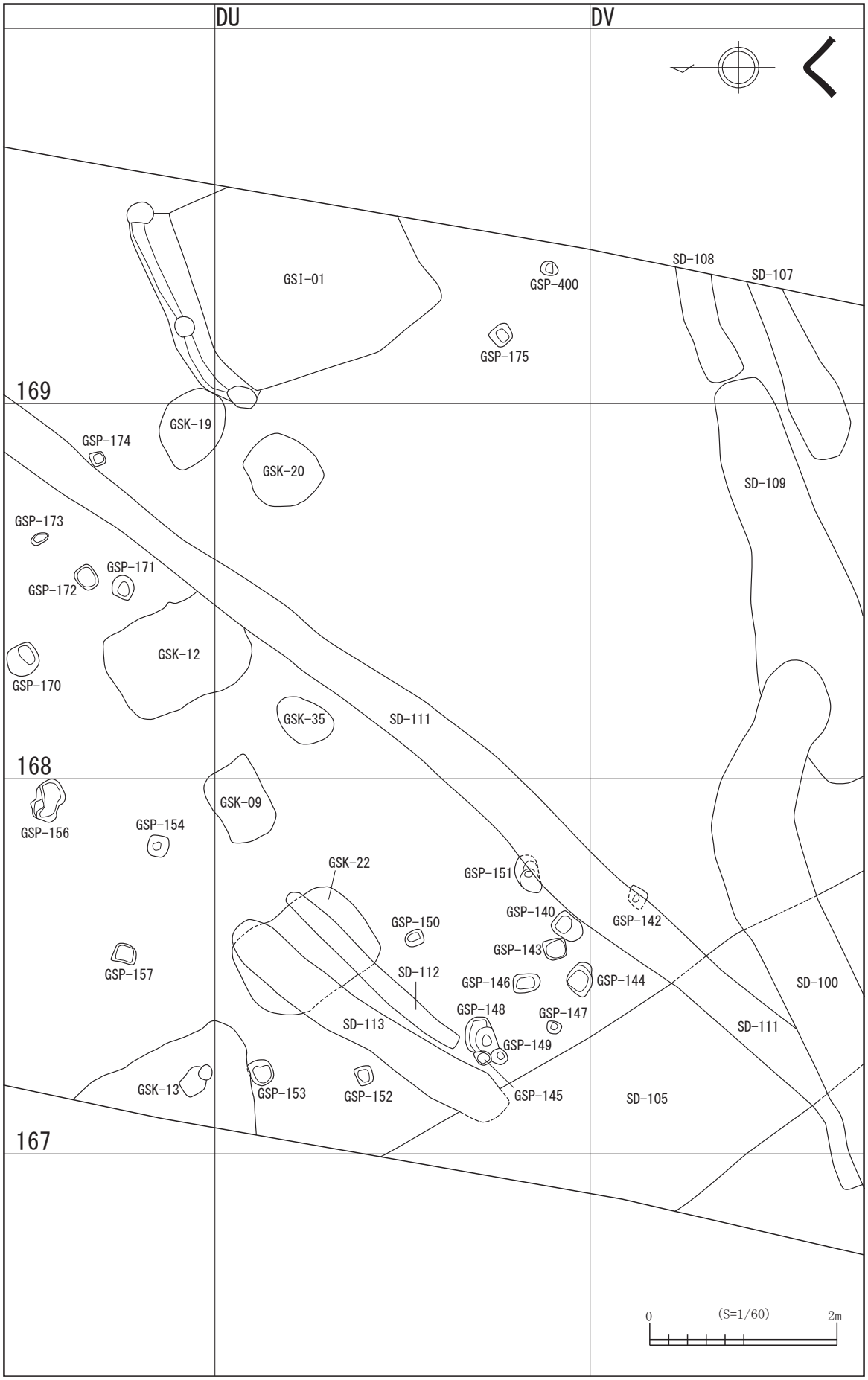
GSP-185
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-186
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-187
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-188
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-189
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-190
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-198
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、礫(φ5～10mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-199
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量、礫(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-225
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-226
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)少量
GSP-227
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、火山灰(φ50mm)中量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-228
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-230
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30～40mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-404
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量

第267図　川原館遺跡Ｇ区SPき（２）

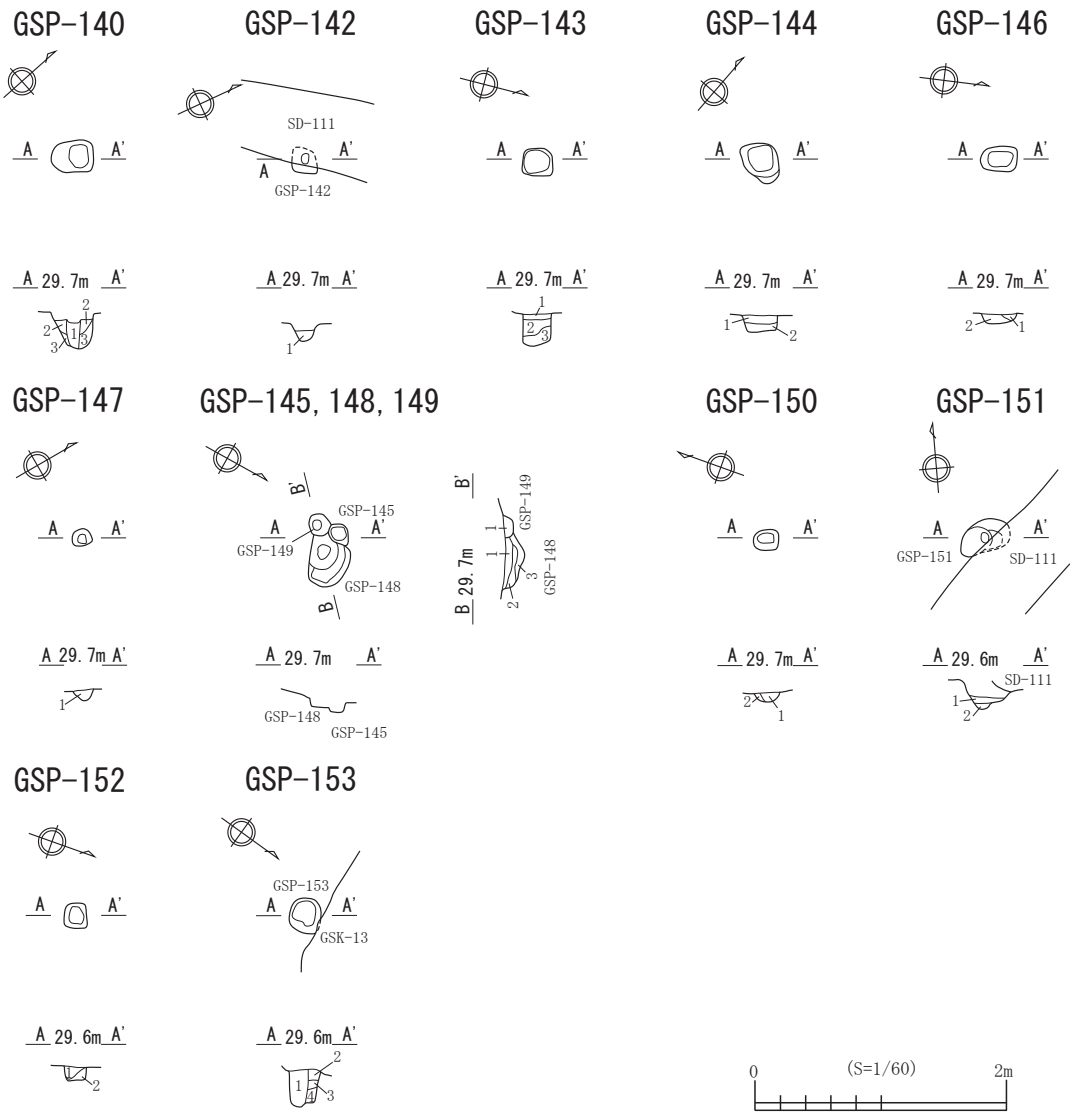


GSP-231
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
GSP-232
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-234
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-235
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
GSP-236
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
GSP-237
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-238
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
GSP-239
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-240
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、粘土粒(φ10mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-241
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-403
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50～60mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～6mm)少量
GSP-405
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40～60mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-407
第1層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～2mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～2mm)微量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)中量、ロームブロック(φ10～15mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量

第268図　川原館遺跡Ｇ区SPき（３）

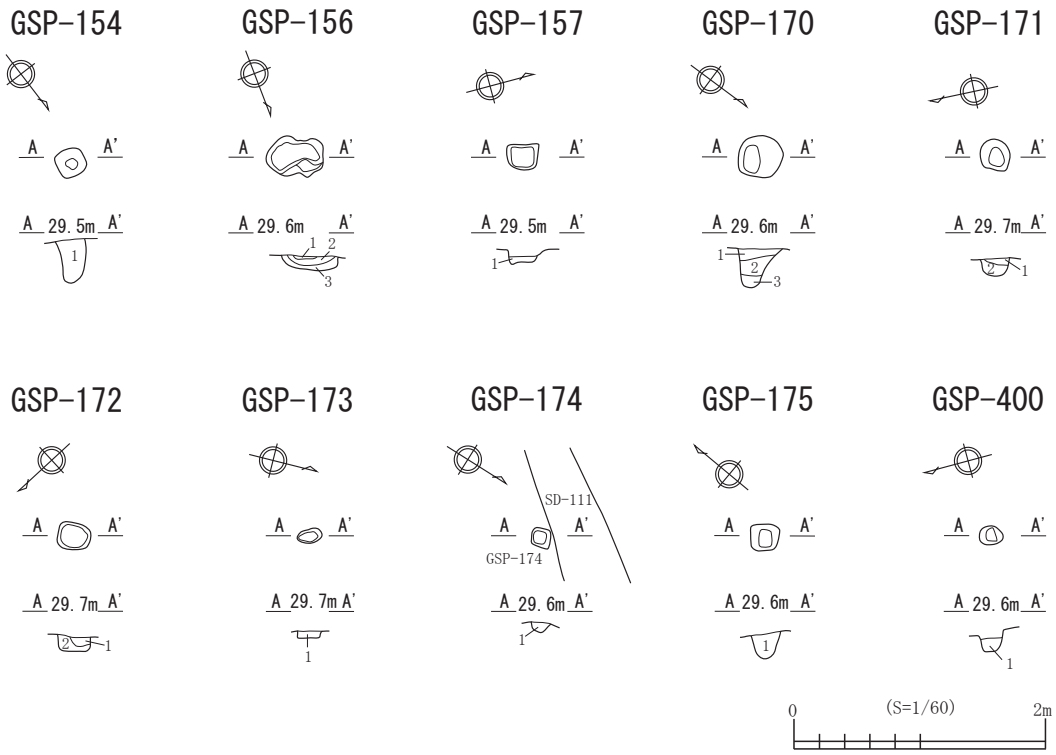


第269図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図く



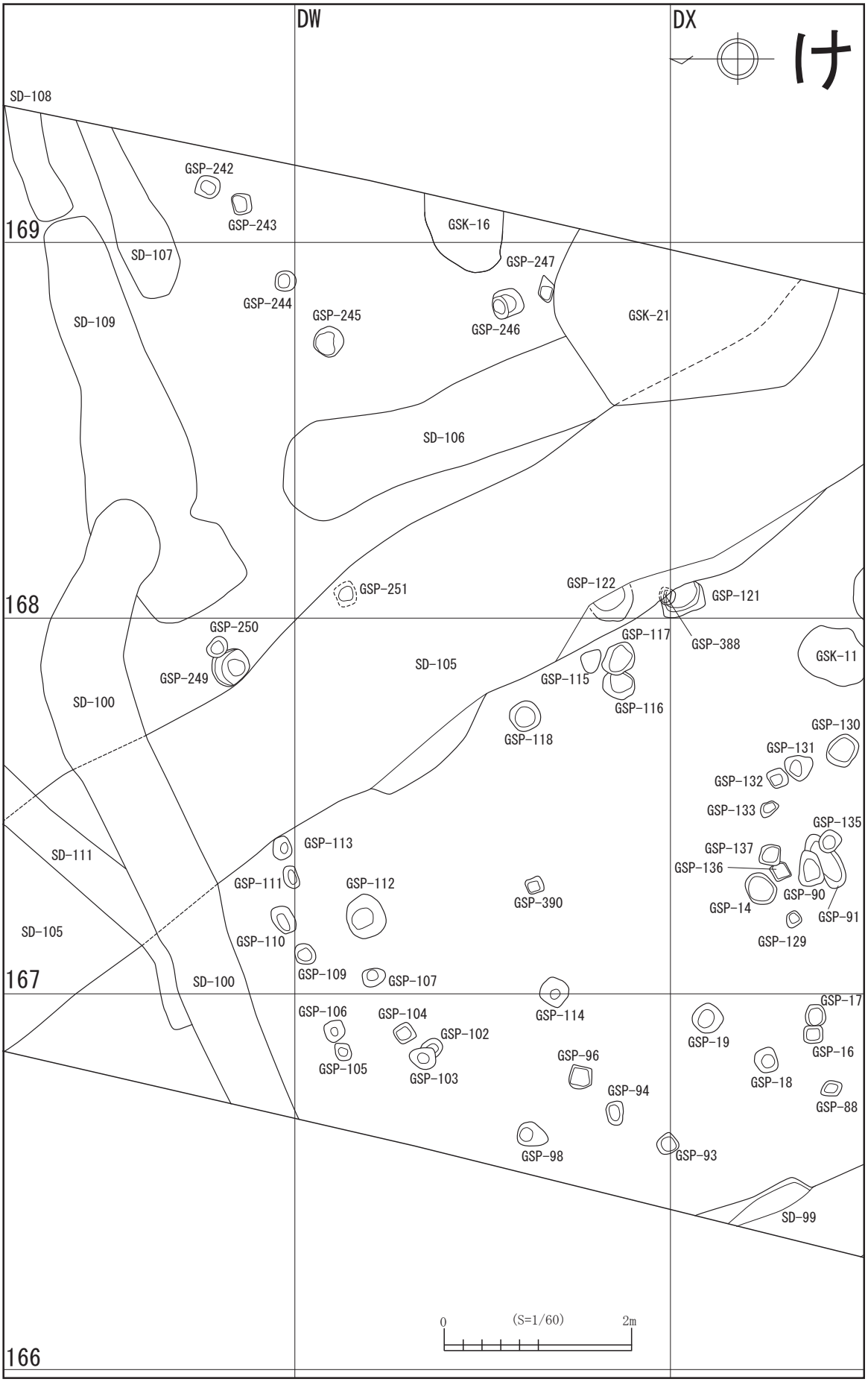
GSP-140
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-142
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～40mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-143
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ50mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-144
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)微量
GSP-146
第1層　10YR4/3　暗褐色土と10YR2/3黒褐色土の混合層　酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-147
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-148
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-149
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-150
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR6/6　明黄褐色土と10YR3/3暗褐色土の混合層
GSP-151
第1層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-152
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～8mm)微量
GSP-153
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、焼土ブロック(φ80mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第4層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

第270図　川原館遺跡Ｇ区SPく（１）

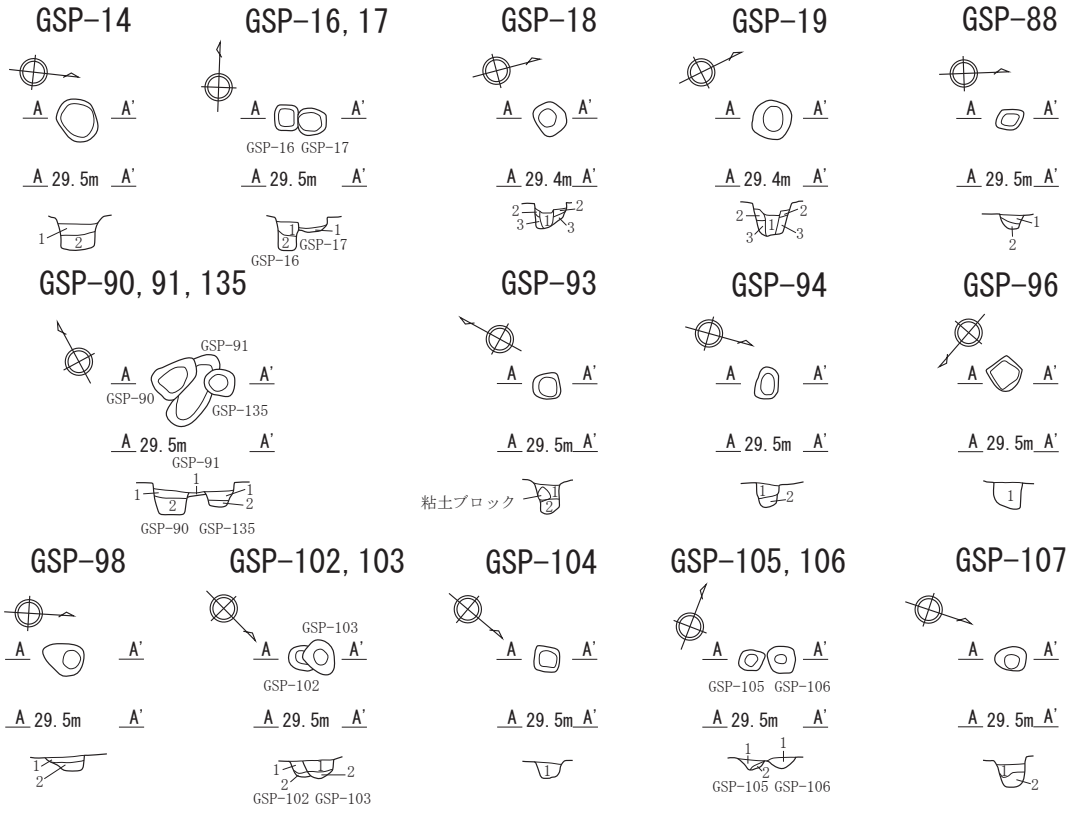


GSP-154
第1層　7.5YR2/2 黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～15mm)少量、酸化鉄(φ1～15mm)少量
GSP-156
第1層　5YR3/2　暗赤褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、焼土粒(φ1～20mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　5YR4/1　褐灰色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-157
第1層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-170
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ2～8mm)少量
第3層　10YR3/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土ロームの混合層
GSP-171
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
GSP-172
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-173
第1層　10YR2/2　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-174
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-175
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量、礫(φ5～20mm)少量
GSP-400
第1層　10YR2/3　黒褐色土　　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(30mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量

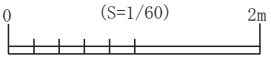
第271図　川原館遺跡Ｇ区SPく（２）



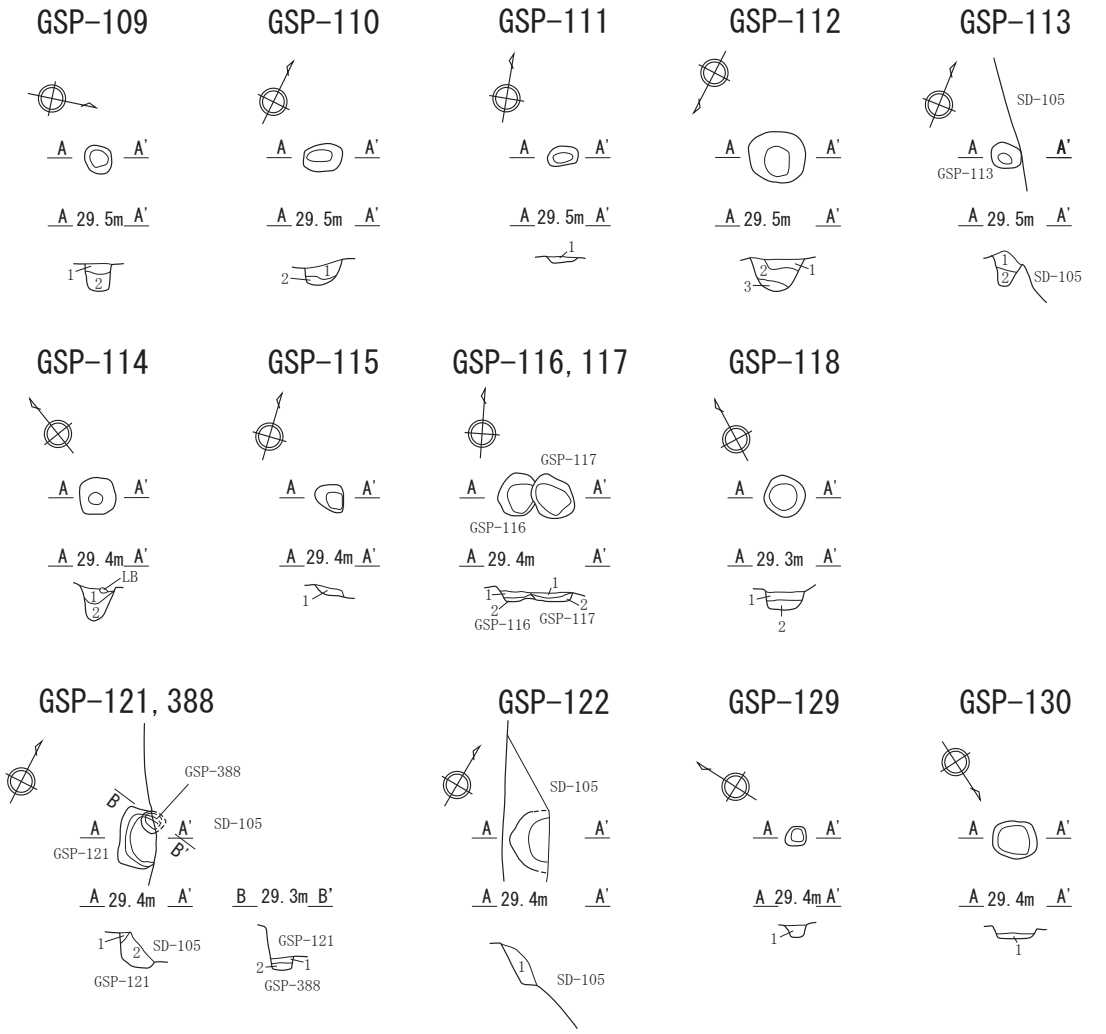
第272図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図け



GSP-14
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-16
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-17
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-18
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-19
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ2～8mm)少量、炭化粒(φ2～5mm)少量、酸化鉄(φ2～5mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-88
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30～40mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～60mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-90
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-91
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-93
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)中量、酸化鉄(φ1～6mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-94
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-96
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-98
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-102
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-103
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-104
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-105
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
GSP-106
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-107
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-135
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

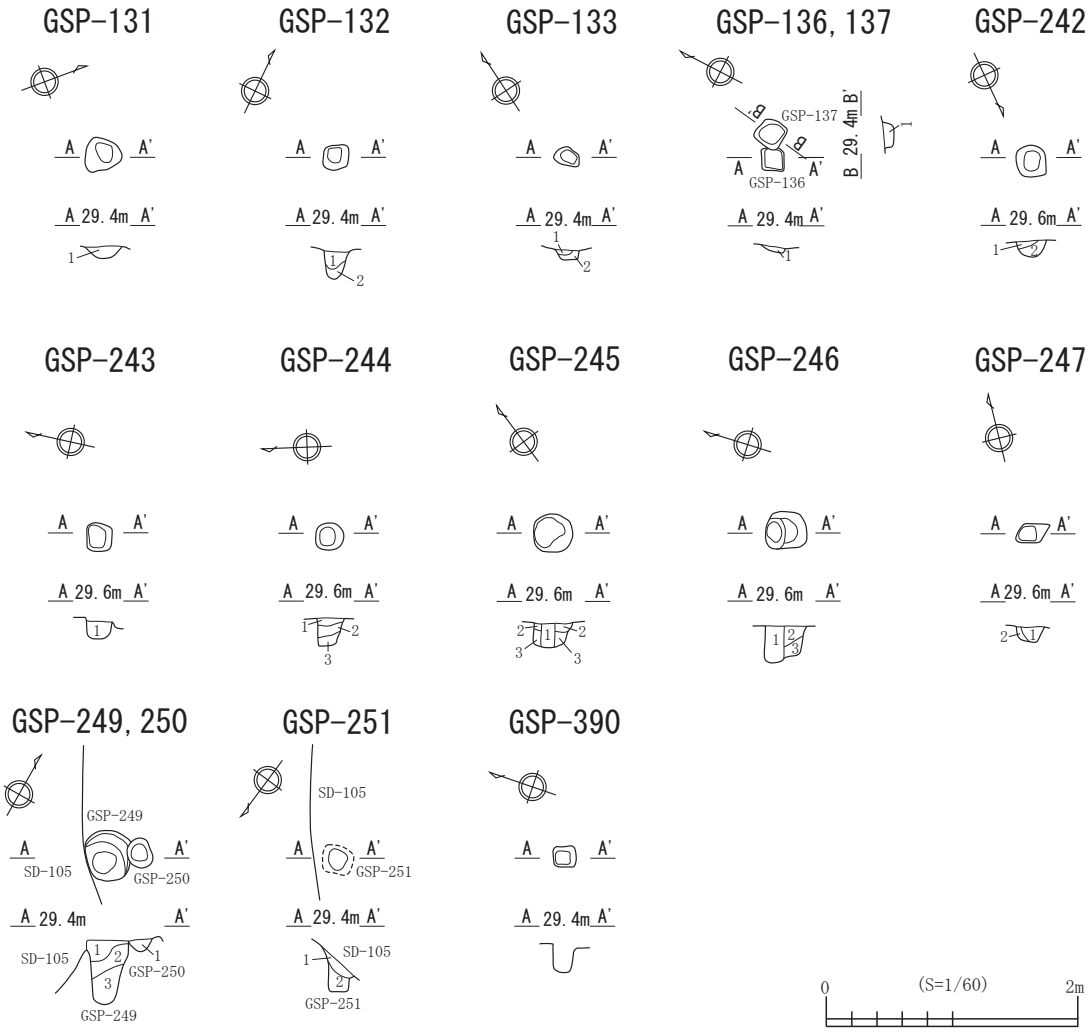


第273図　川原館遺跡Ｇ区SPけ（１）



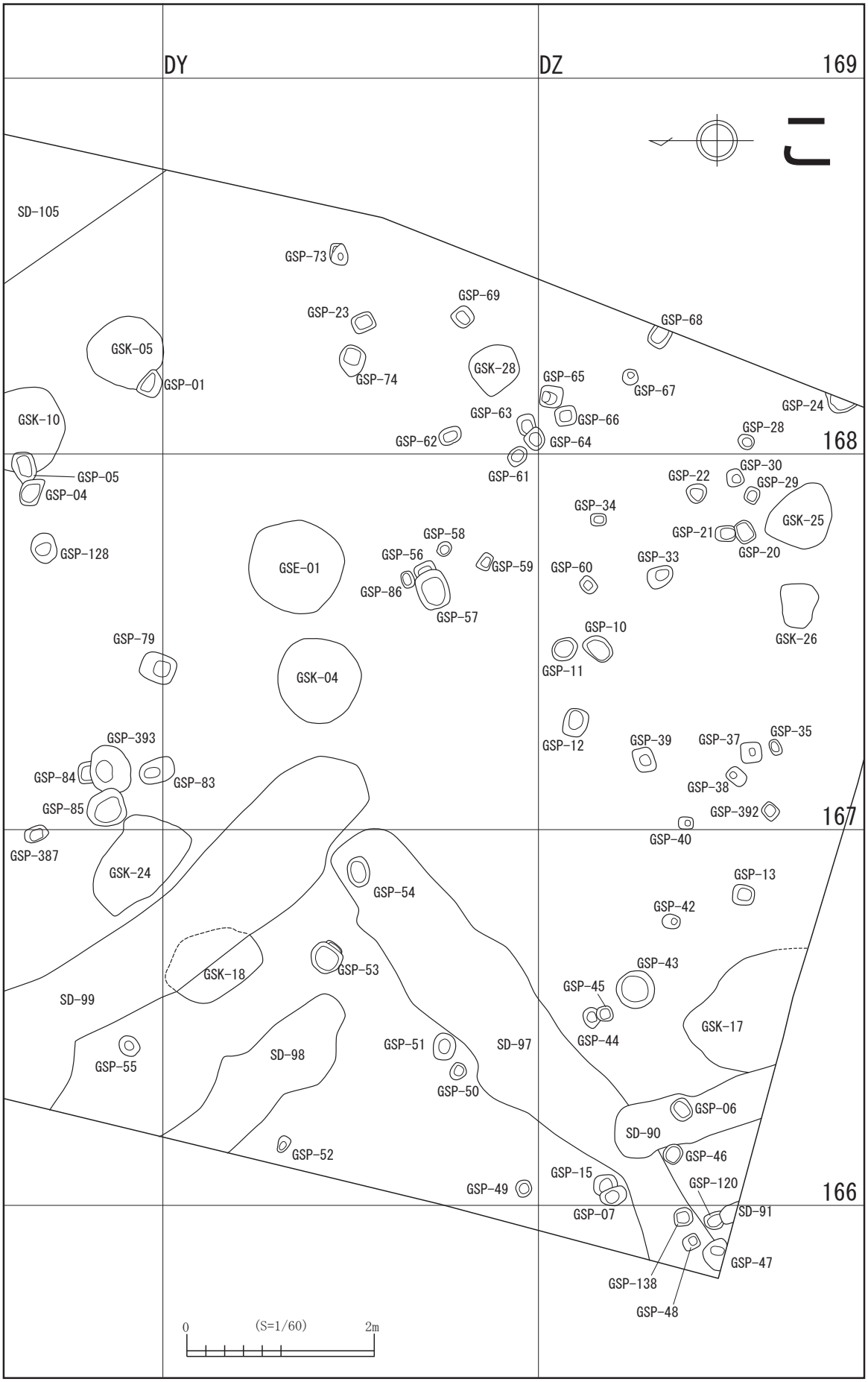
GSP-109
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-110
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-111
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-112
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ40～50mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-113
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-114
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ2～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
GSP-115
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
GSP-116
第1層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)微量、焼土粒(φ1～10mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色ロームの混合層
GSP-117
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
GSP-118
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-121
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-122
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～8mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、灰が地山から9cmのところに帯状(6cm)に混入
GSP-129
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-130
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-388
第1層　7.5YR2/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土と10YR6/6明黄褐色ロームの混合層

第274図　川原館遺跡Ｇ区SPけ（２）

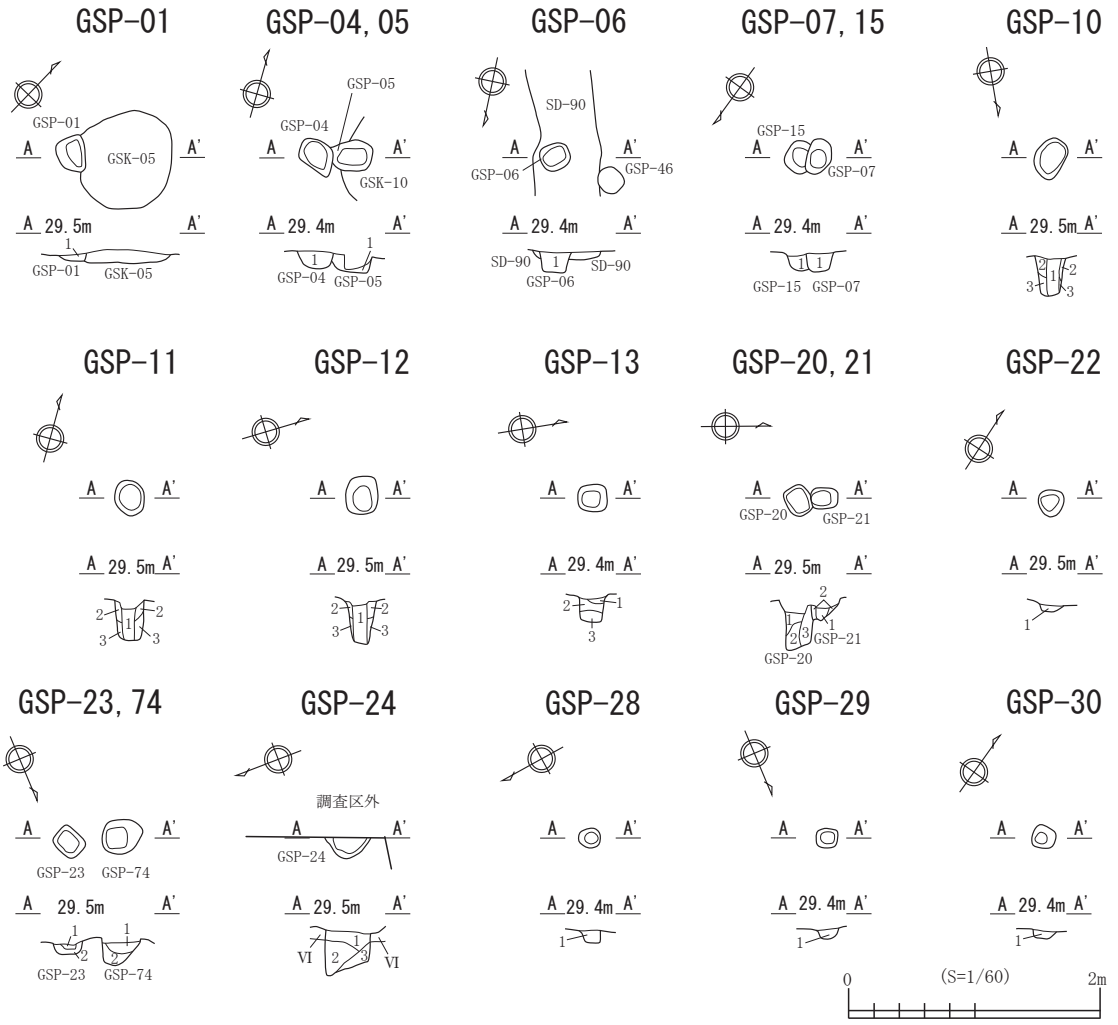


GSP-131
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-132
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-133
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-136
第1層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/4にぶい黄褐色ロームの混合層　酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-137
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
GSP-242
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR6/6明黄褐色ロームの混合層
GSP-243
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-244
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-245
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～50mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ50mm)中量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-246
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～9mm)少量
GSP-247
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-249
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-250
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-251
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

第275図　川原館遺跡Ｇ区SPけ（３）

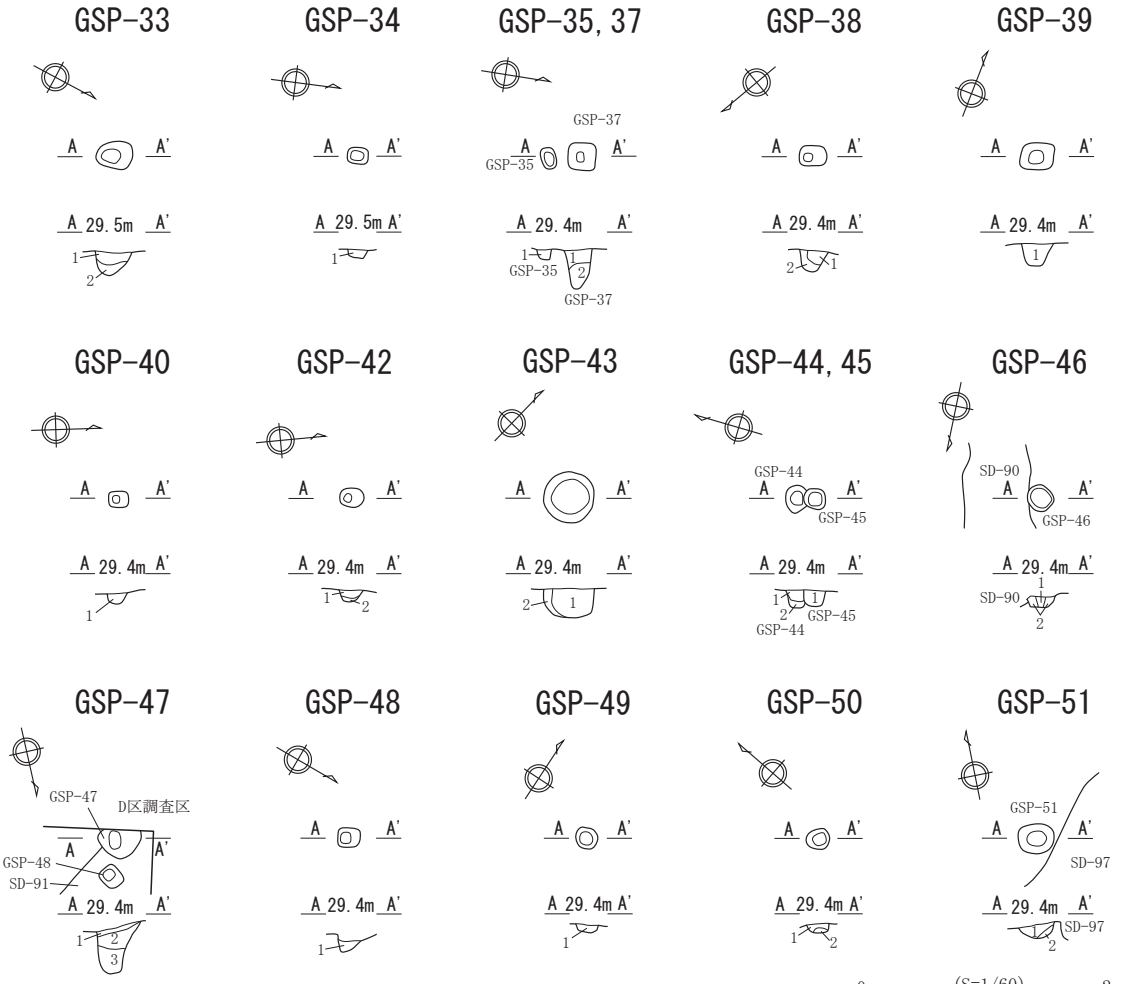


第276図　川原館遺跡Ｇ区SP区分図こ



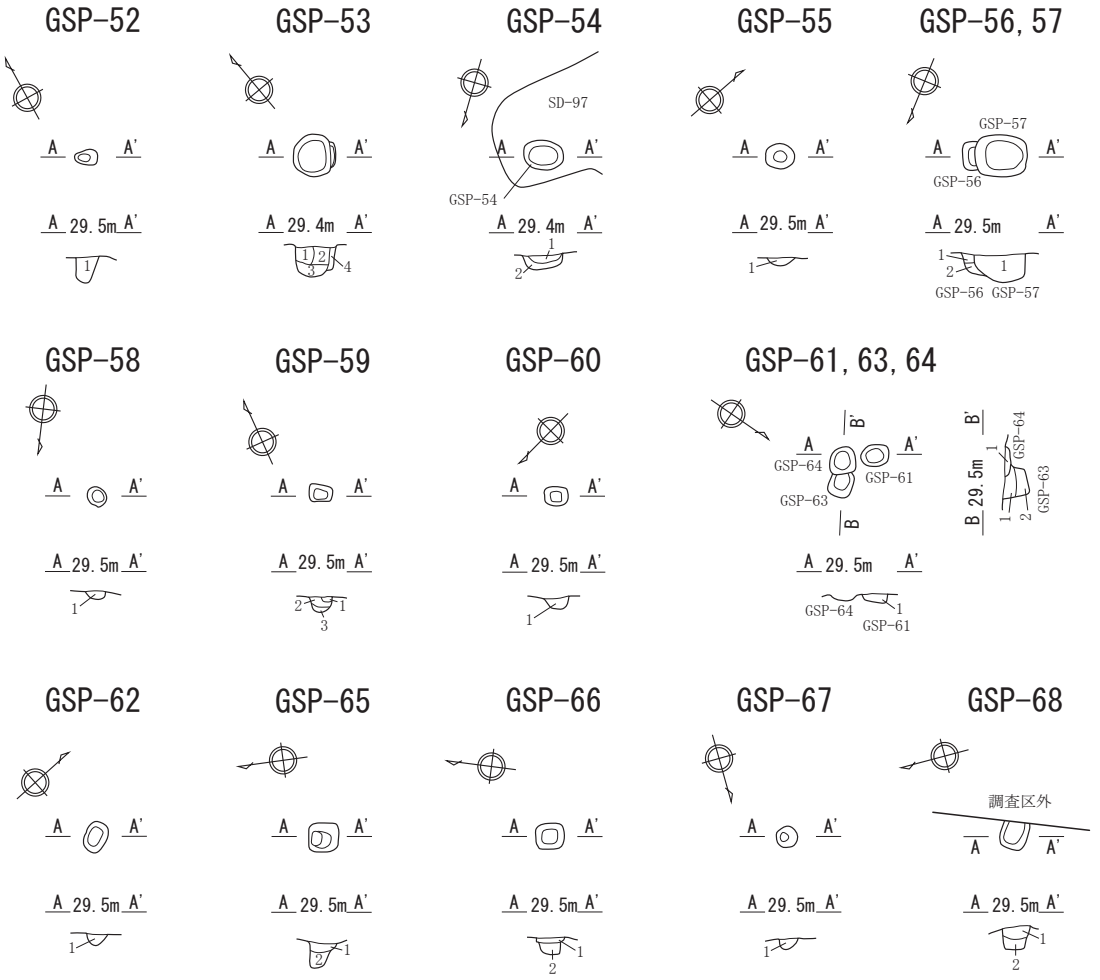
GSP-01
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒（φ1～8mm）少量
GSP-04
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)少量、ロームブロック(φ10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～5mm)微量
GSP-05
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～9mm)中量、ロームブロック(φ10～30mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)微量、焼土粒(φ1～2mm)微量
GSP-06
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ10～30mm)微量
GSP-07
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～3mm)微量、焼土粒(φ3mm)微量
GSP-10
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-11
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-12
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
第3層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-13
第1層　5YR5/3　にぶい赤褐色焼土と7.5YR3/3暗褐色土の混合層　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(1～8mm)少量
第2層　7.5YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、焼土粒(φ1～10mm)中量
第3層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-15
第1層　10YR3/4　暗褐色土
GSP-20
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-21
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR5/4　にぶい黄褐色土と10YR2/2黒褐色土の混合層
GSP-22
第1層　10YR4/6　褐色土
GSP-23
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
GSP-24
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ50mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
GSP-28
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-29
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-30
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-74
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量

第277図　川原館遺跡Ｇ区SPこ（１）



GSP-33
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-34
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量
GSP-35
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-37
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-38
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)微量
GSP-39
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-40
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-42
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR5/6黄褐色土の混合層
GSP-43
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、礫(φ50mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20mm)少量
GSP-44
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量
GSP-45
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量
GSP-46
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)中量
GSP-47
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　7.5YR3/1 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
第3層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-48
第1層　7.5YR3/2 黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄全体的に多く含む
GSP-49
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～10mm)微量
GSP-50
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/3　暗褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-51
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層

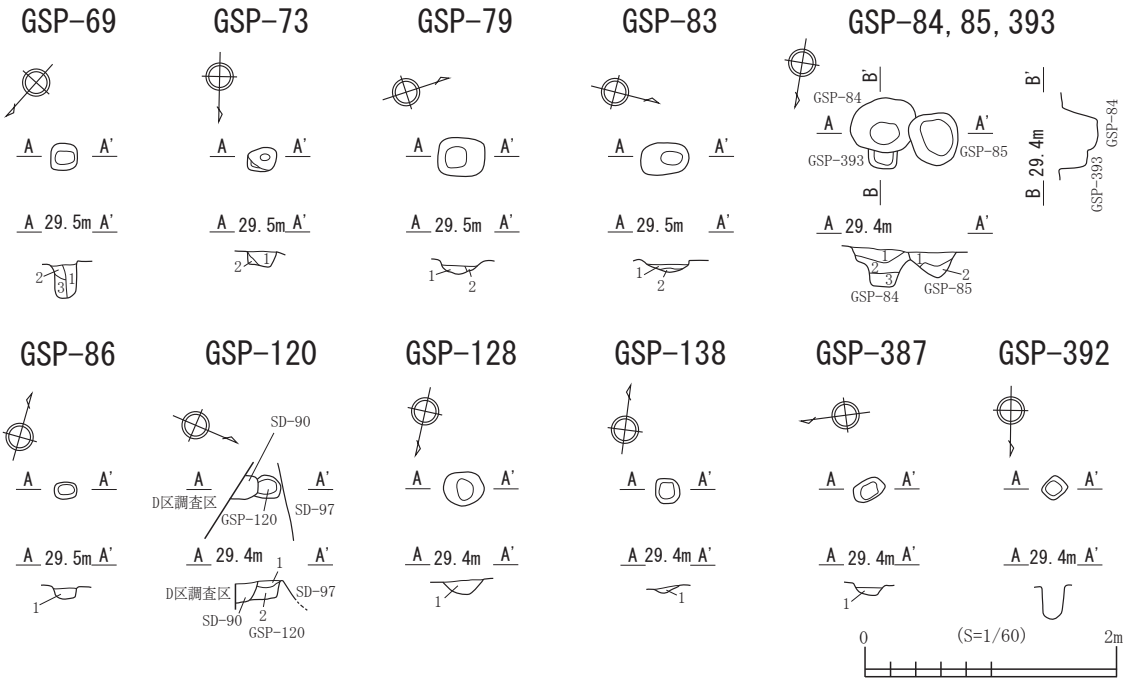
第278図　川原館遺跡Ｇ区SPこ（２）



GSP-52
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-53
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量、礫(φ20mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)微量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、焼土粒(φ1～8mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)多量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第4層　10YR3/4　暗褐色土と10YR5/3にぶい黄褐色土の混合層
GSP-54
第1層　10YR2/2　黒色土　　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR5/6黄褐色ロームの混合層
GSP-55
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-56
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-57
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)微量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-58
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-59
第1層　10YR3/1　黒褐色土と10YR4/4褐色ロームの混合層
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-60
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-61
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)中量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-62
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量
GSP-63
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-64
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-65
第1層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～3mm)微量
GSP-66
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)中量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-67
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-68
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、炭化粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/1　黒色土　　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量

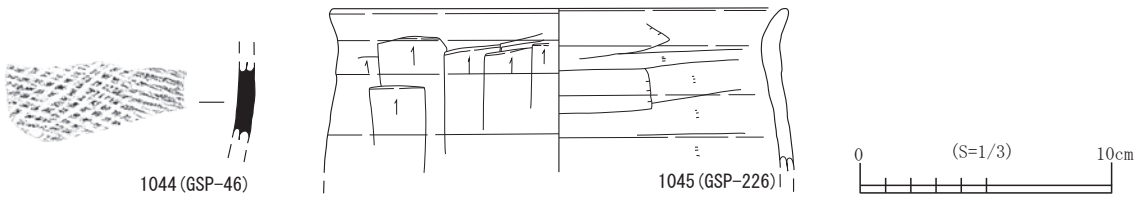
0　(S=1/60)　2m

第279図　川原館遺跡Ｇ区SPこ（３）



GSP-69
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
　　酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、ロームブロック(φ30mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-73
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSO-79
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-83
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、ロームブロック(φ20～30mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR3/4　暗褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色土の混合層
　　酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-84
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ40mm)少量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/3　黒褐色土と10YR4/3にぶい黄褐色ロームの混合層
　　酸化鉄(φ1～8mm)少量
第3層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、ロームブロック(φ20～40mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)少量
GSP-85
第1層　10YR3/1　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)中量、ロームブロック(φ30～50mm)少量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ50mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-86
第1層　10YR3/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～8mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)微量
GSP-120
第1層　10YR2/3　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
第2層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、ロームブロック(φ40mm)微量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～8mm)少量
GSP-128
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)中量、炭化粒(φ1～5mm)少量、酸化鉄(φ1～5mm)少量
GSP-138
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～10mm)少量、酸化鉄(φ1～10mm)中量
GSP-387
第1層　10YR2/2　黒褐色土　ローム粒(φ1～5mm)少量、炭化粒(φ1～3mm)微量、酸化鉄(φ1～5mm)少量、火山灰(φ20mm)少量

第280図　川原館遺跡Ｇ区SPこ（４）



第281図　川原館遺跡Ｇ区出土土器SP

6．遺構外出土遺物

（1）土器

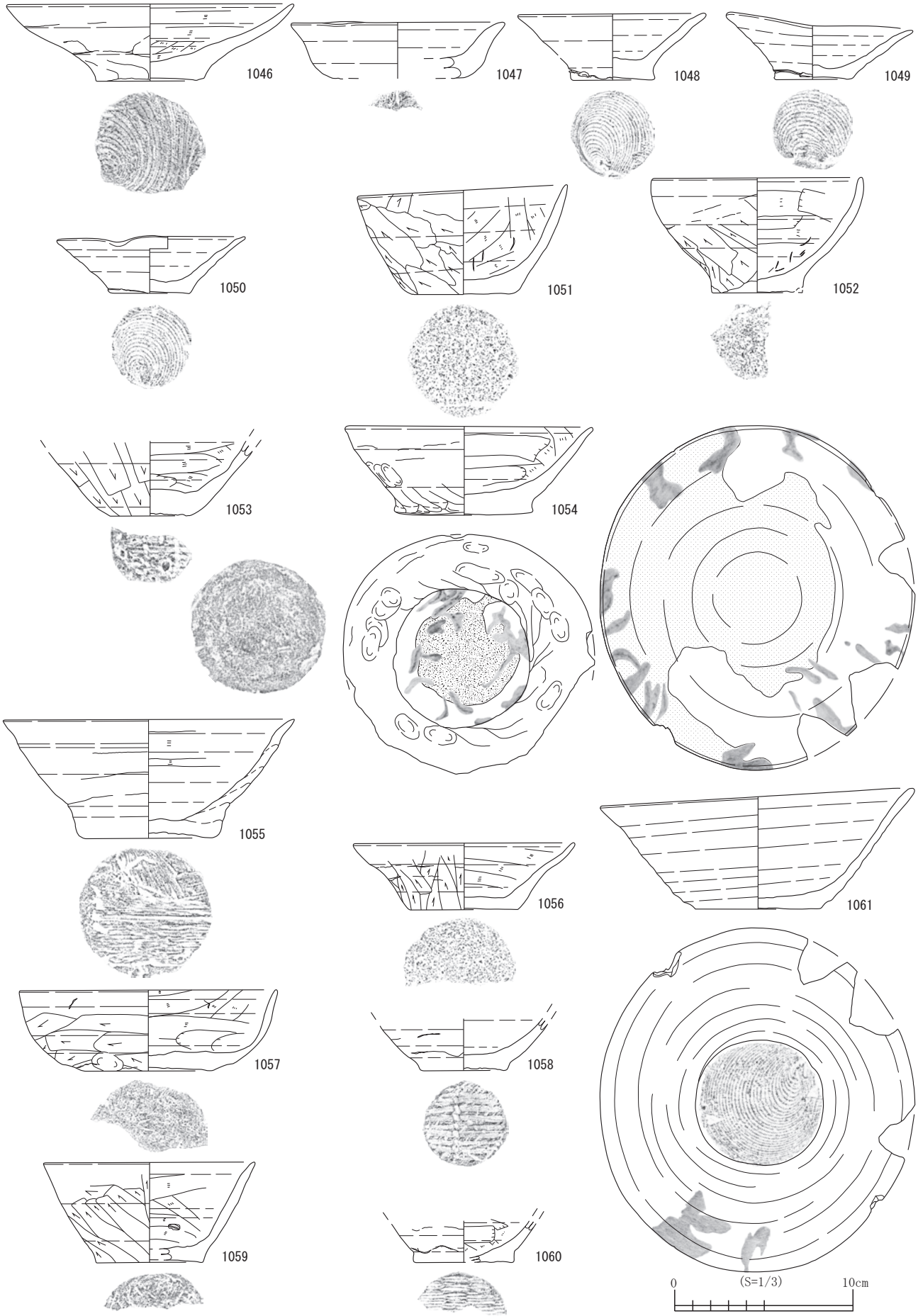
土師器皿２点、小坏３点、坏18点、甕12点、小甕４点、把手付土器１点、小壺１点、製塩土器１点、擦文土器４点、須恵器壺３点、甕11点、かわらけ１点、珠洲２点、常滑１点（第282～285図1046～1109）を図示した。皿は２点ともに非ロクロである。1046は口縁部～底部で、底部は太めの糸による静止糸切である。1047はやや厚めの器壁で、体部は丸みを帯び、口縁部がやや開く形状を呈する。1048～1050は小坏である。いずれもロクロ調整である。1048のみ底部が柱状高台を呈するが、３点とも法量や器形、底部切離が近似している。坏は18点のうち、非ロクロ10点（1051～1060）、ロクロ調整８点（1061～1068）である。非ロクロの底部は、1051・1052、1056砂底、1053、1058網代痕、1055木葉痕（笹葉）、1054、1057、1059ヘラナデ、ヘラケズリである。1052は柱状高台状の底部で、体部～口縁部へと丸みを帯びるように立ち上がる。1054・1055は非ロクロ坏の口縁部～底部で、底径が大きめであり、底部が柱状高台を呈し、木器の器形を模していると考えられる。1061、1063は大坏で、ロクロ調整が施されており、内面灯明痕が認められる。1066は坏の口縁部で、ロクロ調整が施されており、外面墨書が認められる。1068は坏の口縁部～底部で外面底部付近に刻書が認められる。甕は体部が丸みを帯び、口縁部が外反するものが多い。1070、1075はやや口縁部の屈曲の度合いが強い。1077は口縁部～体部までほぼ直線的で、口縁部と体部の境が不明である。1078は口縁部と体部の間がやや長く、コの字状に近いくびれを有する。1079・1080は甕の体部で、1079は内面にハケメ調整が施され、1080は外面にヘラ記号が認められる。1081～1084は小甕で、非ロクロ３点（1081～1083）、ロクロ調整１点（1084）である。1081は口縁部～体部までほぼ直線的な器形で、1083は体部から口縁部へとすぼまる形状を呈する。1082は中空となっており、小型の甑の可能性もあるが、粘土継ぎめで底部が剥落したものと考えられる。1084は体部が丸みを帯び、口縁部が緩やかに外反する。1085は把手付土器の把手である。1086は小壺で、体部にはヘラ記号が認められる。1087は製塩土器の体部である。1088～1091は擦文土器である。1088は口縁部に３条の横走沈線が認められ、その間には短沈線による充填文様が認められる。1089は口縁部～体部で、口縁部は強く屈曲しており、文様は横走沈線とハケメが認められる。1090はハケメ調整の後、沈線と刺突文が認められ、1091は横走沈線で区画された間に刻目によって文様が施されている。1092・1093は須恵器長頸壺、1094は広口壺である。1092の頸部と体部の間にはリング状凸帯が認められる。1095～1105は須恵器甕である。1106はかわらけの口縁部～底部でロクロ調整が施されている。1107は珠洲擂鉢の体部、1108は珠洲甕の体部である。1109は常滑壺の肩部である。

（2）土製品

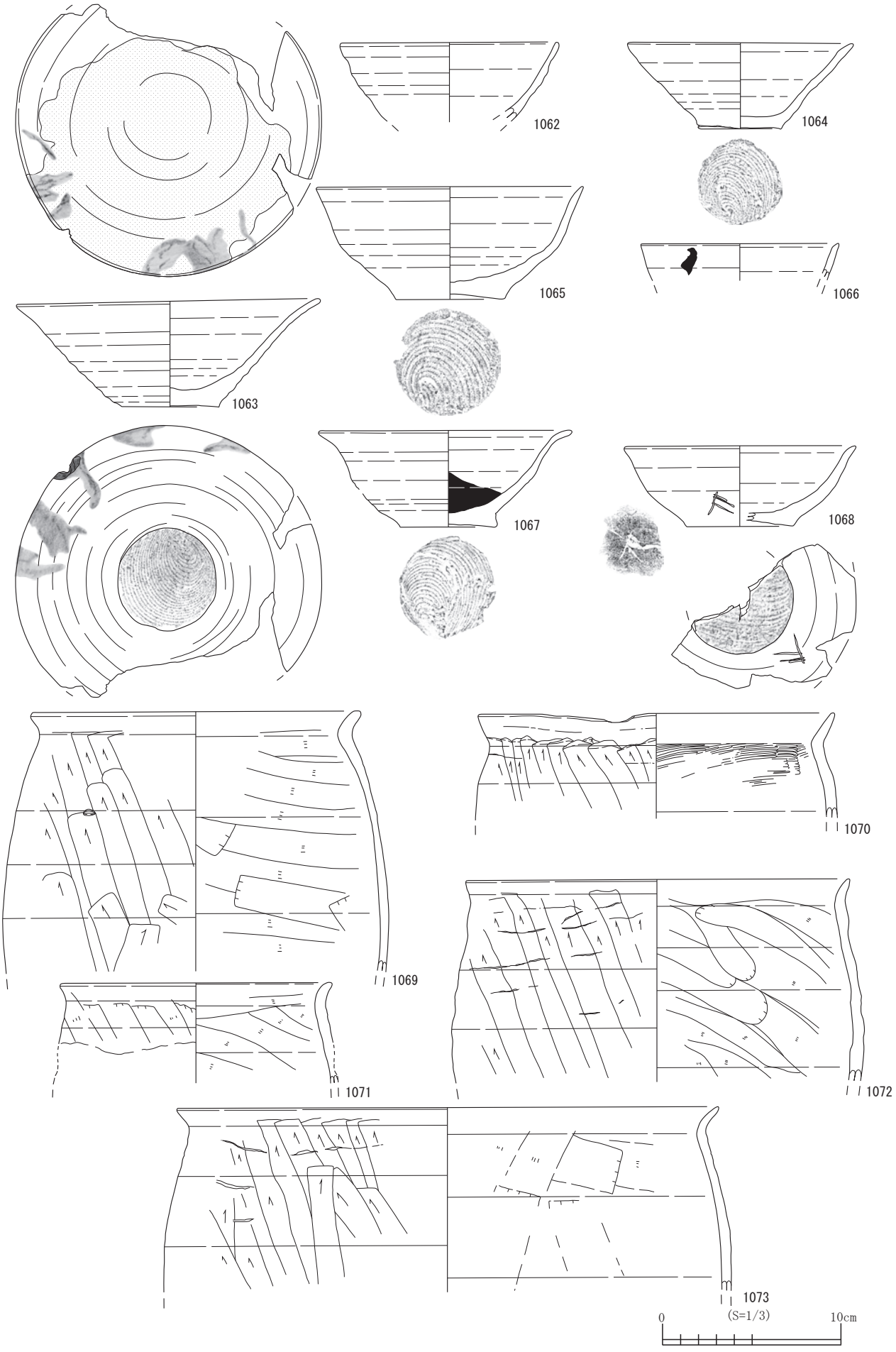
焼成粘土塊２点（第285図土23・24）を図示した。土23は平面不整形を呈し、表面ナデによって調整されている。土24は表面ナデが認められ、内面は湾曲している。

（3）鉄関連遺物

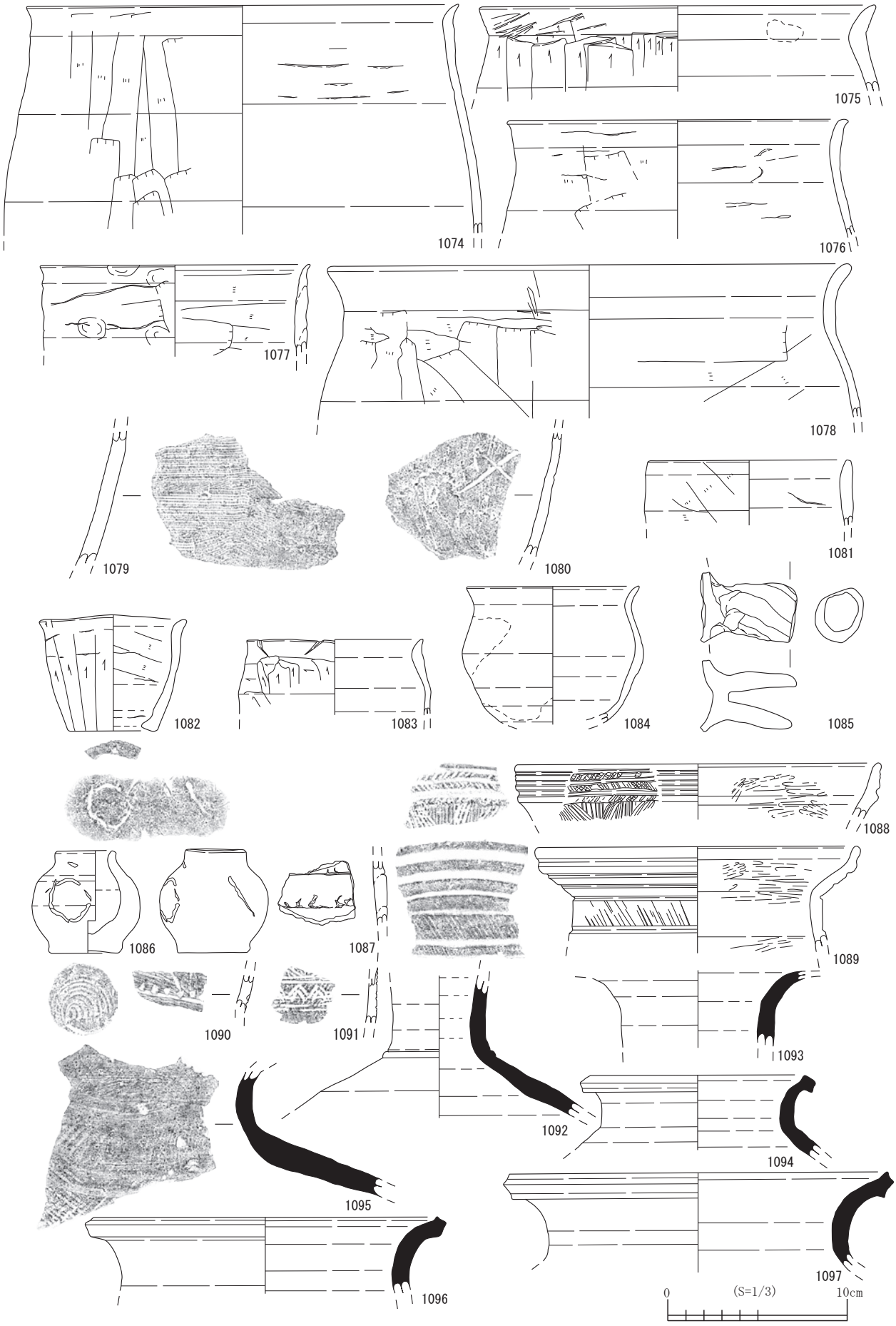
羽口２点（第285図鉄34・35）を図示した。鉄34は先端部、鉄35は体部の破片である。小片のため、外径、内径は不明である。



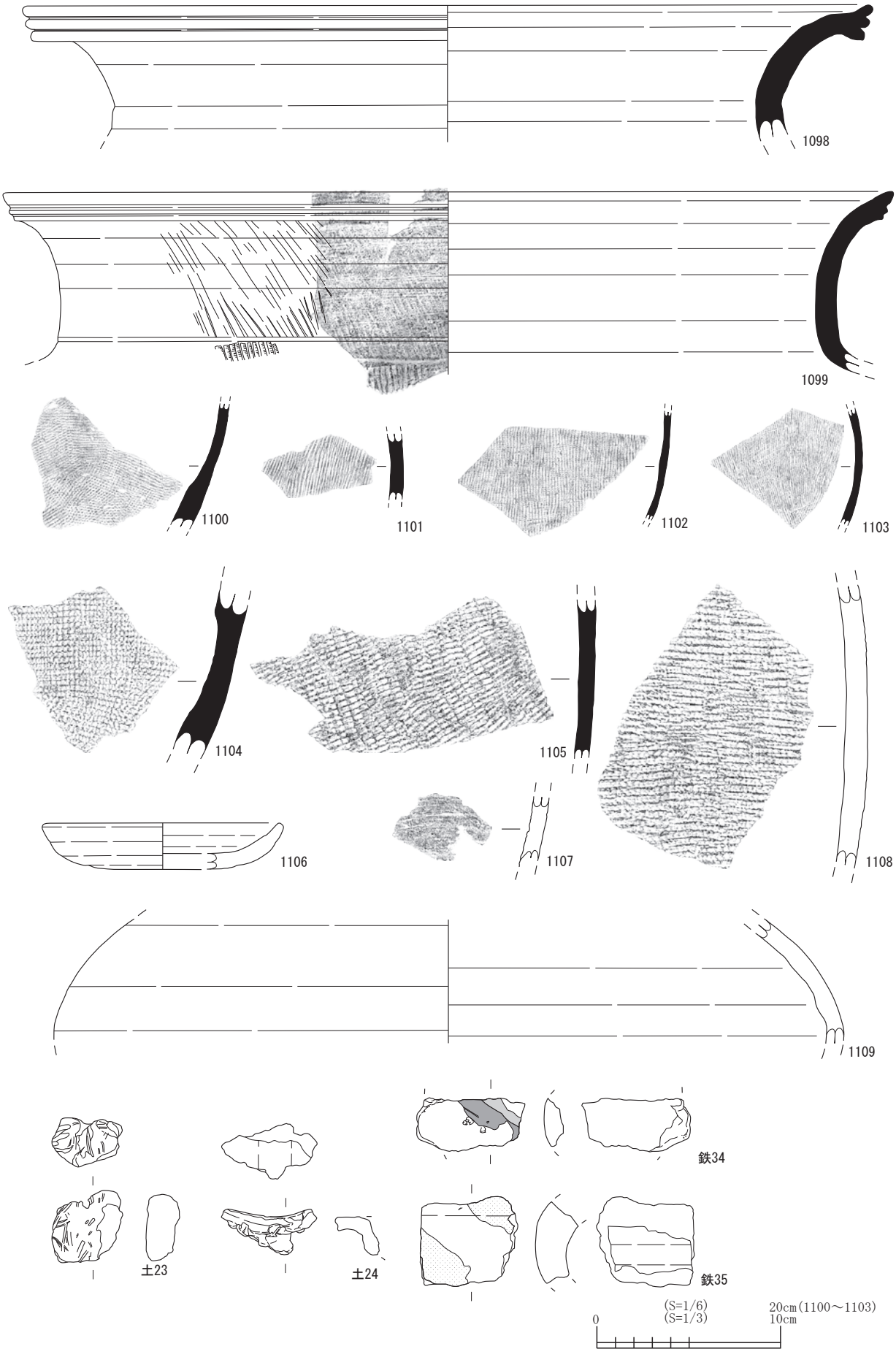
第282図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土土器（１）



第283図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土土器（２）



第284図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土土器（３）



第285図　川原館遺跡Ｇ区遺構外出土遺物

第33表　川原館遺跡Ｇ区出土土器観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第241図	1014	GSI-01	覆土	土師器	甕	口縁～体部	21.4	(5.5)	－	10YR 3/2	10YR 2/2	良	ナデ＋ヘラナデ	ナデ＋ハケメ	－	少	少	少	少	内外面煤付着
第241図	1015	GSI-01	覆土	土師器	把手付土器	把手	－	(3.9)	－	5YR 4/3	5YR 5/4	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	少	外面煤付着
第247図	1016	GSK-03	覆土	土師器	坏	口縁～底部	12.8	6.1	6.0	5YR 4/6	10YR 3/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	木葉痕（笹葉）＋砂底	多	多	少	中	内面油痕有
第247図	1017	GSK-08	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 3/1	5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	少	少	少	微	器壁薄め
第247図	1018	GSK-21	覆土	土師器	坏	口縁～底部	12.2	5.3	5.5	5YR 3/6	5YR 4/8	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	中	少	少	外面黒斑有、細めの糸による糸切
第247図	1019	GSK-21	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.5)	5.8	5YR 3/1	5YR 5/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	中	中	内外面煤付着、細めの糸による糸切
第247図	1020	GSK-21	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10YR 3/2	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	中	
第247図	1021	GSK-30	覆土	土師器	ミニチュア土器	口縁～体部	10.0	(2.8)	－	7.5YR 7/4	7.5YR 3/1	並	ロクロナデ＋ヘラナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内面煤炭化物付着、外面煤付着
第247図	1022	GSK-30	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	5Y 2/1	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	最多	少	器壁薄め
第247図	1023	GSK-37	覆土	土師器	坏	口縁～体部	15.0	(5.0)	－	5YR 4/3	5YR 5/4	並	ナデ	ヘラナデ	－	中	少	少	少	外面巻上痕有、内面煤付着
第247図	1024	GSK-38	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.7)	(7.4)	10YR 4/3	10YR 3/2	並	ナデ	ヘラナデ	静止糸切、ケズリ	中	少	少	少	外面巻上痕有、内面煤付着
第247図	1025	GSK-39	覆土	土師器	坏	口縁～底部	12.0	5.3	5.0	10YR 6/2,3/2	2.5YR 3/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ＋ヘラミガキ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	多	多	内面黒色処理、内面破断面磨滅
第247図	1026	GSK-41	覆土	土師器	坏	口縁～体部	14.0	(5.3)	－	7.5YR 6/3	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	多	少	中	内面煤付着
第247図	1027	GSK-42	覆土	土師器	皿	体部～底部	－	(1.8)	6.0	7.5YR 3/1	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	内面刻書有、内外面煤付着
第247図	1028	GSK-42	覆土	土師器	甕	口縁～体部	23.8	(8.7)	－	5YR 4/2	5YR 6/4	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	少	中	内面指頭圧痕有、内外面煤付着
第247図	1029	GSK-42	覆土	土師器	小甕	口縁～体部	13.6	(5.0)	－	5YR 4/3	5YR 4/2	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	多	少	中	内外面煤付着
第247図	1030	GSK-42	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(35.0)	(10.2)	－	2.5YR 5/8	2.5YR 5/6	並	ヘラナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	少	少	多	多	内面煤付着、破断面磨滅
第251図	1031	SD-106	覆土	土師器	坏	口縁～底部	12.7	6.3	5.5	7.5YR 5/4	7.5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	ヘラナデ	中	多	少	少	
第251図	1032	SD-106	覆土	土師器	坏	口縁～底部	13.0	5.7	5.8	5YR 6/6	5YR 6/5	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	少	少	中	多	外面巻上痕有
第251図	1033	SD-106	覆土	須恵器	広口壺	口縁～頸部	14.0	(6.2)	－	N 2/0	N 3/0	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内外面灰かぶり、内面輪積痕有、火膨れ箇所有
第251図	1034	SD-106 SD-109	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 4/2	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	少	
第251図	1035	SD-107	覆土	土師器	甕	口縁～体部	22.4	(5.3)	－	2.5YR 5/8	2.5YR 5/6	並	ナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	少	少	少	中	内外面煤付着
第251図	1036	SD-109	覆土	擦文	甕	体部	－	－	－	7.5YR 5/6	7.5YR 5/4	並	隆帯＋刺突	ミガキ	－	少	少	中	中	内面煤付着
第251図	1037	SD-110	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.9)	4.6	2.5YR 6/6	7.5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	多	多	多	外面底部磨滅、内外面煤付着
第251図	1038	SD-110	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 3/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	少	
第251図	1039	SD-119	覆土	土師器	坏	口縁～底部	14.0	4.3	4.4	10YR 8/4	10YR 7/3	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	砂底	少	中	少	中	
第251図	1040	SD-124	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(3.1)	4.6	10YR 4/1	10YR 3/1	並	ナデ	ナデ	柾目痕	中	少	少	中	内外面巻上痕有、外面指頭圧痕有
第251図	1041	SD-124	下層	土師器	小甕	口縁～体部	11.2	(6.0)	－	5YR 6/6	5YR 7/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	中	少	多	口縁部一部片口状
第251図	1042	SD-124	下層	土師器	壺	頸部	－	(5.4)	－	5YR 3/1	5YR 3/1	並	ナデ	ナデ	－	少	少	少	中	内外面煤付着、内面爪痕有
第251図	1043	SD-124	下層	須恵器	壺	体部～底部	－	(4.3)	6.4	10Y 3/1	10Y 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	糸切	中	少	少	少	
第281図	1044	GSP-46	覆土	須恵器	甕	体部	－	－	－	10Y 3/2	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面灰かぶり、自然釉付着

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第281図	1045	GSP-226	覆土	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(6.5)	－	5YR 5/4	5YR 5/6	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	中	多	内外面煤付着
第282図	1046	遺構外	表採	土師器	皿	口縁～底部	(16.0)	4.3	6.0	5YR 2/1	5YR 3/1	並	ナデ	ナデ＋ヘラナデ	静止糸切＋ヘラオコシ	少	少	少	少	内外面煤付着、外面巻上痕有
第282図	1047	遺構外	表採	土師器	皿	口縁～底部	(11.8)	(3.1)	－	7.5YR 4/2	7.5YR 1.7/1	並	ナデ	ナデ	－	少	多	少	少	内面煤付着
第282図	1048	遺構外	－	土師器	小坏	口縁～底部	(10.4)	3.7	4.7	5YR 6/6	5YR 6/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	底部離し糸切
第282図	1049	遺構外	－	土師器	小坏	口縁～底部	10.3	3.8	4.3	7.5YR 8/4	7.5YR 8/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	中	少	少	底部離し糸切
第282図	1050	遺構外	－	土師器	小坏	口縁～底部	10.4	3.2	4.5	5YR 7/6	5YR 7/6	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	底部離し糸切
第282図	1051	遺構外	確認面	土師器	坏	口縁～底部	11.6	6.1	6.2	10YR 6/3	10YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	砂底	中	中	少	中	内外面煤付着、内面爪痕有
第282図	1052	遺構外	撹乱	土師器	坏	口縁～底部	(11.7)	6.4	5.0	10YR 7/3	10YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ヘラナデ	砂底	中	多	少	少	外面巻上痕有、内面爪痕有、体部～口縁部丸みを帯び、底部柱状高台
第282図	1053	遺構外	表採	土師器	坏	体部～底部	－	(4.2)	(4.5)	7.5YR 5/4	7.5YR 1.7/1	並	ヘラケズリ	ナデ	網代痕	少	多	少	少	内面煤付着
第282図	1054	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	13.7	5.0	7.7	7.5YR 6/4	7.5YR 4/2	並	ナデ	ナデ	ヘラナデ	少	中	少	中	外面底部油痕有、外面巻上痕、指頭圧痕有
第282図	1055	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(16.2)	6.6	7.3	5YR 4/2	7.5YR 4/2	並	ナデ	ナデ	笹葉圧痕	少	少	少	少	外面巻上痕有、底部柱状高台
第282図	1056	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(12.4)	3.7	6.0	7.5YR 6/3	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	砂底	中	少	少	多	外面巻上痕有
第282図	1057	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(14.3)	4.5	6.5	5YR 6/4	5YR 6/8	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	ヘラケズリ	中	少	少	多	外面巻上痕、指頭圧痕有、体部は丸みを帯び、口縁部へとほぼ垂直に立ち上がる
第282図	1058	遺構外	表採	土師器	坏	体部～底部	－	(2.9)	5.0	5YR 5/6	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	網代痕	少	少	少	多	外面巻上痕有
第282図	1059	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(11.8)	5.6	(6.0)	2.5YR 6/8	10YR 1.7/1	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	ヘラケズリ	多	少	中	中	内面籾痕有
第282図	1060	遺構外	覆土	土師器	坏	体部～底部	－	(2.3)	(5.6)	10YR 4/2	7.5YR 6/2	並	ナデ	ヘラナデ	ムシロ痕	少	少	少	中	外面煤付着、巻上痕有
第282図	1061	遺構外	－ 表採	土師器	大坏	口縁～底部	17.5	6.8	7.0	2.5YR 5/6,2/1	7.5YR 2/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切＋ヘラオコシ	中	少	少	少	内外面口縁部灯明痕有、口唇部打欠痕有、底部細めの糸による回転糸切
第283図	1062	遺構外	覆土	土師器	坏	口縁～体部	(12.0)	(4.4)	－	7.5YR 3/2	7.5YR 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	微	少	多	多	内外面煤付着、口縁部ロクロナデによる稜段明瞭
第283図	1063	遺構外	－	土師器	大坏	口縁～底部	17.0	6.1	5.5	7.5YR 2/3	7.5YR 2/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	少	少	少	少	内外面口縁部灯明痕有、口唇部打欠痕有、煤付着
第283図	1064	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	12.5	4.9	4.7	7.5YR 6/6	2.5YR 6/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	多	少	中	外面煤付着、底部細めの糸による糸切
第283図	1065	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(14.8)	6.3	6.0	5YR 6/6	5YR 7/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	多	少	中	多	外面煤付着、一部剥落、内面破断面磨滅
第283図	1066	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～体部	(11.0)	(2.1)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 6/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	外面墨書有
第283図	1067	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(14.0)	5.4	5.5	2.5YR 5/6	7.5YR 4/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切（離し糸切）	少	中	少	少	外面体部爪痕有、内面底部付近墨痕有、転用硯
第283図	1068	遺構外	表採	土師器	坏	口縁～底部	(12.8)	4.5	6.0	2.5YR 5/1	10YR 5/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	静止糸切	少	中	少	少	外面体部刻書有、底部細めの糸による糸切
第283図	1069	遺構外	－ 表採	土師器	甕	口縁～体部	(18.0)	(14.6)	－	5YR 5/6	7.5YR 4/1	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	多	少	少	外面籾痕有
第283図	1070	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(19.8)	(5.9)	－	10YR 5/3	10YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ハケメ	－	少	少	少	中	外面煤付着
第283図	1071	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(15.0)	(5.6)	－	10YR 5/2	10YR 3/2	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	少	少	少	少	外面一部剥落、内外面煤付着
第283図	1072	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(21.4)	(11.3)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 4/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	少	少	中	外面輪積痕有、内外面煤付着
第283図	1073	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(30.0)	(10.3)	－	5YR 5/6	5YR 5/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ＋ヘラナデ	－	多	多	中	中	外面輪積痕有、破断面内面磨滅
第284図	1074	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(24.0)	(12.7)	－	2.5YR 6/8	10YR 7/3	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	多	多	少	多	内面輪積痕有、破断面内面磨滅
第284図	1075	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(22.0)	(4.8)	－	2.5YR 5/6	2.5YR 5/8	やや不良	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	多	多	中	少	内面磨滅、一部剥落
第284図	1076	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(18.6)	(6.6)	－	5YR 6/6	5YR 6/6	並	ナデ＋ヘラナデ	ナデ	－	中	少	少	少	内外面輪積痕有、破断面磨滅

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	器種	部位	計測値（cm）			色調		焼成	文様・調整			礫	砂	骨	赤	備考
							口径	器高	底径	外面	内面		外面	内面	底部					
第284図	1077	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(15.0)	(5.1)	－	2.5YR 5/8	2.5YR 5/6	並	ナデ	ナデ	－	多	少	少	少	外面輪積痕、指頭圧痕有、口唇部先細り、内外面煤付着
第284図	1078	遺構外	表採	土師器	甕	口縁～体部	(28.8)	(8.5)	－	10R 5/8	10YR 6/8	並	ナデ	ナデ	－	多	多	少	少	外面輪積痕有、破断面内面磨滅
第284図	1079	遺構外	表採	土師器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 5/6	10YR 3/1	並	ヘラナデ	ハケメ	－	中	少	少	少	内面煤付着
第284図	1080	遺構外	表採	土師器	甕	体部	－	－	－	10YR 6/8	10YR 5/4	並	ヘラナデ	ヘラナデ	－	中	少	少	少	外面刻書有、破断面磨滅
第284図	1081	遺構外	表採	土師器	小甕	口縁～体部	(11.0)	(3.6)	－	7.5YR 6/4	7.5YR 7/4	並	ヘラナデ	ナデ	－	多	少	少	中	内面巻上痕有
第284図	1082	遺構外	確認面	土師器	小甕	口縁～底部	8.0	6.5	4.6	7.5YR 8/4	7.5YR 7/4	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	ナデ	少	少	少	少	中空を呈するが、底部が剥落したものと考えられる。
第284図	1083	遺構外	表採	土師器	小甕	口縁～体部	(9.7)	(4.2)	－	7.5YR 5/3	7.5YR 4/2	並	ナデ＋ヘラケズリ	ナデ	－	少	少	少	中	口唇部工具痕有、内外面煤付着
第284図	1084	遺構外	表採	土師器	小甕	口縁～体部	(9.5)	(7.6)	－	5YR 5/6	2.5YR 5/6	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	多	外面一部剥落
第284図	1085	遺構外	撹乱	土師器	把手付土器	把手	－	(3.9)	－	5YR 5/4	7.5YR 7/4	並	ナデ	ナデ＋ヘラナデ	－	中	少	多	中	外面煤付着
第284図	1086	遺構外	表採	土師器	小壺	口縁～底部	3.4	5.8	4.0	7.5YR 6/6	7.5YR 8/4	並	ロクロナデ	ロクロナデ	右回転糸切	中	中	少	多	外面刻書有、煤付着
第284図	1087	遺構外	表採	製塩土器	－	体部	－	(3.5)	－	5YR 6/8	5YR 6/6	並	ナデ	ナデ	－	少	少	少	多	外面輪積痕有
第284図	1088	遺構外	表採	擦文	甕	口縁～体部	(20.0)	(3.1)	－	5YR 5/4	5YR 6/4	並	ナデ＋沈線＋刺突＋ハケメ	ミガキ	－	中	多	少	少	内面煤付着
第284図	1089	遺構外	表採	擦文	甕	口縁～体部	(17.6)	(5.9)	－	5YR 7/1,6/4	5YR 4/1	良	ナデ＋沈線＋ハケメ	ミガキ	－	少	少	少	少	内外面煤炭化物付着
第284図	1090	遺構外	表土	擦文	甕	体部	－	－	－	7.5YR 5/6	7.5YR 4/3	並	沈線＋刺突＋ハケメ	ミガキ	－	少	少	多	少	内面煤付着
第284図	1091	遺構外	表土	擦文	甕	体部	－	－	－	7.5YR 6/6	7.5YR 5/6	並	沈線＋刺突＋ハケメ	ミガキ	－	多	中	少	少	破断面磨滅
第284図	1092	遺構外	表採	須恵器	長頸壺	頸部～肩部	－	(7.9)	－	5YR 3/3	5YR 2/3	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	中	多	微	頸部にリング状凸帯有、内面煤付着
第284図	1093	遺構外	撹乱	須恵器	長頸壺	頸部	－	(4.2)	－	2.5YR 7/8	2.5YR 6/8	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	多	中	破断面磨滅、酸化焼成
第284図	1094	遺構外	表採	須恵器	広口壺	口縁～体部	(12.0)	(4.7)	－	5Y 4/1	5Y 4/1	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	破断面磨滅
第284図	1095	遺構外	表採	須恵器	甕	頸部～体部	－	－	－	N 4/0	N 4/0	並	ナデ＋タタキ	ナデ	－	中	多	中	少	外面破断面磨滅、内面煤付着、外面一部剥落
第284図	1096	遺構外	表採	須恵器	甕	口縁～体部	(19.0)	(4.2)	－	N 15/0	N 2/0	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内外面灰かぶり、自然釉付着
第284図	1097	遺構外	表採	須恵器	甕	口縁～体部	(21.0)	(5.5)	－	7.5Y 2/1	10Y 2/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	少	少	少	少	内面自然釉付着、灰かぶり、剥落有
第285図	1098	遺構外	表採	須恵器	甕	口縁～体部	(46.0)	(7.4)	－	10YR 2/3	5Y 2/1	良	ロクロナデ	ロクロナデ	－	中	中	中	少	
第285図	1099	遺構外	表採	須恵器	甕	口縁～体部	(48.0)	(9.9)	－	N 3/0	10YR 1.7/1	良	ロクロナデ	ロクロ＋タタキ	－	少	少	少	少	内面煤付着、自然釉付着
第285図	1100	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	5YR 3/1	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	少	少	外面ひび割れ有
第285図	1101	遺構外	撹乱	須恵器	甕	体部	－	－	－	N 1.5/0	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	微	
第285図	1102	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 3/2	N 4/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	中	少	器壁薄め
第285図	1103	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 2/1	N 3/0	並	タタキ	ナデ	－	少	少	多	微	外面灰かぶり、自然釉付着
第285図	1104	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5YR 6/6	5YR 5/6	並	タタキ	ヘラナデ	－	中	中	多	多	外面焼台痕有、破断面磨滅
第285図	1105	遺構外	表採	須恵器	甕	体部	－	－	－	7.5Y 4/1	7.5Y 4/1	並	タタキ	ナデ	－	中	少	多	少	
第285図	1106	遺構外	撹乱	かわらけ	－	口縁～底部	(12.6)	(2.5)	(8.0)	10YR 7/2	10YR 7/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	ナデ	中	少	少	少	
第285図	1107	遺構外	表採	珠洲	擂鉢	体部	－	－	－	7.5Y 5/1	7.5Y 5/1	不良	ロクロナデ	ナデ	－	中	少	多	微	内外面一部剥落
第285図	1108	遺構外	表採	珠洲	甕	体部	－	－	－	10Y 5/1	N 5/0	並	タタキ	ナデ	－	中	少	中	少	外面煤付着
第285図	1109	遺構外	撹乱	常滑	壺	肩部～体部	－	(6.8)	－	5Y 2/2,5/3	2.5YR 3/2	並	ロクロナデ	ロクロナデ	－	多	中	少	少	

第34表　川原館遺跡Ｇ区出土土製品観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			調整		備考
					長軸	短軸	厚さ	表面	裏面	
第285図	土23	遺構外	確認面	焼成粘土塊	3.9	4.0	1.8	ナデ	ナデ	
第285図	土24	遺構外	確認面	焼成粘土塊	5.2	3.0	2.5	ナデ	ー	裏面弧状を呈する

第35表　川原館遺跡Ｇ区出土鉄関連遺物観察表

図版番号	No.	出土位置	層位	種別	計測値（cm）			重量（g）	メタル度	磁着度	備考
					長軸	短軸	厚さ				
第285図	鉄34	遺構外	撹乱	羽口	(5.9)	(2.9)	1.1	16.4	なし	ー	断面円形、小片のため、外径・内径ともに不明
第285図	鉄35	遺構外	撹乱	羽口	(5.3)	(4.9)	2.3	44.6	なし	ー	断面円形、小片のため、外径・内径ともに不明

報 告 書 抄 録

ふ り が な	かわはらだていせき・なかみちいせき・ひがしわせだいせきはっくつちょうさほうこくしょ
書 名	川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡発掘調査報告書（第一分冊）
副 書 名	
巻 次	
シ リ ー ズ 名	青森市埋蔵文化財調査報告書
シ リ ー ズ 番 号	第120集
編 著 者 名	設楽　政健
編 集 機 関	青森市教育委員会
所 在 地	〒038－8505　青森県青森市柳川二丁目１番１号　TEL 017－761－4796
発 行 年 月 日	西暦2017年３月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所 在 地	コード		世界測地系（JGD2000）		調査機関	調査面積 （㎡）	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
川原館遺跡（かわはらだていせき）	青森市浪岡大字浪岡字浅井（あおもりしなみおかおおあざなみおかあざあさい）	02201	377	40° 42′ 42″	140° 35′ 58″	20130828 ～ 20131115 20140522 ～ 20141121 20150413 ～ 20150930	3,605㎡	佐野沖蕊線道路整備事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
川原館遺跡	城館跡	平安 中世 近世	竪穴遺構　4棟 掘立柱建物跡　1棟 土坑　152基 溝跡　124条 井戸跡　19基 焼土遺構　4基 カマド状遺構　8基 その他の遺構　2基 ピット　1715基	土師器 須恵器 製塩土器 擦文土器 かわらけ 陶磁器 土製品 鉄関連遺物 木製品 古銭	平安時代を主体に中世～近世の遺構・遺物を確認した。

要 約	１．川原館遺跡は青森市浪岡大字浪岡字浅井に位置している。 ２．遺跡は浪岡川によって形成された扇状地の先端部、標高28～30mの地点に位置している。 ３．発掘調査は佐野沖蕊線道路整備事業に先立ち、平成25～27年度に実施した。 ４．平成25～27年度の調査の結果、竪穴遺構、掘立柱建物跡、土坑、溝跡、井戸跡、焼土遺構、カマド状遺構、その他の遺構、ピットを検出したほか、土師器、須恵器、擦文土器、陶磁器、土製品、鉄関連遺物、木製品、古銭が出土した。

青森市埋蔵文化財調査報告書　第120集

川原館遺跡・中道遺跡・東早稲田遺跡
発掘調査報告書
（第一分冊）

発行年月日　平　成　29　年　3　月　31　日

発　　行　青　森　市　教　育　委　員　会
〒038-8505 青森市柳川二丁目１番１号
TEL　017－761－4796

印　　刷　青森オフセット印刷株式会社
〒030-0802 青森市本町２丁目11－16
TEL　017－775－1431